

# 上都賀齒科醫師會史

— 創立85周年記念 —

上都賀齒科醫師會

上都賀齒科醫師會史



平成22年度上都賀歯科医師会 定時総会記念 平成23年3月26日

# 発刊の辞

上都賀歯科医師会  
会長 佐川 徹三



85周年記念誌発刊にあたりまして、会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。そもそもこの記念誌を作ろうという機運が高まったのは、瓦井前会長の後を受けて私が会長に就任した平成18年4月に遡ります。栃木県歯科医師会より「100周年記念誌」の支部担当分（会の歩み）の執筆依頼があり、歴史を紐解かなければという必要性に迫られたからであります。同時に大先輩の方々のお話もこの機会に是非何って後世に伝えなければという当代を担う私達の使命感にも似た気持ちからでもありました。早速調査委員会をメインに編纂委員会を立ち上げ、どうすれば会員の会員による会員の為の記念誌になるか、換言すれば「わかりやすいか・役に立つか・自分達にとってやりがいがあるか」を念頭に議論を重ねました。とは言え、80年余に亘る資料や記録或いは写真等がきちんと整理されて年代別に保存されていた訳でもなく、現在のようなパソコンによるデータ保管という術があった訳でもありません。むしろ、ほとんどが散逸した状態であったと云っても過言ではない状況でした。まずは、取り組むべき姿勢として、次の三点に留意しました。一つ目は大先輩の先生方や奥様のお宅に訪問して、どのような内容の事でもいいから聞き取り調査をすること、二つ目は会にある資料やお借り出来るものをなるべく多く収集すること、そして三つ目は県歯の「栃歯会報」を初期のものから全てお借りして、上都賀関係のものを可及的に拾い出すことであり、その膨大な資料の分類と分析に多くの時間を費やすこととなりました。

お蔭様で、「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という、かの上杉鷹山の言葉の通り、こうして発刊する運びとなりましたのも、多くの関係各位とりわけ編纂に直接携ったプロジェクトチームの先生方のご尽力ご支援による賜と心より深く感謝を申し上げる次第であります。上都賀歯科医師会の歴史や事業の内容等の詳細に関しましては、是非とも本編をご笑覧戴ければ幸甚に存じますが、大正14年の発会当時の草創期の先生方の真摯な眼差し、第二次世界大戦を挟んでの辛酸をなめられた苦渋の時期、しかしながら、そういった苛酷な状況にありながらも、大らかであった人間性の大きさ、そして昭和30年には上都賀郡としての大きな会が、諸般の事情によって今市歯科医師会（現日光歯科医師会）と分離せざるを得なくなり、袂を分かつ時の大所高所のものの見方、考え方……云わば記念誌であると同時に大先輩の生々しいばかりの息吹きの記録誌即ち、正に「アーカイブス」に他なりません。記念誌編纂を通して、一つだけ確信をもってお伝えすることが出来るのは「歯科医師会は親睦と相互扶助ありきである」ということであり、先輩の先生方が構築されてきた「和の精神」を次の世代に継続すべく、温故知新ではなく、「温故創新」の気概で頑張らなければと心を新たにしている処であります。

結びにあたりまして関係各位の益々のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げ、併せまして会の更なる躍進を果すべく邁進していくこととお誓い申し上げ、発刊の辞とさせていただきます。

# 上都賀歯科医師会85周年 記念誌の発刊を祝して



栃木県歯科医師会  
会長 柴田 勝

このたびの上都賀歯科医師会85周年記念誌発刊を心からお慶び申し上げます。

顧みますと上都賀歯科医師会は大正14年4月19日に発会され、以来85年の歩みを経て現在に至りました。この間歴代役員各位の献身的なご尽力と会員各位のご努力により、幾多の困難を乗り越えられ、今日58名の会員を有する会に大きく育まれたことは、誠に感慨深いものがあります。

また、上都賀歯科医師会においては、歴代会長の優れた指導力のもとに、在宅寝たきり老人等歯科医療、休日急患診療等の各種事業を積極的に実施され、地域住民の保健衛生の向上発展と福祉の増進に多大な成果を納められておられますことは、衆目の認めるところであり、衷心より敬意を表する次第であります。

更に、平成20年1月には、貴会と鹿沼警察署における「鹿沼地区歯科医師警察連絡会」等の長年に亘る親密な交流が「鹿沼地区歯科医師警察連絡会会員之証」の交付という形に結実したことは、特筆に値すべきことであります。日頃多忙な警察官へ受診しやすい環境を提供するとともに、地元警察との連携を深め地域安全の推進を図るという大変画期的で先進的な取り組みであり、今後、他地区のモデルになるものと思われまます。

現在我が国においては、予想以上に進行している少子・高齢社会、所得格差の増大、いまだ先の見えない経済情勢の中、国における再三にわたる国民と医療関係者に負担増を課す医療・社会保障改革の強行によって、我々医療界は、相当の打撃を被り、特に歯科界は経営の逼迫している歯科医院の増加という危機的状況に陥っており、その閉塞感たるや未曾有のものであります。

この状況を打破するには、国民に歯科医療の重要性を伝え、社会保障費の必要性を認識してもらい歯科診療所経営の安定化を図ることが大切であると考えます。

栃木県歯科医師会は、県民に安全、安心、良質な歯科医療を提供するため、そして、会員の歯科医業経営安定化のため、郡市歯科医師会と連携を図り、出来うことは全て実行していく所存であります。

現状では歯・口腔の健康施策は、法律的には一元化されておらず、「母子保健法」「学校保健法」「健康増進法」等に分散規定されています。そのため県民のための歯科保健施策を総合的に進めるには法的基盤の整備が必要であり、歯科保健推進条例の制定が必要不可欠であります。現在、県議会や行政に働きかけ実現を期して邁進をしている処でございますが、今後とも貴会会員の小林幹夫県議のご支援ご協力を賜りたく存じます。

終わりに、上都賀歯科医師会が85周年記念誌発刊を機に、誇るべき伝統の上に、会員各位の強固な団結により、地域社会の歯科保健推進の拠点として、一層の飛躍と発展を遂げられますことを祈念し、お祝いのことばといたします。

# 祝 辞



鹿沼市長 佐藤 信

上都賀歯科医師会創立85周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

85年間にわたり、上都賀歯科医師会及び会員の皆様には、休日急患歯科診療所を初めとする在宅歯科診療、幼児歯科健診、健康教育、さらには保育園、学校歯科検診と生涯を通じた歯科保健対策にご支援ご協力を賜わり、深く感謝いたします。

わが国の歯科保健活動は、大正時代から啓蒙運動として歯科衛生の普及活動が行われ、昭和3年には6月4日を「ムシ歯予防デー」と定め、昭和30年代以降むし歯予防を中心とした母子歯科保健活動が活発に行われました。

その後平成元年の「8020」運動、平成7年度から歯周疾患検診が導入され、母子保健のみならず、成人や高齢者に対する歯科保健事業の推進が図られてきています。

鹿沼市におきましては、長年にわたり上都賀歯科医師会のご協力をいただき、母子歯科保健につきましては、新米パパママ学級、幼児歯科健診、よい歯のコンクール、2歳児教室、楽しく学ぶ親子むし歯予防教室、保育園・幼稚園検診、学校歯科検診等妊娠中から学童・生徒までを対象に歯科保健事業の推進が図られてきました。

さらに健康づくり講演会及び健康づくりのつどい、成人・高齢者の歯科保健につきましては、歯周疾患検診、歯の健康教育、8020運動による歯科における健康寿命の取組み等や在宅寝たきり老人歯科保健事業による歯周疾患の予防と在宅寝たきり老人の歯科診療、歯科ドック、介護保険事業等歯科保健の充実が図られております。

ご承知のように、わが国の平均寿命は生活環境の改善、近年の目覚ましい医学や医療の進歩などで世界有数の長寿国となりました。

しかし、人口の急速な高齢化が進み、疾病全体に占めるがん、心臓病、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の割合は増加の一途をたどっております。

本市におきましては、平成19年から23年度の5ヵ年基本計画である「かぬまステップアップビジョン」のファーストステージに掲げた153の重点事業に加え、「KANUMA新・まちづくり実行プラン」に掲げた131事業について、本年度はさらに事業の充実を図り、健康で心豊かな人が集う“花と緑と清流のまち”“笑顔あふれる優しいまちかぬま”の理念のもと、「手をつなぎ みんなでつくろう 元気なかぬま」を創造してまいります。

また、健康増進計画である「健康かぬま21」の施策の中で「生涯にわたり、各ライフステージに応じた適切なむし歯予防・歯周疾患予防」を目標に掲げ、鹿沼市民のニーズに応じた健康づくりをより一層推進してまいります。

今後とも上都賀歯科医師会のより一層のご支援ご協力をお願いし、今後のさらなるご活躍並びにご健勝をご祈念申し上げまして、85周年記念の祝辞といたします。

# 祝 辞



西方町長 古澤 悦夫

上都賀歯科医師会が設立85周年を迎えられ、記念誌を発刊されるにあたりまして一言お祝い申し上げます。

上都賀歯科医師会におかれましては、大正14年の設立から85年という長い歴史と共に上都賀地区の地域医療に多大な貢献を賜りました。また住民のライフステージにおける妊婦、乳幼児、学童、そして成人、高齢者にいたる健診や健康教育等の歯科保健事業や介護保険事業等、ここに書き尽くせない程の様々な事業にご協力を賜っております。中でも幼児、学童の虫歯予防や成人の歯周病予防には早くから取り組んでいただき、西方町小中学校の虫歯保有率の低いことについては県内でもトップクラスになるほどの効果が表れており、敬意を表する次第です。そして常に歯科保健向上のための研鑽に努められ、行政に貢献していただいていることに対し、ここに深く感謝申し上げます。

少子高齢社会が進む今日、より質の高い生活と豊かな人生を送るために、そして第4次西方町振興計画である「安心していきいきと暮らせるまちづくり」のために、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、上都賀歯科医師会のますますのご発展を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

# 鹿沼市の沿革

鹿沼市は、面積が490.62km<sup>2</sup>、首都東京からおよそ100kmの圏内にあり、県の中央部からやや西、東は宇都宮市、南は下都賀郡壬生町と上都賀郡西方町、北は日光市に接する。足尾山地の北部を占め、奥深い山々を源流とする幾筋もの河川が流れ、山と高原、清流と溪谷は特色ある美しい景観を呈し、前日光県立自然公園を形成している。源流より流れ出る大芦川、荒井川、粟野川、思川、永野川が東流し、日光からは行川が南流し、山地から平地に出る辺りに鹿沼の市街地が開ける。それらの市街地は鹿沼地域では黒川の河岸低地に、新市街地はその東部の古黒川によってつくられた高位の扇状地、通称鹿沼扇状地に拡散している。粟野地域では、思川と粟野川が合流する平地に広がっている。全体としては足尾山地から扇状地を広げる山麓溪谷都市である。

古代、大化の改新（645年）で国郡村の制度が導入された時、下野国（栃木県）は9郡69郷が設置されていた。当市域は都賀郡に属しており、和名類聚抄（承平年間931～938）には都賀郡十一郷が布多（栃木市田村町付近・下野国府所在地）、高家（武井、栃木駅南方）、山後（西方町本郷付近）、山人（鹿沼市の加園、南摩及び粟野、粕尾付近）、田後（田尻・鹿沼市から壬生町付近）、生馬（生駒、小山市生駒から下初田付近）、委文（倭文、志鳥、大平山の西北）、高粟（田川、石橋町、姿、多功、薬師寺付近）、小山（小山市城北町、本郷町、中央町付近）、三嶋・駅家（三嶋の誤り、現岩舟町、下津原、佐野市里谷町～黒誇町付近）と見える。このうち鹿沼地区は山人郷、田後郷に相当するという説がある。

中世、室町末期、永正6年（1509）、当時の連歌師柴屋軒宋長の紀行文「東路の津途」によると、「かぬまという所に壬生綱房父築後守綱重の館あり、一宿に念比のいたはり、筆に尽しがたし」と記されており、当時館は坂田山にあったと思われ、その後綱房が天文元年（1531）に御殿山に築城したと伝えられる。しかし壬生家は北条氏に最後まで与したため、豊臣秀吉の小田原城攻めを契機に相模国酒匂川で陣没し、天正18年（1590）五代義雄で断絶した。

近世、天和2年（1616）徳川家康が駿府城で没すると、翌年に日光山に東照社が建立され、3月15日家康の遺骸が駿府久能山から改葬された。この途中、遺骸は鹿沼の薬王寺に4日間滞留した。

薬王寺の寺宝である「東照宮渡御之記」によると「館林を御中宿りにて、佐野春日岡といへる寺に入らせ給ふ。3月29日は岩船山を左になし、栃木という里を過ぎて室の八島を右になし、鹿沼にて薬王寺といへる寺に入らせ給ふ。（中略）比時天海大僧正神君の御尊体に僧正の木像共に彫刻ありて、六世俊賀法印に給はる。神君御束帯の座像御丈八寸、僧正座像御丈一尺なり」とある。



薬王寺

正保2年（1646）東照社は朝廷より宮号が宣下され東照宮と称す。翌年から4月に朝廷より幣帛を奉納するために勅使（例幣使）が参向することになり、日光例幣使と称し幕末の慶応3年（1867）迄200余年続いた。例幣使一行は50人。中山道を下り、倉賀野（高崎市）から中山道を離れ、太田を経て栃木県に入り、八木、梁田、天命（現佐野市天明）、犬伏、富田（現大平町）、栃木、合戦場、金崎、楡木までの9宿を通り、楡木から今市までは例幣使街道と日光西街道（壬生通り）を兼ねた。今市から日



光街道に合して日光に到着した。壬生から北上する日光西街道と合する楡木—今市間に奈佐原、鹿沼、文挾、板橋、今市の宿があり、地元では一般にこの間を例幣使街道と呼んでいる。近世、鹿沼はこの例幣使街道の宿駅としてまた市場町として発展した。

近現代、明治11年（1878）郡区町村権制法により都賀郡は上下二郡に分離され、鹿沼は上都賀郡に属した。郡役所が前述の薬王寺に置かれ、10宿89ヶ村を管轄した。

明治17年（1884）、待望の郡役所は薬王寺より久保町の大谷瀬平氏提供の地に移転し新築落成することになった。黒山の人だかりが鹿沼宿城山（下武子水神山）下の黒川河畔に見られた。新築する上都賀郡役所の玄関前に据える巨石を猿頬が淵から掘り出していたのだ。猿の頬のように赤い色をした巨石は、人呼んで猿頬石といったが、あまりに大きすぎるので当時の上横町（現銀座1、2丁目）通りを通れず二つに割られ、その一つが久保町上都賀郡役所の前におさまった。延2,500人、25日かかって運んだという。郡内宿村民の心からの献納であった。

同年（1884）、栃木県庁は栃木町から宇都宮市に移った。10月22日、太政大臣三条実美ら政府高官を迎えて雨にもかかわらず、県庁開庁式は盛大に行われた。翌23日一行は、塩原街道の開通式に出席、31日には人力車200台余を連れ上都賀郡役所開庁式に臨んだ。見物客は数万人を超えた。尚、郡役所は大正15年（1926）7月1日廃止された。

明治22年（1889）市町村制の発布により、町村廃合し、旧村を大字とし、4町16ヶ村に改正された。4町とは鹿沼町（大字4）、今市町（大字9）、日光町（大字9）、足尾町（大字7）である。

昭和23年（1948）10月10日、鹿沼町に市制施行。同29年（1954）、1市7ヶ村合併（東大芦村、菊沢村、板荷村、北押原村、加蘇村、西大芦村、北犬飼村）。翌30年（1955）、南摩村、南押原村の2村合併。平成18年（2006）1月1日、平成の大合併で栗野町と合併し人口104,042人の市となった。

交通機関は東部の台地に明治23年（1890）日本鉄道会社日光線鹿沼駅が開業、市域には昭和4年（1929）、浅草始発の東武日光線が開通し、板荷、北鹿沼、新鹿沼、樅山、楡木の5駅がある。道路は昭和47年（1972）、東北自動車道の鹿沼インターチェンジの開設、近接して北関東自動車道が建設されている。

西部には古峯神社、巴の宿、石裂山、横根山、夕日岳、三枚岩などの前日光県立自然公園があり、中心市街地には今宮神社、鹿沼城跡の御殿山公園、千手山公園などがある。

毎年10月第2土曜、日曜日には今宮神社の付け祭りが盛大に奉納される。平成15年2月20日に国の重要無形民俗文化財に指定され華麗な彫刻屋台、競い合うお囃子で有名な鹿沼ぶっつけ秋祭りの囃子屋台



今宮神社付け祭



上都賀郡役所

が氏子町町内を巡行する。屋台は現在今宮神社氏子町内に27台あり、そのうち13台は江戸時代に造られている。白木造りと黒漆塗彩色のものに分けられる。慶長13年（1608）日照りが続き、今宮神社に氏子や近郷の人々が集まり雨乞いの祭りをしたことが祭りの始まりと伝承されている。最初は「踊り屋台」であったが、文政の改革（1827）・天保の改革（1841）で華やかな風俗が禁止されたため、屋台を全面彫刻で飾るようになった。祭りの見せ場は今宮神社への屋台の繰り込みと繰り出しとなった。ぶっ

つけとは2台以上の屋台が道路上で向かい合いお囃子の競演をすることで屋台をぶっつけ合うことではない。お囃子連の腕の見せ所である。

産業は幕末、横浜貿易が盛んになるとともに当地域でも養蚕と中国へ輸出する朝鮮ニンジンの栽培が盛んになり、麻、薬種、穀物、材木などで巨富を手に入れた。この富を基盤として、明治20年（1887）鈴木要三らにより鹿沼に下野製麻紡績が創立された。明治40年（1907）、北海道製麻、大洋レーヨンを併合して帝国繊維と改称、安田財閥系の製麻独占会社となり、軍関係への製品納入が増えていった。大正8年（1919）には従業員225名が1,081名となり鹿沼を宿場町から工業中心の町へ変化させた。

同時代、古賀志山麗のスギを原料とする線香、麻殻を原料とする懐炉製造、天明鋳物の伝統をひく鋳物工業などの地場産業も栄え、鹿沼箒は大正初年から全国的に販売され、最盛期には年間260万本を出荷したという。

第2次世界大戦後、鹿沼地方は戦災の被害も少なく、東京を中心とした戦災都市復興のための建築材の供給などで、在来の木材・建具工業が急速に発展した。

昭和37年（1962）鹿沼木材工業団地や協同組合が創立され、同43年（1968）茂呂に木工団地が造成された。ついで翌44年深津、上石川、茂呂の一部にまたがる工業団地が完成、同47年（1972）に東北自動車道鹿沼インターチェンジの開設に伴い、東芝、住友電工、富士通、ソニーケミカルなどの大企業が誘致された。

他方農業では米、野菜にイチゴ、コンニャク、カンピョウ、サツキを主とした花木栽培などと多角化し、都市近郊農村化の傾向を強めている。

平成20年（2008）より鹿沼市は「花と緑と清流のまち」、「笑顔あふれる優しいまち」をスローガンにまちづくりを推進している。



今宮神社付け祭



晃望台より市内 日光連山



富士山公園より鹿沼市内

# 目 次

発刊の辞	上都賀歯科医師会 会長 佐川徹三	I
祝 辞	栃木県歯科医師会 会長 柴田 勝	II
	鹿沼市長 佐藤 信	III
	西方町長 古澤悦夫	IV
鹿沼市の沿革		V
第1章 上都賀歯科医師会の軌跡		
イ	歴代会長	2
ロ	歴代役員	4
ハ	上都賀歯科医師会の生い立ち	10
ニ	年 表	
	大正14年～昭和49年	22
	昭和50年～平成20年	220
ホ	事業紹介	
	公衆衛生委員会	288
	調査委員会	300
	学術委員会	315
	医療管理委員会	338
ヘ	データ	
	会員の動向	369
	会員数の推移	380
	会費の変遷	382
ト	エピソード	
	上都賀歯科医師会史聞き取り調査	384
	歯学史エピソード	397
	KDGCについて	400
	プール制について	402
	総務部関係について	404
	調査委員会の創設期と刷掃ビデオ効果の調査について	407
	給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査について	409
	在宅訪問診療の立ち上げと現在について	410
	歯科ドックの立ち上げと現在について	411
	介護認定審査会について	412
	歯周疾患検診について	413
	“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”の立ち上げと現在について	414

	各種検診・2才児教室・新米パパママ学級について	415
	よい歯のコンクールについて	416
	警察官受診優先システムの立ち上げについて	417
	鹿沼地区歯科医師警察連絡会について	418
	県央四郡市歯科医師会合同学術研修会の歩みについて	420
	医政問題「政治について思うこと」	422
	栃木県歯科医師会役職・各種委員	424
第2章	旅行の歩み	438
第3章	私と上都賀歯科医師会	
	寄稿	450
	アンケート	474
第4章	受章(賞)者一覧	480
第5章	参考資料・その他	
	参考図書・引用文献	488
	〔平成22年度 講演会における座談会〕	490
	歯と口とうた(俳句)	496
	歯と口とうた(短歌)	507
	目とうた	514
	葉とうた	515
	蛇足 親とうた	517
	編集後記	519

【題字】村本 明

## 第1章

# 上都賀齒科医師会の軌跡

## イ 歴代会長

---



駒橋 寅春

初代  
(大正14年4月19日～)  
第10代  
(昭和34年4月1日～昭和36年3月31日)



金子 弁明

第2代  
(昭和13年8月15日～昭和15年3月31日)  
第7代  
(昭和28年4月1日～昭和30年3月31日)



岡本 英忠

第3代  
(昭和15年4月1日～昭和17年3月31日)



新島 貫一

第4代  
(昭和17年4月1日～昭和21年3月31日)



茂呂 登

第5代  
(昭和21年4月1日～昭和25年3月31日)



青木達三郎

第6代  
(昭和25年4月1日～昭和28年3月31日)  
第12代  
(昭和40年4月1日～昭和42年3月31日)



福島 茂

第8代  
(昭和30年4月1日～昭和32年3月31日)



福田 利示

第9代  
(昭和32年4月～昭和34年3月)



手塚筆四郎

第11代  
(昭和36年4月～昭和40年3月)



越路 孝七

第13代  
(昭和42年4月～昭和44年3月)



菊地 貞造

第14代  
(昭和44年4月～昭和54年3月)



新島 剛

第15代  
(昭和54年4月～昭和63年3月)



岡本 全宏

第16代  
(昭和63年4月～平成9年3月)



瓦井 昭二

第17代  
(平成9年4月～平成18年3月)



佐川 徹三

第18代  
(平成18年4月～)

## □ 歴代役員

### 鹿沼歯科医師団歴代幹事

年号	月日	西暦	氏名	年号	月日	西暦	氏名
大正14	1.25	1925	新島 貫一・甲田 賢	24	4.25	1949	越路 孝七・川島光五郎
	12.22	1925	青木達三郎・駒橋 寅春	25	4.13	1950	村本 光・畑 二郎
大正15昭和	5.15	1926	市川 政一・岡本 英忠	26	4.11	1951	中条 正臣・新島 剛
昭和2	4.14	1927	中条正左衛門・岸野栄七郎	27	4.12	1952	手塚筆四郎・菊地 貞造
3	4.27	1928	金子 弁明・新島 貫一	28	4.12	1953	石塚要二郎・村本 光
4	4.27	1929	駒橋 寅春・新川 庄一	29	6. 2	1954	梅沢 明・駒橋 秀光
5	4.27	1930	青木達三郎・手塚筆四郎	30	4.30	1955	福田 利示・中条 正臣
6	5.20	1931	中条正左衛門・岸野栄七郎	31	6.15	1956	畑 二郎・金子 公明
7	4.18	1932	岡本 英忠・新島 貫一	32	4.24	1957	梅沢 明・手塚 正教
8	4.10	1933	金子 弁明・駒橋 寅春	33	5.19	1958	福島 茂・青木 道子
9	3.26	1934	手塚筆四郎・新川 庄一	34	5.21	1959	石川 亘・川島光五郎
10	3.25	1935	青木達三郎・岡本 英忠	35	4. 6	1960	菊地 貞造・福田 利示
11	3.27	1936	茂呂 登・中条正左衛門	36	3.30	1961	青木達三郎・畑 二郎
12	5.11	1937	新島 貫一・新川 庄一	37	4.10	1962	金子 弁明・中条 正臣
13	4.25	1938	手塚筆四郎・岸野栄七郎	38	4.27	1963	越路 孝七・村本 光
14	4.18	1939	金子 弁明・駒橋 寅春	39	4.27	1964	福島 茂・岸野 忠明
15	4.22	1940	岡本 英忠・青木達三郎	40	4.15	1965	新島 剛・駒橋 秀光
16	4.10	1941	中条正左衛門・茂呂 登	41	5. 4	1966	手塚 正教・茂呂 允
17	4.10	1942	新川 庄一・新島 貫一	42	4.17	1967	中条 正臣・青木 道子
18	4.10	1943	菊地 貞造・手塚筆四郎	43	4.13	1968	川島光五郎・菊地 貞造
19	4. 3	1944	青木達三郎・岸野栄七郎	44	4.14	1969	青木 道子・福田 利示
20	4.12	1945	駒橋 寅春・岡本英忠 応召のため 福島 茂	45	5.11	1970	越路 孝七・村本 光
21	4.10	1946	金子 弁明・川島信四郎	46	3.30	1971	福島 茂・梅沢 東洋
22	4.10	1947	福田 利示・新川 庄一	47	4.15	1972	岸野 忠明・中条佐智子
23	4.12	1948	新島 貫一・福島 茂	48	3.24	1973	駒橋 秀光・金子 英明
				49	5.29	1974	幹事制度消滅



## 上都賀齒科医師会役職一覧 (S32~S43)

## ■任期 S32.4.1~S34.3.31

支 部 長 福田 利示  
 副 支 部 長 川島光五郎 石川 亘  
 理事(会計) 駒橋 秀光  
 理事(庶務) 畑 二郎 今井 一郎  
 安生 貢 (S32.8.28迄)  
 中田 静嘉

議 長 金子 弁明  
 副 議 長 福島 茂  
 監 事 菊地 貞造 中条 正臣

## ■任期 S34.4.1~S36.3.31

支 部 長 駒橋 寅春  
 副 支 部 長 手塚筆四郎 越路 孝七  
 理事(会計) 岸野栄七郎  
 理事(庶務) 村本 光 矢口 修  
 石川権左衛門

議 長 金子 弁明  
 副 議 長 福島 茂  
 監 事 川島光五郎 畑 二郎

## ■任期 S36.4.1~S38.3.31

支 部 長 手塚筆四郎  
 副 支 部 長 越路 孝七 岸野栄七郎  
 理事(会計) 新島 剛  
 理事(庶務) 駒橋 秀光 鰐原 悦郎  
 石田 酉三 村本 光

議 長 金子 弁明  
 副 議 長 福島 茂  
 監 事 川島光五郎 畑 二郎

## ■任期 S38.4.1~S40.3.31

支 部 長 手塚筆四郎  
 副 支 部 長 菊地 貞造 新島 剛  
 理事(会計) 畑 二郎  
 理事(庶務) 駒橋 秀光 越路 孝七  
 鰐原 悦郎 中田 静嘉

議 長 福島 茂  
 副 議 長 鰐原 悦郎  
 監 事 岡本 英忠 川島光五郎

## ■任期 S40.4.1~S42.3.31

支 部 長 青木達三郎  
 副 支 部 長 菊地 貞造 鈴木 幸雄  
 理事(会計) 村本 光  
 理事(庶務) 畑 二郎 今井 一郎  
 新島 剛 駒橋 秀光

議 長 福島 茂  
 副 議 長 鰐原 悦郎  
 監 事 新島 貫一 駒橋 秀光

## ■任期 S42.4.1~S44.3.31

支 部 長 越路 孝七  
 副 支 部 長 駒橋 秀光 鰐原 悦郎  
 理事(会計) 村本 光  
 理事(庶務) 手塚 正教 矢口 修  
 石川権左衛門

議 長 福島 茂  
 副 議 長 鰐原 悦郎 鈴木 幸雄  
 監 事 金子 弁明 畑 二郎

## 上都賀齒科医師会役職一覧 (S44～S55)

### ■任期 S44.4.1～S46.3.31

支 部 長 菊地 貞造  
 副 支 部 長 鈴木 幸雄 川島光五郎  
 理事(会計) 手塚 正教  
 理事(庶務) 新島 剛 中田 静嘉  
 青木達三郎 鰐原 悦郎  
  
 議 長 福島 茂  
 副 議 長 矢口 修  
 監 事 金子 弁明 福田 利示

### ■任期 S46.4.1～S48.3.31

支 部 長 菊地 貞造  
 副 支 部 長 鈴木 幸雄 川島光五郎  
 理事(会計) 畑 二郎  
 理事(庶務) 村本 光 鰐原 悦郎  
  
 議 長  
 副 議 長  
 監 事 福田 利示 新島 剛

### ■任期 S48.4.1～S50.3.31

支 部 長 菊地 貞造  
 副 支 部 長 鈴木 幸雄 駒橋 秀光  
 理事(会計) 畑 二郎  
 理事(庶務) 金子 英明 石川権左衛門  
  
 議 長  
 副 議 長  
 監 事 福田 利示 新島 剛

### ■任期 S50.4.1～S52.3.31

支 部 長 菊地 貞造  
 副 支 部 長 鈴木 幸雄 駒橋 秀光  
 理事(会計) 新島 剛  
 理事(庶務) 中田 静嘉 鰐原 悦郎  
  
 議 長  
 副 議 長  
 監 事 川島光五郎 手塚 正教

### ■任期 S52.4.1～S54.3.31

支 部 長 菊地 貞造  
 副 支 部 長 鈴木 幸雄 駒橋 秀光  
 理事(会計) 新島 剛  
 理事(庶務) 村本 光 鰐原 悦郎  
  
 議 長  
 副 議 長  
 監 事 中田 静嘉 畑 二郎

### ■任期 S54.4.1～S56.3.31

支 部 長 新島 剛  
 副 支 部 長 駒橋 秀光 川島光五郎  
 理事(会計) 手塚 正教  
 理事(庶務) 中田 嘉之  
  
 議 長  
 副 議 長  
 監 事 鈴木 幸雄 中条佐智子

## 上都賀齒科医師会役職一覧 (S56~H5)

## ■任期 S56.4.1~S58.3.31

支 部 長 新島 剛  
 副 支 部 長 駒橋 秀光 川島光五郎  
 理 事 金子 智英 岡本 全宏  
 理事(会計) 中田 嘉之  
 理事(庶務) 村本 明

議 長 福島 茂  
 副 議 長  
 監 事 鈴木 幸雄 中条佐智子

## ■任期 S58.4.1~S60.3.31

支 部 長 新島 剛  
 副 支 部 長 駒橋 秀光 岡本 全宏  
 理 事 金子 智英 小高 章愛  
 理事(会計) 中田 嘉之  
 理事(庶務) 村本 明

議 長 菊地 貞造  
 副 議 長  
 監 事 鈴木 幸雄 福田 利示

## ■任期 S60.4.1~S63.3.31

支 部 長 新島 剛  
 副 支 部 長 駒橋 秀光 岡本 全宏  
 理 事 金子 智英 (S62.3.31辞任)  
 小高 章愛  
 理事(会計) 中田 嘉之  
 理事(庶務) 村本 明 菊地 香  
 瓦井 昭二 田辺 章(S62.4.1)

議 長 菊地 貞造  
 副 議 長 鰐原 悦郎  
 監 事 鈴木 幸雄 福田 利示

## ■任期 S63.4.1~H3.3.31

支 部 長 岡本 全宏  
 副 支 部 長 小高 章愛 村本 明  
 理事(専務) 菊地 香  
 理事(総務) 瓦井 昭二  
 理 事 田辺 章 佐川 徹三  
 鈴木 節雄 菊地 均

議 長 福田 利示  
 副 議 長 新島 剛  
 監 事 菊地 貞造 鈴木 幸雄

## ■任期 H3.4.1~H6.3.31

支 部 長 岡本 全宏  
 副 支 部 長 小高 章愛 村本 明  
 専 務 理 事 菊地 香  
 総 務 理 事 瓦井 昭二  
 理 事 田辺 章 (公衆衛生委員会担当)  
 佐川 徹三 (学術委員会担当)  
 菊地 均 (医療管理委員会担当)  
 鈴木 節雄 (調査委員会担当)  
 田代 高志 (庶務)  
 狐塚 行弘 (会計)

監 事 新島 剛 畑 二郎  
 議 長 福田 利示  
 副 議 長 鰐原 悦郎

## 上都賀齒科医師会役職一覧 (H6～H17)

### ■任期 H6.4.1～H9.3.31

支 部 長 岡本 全宏  
 副 支 部 長 瓦井 昭二 狐塚 行弘  
 専 務 理 事 佐川 徹三  
 総 務 理 事 田辺 章  
 庶 務 理 事 田代 高志  
 会 計 理 事 石崎 誠  
 理 事 菊地 均 (医療管理委員会担当)  
 新島 康夫 (学術委員会担当)  
 駒橋 一永 (調査委員会担当)  
 大貫 真裕 (公衆衛生委員会担当)  
 監 事 新島 剛 畑 二郎  
 議 長 福田 利示  
 副 議 長 鰐原 悦郎  
 役員待遇 小高 章愛 村本 明  
 菊地 香 鈴木 節雄

### ■任期 H9.4.1～H12.3.31

支 部 長 瓦井 昭二  
 副 支 部 長 狐塚 行弘 佐川 徹三  
 専 務 理 事 菊地 均  
 総 務 理 事 田代 高志  
 庶 務 理 事 石崎 誠  
 会 計 理 事 鈴木 裕之  
 理 事 新島 康夫 (調査委員会担当)  
 駒橋 一永 (公衆衛生委員会担当)  
 大貫 真裕 (学術委員会担当)  
 木村 立男 (医療管理委員会担当)  
 監 事 新島 剛 岡本 全宏  
 議 長 鰐原 悦郎  
 副 議 長 小高 章愛  
 顧 問 福田 利示  
 役員(社保審査委員) 村本 明  
 役員(代議員) 田辺 章

### ■任期 H12.4.1～H15.3.31

会 長 瓦井 昭二 (H12.10.1より支部長→会長)  
 副 会 長 狐塚 行弘 佐川 徹三  
 専 務 理 事 菊地 均  
 総 務 理 事 田代 高志  
 庶 務 理 事 石崎 誠  
 会 計 理 事 鈴木 裕之  
 理 事 大貫 真裕 (公衆衛生委員会担当)  
 木村 立男 (医療管理委員会担当)  
 相馬 英人 (調査委員会担当)  
 畑 健一 (学術委員会担当)  
 監 事 新島 剛 岡本 全宏  
 議 長 鰐原 悦郎  
 副 議 長 小高 章愛  
 顧 問 福田 利示  
 役員(社保審査委員) 村本 明  
 相 談 役 小林 幹夫

### ■任期 H15.4.1～H18.3.31

会 長 瓦井 昭二  
 副 会 長 佐川 徹三 菊地 均  
 専 務 理 事 田代 高志  
 総務兼会計理事 鈴木 裕之  
 理 事 大貫 真裕 (公衆衛生委員会担当)  
 木村 立男 (医療管理委員会担当)  
 相馬 英人 (調査委員会担当)  
 畑 健一 (学術委員会担当)  
 監 事 岡本 全宏 村本 明  
 議 長 鰐原 悦郎  
 副 議 長 小高 章愛  
 顧 問 新島 剛  
 役員(国保審査委員) 狐塚 行弘  
 顧問(医政担当) 小林 幹夫

---

 上都賀歯科医師会役職一覧 (H18~H22)

## ■任期 H18.4.1~H21.3.31

会 長	佐川 徹三
副 会 長	菊地 均 大貫 真裕
専 務 理 事	田代 高志
総 務 理 事	鈴木 裕之
会 計 理 事	畑 健一
庶 務 理 事	鈴木 定幸
理 事	木村 立男 (医療管理委員会担当)
	相馬 英人 (公衆衛生委員会担当)
	福島 隆夫 (調査委員会担当)
	小川 哲弥 (学術委員会担当)
監 事	村本 明 越路 昭夫
議 長	中田 嘉之
副 議 長	瓦井 昭二
顧 問	新島 剛 鰐原 悦郎
顧問(医政担当)	小林 幹夫

## ■任期 H21.4.1~H23.3.31

会 長	佐川 徹三
副 会 長	菊地 均 大貫 真裕
専 務 理 事	田代 高志
総 務 理 事	鈴木 裕之
会 計 理 事	畑 健一
庶 務 理 事	鈴木 定幸
理 事	相馬 英人 (公衆衛生委員会担当)
	福島 隆夫 (調査委員会担当)
	小川 哲弥 (学術委員会担当)
	駒橋 武 (医療管理委員会担当)
監 事	村本 明 菊地 香
議 長	中田 嘉之
副 議 長	瓦井 昭二
顧 問	新島 剛 茂呂 允
顧問(医政担当)	小林 幹夫

## ハ 上都賀歯科医師会の生い立ち



小野重三郎

本会で最初に歯科診察を始めたのは、鹿沼町久我出身の小野重三郎である。小野は午前4時起床、外はまだ漆黒の闇石裂山の沢から流れ出た荒井川ぞいの馬車道をひたすら加園村迄歩く。加園宿から御幣岩橋を渡り鹿沼町を目指す。空が白んだ頃省線鹿沼駅への急坂にさしかかる。ここから明治23年(1900)に開通した日光線の軌道を歩き砥上駅(明治36年鶴田駅に移転)を経由、滝の原の宇都宮中学に着く。

放課後、今朝きた道を列車に乗らず徒歩で久我迄帰る。家に着く頃はとつぷりと暮れている。この様に通学し卒業後、神

田小川町の東京歯科医学院(後の東京歯科医学専門学校)に進学した。

当時授業は午後6時から9時までが講義時間、修養年限は2ヶ年で4月1日から翌年3月21日迄であった。授業料は1円50銭、実習費10銭、昼は授業料を捻出する為仕事に励み、2年の修養後、医術開業学説試験医術開業実地試験に合格した。明治36年5月26日第704号の免状を得て今宮神社東上都賀郡役所、警察署そばの鹿沼町1699番地に開業した。明治41年10月27日、栃木県歯科医師会設立認可に尽力し、初代会長大根田國吉のもと理事に就任した。その後宇都宮、下都賀郡石橋町に移転、大正8年県歯会長に就任した。

その頃中央では、明治36年(1903)大日本歯科医会が11月27日東京京橋の地学協会において発足した。同年医師の団体である帝国聯合医会が医師法案を成立させた。その法案中に「歯科医ニハ本法ノ規定ヲ適用セス」とすることが挿入された。

こうした一連のながれの中で歯科医師会は、多数の従来家あるいは入歯、歯抜、口中療治営業者などに圧倒されながら歯科医師法制定に対応する必要にせまられた。

明治39年(1906)高山紀斉会長は、独自の歯科医師法案を作成することとし、廣瀬武郎に起草を委嘱し、医師法案の起草立案で経験をもつ岡田朝太郎法学博士の教示を受け約半ヶ月で作った。3月17日、この法案は衆議院本会議に上程され、3月22日に一部修正の上、可決され、3月26日貴族院本会議でも可決成立というスピードぶりだった。そして5月1日歯科医師法(法律48号)で交付された。同年11月17日内務省令34号で歯科医師会規則が定められ、これを元にして各都道府県に歯科医師会や郡市歯科医師会が設立されることになった。第2条に「設立セントスルトキハ10人以上発起人トナリ、会則ヲ作り」とあり、本県も当時13人名の発起人で栃木県歯科医師会を立ち上げた。

当時の都道府県別の人数は右記の通りである。

明治39年(1906)大日本歯科医師会発行の歯科医籍によると、栃木県の13名は免状順に、青山清三郎、大根田國吉、牧鍵一郎、大垣鈴次郎、佐藤岩吉、森谷長谷治、本山幸三郎、秋草泰三郎、宮原武二郎、白井直蔵、遠藤為吉、須賀健之助、小野重三郎である。しかしこの歯科医籍は内務省の原簿を元に印刷されたにもかかわらず誤りが多く、あまり利用されなかったようだ。

明治41年(1908)10月27日県知事より認可され、栃

鹿 児 島	大 分	福 岡	香 川	島 根	岡 山	京 都	滋 賀	富 山	三 重	静 岡	東 京	群 馬	福 島	岩 手	北 海 道	明 治 三 十 九 年
七	一	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
六	六	五	七	六	三	九	六	四	八	六	一	五	三	一	一	
沖 繩	熊 本	佐 賀	愛 媛	山 口	大 阪	和 歌 山	石 川	新 潟	愛 知	神 奈 川	千 葉	茨 城	宮 城	青 森		
二	一	一	一	一	四	七	七	三	三	二	二	一	三	四	五	
〇	〇	〇	七	四	九	七	七	三	三	二	二	一	三	四	五	
計	宮 崎	長 崎	高 知	徳 島	廣 島	兵 庫	奈 良	福 井	長 野	岐 阜	山 梨	埼 玉	栃 木	栃 木	秋 田	
七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
〇	六	〇	七	四	九	七	七	三	三	二	二	一	三	四	五	
七	〇	六	〇	七	四	九	七	七	三	三	二	二	一	三	四	
七	〇	六	〇	七	四	九	七	七	三	三	二	二	一	三	四	
七	〇	六	〇	七	四	九	七	七	三	三	二	二	一	三	四	
七	〇	六	〇	七	四	九	七	七	三	三	二	二	一	三	四	



駒橋 寅春

木県歯科医師会が正式に発足した。初代会長大根田國吉、副会長森谷長谷治、理事大垣鈴次郎、小野重三郎、青山清三郎の布陣である。

次に開業したのは駒橋寅春である。当家の祖は福島県西白河郡泉崎村大字関和久高上町、関和神社宮司で同職を三十余代も務めている旧家名門の家柄である。父駒橋亘、母フジの四男に生まれ、東京歯科医学専門学校で学んだが中退ののち、医術開業歯科試験に大正2年(1913)10月6日及第し、免状第1800号を得た。同年11月8日柳田商店の一角を借り、駒橋歯科医院を開業した。昭和2年(1927)7月8日現在地1608番地-2に新築上棟した。

大正4年(1915)の歯科学報(第20巻第10号)によると小野重三郎はすでに宇都宮市池上町に移転している。当時上都賀郡鹿沼町は人口14,176人で歯科医師数は1人。駒橋寅春のみである。当学報の目次

として野口英世博士の帰朝、同博士の滞在日程及び血脇守之助氏晩餐会等がある。

[血脇守之助と野口英世のエピソード]

血脇は高山歯科学院(現東京歯科大学)在学中、明治26年(1893)頃、高山紀齋院長の信任厚く、学生でありながら、学院の運営をとりしきる幹事をまかされていた。明治29年(1896)守之助は会津若松へ出張診療に出向き、野口清作(英世)と出会う。野口は同年10月守之助をたより上京した。彼は野口を学院の書生として雇ってもらおうつもりであったが、高山院長に書生は不要といわれ、内緒で寄宿舎に住ませ、医学の勉強をさせた。

翌30年(1897)野口は医師免許を取得した。同年10月野口は守之助の世話で学院の病理学と薬物学の講師になった。野口は有頂天になり、日々遊興にうつつをぬかした。この時野口を目覚めさせたものは坪内逍遙の「当世書生氣質」(明治18年)だった。破廉恥な放蕩医学生、主人公の野々村精作はまるで自分がモデルかと驚いた。これを機会に英世と改名したのは翌31年(1898)夏のことである。

明治40年(1907)大日本歯科医会は解散することなく日本聯合歯科医会と名称変更した。同会は医師と歯科医師の業務の範囲が明示されていないため歯科医師法の改正をくりかえし陳情していた。その内容は

1. 歯科は医学上口腔外科の一部にして眼科、耳鼻咽喉科と同じく医科の範囲に属するものとす。
1. 歯科医師の免許をうけたる者は唯歯科医たるに止まり普通の医業を為すことを得ざるも之に反して普通医師の免許を有するものは当然歯科医業を為すことを得。

これを改正するのに9年の才月を要した。

上記の2項目はなぜか将来の歯科界を暗示している様

大正四年ノ調査次ノ如シ

富山縣	一八	石川縣	一八
島根縣	一三	鳥取縣	一一
廣島縣	六〇	岡山縣	五七
和歌山縣	三五	山口縣	四三
香川縣	一八	徳島縣	一六
高知縣	一六	愛媛縣	二七
大分縣	二七	福岡縣	一一
熊本縣	一一	佐賀縣	一一
鹿兒島縣	二二	宮崎縣	一一
北海道	三六	神奈川縣	一五
北陸道	二二	新潟縣	三三
朝鮮	一八	山梨縣	一五
樺太	一	青森縣	一五
秋田縣	一八	岩手縣	一〇
計	二二〇九	福島縣	一〇

○一ヶ年前ニ齒科醫師トナルモノノ數 約五百名ナリ

◎各府縣齒科醫師數 大正四年六月現在

東京府	四七二	神奈川縣	七〇
大阪府	一一七	長崎縣	二八
兵庫縣	一〇八	埼玉縣	三三
新潟縣	五六	千葉縣	三三
群馬縣	三二	栃木縣	四二
茨城縣	二七	三重縣	二七
奈良縣	二二	滋賀縣	二七
愛知縣	九〇	静岡縣	五二
山梨縣	一〇	長野縣	五二
岐阜縣	二四	福島縣	一〇
岐阜縣	二五	山形縣	一〇
富山縣	一三	福島縣	一〇
岩手縣	七八	福島縣	一〇

二、廣ノ指定齒科醫學専門学校卒業者 二百四十六名  
齒科試験合格者 二百七十七名  
計 五百二十三名

(日本歯科医師会史 第1巻)

にも思える。

大正5年(1916)8月9日法律第44号で公布された。その時に提出された改正案の参考資料と成立した改正案である。

大正4年(1915)6月現在歯科医師数は2109名、栃木県内は31名、同年12月15日の調査によ

ると、明治31年(1898)歯科医師法が制定されてから約9年経って入歯、歯抜、口中療治等の免状を有するものは3000人程いたが、取締にあつて約600名に減少している。上都賀郡にも鹿沼町495番地に口中科医として大貫常三郎の名が日本杏林要覧(明治42年後編口中科医籍)に掲載されていた。

その後本会では次々と開業が続いた。開業順に記す

#### 新島 貫一

父藤吉氏は下都賀郡間々田村字栗宮の出身で鳶職や消防組の組頭をつとめていた。住所が近かった小野重三郎と懇意にしていた。貫一は私立上都賀学館(明治36年高山角造が設立。のち郡立農学校、鹿沼農商学校の前身)を中退し、下野中学に進み、宇都宮市の小野家に下宿し通学していた。その日常を見聞き影響を受けたのか卒後日本歯科医学専門学校に進学。大正6年(1917)9月26日第3829号の免状を得て、同年10月1日今宮神社東鹿沼町1700番地に開業した。

#### 大越 筆

下都賀郡国分寺村小金井出身で日本歯科医学専門学校を卒業後大正6年(1917)9月21日第3822号の歯科医籍を取得、同年11月清林寺の北、現大野医院所在地である鹿沼町1915番地に開業した。8年間本会に在籍し、同14年(1925)4月1日、突然小金井に帰郷した。

#### 岡本 英忠

上都賀郡北押原村大字上殿の出身で岸野家の長男、岡本家と養子縁組、東京歯科医学専門学校卒業後、大正4年(1915)11月4日第2735号の歯科医籍を取得し、大正6年(1917)12月1日現在地鹿沼町1359番地1に開業。同14年(1925)4月24日鹿沼町町会議員選挙に見事当選。同年7月現診療所を新築落成す。

#### 市川 政一

大正4年(1915)東京歯科医学専門学校卒業、第2758号の免状を得て青森県黒川町に開業。大正9年(1920)鹿沼町1836番地鹿沼座(芝居小屋のち鹿沼映劇)の西に開業した。8年間本会在籍後昭和3年(1928)5月16日借生まれつつ北海道に転居、同業者全員で夜9時過ぎの列車を省線鹿沼駅で見送った。

#### 中条正左衛門

宮城県栗原郡長岡村荒谷の出身で大正10年10月13日開業。歯科実地試験合格。第7102号の免状を得、同10年(1921)11月1日鹿沼尋常小学校(現中央小)北側の現在地1622番地に開業した。

#### 金子 弁明

上都賀郡落合村大字長畑の出身で、大正9年(1920)9月歯科医術開業学説試験に合格。同10年

法律四十四号  
 歯科醫師法中ノ通改正ス  
 第一條第一號中「齒科醫學校」ヲ「齒科醫專學校」ニ改ム  
 第十一條左ノ一項ヲ加フ  
 醫師ニシテ特ニ内務大臣ノ許可ヲ受ケステ齒科専門ヲ標榜シ又ハ齒科醫業中金屬充填 鑲嵌 義齒 齒冠 鑲積及 架工 齒列矯正 並ニ口蓋補綴ノ技術ニ屬スル行爲ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ  
 附 則  
 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 本法公布前一年以上齒科専門ヲ標榜シ引續キ齒科醫業ヲ爲ス醫師ニ對シテハ第十一條第二項ノ規定ヲ適用セス  
 ◎齒科醫師ノ數  
 大正四年十二月十五日調査ニヨリ次ノ如シ  
 齒科醫專學校卒業者 八百八十一名  
 齒科試驗合格者 二千六十六名  
 (内 實地試驗及第者及履歷ニヨリ開業免狀ヲ得タルモノ 二十名ヲ含ム)  
 内 死亡者百五十四名  
 計 一千七百九十三名  
 但シ未ダ免狀ヲ有セザルモノ又ハ開業セザルモノノ少ナカラズ  
 外ニ從來開業者(入歯 齒抜 口中療治等ノ免狀ヲ有スルモノ) 約六百名



(1921) 4月同実地試験に合格後、横浜市太田歯科医院に勤務研修した。同10年10月26日第7155号の免状を得、同年11月7日好美館の東側鹿沼町1609番地-2に開業した。

#### 岸野栄七郎

上都賀郡北押原村大字神殿出身で岸野家の四男(岡本英忠の弟)として生まれ、大正10年(1921)年12月22日第7375号の免状を取得。兄の岡本歯科医院に勤務、翌11年(1922)3月20日粟野町886番地に開業。4年後の大正15年(1926)5月吾妻町(現銀座一丁目)1874番地に移転した。

#### 青木達三郎

塩谷郡阿久津村大字上阿久津の出身で、大正10年(1921)7月30日東京歯科医学専門学校卒業、翌11年(1922)1月26日第7399号の歯科医籍を取得、山口県下関市の山成歯科医院に勤務、研修を積んで同11年(1922)7月30日鹿沼町1019番地(現下田町)に開業した。翌12年(1923)2月鹿沼町1297番地(現仲町)に移転した。青木は鹿沼キリスト教会の創立者でもある。開業する一週間前に挨拶に回った時の各人に対する酒脱な寸評が日記に残されている。

大正11年(1922)年7月24日



今朝は同業者を回って歩いた。近所の岡本さんから駒橋さんに行く。

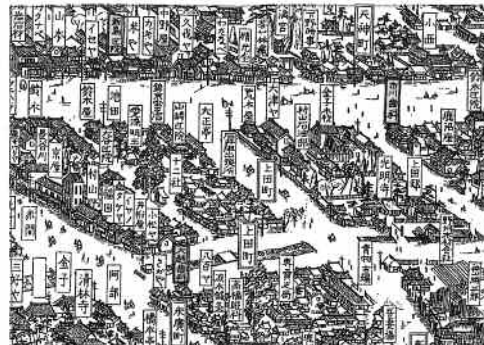
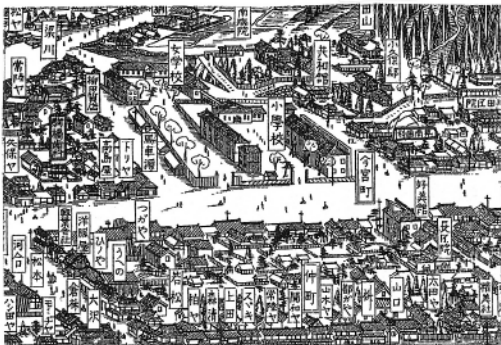
岡本さんの家はいい家であった。

駒橋さんはわかりにくい所であったが門のついた奥深い家である。

金子さんは若い美しい奥さんらしい人が雨戸を開けていたが、御当人はまだ寝ていた。この人は若く書生つぼさの抜けぬような人である。

この3人は本当に気持のいい人たちだった  
岡本さんは兄さんのような気がして…  
駒橋さんは学校の教師のような気もした。  
両人とも親切に色んな事を教えてくれた。

「栃木県上都賀郡鹿沼町実景」の一部 大正9年(1920)11月22日刊行



中条さんは50年配の人であるが無頓着らしい人である。

新島さんはまだ寝ていたが広い家であった。

市川さんは東歯出の人だとか患者が一人いた。

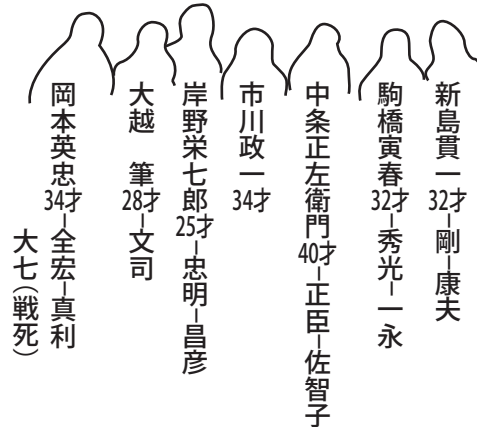
大越さんは家と共に品のよい人である。

2万足らずの町に8人の歯科医は多すぎると思った。

当時の鹿沼町の人口は18,096人



大正11年（1922）頃の温泉地でのスナップ写真である。当時の先生方ほとんど口髭をたくわえている。



つぎに大正14年（1925）末迄の会員の動向は次の通りである。

大正12年（1923）11月 甲田賢二、鹿沼町1913番地に開業

大正14年（1925）1月15日 安生貢、南押原村楡木324番地に開業

大正14年（1925）3月31日 突然大越筆、国分寺村小金井に帰郷

大正14年（1925）11月25日 甲田賢二上京

この様に鹿沼町に移動はあるものの9名の同士が開業したため郡歯科医師会設立の気運が高まった。駒橋が日光町、今市町方面の同士を勧誘した。

大正14年（1925）3月17日

鹿沼歯科医師団（駒橋寅春、新島貫一、大越筆、岡本英忠、市川政一、中条正左衛門、金子弁明、岸

野栄七郎、青木達三郎)を中心に上都賀郡歯科医師会設立にむけ石橋町梅月にて親睦会を開催。日光より山本千代松、橋口近義、今市より湯沢菊四郎、和知末広を招いた。13名出席し、会費は4円であった。

同年4月1日、大越筆、国分寺小金井へ帰郷。そして4月19日上都賀郡歯科医師会発会式兼第1回総会を上都賀郡役所において開催した。



上都賀郡役所  
明治17年(1884)落成。正面に猿頬石  
大正15年(1926)7月1日廃止

#### 臨席者

栃木県衛生 課長 斎藤 俊雄  
上都賀 郡長 相馬三次郎  
上都賀郡医師会長 小林公四郎

会 長 駒橋 寅春  
副会長 湯沢菊次郎  
理 事 市川 政一、中条正左衛門、金子 弁明  
山本千代松、橋口 近義

○上都賀郡歯科医師会発会式兼総会 栃木縣の同会は豫て設立申請中の處這般認可せられたるを以て四月十九日午前十時より栃木縣上都賀郡役所樓上に發會式を開催、會代表者の挨拶に次ぎ、栃木縣衛生課長、上都賀郡長、上都賀郡醫師會長の祝辭あり、午後一時より第一次總會を開き。

一、設立費承認の件  
一、役員選舉  
一、庶務及會計規定制定の件  
一、豫算及料金規定制定の件  
一、議事規定制定の件  
等至極圓滿裡に可決終了。午後五時より梅月樓に祝宴を催し主客十二分の觀を盡し、それより御殿山公園に花見を洒落込み和氣満々午後十時散會せり。

因に役員選舉の結果左の諸氏當選せられたり。

會長 駒橋寅春 副會長 湯澤菊四郎 理事 市川政一  
中條正左衛門 金子辨明 山本千代松 橋口近義

上都賀郡歯科医師会設立に協力した日光町、今市町の各先生の経歴は次の通り。

#### 橋口 近義

鹿児島県大島郡實久村大字俵の出身で日本大学専門部歯科を卒業後、歯科医術開業試験に合格。大正11年6月22日第7718号の免状を得て、東京市京橋区に開業、同時に深川区に分院設置。翌12年(1923)日光電気精銅所病院歯科部主任として勤務。昭和2年(1927)4月30日日光町大字日光2261番地に開業、同5年(1930)8月1日日光町字清滝246番地に移転した。

#### 山本千代松

上都賀郡日光町大字所野の出身で、東洋歯科医学専門学校卒業後、東京市渋谷に開業。大正9年(1920)5月15日歯科医籍第5599号を得て、同年(1920)5月25日、日光町411番地に開業。昭和3年(1928)11月15日、日光町下鉢石町992番地に移転。

### 湯沢菊四郎

上都賀郡加蘇村大字上久我出身で東京歯科医学医学専門学校卒業後医術開業実地試験に合格し、大正4年(1915)11月15日、第2795号の免状を得て、宇都宮市池上町の小野歯科医院に勤務。大正5年(1916)8月21日今市町490番地に開業。

### 和地 末広

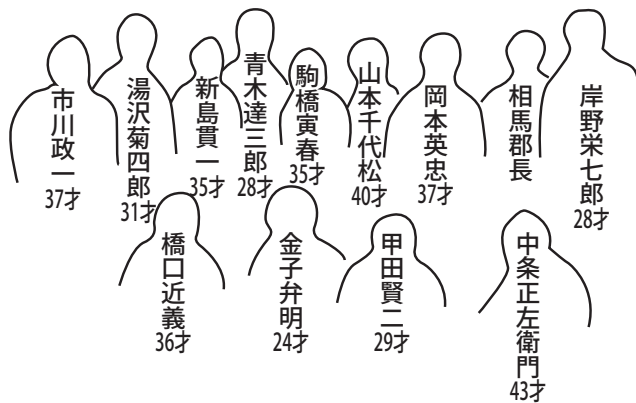
福島県棚倉出身で大正14年(1925)東京歯科医学専門学校卒業後、歯科医籍を得て鹿沼町の駒橋歯科医院に勤務。研修中。(駒橋寅春の妻の妹の夫で、長女は石川巨夫人、三女は駒橋賢司夫人、本会員武の祖父)今市町の田野井重男(のちの県歯第15代会長)の個人的事情により、田野井歯科で代診をしていた。大正14年(1925)4



月上都賀歯科医師会設立後の7月故郷の福島県棚倉にもどった。



於 梅月楼



大正14年4月13日、歯科医師会法改正が法律第45号で公布された。この法律で特筆すべきは1.非歯科医師の診察所開設は命令をもって定めること。1.学位称号、専門科名以外、技能医療、経歴に関する広告の禁止。1.歯科医師は道府県歯科医師会を設立すること。1.道府県歯科医師会は日本歯科医師会を設立すること等である。

今迄日本聯合歯科医師会は中央にあったが、地方には会が各道府県単位の全て存在していたわけではなく、郡市単独の会のものもあって、求心性は余りなかった。

上都賀郡歯科医師会はこの法律に基づいて設立され、そして誕生した。

資料1

**各医大家の投票募集 (30・2・27)**

吾人の身体生命は医士の手の中に存する者多し故に其名医大家を選びて治療を請ふは患者に取りて最も必要の事なるに世人往々其撰択を誤り貴重の生命を害ふものなきにあらず我が下野新聞は聊か茲に感ずる所あり県下各市郡毎に内科、外科、眼科、産科、齒科の五大家の投票を募り地方至る処の患者か良医撰択の標的となさんとす

一投票せんと欲する者は其市郡内に於ける各科良医の姓名を記入して本社に送附すべし

一投票用紙は必ず本紙の欄外に在かものを用ふべし

一投票ノ切は四月二日とし同七日を以て発表する事

但し其得票数は一週二回を限り発表すべし

**名医大家投票募集披露 (30・2・27)**

**宇都宮 (三月二十九日正午迄分前掲合計)**

内科之部	百六十八票 中山 忠亮	百 八票 梶川久馬四郎
	七十七票 島貫敏太郎	六十九票 神野勇三郎
	六十九票 中里福次郎	五十四票 井上 植造
外科之部	四百二十三票 神野勇三郎	四十五票 岡田千次郎
	三十一票 佐藤 繁次	三十票 井上 植造
	二十六票 吉永峯三郎	二十三票 平松 浮之
産科之部	二百三十七票 佐藤 繁次	百二十一票 石川 玄良
	七十四票 藤岡他幾男	三十一票 中山 忠亮
	十九票 島貫敏太郎	十六票 永井 文齋
眼科之部	二百一票 梶川久馬四郎	百七十五票 渡邊甚三郎

内科之部	二百三十二票 吉田 薫	五十七票 渡邊豊次郎
	五十七票 木村 栄三	四十一票 稻見 正英
眼科之部	二百一十七票 大垣藤次郎	百二十二票 大根田國吉
	三十三票 大木★重郎三	二十九票 五十嵐政吉
	二十七票 宮島仙次郎	十九票 佐藤 繁次
上都賀郡 (三月二十六日正午迄分前掲合計)		
内科之部	二百十四票 新名 友作	四十票 大野 昇仙
	三十票 金子學三郎	十四票 五十嵐道純
	十一票 五十嵐貞之助	十四票 石川 玄伯
外科之部	二百四十二票 木村増太郎	二十四票 大野 昇仙
	二十一票 新名 友作	十六票 金子學三郎
	十票 高野 健助	十一票 五十嵐貞之助
産科之部	百六十六票 酒井 潔	二十八票 石川 玄伯
	十六票 関根 倉治	十二票 吉田 良知
	十一票 大月 隆庵	十票 長 清重
眼科之部	百五十九票 新名 友作	三十四票 大野 昇仙
	二十四票 廣田 栄吉	十七票 山口 文嘉
	八票 金子學三郎	七票 関根 倉治
齒科之部	二十三票 久半 長陸	十五票 勝間 仙吉
	十一票 森本万太郎	六票 金子 廣作

資料2

**塩谷郡 (三月二十五日正午迄分前掲合計)**

内科之部	三十二票 雫井 香橋	十票 斎藤 欽哉
	三票 藤田 定吉	四票 五十嵐良禎
外科之部	十三票 五十嵐良禎	十二票 青木 信哉
	五票 青木初太郎	三票 渡辺 遠伯
	三票 鈴木 火市	四票 藤田 定吉
産科之部	四票 渡邊 遠伯	三票 鈴木 火市
眼科之部	七票 阿久津 均	五票 藤田 定吉
齒科之部	一票 青木初太郎	一票 塩野謙三郎
下都賀郡 (三月十六日正午迄分前掲合計)		
内科之部	百八票 石塚 玄良	九十五票 楳原幸三郎
	七十票 浅野虎三郎	二十七票 長屋 厚
	十九票 柳澤 直節	十票 宮田 盛一
外科之部	七十四票 浅野虎三郎	五十九票 石塚 玄良
	二十四票 宮島仁三郎	二十一票 長野 栄三
	十八票 長屋 厚	十三票 手塚 賢
産科之部	四十九票 眞先秀太郎	四十四票 宮田 盛一
	二十三票 石塚 玄良	十七票 歳藤 祐太
眼科之部	九十五票 柳澤 直節	六十六票 遠藤 貞三
	十九票 石塚 玄良	十三票 柏戸 良澤
齒科之部	四十票 青山清三郎	二十票 森谷長谷次

下野「世相」100年

安蘇郡（三月廿五日正午迄分前掲合計）

内科之部		外科之部		産科之部		眼科之部		齒科之部	
百七票	秋山 金也	百五票	斎藤常五郎	九十九票	榎貝幸三郎	九十一票	見川 泰雲	二百四十八票	斎藤常五郎
八十四票	清水 武文	五十一票	清水 龍蔵	七〇二票	清水 武文	三十九票	清水 龍蔵	三十二票	秋山 金也
二十二票	見川 泰雲	十七票	吉岡 耕作	三十七票	秋山 金也	十九票	原田 適	百一十一票	永島 秀吉
				百七十六票	吉岡 耕作	百票	大久保守夫	十二票	原田 適
				五十三票	清水 龍蔵	二十四票	赤井 隆遷		
								六十票	小田切孫平
								二十九票	見川 泰雲
								十五票	見川 泰雲
								十二票	秋山 金也

下野「世相」100年

明治30年2月27日下野新聞が実施した県下各市郡部毎の内科・外科・眼科・産科・歯科の「名医大家投票」の約1ヶ月後の結果である。

歯科之部では、宇都宮に明治41年10月27日栃木県歯科医師会初代会長に就任した大根田國吉、第二代会長の大垣鈴次郎、下都賀郡に初代副会長の森谷長谷次、理事の青山清三郎の名がある。

上都賀郡地区の歯科之部の4名は、上都賀郡市医師会史にも当時の歯科医籍録にも掲載されておらず、たぶん、入歯、歯抜、口中療治営業者と推察される。

医師では、西方村金崎宿の五十嵐道純・貞之助父子、鹿沼町石川村の石川玄伯、足尾町の大月隆庵、金子学三郎、鹿沼町上田町の大野昇仙、鹿沼町今宮町晃南病院創始者の木村増太郎、鹿沼町麻苧町の広田栄吉、久保町の長 清重、鹿沼町の由田良知、日光町の高野健之助、山口丈喜等の名が見られる。

安蘇郡では、内科、外科、眼科、歯科之部に植野村（現佐野市）の見川泰雲がノミネートされている。那須の山医者で作家でもある鯛山（本名泰山）の祖父である。

この催しについては、宇都宮市史の第4章「医療と衛生」にも、歯科はまだ分離不完全の状態にあり、一人で内科・外科・産科・歯科をこなしていたことである。と記されている。

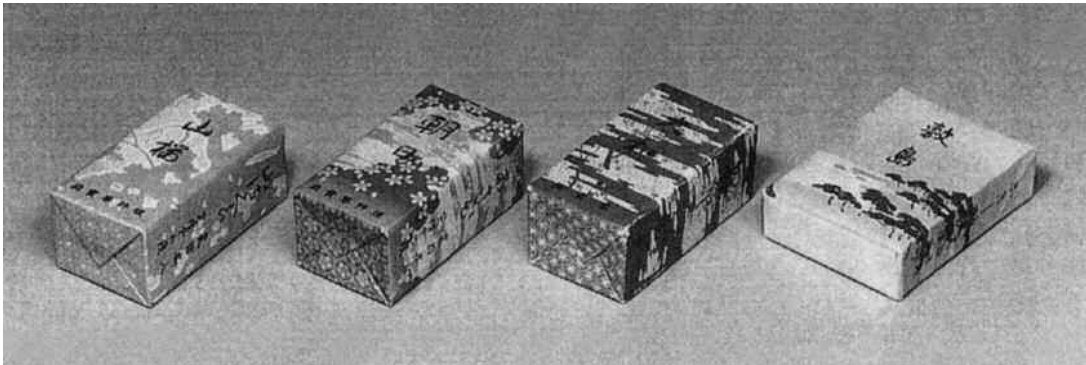
栃木県に残されている歯科関係の史料としては、最も古い史料と思われ、小野重三郎もこの時点ではまだ鹿沼町に開業していない。

## ◎物価

## ・タバコ

明治37年、日露戦争の戦費調達のため、製造タバコの専売制が実施され、たばこの官営時代が始まった。

大蔵省煙草専売局は江戸時代の著名な国学者、本居宣長の和歌（敷島の大和ごころを人間はば朝日に匂う山桜花）から4種類の口付き紙巻きたばこのブランドをつくった。敷島、大和、朝日、山桜である。定価は20本入で8銭、7銭、6銭、5銭である。



「山桜」「朝日」「大和」「敷島」

当時大工の1日あたり賃金が59銭、一日働いて「朝日」が10箱買えるだけで相当高額であった。

この4ブランドのうち、山桜は3年、大和が20年、敷島が39年の寿命となったが、朝日は昭和51年（1976）まで製造が続けられ72年もの長寿を誇るロングセラーとなった。尚専売制は昭和60年（1985）まで続いた。

- ・ゴールデンバットは明治39年（1906）に清国輸出用として作られた。バットはこうもりで、清国では幸運を呼ぶシンボルであった。当初定価は4銭で平成18年（2006）現在150円と安価である。



ゴールデンバット（10本）明治39年～ 4銭～

大正14年～昭和49年

---

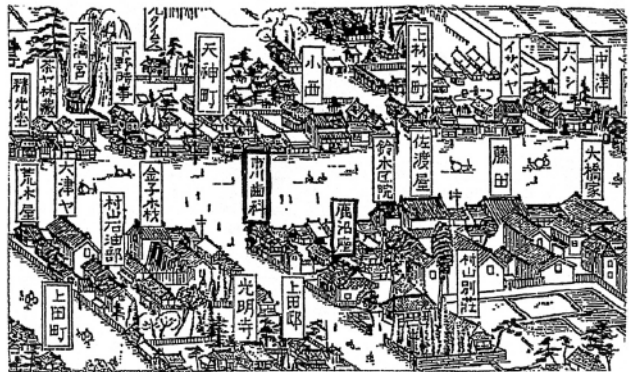
年 表



## 二年表

### ■大正14年 (1925)

- 1月15日 幹事、甲田賢二、新島貫一、仲町新道大沢楼に於て医師団と合同の新年宴会を開催す。来賓として相馬郡長出席、盛会裡に午後10時散会せり。の書き出しで始まるB5版のノート、鹿沼歯科医師団記録（以下記録）第一号が残されている。この記録を元に上都賀郡歯科医師会史を忠実にたどってみる。
- 20日 日光町橋口近義よりライオン歯磨の口腔衛生宣伝部活動写真を鹿沼において開催依頼あり。近く郡歯科医師会設立の運びなので、郡の事業として実施する旨橋口に返信する。
- 3月 下野中央銀行鹿沼支店設立  
県立鹿沼高等女学校設立認可
- 12日 近日中、親睦会開催予定。日光、今市方面、勧誘を駒橋に一任す。  
楡木安生貢、入団勧誘するも一男を失い日浅く欠席とのこと。
- 17日 石橋町梅月楼  
親睦会開催、日光より橋口近義、山本千代松、今市より湯沢菊四郎、和地末広4人出席、当地9人、合計13人出席。すこぶる盛会、会費金4千円也。
- 21日 岡本英忠、鹿沼町議選に立候補の決意をする。  
当時の選挙人は、有権者のうち、町税納入総額の半分を負担している人を一級選挙人、残りを二級選挙人とした。一級選挙人には議員の半数を選ぶ権利が与えられ、少数の富裕な住民である一級選挙人が町会を支配できるしくみであった。
- 31日 岡本、選挙につき推薦状のハガキ2610枚、団として有権者に配布する。本日、大越筆、小金井へ帰郷の話聞く。
- 4月1日 梅月楼  
大越筆、送別会開催、普通医師と共に22名出席
- 1日 栃木県立鹿沼高等女学校、鹿沼町十万才（現万町）に開校
- 12日 鹿沼座  
ライオン本舗口腔衛生部活動写真開催に演者として小森谷武、佐藤敏雄氏来鹿、昼は小学児童、夕方町一般の人々に簡便に説明。主催 鹿沼歯科医師団・鹿沼町衛生組合、後援 鹿沼警察署・ライオン本舗
- 13日 鹿沼尋常小学校校庭  
小森谷武、歯ブラシ教練を行う。当団より鹿沼羊羹10本贈呈す。



- 4月19日 鹿沼郡役所  
上都賀郡歯科医師会発会式兼総会開催  
臨席者、斉藤県衛生課長、相馬郡長、小林郡医師会長  
午後4時梅月楼にて晩餐会、夕刻御殿山にて花見
- 24日 岡本英忠、鹿沼町議選97票の大多数を以て当選
- 5月14日 伊香保旅行  
一行8人（駒橋、新島、岡本、中条、金子、甲田、岸野、青木）  
午前4時30分自動車にて栃木駅、5時36分発両毛線で前橋へ  
伊香保着午前11時30分 旅館で昼食後、榛名山登山－榛名湖畔－天神峠－榛名神社  
雨となり、前橋にて関東工芸展覧会を参観、場内にて昼食  
15日 栃木駅午後4時、自動車にて帰鹿、散会する。

7月

〔栃木縣〕上都賀郡歯科医師会の活動 上都賀郡  
歯科医師会は組織せられて、自任きにも拘らず、會員の熱心と  
幹部の忠實な働きを得て、著々として成績を挙げつゝあるが、今  
夏休業を利用して、無衛生主事村山朝兵衛氏その他と協力して上  
都賀郡内小学校教員に對し、口腔衛生講習會を鹿沼町及栗野町  
に開催す。會するものは小学校教員四十名にして、講師及演題左の  
如し。

一、龔齒の本態及其發病原因に隣接組織に及ぼす影響  
會長 駒橋寅春  
一、乳歯突發期に對する注意 市川政一  
一、學校口腔衛生 金子謙明  
一、齒牙疾患と全身との關係 中條正左衛門  
發は栗野町に開催せられたる講習會には、栗野英七郎氏長時  
間に亘りて、學費齒牙疾患に對する注意を講義せられたり。(原  
時長稿)

△同意近況 上都賀郡鹿沼町に開催せらる、(原時長稿)  
氏は目下時隙稍裕中なるが先般行はれたる町會議員選挙に目  
出度當選したり、服部郡栗野町に開催せらる、中村克三氏作は  
例の依頼を振ひつゝあるが、特に地方青年の啓蒙に力を注がれ  
目下在郷軍人分會長として活動し、地方民衆の敬慕を受けつゝ  
あり。

10月4日 宇都宮市相生町に上野呉服店（元上野百貨店旧館）、洋風3階建て開店



11月5日 総勢7人（岡本欠席）、自動車で板荷街道を鳥屋に向う。山上で酒を酌み交わす。  
9時下山 文挾駅10時出発、30分で今市に着く。  
下野電気鉄道藤原線の電車にのり、新今市から下滝駅（現鬼怒川温泉駅、昭和2年  
滝温泉から鬼怒川温泉と改名した）へ、野天の湯にひたり、3時帰途につく。鹿沼  
駅7時28分着。

下野電鉄藤原線の駅名一覧

旧 駅 名	新 駅 名	始点からの キロ数	現	状
新 今 市	下 今 市	0km	廃 現	止 存
大谷向今市	大 谷 向	0.8	"	"
大 桑	大 桑	4.8	"	"
中 岩	中岩荷扱所	6.7	廃 現	止 存
高 徳	新 高 徳	7.1	廃 現	止 存
	鬼怒大澗	8.6	廃 現	止 存
	小 佐 越	9.9	廃 現	止 存
大 原	鬼怒・立岩	11.7	廃 現	止 存
下 滝	鬼怒川温泉	13.6	1.1*。南へ	移 設
	鬼怒川公園	14.6	廃 現	止 存
藤 原	新 藤 原	16.2	"	"

小林茂「下野電気鉄道」鉄道ピクトリアルNo.263より転載



下野電鉄時代の鬼怒川温泉駅  
(東武鉄道買収後も現在地へ移設するまで使用された)

- 11月25日 満2年在籍した甲田賢二上京
- 12月22日 新島宅
- 青木達三郎、駒橋寅春幹事引継ぐ

歯科医師資格試験について本会には駒橋寅春、金子弁明両氏の歯科医術開業試験及第之證が残されている。

歯科医術開業学説試験は大正13年（1924）10月1日

歯科医術開業実地試験は大正14年（1925）10月1日

を以て廃止することになった。





大正14年（1925）1月25日より引き継がれている鹿沼歯科医師団記録第一号の表紙である。

2人が、1年交代で庶務、会計を担当。各人の個性的な文字と内容が残されている。そのため、文面は不統一である。幹事の制度は昭和49年（1974）5月13日迄50年間続いた。その間昭和30年（1955）4月1日に鹿沼、栗野、西方地区の上都賀支部と日光、今市、足尾地区の今市支部に分離したが、幹事は、支部の人事とは別にそのまま旅行担当として受け継がれたようである。

- 印は鹿沼歯科医師団員
- 一七五〇 足尾町二四
  - 一八〇〇 鹿沼町一六三八
  - 二七五八 鹿沼町一八三六
  - 二七九五 今市町四九〇
  - 二八二二 鹿沼町一九一五
  - 三〇〇〇 鹿沼町一七〇〇
  - 三〇〇〇 日光町四一一
  - 三五九九 鹿沼町一六〇九
  - 七〇〇八 鹿沼町一六〇九
  - 七二五五 栗野町八八六
  - 七三七五 栗野町八八六
  - 二四四〇 日光町五六〇
  - 二七三五 鹿沼町一三六一
  - 二八七四 今市町六一七
  - 四六四一 鹿沼町一九一三
  - 五〇四八 足尾町赤倉二二八五
  - 五〇四八 日光町六二〇
  - 五六六二 日光町六二〇
  - 七三九九 鹿沼町一〇一九
  - 七七八一 日光町滑瀬一〇二
  - 一〇一九二 足尾町赤倉二二八五
  - 一〇二一四 今市町四九〇湯澤方
  - 九七八二 南押原村字楡木二二五

上都賀郡

大正14年（1925）5月、日本口腔衛生社発行の名簿である。大正12年（1923）9月1日の関東大震災で発行寸前の資料が灰燼に帰したため、大正13年（1924）8月1日現在、第2回歯科医勢調査を元に作られたものである。

谷内照藏	二五・二	試
駒橋寅春	二二・三	試
市川政市	二二・三	試
湯澤菊四郎	二七・二	試
大越肇	二七・三	試
新島貫一	二二・三	試
山本千代松	一八・一	試
中條正右衛門	一五・五	試
金子辨明	三四・二	試
岸野榮七郎	三〇・四	試
今澤恒治	五・三	試
岡本英忠	一七・一	試
三井勳	二五・九	試
甲田賢二	二九・一	試
野村勝治	二八・五	試
藤本麟	三三・六	試
青木達三郎	三〇・五	試
橋口近義	三三・六	試
岡本直次	二九・一	試
添野虎雄	二七・二	試
安生寛	二七・二	試

上都賀郡歯科医師会 21名  
鹿沼歯科医師団 10名

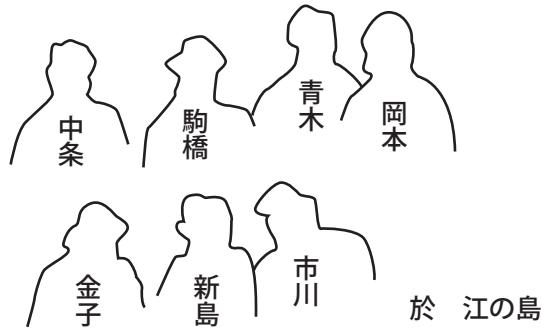
- ◎物 価 ・ 虎屋の羊羹 1円50銭 ・ 山手線初乗運賃 5銭 ・ 両毛線一駅区間 5銭
- ◎映 画 バグダッドの盗賊、荒武者キートン
- ◎流行歌 うさぎのダンス、からたちの花、証誠寺の狸囃子

## ■大正15年 昭和元年（1926）

- 1月5日 梅月  
医師団と合同にて新年宴会を開催す
- 3月 版画家の川上澄生が、木版画「初夏の風」「日の出」を国画創作協会展に出品
- 3月21日 上都賀郡歯科医師会開催
- 4月18日 御徒町の丸笠氏宅着 一泊
- 19日 東京駅→熱海→無綿浦→十国峠→修善寺（新井屋泊）
- 20日 三保松原→龍華寺（高山樗牛墳墓の地）→久能山→静岡市→藤沢（角や旅館泊）
- 21日 藤沢→片瀬→江の島→鎌倉（長谷の大仏）



旅費、宿泊費  
2円33銭9厘



- 5月 岸野栄七郎 栗野町より吾妻町1874番地（現銀座一丁目）に移転
- 5月10日 小杉眞治 栗野町口栗野880番地-6に開業
- 15日 金子宅  
幹事 市川政一、岡本英忠引き継ぐ
- 6月13日(晴) 岡本宅  
6月15日の県歯科医師会設立総会並び臨時総会に全員欠席と決定す
- 7月1日 上都賀郡役所廃止
- 6日 ・口腔衛生活動  
ライオン口腔衛生部の小森谷武、佐藤敏雄氏来鹿  
午前中鹿沼尋常高等小学校講堂で、2回講演をなす  
米人フレッチャーの話や上野動物園の猿の話など

- 午後は12時30分より鹿沼高等女学校  
 2時30分より農商学校  
 で講演  
 夜間は8時より校庭で活動写真を影写した  
 入場者は、おおよそ5,000人以上で大盛況  
 ・栃木県歯科医師会第一回定期総会  
 駒橋、中条、金子、岸野出席。当団の希望する本部と同様の料金規定を作製すべ  
 く取付制定できたことは、一同喜んで感謝の意を表わす  
 欠席者 岡本、新島、青木、市川も実現してうれしい
- 7月7日(晴) 午前中 北押原小、菊沢小の講演をなす  
 午後2時30分 東大芦小学校に全員出張する
- 13日(晴) 大井田満氏厳父死去 弔旗一流及弔詞を贈呈す  
 岡本幹事団代表し引田に会葬す
- 15日 那須に御用邸が完成
- 25日(晴) 秋元清記氏令息晴雄氏死去 弔旗一流贈呈す
- 7月 鹿沼古峰原自動車会社設立
- 7月30日 新川庄一、御成橋町2246番地（成田不動尊の下）に開業
- 9月15日 新島宅 例会  
 新川庄一入会 懇親会 全員出席
- 21日 宇都宮市赤十字社楼上  
 旧県歯科医師会解散 臨時総会に岡本、市川幹事出席
- 10月2日 小林幸三郎医師令嬢和子死去 弔旗一流 各自会葬
- 19日 団旅行 塩原行  
 午前5時30分 自動車宇都宮駅へ、6時25分発車、酒をのみ西那須野駅着、高級  
 自動車塩原へ、宝来山を背に記念撮影
- 11月 東洋女子歯科医学専門学校指定
- 11月15日 市川宅 例会
- 12月24日 岸野宅 忘年会  
 聖上陛下不例中、しかもすこぶる御重態の御発表あり、極めて静肅裡に懇親す  
 1. 来る27日の県歯臨時総会に代表として新島、青木出席すること  
 1. 朝日町に開業せる手塚筆四郎に入団の勧誘すること幹事に一任す
- 25日 天皇崩御 裕仁親王が即位「昭和」と改元  
 (出典は書経より百姓昭明 万邦協和)
- 昭和元年
- 12月27日 栃木県歯科医師会臨時総会 新島、青木出席す
- 28日 岡本宅 健康保険について  
 鹿沼歯科医師団としては、勤労主義（規定の2割引）を取り帝国製麻会社に交渉す  
 べく幹事一任

12月29日 岡本、市川幹事、帝国製麻会社訪問 白石人事課長に面会、  
団として2割引にて引受けることを申込む。会社側としては即答しかねる故、追っ  
て返答すると約束す。

#### 大正15年(1926)の栃木県歯科医師会の動向

大正14年(1925)4月13日公布された改正歯科医師法第8条で歯科医師会の存在しない各道府県にも会の強制設立がきめられたことによって、大正15年(1926)3月17日歯科医師会令は、勅令第14号で公布された。これにもとづいて、3月20日から6ヶ月以内に、それぞれ道府県歯科医師会を設立しなければならなくなり、又新しく日本歯科医師会も設立することになった。

栃木県歯科医師会は、このことに対し反応が早く、次の様に実施していった。

6月15日 午前10時設立総会開催

会則原案は、大体において日本聯合歯科医師会起稿の標準会則案に依れるが、大部分に互りて修正を加え、日中に議事し得ずして夜間に入る。退出者続出するも辛うじて仮役員を選挙す。

修正の主なる条項

##### 1. 支部設置条項

大多数は原案に賛成せるも、時期尚早の理由の下に反対者ありしたため、円満解決を旨とし、一時議決を延期し、速かに役員をして支部設置の準備をなさしむことに決す。

##### 1. 代議員制

前項の延期のため代議員制も一時削除し、会員全部にて総会を開くこととなる。

1. 総会開会員数は過半数を必要とすることなく、全て出席者にて開会し得ること。

1. 評議員の条項は、修正案出でも原案通り、評議員10名置くことと決す。

仮役員次の如し

会長 宮原武二郎 副会長 椎貝敏郎 理事 松井郡三、槇石武平、秋山保三

大正15年10月 日本医籍録より(発行所 医事持論者)

宇都宮市	36名
足利市	15
河内郡	1(上三川町)
上都賀郡	22
下都賀郡	19
芳賀郡	13
安蘇郡	10
那須郡	18
塩谷郡	9
計	143名

当時の県内の各郡市の会員数である。長時間の議事の結果、この人数での支部設置や代議員制の採用を躊躇したものと思われる。

- 7月6日 栃木県県会議事堂  
 県歯科医師会発会式兼第1回総会  
 出席者（委任状を加算せず）は、総会員の約4分の1、仮会長宮原武二郎議長席につき下記の2件を緊急動議し、可決確定す。
1. 設立費支弁の件
    1. 会則第26条第2項、副会長1名を2名とするの件  
 役員選挙に移る。
- 岡安恒輔、多数を以て会長に当選し、副会長、理事の選挙を行いしも、会長は支部設立を主張し、副会長2名、理事2名共に反対の立場であったため、会長は辞任を表明、結果役員は、総辞職す。
- 宮原仮会長再び議長となり、詮衡委員13名を挙げて会長、副会長、理事を詮衡し、形式上選挙を行い、下記の役員を選挙す。今度は、会長が役員を指名する。
- 会長 星野幸治 副会長 椎貝敏郎、梁瀬眞策  
 理事 松井郡三、槇石武平、神山登己壽  
 評議員（10名） 黒崎 博、小林武一、小野春吉、渡辺 清、宮原武二郎  
 小野重三郎、中村克三郎、田中親夫、及川暁一、岡本英忠
- 決議事項 下記の如し
1. 議事規定案
    1. 報酬規定案、附報酬規定表厳守の件
      1. 旅費、日当規定
        1. 日本歯科医師会議員選挙（時間なく施行せず）  
 時間が無いため、旧歯科医師会は解散せず自然消滅のままに放置し、後日、適当の処置をすることに決す。
- 9月20日 午前9時 新栃木県歯科医師会臨時総会  
 全会員143名中出席者21名、委任状16名  
 県当局より栗原警部補臨席  
 下記の件議決す。
1. 足利衛生展覧会へ金50円補助の件
    1. 日本歯科医師会設立に関する件（本会は日本歯科医師会設立を待つて入会すること。従って同会設立委員の選挙を行わず）  
 黒崎博より規定表中誤字訂正並に本会支部設置に対する準備の希望と総会議事録を毎回全会員に配布すべしとの意見あり。  
 7月6日の第1回県歯総会で旧歯科医師会は、自然消滅のまま放置するとしていたが、やはり、会費や基本金残高等金銭的問題を解決するため、解散総会を開催せざるを得なかったものと思われる。



9月21日 午前9時赤十字社

旧栃木県歯科医師会解散総会

天沼浦之助旧県歯会長より招集され、次の決議をす。

1. 会員より会費並に基本金の徴収は、大正11年度現在にて打切り、それ以前の分に未納者あるも追徴せざること
1. 日本聯合歯科医師会会費其他の未納分は一切納入せざること
1. 清算額は金80円以内を支出すること
1. 基本金現在高685円は按分法にて納入者に払戻すこと
1. 下都賀郡歯科衛生展覧会補助支出の件（廃案）

鹿沼歯科医師団より岡本、市川幹事出席、閉会后、第一八百駒にて懇親会を催し、齊藤県衛生課長、栗原警部補を招待す。天沼浦之助、旧歯科医師会の過去を追想し、感慨無量の感、齊藤課長は、旧歯科医師会の業績を賞揚し、更に全国に先立って新歯科医師会の設立をみたるを喜び、将来益々会員の歯科医事衛生に努力されんことを望んだ。

岡本英忠は、磯節を唄い、地元の鹿沼町の在住歯科医師の一致団結の歩調と円満さを披瀝し、一同を羨望せしめた。



宇都宮市池上町にあった一流料亭「第一八百駒ビル」の営業部

この様に、本会は、新歯科医師会を設立してから解散総会を実施し、日本歯科医師会の設立を待つことにした。

11月22日 第2回臨時総会 午前10時30分 日赤栃木支部

出席者16名 委任10名

大正14年2月7日、法律第45号によって歯科医師法が改正され、歯科医師会の強制設立、強制加入が定められ、これに基づいて、大正15年（1926）11月3日新制日本歯科医師会が設立された。そのため、第1回日歯総会に日歯議員、予備議員を送ることになり、選挙の結果、日歯議員に岡安恒輔、予備議員に星野幸治が選ばれた

昭和元年

12月27日

第3回臨時総会 午前11時10分 日赤栃木支部

出席者28名 委任状74名 本会より新島、青木出席

日本歯科医師会広瀬武郎（神奈川）理事及び健康保険所長臨席

下記議決す

1. 第55条 本会ニ健康保険部ヲ置ク

1. 健康保険部ニ役員ヲ置ク

但シ任期ハ本会役員ト同様トスル

部長 星野幸治 副部長 椎貝敏郎、梁瀬眞策

理事 松井郡三、神山登巳寿、槇石武平

監事 小野春吉、大貫芳雄

審査委員 小野重三郎、黒崎 博、増渕徳三郎、宮嶋 昭

1. 第46条 会費ノ納入ノ期日ヲ4月10日ト改正ス

1. 日歯ノ点数計算規定別表ヲ修正ス

1. 保険組合トノ治療協定契約ノ場合其ノ地在住ノ

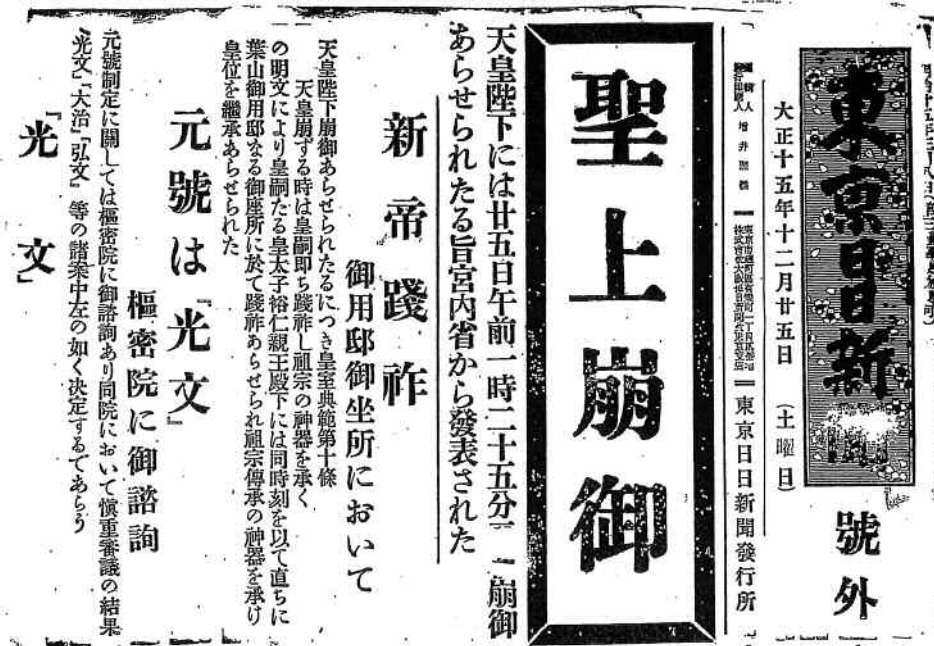
本会員ヲ列席セシムル事



明治45年3月 新築の日本赤十字社栃木支部事務所  
昭和20年7月 戦災により焼失

当時、県歯総会が、開催されていた建物である。

栃木県庁正門を入って右に、日本赤十字社栃木支部はあった。



誤報とともに「昭和」は始まった

大正天皇崩御を報じる「東京日日新聞」12月25日の号外。左に新しい元号「光文」と決定するという記事があり、これは新聞史上例を見ない大誤報となり、編集主幹は責任をとって職を辞した。

元号は「昭和」と報じる「東京日日新聞」の12月26日の夕刊。



- ◎物 価 ・三越 (明治40年 デパート内食堂開始)  
大正15年 和定食80銭、コーヒー10銭  
・東京-大阪間 運賃6円4銭
- ◎映 画 狂った一頁、黄金狂時代
- ◎流行語 文化住宅、神出鬼没、アッパッパー、立入禁止
- ◎流行歌 雨降りお月さん、ペチカ

## ■昭和2年（1927）

1月4日(晴) 岡本宅に帝国製麻株式会社白石課長来訪、会社は此際五割引を以て契約したいとの申込ありしを以て、二時半自動車を駆って、市川は幹事として、県歯星野会長を訪問し下記の意見を聴取した

(問) 鹿沼歯科医師団は、全然保険医を拒絶して差支えなきや

(答) 差支えなし、東京中央にては、皆拒絶せる話あり

(問) 会社が他より歯科医を雇えたりし時は、会としての態度如何

(答) 会長は、現在規定より割引せし時は、之を会則違反として処罰する故、懸念する処なし

午後7時岡本宅で会合

星野会長より得たる言を基礎として、我団の取るべき道を計った。

結局、この際は、普通医と対等を以て引受けることに決定す。但し、技工方面に渡るものは除外して相互の約束に依るものとす

7日(雨) 岡本宅

保険医として独立せる組合帝国製麻東西工場のみ割引して引受け、他の小会社はこれを引受けずして差支えなきかという点について、権貝氏に電話をもって照会せし処、8日の懇談会においてこれを提出し、追ってその結果を報告する旨の話あり

18日(晴) 岡本宅

帝国製麻の白石人事課長と会見、団として2割引を主張、会社側は、3割引を要求す。3割引を団員に計り、返答することにする

19日(晴) 岡本宅

会社の3割引を引受け、この際、保険医としてでなく、会社と随意契約の形で普通料金で全部やり、社会奉仕の意味に於て3割を会社に提供（寄附）することに決定す

21日(晴) 午後4時半、岡本、市川当番幹事、帝国製麻会社事務所に工場長、人事課長、其の他保健部理事五名等と会見、団は、会社の希望を入れることを返答す

22日(晴) 市川宅

幹事より、会社は、本社に3割引にて鹿沼歯科医師団と交渉成立せる旨報告せしを以て、多分採用なると思うとの報告をなす

同時に、県歯科医師会長に向って健康保険医辞退届を一同で出すことに決定  
健康保険 歯科医辞退届

栃木県健康保険歯科医師会健康保険規定第2章第3条（資料1）により健康保険歯科医を辞退す

十名一括して書留配達証明便にてだす

（駒橋、岡本、新島、市川、中条、金子、岸野、青木、手塚、新川）

29日(晴) ・我が歯科医師団にては、昭和2年1月1日より実施せらるる健康保険法現行規定によるときは、遺憾ながら応じ兼ねる旨、御了承願いたいと、帝麻、日本ロップ

ベルト、猪瀬、長谷川、下野製作所等の工場宛書留便でだす

・市川宅

星野会長を迎え保険実施に当り、会長が会則第二章第三条を削除するを誤まりし為、鹿沼歯科医師団の拒絶に対し、結果抗議の余地なく全く会長の落度故、是非三月迄引受けて呉れとの申込故、これを明らかに断ることあたわず、ヌーボー式に引受けたる形となる。大澤楼にて晚餐、その際

1. 日本歯科医師会会報
2. 被保者が来たなら
3. 会報
4. 健康保険の解説
5. 被保険者診療報告書
6. 報酬請求書 等
6. 印刷物が配布された

健康保険法は、大正11年（1922）4月22日に公布され、大正13年（1924）4月から実施されることになっていた。大正12年（1923）9月1日11時58分発生した大地震、関東大震災によりその施行が大正15年迄延期されていた。それが、いよいよ昭和2年（1927）2月1日より施行された。

鹿沼歯科医師団は、すでに帝国製麻株式会社と保険診療をめぐって昭和元年（1926）12月28日から交渉を繰返し経験してきたが、記録には、この様に、県歯会長をもひき込んだ保険医辞退問題にまで発展したことが詳細に記されている。

当時上都賀の大企業としては、足尾銅山（古河鋳業株式会社足尾鋳業所）の外、鹿沼町に帝国製麻株式会社鹿沼工場と日光町に古河電気工業株式会社日光電気精銅所があった。

新しく誕生した健康保険法は、被保険者が三百人以上いる企業に健康保険組合設立を許可し、五百人以上の場合は組合設立が強制された。即ち、保険者は、政府（政府管掌保険）と健康保険組合の二本立になった。（外に共済組合管掌もある。）

大正15年12月18日、帝国製麻の大阪・札幌の各工場と共に鹿沼工場も設立が認可されている。

その為、この年から歯科医師団と鹿沼工場との診療契約について毎年締結しなくてはならなくなった。

記録にも、昭和14、5年迄交渉が続いたことが残されている。

2月4日 市川宅

星野県歯会長に対し、団は貴意に添うべく一致せる旨通達することを決す。又東洋麻工株式会社（旧日本ロップベルト株式会社）、猪瀬工場 鹿沼製作所、長谷川工場等には県保険部長並に保険課長より切なる懇請により、この一期分引受けることの旨を通達することに決す

3月14日 片岡直温蔵相、衆議院予算総会で東京渡辺銀行が破綻と失言、昭和金融恐慌の発端  
3月 日本女子歯科医学専門学校指定

3月28日 日赤支部（宇都宮）、午前11時より第2回県歯定期総会に青木除き9名出席、会則55条削除に賛成し前例なき穏かさにて終了。牛屋にて晚餐。

第五十五條 本會ニ健康保險部ヲ置ク  
 前項ノ健康保險部ニ關スル規定ハ總會ノ議決ヲ  
 經テ之ヲ定ム

【栃木】▲栃木縣齒科醫師會第二回定期總會 三  
 月二十八日午前十一時より日赤支部に於て開催、出席者總數百  
 ○一名（中委任出席五十二名）、庶務、會計の報告を承認したる  
 後議事に入る。

一、昭和元年度歳入出追加豫算（修正可決）  
 一、内務大臣諮問事項の件（役員一任）  
 一、會則改正の件（可決）  
 一、昭和二年度收支豫算（可決）  
 一、官公署囑託齒科醫に關する件（可決）（囑託齒科醫と雖も  
 報酬規定の割引を許さず、若し割引する場合には會長に於  
 て當該官公署と契約し其他在任の會員一同にて診療に當  
 る事）  
 一、報酬規定に關する件（違反者ある時は會員よりの報告に  
 より處分する事必ずしも領收證の如き證據物件を要せず）  
 （可決）

4月6日～9日 旅行 駒橋欠席、丸笠参加案内

誕生寺→鯛の浦→勝浦、一文字屋泊→犬吠埼  
 香取神社→佐原→潮来泊、鹿島神社→成田不動尊、  
 京成電車→東京

14日 中条宅

中条正左衛門、岸野栄七郎幹事引継ぐ  
 1. 手塚筆四郎 当団正式加入勧誘の件  
 1. 帝国製麻会社特約報酬料金値上の件  
 1. 旅行費1ヶ月1円50銭、新聞広告代50銭  
 1人2円づつ徴収

20日 帝国製麻工場 午前10時

中条、岸野、帝麻人事課長白石氏訪問、2割引問題を談ず。白石氏、不況状態中  
 現在のまま3割引にてとの依頼

27日 県歯科医師会臨時総会出席有無に付き、当団会長金子弁明の自由態度に任し、他は  
 委任状送付と決す

手塚筆四郎、無条件にて当団入団す

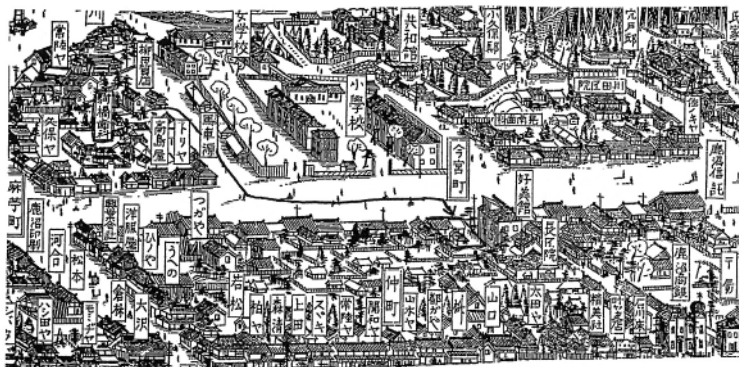
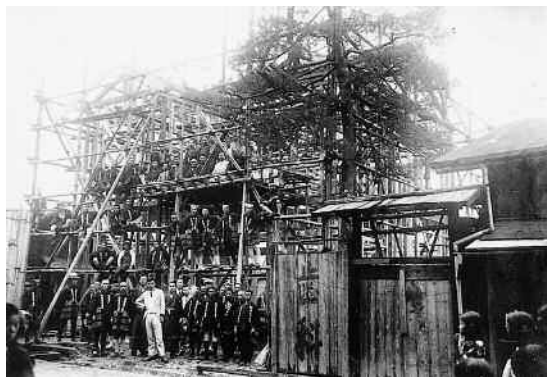
5月 関東自動車株式会社創立、宇都宮、飯田經由鹿沼行 10人乗、17人乗合バス運輸  
 開始

5月20日 リンドバーグ大尉、ニューヨーク・パリ間の大西洋横断無着陸飛行に成功

6月6日 町立日光高等女学校（現日光高）が創立

7月4日 クラブ歯磨本店の講演会開催、川上講師

7月8日 駒橋歯科医院上棟式 現在地に新築



- 24日 作家芥川龍之介自殺
- 8月17日 栃木県歯科医師会事務所異動  
宇都宮市江野町3123→宇都宮市四条町1455-2
- 10月2日 青木達三郎長男繁夫君死去  
長 清重医師死去
- 11月22日 小林薬種店令嬢死去
- 12月25日 駒橋宅  
忘年会 青木、手塚欠席
- 30日 日本最初の地下鉄、東京上野 - 浅草間に開業  
運賃は10銭 昭和6年に駅間制運賃、3駅まで5銭、4駅以上10銭。

歯科医療給付の範囲中補綴に関する疑義の件（補綴給付の制限のはじまり）

左記（甲）  
 收保第二四二一號  
 昭和二年二月二十五日  
 社会局長官 長岡隆一郎 閣下  
 日本歯科醫師會會長殿  
 歯科醫療給付ノ範圍中補綴ニ關スル疑義ノ件  
 標記ノ件ニ關シ本月十九日付日齒保第一〇一號ヲ以  
 テ御照會ノ趣了承右ハ御見解ノ通りト存候。  
 左記（乙）  
 前記日本歯科醫師會の伺書に依つて補綴に對する解  
 釋が一致いたしましたから左の説明を御熟知下さい。  
 一、補綴は次のやうな場合に限り給付します。その以  
 外に補綴を施した時は報酬を請求せられても計算  
 から除外いたします。  
 イ、被保險者が來て義歯を入れてくれと請求した場  
 合、上下全顎を通じて（智歯を除く）七齒以上  
 齒牙が失くなつてゐる場合。  
 ロ、抜歯をした結果七齒以上の齒牙が失くなつた場  
 合。  
 （但しイ、ロの場合術者の判断に依つて必しも七  
 齒以上全部を補綴しなくてもよろしい。）  
 ハ、臼齒金冠を入れてもよい場合は  
 A、七齒以上の齒冠が破壊して充填に依つては恢復出  
 來ない場合（但し術者の判断に依つて必ずしも七  
 齒以上悉くに金冠を裝置しなくともよろしい。）  
 B、齒牙が五齒か六齒失くなつてゐる上に一齒か二齒  
 の齒冠の破壊があつて合せて七齒以上が咀嚼能率  
 を失つてゐる場合その一齒か二齒に金冠を裝置す  
 ることはよろしい。  
 （但し他の喪失齒に義歯を入れ合せて咀嚼能率を  
 五十%にすること。）  
 二、陶齒冠繼續齒は金冠の例によること。  
 （注 意）

「7齒50%」の制限の資料である。  
 補綴については承認制をとるとともに勤  
 労手当制（定額制）をとることになった。  
 50%以下とは上下顎を通じ齒牙（智齒を  
 除く）喪失又は齒冠の破壊（充填により  
 齒冠回復が困難）が、7齒以上に及ぶも  
 のをいう

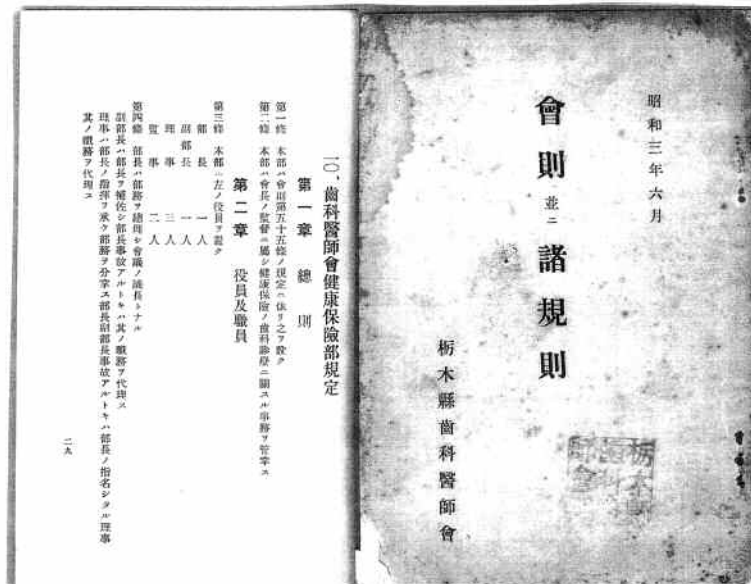
五十%以上に咀嚼能力が減退してゐるものなるべ  
 く100%にまで恢復してやつて頂きたいが術者の判断に  
 依つて必しも100%にまで恢復しなくても差支ありませ  
 ん。  
 （七齒を以て五十%の限度としたのは智齒を除いた  
 二十八齒の四分の一、對顎齒と合せて二分の一となる  
 ためです。）  
 七齒以上の缺損に對して全部を補綴しなかつた場合  
 には「何齒中何齒補綴」と報酬請求書に明記しておい  
 て下さい。  
 被保險者が此條件に當らないのに補綴を請求した場  
 合は前記の日本歯科醫師會と社会局長官との照復文書  
 を見せて下さい。  
 この全文は各保險者へも行つてゐます。



帝国製麻鹿沼工場（大正時代）



資料1



昭和元年（1926）12月27日

第3回臨時総会で栃木県歯科医師会に健康保険部が設置され、第2章第3条に左ノ役員ヲ置クとして部長、副部長、理事、監事が選出された。

鹿沼歯科医師団としては、健康保険医として帝国製麻会社と契約するのではなく、普通料金規定により全部診療を行い、社会奉仕の意味において3割を会社に寄附するというに決定していた。

しかし、県歯では、第55条の規定で健康保険部を設置したため、鹿沼歯科医師団は健康保険で対応しなければならなくなったため、保険医総辞退届を提出した。

昭和2年（1927）3月28日

県歯第2回定時総会で第55条は削除された。そして1. 歯科医制調査部、1. 歯科衛生調査部、1. 歯科衛生宣伝部が設置された。

4月30日

午前11時40分臨時総会が日赤栃木支部で開催

出席37名 委任状9名 本会より金子出席

日本歯科医師会より広瀬武郎理事臨席詳細に説明

健康保険部規定は、1. 健康保険医ヲ辞スル事ヲ得スと修正し、日本歯科医師会の診療報酬点数計算別表を栃木県歯科医師会も同様に作成した上修正し、健康保険部を全て復活する。可決

9月1日

午前10時30分臨時総会が栃木県会議事堂で開催

出席者19名、委任状39名 本会より出席者なし

健康保険部規定第2条を下記の如く改正した。

1. 本部ハ会長ノ監督ニ属シ健康保険ノ歯科診療ニ関スル事務ヲ管掌ス

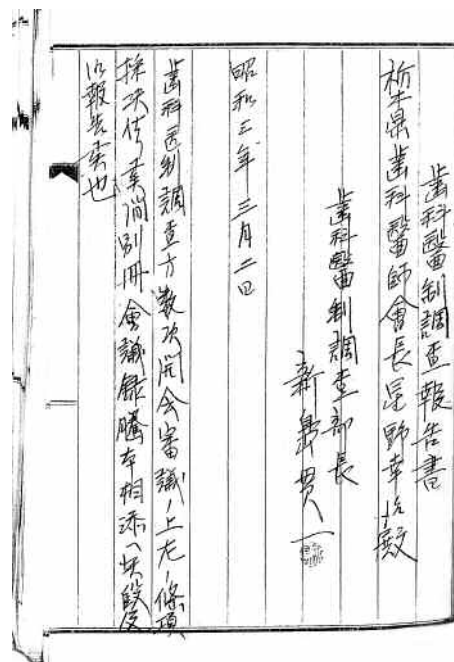
また政府と県歯科医師会健康保険部との事務の円滑を図るため地方協議員を選出

することになり、郡部との往復等の不便さのため、宇都宮在住の会員から神山登巳寿、槇石武平が選定された。

昭和2年度歯科医制調査を県歯より属託され、新島貫一郎長となり、同氏宅にて7月16日第1次会議、10月1日第2次会議、昭和3年（1928）2月16日第3次会議を開催した。

決議事項として下記事項を報告した。

1. 健康保険事務ヲ県歯科医師会事務ヨリ分離独立セシムル事
1. 健康保険役員ニ対シ保険署ヨリノ事務費併ニ歯科医師会ヨリ相当額支出提出スル事
1. 郡市支部ヲ設立スル事
1. 代議員制トナス事



- ◎物 価 ・清酒一升 1円20銭 ・映画入場料 50銭 ・かけそば 10銭  
 ・中村屋のカリー  
 明治34年（1901）東京本郷の東京大学正門前にパン屋開店。  
 // 40年（1907）新宿へ支店  
 // 42年（1909）現在の新宿3丁目へ本店移転  
 昭和2年（1927）カレー（具の肉材は鶏）80銭

◎映 画 忠治旅日記、第七天国

◎流行語 大衆、円本、何が彼女をこうさせたか、福田イズム、モボモガ、マルクスボーイ

◎流行歌 出船の港、佐渡おけさ、ヴァレンシア

## ■昭和3年（1928）

- 1月7日 菅又薬種店 倭文子嬢死去 弔旗一流
- 11日 大相撲のラジオ放送開始
- 2月2日 天谷準作 栗野町口栗野821に開業
- 15日 新島宅 例会
- 3月14日 県会議事堂  
午前9時 県齒科医師会総会 全員出席

〔栃木〕▲栃木縣齒科醫師會總會 三月十四日午前九時より縣會議事堂に於て第三回定時總會を開催し、出席會員四十名、會長星野幸治氏開會を宣し庶務會計の報告ありて左の議案を議了せり。

- 一、大正十五年、昭和元年度栃木縣齒科醫師會收支決算承認の件
- 二、大正十五年、昭和元年度栃木縣齒科醫師會健康保險部特別會計收支決算承認の件
- 三、本會役員選舉の件
- 四、本會健康保險部役員選舉の件
- 五、日本齒科醫師會議員及豫備議員選舉の件
- 六、昭和三年度本會收支豫算承認の件
- 七、昭和三年度本會健康保險部特別會計收支豫算承認の件
- 八、諮問案  
簡易適切なる風當預防策としての社界的施設如何（役員附托）
- 九、本會會則附則一、二、三の三項削除の件（保留）
- 十、健康保險組合との契約を役員に一任するの件
- 十一、官私立學校に齒科嘱託醫を置くことを建議するの件
- 十二、支部設置に関する件（保留）
- 十三、支部長會議に関する件（同）
- 十四、非齒科醫取締の件
- 十五、健康保險部役員表彰の件（保留）

役員改選の結果は重任と決し且つ健康保險役員を兼任す。尙ほ其の他知事、衛生課長、保險課長より講話ありて盛會なりき。（神山氏報）

- 21日 岸野宅  
安生卯吉 歡迎会
- 4月13日 県立宇都宮第二高等女学校（現宇都宮中央女子高）が開校
- 19日 旅行
- 20日 夜9時30分鹿沼出発→午前6時30分若松着  
会津行→白虎隊→東山温泉泊  
午前7時30分出発→白河南湖公園城跡→鹿沼
- 27日 中条宅  
金子弁明、新島貫一幹事引継
- 5月4日 鳥居薬店祖母死去
- 14日 市川政一 北海道に転居のため送別会
- 16日 午後9時過ぎ列車にて鹿沼出発、全員見送る。
- 28日 午後5時頃  
今宮町安生技工室より出火、大事に至らず。患者1名軽い火傷 見舞金各自5円
- 6月2日 新島宅  
本年度より当分旅行中止
- 4日 金子午前10時より学校に於て2回ムシバデーにより口腔衛生講話す
- 29日 政府緊急勅令で治安維持法を改正（最高刑死刑）公布 即日施行

- 8月25日 若松楼 午後1時より  
上都賀郡内同業者会合あり 約14名出席  
県歯会長及健康署長出席、県料金規定、健康保険に関する協議する
- 9月4日 新島貫一厳父藤吉氏、朝5時急死す
- 10月30日 新島宅 午後6時30分より  
体育デーにより、役場より諮問事項の協議会を開き、体育に関する宣伝ビラを作る。経費は各自負担とする。尚天皇陛下御即位御大典記念として、無料治療券千枚を補導員に託し配布する  
猪瀬春吉町長病気により見舞することを決定す
- 11月1日 ラジオ体操の放送開始
- 2日 田村勘一郎医師令嬢死去
- 3日 有志だけ板荷村、鳥屋行  
駒橋、岡本、中条、岸野、新川、新島

- 上都賀郡
- 鹿沼町大字鹿沼一、六〇八ノ二  
今市町大字今市四九〇
  - 鹿沼町大字鹿沼一、六九九
  - 鹿沼町大字鹿沼文化橋町一、九七四
  - 鹿沼町大字鹿沼一、六二二
  - 鹿沼町大字鹿沼一、六〇九
  - 鹿沼町香妻町
  - 鹿沼町大字鹿沼一、二九七
  - 鹿沼町大字鹿沼一、三五九ノ一
  - 日光町四軒町
  - 南押原村大字榎木
  - 足尾町五、六〇〇
  - 栗野町大字口栗野八八〇ノ六
  - 今市町大字今市五四四
  - 今市町大字今市一三六
  - 日光町大字日光九三五ノ二
  - 鹿沼町大字鹿沼二、二四六
  - 南摩村大字上南馬二六八
  - 足尾町足尾鐘業所中才社宅
  - 日光町清瀬二〇二ノ二
  - 鹿沼町下府所一八五
  - 今市町今市四六七ノ一
  - 足尾町新梨子二、六七八
  - 日光町
  - 足尾町二、二二三
  - 日光町九二
  - 鹿沼町大字鹿沼一、六二三ノ六
- 印は鹿沼歯科医師団員

- 鹿沼歯科医師会
- 上都賀郡歯科医師会
- |                            |               |              |    |
|----------------------------|---------------|--------------|----|
| 安山小今高古手宮多天新岡田眞小武安橋岡青岸金中市新湯 | 生澤澤澤遠塚川谷川野井道眞 | 田杉田生口本木野子左政貫 | 橋菊 |
| 卯義飯真三四米準庄道眞                | 幾眞            | 近英三七         | 寅  |
| 吉正明二一省郎勇吉作一士男              | 馬治榮貢義忠        | 郎明門          | 春  |

昭和3年6月現在の会員名簿

- ◎物 価 牛乳200ml瓶入、1本9銭
- ◎映 画 村の花嫁、平戸造酒、サンライズ、サーカス
- ◎流行語 人民の名において、マネキンガール、弁士中止
- ◎流行歌 波浮の港、モンパリ、私の青空、アラビアの唄

## ■昭和4年（1929）

- 1月20日 仲町若松楼  
医師、薬剤師合同新年宴会開催  
川田憲次医師令嬢春子（5才）死去
- 2月 鹿沼尋常小学東高開設
- 3月22日 第4回栃木県歯科医師会定時総会  
金子、新島幹事出席  
会費値下げ運動に参加奏効し、会費金15円が金10円となる  
支部設置案も反対否決、宴会に参加午後10時半帰宅
- 27日 新島宅  
帝国製麻鹿沼製作工場より囑託医希望申込あり  
団の協約により個人として各人が引受けざる事を一決  
欠席者（安生、岡本、青木、新川の四氏）に文書にて通知す
- 4月1日 寿屋、初の国産サントリーウィスキーを発売。1本 640ml 4円50銭。
- 1日 東武鉄道 杉戸ー日光間開通  
明治32年（1899）北千住ー久喜間で営業を開始  
明治40年（1907）吾妻橋（現業平橋）駅と足利が結ばれた  
大正10年（1921）杉戸（現東武動物公園駅）から分岐し栗橋駅を経て栃木駅へと結ばれた  
昭和4年（1929）杉戸ー日光間開通  
昭和6年（1931）5月25日 吾妻橋から隅田川を渡って東武ビルディング2階に設置された浅草雷門（現浅草）駅迄開通
- 17日 早速大平山行  
午後12時38分発東武電車で大平山に向う。栃木駅より自動車で裏坂より登山す。  
見晴茶屋にて小宴、北海道の市川政一にしゃもじの寄書を送る  
一行8人駒橋、岡本、新島、中条、金子、青木、新川、安生（岸野、手塚、不参加）  
午後6時鹿沼着、若松楼で夕食 散会
- 22日 岡本英忠 鹿沼町会議員選挙に立候補表明

4月24日 岡本英忠 次点落選  
 普通選挙法（大正14年〔1925〕2月帝国議会で成立。5月1日公布。25才以上の男子に選挙権）で第1回鹿沼町会議員選挙が行われたが、残念ながら次点で落選した。  
 有権者数3,744人 投票数3,596票、無効53票 棄権148票、投票率96.0%、当選者30名であった。

27日 鹿沼警察署  
 結核予防デーに付き、金子、新島幹事出席、保険協会鹿沼支部設立、並びに代議員を出す事を引き受ける。

新島宅

新川庄一、駒橋寅春幹事引継ぐ

29日 田村勘一郎医師夫人死去  
 5月8日 保健協会鹿沼市部代議員選挙の為、鹿沼、栗野、楡木同業者会合す

安生、新川欠席

岡本、駒橋当選

15日 中条宅

星野県歯会長より帝国製麻健保に関する件に付通知あり、団員協議の結果、現契約を破棄すべく決定し、その旨を帝麻に通告せり

6月1日 駒橋宅

1. 6月4日のムシ歯予防デーに関する件に付、次の様に講演に行事を決める

イ. 鹿沼尋常小学校及実科女学校

金子、岸野、新川 3名

ロ. 菊沢村高等小学校

手塚 1名

ハ. 高等女学校

駒橋 1名

2. 帝国製麻健保診療契約締結之件

従前の契約を破棄する

7日 駒橋宅

帝国製麻白石氏と駒橋、新川幹事2名会合す

会の意見として県規定により診療し、団より一割丈会社に寄附する形式にては如何かと相談す。

17日 宇都宮女子実業学校（現宇都宮文星女子高）が創立

387 普通第一回町会議員選挙結果

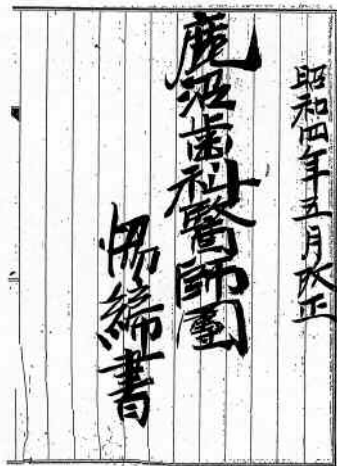
当落	候補者名	政党別	新・再選の別	得票数
1 当選	渡辺喜平	政友	新	160
2	関口幸吉	政友	新	157
3	大井田満	政友	再	149
4	山口隼平	民政	再	127
5	山本仁吉	中立	新	126
6	相馬恭治	政友	再	123
7	岡本喜代吉	政友	新	122
8	和賀順藏	政友	新	121
9	岩本吉太郎	民政	新	110
10	藤田藤吉	民政	再	109
11	橋田長一郎	政友	新	107
12	萩千代吉	民政	再	103
13	渡辺正松	政友	再	102
14	渡辺七造	民政	再	102
15	飯村幸藏	政友	再	101
16	山市兼吉	民政	再	100
17	太田五郎平	民政	再	91
18	坂本竹次郎	政友	再	90
19	和貝伴吉	民政	新	89
20	石戸芳吉	中立	新	88
21	高橋公平	民政	新	86
22	高野幸太郎	民政	新	84
23	西沢要助	民政	新	84
24	渡辺喜子作	政友	新	79
25	落合鐵十郎	政友	再	79
26	栗原甚八	民政	新	76
27	石川金次郎	政友	新	73
28	中島要三	政友	新	71
29	君島伊八	政友	新	65
30	小林政吉	民政	新	64
31 次点	岡本英忠	中立		63
32	田名綱清三郎	政友		59
33	黒川廉三	民政		59
34	高村富作	政友		56
35	齋藤金次郎	政友		53
36	愛波節作	中立		50
37	沼尾長兵衛	政友		46
38	半田鉄五郎	民政		45
39	大塚春吉	大衆		24
40	大貫春次郎	大衆		15

注 この候補別得票数は「下野新報」に掲載された数値で、合計数値は鹿沼町事務報告書記載数値と若干異なっている。

鹿沼市史 通史編近現代より

- 7月7日 東武日光線新鹿沼ー下今市間が開通
- 19日 手塚筆四郎令息死去
- 8月12日 内務省、全国失業状況調査（失業者26万8590人と発表）
- 26日 新川庄一長女死去
- 9月19日 安生宅 例会
- 10月1日 東武日光線 下今市ー日光間が開通し東武日光線が全線開通
- 5日 岡本宅 例会 観月会
- 24日 世界大恐慌 ニューヨーク株式大暴落（暗黒の木曜日）
- 11月15日 新川宅 例会

資料

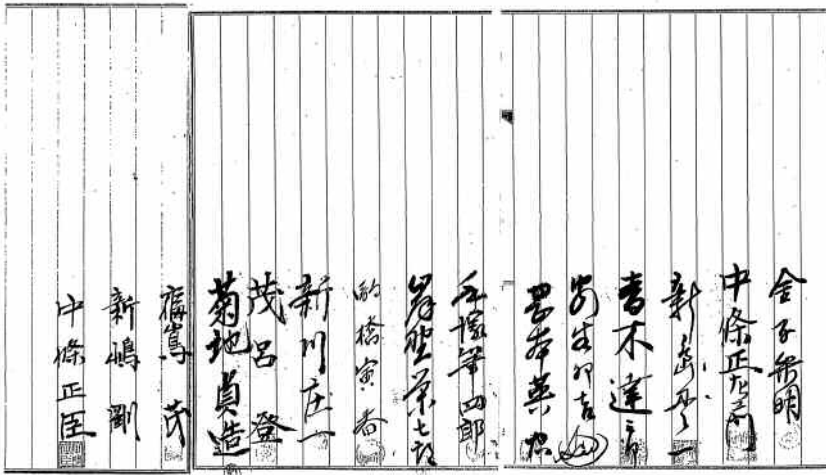


昭和4年の鹿沼歯科医師会協締書

5月改正版が残されている。

総則、団員、役員、集会及例会、災害慰問、経費、旅費の規約が詳細に書かれたあとに、右誓約締盟候也で締めくくってある。下記のように大正14年から昭和18年迄の入会者の署名が連らなっている。

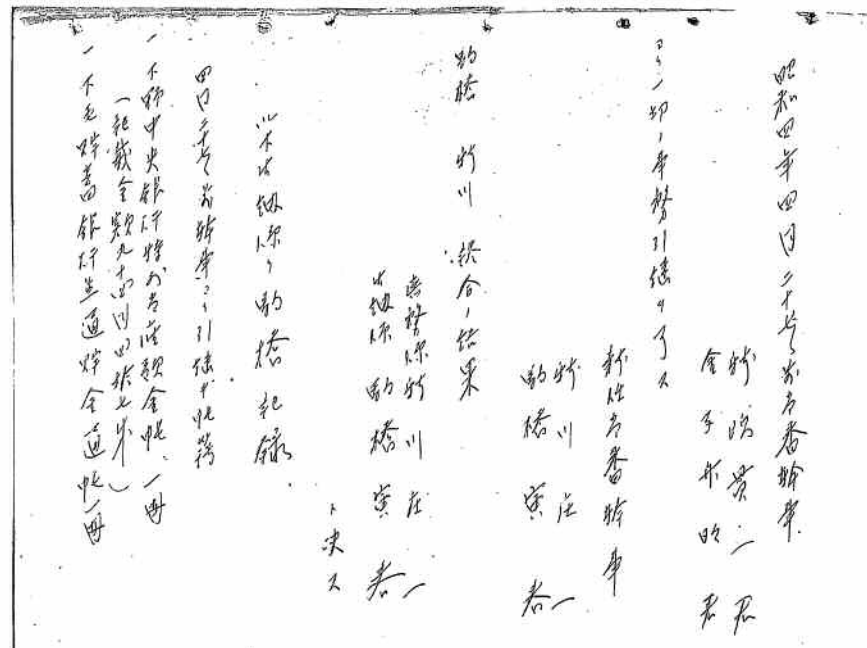
特筆すべきは、団に常任幹事2名を置き、一年交代で庶務、会計一切を処理し、県歯科医師会に代表者として出席するとあることで、この規約により、大正14年から団の貴重な資料が残された。





この年から鹿沼歯科医師団会計簿が残されている。庶務係新川庄一、出納係 駒橋寅春で、4月27日より始まっている。会費は月々2円50銭 会員数10名。現在所持金残高は

- 1. 下野中央銀行特別当座預金帳一冊  
(記載金額94円47銭)
- 1. 下毛貯蓄銀行普通貯金通帳一冊  
(記載金額121円26銭)
- 1. 現金  
31円50銭



- ◎物 価 ・塩鮭 100匁 (375g) 13銭2厘  
・初の国産ウイスキー、サントリー白、4円50銭
- ◎映 画 生ける人形、メトロポリス、都会交響曲、紐育の波止場
- ◎流行語 大学は出たけれど、モダンライフ、緊縮、全国の皆さーん!
- ◎流行歌 東京行進曲、君恋し、紅屋の娘



## ■昭和5年（1930）

- 2月15日 青木宅  
1. 3月の県歯総会に於て相互救済法の議案を提出すべく協議の結果、可決せず  
2. ライオン口腔衛生活動写真会、及び講演会の件に付協議
- 19日 午前 西校（現中央小） 金子
- 20日 午前 高等校（現西中） 岸野  
午後 東校（現東小） 新川
- 21日 午前 農商校 駒橋  
午後 高女校（現鹿沼高） 岡本
- 3月16日 安生卯吉死去（鹿沼町1623-6で開業中）香料180円
- 28日 県歯総会 会員出席  
県歯科医師会の役員と健康保険部の役員は、兼任でなく分離された。審査委員に駒橋寅春、湯沢菊四郎が選任された。保険組合との診療契約に関する件は会長に一任された
- 28日 内村鑑三死去 文久元年（1861）2月13日～昭和5年（1930）3月28日享年69才  
札幌農学校出身で、無教会キリスト教を唱えた宗教家、内村は、説法する時、音響設備のなかった時代、大声を出さなければならず、義歯を何度も調整してもらい、感謝の気持ちを込めて「Dentistry is a Work of Love」という扁額を小諸の歯科医に贈呈した
- 4月1日 栃木銀行（栃木町本店）突如休業
- 7日 青木達三郎令嬢（道子）病気につき見舞す
- 17日 駒橋宅  
1. 帝国製麻人事課長白石氏本社に栄転、後日送別会を催すことに決定  
1. 手塚筆四郎家屋調査議員に立候補を後援する  
1. 4月23日結核予防デーの衛生講話演者に手塚を推選する
- 21日 岡本宅  
帝国製麻白石氏送別晚餐会開催
- 27日 青木達三郎、手塚筆四郎 幹事引継
- 5月12日 駒橋宅  
健康保険課長及健康部長 築瀬眞策、小野春吉、小林武一氏来鹿、健保診療上乱診なき様懇談あり
- 5月 日本キリスト教（鹿沼伝導教会）設立、青木達三郎
- 26日 三五会員 鈴木邦之介医師死去、29日宝蔵寺で葬式
- 31日 青木宅  
ムシバデーにつき協議  
1. 各種配布印刷物につき  
強い歯と弱い歯（4500部）高等小学校（600部）東校（600部）西校（600部）北押原（500部）実科女子校（150部）他は町内へ

今日はムシバデー（2000部）東西校下級生へ  
 ポスター（90枚）近村町内学校と街角に貼る  
 パンフレット（1300部）町内衛生部（依頼町中に散す）

## 2. ムシバ予防講演出張順序

1 新島、2 岡本、3 青木、4 中条、5 金子、6 岸野、7 新川、  
 8 手塚、9 駒橋

講演 岡本（北押原小学校）新島（鹿沼高等女子校）

7月17日

金子宅

衛生組合に歯科医師より顧問として選出せられたき旨、菅又氏より依頼あり、一同協議の末、岡本氏欠席なりしが決定す

衛生組合は、昭和2年3月の栃木県令第16号「衛生組合規則」により組合の区域が市町村単位に拡大され、監督者が、市町村長から警察署長に移ることになった。昭和5年4月、鹿沼町衛生組合組織が変更され、小字町単位の旧衛生組合は支部となり、鹿沼町に単一の組合が設立された

8月3日

青木宅

健康保険に関し、宇都宮より築瀬氏来訪、駒橋欠席

健康保険の種々な注意を受ける

18日

華巖の滝エレベーター開通

10月1日

手塚宅

診療報酬規定につき協議、特に補綴部門を詳細に料金設定をした

東京－神戸間に特急「燕号」の運転開始

4日

米価大暴落、豊作飢饉 農業恐慌招来

11月4日

岸野宅

4日

浜口雄幸首相 東京駅で右翼の佐郷屋留雄に狙撃され重傷

5日

倉敷の大原美術館開館

11月10～17日 健康週間開催に関し、歯科相談部設置について

11月10～11日 健康週間 於鹿沼町役場2階

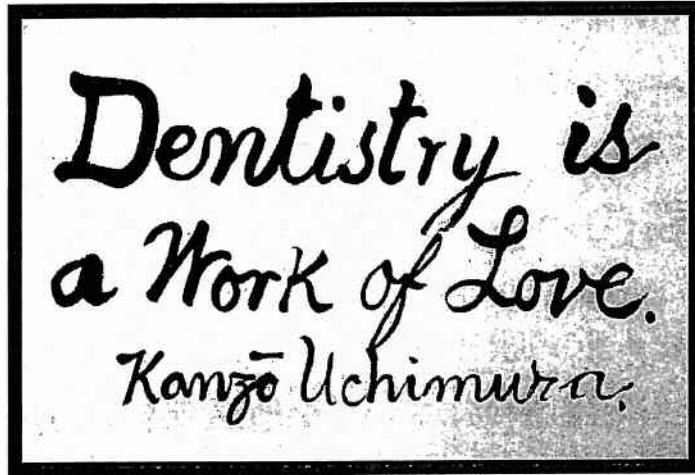
午前10：00～12：00、午後1：00～3：00、夜7：00～9：00

計6回 各回団員2名宛出張、一般患者の相談に応じ抜去（抜歯）と鎮痛をなす  
 来訪者88名（男47名、女41名）幼稚園児約50名



- 11月17日 東洋麻工株式会社へ出張し健康保険患者を診療する  
（大正6年（1917）8月日本ロップベルト株式会社設立「旧中半工場」）  
（大正12年（1923）10月 〃 東洋麻工株式会社と改称）  
出張日割当 二人宛二週間交替（一人は隔日に都合六回出張）  
（1. 手塚、2. 新川）（3. 新島、4. 岸野）  
（5. 駒橋、6. 金子）（7. 中条、8. 岡本）  
9. 青木  
備品  
1. 治療椅子（金子） 4. 薬品スタンド（金子） 7. ハサミ（駒橋）  
2. エンジン（駒橋） 5. 消毒器（岡本） 8. 器械棚（岸野）  
3. 手洗台（岡本） 6. レセプト（岡本） 9. レセプト（岡本）  
等 その他 消耗品や薬品を各自持ちよった。
- 20日 下野中央銀行（栃木県最大）預金が漸減して取付（一時に大勢の人が押しかけ預金を引き出すこと）の為臨時休業。  
都賀銀行〔明治30年（1897）4月23日南摩村に設立〕は、大正10年（1921）9月、鹿沼商業銀行と合併、その鹿沼商業銀行も南摩銀行（大正10年12月、南摩貯蓄銀行より改称）とともに鹿沼銀行に合併した。  
南摩興業銀行（明治33年（1900）南摩村に設立）は、大正2年（1913）12月に喜連川町（現さくら市）に移転、喜連川興業銀行と改称し、さらに大正10年（1921）宝積寺銀行と合併して下野実業銀行となった。この鹿沼銀行と下野実業銀行が、大正14年（1925）2月に宇都宮銀行、今市銀行、烏山産業銀行、喜連川銀行の四行と合併して県内最大の下野中央銀行（宇都宮市）となった。  
・駒橋 寅春……特に昭和5年の金融恐慌の影響で、当時の下野中央銀行が破産して預金がなくなり、無一文で再出発したときの苦労は忘れられない。  
・青木達三郎……昭和5年11月15日……帰途銀行前へ来たら、案の定休業である。阿久津にある700円と鹿沼にある500円と1200円がファイになった。…困った事になったが、こうなったらあきらめるほか何の道もない。  
・新島 貫一……借家、借地であったが銀行が破産した為、名儀が自分のものになった。しかし預金は戻ってこなかった。  
ほとんどの当時の団の先生方は当銀行と取引していた為、預貯金は取戻すことができなかつたと思われる。  
払い戻しがはじまつたのは12月28日になってからであった。しかし、小口の100円以下の預金者のみであり、しかも「宇都宮不動産会社」に債権を譲渡して、同社が立て替えた形での払い戻しであった。

12月29日 駒橋宅 忘年会  
補綴料金 不景気の為値下げ決議す



(軽井沢「石の教会 内村鑑三記念堂」資料展示室より)

下

**中央銀行休業**  
本日より三週間

昭和5年(1930)  
11月21日付下野新聞



下野中央銀行鹿沼支店(昭和初期・鹿沼市) 仲町大通り西側にあり、高さ24メートルの、鹿沼最高の石造建築物であった。明治42年に鹿沼商業銀行により建造され、合併により下野中央銀行鹿沼支店となった。その後、鹿沼郵便局舎となり、現在はその場所に屋台会館が建っている。

野新

**預金者に注意**  
栃木県から

昭和5年(1930)  
11月23日付下野新聞

資料

昭和4年4月の日本歯科医師会と政府との健康保険協定書の改正料金表である

種別	初診	料 金	摘 要
治 療	一歯一回二付〇、二五	〇、三五	一、齶歯外傷其ノ他硬組織病 二、智齒難生 三、齒齦炎及齒齦腫痛ノ處置
齒 齦 炎	〇、二五	〇、二五	齒齦腫痛、齒齦膿瘍、口蓋膿瘍ノ切開手術
口 腔 内 消 炎 手 術	一個所二付 〇、五〇 一回二付 〇、二五	〇、五〇 〇、二五	口腔内消炎手術後處置程度ノモ、 前記以外ノ「タンポン」交換
外 科 後 處 置 料	洗濯塗布 〇、二〇	〇、二〇	骨髄炎、骨膜炎、蜂窩織炎ノ後處置ノ場合
縫 帯 材 料	簡易ナルモノ 〇、二五 三角巾ヲ使用スルモノ 〇、四〇 巻軸帶ヲ使用スルモノ 〇、五〇	〇、二五 〇、四〇 〇、五〇	
抜 歯	一歯二付 一、〇〇	一、〇〇	抜歯ニ附随スル麻酔及前後ノ處置ヲ含ム
充 填	「ゴム」 一歯「セメント」一、〇〇 二付「アルガム」一、〇〇	〇、五〇 一、〇〇 一、〇〇	裏装及隔壁ヲ含ム
「ゴム」 林 義 歯	一牀一歯二付一、六〇	一、六〇	一歯ヲ増ス毎ニ金八〇銭
金 鈎	一個二付 一、五〇	一、五〇	
陶 齒 冠 繼 續 齒	一歯二付 四、〇〇	四、〇〇	
白 齒 金 冠	一歯 大白齒七、二〇 二付 小白齒五、四〇	七、二〇 五、四〇	充填ニ依リ齒冠回復ノ見込無キモノニ限ル
内 服 薬	一日分 〇、一〇	〇、一〇	特に高價藥ヲ使用シタル醫師會ニハ協定スルモノトス
頓 服 薬	一回分 〇、〇八	〇、〇八	
含 嗽 薬	四〇〇瓦二付〇、一六	〇、一六	容器ヲ必要トスル場合ハ一回ニ限リ容器代ヲ含ム
處 方 箋	四〇〇瓦二付〇、一六	〇、一六	

昭和5年10月1日現在での鹿沼歯科医師団の料金改正である

月 別 金

手取氏宅(十月一日)

料金旧訳につき 柳屋一左の如く下  
治療料 二歯未満は通  
三歯以上 一歯毎毎二十銭増

レントネキ 一円五十銭

金身、 一歯 四円  
カ白歯 五円  
大白歯 七円

ゴム床 厚金身 三円  
銀身 其他クラン 三円

老和  
ゴム床義 上下總義歯 十四円 片取七円  
金インレー 四円

其他合金インレー 三円

白金身 十五円

金歯 七円 (カミリーの町六円)

銀歯 四円

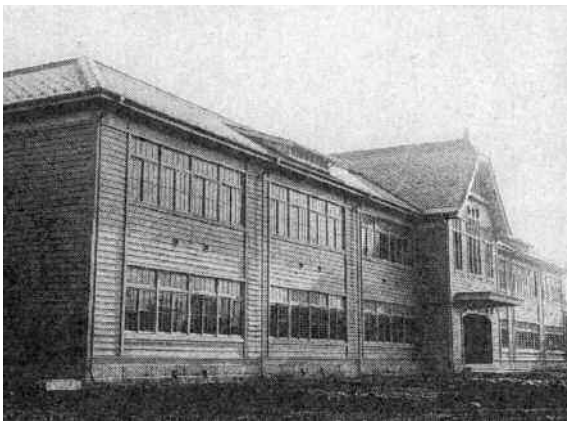
金鈎 一円五十銭



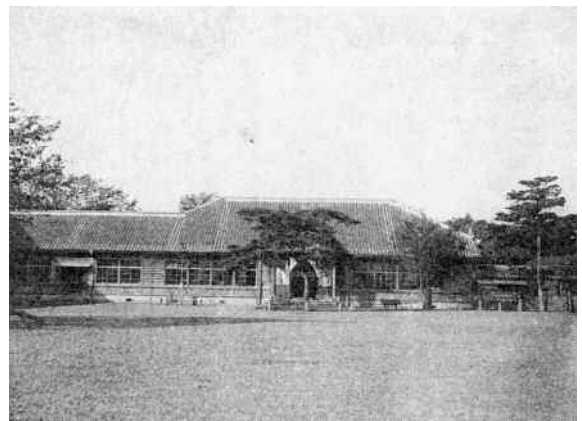
新制鹿沼高等女学校



鹿沼農商学校



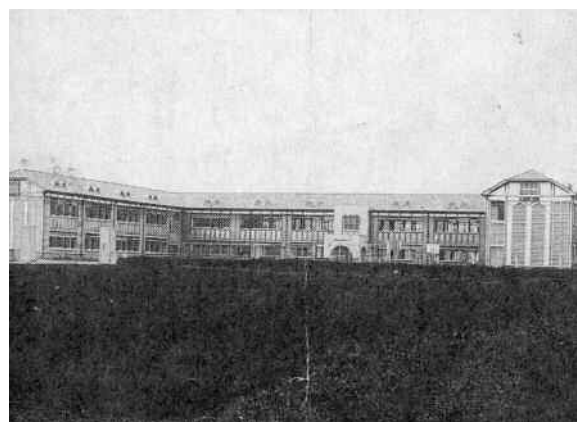
鹿沼小学校新校舎（西校）  
（後に鹿沼実科高等女学校）



鹿沼尋常高等小学校



鹿沼北尋常小学校



鹿沼尋常小学東校（開校時）

○鹿沼町大字鹿沼一、六〇八ノ二  
 今市町大字今市四九〇  
 ○鹿沼町大字鹿沼一、六九九  
 大字鹿沼二、六二二  
 大字鹿沼三、六〇九  
 ○全 吾妻町  
 ○全 大字鹿沼一、二九七  
 ○全 大字鹿沼一、三五九ノ一  
 ○日光町四軒町  
 南押原村大字榎木二〇四  
 足尾町五、六〇〇  
 栗野町大字仲町八八〇ノ六  
 今市町大字今市一三六  
 日光町大字日光下鉢石町九三五ノ二  
 ○鹿沼町大字上村木町  
 粟野町大字口栗野八二一  
 足尾町足尾鑛業所中才社宅  
 日光町清籠二〇二ノ二  
 ○鹿沼町下府所一八五  
 今市町大字今市四六七ノ一  
 足尾町松原二、六七八  
 日光町  
 足尾町一、四四五  
 日光町大字日光九二一  
 足尾町松原  
 ○ 小瀧弘道地社宅  
 今市町櫻木町  
 日光町下鉢石町九九三

○印は鹿沼歯科医師団員

○	山	大	野	山	小	今	古	高	手	宮	多	天	新	岡	田	小	武	安	橋	岡	青	岸	金	中	新	湯	駒
○	本	橋	村	崎	澤	澤	穠	穠	遠	塚	川	島	谷	川	野	杉	田	生	口	木	木	野	子	條	島	澤	橋
○	千	重	勝	義	恒	真	三	四	筆	米	準	庄	道	重	眞	近	英	三	七	達	榮	達	正	左	貫	菊	寅
○	代	美	治	正	明	二	一	省	郎	勇	吉	作	一	士	男	治	榮	貢	義	忠	郎	郎	明	門	一	郎	春
○	三	松																									

昭和5年8月1日現在

- ◎物 価 ・東京山手線（大正14年環状運転開始）初乗り5銭 ・かけそば10銭
- ◎映 画 何が彼女をそうさせたか、西部戦線異常なし
- ◎流行語 ルンペン、銀ブラ、エログロナンセンス、流線型
- ◎流行歌 酋長の娘、愛して頂戴ね、祇園小唄、ザッツOK

■昭和6年(1931)

- 1月9日 大澤楼にて三五会 新年会開催
- 3月20日 中条宅
  - 1) 3月23日 栃木県齒科医師会総会に青木、手塚幹事出席
  - 2) 帝国製麻会社料金改正問題
    - 治療のみ2割引、他は従前通り(但し4月1日より施行)
- 4月1日 上野-日光間、特急に食草車
- 2日 小林公四郎医師夫人死去
- 20日 下野中央銀行休業につき122.98円を三分にて今宮町亀山氏に、売渡代金36.50円受領す
- 5月20日 新島宅
  - 中条正左衛門、岸野栄七郎幹事引継ぐ
  - 1. 6月4日ムシ歯予防デー講演順序
    - 1. 中条、2. 金子、3. 駒橋、4. 岡本
  - 第2回講演順序
    - 1. 新川、2. 手塚、3. 岸野、4. 新島
  - 1. 帝国製麻協定問題は不協とすること
- 6月22日 勅令第144号公布
  - 学校齒科医及幼稚園齒科医令

本邦に適切なる学校齒科診療の制度に就て

学校齒科診療に於ては歯牙及口腔疾患の豫防を基礎として處置することを主眼とし、其の制度に就ては「学校齒科クリニック制度」の設置を原則となすべし、但し土地の事情又は其の他の事情に依り「学校齒科クリニック制度」採用の不可能の場合は「自由選擇制度」又は「巡回診療制度」を採用するも亦一方法なり。以下は小學校及幼稚園に於て通用されるものとす。

第一、學校齒科クリニック制度

一、各學校内に齒科クリニックを設置すること。

二、一枚一名以上の學校齒科醫によつて診療を行ふ。

三、診療の範圍は學校齒科醫の勤務日時數によつて考慮を要するも次の如く限定するを可とす。

イ、交換期に於ける乳齒の抜去。

ロ、永久齒殊に六歳臼齒の早期齲蝕の治療及充填。

ハ、乳齒の早期齲蝕の治療及充填。

ニ、患急處置。

ホ、其他豫防上必要なる處置。

四、診療ハ一定の方針の下に行ふを可とす。即ち診療日時數によりて決定すべきものにして、一年を通じて學校内に於て診療の可能なるは四十週内外に過ぎざれば(休暇日を除き)假に出勤回数一週二回、一回二時間として僅に百六十時間なりとす。故に此時間を全部診療に費すも到底全年の兒童を取扱ふこと不可能なり。依て最初第一學年の兒童に就て徹底的に行ひ、漸次上級に及ぶを可とす。學校齒科醫の勤務日時數に就ては事情により一定する能はざるべく、それによつて診療方針を樹つること論を俟たず。

五、診療の設備及び維持費消耗品費等は自治體又は學校によつて支拂せらるるを原則とするも、適宜保護者會等によつてなされるも可なり。

六、診療に對する料金は無料を原則とす。

第二、自由選擇制度

學校内に於ける検査の結果兒童をして開業醫に就き治療を受けしめる制度なり、此の制度に於ては次の如き方法を可とす。

一、診療範圍の限定

特に必要なる範圍に限り學校より強制して治療を受けしむ即ち

イ、交換期に於ける乳齒の抜去。

ロ、永久齒殊に六歳臼齒の早期齲蝕の治療及充填。

ハ、乳齒の早期齲蝕の治療及充填。

ニ、其他特に必要なる處置。

二、診療報酬

診療報酬の額並に其支拂方法は自治體と齒科醫師會又は其支部と協定するを可とす。

三、治療の完了せる場合には治療費は其旨を證明し學校に申告するものとす。

第三、巡回診療制度

一、診療設備

イ、器械一式を携行するもの。

ロ、各學校に設備するもの。

ハ、診療期間中其の學校内に備へるもの。

二、其他の事項は前同様なり。



熱心な会員によって行われていた校内処置方式についての答申である。

本会は、第2の自由選択制度で実施していたと思われるが、昭和14年、北小学校に歯科設備が設置され、6月13日、6月28日治療が開始された。東小にも設置された。昭和15年8月、併置校（現中央小）にも歯科設備が設置された。

7月15日 内務省社会局、5月の全国失業者総数40万人を突破と発表

7月15～21日 健康週間

各町に立看板を立て健康無料相談所を設け、歯科医師団（延64人）、医師団（内外科延59人）、薬剤師会、看護婦会、産婆会と協力する

8月7日 鳥井薬剤師母死去 幹事弔辞を呈す

11日 東武宇都宮線、新栃木～宇都宮間開通

25日 青木宅例会

災害慰問規定、広告問題改正

9月1日 東洋一（延長9,702m）の清水トンネル開通

18日 満州事変

関東軍、柳条溝で満鉄路線を爆破。これを中国兵のしわざとして総攻撃を開始。

26日 駒橋宅

十五夜月見会を兼ね例会

10月 都合上、例会休会す

10月29日 ゲーリックらアメリカ選抜野球チーム来日

12月25日 駒橋宅 忘年会



昭和6年8月 東武宇都宮駅

電車見物でにぎわう東武宇都宮線 東武宇都宮線は昭和6年（1931）8月11日に開通。省線電車ばりの新光景を見ようと多数の見物人や乗客でごった返した。開設当時、現宇都宮市に設置された駅は東武宇都宮駅と西川田駅だけであったが、翌年に花房町駅（同19年営業休止、同29年廃止）、同7年（1933）に南宇都宮駅、同19年（1944）に江曾島駅が宇都宮駅～西川田駅間に開業した。

◎物 価 ・ビール大瓶350ml 33銭9厘 ・木炭1俵4貫 1円33銭3厘

◎映 画 モロッコ、巴里の屋根の下、マダムと女房、一本刀土俵入

◎流行語 生命線、パーマメント、いやじゃありませんか、テクシー

◎流行歌 酒は涙か溜息か、丘を越えて、侍ニッポン

■昭和7年 (1932)

- 1月9日 天竜、大の里ら32人、相撲界の改革を叫んで協会を脱退
- 10日 石橋町火災 岡本英忠へ近火見舞
- 2月4日 新川庄一 子息死去
- 3月25日 県歯総会

▲朽木縣齒科醫師會總會 第七回定時總會は去る三月二十五日宇都宮市商工會議所に於て開會せられ出席者七十六名庶務報告の後左記議案を可決し、役員選舉の結果左記役員當選就任された。

(1)昭和五年度本會歳入歳出決算承認の件(原案承認)、(2)昭和五年度本會健康保險部特別會計歳入歳出決算承認の件(原案可決)、(3)本會並に健康保險部役員改選の結果左の如し。

會 長 星野 幸治 副會長 黒崎 博  
 常任理事 (調査)岡田 治清 (庶務)加藤 守内  
 (會計)中田金二郎

理 事 中村克三郎 三木 正 大岡 憲  
 川上 芳郎 湯澤菊四郎 小川 義治  
 秋山 保三

部 長 星野 幸治 副部長 天沼浦之助  
 理 事 (審事)松島 左門 (庶務)小林 武一  
 (經理)高橋延生吉(但し審査員は副部長理事の兼務とす)

監 事 篠瀬 眞策 小野 春吉  
 地方協議員 星野 幸治 黒崎 博 篠瀬 眞策

(4)昭和七年度本會收支豫算書承認の件(原案可決)、(5)昭和七年度健康保險部收支豫算書承認の件(原案承認)、(6)本會會則業務規定改正承認の件(原案可決)、(7)本會健康保險部規定改正の件第五條中「部長ハ本會保險醫中ヨリ選任シ」を「部長ハ本會會長之レニ任ス但シ時宜ニヨリ會長ハ他ノ者ヲシテ部長ニ選任スルコトヲ得」と改む、第十一條第二十三條は原案可決。(8)本會と健康保險組合との診療契約締結は會長に一任す(原案可決)、(9)健康保險部特別會計規定中改正の件(原案可決)尙ほ齒科診療報酬規定改正案は前同に於て役員附託の處本總會に於て報告決定した。

- 4月18日 新島宅  
岡本英忠、新島貫一幹事引継ぐ
- 5月9日 相場恭治医師令息死去 幹事2名会葬 (5月11日2時於宝蔵寺)
- 15日 5.15事件  
犬養毅射殺さる。古賀清志ら海軍青年将校と陸軍士官学校生徒ら首相官邸などを襲撃
- 6月4日 ムシ歯予防デー  
駒橋 農商校  
金子 高等女学校 (現鹿沼高) で講演す
- 7月10日 黒磯町晚翠橋開通
- 12日 手塚宅  
健康週間の実施事項につき協議
- 8月10日 中条正左衛門夫人君子氏死去 犬伏町 (現佐野市) で火葬の為岡本、新島、自動車  
で出張し会葬す
- 26日 岸野宅  
1. 補綴料金改正  
前歯金冠5円、小白歯6円、大白歯8円等  
1. 帝国製麻会社との技工方面は一致して割引せざる事
- 28日 日光登山鉄道 馬返-明智平間開通
- 12月16日 東京日本橋の白木屋百貨店が火災、若い女性14人が焼死、以後ブローズ着用普及  
関東自動車、寺町車庫止りを新鹿沼駅迄の路線延長

昭和七年三月二十七日 日曜日

**下野新聞**

日六十二月三

**縣下十二勝  
當選地發表**

一四〇、六六一票  
川治温泉の奇勝  
鹽谷郡藤原村

一〇〇、五六七票  
縣社今宮神社  
上都賀郡鹿沼町

八三、八八四票  
板室温泉  
那須郡高林村

七一、三七三票  
小倉川堤の櫻  
上都賀郡南押原村

縣下十二勝當選發表（下野新聞 昭和7年3月27日）

## 鹿沼の文学碑

半田良平（明治二十年「二八八七」―昭和二十年「一九四五」）上都賀郡北犬飼村深津（現鹿沼市）出身。昭和二十四年、日本芸術院賞受賞。同年十二月第一回栃木県文化功労賞を受賞。



津田小正門  
窪田空穂書

ただ一首の歌にその名をとどめたる

わが下野の今奉部与曾布

万葉集卷二十、防人の歌

今日よりは顧みなくて大君の

醜の御盾と出で立つわれは

良平

下野の防人 火長、今奉部与曾布

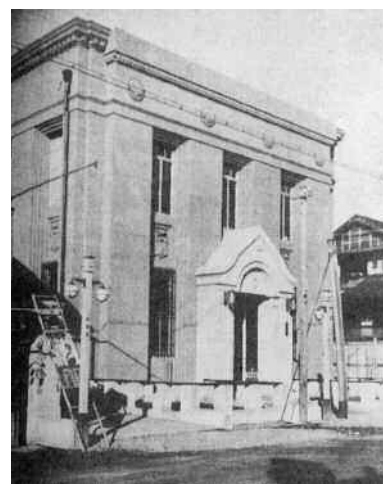
火長とは当時の兵制で、兵士十人一組の「火」の長という意。醜の御盾は自ら卑下した語で数ならぬ一兵としての意。

郷土出身の防人与曾布はただこの一首で、後世、天下にその名を高めた。良平はそのことに感嘆し、賛美した。この歌は、良平没後の遺歌集『幸木』に採録されており、その『幸木』が芸術院賞を受賞したことにより、彼自身も歌人の一人として認められることとなった。

- ◎物 価 ・コーヒー5銭 ・煙草ゴールデンバット5銭
- ◎映 画 生まれてはみたけれど、自由を我等に、三文オペラ、弥太郎笠
- ◎流行語 話せばわかる、問答無用、オケラ、天国に結ぶ恋
- ◎流行歌 影を慕いて、涙の渡り鳥、銀座の柳、アリラン

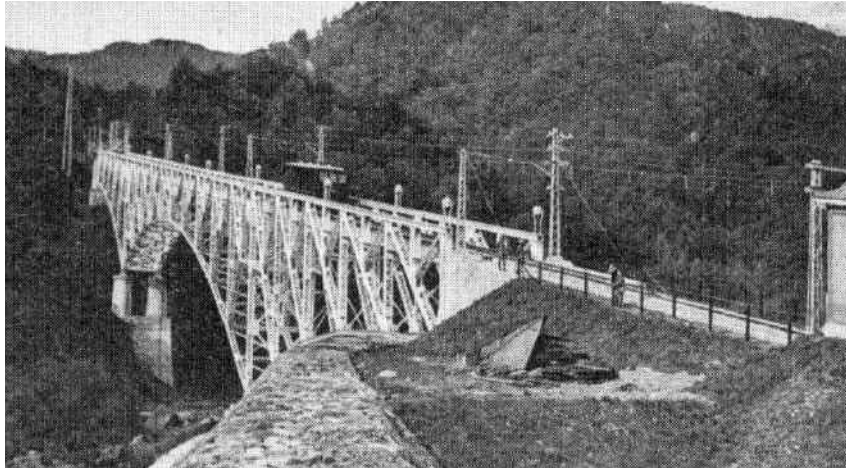
## ■昭和8年（1933）

- 3月25日 県歯総会 岡本英忠 日本歯科医師会議員に推挙さる
- 27日 日本国際連盟に脱退を通告
- 31日 足利銀行鹿沼支店 設立  
 加蘇貯蓄銀行は明治33年（1900）12月5日加蘇村大字加園38-2に営業開始。  
 大正11年（1922）1月1日、加蘇銀行と改称、大正15年（1926）12月27日、  
 鹿沼町1544番地（現足利銀行所在地）に移転  
 昭和5年（1930）1月1日、鹿沼興業銀行と改称、昭和8年3月31日譲り受け  
 により足利銀行鹿沼支店となる
- 4月 中田静嘉 西方村本郷396に開業
- 4日 歯科医師法第4次改正法公布  
 明治39年5月1日 法律第48号  
 大正5年8月9日 法律第44号  
 大正14年4月13日 法律第45号  
 昭和8年4月4日 法律第46号  
 国公立の学校ができたこと、非歯科医師の開設する歯科診療所についての規定、広告  
 に関する規制について、カルテの5年保存等について改正を加えたものが公布された
- 20日 新川宅  
 金子弁明、駒橋寅春、幹事引継ぐ
- 6月4日 ムシバ予防デー  
 農商校 岡本  
 高女校（現鹿高）新島 講演す
- 11日 鳥井薬剤師三女良子嬢死去
- 7月15日 健康週間  
 例年通り各自宅にて無料診療をなす
- 20日 若松楼  
 近隣同業者を招き懇親宴会を開催  
 星野県歯会長出席、天谷（栗野）、安  
 生（楡木）、中条、新川欠席
- 8月15日 川田憲治医師死去 全会員会葬す
- 9月15日 駒橋宅  
 安生（楡木）、天谷（栗野）、小杉（栗野）、鹿沼同業者参集  
 規正改正の協定をなす
- 10月12日 鈴木趙医師母死去
- 11月3日 日光登山鉄道、明智平―展望台営業開始
- 8日 東京、府中市に東京競馬場が開場、5万人収容。



加蘇銀行本店  
 （現足利銀行鹿沼支店のところ 大正15年頃）

12月23日 新川宅出火 見舞金20円贈呈す



大谷川を渡る日光ケーブルカー



途中で行違う日光ケーブルカー



明智平ロープウェー（上掲3枚とも絵はがき）

資料

健康保険法は、昭和2年（1927）1月から施行された政府管掌健康保険の場合、被保険者は歯科医師会会員であればどこで受診してもよい。

歯科医師は日本歯科医師会の定めた診療報酬点数計算規定によって各自の稼動点数を請求する。

道府県歯科医師会は、各月の府県内被保険者数に請負額68銭5厘の1/12を乗じた額を受取り、その額を道府県ごとに全部の稼動点数で除して一点単価を算出して各会員の稼動点数に応じて分配する。

従って、各府県ごとにその月の請負額の総額はきまっているから、その道府県の稼動点数が多ければ単価は低くなることとなり、単価は道府県によって月毎に異なることになった。

以上が人頭請負制である。

補綴については承認制をとるとともに勤労手当制（定額制）をとることとなった。昭和2年4月1日より実施

昭和2年8月9日 政府管掌健康保険の場合は、人頭請負制が廃止され、定額支給制になった。出来高払である。但し補綴の承認制、10円以上の高額のもの事前承認制などが決った。

補綴料金表  
昭和二年三月三十日政府対日本歯科醫師會契約書第五條第一號ノ規定ニ依ル料金左ノ通り定ム。

一、「ゴム」牀義歯	一齒	二圓
一齒ヲ増ス毎ニ八拾錢		
一、「ゴム」牀義齒	一額	十二圓
一、「ゴム」牀義齒	上下額	二十四圓
一、金 鈎	前齒	十圓五十錢
一、同 上	白齒	二圓
一、陶齒冠 繼續	白齒	五圓
一、白齒 金冠	小白齒	六圓
一、同 上	大白齒	八圓

（充填ニ依リ齒冠恢復ノ見込ナキモノニ限ル）

種別	初診	治療	抜歯	充填	ゴム床義齒	金鈎	陶齒冠繼續	白齒金冠	内服薬	額服薬	合嗽薬	薬方箋	種別	料	金	摘要
	〇・二五	一齒一回ニ付 〇・二五	一齒ニ付 一・〇〇	一齒ニ付 一・〇〇 「セメント」 「アマルガム」 一・〇〇	一床一齒ニ付 一・六〇	一個ニ付 一・五〇	一齒ニ付 四・〇〇	一齒ニ付 七・二〇 小白齒 五・四〇	一日分 〇・一八	一回分 〇・〇八	四〇〇瓦ニ付 〇・一六	四〇〇瓦ニ付 〇・一六	種別	〇・二五	円	一人ニ付六ヶ月有效 一、齶齒外傷其ノ他硬組織病 貼薬 假封 覆蓋、根管ノ治療及充填其ノ他治療ヲ爲ス患齒 ニ基因スル齒齦病及二齒根膜炎及口腔内ノ瘻孔ノ處置（膿漏ノ治療 及抜齒ヲ除ク） 二、智齒難生 貼薬 塗布及齒齦瘻ノ處置 抜齒ニ附随スル麻酔及前後ノ處置ヲ含ム
					一齒ヲ増ス毎ニ八〇錢			充填ニ依リ齒冠回復ノ見込無キモノニ限ル 特ニ高價藥ヲ使用シタル場合ニハ政府ト日本歯科醫師會ト協定スル モノトス				容器ヲ必要トスル場合ハ一回ニ限り容替代ヲ含ム				

これに基づいて、昭和4年4月から健康保険協定書がきめられ料金表が改正された。

1 歯の治療は5回迄、単純性の口内炎、舌炎は10回迄、充填は完了してから1年以内、補綴も完了してから1年以内の請求は認められない等の制限付である。

健康保険の給付は定額制であるが、契約は政府との間に純粋は一定限度がある。昭和4年度は被保険者1人当91銭8厘で契約したが、昭和5年（1930）度では97銭3厘になったので昭和6年は減額の申入があり、昭和6年度は1体10%減の改正を行った

種別	初診	昭和六年度協定料金	摘要
治療	一歯一回に付	〇、二二	一、齲齒外傷其の他硬組織病 貼薬、假牙、覆葉、抜歯、根管の治療及充填其の他治療を爲す患歯に基因する齲齒病に歯根膜炎及口腔内の瘻孔の處置（膿漏の治療を除く） 二、智歯發生
歯齦炎		〇、二二	貼薬、塗布及歯齦縁の處置
口腔内消炎	一箇所に付	〇、四五	歯齦腫瘍、歯槽膿瘍、口蓋膿瘍の切開手術
右後處置料	一回に付	〇、二二	
外科後處置	交換 「タンポン」 交換 其他	〇、二二 〇、三五 〇、三五	口腔内消炎手術後處置程度のもの 前記以外「タンポン」交換 骨髄炎、骨膜炎 線維織炎の後處置の場合 抜歯に附随する麻酔及前後の處置を含む
抜歯	一歯に付	前歯 〇、八〇 六〇	
充填	一歯に付 他 ゴム セメント アマルガム	〇、四〇 九〇	裏装及隔壁を含む
義歯	一歯に付	一、四〇	一歯を増す毎に七〇銭
金鈎	一個に付	一、三五	
義歯冠	一歯に付	三、六〇	
陶歯冠	一歯に付	六、五〇	充填に依り歯冠修復の見込無きものに限り
白歯冠	一歯に付 大白歯 小白歯	四、八〇	
内服薬	一日分	〇、一〇	特に新製薬を使用したる場合は政府と日本歯科医師会と協定するものとす
頓服薬	一回分	〇、〇八	容器を必要とする場合は一回に限り容器代を含む
含嗽薬	四〇〇瓦に付	〇、一五	
嚔方箋	四〇〇瓦に付	〇、一五	
處方箋		〇、一五	
糊帶材料	簡易なるもの 三角巾を使用 するもの 普通を使用 するもの	〇、四五 〇、三五 〇、二二	

健康保険組合における医療組織には

1. 保険組合又は保険組合の設立ある工場又は事業所附属の診療機関によるもの。
1. 診療機関を有するも尚医師会又は歯科医師会と医療契約を締結するもの。
1. 医療機関を有せずして医師会又は歯科医師会と契約を締結し、医療給付をなすもの
1. 若干の嘱託医を指定し、之により医療給付をなすもの。

などがあつた。

又契約様式には1人年当人頭式、定額式（勤労手当式）、時価式、割引式などがあつた。本団は人頭式で一点単価を算出し、協定料金の所定点数に乗じてでた総額を割引していたのでその割合を毎年帝国製麻と契約しなければならなかつた。

契約先 契約様式	医師会		歯科医師会	
	報酬額	組合数	報酬額	組合数
人頭式	一人年当 7円42銭6厘7毛のもの	33	一人年当55銭7厘のもの	1
	" 7円60銭迄 "	2	" 61銭 "	14
	" 7円80銭 "	1	" 66銭 "	6
	" 8円 "	2	" 68銭5厘 "	13
	" 8円20銭 "	2	" 1円迄のもの	4
	" 8円40銭 "	1	" 1円50銭 "	14
	" 8円60銭 "	5	" 1円50銭を越ゆるもの	3
	" 8円80銭 "	5		
	" 9円 "	2		
	" 9円50銭 "	9		
	" 10円 "	8		
	" 12円 "	3		
" 15円 "	5			
" 15円を越ゆるもの	1			
不明	1			
計		78	計	55
定額式	1点 10銭のもの	5	1点 6銭のもの	1
	" 18銭 "	2	" 7銭のもの	2
	" 20銭 "	105	" 8銭のもの	5
	" 21銭 "	1	" 9銭のもの	4
	" 22銭 "	1	" 10銭のもの	39
	計		114	計
時価式	1点15銭~25銭 政府管掌分の其の月の単価に 依るもの	52		
	計	19		
割引式	道府県医師会規定の1割引	2	1点単価10銭として2割引	2
	" 3割引	4	" " 3割引	1
			" " 4割引	7
			通常報酬の 2割引	4
			" " 3割引3分引	4
	計	6	日本歯科医師会規定の最低額の3割引	2
嘱託医		43		118
	組合を工場事業場に所属する診療機関のみによるもの	25		25
計		337		337

備考 医師会、歯科医師会と契約ありて尚診療機関を有するもの37組合ある  
又薬剤師会と契約あるもの1組合ある。

種別	一般診療	歯科診療
嘱託醫に依るもの	三一	五四
事業主經營の診療機関に依るもの	一四〇	五五
組合經營の診療機関に依るもの	二五	九
醫師會又は齒科醫師會と契約せるもの	七	一一
入頭式	七	一一
定額式	五〇	一一
時價式	一六四	二
割引式	二	二
計	二九三	二三四

健康保険組合の医療組織（昭和元年同二年度社会局  
保険部編纂健康保険事業年報による）  
【『国民皆保険に関する諸問題』より転載】

健康保険歯科診療は当初、人頭請負式で始まり、大きな齟齬を来たした為、まず補綴を定額式に、ついで全部を定額式にしたが、これでは保険料との兼合いで、定額のいちじるしい減額をもとめられることとなったので昭和8年（1933）になって再び人頭請負式にもどすこととなった。被保険者1人当年額84銭で請負うこととなった。

被保険者の総数1ヶ年平均120万人と仮定し、1人当年額84銭を元に乗じると日本歯科医師会が政府より受入れる診療請負額は年に94万800円となる。之を1/12した額が月々の診療報酬である。この内8割5分弱を各道府県歯科医師会に、残りの1割5分3厘を日本歯科医師会に分配する。分配標準は被保険者率を6割、受診者率を2割、従来支払はれたる診療報酬額率を2割とする。分配をされた額を各道府県ごとに全部の稼働点数で除した額が、一点単価である。その点数に各会員の稼働点数を乗じた総額が請求額である。



種別	点数	要
初診	二點	一人二付六ヶ月有効(當分ノ間之ヲ請求セザルモノトス)
治療	一齒一回二付 二、二點	一、齦齒外傷其ノ他硬組織病 貼藥、假封、覆罩、抜髓、根管ノ治療及充填其ノ他治療ヲ爲ス患齒ニ基因スル齒齦病並ニ齒根膜炎及口腔内ノ瘻孔ノ處置(膿漏ノ治療ヲ除ク) 二、智齒難生 貼藥、塗布及齒銀辨ノ處置
齒齦炎	二、二點	齒齦膿瘍、齒槽膿瘍、口蓋膿瘍ノ切開手術
口腔内炎、舌炎	一、二點	
口腔内消炎手術	一個所二付	
右後處置料	一回二付	
洗滌牽布	一、八點	
外科後處置料	タンポン交換 二、二點	口腔内消炎手術後處置程度ノモノ 前記以外ノタンポン交換
拔牙	其ノ他 五、五點	骨髄炎、骨膜炎、蜂窩織炎ノ後處置ノ場合 拔牙ニ附随スル麻醉及前後ノ處置ヲ含ム
充填	一齒二付 前齒 六點	裏裝及隔壁ヲ含ム
ゴム床義齒	一床一齒二付 十四點	一齒ヲ増ス毎二七點
金鉤	一個二付 十二、五點	
ウヰブラ鉤	一個二付 十二、五點	
陶齒冠續齒	一齒二付 三十六點	
白齒金冠	一齒二付 小臼齒 八十點 大白齒 六十點	充填ニ依リ齒冠回復ノ見込無キモノニ限ル 特に高價藥ヲ使用シタル場合ニハ政府ト日本齒科醫師會ト協定スルモノトス
内服藥	一日分 一點	
頓服藥	一回分 〇、八點	
含嗽藥	四〇〇瓦二付 一、五點	容器ヲ必要トスル場合ハ一回ニ限り容器代ヲ含ム
電法	四〇〇瓦二付 一、五點	
處方箋	一、五點	
簡易ナルモノ	二、二點	
三角巾ヲ使用スルモノ	三、五點	
卷軸帶ヲ使用スルモノ	四、五點	

(二點ハ拾錢ヲ標準トス)

栃木県齒科医師会は、昭和8年(1933)9月30日臨時總會を開催し、同年11月7日午前9時、日本醫師會館で開かれた第10回總會に出席し右記の意見書を提出した。

- 16、栃木縣齒科醫師會は總會の決議を以て左記要趣御  
 檢察御考慮相成度此段及陳情候也
- 要 趣
- 一、齒科醫育機關亂立の制止
  - 二、各齒科醫學校收容學生員數の制限
  - 三、全國齒科醫師分布の均衡
- 本會は左の要旨に基き昭和九年度健康保險齒科診療報酬分配法を以て此段及陳情候也
- 要 旨
- 昭和九年度健康保險齒科診療報酬分配法は被保險者數を四割受診者數を二割從來受領したる診療費を四割とし且つ少くとも去過三四年間の診療狀況の平均數字を基準として算出すること (栃木縣)
- 17、學校齒科醫令第一條文中中學校齒科醫を置く事を得とあるを「學校齒科醫を置くべし」と改正せられん事を其筋に建議せられん事を切望す (栃木縣)

- ◎物 価 日活系封切館・邦画3本立 30錢
- ◎映 画 滝の白糸、丹下左膳、制服の処女、巴里祭
- ◎流行語 転向、男装の麗人、非常時、赤化思想
- ◎流行歌 島の娘、東京音頭、巴里祭、十九の春

## ■昭和9年（1934）

- 1月11日 三五会 新年宴会 於喜楽
- 1月 宇都宮駅弁当、東鉄局内で1等入選
- 2月25日 小学西校（現中央小）  
改正歯科医師法案を県衛生課長より聴講後、若松楼に於て郡医師会員と共に懇親会開催  
医師法も歯科医師法も昭和8年に一部改正（4月公布、11月1日施行）された。  
特に第4条の2、歯科診療所ノ開設、構造、設備及管理ニ関シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
次に歯科診療をしたらすぐに診療に関する事項を診療録に記載すること、第6条の2 地方長官は衛生官吏に診療録を査閲させることができる。第7条、歯科医業に関しては、歯科医師の学位、称号及び命令をもって定められた専門科名以外の技能、療法、経歴に関する広告の禁止などである。  
また非歯科医師に対する刑罰、罰金も改正、新設された。  
この様に中央の法令による諸々の規制が強化された。  
歯科医師法改正に伴い、「歯科診療所取締規則」が制定された。  
第1条 歯科診療所ト称スルハ公衆又ハ特定多数人ノ為歯科医業ヲ為ス場所ヲ謂ヒ  
          歯科病院ト称スルハ歯科診療所ニシテ患者十人以上ノ収容施設ヲ有スルモノヲ謂フ  
これは、歯科医業をなす場所を診療所とし、そのうち患者10人以上の収容施設を有するものを病院と、明確に区分した。第2条、第3条で非歯科医師の歯科診療所、歯科病院の開設は、地方長官の許可制となった。
- 3月1日 満州国執政、溥儀、皇帝となる
- 16日 新島宅 手塚筆四郎、新川庄一幹事引継ぐ
- 21日 小林公四郎医師子息 一二氏死去
- 4月 町立鹿沼実科高等女学校（大正2年に鹿沼尋常高等小学校〔現中央小〕に付設され通称併置校と呼ばれていた）が新設校舎に移転した。旧西中、現上都賀庁舎へ
- 19日 鹿沼警察署  
結核予防デー協議会で活動写真をなす事に決定する
- 5月 上都賀病院設立認可される
- 20、21日 旅行  
省線鹿沼駅午前7時20分発  
箱根熱海方面一泊旅行 岸野病欠
- 7月1日 英国人バーナード・リーチが益子町の浜田庄司宅で窯開き。
- 7日 石川荘一医師子息義人（2才）死去 弔旗一流
- 10日 鹿沼警察署

健康週間協議会 出席組合

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 歯科医師会 | 1. 医師会   | 1. 薬剤師金  |
| 1. 理髪組合  | 1. 旅館組合  | 1. 料理組合  |
| 1. 豆腐商組合 | 1. 菓子商組合 | 1. 役場衛生係 |

- 7月18日 大井田満医師母堂慶子死去 19日引田葬儀場に会葬  
 7月19、20、21日 3日間200枚の施療券を配布する。  
 8月14日 手塚筆四郎 小女尊子死去。  
 19日 ヒトラー首相、大統領を兼任。  
 9月12日 室戸台風（風速60m）。  
 21日 大野政次医師キク夫人死去。  
 11月2日 ベーブブルース等、米国選抜野球団来日。  
 12月4日 日光国立公園指定。  
 26日 駒橋宅  
 忘年会  
 茂呂登入会歓迎会開催 全員出席



鹿沼警察署（大正5年頃）  
 昭和12年 同所に改築  
 昭和42年 東末広町に移転

昭和8年10月1日、第1回歯科医勢調査の結果が昭和9年6月に発表された。

この10月1日現在の歯科医籍登録番号は20,344人で、申告は15,874人、死亡、海外移住者等は2,350人と推定されている。この時、婦人歯科医師は997人で全体の7%弱であった。又、自分で開業していた歯科医師は14,216人、そのうち勤務していた歯科医師は1,555人で約10%弱。

資格取得別では下記の通り、この時すでに入歯、歯抜口中療治営業者は68人でその年齢は最低の人が63才で大部分は70才を超えていた

資格取得別	人数	年齢
専門学校卒業	七六九五	
試験合格	八〇九九	
外国卒業	七七	
標榜医	六八	
明治年間に開業したもの	六五七	(五%)
大正五年まで	一三〇四	(九%)
大正十年まで	四四五六	(二九%)
昭和六年まで	三七二八	(三二%)
昭和七、八年	一四五九	(二〇%)

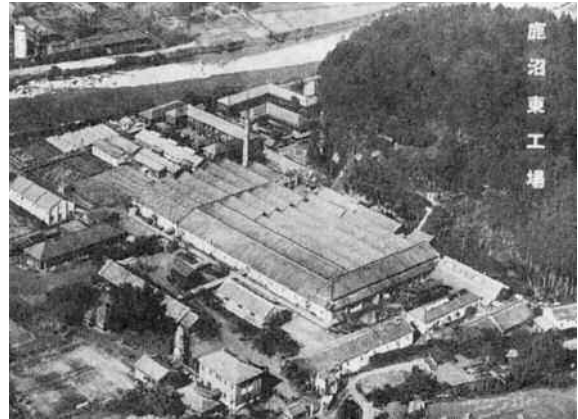
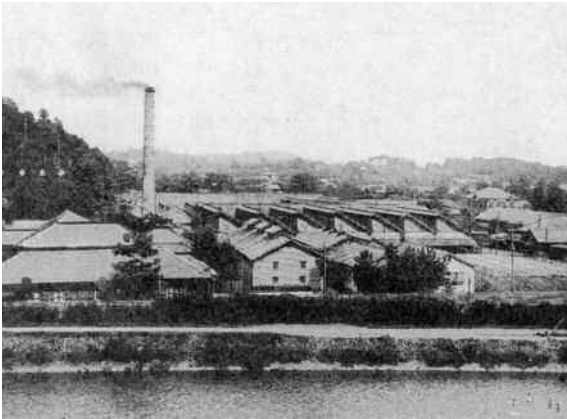
  

専門科名	人数	年齢
いむゆる専門科名(標榜科名)としては、		
口腔外科	五〇四	抜歯科 六六
口腔X線科	三	X線科 三二
保存科	一六	膿漏科 二一
児童科	三二	矯正科 八二
口腔X線科	三	補綴科 三一
口腔矯正科	三	義歯科 一七
架工科	三	技工科 五
物理科	一	顎骨整形科 一
時型矯正科	一	ポ―セレン科 五

- ◎物 価 バス運賃 宇都宮―鹿沼 30銭
- ◎映 画 国産ニュース映画出現、隣の八重ちゃん、生きとし生けるもの、会議は踊る、街の灯、商船テナシチー
- ◎流行語 風俗、開襟シャツ、漫才、国防ファッショ
- ◎流行歌 赤城の子守歌、国境の町、ダイナ

## ■昭和10年（1935）

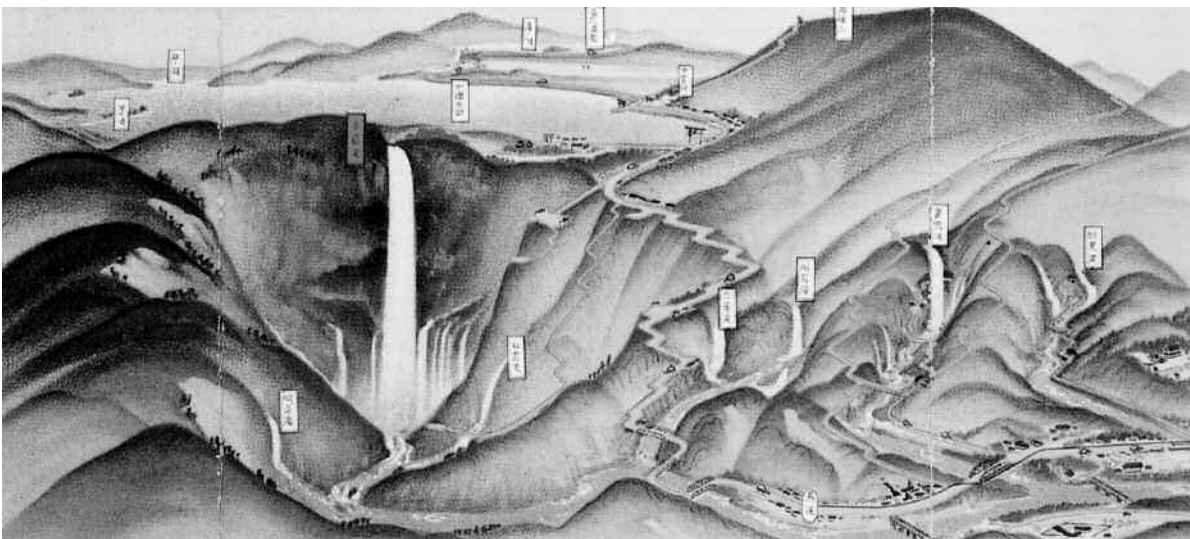
- 1月11日 三五会 新年宴会 喜楽
- 2月 鹿沼尋常小学東校が鹿沼東尋常小学校と改称  
湯川秀樹 中間子論発表
- 19日 岸野家  
帝国製麻会社との歯科診療について協議、大体前年通りを希望する
- 27日 新川宅  
学校歯科医について協議  
鹿沼高等女学校（現鹿高） 新島貫一  
鹿沼農商学校 中条正左衛門 に決定
- 3月8日 東京渋谷駅 忠犬ハチ公死ぬ
- 10日 石川荘一医師死去 12日葬儀に参列、弔辞を読む
- 18日 薬王寺  
サンプル操作講習会、三金研究所主催  
出席者 岡本、新島、中条、青木、岸野、茂呂、手塚、小杉、天谷（粟野）、  
安生（楡木）、駒橋
- 25日 青木宅  
青木達三郎、岡本英忠幹事引継
- 4月 鹿沼北尋常小学校開校
- 7月1日 菅沼 清 西方村金崎336に開業
- 7月 上都賀病院 開院
- 9月 第1回芥川賞 石川達三、第1回直木賞 川口松太郎 受賞
- 4日 鹿沼町で黒川に架かる鹿沼府中橋竣工式を行う
- 10月1日 国勢調査  
栃木県 鹿沼市  
内地人口 6,925万余 1,195,057人 22,797人  
外地人口 2,844万余
- 11月1～7日 健康週間  
11月1日、2日の2日間無料診療券を300枚配布  
持参した人に簡単な治療及び抜歯をする
- 8日 岡本宅  
大升式アタッチメント デモンストレーション
- 26日 日本ペンクラブ結成
- 12月 五十里発電所送電開始



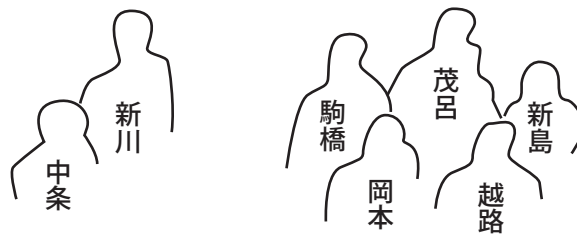
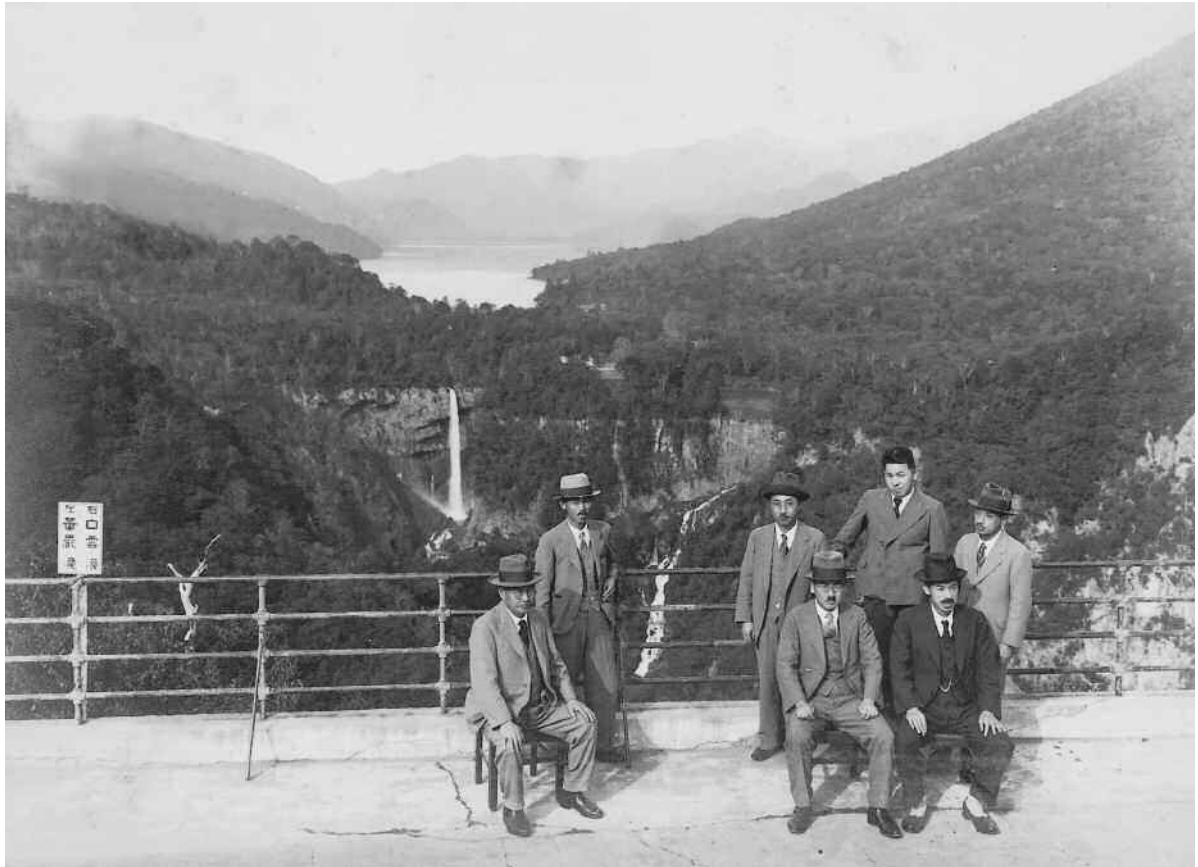
帝国製麻鹿沼東工場（昭和10年頃）



帝国製麻鹿沼西工場（昭和10年頃）



吉田初三郎（1884～1955）が描いた日本八景華嚴滝の鳥瞰図



昭和2年 各観光地の整備が進み、交通網も発達し、日本には時ならぬ観光ブームが興った。この機に、大阪毎日新聞社、東京日日新聞社は、鉄道省の後援も得て日本八景を選定し、同時に日本二十五勝、日本百景を選び、このブームを盛り上げた。華厳滝は瀑布の部で日本八景に選ばれた。日光登山鉄道、明智平―展望台間の営業は昭和8年11月3日開始で、上の写真は昭和10年頃のものと思われる。(調査の結果、昭和22年と判明)

- ◎物 価 地下鉄(東京) 初乗り 5銭  
 昭和2年(1927) 上野・浅草 2.2km 最初10銭  
 // 5年(1930) 上野・万世橋  
 // 6年(1931) 万世橋・神田 3駅まで5銭  
 // 14年(1939) 浅草・渋谷 直通運転 現在の銀座線
- ◎映 画 街の入墨者、外人部隊、未完成交響曲
- ◎流行語 人民戦線、国体明徴、新官僚、暁の超特急
- ◎流行歌 二人は若い、野崎小唄

## ■昭和11年（1936）

- 1月16日 青木宅  
1. 中条氏の農商生2割引の件につき  
現在治療代最低20銭以下に値下げの事拒否に決す  
次晩中条氏訪問して幹事（青木、岡本）交渉すべき事  
1. 新年宴会は1月24日午後2時、大沢楼にて  
郡歯科医師会親睦会とする
- 17日 幹事中条氏訪問  
20銭以下に値下げしないことを口約す
- 20日 中条氏2割引問題撤回す
- 24日 大沢楼  
郡歯科医師会親睦会  
新年会ゴタゴタ（青木達三郎日記より）
- 2月26日 2.26事件  
皇道派の青年将校1,400人余の兵を率いて首相官邸などを襲撃し、内大臣齋藤実、  
蔵相高橋是清、教育総監渡辺錠太郎らを殺害
- 3月17日 中条宅  
茂呂 登、中条正左衛門 幹事引継ぐ
- 4月27日 結核予防デー無通知の為 出席せず
- 5月18日 阿部定事件  
25日 旅行、36型の車で三依ー田島ー会津若松ー鶴ヶ城ー東山ー泊  
26日 須賀川ボタン園ー白河ー黒羽ー宇都宮、米田屋で肉を食べる  
行程 4百数十キロ、手塚、岸野、青木不参加  
30日 茂呂宅  
ムシバ予防デーに関する協議  
積極的に運動はせぬ事に決す
- 7月27日 中条宅  
1. 鹿沼保育園院長（福田代造氏）より囑託歯科医推薦依頼あり  
28日 新島貫一に決定  
1. 帝国製麻会社より健保契約は口約なれば文書作成の上契約したいとの希望あり、  
協議した結果、本県歯科医師会と契約すべきことと帝麻に通知する
- 28日 中条幹事 帝麻と会見、上記の事通知した
- 29日 駒橋宅  
黒崎 博県歯会長、小野春吉健保部長来鹿  
帝麻問題につき懇談、本部に於ては当団の利益になる様計ってほしいと要望
- 8月11日 ベルリンオリンピック大会の実況中継で河西三省アナウンサー「前畑ガンバレ」と放送





## ■昭和12年（1937）

- 1月12日 三派合同（三五会）新年宴会を喜楽にて開催  
2月 文化勲章制定  
11日 鬼怒川ホテル 旧正月元旦につき新年宴会開催  
粟野、小杉、鹿沼8名、今市4名、日光橋口参加  
3月11日 田村勘一郎医師令嬢死去  
18日 西大芦村診療所設立  
25日 栃木県歯科医師会定時総会で支部設置決定  
4月1日 栃木市制施行  
5日 保健所法制定  
この年、鹿沼簡易保険健康相談所が設立された  
7日 旅行 午前4時出発 三原山旅行  
8日 午後11時帰宅 旅費84円 1人12円



不参加  
手塚肇四郎  
岸野栄七郎  
青木達三郎  
岡本 英忠  
新川 庄一  
茂呂 登  
駒橋 寅春  
新島 貴一  
金子 弁明  
中条正左衛門

- 
- 4月28日 幸田露伴 横山大観等第1回文化勲章受章
- 5月10日 手塚宅  
新島貫一、新川庄一幹事引継ぐ
- 6月2日 青木宅  
ムシバ予防デー及び金地金急騰に付金冠値上げの相談をする 下記の通り一決、規定表作製の事及び料金未払防止法として同様、下記文面より掲載用の印刷物作製の事決議す
- |        |     |        |
|--------|-----|--------|
| 1. 金冠  | 前歯  | 金7円以上  |
|        | 小白歯 | 金9円以上  |
|        | 大白歯 | 金12円以上 |
| 1. 金鉤  | 1ヶ  | 金3円以上  |
| 1. 合金冠 | 前歯  | 金3円以上  |
|        | 小白歯 | 金4円以上  |
|        | 大白歯 | 金5円以上  |
1. 治療ハ即時申受クル事  
1. 技工料金ハ契約ノ際半額申受クル事  
以上御含ミ願上マス  
昭和12年6月  
鹿沼齒科医師団 印
- 6月3日 ・鹿沼近隣村各小学校及び町内主たる工場にムシ歯予防デーのポスターを郵送する  
・午後2時、大谷秀医師宅より失火、但し大事に至らず無事消火す、団より新川、新島幹事即刻見舞をなす
- 28日 岡本宅 帝国製麻との契約  
1件の単価は7銭以下の場合は組合負担を以て7銭  
13銭以上の場合は之を切捨てる事とする  
補綴に関し余りに料金低減の理由を以て契約除外の決議をなし、7月1日より実施する事となる
- 29日 上記の事 黒崎県歯会長宛通告する
- 7月7日 蘆溝橋事件（日中戦争始まる）日本軍北平（北京）郊外の蘆溝橋で中国軍と衝突
- 9日 黒羽鮎狩  
午前7時自動車にて出発 金丸原で飛行訓練を目のあたりにして黒羽着。鮎瀬七作君の心からなる歓迎を受け花月なる料亭に着く。花月の主は帝蓄レコードより黒羽小唄を吹込んだ名うての猛者。那珂川に屋形船を浮かべ、一行7人、5升の酒を飲み尽くす。4時帰途につく、那須野が原一帯雷大乱、運転も危ぶまれたが7時すぎ帰宅

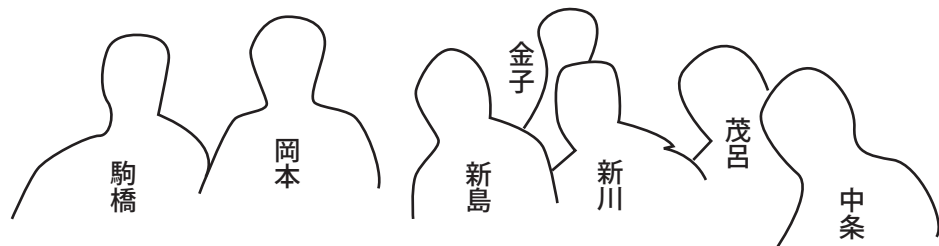


黒羽花月ホテル所蔵

- 8月7日 茂呂宅  
北支事変急迫に鑑み銃後の守りとして  
1. 出征軍人家族慰問として鹿沼町に50円委託する  
1・出征軍人家族に無料診療券100枚を委託する
- 20日 三五会 鈴木 起医師令息洋一君応召、今宮神社に出征祈願、団員一同御見送りを  
する
- 22日 鈴木 起医師嚴父治郎助氏死去
- 8月 那須商業銀行と足利銀行の合併決定  
県内資本の銀行、足銀1行となる
- 9月11日 後楽園球場開場
- 25日 田村勘一郎医師令息寿君死去  
25日火葬、26日光太寺にて葬儀、参列
- 10月8日 鹿沼警察署に於て 新川、新島幹事出席  
1. 保健協会の結核予防デーに分担金5円を承認  
1. 警察備品として灰皿30個、分担金 4.62円寄附する
- 11月8日 田村 胖医師応召出征さる。午前5時今宮神社祈願  
歓送す、祝旗一旒贈る
- 12日 鹿沼警察署に於て  
警防協議会設置、新川、新島委員となる
- 15日 信時 潔作曲「海ゆかば」発表
- 12月13日 日本軍南京を占領 大虐殺事件を起こす



三原山旅行



- ◎物 価 プロ野球観戦料 春50銭、夏1円、米10kgが2円50銭
- ◎映 画 裸の街、人情紙風船、新しき土（日独合作）、女だけの都、どん底
- ◎流行語 国民精神、総動員、スフ、尽忠報国、馬鹿は死ななきゃなおらない
- ◎流行歌 露営の歌、愛国行進曲、別れのブルース、人生の並木路

## ■昭和13年（1938）

- 1月11日 厚生省新設  
内務省から衛生局と社会局が分離し、文部省と商工省等所管の一部を吸収して厚生省が新設された。これに伴い歯科医師試験は内務省より厚生省に移管された。
- 2月1日 石川権左衛門、南押原村楡木489に開業
- 8日 若松楼  
・黒崎 博県歯会長来鹿、栃木県歯科医師会上都賀郡支部設立を薦められ、準備を上都賀郡理事金子弁明に一任する  
・三五会田村 畔医師に慰問袋を発送することを決する  
・出征兵士家族に診察券追加100枚印刷する
- 11日 木村義雄 8段第一期名人位（将棋）獲得
- 3月 鹿沼町の小学校に二宮金次郎像建立
- 3月 帝国製麻会社西工場運転開始
- 3月20日 新島宅  
1. 3月23日の県歯総会で黒崎 博会長支持に全員一決す  
1. 旅行は甲府方面一泊  
この日、椎貝敏郎、小野春吉両氏、健康保険事務につき説明する処あり来鹿
- 4月1日 国家総動員法公布  
国民健康保険法公布（7月1日施行）
- 25日 新川宅  
手塚筆四郎、岸野栄七郎幹事引継ぐ
- 5月5日 奥山義雄医師、応召出征す、祝旗一旋
- 17～23日 国民精神運動健康週間  
国民精神運動健康週間につき  
週間中 簡易治療券100枚協力す。割当費用8円
- 31日 手塚宅
- 6月4日 ムシバ予防デー講話順位抽選決定す  
1 新川、2 岡本、3 茂呂、4 駒橋 となる  
金子、中条、青木、新島は学校医により抽選せず
- 5日 手塚宅  
帝国製麻保険契約の件  
1. 目下交渉中の歯科医師側主張点11銭 との合意を  
会社側主張点9銭  
ベストを尽し交渉下さる様県歯会長に報告する
- 8月15日 鹿沼警察署楼上  
昨年3月25日の県歯定時総会で、支部設立が決定していたが本日午後1時上都賀



昭和13年11月2日午後1時より、宇都宮市県庁前栃木県教育会館において、県歯臨時総会が開催され、支部設置議案が上程され、修正のうえ可決された。本支部は8月15日に設立された。

第十五条の一 本会ハ左の区域ニ依リ支部ヲ設ケ、会員ハ各支部ニ分属ス

宇都宮支部（宇都宮市及河内郡）

上都賀郡支部（足尾町ヲ除ク）

下都賀郡支部（下都賀郡及栃木市）

安蘇郡

足利支部（足利市及足利郡）

芳賀郡支部

塩谷郡支部

那須郡支部

足尾支部

第十五条ノ二 支部ニ支部長一人幹事若干名ヲ置ク

場合ニ依リ副支部長ヲ置クコトヲ得

第十五条ノ三 支部長及幹事ハ支部会ニ於テ基ノ所属中ヨリ之ヲ選挙ス

支部会ハ当該支部ニ属スル会員ヲ以テ組織ス

第十五条ノ四 支部長ハ左ノ事項ヲ遅滞ナク本会ニ報告スベシ

一、支部事務所ノ所在地並ニ基ノ異動

二、支部長及幹事住所氏名並ニ異動

三、支部会ニ於テ決議シタル事項

第十五条ノ六 支部会員ハ其ノ支部所定ノ会費ヲ納付スル義務アルモノトス

支部会費ハ支部長之ヲ徴収ス

この時 国民健康保険組合と診療締結ニ関スル件も承認された。

◎物 価 洗顔石鹸 花王1個9銭3厘

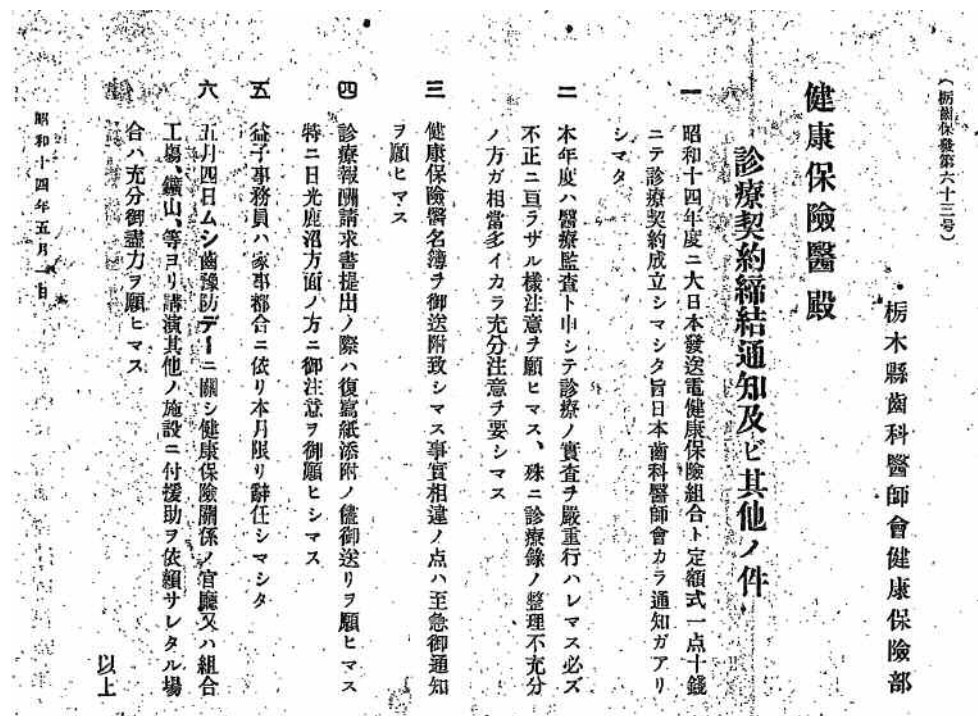
◎映 画 五人の斥候兵、愛染かつら、上海、舞踏会の手帖、路傍の石、モダンタイムス

◎流行語 大陸の花嫁、買溜め、黙れ、モンペ、木炭車、軍神

◎流行歌 旅の夜風、支那の夜、上海だより、雨のブルース

■昭和14年 (1939)

- 1月7日 茂呂宅で新年宴会  
北支事変で手塚幹事より檄文あり、東洋平和建設の年を迎え、世界人類の幸福奪う英米仏、その傀儡の蒋介石政府の殲滅も時間の問題となる感触大なり
- 15日 安芸の海 69連勝の双葉山を倒す
- 4月5日 映画法公布 (脚本事前検閲など)
- 18日 駒橋宅  
金子弁明、駒橋寅春幹事引継ぐ  
1. 5月1日 旅行として5名は伊豆方面 もう一方は川治温泉と決定  
1. 郡内歯科医師会規約協調者、楡木石川権左衛門宅に茂呂出張し、篤く談合すること  
1. 国民健康保険料金契約上必要あり  
金子弁明、小杉眞治出張し、南摩国保組合と交渉する様決定
- 19日 警察署 金子出席  
5月2~9日 健康週間中  
無料歯科診療する様決定  
費用割当金10円抛出受諾
- 4月 東野鉄道黒羽一小川間撤去を決定
- 4月 関門海底トンネル開通
- 4月 帝国製麻鹿沼工場健康保険組合との契約、定額式となる
- 5月1日 県歯科医師会健康保険部よりの通知あり





4. 特に日光、鹿沼方面の方に御注意を御願います

帝国製麻健保組合との診療契約は昭和元年12月末からずっと毎年締結してきていたが昭和13年9月から定額式になった。

又本年4月より南摩村国民健康保険組合が県内で早々と名乗りを上げた為の注意と思われる。

- 5月2～9日 健康週間  
無料診療する様決定、割当金10円抛出
- 12日 ノモンハン事件  
満州軍、外モンゴル軍、満蒙国境ノモンハンで衝突
- 6月1日 東野鉄道、黒羽ー小川間廃止
- 13日 尋常北小学校に歯科設備を設置
- 28日 尋常北小学校で歯科診療開始
- 6月 関東自動車株式会社鹿沼営業所設置
- 7月8日 国民徴用令公布
- 9月15日 ノモンハン事件停戦協定、モスクワで成立、日本惨敗
- 11月17日 結核予防運動（11月14日～18日全国一斉実施）  
5月22日に結核予防協会が発展的に解消され、財団法人結核予防会が設立された  
警察署にて協議会が開催され、駒橋幹事出席  
分担金10円抛出す
- 12月11日 金子弁明夫人死去  
昭和14年から歯科医療用地金は切符制となる

国民健康保険法、この制度は健康保険（健保）法の恩典にあずからない農山漁村民、中商工業者、一般労働者の互助制度であり、保険料は健保は雇用者と被保険者が半額ずつ負担するが、国保は組合員が全額負担するという点が異なる。

この法案は4月1日に公布され、7月1日から施行されることになった。栃木県で最初に名乗りをあげたのは、上都賀郡南摩村（現鹿沼市）、河内郡大沢村（現日光市）、那須郡両郷村（現大田原市黒羽町）の三ヶ村である。

南摩村国民健康保険組合は昭和14年2月15日に設立の許可を得て3月1日より事業を開始した。設立に尽力したのは南摩村村長大貫信一（上都賀病院の設立に尽力した人）で産業組合長でもあった。国保組合は市町村が主体となって設立するのが原則であるが、南摩村では産業組合が代行する状態を取った。

大貫信一が産業組合中央会発行の「産業組合」昭和14年10月号（「鹿沼市史 史料編近現代2」所載）に寄稿した「国保代行の経験は教える その1. 南摩村信購販利組合ー栃木県上都賀郡南摩村ー」によると、国保運営は全国何れの市町村に於ても未だ経験がなく、従って信用すべき統計資料に乏しいため、事業計画に当っては幾多の不便と不安が伴ったと危惧している。

保険料は規程により10級に分かれそれぞれ金額が定められているが組合員1人に付き1ヶ月平均

1円7厘6毛で、被保険者1人につき1ヶ月平均16銭2厘5毛である。

一部負担金の率は普通3割

入院・処置手術（1回20円以上）は5割である。

国庫補助金は被保険者1人に付き普通組合に対しては金70銭

産業組合代行に対しては金55銭であった。

一 部 保 險 負 担 金 料		六ヶ月間平均利用割合	種別		医師利用状況 左右 患者数 診療報酬	
一 部 保 險 負 担 金 料			患 者 数	種 別		医 師 別
一 部 保 險 負 担 金 料			診 療 報 酬	組 合		月 別
100	100		17.8	上都賀		十三年度
100	100		15.8	同南摩村出張所		十四年度
100	100		3.0	普通医師		五月
100	100		3.5	県立病院		六月
100	100		0.4	歯科医師		七月
100	100	0.4	歯科医師	八月		
100	100	3.3	歯科医師	八月		

医師利用状況をみると歯科疾患を含め一般病気に於て、歯科の患者数は2割を、診療報酬では約3割を占めている。

当時南摩村近隣で開業していた歯科医は栗野町口栗野の天谷準作、小杉眞治、南押原村楡木の安生 貢、石川権左衛門等4人である。鹿沼町には11人の開業医がいた。

保険料の払込は91%であるが、毎月増率に居るから95%位迄なると思われる。滞納の9%は国民健康保険を理解しない者、何年も家族全員が病気に罹らない者、共同心に欠けている者等で最初から滞納している。6ヶ月間の経営状況から推測すると年度末の純欠損は2,200円位になると思われる。その為に歯科に關すれば、歯科診療中金属冠を全部自己負担とする事と明言している。

診療担当医師との諸問題の項で、普通医師が一般患者を診療する場合薬価の取り立は約2割の未収入、歯科医に於てすら5分の未収入ができるそうである。しかし国民健康保険の診療報酬は組合が直接払うのであるから取立の心配は全くない。

この点からみれば国民の被保険者の診療については2割程度の減額をして契約するのは当然の事である。(現在当組合は2割減で契約している)

国民健康保険法に基き保証責任南摩村信用購買販売利用組合の行う国民健康保険の被保険者の診療に関し栃木県歯科医師会との間に契約を締結する。支部会員が歯科診療を担当するには国民健康保険指定歯科医届を診療所毎に定められた様式により支部を経由して県歯科医師会に届出る

- ・ 毎月の報酬は栃木県歯科医師会国民健康保険歯科診療点数表により1点単価10銭として之に毎月指定歯科医の請求に係る点数を乗じた額とする
- ・ 指定歯科医は毎月診療報酬請求書を翌月5日迄組合を経由して県歯科医師会に提出する
- ・ 組合は診療報酬請求書を受けた日より10日以内に記載事項を審査し県歯科医師会に之を発送する
- ・ 診療費一部負担金は組合に於て取立る故直接收受せざるを原則とする
- ・ 指定歯科医は毎月診療費総額の5分に該当する額を納入すること
- ・ 組合は請求書1枚につき6銭を県歯科医師会に事務費として収めること

診療報酬請求書様式

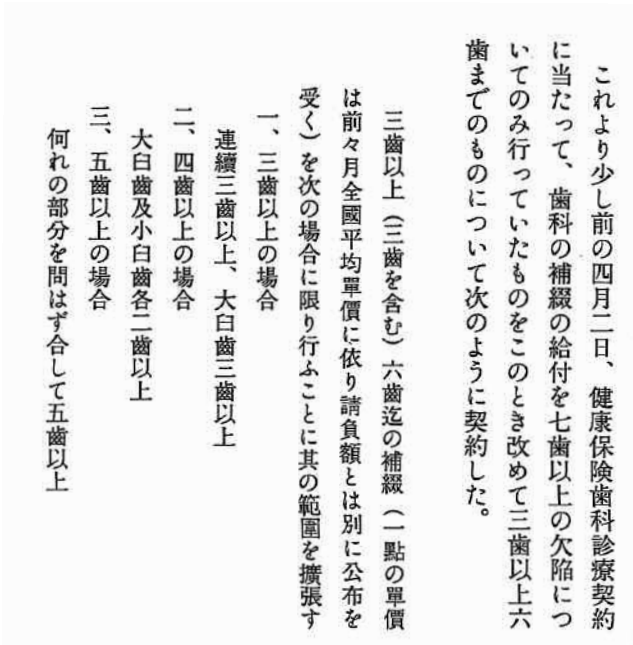
No. \_\_\_\_\_ 昭和 年 月分診療報酬請求書

国民健康保険組合御中				種別 (甲段診療)	点数	審査			
昭和 年 月 日 診療所所在地				初診					
指定歯科医 印				治療					
被 保 険 者	受診 第 号	住所		充填					
	氏名			抜去					
	性別	男 女	生年 月 日	義齒					
發 病	(1) 年 月 日	初診	(1) 年 月 日	齒冠					
	(2) 年 月 日	初診	(2) 年 月 日	(乙段診療)					
傷病名	(1)								
	(2)			(丙段診療)					
開始日	(1)	終了日	(1) 日	間 隔	(1) 年 月 日				
	(2)		(2) 日	期 間	(2) 年 月 日				
當月診 療日数	(1) 日	全治	充填	抜去					
	(2) 日	繰越	繰越	繰越					



## ■昭和15年（1940）

- 2月 銀パラジウム合金 切符制となる  
4月 宇都宮高等農林学校に獣医学科新設  
4月1日より 蒸和ゴム 切符制となる  
24日 米、みそ、しょうゆ、塩、マッチ、木炭、砂糖など生活必需品に切符制  
5月 上都賀郡に国立大麻試験場設置  
8日 青木達三郎、岡本英忠 幹事引継ぐ  
大谷 秀医師長男死去 両幹事弔意を表す  
13日 一万円宝くじ発売（報国債券 1枚10円）



健康保険歯科診療契約で歯科の補綴で7歯以上の欠損のみ給付するという欠陥を改正した。  
7歯50%は昭和2年2月25日以来今日迄続いていた。

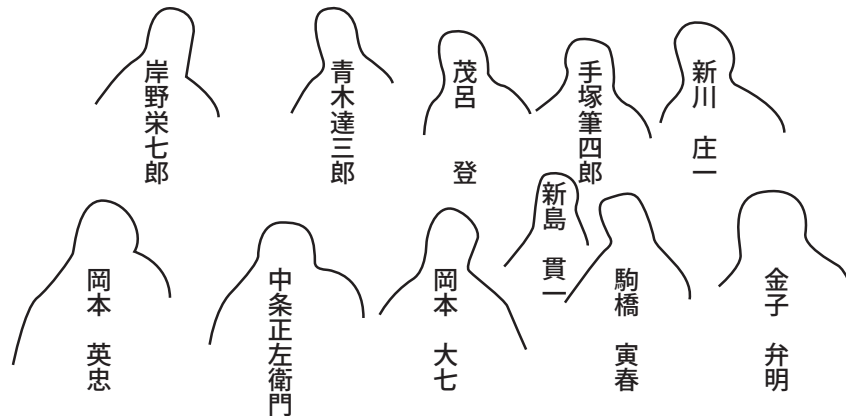
- 6月17日 ライオン口腔衛生部出張  
団主催の講演会は映画会  
併置校（現中央小）3回
- 併置校とは明治23年4月上都賀郡立上都賀第1高等小学校が設置され明治25年7月鹿沼尋常小学校と併置  
大正2年2月 鹿沼尋常小学校、鹿沼尋常高等小学校に鹿沼町立実科高等女学校が付設された  
女学校（元西中→現上都賀庁舎）  
夜、感謝の意を以て喜楽にて晩餐会  
出席 中条、岡本、駒橋、新島、青木、山田（ライオン）他技師

- 
- 6月20日 中条宅 全員出席、ガーゼ配給あり  
 1. 併置校 歯科設備 設置について協議→8月設置  
 ライオン口腔衛生部出張  
 併置校（現中央小）で3回  
 東校（現東小） で1回 映画及び講演 歯刷子訓練  
 農商校 で1回  
 この年、日本歯科医師会では国民健康増進週間の1日として5月4日にムシ歯予防デーを行った
- 7月 岡本大七入会（昭和16年2月迄）
- 7月 局方ガーゼ、脱脂綿等衛生材料配給制実施
- 7月23日 新島宅 全員出席  
 公休日を毎月1日、15日と決定する
- 9月 菊沢村、北押原村国民健康保険組合設立
- 9月27日 日独伊三国同盟、ベルリンで調印
- 10月 「歯科医事衛生史前巻」発行
- 10月20日 若松楼  
 南摩、北押原、菊沢の国保組合役員等と懇親会  
 栗野2人（小杉、天谷）、金崎2人（菅沼、石川）も出席
- 10月 旧来の惣代を廃止し、鹿沼各町一円に隣保班を結成
- 10月12日 大政翼賛会発会式（総裁近衛文麿）
- 11月10日 紀元二千六百年祝賀行事
- 12月 鹿沼合同タクシー会社設立（資本金1,000万円、従業員47人）

- ◎物 価 初乗り2km30銭、タクシー業務用のガソリン配給制
- ◎映 画 燃ゆる大空、風の又三郎、歴史、駅馬車、小島の春、コンドル
- ◎流行語 新体制、ぜいたくは敵だ、翼賛、さあ働こう
- ◎流行歌 隣組、暁に祈る、湖畔の宿、蘇川夜曲、紀元二千六百年

## ■昭和16年（1941）

- 1月1日 全国の映画館で、ニュース映画の強制上映実施  
15日 福島 茂 鹿沼町1835に開業  
2月10日 大澤楼  
岡本大七 入営さる。壮行会を開催、団より祝旗を呈す



- 26日 岡本大七出征（昭和15年7月～昭和16年2月26日）  
3月1日 国民学校令公布（小学校を改称）  
21日 大澤楼  
鹿沼町、栗野、楡木、金崎の同業と料金改正につき協議し、印刷する

- 3月25日 茂呂宅  
校医改選  
高等女学校（現鹿高） — 新島  
農 商 — 中条辞任し新川  
小学校 — 金子、青木
- 4月8日 作新館高等女学校が開学
- 10日 茂呂 登、中条正左衛門幹事引継ぐ  
1. 旅行は5月初旬 川治又は群馬方面  
2. イ. 国民学校歯科医1名、実科高女（現西中）歯科医1名  
各増員方を当局（町）に交渉すること  
ロ. 学校歯科医手当普通医と対等にする事  
以上 幹事一任  
3. 鹿沼農商学校、講堂建築費寄附、1名金10円 計100円  
前年度繰越金内より寄附する事  
4. 出席 岡本、駒橋、金子、新島、青木、茂呂、中条、新川  
欠席 手塚、岸野 全員10名
- 15日 農商校寄付金を北島校長に渡す
- 21日 警察署  
結核予防週間協議会 茂呂幹事出席
- 6月20日 駒橋寅春 日本歯科医師会第8期議員当選



- 昭和16年3月 栃木県歯科医師会に於て日  
齒代議員となる当選承認書
- 7月10日 新川宅  
○○令  
下令せられるため中途閉会



- 8月 帝国製麻株式会社が、帝国繊維株式会社と改称
- 8月 県農事試験場麻類試験地（現鹿沼分場）設置
- 9月12日 岸野宅 全員出席  
9月6日（土）三五会員 鈴木 起、大井田満医師、医師法違反、伝染病予防法違反にて検挙されたる事件につき論談あり
- 9月16日 三五会員田村 胖医師公務にて午前8時入隊に付茂呂幹事挨拶に出向く
- 10月10日 双十節 青木宅 全員出席  
（中華民国で1911年の辛亥革命と1912年の中華民国政府成立とを記念する祝日、10月10日）
- 20日 吉沢良平医師 開業挨拶に来る
- 11月3日 菊地貞造 開業挨拶に来る（10月1日開業）
- 20日 細川 寿医師 開業挨拶に来る
- 25日 田村勘一郎医師死去 茂呂幹事、会葬す
- 12月8日 太平洋戦争勃発  
米英に宣戦布告 日本軍マレー半島に上陸  
ハワイ真珠湾攻撃開始
- 12月 戦艦大和竣工
- 12月 アメリカ映画上映禁止
- 10日 県歯科医師会役員松本中枝 胃潰瘍にて吐血  
駒橋宅に収容さる 中条幹事見舞す
- 16日 東京九段軍人会館に於て  
「詔書奉戴全国歯科医師大会」3,000名出席  
金子、新川出席
- 15日 下野新聞、一県一紙の国策で代表紙となる
- 22日 言論出版集会結社等臨時取締令公布

### 健康保険部 庶務報告

(昭和十五年四月一日  
昭和十六年三月末日)

一、組合下契約セラルモノ

イ、日本歯科医師会ニ於テ契約セルモノ

東京電燈(人頭式)、東京鐵道(人頭式)、専賣局共済組合(時價式)、陸軍共済組合(時價式)、通信局共済組合(定額式)、日本鉄道電氣健康保険組合(定額式)、中島銀行共済組合(時價式)

ロ、本會ニ於テ契約セルモノ

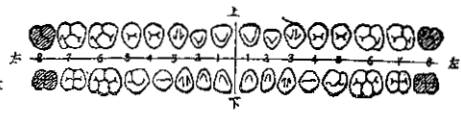
帝國製菓製糖工業健康保険組合(定額式)、日光電氣精製所健康保険組合(人頭式)、足利紡績健康保険組合(人頭式)

一、健康保険附帯醫員

イ、新指定者

山口 君子	熊崎 弘毅	宮島 啓	三木 正三	岡本 大七
安生 肇	野村 勝治	青木 弘	岡安 恒武	古澤 徳代
大越 武雄	綿城 正夫	岡田 英一	仁平 ミヨシ	武田 茂博
長岡 武雄	久保 國京	名取 喜代	高畑 太郎	鈴木 勝雄
秋田 三子	佐藤 國男	平山 篤	小倉 正朝	五郎 彌利子
藤山 輝四郎	石川 高平	鈴木 定三	高橋 澤太郎	加藤 繁夫
及、辭任者	高橋 太郎	渡邊 ハツ		
古宇田 薫				
六、死亡者	須田 萬吉			

一、國民健康保險規程中  
診療報酬請求書様式ヲ本紙ノ通り改ム



昭和 年 月 分 齒科 診療 報酬 請求 書

第 號	郡市 町村 國民健康保險組合長	被 診 者	住 所	受 診 第 幾
	昭和 年 月 日	性 別	氏 名	
	診療所所在地 郡市 町村	男 女	生 年 月	明 治 大 正 昭 和
	指定 齒科 醫 氏 名			
	齒別 傷病名 始期 終期 實際日數 終了事由	指 定 齒 科 醫 請 求 額	一 部 負 擔 金	高 科 醫 會 費
	種 類	齒 別 個 數 点 數	總 額 收 納 済 額 未 收 納 額	個 數 点 數
	初 診			
	治 療			
	放 棄			
	手 術			
	充 填			
	セメント			
	アマルガム			
	ガム			
	填 (乙 丙 類)			
	合 計			
摘 要				

一、「實際日數」ハ實際ニ診療シタル日數ヲ記入スルコト  
(治療)「ヶ月」ニ亘リタルトキハ其ノ月々現實ニ診療シタル日數ヲ記入スルコト

改定された国民健康保險診療報酬請求書

87

昭和16年（1941）、健康保険をめぐっていろいろな改革が行われ、3月10日に健康保険法が改正され、いつも3月迄に調印される。歯科診療契約は大幅に遅れ、5月になって調印された。

主な改正点は

1. 請負額を人頭式年額84銭3厘9毛を一挙に98銭5厘2毛に改め、全国の査定単価を9銭以下のものは9銭に、11銭を超えるものは11銭にした
1. 診療報酬は、従来日歯が政府から受入れ道府県歯科医師会を通して指定保険医に分配をしていたが、今度日歯の算定に基づいて、地方庁から銀行を経て保険歯科医に直送する方式に改正された
1. 保険歯科医は、毎月5日までに診療報酬報告書と請求書を所属歯科医師会に提出していたが、診療報酬請求書のみ提出することになった（復写式として会に保有）
1. 補綴の場合、承認手続を廃止した  
 特別補綴（6歯以下3歯）も廃止した  
 補綴修理の承認制も廃止した
1. 帳簿等の保存期間の12年を5年にした
1. 新たに保険歯科医の指定を受ける者は、道府県歯科医師会が日歯に意見を付けて提出していたが、その写しを地方庁に提出するようになった
1. 点数を改めた  
 市部と郡部の点数が異にするようになった。  
 郡市歯科医会支部内でも市、町と村の点数が特に金属冠等では10点の差がついた。

昭和十六年四月現在

上都賀郡

鹿沼町大字鹿沼一、六〇八ノ二	鹿沼町大字鹿沼一、六〇九	鹿沼町大字鹿沼一、八七四	鹿沼町大字鹿沼一、二九七	南哲原村大字榑木二〇四	今市町大字今市一三六	足尾町足尾鑛業所上ノ平社宅	日光町大字日光下鉢石町九三五ノ二	栗野町仲町八八〇ノ六	鹿沼町大字上村木町一八三六ノ一	鹿沼町大字口栗野八二一	鹿沼町下府所一八五	足尾町足尾鑛業所中才社宅	日光町大字清瀬二六六	今市町大字今市四六七ノ一	日光町清瀬四三八	足尾町足尾二、六七八
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿沼	鹿沼	鹿沼	鹿沼	南哲原	今市	足尾	日光	栗野	鹿沼	鹿沼	鹿沼	足尾	日光	今市	日光	足尾
山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正	正

上都賀郡支部 36名  
鹿沼歯科医師団 12名

健康保険部

庶務報告 (自昭和十五年四月一日)

- 一、組合と契約セラルモノ
(イ) 日本歯科醫師會ニ於テ契約セラルモノ
(ロ) 本會ニ於テ契約セラルモノ
(ハ) 帝國製糖硝子工場健康保險組合(定額式)
(ニ) 日光電氣精製所健康保險組合(時價式)
(ホ) 足利紡績健康保險組合(時價式)

健康保険部

庶務報告 (自昭和十五年四月一日)

- 一、組合と契約セラルモノ
(イ) 日本歯科醫師會ニ於テ契約セラルモノ
(ロ) 本會ニ於テ契約セラルモノ
(ハ) 帝國製糖硝子工場健康保險組合(定額式)
(ニ) 日光電氣精製所健康保險組合(時價式)
(ホ) 足利紡績健康保險組合(時價式)

社會保險部

庶務報告 (昭和十七年二月末現在)

- 一、診療契約
1. 帝國製糖硝子工場健康保險組合(舊帝國製糖)
2. 日光電氣精製所健康保險組合
3. 足利紡績健康保險組合
(イ) 政府職員共済組合(本會と契約セラルモノ)
(ロ) 日本歯科醫師會ニ於テ組合と契約セラルモノニシテ本會ノ取扱件數ノ多キ組合
(ハ) 健康保險組合
(ニ) 職員健康保險組合ニシテ日本歯科醫師會ニ於テ契約シ本會ニ於テ取扱件數ノ多キモノ
(イ) 勸業、安田、安田生命、第一銀行、第一生命、野村生命、明治生命、其他
(ロ) 政府職員共済組合ニシテ日本歯科醫師會ニ於テ契約シ本會ニ於テ取扱件數ノ多キモノ
(ハ) 本會ニ於テ契約セラルモノ國民健康保險組合
(ニ) 兩郷村國民健康保險組合
(イ) 物部村國民健康保險組合
(ロ) 小貝村國民健康保險組合
(ハ) 武蔵村國民健康保險組合
(ニ) 保藏農師寺村信用購買販賣利用組合
(イ) 山前村國民健康保險組合
(ロ) 山前村國民健康保險組合
(ハ) 山前村國民健康保險組合
(ニ) 山前村國民健康保險組合
(イ) 山前村國民健康保險組合
(ロ) 山前村國民健康保險組合
(ハ) 山前村國民健康保險組合
(ニ) 山前村國民健康保險組合

Table with 4 columns: Date, Organization Name, Status, and Representative Name. Includes entries for various insurance groups and their management.

Table with 4 columns: Date, Organization Name, Status, and Representative Name. Includes entries for various insurance groups and their management.

- ◎物 価 月刊総合誌 中央論 1円30銭、文藝春秋 55銭
◎映 画 みかへりの塔、戸田家の兄妹、勝利の歴史、ジェロニモ
◎流行語 八紘一宇、A B C D包圍陣、生めよ殖やせよ
◎流行歌 大政翼賛の歌、めんこい小馬、そうだその意気

## ■昭和17年（1942）

- 1月11日 鈴木幸雄 南押原村磯224に開業  
16日 新川庄一母死去 於光明寺
- 1月 食塩の配給制実施  
23日 駒橋宅  
防空救護法講習会を開く
- 2月1日 衣料品に点数切符制実施  
7日 鹿沼町銃後奉公会へ寄附する、金900円  
団員抛出、中条、茂呂幹事持参する  
23日 国民医療法公布  
医療の普及、医療の内容の向上、医療行政の徹底を目的として、日本医師会、日本歯科医師会の強制設立、強制加入、病院、診療所の設立許可、結核対策を中核とした日本医療団の設立などを盛込んだ
- 3月10日 新島宅  
黒崎 博、椎貝敏郎両氏来鹿、県歯科医師会長に椎貝氏を万場一致で推挙する  
28日 駒橋宅 緊急例会  
国民保険契約中「補綴」に関しては除外する様県歯総会で新島貫一を以て発言する事  
30日 県歯総会 推貝敏郎会長に選任さる
- 4月10日 新川庄一、新島貫一幹事を引継ぐ  
18日 アメリカ陸軍機、日本全土を初空襲
- 5月9日 梵鐘、銅像の強制供出開始  
5月 済生会宇都宮診療所（現済生会宇都宮病院）が開所  
28日 町葬報行せられ新島、新川幹事出席す
- 6月18日 梅月

日本歯科評論主筆高津 弑氏（昭和3年第1回ムシ歯予防デーを6月4日に実施するという口腔衛生普及活動に尽力した。当時日本歯科医師会の書記長をしていた人である）を招待し、歯科医政及び基局論を聴く

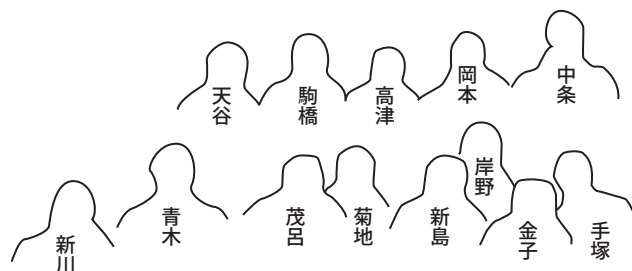
昭和16年11月26・27日大政翼賛会主催医学新体制協議会において、島峰徹東京高等歯科医学院（現東京医科歯科大）初代校長、佐藤運雄日大歯科同窓会長、加藤清治日本歯科医専校長等が医歯一元論を、これに対し血脇守之助東京歯科医専校長同席の下、奥村鶴吉同校教授、正木正氏の両名が二元論を唱え再び論争が始まった。

医歯一元論、二元論とは何か。一元論とは歯科は眼科や耳鼻科と同じような医科の一分野であり、歯科を専門とする医師も同じ医学部の機関で養成される。二元論とは歯科医師と医師とは別個の資格（免許）であり、養成機関も歯学部と医学部とに分かれる。

国民医療法と医歯一元論・二元論についての講演を行った。



高津 弉氏は、6月16日足利で講演をしていた。



- 7月10日 県社会保険部副部長築瀬眞策及び保険課係員来鹿  
診療簿点検及び指導あり
- 8月22日 歯科医師会及び医師会令公布、11月1日公布 国策集団となる  
歯科医師会令公布により、道府県歯科医師会長は厚生大臣の任命、他の役員は地方長官の任命という国家統制が強くなり打ち出され、昭和23年迄続く中央に日本歯科医師会、地方に道府県歯科医師会のみ設立となった。郡市区歯科医師会は廃止して道府県歯科医師会の支部とすることが決められた
- 9月26日 梅月  
中条正臣 出征、壮行会 全員出席
- 10月10日 青木宅  
1. マッチ大箱 1人3個配給する 計33個  
1. 従来会費 1人1ヶ月1円、旅行費2円を廃し1人1ヶ月3円の会費とする  
余金は郵便預金に入れる。
- 11月3日 優良多子家庭を表彰（産めよ殖やせよ運動）  
24日 栃木県歯科医師会創立委員会  
(国民医療法に基づく歯科医師会令による)
- 12月20日 中禅寺湖発電所起工式

○上都賀郡

鹿沼町鹿沼一〇六ノ一	同 一〇六ノ一	駒橋 貞泰
今市町今市西九〇	同	湯澤 菊四郎
鹿沼町鹿沼一〇六ノ二	同	新島 實一
同 一六〇ノ二	同	中條 正左衛門
同 一六〇ノ二	同	金子 明
同 吾妻町	同	岸野 榮七郎
同 一〇九ノ一	同	青木 達三郎
同 一〇九ノ一	同	青木 英志
日光町清瀬二四六	同 二四六	橋口 近義
今市町今市一三六	同 一三六	田野 井重男
日光町日光五ノ二	同 五ノ二	田野 道八郎
鹿沼町鹿沼十村本町	同 一〇一	新川 庄一
出張所加藤村五ノ七	同 五ノ七	手塚 幸四郎
鹿沼町大字下原所	同 二〇一	水 二雄
今市町今市	同 二〇一	高 達三三郎
同 四六七ノ一	同 四六七ノ一	小杉 真治
栗野町口栗野五ノ六	同 五ノ六	宮 川 一
日光町清瀬四三八	同 四三八	宮 川 一

昭和十七年五月一日現在  
栃木縣齒科醫師會  
會員名簿

保險齒科醫名簿  
栃木縣齒科醫師會

○印は鹿沼歯科医団員

足尾町二六七八	同 五二三	野村 勝治
西力村本郷三九六	同 四二七	中田 静彦
鹿沼町一九〇四	同 六〇七	菊地 貞造
足尾町三七六	同 六三九	倉澤 勝次
菴合村小倉六ノ三	同 七二六	青木 學
足尾町足尾養業所上ノ半社宅	同 七二六	武田 榮
同 中才駐宅	同	多島 米吉
足尾町二五九二	同	大崎 夕次
同 二六七七	同	多島 壽子

日光町清瀬三日光電氣鐵道所附屬病院内 熊谷 順  
日光町清瀬三日光電氣鐵道所附屬病院 伊藤 保  
鹿沼町一八三五 福 島 茂  
南押原村大字二四四 鈴木 幸雄

上都賀郡支部  
鹿沼歯科医団 38名  
13名

鹿沼の文学碑



今宮神社鐘楼前  
木馬

人馴し鹿は見えぬど八重桜  
木馬

奈良の八重桜は平安朝の歌人にも詠まれ名高く、美しい花だ。京都加茂神社の神主加茂季鷹がその美しさを見せるため、鹿沼の里まで苗木を送ってこられた。それが今では大木となつていふという八重桜のいわれをきいて詠んだものである。  
木馬は、武蔵国(埼玉県)浦和の俳人。嘉永六年(一八五三)三月、自費で句碑を建立したといわれている。

- ◎物 価 葉書2銭、封書5銭  
(物資統制、配給制)
- ◎映 画 将軍と参謀と兵、ハワイ=マレー沖海戦、空の神兵
- ◎流行語 欲しがりません勝つまでは、特配、非国民、進め一億火の玉だ
- ◎流行歌 月月火水木金金、新雪、勤太郎月夜唄、南から南から、湯島の白梅

## ■昭和18年（1943）

- 1月 日本歯科医師会設立総会、認可
- 1月 鹿沼町立実科高等女学校が鹿沼町立高等女学校と改称
- 1月13日 内務省情報局、米英のジャズなど1,000曲の演奏とレコードを禁止
- 17日 タバコ大幅値上げ（金鶏<sup>きんし</sup>10→15銭、光18→30銭）
- 2月10日 新島宅 日消囑託医の件協議、希望者なし
- 3月10日 新川宅
1. 鹿沼国民学校に校医2名増員を決定  
茂呂 登、菊地貞造を推薦
1. 団の規約として学校医の任期を2年と定めたるを今回破棄する
- 4月1日 佐野市制施行
- 10日 手塚宅
- 菊地貞造、手塚筆四郎幹事引継ぐ
1. 健民運動参加の件（5月1日～8日）  
無料診療券300枚発行
1. 診療費改正に関する件  
岡本英忠 県歯科医師会に提出との事
1. 岡本大七、福島 茂両出征者へ寄書ハガキ差出す  
満州龍江省チチハル  
満州第219部隊 宇賀神隊 岡本大七  
南海派遣基2815部隊 福島 茂
- 18日 山本五十六連合艦隊司令長官ソロモン諸島上空で戦死
- 5月10日 岸野宅
- 燈火用アルコール特配（1本）  
新島支部長の努力により
- 30日 静岡県登呂遺跡発見
- 6月25日 吉沢眞吾医師死去 菊地、手塚会葬する
- 7月1日 東京上野動物園トラ、ライオンなどの猛獣を薬殺
- 8月2日 県より健保指導あり
- 小野春吉専務理事、衛生課員来鹿、夜は梅月に全員出席  
常会を開催、料金改正する
1. 前歯金冠 15円以上
1. 小白歯 20円以上
1. 大白歯 30円以上



- 
- 8月10日 茂呂宅  
防空救護員選任に関し開催  
特設救護員（3名）  
中条、駒橋、新川  
救護員（8名）  
岡本、金子、岸野、新島、茂呂、手塚、菊地、青木
- 23～28日 東京都日本赤十字社  
防空救護者講習会開催  
県歯科医師会より茂呂 登、影山要吉（足利市）受講者として派遣さる
- 9月10日 岡本宅  
1. マッチ、タオル各々1個ずつ配給  
1. 東京出張を命ぜられた茂呂より防空救護に関し報告あり
- 14日 町役場会議室  
鹿沼町国民健康保険組合設立に関し座談会  
10名出席 岸野欠席  
手塚筆四郎、歯科医師団を代表して発起人に任命さる  
保険組合は11月に認可され、産業組合の後身である農業会が代行で設立した。しかし鹿沼町の国保は行詰って昭和22年に解散した。
- 15～18日 厚生大臣の命によって歯科医師の補習及び錬成のために、歯科医師補習教育計画がたてられた。本県は群馬県と共に群馬県一の宮町東国敬神道場で開催された会に総勢41名が参加した。





3列目右から2人目  
新島貫一  
2列目左から3人目  
岡本英忠  
食料不足のせいか肋骨が浮いてみえる

栃木県歯科医師会を代表して

椎貝会長、天沼副会長、小野専務理事、小林理事、岡本理事、沼部理事、小平理事、宇都宮支部長・高橋延生吉、上都賀支部長・新島貫一、下都賀支部長・丹野 豊、足利支部長・麻野晋三、塩谷郡副支部長・鈴木勝雄等が参加した。

- 11月1日 今宮神社  
勤労報国際特技小隊結成式挙行さる  
新島 剛入団、挨拶に来る
- 20日 中条正臣入団、挨拶に来る
- 22日 町役場  
上都賀郡歯科挺身診療に関し協議会開催
- 12月6日 菊地宅  
医薬品配給機構改正に伴い隣組長選任行われ  
南部 駒橋寅春  
北部 中条正左衛門 に決定する
- 22日 町役場  
鹿沼町国民健康保険組合事業開催に当り協議会開催さる
- 28日 福島茂司（福島 茂厳父）帰還、挨拶に来る

替歌 タバコ大幅値上げ 元歌〈紀元二千六百年〉

金鶏あがって十五銭 はえある光三十銭

いまこそきたるこの値上げ 紀元は二千六百年 ああ一億の民は泣く

- ◎物 価 ビール 1円35銭（公定価格配給制 銘柄「麦酒」に統一）  
たばこ 金鶏15銭  
バナナ 1kg、44銭5厘

◎映 画 姿三四郎、花咲く港、無法松の一生

◎流行語 転進、撃ちてしまむ、玉砕、学徒出陣

◎流行歌 加藤隼戦闘隊、予科練の歌、お使いは自転車にのって、若鷺の歌

## ■昭和19年（1944）

- 1月 福島 茂入団（昭和16年9月開業）
- 1月 詩人 野口雨情が姿川村鶴田（現宇都宮市）に疎開
- 1月10日 中条宅
- 1. 煉炭、食塩 配給方当局へ申請の件
  - 1. マッチ1個各人配給 14個4円20銭
- 3月6日 下野貯蓄銀行が足利銀行に併合
- 10日 新川宅
- 1. 飛行機献納寄附金団費より拠出140円（14人分）
  - 1. 次回当番幹事 青木、岸野両氏に決定す  
飛行機献納金は全国で243,018円が集まり、これに利子を加えて243,908円36銭を二分して8月11日にそれぞれ陸海軍に献納された。  
陸軍のものは11月15日「愛国第5008号全歯科第3号」と命名された。
- 3月25日 福島宅 臨時常会
- 1. 防空救護東京出張員決定の件  
新川庄一選任さる  
日本歯科医師会と都道府県歯科医師会の共同主催で日本赤十字社病院講堂を会場とし防空救護の指導者講習会を実施、講習期間は3日間
- 4月3日 手塚宅
- 青木達三郎、岸野栄七郎幹事を引継ぐ
- 診療報酬規定改正の件 下記通り決定
- 中条正左衛門、金子弁明欠席
- 4月 宇都宮高等農林学校、宇都宮農林専門学校と改称
- 4月 東京高等歯科医学校が東京医学歯学専門学校と改称
- 九州歯科医学専門学校が福岡県立医学歯学専門学校と改称

昭和十九年心幹事 岸野  
四月三日 常会 午飯自宅花戸  
中条宅 金子弁明欠席  
診療報酬規定改正の件、通過決定

初診科 立松が  
一審 立松が  
二審 立松が  
三審 立松が  
四審 立松が  
五審 立松が  
六審 立松が  
七審 立松が  
八審 立松が  
九審 立松が  
十審 立松が

診療科 立松が  
一審 立松が  
二審 立松が  
三審 立松が  
四審 立松が  
五審 立松が  
六審 立松が  
七審 立松が  
八審 立松が  
九審 立松が  
十審 立松が

有前番出 立松が  
一月 立松が  
二月 立松が  
三月 立松が  
四月 立松が  
五月 立松が  
六月 立松が  
七月 立松が  
八月 立松が  
九月 立松が  
十月 立松が

金庫 立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が

原石 立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が  
立松が

- 5月1日 健康保険診療報酬点数の改正  
 初診料を甲地50銭、乙地45銭、丙地40銭とした  
 甲地とは東京都の区及び6大都市  
 乙地とはそれ以外の道県庁所在地及び小樽市、室蘭市、函館市、川崎市、横須賀市、浜松市、豊橋市、布施市、堺市、尼崎市、西宮市、姫路市、呉市、宇部市、下関市、門司市、八幡市、小倉市、大牟田市及び佐世保市  
 丙地とはそれ以外の地域  
 このとき健康保険施行令の改正が公布され、一部負担金としてでなく地域によって単価を異にする、いわゆる地域差が始まった。  
 甲地 13銭  
 乙地 11銭5厘  
 丙地 10銭  
 また新たに社会保険診療報酬算定協議会という機構がつくられ、その構成は次の通り  
 医師側 11名  
 官庁側 11名  
 公立病院団体側 11名 計33名  
 なお、官庁側として水野銈太郎も委員となった。
- 5日 県立鹿沼農商215名 学徒動員、小平重工業、古河電気日光精銅所、日本造機鹿沼工場
- 5月15～21日（7日間）  
 主に鹿沼会員（今市、湯沢菊四郎、鈴木三雄参加）により医療挺身隊加蘇村、加園村、国民学校及び上久我国民学校に於て児童中心に診療する
- 6月21日 県立鹿沼高等女学校317名 学徒動員  
 帝国繊維鹿沼工場（紡績）、中島飛行機宇都宮工場（航空機）
- 6月23日 大沢楼  
 医療挺身隊施行後懇親会  
 鹿沼会員（中条正左衛門のみ欠席）今市、湯沢、鈴木出席
- 7月17～20日 群馬郡松井田町補陀寺において  
 昭和19年度歯科医師会補習教育練成会に駒橋、金子、菊池、青木出席  
 2泊3日で全員合宿制  
 補習科目（1）医道学、（2）国民医療法関係法規  
 （3）保健指導の理念、（4）歯科医療資材の統制概要  
 （5）矯正学、（6）保存学、（7）口腔外科学、（8）補綴学  
 （9）救急処置  
 練成（1）行、合宿早暁及び夜間に於て禊又は禪を行ふ  
 （2）講義、皇国民殊に医人としての精神修業に就て行ふ

- 8月 砂糖の家庭用配給停止
- 8月4日 国民総武装を決定、竹槍訓練開始
- 4日 夜、町役場楼上において防空救護班改組につき協議
- 12日 警察署  
警防団員任命式行われ全会員本式に団員となる
- 9月 本県への疎開者数が約7万5千人に上る
- 9月24日 中条宅  
1. 医療挺身隊（詳細は郡支部）  
1. 健康保険報告、変更につき 石油配給（クジ）
- 25日 吉沢良平医師死去 薬王寺に全員会葬する
- 10月10日 新島宅  
診療報酬料金値上げ決定  
サンプラ冠 前歯10円 白歯12円  
金冠               〃 30円 小白歯40円 大白歯50円  
抜歯               乳歯1円50銭 前歯2円 白歯3円
- 18日 満17才以上の兵籍編入決定
- 10月 鹿沼保健所設立
- 11月1日 町立鹿沼女学校158名 宮崎航空工業鹿沼工場、日本蚕糸製造小山工場
- 24日 菊地宅  
1. 諸材料、薬品類につき協議  
1. 石鹼配給あり 14人分 3円92銭
- 24日 マリアナ基地のアメリカ軍機B29東京初空襲
- 12月10日 岸野宅  
茂呂、青木、菊地出席せるも警報発令の為中止

昭和十九年五月一日現在

上都賀郡支部

支部	所在地	電話番号	支店	支店	支店
鹿沼	鹿沼町南四九〇	一三六	鹿沼	鹿沼	鹿沼
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...

上都賀郡支部 48名  
鹿沼歯科医師会 17名

## 鹿沼の文学碑



生家  
次女佐伎子書

ふる里の家の門みち長ければ  
ゆきかへり見つ日の暮れがたを  
良平

歌集『野づかさ』の「帰郷感懐」十六首中の一首。  
大正六年（三十歳）。久しぶりに東京から帰っ  
てきて、懐かしい生家、思い出の景色、古里の  
心地良さを詠んだ。

## 鹿沼の文学碑



鹿沼市宮花木センター

たはやすく雲のあつまる秋ぞらを  
みなみに渡る群鳥のこゑ  
良平

昭和十九年（五十七歳）、十一月一日（木）、空  
襲警報後、発句。良平には三男二女があつたが、  
すでに次男、長男を病気で亡くし、同年七月、  
頼りにしていた三男信三（二十三歳）が、サイ  
パン島で戦死してしまった。その南の島に、で  
きるものなら飛んで行きたい気持が込められて  
いる。昭和二十年五月十九日、永眠。  
最後の一首

一夜寝ば明日は明日とて新しき  
日の照るらむを何か嘆かむ

### 食料難の替歌 元歌〈愛国行進曲〉

見よ ぶっかけの皿あけて まだ食い足りぬ 芋の粥  
哀れな児らにハラハラと 涙は落ちる親同士 おお  
欠乏の朝ごはん そびゆる富士の姿ほど 米味噌積んで  
ゆるぎなき わが日本に早くなれ

- ◎栃木県への疎開者2万人を越す。
- ◎野口雨情、姿川村鶴田に疎開。
- ◎物 価 ・新聞、戦時下夕刊廃止。朝日、毎日、読売三社協定により月極1円25銭→1円60銭  
・葉書 3銭、封書7銭
- ◎映 画 あの旗を撃て、日常の戦ひ、狼火は上海に揚る
- ◎流行語 鬼畜米英、神風、疎開、一億国民総武装
- ◎流行歌 同期の桜、ラバウル小唄、ああ紅の血は燃ゆる、荒鷲の歌

## ■昭和20年（1945）

- 1月10日 青木宅  
中途警報の為散会
- 24日 鈴木 起医師葬儀 幹事会葬 弔辞
- 27日 詩人の野口雨情、河内郡姿川村鶴田（現宇都宮市）で死去
- 3月 東京大空襲
- 4月12日 中条宅  
新入会者 下条長太郎 来会す  
茂呂 登、神奈川県に挺身隊として出動のため欠席  
その他全員出席  
日中警報有るも常会中、幸にもでず10時散会  
駒橋寅春、福島 茂→岡本英忠幹事引継ぐ
- 20日 福島 茂 三度応召 22日東部36部隊に入営、餞別50円贈呈  
新島宅にて送別会 全員出席
- 29日 駒橋宅  
料金改正その他 2、3項
- 30日 ヒトラー、ベルリンの地下壕で自殺
- 5月10日 福島幹事応召のため岡本英忠当番幹事となる  
岸野シゲ入会
- 6月18日 沖縄で女生徒のひめゆり部隊、集団自決
- 30日 金子弁明長男公明入営につき餞別30円  
宇都宮市、鹿沼町、真岡町空襲で被害
- 7月12日 23時12分、米軍爆撃機B29の焼夷弾攻撃を受ける  
この空襲で死者9人、重傷者4人、焼失家屋は257戸、罹災人口は2,490人にのぼった。  
主な被災建物は日本造機工場2棟、帝国繊維鹿沼工場食堂1棟、寄宿舍7棟であった。  
縁故者のない人々は鹿沼北国民学校（現北小）の講堂に収容され、そのまま終戦を  
迎えた。
- 8月6日 B29、広島に原爆弾投下（死者20数万人）
- 9日 B29、長崎に原爆弾投下（死者7万余）
- 15日 正午、戦争終結の紹書を放送  
日本の降伏発表で第2次世界大戦終結 資料
- 30日 連合国最高司令官マッカーサー厚木に到着
- 9月 福田利示入会
- 19日 駒橋宅  
下条長太郎 名古屋へ転出、送別会、餞別30円  
（昭和20.4.12～9.19）

- 10月10日 菊地宅  
北押原村で開業の川島信四郎入会
- 24日 国際連合成立
- 29日 第1回宝くじ発売（1等10万円、副賞純綿キャラコ）
- 11月23日 プロ野球、東西対抗戦で復活
- 11月 健康保険点数、一点単価の地域差廃し35銭に改正
- 26日 12月1日より改正の健康保険給付事項説明会 椎貝会長、天沼副会長 来鹿
- 12月17日 衆議院議員選挙法改正公布  
婦人参政権実現
- 26日 田村 畔医師死去 岡本、駒橋 悔に行く
- 27日 田村 畔医師葬儀参列弔辞を呈する
- 12月 国立栃木病院、国立宇都宮病院設立



資料

今上天皇は疎開先の日光南間ホテルでラジオを聞いた。



玉音放送の録音機

替歌 元歌〈リンゴの歌〉

赤いリンゴの露店の前で 黙って見ている青い顔  
リンゴの値段は知らないけれど リンゴのうまさはよくわかる  
リンゴうまいや 高いやリンゴ

- ◎物 価 ・散髪料 3円50銭
- ・リンゴ 1個 5円
- ・タクシー料金、戦後一挙に125倍 100円
- ◎映 画 勝利の日まで、そよ風
- ◎流行語 ピカドン、1億総懺悔、復員、本土決戦
- ◎流行歌 お山の杉の子、勝利の日まで、リンゴの歌



## ■昭和21年（1946）

- 1月1日 天皇、神格化否定の詔書（人間宣言）
- 13日 新タバコ ピース発売（10本入、7円）
- 2月1日 梅沢 明 菊沢村栃窪683に開業
- 2月 川島光五郎入会
- 17日 金融緊急措置令（旧円停止、新円切替）  
インフレ（モラトリアム）新円切替前にと患者来ると旧円を500、1,000、2,000円と仕方なく受取る。お金10日間で2万円、半年分のお金、3月より新円
- 2月25日 新旧円交換開始、3月31日～ 旧円流通禁止 青木達三郎日記より
- 27日 岡本大七 遺骨返還さる 花輪贈呈す
- 3月1日 石田西三 西方村金崎326に開業
- 3日 新円切替により旧円の流通禁止。月500円が標準生活費
- 3月 社会保険診療報酬算定協議会  
1点単価 甲地1円50銭、乙地1円30銭、丙地1円決定
- 8日 金子宅  
税務署官吏を招聘し財産税について講話を聞く
- 26日 新島貫一長女文代 死去
- 4月1日 岡本大七、告別本葬
- 10日 新島宅  
金子弁明、川島信四郎幹事引継ぐ  
1. 茂呂支部長より県歯総会の報告あり  
1. 4月14日 花見慰労会及び支部総会
- 14日 金崎でお花見  
一斗以上飲んだあげくケンカ、金子弁明大負傷  
告訴さわぎ 青木達三郎日記より  
「お花見や石のげんこつ500円」
- 6月 村川ふさ 西鹿沼に開業



金崎で開業していた菅沼 清所蔵

- 7月 旧制による歯科大学設立認可 東京歯科大
- 2日 一都七県役員連絡協議会 於鬼怒川温泉
- 23日 三五会、山崎貞一郎医師死去  
金子弁明、川島信四郎幹事会葬す
- 8月 旧制による歯科大学設立認可 医科歯科大学
- 10日 菊地宅  
茂呂 登 鹿沼町議補選に最高点で見事当選
- 10月4日 中条正臣再入会
- 10日 岸野宅  
麻薬問題につき、茂呂支部長より説明あり
- 21日 日本国憲法公布（昭和22年5月3日施行）
- 11月10日 青木宅  
1. 料金引上げに付協議し、県歯科医師会の規定表に準ずる様決定  
1. 越路孝七入会
- 16日 当用漢字1,850字と現代かなづかい告示

協定 四縣 齒科 診療 報酬 規程	
初診料 (2月有也)	金五圓也以上
診断書及證明書料	金五圓也以上
處方箋料	金五圓也以上
肉用藥 (回包)	金五圓也以上
外用藥	金五圓也以上
劑藥	金五圓也以上
處置料 (齒)	金五圓也以上
齒石除去料	金參拾圓也以上
拔牙料	金參拾圓也以上
口腔内消炎手術料	金拾圓也以上
後處置料	金拾圓也以上
外科手術料	金貳拾圓也以上
皮下筋肉注射料	金貳拾圓也以上
靜脈注射料	金貳拾圓也以上
他ノ其	金貳拾圓也以上
充	金貳拾圓也以上
アムラント充填料	金貳拾圓也以上
セメント充填料	金貳拾圓也以上
金インレー	金貳拾圓也以上
合金インレー	金六拾圓也以上
補	金七拾圓也以上
合金冠料	金五百圓也以上
金冠料	金五百圓也以上
局義齒料	金壹千圓也以上
總義齒料	金壹千圓也以上
綴	金貳百圓也以上
金鈎料	金貳百圓也以上
金裏裝繕料	金五百圓也以上

昭和二十一年十月一日 栃木縣齒科醫師會 宇都宮支部 支會

宇都宮歯科医師会 岡田一郎 所蔵



7月2日 1都7県歯科医師会役員協議会 於鬼怒川温泉



接收時代の鹿沼高校（昭和21年頃・鹿沼市）敗戦後、日本中のあらゆる公共機関はGHQにより管理された。門柱には英語による表示板も掲げられている

12月10日 川島宅

帝国繊維株式会社歯科診療所

坂口 孝 入会

22日 岡本宅

鹿沼町商工会議所、公会堂建設寄附、金2,000円、各自100円宛

- ◎物 価 焼酎1升（1.8ℓ）1月－10円50銭、3月－16円、9月－30円
- ◎映 画 大曾根家の朝、わが青春に悔いなし、我が道を行く、疑惑の影
- ◎流行語 あっそう、アプレゲール、カストリ文化、鉄のカーテン
- ◎流行歌 啼くな小鳩よ、東京の花売り娘、悲しき口笛

## ■昭和22年（1947）

- 1月11日 手塚（現遠藤）操入会
- 1月 作新高等女学校、一の沢に移転
- 2月4日 駒橋宅  
2月2日、岸野宅類焼し見舞金贈呈 1名200円 同居会員100円 計1,700円見舞する
- 3月4日 菊地貞造次男徹 突然死去
- 10日 川島信四郎 東京へ転出 挨拶あり 餞別200円
- 4月10日 福田宅  
新川庄一、福田利示幹事引継ぐ  
1. 茂呂支部長より県歯総会の報告あり  
1. マッチ配給の通知あり  
1. 料金値上げ全員異議なく可決、即時実行の事
- 11日 診療報酬単価1点につき1円50銭（県下一円）
- 4月 鹿沼町でメチルアルコール出まわり数人死亡
- 5月 畑 二郎 寺町1,017番地に開業（4日に入会済）
- 6月 旧制による歯科大学設立認可（大阪歯科大、日本大学、日本歯科大学）
- 6月 矢口 修 南摩村油田614に開業
- 7月10日 手塚宅予定が都合により公会堂に於て  
茂呂支部長よりタオル及びD.D.T配給の報告あり
- 20日 鹿沼町役場に薪、炭配給の申請を成す
- 8月 作新高女と下野中学合併し作新学院設立
- 25日 於鹿沼商工会議所 上都賀郡歯科医師会設立総会 資料
- 9月4日 午後3時17分 昭和天皇、皇后両陛下鹿沼北小学校で奉迎  
午後3時27分 帝国繊維株式会社鹿沼工場視察  
国旗掲揚はなし、町民の小旗を振ることも禁止 GHQからの指示あり
- 10日 岡本宅  
新川庄一、一身上に関する件につき協議の上 金2,000円の見舞金を贈る  
中条正左衛門退会
- 14、15日 キャサリン台風来襲  
東京都と埼玉県に記録的な豪雨を降らせた。利根川決壊。鹿沼では黒川と武子川が氾濫し、人的被害は死者25名、負傷者156名、家屋流出29戸、流出橋梁18ヶ所、決壊堤防28ヶ所
- 16日 手塚筆四郎等水害被災者に見舞金
- 10月11日 国勢調査実施、総人口7,810万1,473人 鹿沼町32,037人
- 30日 栃木県歯科医師直営歯科診療所落成式典挙行

- 10月31日 医師会、歯科医師会及び日本医療団の解散等に関する法律（規則11月1日）により  
旧栃木県歯科医師会解散、社団法人栃木県歯科医師会設立
- 11月10日 村本 光 西鹿沼町90に開業  
手塚 操 退会（昭和22年1月11日～同年11月10日）
- 12月10日 新島宅 全員出席  
金地金 配給あり

資料

診療科目	診療内容	診療料
初診料	診察料	金 拾圓以上
再診料	診察料	金 拾圓以上
検査料	診察料	金 拾圓以上
処置料	診察料	金 拾圓以上
外科手術料	診察料	金 拾圓以上
注射料	診察料	金 拾圓以上
入院料	診察料	金 拾圓以上
その他	診察料	金 拾圓以上
補綴料	診察料	金 拾圓以上
矯正料	診察料	金 拾圓以上
その他	診察料	金 拾圓以上
総額	診察料	金 拾圓以上

右以外高価格及び高価格料ヲ使用セシ場合ハ特別  
料金ヲ申受ケルコト  
昭和二十三年七月  
栃木県歯科医師会

戦時立法である国民医療法によって改組された「医師会、歯科医師会及び日本医療団の解散等に関する法律」は、GHQの指示に基づいて解体されることになり、昭和22年11月1日解散、新たに民法による社団法人として再出発することになった。

これに伴い、栃木県歯科医師会では10月30日第3回臨時総会を開催し、代議員制（会員数20名に1名、端数15名増す毎に1名）をとることとし、代議員会で互選により会長、その他役員を選任することとした。

11月5日 第1回代議員会及び選挙管理委員会が開催され、県歯会長に宮川 勇が選任された

27日 県歯科医師会、事務所を宇都宮市埴田町583番地に移転する

12月13日 社団法人栃木県歯科医師会、登記完了

上記の理由のため、上都賀郡支部も解散し、新たに上都賀郡歯科医師会を設立すべく、8月25日鹿沼町鹿沼地区商工会議所において総会を開催した。会則審議可決後、役員選挙に移り7名の詮衡委員により、茂呂 登会長に選任さる。会長は、副会長に青木達三郎、橋口近義他理事7名、監事3名を指名した。

尚、医師法・歯科医師法は翌23年7月30日に公布され、医業と歯科医業との分離が明確化された。

また、日本国憲法は昭和21年11月3日に公布され、22年5月3日に施行された。





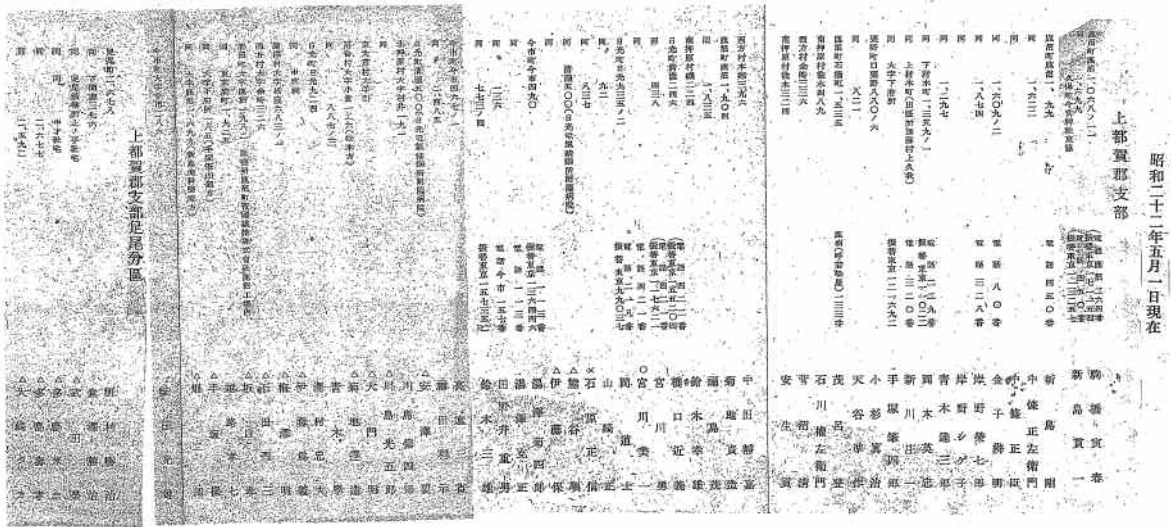


昭和22年9月4日、鹿沼町北小においでになった両陛下。先導役は鈴木金一郎町長（当時）



昭和22年(1947)11月27日 新栃木県歯科医師会館  
宇都宮市塙田町583番地





落つるまを風の抱える一葉かな  
 唯一

掬翠園は平成十年十月「屋台のまち中央公園」として整備され、屋台三台（銀座一、二丁目、久保町）が展示されている。この名園は長谷川唯一郎により、明治四十五年（一九一二）から五年間かけて造園された。唯一郎は栃木町出身で、村山商店で奉公し、のち鹿沼屈指の麻商となった。

句碑は長男（黙念栄一郎）の嫁喜美さんが唯一郎を偲び昭和五十五年に建立した。



掬翠園  
 長谷川唯一郎

鹿沼の文学碑

- ◎物 価 焼酎1升（1.8ℓ）2月-33円、4月-89円、8月-102円、12月-505円
- ◎映 画 戦争と平和、安城家の舞踏会、銀嶺の果て、断崖、荒野の決闘、ガス燈
- ◎流行語 カリキュラム、斜陽族、不逞の輩、ご名答、裏口営業
- ◎流行歌 山小舎の灯、星の流れに、港の見える丘、東京ブギウギ

## ■昭和23年（1948）

- 1月21日 天谷準作死去（明治33年4月22日～昭和23年1月21日 享年47才）
- 26日 帝銀事件
- 30日 ガンディー首相、ヒンドゥー教徒に暗殺さる
- 2月10日 新川宅 全員出席
1. 学校医交替に関する件協議  
全校医辞職する事に決定
1. 石塚要次郎 中田町1,257に開業入会
- 3月10日 中条宅
- プロカイン各会員に現品配給さる
- 16日 新川宅
- 学校歯科医新任決定
- |       |       |
|-------|-------|
| 北小学校  | 福島 茂  |
| 中央小学校 | 茂呂 登  |
| 東小学校  | 石塚要次郎 |
| 中学校   | 越路孝七  |
| 町立高女  | 青木達三郎 |
| 県立高女  | 新島貫一  |
| 農商高   | 中条正臣  |
| 菊沢小学校 | 福田利示  |
- （昭和23年10月鹿沼市誕生、昭和24年4月鹿沼市立高等女学校と栃木県立鹿沼高等女学校が統合）
- 4月12日 福田宅
- 新島貫一、福島 茂幹事引継ぐ
- 5月1日 美空ひばり 横浜でデビュー
- 9日 石塚宅
- 貯蓄組合結成 来月より実施
- 10日 御殿山球場、野球試合
- 鹿沼デンタルクラブ 対 鹿沼町役場
- 3                   :                   3                   引分
- 21日 鹿沼商工会議所
- 上都賀健康連盟結成総会を開催
- 会員多数出席
- 22日 鹿沼高女校
- 野球試合 対上都賀病院、雨の為3回5対5で引分

- 
- 6月1日 鹿沼高女校  
鹿沼デンタルクラブ 対 上都賀病院  
15 : 6 で大勝
- 15日 北小学校  
対鹿沼町役場 不運にも負
- 28日 福井地震 3,000余名死亡 見舞金1人10円 計210円
- 30日 矢口 修 南摩村油田614-2に開業
- 7月6日 鹿沼東宝  
鹿沼保健所主催 性病予防映画「純血」上映  
歯科医師会 招待され 包金1,000円
- 10日 社会保険診療報酬支払基金法公布  
診療報酬の統一を計る
- 30日 国民医療法は廃止  
・歯科医師法（規則10月27日）、医療法（規則11月5日）公布  
[医業と歯科医業との分離の明確化。歯科医師は死亡診断書を交付してはならない。  
昭和28年迄、林 了参議院議員の尽力により削除さる]  
・警察後援会寄附 金500円
- 8月 8月より常会を宅回りでなく、主に上田町光明寺で行うことになる
- 1日 社会保険診療協議会設置  
1点単価 甲地10円 乙地9円（10月より1円ずつ値上）
- 9月1日 社会保険診療報酬支払基金と日本歯科医師会が協定書をかかわす
- 10月10日 鹿沼市制施行、初代市長 鈴木金一郎  
人口約32,759人（男16,143人 女17,650人）  
記念帳掲載代500円
- 30日 宇都宮常設球場  
栃木県歯科医師会主催郡支部対抗県下野球大会開催  
当支部メンバー  
P. 石原正信（日光）  
C. 山崎 正（日光）  
I B. 石塚要次郎（鹿沼）  
II B. 茂呂 登（鹿沼）、新島 剛（鹿沼）坂口 孝（帝織）  
III B. 福島 茂（鹿沼）  
S S. 中条正臣（鹿沼）  
L F. 熊谷 順（日光精銅所）  
C F. 新島貫一（鹿沼）  
R F. 大島正夫（日光）

経過 上都賀郡支部 10 : 3 足 利支部  
 上都賀郡支部 7 : 0 安 蘇支部  
 上都賀郡支部 5 : 4 宇都宮支部  
 上都賀郡支部 8 : 4 那 須支部

以上のスコアで優勝、楯並びに賞金1,000円 但参加費500円

11月12日 極東国際軍事裁判所、A級戦犯25被告に有罪を宣告  
 12月23日 東条英機ら7人絞首刑  
 12月 県営総合運動場起工式



鹿沼駅前に完成した市制施行を祝う大アーチ。経費35,000円の豪華なもの



光明寺本堂

昭和23年8月より会員数も増加したためか上田町の光明寺で常会を開催するようになった

- ◎物 価 ・米10kg 222円96銭、ヤミ米7月配給米の7倍  
 ・ラビットS2 (135cc) 4~70,000円  
 ・太田胃酸14包40円、正露丸216錠33円
- ◎映 画 酔いどれ天使、王将、ヘンリー五世、逢びき
- ◎流行語 てんやわんや、ノルマ、冷たい戦争、斜陽族、老いらくの恋
- ◎流行歌 湯の町エレジー、憧れのハワイ航路、異国の丘

## ■昭和24年（1949）

- 1月25日 鰐原悦郎 栗野口栗野896に開業
- 26日 法隆寺金堂壁画焼失
- 27日 光明寺 臨時常会  
所得税申告に就て懇談
- 2月24日 光明寺  
キリスト教大学 寄附金100円／1人 21名分
- 3月 九州歯科大学認可（旧福岡県立歯科医学専門学校）
- 3月 三志会結成  
日歯、日医、日薬の3団体が「同じ志を持って進む」意志から
- 3月30日 光明寺
1. 所得税異議申立に関する事項について  
茂呂支部長説明
  1. 電力割当に関する件
  1. 岸野シゲ 麻苧町1587に開業  
（昭和20年5月より入会済）
  1. 揮発油割当手数料 1名6円 21名分
- 4月23日 1ドル360円の単一為替レート設定
- 4月 鹿沼市立女子高等学校と栃木県立鹿沼高等学校が統合
- 4月25日 上田町光明寺  
川島光五郎、越路孝七幹事引継ぐ
- 5月7日 鹿沼農商高等学校 野球試合  
出席者 新島<sup>貫</sup>、新島<sup>剛</sup>、福島、茂呂、川島、福田、坂口、中条<sup>正臣</sup>、越路、応援に青木<sup>達</sup>、村本<sup>光</sup>  
結果 上都賀デンタルチーム：農商高職員チーム  
6 : 4
- 10日 光明寺 常会
1. 鹿沼農商高校野球部に、630円58銭寄附することに決定
  2. 薬品巡視の件…薬品の場所、調剤
  3. 5月29日 県歯主催、県下野球大会の件、宇都宮常設球場  
全員応援に行ってもらいたい
  4. 本年度所得に就いて、地方事務所で調査する
  5. 郡に自転車一台、その配給方法について
  6. 納税序列を作るに就いて

- 
- 5月21日 光明寺 臨時常会  
健康保険監査について
- 24日 台湾バナナ、戦後初輸入
- 31日 宇都宮大学創設
- 6月21日 光明寺 臨時常会  
鹿沼税務署建築寄附金 5,200円
- 7月6日 下山事件、下山国鉄総裁轢死体で発見
- 15日 三鷹事件、三鷹駅で無人電車暴走事件
- 8月20日 光明寺  
健康保険に関し指示事項あり
- 9月26日 シャウプ税制改革勧告
- 10月 歯科衛生士法施行規則制定
- 10月3日 光明寺  
1. 鹿沼保健所建設寄附 金4,000円と決定す  
1. 10月より常会費月100円と申し合わす
- 11月3日 湯川秀樹、中間子論でノーベル賞受賞
- 3日 第1回県文化功労者に浜田庄司(陶芸)、川上澄生(版画)らが選ばれる 資料  
植木義雄(宗教)、関本平八(植物学)、故半田良平(歌人)、故丸山瓦全(考古学)
- 26日 プロ野球、2リーグに分裂
- 12月26日 今市地震、マグニチュード6.4と6.7の地震で死者10人、重軽傷者163人、全半壊家屋1万1,831棟  
山が動いたといわれている





棟方志功に影響を与えたといわれる代表作  
「初夏の風」

川上澄生(版画家、1895～1972)  
青山学院卒業後、カナダ・アラスカ・アメリカを旅行し、大正10年宇都宮中学(現宇都宮高校)の英語教師となる。このころより木版画の制作を開始、文明開化・南蛮渡来をテーマとする。一時、北海道に疎開、昭和23年宇都宮女子高校講師となる。翌年第1回栃木県文化功労章を受章。また詩人としても活躍した。



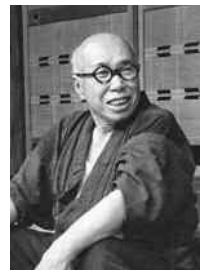
川上澄生[明治28年(1895)～昭和47年(1972)]

横浜市生れ、大正5年(1916)青山学院高等科卒、昭和23年(1948)疎開先の北海道より宇都宮に帰る



代表的な唐黍文の赤絵角瓶

濱田庄司(陶芸家、1894～1978) 15歳のとき、ルノアールの言葉により工芸の道を決める。東京高等工業学校窯業科を卒業後、柳宗悦・バーナード・リーチらとの交遊がはじまる。英国から帰国し益子に入り、益子焼の伝統的技法をいかして作陶にあたる。昭和30年重要無形文化財保持者認定、43年文化勲章を受章。



濱田庄司[明治27年(1894)～昭和53年(1978)]

神奈川生れ 大正5年(1916)東京高等工業学校(現東京工業大学)卒業  
大正13年(1924)益子に定住、5年間沖繩壺屋で学ぶ

- ◎物 価
  - ・日本ダービー 1着60万円
  - ・キューピー・マヨネーズ 10月-230円、11月-220円、12月-205円
  - ・タバコ 新生60円、ピース(10本)60円、ゴールデンバット30円
  - ・芥川賞、直木賞が復活。正賞時計、副賞5万円
  - ・森永ミルクキャラメル16粒25円、グリコ8粒10円
- ◎映 画 青い山脈、晩春、野良犬、破れ太鼓、戦火のかなた、大いなる幻影
- ◎流行語 駅弁大学、つるしあげ、筋金入り、ギョ!
- ◎流行歌 トンコ節、銀座カンカン娘、高原の駅よさようなら、長崎の鐘

## ■昭和25年（1950）

- 1月1日 マッカーサー、年頭の辞で日本国憲法は日本の自己防衛の権利を否定せずと声明
- 1日 満年令実施
- 5日 福田利示次女死去 会員全員会葬
- 7日 聖徳太子肖像の1,000円札発行
- 1月17日 光明寺 常会  
昭和24年12月26日に発生した今市地震につき義援金3,150円見舞、県歯より3万2千円
- 2月 丸木位里・俊子 原爆の凶発表
- 4月1日 栃木新聞創刊
- 13日 光明寺  
村本 光、畑 二郎幹事引継ぐ  
1. 青木会長より日本造機健康保険未払の件につき  
1. 茂呂氏より国民年金の視察談  
5月より鹿沼歯科医師団の会費50円に決定  
日歯、栃歯の退会の可否につき懇談
- 20日 光明寺  
1. 新設鹿沼西中学校校医に全会一致で川島光五郎を推薦
- 22日 山本富士子 初の「ミス・日本」に選ばれる
- 5月1日 今宮神社社務所  
1. 社会保険患者に金使用の範囲について  
イ. 金冠の適応症について単冠に限る  
ロ. 受配量の約5割程度  
    大白歯 3ヶ月間に3本  
    小白歯 3ヶ月間に4本  
ハ. 模型を1年間保存する事  
以上 昭和25年5月1日より施行する事  
1. 料金改正の件  
    物価の下落に伴い診療報酬も当然値下げすべきとの決議あり、後日ガリ版に刷る事に決定  
1. 東大芦村立東大芦中学校、校医に福田利示を推薦する  
1. 広告看板に健康保険医、船員保険医等の記入が許可される  
1. ミシン、麻服等の配給の件  
1. 税金問題について



京都歯科医師会 料金表

初診料	五拾円	抜歯・補正	七拾円以上
文書料	五拾円以上	歯石除去	三百円以上
内服薬	五拾円以上	永久金	百円
外用薬	五拾円以上	乱金	八拾円
洋茶料	五拾円以上	口腔内切開	百円以上
一、虫歯蓋	三十円		
外科手術	五百円以上	合金鈎	二百円以上
皮下筋内注射	百円以上	金鈎	千五百円以上
静脈注射	貳百円以上	エドリン修復料	七百円以上
ペニシリン	七百円以上	金銀瘻管	四百円以上
セメントスル	百円以上	義歯修理料	四百円以上
シリケートスル	百五十円以上	合金銀膏料	二百円以上
銀ノマルガム	二百円以上	合金銀膏料	五百円以上
合金インレー	二百円以上	合金際料	二百円以上
合金インロー	五百円以上	合金際料	千円
合金窩	五百円以上	リニカルバー	五百円以上
合金窩	貳百円以上	パラケムバー	五百円以上
銀ヲ成	甲、四拾円以上 乙、五拾円以上		
昭和五五年五月			

5月28日 宇都宮労働会館 保険講習会 全員出席

1. 開会の辞 三木 正副会長
1. 挨拶 宮川 勇会長 松沢保険課長
1. 保険診療に於ける充填について  
東京歯科大学教授 兵藤彌夫  
休憩
1. 講演 今後の社会保険に就いて  
厚生省技官 水野銈太郎 資料
1. 講演 日本歯科医師会専務理事 藤木 昇
1. 質疑応答  
藤木専務理事及び診査員諸氏より応答あり

6月2日 茂呂宅

日大教授中里先生を囲み、保険問題、選考問題、社会保障問題等の座談会開催  
中里先生の教え子新川庄一より菓物、茶菓の差入あり

- 6月8日 青木宅
- ムシ歯予防週間の事業として講演の依頼あり 希望者をつのり下記の如く決定  
小来川村小中学校 越路孝七、福田利示  
加蘇村小中学校 川島光五郎、石塚要次郎、岸野シゲ、新島 剛  
帝国繊維鹿沼工場 青木達三郎
  - 6月4日投票日の参議院選挙、全国区より立候補した林 了氏 次点5位にて落選  
得票数 鹿沼、上都賀168票 全国139,830票
- 25日 朝鮮戦争勃発→特需ブームで株式市場大盛況
- 7月2日 金閣寺 放火で全焼
- 8日 口腔検査及び講話  
東大芦中学校 福島 茂、石塚要次郎  
東大芦中央小及び酒野谷分校 畑 二郎、村本 光
- 11日 鹿沼キリスト教会 郡支部保険講習会 出席35、6名  
講師 宮川 勇 県歯会長  
小林武一
- 28日 G.H.Qの勧告でレッドパージ開始
- 8月10日 警察予備隊令公布
- 9月1日 那須塩原、鬼怒川地区、日光国立公園に編入
- 12日 光明寺
- 青木、石塚、駒橋 3氏より特別所得税に付き県税事務所との交渉経過を発表
  - 健保患者に金使用問題  
配給の全部（1人平均 1ヶ月5g）  
小白歯 3本  
大白歯 2本
  - 西鹿沼に開業せる（昭和21年6月より）  
村川ふさ入会
- 29日 宇都宮市塙田町県教育会館 全員出席
- 開会の辞 三木 正 県歯副会長
  - 挨拶 宮川 勇 県歯会長  
松尾 保 日歯保険課長
  - 講演 林 了 日歯社会保険制度審議員  
水野銈太郎 厚生省技官  
松尾 保 日歯保険課長
  - 閉会の辞 屋代義光 県歯副会長
- 10月1日 国勢調査 総人口 83,199,637人 栃木県 1,550,462人 鹿沼市 32,377人

10月16日 光明寺

1. 中条正左衛門（昭和22年9月10日退会）死去

（明治15年5月20日～昭和25年10月16日 享年68才）

1. 11月中旬に行われる厚生省保険監査につき青木、石塚両氏よりその後の経過対策につき報告あり

1. 監査に対する対策として各員が各科目を分析し、その研究を発表する事に決定

17日 中条正左衛門葬儀に全員出席

10月23日、30日、11月6日、13日

キリスト教会

研究会発表会開催

11月13日 キリスト教会

1. 朝生命保険の団体保険契約につき懇談

1. 11月14日～23日に亘り行われる予定の厚生省保険監査は無期延期になる旨通達あり



旧会堂（昭和8年6月）  
昭和53年5月新築移転

25日 岸野シゲ退会

昭和20年5月10日 入会

昭和24年3月30日 麻苧町1587（父栄吾の兄栄造の養女となり開業）

昭和25年11月25日 退会 東京三鷹へ転出

県歯は昭和26年1月19日退会

11月29日 宇都宮市二条町西小学校 午後1時より 全員出席

保険講習会

1. 貴金属管理法

1. 講演 椎貝審査員



宇都宮市立西小学校 昭和21年9月19日 地鎮祭  
// 25年11月15日 完工

資料

今後の社会保険に就いて

(厚生省 水野旋風) 五千八百字  
後藤切館

本果も近いうちに監査をやるのであります。本果は正産科監査をやつておりと云ふ事は監査の必要はないのである。日常の診療及びカルテの記入に頼りてもと云ふ事はよくない。今一にびせん人打強ひ監査をやらば、

水野旋風

致さ上げなければならぬのだが、この不合理的でまだ厚生省が直さない。それは歯正診療が行はれる様になつてから直す。それに待たなければならぬ。現在不良なものも再教育して居る。今歯科監査を試験したら三分の一は合格しない。さう方面からは試験をせよと云つて来て居る。今やたら家族の生活がなり立たない。又金儲けをとり上げて仕舞うといつて居る。金儲けが情がある。指導員を要する。昔は純正歯科監査の立場から進正診療を行つたら金は、金を用い金一本で行つて保険経済の心配はない。ワラスアも白金加金でしつかりしたものを作る事が出来る。金儲けが五分一にすれば金でやつて行ける。新製歯科監査を作つたのに何故本人に二八監査をやられるか。何故自分で出来ることをやつて行かぬか。二年間は苦しい。お互に教習に預けたら総ゆる。権限がさうである。この深刻な場合からと出されれば、は成功である。彼あつて二万何千人同じ。困苦に入つて居る。動向はお互に悪い。お互にスクラム戦で進行。そして皆で禁止を作る。これは特に歯科では望みである。この責任に前々かたて診療の投資をしてい

い。何故に技術で競争せずに料金で競争するか。又これをやるならどうして。業界は目の目を更にするのである。それで尚料金で競争している。裏に自殺しようとして居る。いや又多くの手を殺そうとしている。次に健康では患者一人一回九四日三〇の支払いがある。二〇九て正しい診療して食つていけないものは監々といつて貰いたい。正しいもの、云う事は違ひがあり。彈丸となり力と居るのであつて。固正であり革命である。それから進い中に監査を行うか。ヤミの金は絶対にゆるされたいから洋流して置く(記 山 口)

勝和二十三年八月基金に移ることになつた。正産科監査をやるのであります。本果は正産科監査をやつておりと云ふ事は監査の必要はないのである。日常の診療及びカルテの記入に頼りてもと云ふ事はよくない。今一にびせん人打強ひ監査をやらば、

本果も近いうちに監査をやるのであります。本果は正産科監査をやつておりと云ふ事は監査の必要はないのである。日常の診療及びカルテの記入に頼りてもと云ふ事はよくない。今一にびせん人打強ひ監査をやらば、

本果も近いうちに監査をやるのであります。本果は正産科監査をやつておりと云ふ事は監査の必要はないのである。日常の診療及びカルテの記入に頼りてもと云ふ事はよくない。今一にびせん人打強ひ監査をやらば、

本果も近いうちに監査をやるのであります。本果は正産科監査をやつておりと云ふ事は監査の必要はないのである。日常の診療及びカルテの記入に頼りてもと云ふ事はよくない。今一にびせん人打強ひ監査をやらば、

- ◎物 価 ・三ツ矢サイダー 48円  
 明治17年(兵庫県多田村平野(現大西市))で湧出していた炭酸含有水を飲料鉱泉として企業化  
 明治40年 サイダーフレーバーエッセンスを輸入し三ツ矢印の「平野シャンペンサイダー」を  
 発売する  
 昭和43年(1968)に「三ツ矢サイダー」と名称変更
- ・映画 封切館 80円
- ・営団地下鉄 10円
- ◎映 画 暁の脱走、きけわだつみの声、靴みがき、自転車泥棒
- ◎流行語 金へん、糸へん、ナイター、オーミステイク、貧乏人は麦を食え
- ◎流行歌 水色のワルツ、ボタンとリボン、東京キッド、イヨマンテの夜

## ■昭和26年（1951）

- 1月3日 NHK第1回紅白歌合戦
- 11日 光明寺 常会
1. 特別所得税申告の件につき
  1. 保険講習会につき下記の如し
  1. 期 日 昭和26年1月14日より5月20日迄の日曜日、13日間  
時間1単位を3時間とし22単位とする
  1. 課 目 講師及び単位
- |                  | 単位   |
|------------------|------|
| 1. 概 論 水野銈太郎技官   | 1    |
| 藤木昇日歯委員          | 1    |
| 1. 実 務 日歯社協委員    | } 3  |
| 保険課長、審査委員        |      |
| 1. 診療方針 保 存 杉山教授 | 4    |
| 充 填 加藤教授         | 1    |
| 補 綴 野本教授         | 3    |
| 外科薬物 中村教授        | 3    |
| 薬 物              | 1    |
| 歯科細菌 檜垣教授        | 1    |
| その他              | 4    |
| 計                | 22単位 |
1. 場 所 1月14日 宇都宮市中央小学校  
1月21日以降 宇都宮市西小学校
  1. 会 費 第1期、第2期 計5,000円
- 14日 宇都宮市中央小学校、社会保険医療講習会 第1回開催さる
1. 挨拶 三木 正副会長  
築瀬眞策会長
  1. 講 演 (社会保険を中心とした諸問題について)  
鈴木 勝日歯専務理事
  1. 講 演 (補綴を中心とした適正医療について)  
藤木 昇
  1. 閉会の辞 屋代義光日歯副会長  
鹿沼より全員出席

- 
- 2月17日 鹿沼キリスト教会  
上都賀郡歯科医師会総会 出席約30人
1. 代議員選挙  
青木達三郎、金子弁明、田野井重男
  1. 昭和25年度決算、昭和26年度予算可決決定
  1. 定款一部改正可決
- 4月11日 光明寺 常会  
福田利示（自由党）、茂呂 登（改進黨のち民主党）  
鹿沼市議会議員立候補  
（4月23日 45名立候補中30名当選両氏共に当選  
9月27日 議会事務局が設置され大鹿沼市建設促進へとつき進む）  
中条正臣、新島 剛幹事引継ぐ
- 4月 新制歯科大学認可、東京医科歯科大学、大阪大学歯学部
- 4月 マッカーサー解任、後任リッジウェイ
- 5月 児童憲章制定、日本WHO正式加盟承認さる
- 5月6日 ラジオ体操復活
- 6月 東照宮、本殿、陽明門など6件、県下初の新国宝に指定
- 7月9日 光明寺 常会
1. 米国使節団 7月3日羽田着  
7月22日小西旅館に於て懇談会の件
  1. 会費滞納処理の件
  1. 無資格者処置の件
  1. 金地金代金と現品引換を実行する（報告）
  1. 歯科医の税金問題の件
  1. 県の保険監査の件
- 8月10日 光明寺
1. 金地金配給に就いて申請書提出に関する件  
申請書は明朝9時迄に石塚まで
  1. 会費（歯科医師会費は希望者に限り健康保険金受入高より月賦又は何回か払いにて納入する）  
希望者は石塚宅まで届ける事
  1. 加蘇村保険料支払
- 16日 対日平和条約、日米安全保障条約に調印



12月11日 光明寺 15名出席

1. 単価問題

1. 所得税30%減（社会保険所得額）

この問題は下記のように決着した

厚生省告示第二百八拾号  
昭和十八年二月厚生省告示第六十六号（健康保険法及び船員保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法）の一部を次のように改正し、昭和二十六年十二月一日から適用する。

昭和二十六年十二月十一日  
厚生大臣 橋本 龍伍

第一号を次のように改める。

一、医師及歯科医師タル保険医ニ就キ療養ノ給付又ハ療養ヲ受クル場合ハ別表の診療報酬点数表及歯科診療報酬点数表ニ基キ一点ノ単価ヲ甲地ニ在リテハ十二円五十銭 乙地ニ在リテハ十一円五十銭トシテ之ヲ算定ス

これがいわゆる一点単価の騒動である。  
なお十二月二十五日、国税庁長官通牒によって社会保険診療収入の所得標準率はおおむね三〇%程度とする旨が提示された。



5700形「ネコひげ」東武日光駅 昭和26年撮影

- ◎物 価
  - ・カゴメケチャップ (320g) 100円
  - ・キューピーマヨネーズ (ビン入り140g) 110円
  - ・ブルドックソース (360ml) 180円
- ◎映 画
  - カルメン故郷に帰る (初のカラー)、羅生門 (ベニスでグランプリ)
  - 麦秋、偽れる盛装、わが谷は緑なりき、オルフェ
- ◎流行語
  - B. G.、社用族、逆コース、老兵は死なず、ノーコメント
- ◎流行歌
  - ヤットン節、めだかの学校、あの丘越えて、雪山賛歌、トゥーヤング



## ■昭和27年（1952）

- 2月 新制歯科大学認可（日大、大歯大、東歯大、日歯大）
- 2月13日 光明寺
1. 昭和26年度所得税問題について
  1. 村川ふさ退会  
昭和21年6月開業  
昭和25年9月12日入会－昭和27年2月退会
- 3月15日 光明寺
1. 金地金配給について その報告、改正問題
  1. 会費問題について
  1. 念書提出について  
念書を提出し、毎月保険より一定額を差引き  
会費に当てる（社保支払の5／1,000を抛出）
  1. 共済会に出資したる株式を県歯科医師会の為に寄附に向ける
- 3月 坂口 孝退会
- 昭和21年12月10日入会－昭和25年7月退会  
－昭和27年3月県歯退会
- 4月9日 日航機 もく星号 三原山に墜落
- 10日 NHK「君の名は」放送開始
- 12日 手塚筆四郎、菊地貞造幹事引継ぐ
- 20日 月刊栃歯会報第1号発刊、県歯会長築瀬眞策  
編集発行人 椎貝敏夫
- 28日 日米安全保障条約発効 GHQ廃止
- 5月4日 鹿沼中央小
- 上都賀郡地区別社保講習会 出席33名  
講師 椎貝敏夫 岡田治清
- 10日 光明寺
1. 国民健康保険単価値上の件  
茂呂県歯副会長より経過報告あり  
昭和27年6月1日より昭和28年3月31日迄 1点単価11円50銭とする
  1. 光明寺への謝礼200円と決す
  1. 駒橋秀光入会
- 19日 ボクシング白井義男フライ級で日本人初の世界チャンピオンとなる
- 25日 御殿山会館 午後1時
- 上都賀郡支部に対し金地金並びに金合金配給後、社保講習会

- 6月2日 光明寺  
 口腔衛生強調運動週間（「口腔衛生週間」が改称、昭和30年迄）  
 計画実施の件に付開催、下記の如く検診日割決定  
 (A) 街頭検診 会議所7日・8日 1時－5時  
     7日 岡本、金子、新島貫一  
     8日 手塚、岸野、新川  
 (B) 農村検診  
     5日 粕尾村 粟野方面会員  
     9日 西大芦村 村本<sup>光</sup>、越路<sup>孝</sup>  
     9日 東大芦村 駒橋<sup>眞</sup>、川島<sup>光</sup>、畑<sup>一</sup>、福田、新島<sup>剛</sup>  
     10日 加蘇村 福島<sup>茂</sup>、中条、菊地<sup>貞</sup>、石塚
- 13日 御殿山会館 午後6時  
 口腔衛生強調運動週間反省会開催  
 鈴木金一郎市長、衛生、文化、保健所長等臨席の下、会食を共にし、反省会
- 22日 キリスト教会 午後1時  
 学術講演会開催  
 講師 イ. 聖路加病院歯科医長 長谷川博士  
     ロ. G・C研究所 児玉技師
- 7月12日 光明寺  
 1. 石塚より特別所得税に付申告説明あり  
 2. 青木会長より金報告書提出の件要請あり
- 17日 キリスト教会  
 1. 特別所得税説明会開催  
     地方事務所関口氏より説明あり
- 19日 ヘルシンキ・オリンピックに日本、戦後初参加
- 9月17日 八丈島南方に明神礁出現
- 23日 厚生省と共催で第1回母と子のよい歯のコンクール表彰式 於日比谷公会堂
- 10月10日 光明寺  
 1. 金冠慣行料金改正  
     前歯冠 3,000円  
     小白歯冠 3,500円  
 1. 11月1日 古峰原ハイキング
- 15日 保安隊発足（自衛隊の前身）
- 11月1日 古峰原ハイキング  
 参加者 青木、畑、村本、駒橋、金子、新島、新川、菊地の8名  
 ビール48本、酒4合2本、サバ、貝柱缶詰4ケ、菓子、センベイ、ピーナ  
 ッツ、森永キャラメル、果物（リンゴ、ミカン）

12月3日 第一いろは坂有料道路着工  
 18日 栃木県労働金庫設立

市郡別歯科医師及び診療所数

(昭和27年12月31日現在)

市 郡	歯 科 医 師			診 療 所 数	歯科医一人に付き人口数
	総数	男	女		
総 数	441名	397名	44名	356	3,516名
宇都宮市	85	78	7	63	1,261
足利市	36	29	7	25	1,758
佐野市	23	20	3	19	2,309
栃木市	22	20	2	20	1,920
鹿沼市	23	22	1	18	1,408
河内郡	16	14	2	14	10,433
上野原郡	37	34	3	26	4,068
芳賀郡	42	35	7	32	3,872
下都賀郡	41	36	5	36	6,031
塩谷郡	33	32	1	27	3,888
那須郡	58	53	5	49	4,188
安房郡	9	9	0	8	6,816
足利郡	16	15	1	14	6,642

◎一、九五二年版栃本縣衛生統計による(資料医療センサス)

木馬が詠んだ八重桜を見ての作と思われる。機一は、鹿沼の俳人たちの会、鹿鳴連の宗家にあたる其角堂の八世を継ぎ、東京向島に住み門弟四千を数えたといわれ、時々、鹿鳴連に招かれて俳句の指導に当った。句碑は大正三年三月中旬、鹿鳴連による建碑。

咲くも散るもおよぶものなきさくらかな

機一

鹿沼の文学碑



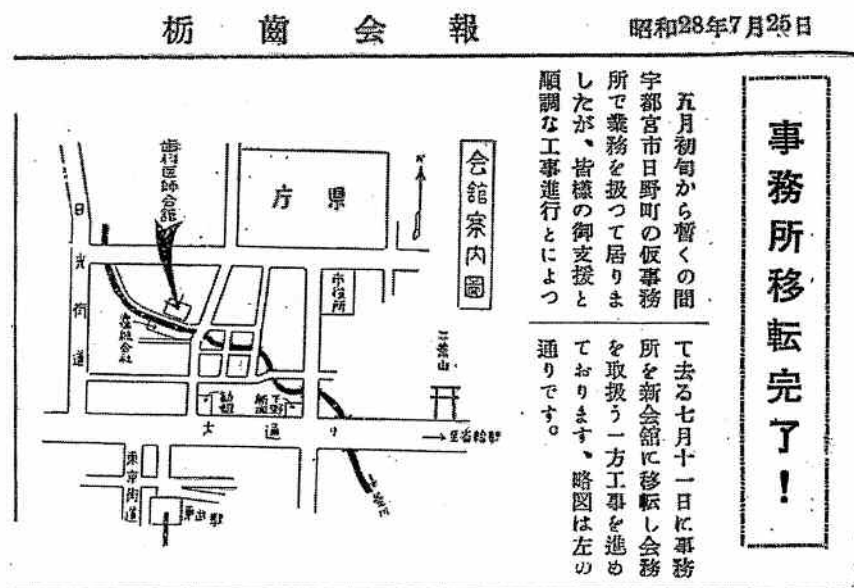
今宮神社鐘楼前  
老鼠堂機一

- ◎物 価 ・うどん・そば 17円
- ・ラジオ (松下電器産業製、5球普及国民型スーパー) 大ヒット 9,850円
- ・歯ブラシ (ナイロン毛) ライオン 49円60銭
- ・宝くじ 単価30円 最高当せん金300万円 1等150万円、前後賞
- ・銭湯 12円
- ◎映 画 西鶴一代女 (カンヌで演出賞)、山びこ学校、真空地帯、第三の男、殺人狂時代
- ◎流行語 ワンマン、人間機関車、強くなったのは女と靴下
- ◎流行歌 上海帰りのリル、テネシーワルツ、芸者ワルツ、リンゴ追分

## ■昭和28年（1953）

- 1 月 鹿沼の奈佐原文楽、県無形民俗文化財に指定第1号
- 1 月10日 喜楽  
新年宴会 14名出席
- 25日 梅沢 明入会  
昭和21年2月1日 菊沢村大字栃窪683-1で開業  
昭和28年1月 鹿沼市下府所194に転入、入会
- 2 月1日 NHKテレビ放送開始（1日4時間、契約数866）
- 12日 光明寺  
1. 慣行料金改正の件  
1. 鹿沼保健所自動車購入寄附の件につき 寄附金1人350円応募に決す  
1. 東京製綱K. K. 健保組合加入となる報告あり
- 3 月14日 吉田 茂首相、2月28日の衆議院予算委員会で西村栄一議員に「バカヤロー」で衆議院解散
- 4 月12日 光明寺  
石塚要次郎、村本 光幹事引継ぐ  
(青木、岸野両氏が当番の予定であったが健康状態よろしからず)  
1. 参議院全国区林 了氏立候補につき  
バカヤロー解散で総選挙が行われることとなり、4月19日が衆議院選挙の投票日となった。また、4月24日には参議院議員の選挙が行われることになり、昭和25年6月4日の選挙で惜敗した林 了氏を日歯政治連盟は単独推薦候補と決定した。  
1. 県歯政治連盟負担金 各自100円抛出につき  
1. 会務及び政治連盟につき
- 27日 市役所応接室に変更  
1. 鹿沼市及び近村学校歯科医推薦につき  
金子郡歯科医師会長が之に当たる会員紳士協定を守るべきこと  
校医 中央小 新島 剛 東 中 畑 二郎  
東 小 駒橋 秀光 西 中 村本 光  
北 小 福田 利示 菊 沢 梅沢 明  
鹿沼高 越路 孝七 北押原 石塚要次郎  
農商高 川島光五郎 北犬飼 金子 公明  
以上の通り決定す  
1. 参議院全国区、林 了当選  
得票総数 205,649票 栃木県 5,921票  
上都賀郡 656票 鹿沼市 185票  
全国区 38位で当選

1. 栗野町 小杉真治死去  
明治25年 8月20日 - 昭和28年 4月21日 享年60才  
大正15年 5月10日開業
1. 会館建設基金 1人1,000円 共済相助金 1人400円  
至急納入のこと
- 5月28日 光明寺  
1. 口腔衛生強調週間行事の計画につき、前年同様の行事を行うことに決定  
1. 茂呂 登鹿沼歯科医師団脱団につき円満解決
- 29日 金子公明入会
- 29日 英国登山隊のヒラリーと案内人のネパール人テムジンがエベレスト登頂に成功
- 6月15日 市民会館  
口腔衛生強調週間反省会  
市長、教育長代理、衛生課長代理、社会課長代理、保健所長代理出席
- 7月1日 国民健康保険組合 上都賀郡粕尾村  
歯科診療協定開始
- 11日 県歯会館 釜川のほとり宇都宮市塙田町380番地に落成



- 16日 八頭身の伊東絹子、ミスユニバース第3位入選
- 27日 朝鮮休戦協定、板門店で調印
- 8月5日 市民会館  
1. 上都賀郡社会保険地区別講習会  
1. 貴金属統制撤廃
- 28日 日本テレビ（民間）放送開始

- 
- 9月3日 光明寺
- 1. 会費等納入につき
  - 1. 社会保険講習会につき
  - 1. 関東地区歯科医学会につき
    - 9月26日、前橋市北曲輪町 教育会館講堂
  - 1. 日歯税務資料につき
  - 1. 上都賀郡医師会議長 長 次郎氏の上申書につき
    - 国保報酬未払問題
    - 昭和28年度に入り、国保報酬未払が4ヶ月から6ヶ月以上にわたる保険者（市町村）が続出した。郡医師会は5月1日より窓口にて医療費全額徴収（保険点数による）する旨を、3回にわたり通達した
- 11月21日 新川庄一死去
- 明治33年4月2日－昭和28年11月21日 享年53才
  - 大正15年9月15日入会
- 12月20日 参議院議員林 了氏死去
- 参議院の議席を得た林は、7月10日歯科医師法規則第19条の2により死亡診断書交付権の復活に尽力、参議院に議員立法として提出、24日本会議で議決された。その後衆議院も通過し、死亡診断書の問題は解決した。また、むし歯予防の立法化を参議院法制局と協同して「むし歯予防法案要綱」を作成し、提案の機械を待っていた。しかし、それを待つことなく、この日狭心症により45才の若さで急逝した。
- 23日 今井一郎入会
- 栗野町880番地6（元小杉真治歯科医院）で開業
  - 長野中央病院（長野市西鶴賀町）より転入
- 31日 NHK紅白歌合戦、初めてのテレビ中継化により、本年より大晦日に開催

**数 表** 社会保険歯科診療報酬 乙地 診療報酬点数の金額換算表 昭和28年8月現在

点数	金額		摘 要	点数	金額		摘 要	点数	金額		摘 要
	本人	家族			本人	家族			本人	家族	
1	11.50	5.75		35	402.50	201.25	ノイマン手術, 冠(大臼歯)	69	793.50	396.75	
2	23.00	11.50	嵌縁後処置	36	414.00	207.00		70	805.00	402.50	レジン継続歯
3	34.50	17.25	硬組織処置	37	425.50	212.75	銀合金単冠インレ	71	816.50	408.25	
4	46.00	23.00	抜歯, 根充, 処診料	38	437.00	218.50		72	828.00	414.00	
5	57.50	28.75	歯石除去	39	448.50	224.25		73	839.50	419.75	
6	69.00	34.50	調整セメント	40	460.00	230.00	バー(不銹鋼)	74	851.00	425.50	
7	80.50	40.25	抜歯(乳歯)	41	471.50	235.75		75	862.50	431.25	
8	92.00	46.00	切開, 抜歯(前歯)	42	483.00	241.50		76	874.00	437.00	
9	103.50	51.75	抜歯(臼歯), セメント(冠)	43	494.50	247.25		77	885.50	442.75	
10	115.00	57.50		44	506.00	253.00		78	897.00	448.50	
11	126.50	63.25	油性プロコイシンベ	45	517.50	258.75	インレー(銀合金)	79	908.50	454.25	
12	138.00	69.00	ンリン(30万)	46	529.00	264.50	歯槽修理(新歯1歯)	80	920.00	460.00	14K鑄造鈎(小)
13	149.50	74.75		47	540.50	270.25		81	931.50	465.75	
14	161.00	80.50		48	552.00	276.00		82	943.00	471.50	
15	172.50	86.25	アマルガム	49	563.50	281.75		83	954.50	477.25	
16	184.00	92.00		50	575.00	287.50	全歯冠継続歯	84	966.00	483.00	
17	195.50	97.75		51	586.50	293.25		85	977.50	488.75	インレー(金合金)
18	207.00	103.50		52	598.00	299.00		86	989.00	494.50	
19	218.50	109.25		53	609.50	304.75		87	1,000.50	500.25	
20	230.00	115.00	クラスプ(特殊鋼)レスト有	54	621.00	310.50		88	1,012.00	506.00	
21	241.50	120.75		55	632.50	316.25		89	1,023.50	511.75	
22	253.00	126.50		56	644.00	322.00		90	1,035.00	517.50	14K鑄造鈎(大)
23	264.50	132.25		57	655.50	327.75		91	1,046.50	523.25	
24	276.00	138.00		58	667.00	333.50		92	1,058.00	529.00	14K裏接継続歯
25	287.50	143.75		59	678.50	339.25		93	1,069.50	534.75	
26	299.00	149.50		60	690.00	345.00	歯根切除, バー(特殊鋼)	94	1,081.00	540.50	
27	310.50	155.25		61	701.50	350.75		95	1,092.50	546.25	
28	322.00	161.00		62	713.00	356.50		96	1,104.00	552.00	
29	333.50	166.75		63	724.50	362.25		97	1,115.50	557.75	
30	345.00	172.50	埋伏智歯の抜歯	64	736.00	368.00		98	1,127.00	563.50	ポストインレー(金合金)
31	356.50	178.25		65	747.50	373.75		99	1,138.50	569.25	
32	368.00	184.00		66	759.00	379.50		100	1,150.00	575.00	顎骨々折手術
33	379.50	189.75		67	770.50	385.25					
34	391.00	195.50		68	782.00	391.00					

【備考】 1. 本表は1点単価11円50銭として換算する。  
 2. 100点以上の場合は次の如く算出する。  
 例 本人合計点数345点の場合 34点(391円00銭)×10+5点(57円50銭)=3,967円50銭  
 家族合計点数659点の場合 65点(373円75銭)×10+9点(51円75銭)=3,789円25銭  
 1,000点以上の場合は次の如く算出する。  
 例 本人合計点数2,355点の場合 23点(264円50銭)×100+65点(747円50銭)=27,197円50銭  
 家族合計点数5,468点の場合 54点(310円50銭)×100+68点(391円00銭)=31,441円  
 3. 甲地とは 東京都(島嶼を除く)横浜市, 名古屋市, 京都市, 大阪市, 神戸市, 川崎市, 芦屋市, 西宮市, 尼崎市, 豊中市, 布施市, 八尾市, 堺市, 池田市, 吹田市, 守口市をいう。  
 乙地とは 甲地以外の地。

日本歯科医師会

- ◎物 価 ・レコード盤 S P 250円 ・食パン 100匁(375g) 22円
- ◎映 画 ひめゆりの塔、君の名は、雨月物語、禁じられた遊び、ライムライト
- ◎流行語 さいざんす、ムチャクチャでござりまするがな、八頭身、コネ
- ◎流行歌 弥太郎笠、五木の子守唄

## ■昭和29年（1954）

- 1月7日 アイゼンハワー大統領、沖縄の軍事基地は無期限に保有と表明
- 13日 新年宴会 大沢楼
- 2月 日光市制施行
- 2月1日 マリリン・モンロー来日
- 19日 力道山・木村対シャープ兄弟でプロレスブーム
- 3月 大谷磨崖仏、国特別史跡に指定
- 4月1日 国民健康保険歯科診療協定  
上都賀郡西大芦村  
◎診療の範囲中  
1) 歯科補綴を除く  
2) 入院診療については食事を含む
- 4月 今市、小山市制施行。海星女子学院創立
- 5月15日 社会保険医療講習会開催 那須温泉 山楽
- 6月2日 梅沢 明・駒橋秀光幹事引継ぐ
- 7月17日 県歯会館  
緊急郡市部長会議  
イ) 税問題  
ロ) 社保問題について  
ハ) 支部交付金の件  
ニ) 会費について  
ホ) 日歯会災害基金について  
ニ) 足尾分区は今後、上都賀支部に所属し、扱はすべて上都賀支部において行うことに決定
- 7月 防衛庁、自衛隊、警察庁発足
- 7月24日 市民会館  
上都賀郡支部総会  
1. 社会保険に関する諸問題について  
請願書を作成し署名
- 9月 鬼怒大橋、足尾三川ダム竣工
- 9月24日 第5福竜丸無線長久保山愛吉、肝臓障害で没
- 26日 青函連絡船洞爺丸、台風15号北上中を出航して転覆（旅客1,011人死亡）
- 10月 真岡市制施行
- 10月1日 鹿沼市と板荷村、菊沢村、北押原村、北犬飼村、西大芦村、東大芦村、加蘇村の7ヶ村が合体、合併  
人口 71,184人



- 10月 8日 第1回市議会 市公民館  
 村議会議員が市議会議員となり、定数161名で開催された。初代議長河野辺文吉
- 11月 2日 石塚要二郎退会  
 昭和23年2月10日 鹿沼市中田町1257番地で開業  
 昭和29年11月2日 長野県東筑摩郡四賀村へ転出
- 3日 初の空想映画「ゴジラ」封切
- 11月 日光第1いろは坂（現・下り専用）有料道路が完成
- 12月 社会保険診療報酬に対し、特別措置法の一部改正により29年分所得から28%課税
- 12月 大田原市制施行

**社会保険医療  
講習会開催通知**

既に各支部より御通知がございましたことと思  
 います。が、概記講習会を左記により開催いたしま  
 すから多数御出席御懇談下さい。

記

一、日時 昭和二十九年五月十五日午後一時

二、会場 那須温泉 山楽

三、講師 厚生省技官 水野銈太郎 先生  
 東京齒科大学教授 大井 清 先生(予定)  
 杉山不二先生(予定)

四、会費 一、五〇〇円(宿泊共)

五、由込期日 所属支部經由で来る四月二十五  
 日までに会費相添え本会必着の  
 こと。

◎五月十六日朝右記会場において保険医大会  
 を開きます。

◎列車時刻案内(なるべく山の列車に乘車せ  
 られたい)

小山 鹿沼 宇都宮 鹿沼 片 道 黒磯 鹿沼  
 (1)午前七時二十一分……八時十分……九時四十五分  
 (2)午前九時三十五分……十時二十一分……十二時〇七分  
 黒磯から新那須下車バス利用(片道六五円)



那須温泉 山楽

- ◎物 価 ・鯉節 (にんべん) 1kg 900円  
 ・キューピーマヨネーズ ビン入140g 90円
- ◎映 画 七人の侍、山椒太夫 (ベニスで受賞)、ゴジラ、ローマの休日
- ◎流行語 スポンサー、ロマンスグレー、三種の神器
- ◎流行歌 お富さん、ウスクダラ、岸壁の母、ジャンーギター

## ■昭和30年（1955）

- 2月 浜田庄司、国重要無形文化財に指定  
県内のカモシカを国特別天然記念物に指定
- 2月20日 上都賀郡歯科医師会が保健所行政区域別単位の支部設置規定となった為、上都賀支部と今市支部に分離
- 2月 1月に粟野町と粕尾村、永野村、清洲村の3ヶ村の合併に伴い新保険者名称をまとめて粟野町と変更
- 3月 日光高原、益子、太平山、唐沢山を県立自然公園に指定
- 4月30日 光明寺  
福田利示、中条克一（正臣）幹事引継ぐ
- 6月 駒場秀光 県歯に準会員として新入会  
（昭和27年5月10日 支部入会済）
- 6月25、26日 鬼怒川温泉ホテル 20名参加1人2,100円  
関東一都7県歯科医学会（鬼怒川公会堂）



- 7月28日 鹿沼市と南摩村合併
- 8月7日 トランジスタラジオ発売開始
- 10日 鹿沼市と南押原村合併  
大鹿沼市誕生 人口80,771人
- 8月 歯科補綴を給付範囲とする（差額徴収のはじまり）
- 10月1日 国勢調査 総人口 8,927万5,529人  
栃木県 1,547,580人 鹿沼市 80,771人
- 23日 石川 亘入会  
昭和24年11月南摩村西沢町296番地で開業中
- 11月 手塚正教 県歯に準会員で新入会  
（昭和31年5月 支部入会）

11月15日 塩原温泉 明賀屋ホテル 60才以上会員の集い（後年、明生会）  
 安生 貢、新島貫一、駒橋寅春（夫妻）参加  
 15日 栃木会館落成式挙行

資料



昭和25年に建設された鬼怒川温泉公会堂

因に六十才以上の会員は現在五十二名であります。尚ほ当日の参加者は次のとおり。

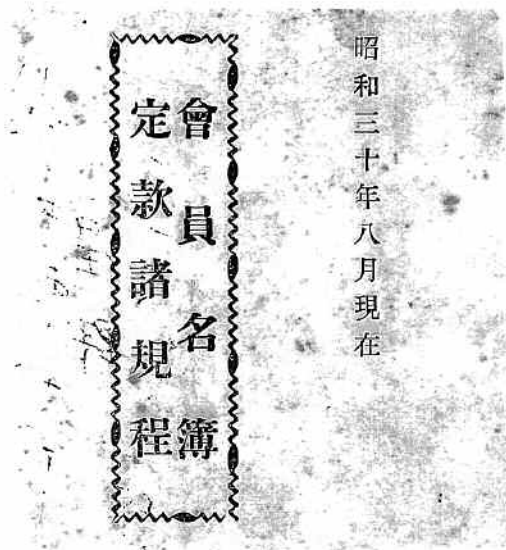
小野 春吉  
 天沼 浦之助  
 黒崎 眞博  
 築 瀬 貞策  
 小林 武一  
 新島 貫一  
 駒橋 寅春(夫妻)  
 手塚 肇 四郎  
 安生 本 健  
 大塚 喜 吉  
 名取 克 平  
 高柳 己 平  
 高根 保 太郎  
 黒崎 市三郎  
 岡田 正 信  
 長島 美 勝

- 一、差額徴収 差額徴収とは健康保険医療費担当規程以外の診療を患者が希望する時は、其の受給権を認めて担当規程に基づく診療に対する診療報酬と規程以外の診療に対する慣行上の診療費との差額を徴収することをいう例えば健康保険では総義歯は合成樹脂床でなければいけないが、患者が金属床となつて貰いたいと要求された場合合成樹脂床は保険で 五千元 金属床は慣行料金で 一万円 とすれば金属床をつくつて、五千元を患者から徴収することをいう。
- 二、一部負担 一部負担とは健康保険医療費担当規程に定められたる診療に対する診療報酬の中の一部を患者が負担する事であつて 例えば被保険者の場合は初診料を、被扶養者の場合は初診料及診療費の半額を負担する事になっている。患者は直接其の額を窓口で支払う。

昭和23年8月新制度によって再出発した社会保険制度は、昭和30年度は71億円の赤字に達し、健康保険制度は壊滅の危機に立ち到った。之が対策として厚生省当局は、

- 保険料率の引上げ
- 健康保険に対する5%の国庫負担
- 短期医療給付に対する被保険者の一部負担
- 歯科診療の一部制限（金の使用禁止）
- 監査の徹底

を決定した。歯科においては発足当初より、資材、方法（7歯50%）の両面に制約が多く、歯科補綴の給付内容の改善を阻んできた。特に健康保険においては金の使用というものは、その使用量（1人1ヶ月5g）が決められており、当初からその分の費用というものは計算されているので、絶対に赤字の因ではない、之を赤字対策の一環として一般医療については何等制限せず、ひとり歯科診療のみに制限を加えるという片手落な当局の態度は強く批判されるべきである。以上の様な流れから差額徴収を認めることを要望していった。



制定 昭二六、四、二五  
改正 昭三〇、四、二一

**栃木県歯科医師会支部設置規程**

第一条 本規程は定款第五条の二に基き支部設置に關して定めらる。

第二条 本会に、左の支部を置く。

宇都宮支部（宇都宮保健所の行政区域とする）  
 上野支部（鹿沼保健所の行政区域とする）  
 今市支部（今市保健所の行政区域及び足尾町とする）  
 下野支部（栃木保健所の行政区域とする）  
 小山支部（小山保健所の行政区域とする）  
 安藤支部（佐野保健所の行政区域とする）  
 足利支部（足利保健所の行政区域とする）  
 芳賀支部（芳賀保健所の行政区域とする）  
 塩谷支部（塩谷保健所の行政区域とする）  
 那須支部（那須保健所の行政区域とする）

那須南支部（烏山保健所の行政区域とする）

第三条 會員は、總べて左の各号により同れかの支部に歸さなければならぬ。

(イ) 診療所を有するものは主たる診療所々在地  
 (ロ) 診療所に勤務するものは診療所々在地  
 (ハ) 其の他のものは居住地

第四条 支部は、會員中より支部代表（支部長）一名を選出し會長に届出する。

第五条 支部代表（支部長）は、本会の会務運営上の職務にあたり支部を代表する。

第六条 支部の新設、統合は、代議員会の承認を要する。

第七条 支部を新設、統合しようとするときは、当該會員連署の上当該支部代表（支部長）の意見書を添えて會長に申請する。

第八条 會長は、前条の申請をうけたならば、事情調査の上代議員会に付議しなければならぬ。

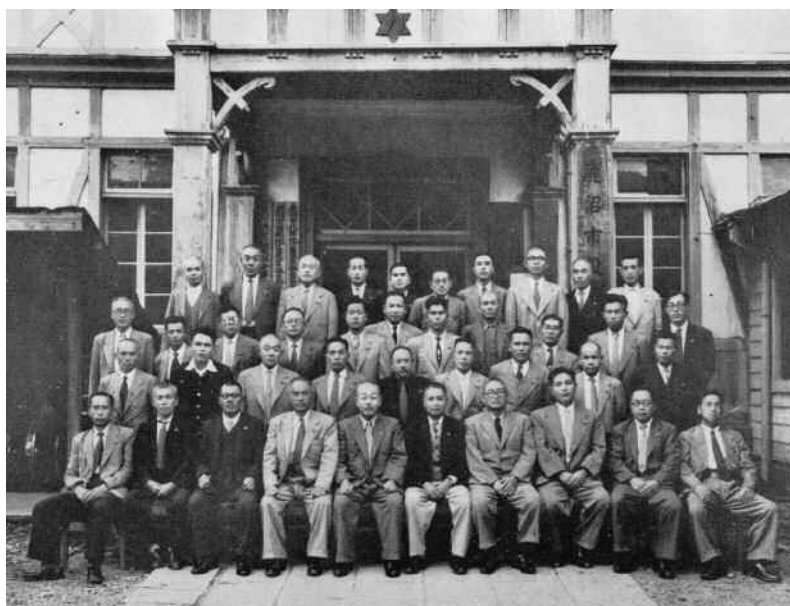
第九条 本規程の改訂は、代議員会の議決による。

第十条 本規程の前改正の規定は、昭和三十年二月二十日よりこれを実施する。





- 昭和28年3月30日 大鹿沼市建設促進特別委員会（定数11名）設置  
 9月17日 鹿沼地区合併促進委員会と改称
- 昭和29年5月22日 1市7ヶ村（東大芦村・菊沢村・板荷村・北押原村・西大芦村・加蘇村・北  
 犬飼村）との合体合併を議決  
 10月1日 鹿沼市発足  
 市議会に於ては鹿沼市議会議員30名と各村議会議員が市議会議員となり定数  
 161名で発足
- 昭和30年7月28日 鹿沼市と南摩村合併  
 8月10日 鹿沼市と南押原村合併  
 8月30日 市議会議員161名中欠員5名で156名であったが総辞職  
 9月5日 地方自治法の規定により定数36名で告示  
 20日 選挙 本会会員 茂呂 登870票で当選
- 昭和30年9月20日 1市9ヶ村合併後の第1回市議会議員選挙当選者



鹿沼市議会議員  
 3列目右から6人目 茂呂 登

- ◎物 価 清酒 特級 1,715円、一級 835円、二級 490円
- ◎映 画 ここに泉あり 夫婦善哉 エデンの東 白毛女
- ◎流行語 ノイローゼ、兵隊の位、最低ネ
- ◎流行歌 りんどう峠、月がとっても青いから、しあわせの歌、ちいさい秋みつけた

## ■昭和31年（1956）

- 2月19日 初の出版社発行週刊誌「週刊新潮」創刊
- 3月31日 菅沼 清死去  
明治41年4月25日～昭和31年3月31日享年47才  
昭和10年7月1日（西方村金崎336番地で開業中）
- 4月 五十里ダム完成。貯水開始
- 4月25日 金子公明 県歯科医師会準会員で入会  
（昭和28年5月29日 支部入会済）
- 27日 鹿沼市キリスト教会  
医薬分業実施に伴う社会保険点数改正の説明会  
上都賀、今市支部合同
- 5月2日 大越 筆 故菅沼 清方（西方村金崎336番地に入会）  
昭和32年4月20日 小山支部へ転出（県歯）  
5月7日 上都賀支部退会
- 9日 日本登山隊（榎 有恒隊長）ヒマラヤのマナスル（8,125メートル）初登頂
- 6月 口腔衛生強調運動が口腔衛生週間と改称、翌年迄
- 6月4日 口腔衛生強調運動（6月4～10日）  
栃木県と共済でニュースカーで各地を巡回し口腔衛生思想の普及宣伝を行った
- 10日 茂呂副会長は宇都宮から乗車、橋口監事は鹿沼から乗車し宇都宮まで  
宇都宮（9.00）－楡木（9.40）－金崎（10.00）－十文字（10.20）－深程－粟野  
（11.00）－縦山（11.30）－◎鹿沼（12.00）－今市（13.40）－日光（14.10）－  
今市（14.40）－藤原－今市（16.10）－大沢－國本－宇都宮（17.00）  
◎ニュースカーには20名位乗車出来ますから各支部は積極的に御協力下さい。
- 15日 福田宅  
金子公明、畑 二郎幹事引継ぐ
- 18、19日 鹿沼歯科医師会旅行  
鬼怒川春岡荘 参加者21名（丸笠氏含む）



- 7月1日 青木道子 入会  
(昭和28年6月より父と共に)
- 9月16日 社会保険歯科医療講習会  
塩原温泉 明賀屋 受講者227名

**社会保険歯科医療  
講習会開催通知**

「社会保険講習会を左記により開催いたしますから御聴講下さる様御通知いたします。」

一、主催 栃木県歯科医師会

二、日 時 九月十六日(日) 午前十一時

一、場 所 塩原温泉

第一会場 塩原公民館(向敷バス停留所)  
第二会場 明賀屋ホテル(向敷ホテル前)

一、日 程

(1)開講挨拶 栃木県歯科医師会会長  
(2)来賓挨拶 栃木県関係、日本歯科医師会会長小  
 塚善男先生、参議院議員竹中恒夫、植竹春  
 彦、相馬助治各先生の挨拶がある予定

(3)注意事項 「療養担当規程における診療取扱手続並に  
 診療報酬請求の注意事項について」  
 黒須保険課給付係長

(4)講 演 「歯髓の除去療法について」  
 東京歯科大学教授 関根永滋先生

(5)閉 講

一、会 費 二〇〇〇円(宿泊・懇親会共)非会  
 員は第一会場のみ 一〇〇〇円

一、申込期日 八月三十一日、本会必着(支部経  
 由のこと)

※来会の際は必ず受講票(昭和三十一年度製のもの  
 の持参のこと。)

※昼食(一〇〇円)希望者は九月十日までに本会に  
 申込むこと(支部経由)



塩原温泉 明賀屋ホテル

- 10月 日光杉並木街道(付並木寄進碑)国特別天然記念物に指定
- 11月 足利県立自然公園設定

- ◎物 価 ・カルピス 633ml 280円(以後17年間値上げせず)
- ◎映 画 ビルマの豎琴、真昼の暗黒、夜の河
- ◎流行語 太陽族、一億総白痴化、もはや戦災ではない
- ◎流行歌 哀愁列車、若いお巡りさん、別れの一本杉、リンゴ村から



## ■昭和32年（1957）

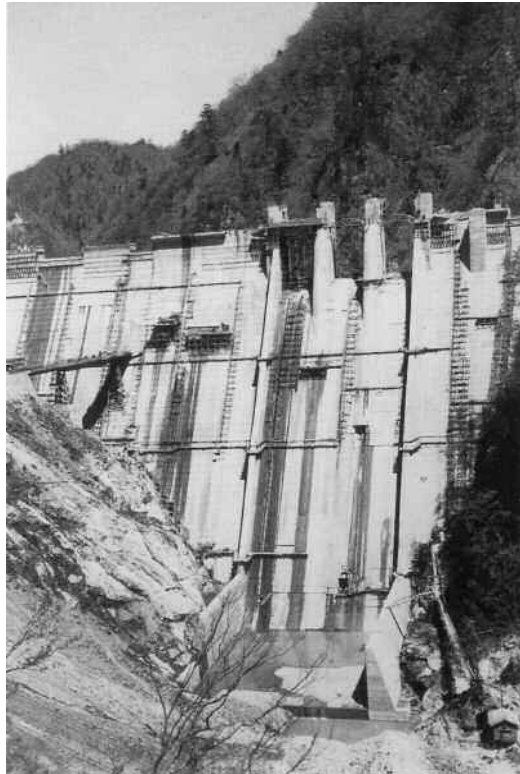
- 1月9日 喜楽  
新年会 29名出席
- 13日 美空ひばり、19才の少女に硫酸かけられ負傷
- 29日 南極観測隊、オングル島上陸（昭和基地と命名）
- 3月15日 市民会館  
上都賀歯科医師会総会 開催
1. 料金表配布
1. 役員人事決定
- 会 長 福田利示  
副会長 梅沢 明（7月23日より川島光五郎）  
石川 亘  
議 長 金子弁明  
副議長 福島 茂  
栃歯代議員 石川 亘  
福田利示  
会計理事 駒橋秀光  
庶務理事 大越 筆（5月7日より畑 二郎）小山支部転出の為  
理 事 今井一郎  
安生 貢（7月23日より中田静嘉）  
監 事 菊地貞造  
中条正臣
- 4月 矢板高等女子学院（現矢板中央高）創立
- 4月24日 光明寺  
梅沢 明、手塚正教 幹事引継ぐ
- 5月7日 大越 筆退会  
昭和31年5月2日～昭和32年5月7日  
同年4月20日 県歯（小山支部入会済）
- 10日 御殿山会館  
社保指導講習会（上都賀、今市支部合同）開催  
築瀬県歯会長、成田保険課長、戸塚源三審査委員  
県保険課員3名出席
- 27日 金子公明 退会 於喜楽 送別会  
昭和28年5月29日～昭和32年5月27日  
宇都宮市宮本町62-59へ転出
- 6月6日 口腔衛生講演会 高橋木履

6月30日、7月1日 一泊 川治温泉 柏屋ホテル  
 支部旅行 参加者22名 (丸笠氏を含む)



- 7月1日 全員で五十里ダム見学、竜王峡見物  
 畑、丸笠、中条、村本の4人は竜王峡を見ずに帰る
- 8月25日 御殿山会館  
 健康保険個人並びに集団指導 (県歯主催)  
 築瀬県歯会長、基金幹事長、保険課員 (3名)  
 黒崎、大橋、吉田審査員 来鹿
- 10月4日 ソ連、人工衛星スプートニク1号打上げ成功
- 11日 埼玉銀行  
 上都賀支部臨時総会 出席21名  
 資料参考
- 15日 県歯科医師会提供による16mm口腔衛生フィルム  
 鹿沼北小(750人)、中央小(800人)、東中(930人)、東小(550人)、南摩小(280人)  
 にて上映  
 今市支部へ今市貨物にて送付す
- 24日 第5回カナダ国際ゴルフ大会 (川越市) で中村寅吉優勝  
 ゴルフブーム起こる
- 11月5日 日本歯科医師会1点単価問題総決起大会開催  
 上都賀代表 今井、石川出席
- 17日 宇都宮女子高講堂  
 栃木県健保療養担当者総決起大会開催
- 11月 富士重工宇都宮製作所、国産ジェット機第1号を完成

資料



五十里ダム（昭和31年・藤原町） 昭和25年9月から同31年8月まで5年11か月の歳月と、総工費48億1,200万円を費して完成した。洪水調節・発電・かんがいなどのための多目的ダムである。

#### 健保法改正反対運動について

昭和30年当初以来、保険医総辞退届まで用意して闘った健康保険法改正反対運動により31年6月参議院で廃案になったが32年になると、政府は、再び法案を国会に提出した。

県歯科医師会、県医師会、県薬剤師会は共闘して下記のスローガンを掲げ32年3月9日に宇都宮女子高等学校講堂に参集した。

**健保法改悪絶対反対**

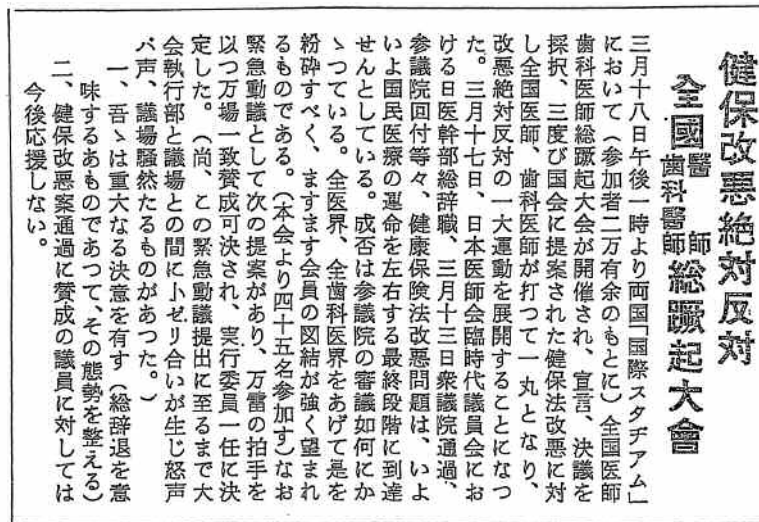
**栃木県医・歯・薬連合大会**

スローガン

- 一、健康改悪法案を即時撤回せよ
- 一、一点単価を即時引上げよ
- 一、一部負担の増額絶対反対
- 一、保険医、医療機関の二重指定絶対反対
- 一、人権を無視した調査、監査の強化絶対反対
- 一、支払基金法改悪、特に審査の官僚化絶対反対
- 一、健保医療給付費の二割以上を国庫負担とせよ
- 一、社会保険診療は団体双務契約とせよ
- 一、結核医療費は全額国庫負担とせよ
- 一、社会保険診療報酬は非課税とせよ

1. 健保法改悪反対
2. 社保診療報酬支払基金法改悪反対
3. 1点単価の適正引上要求
4. 健保療養給付費の2割国庫負担要求

以上を宣言、決議し、終了後、会場より県庁前広場までデモ行進を行った。さらに3月18日、両国国際スタジアムで健保改悪絶対反対全国医師・歯科医師総決起大会が開催された。



本県より医師80名、  
歯科医師45名が  
参加した

にもかかわらず、3月31日法案は国会を通過、保健医、医療機関の二重指定は5月、一部負担の増額は7月より実施されることとなった。

健保法改正後、しばらく開店休業の状態にあった医療保険審議会が7月1日再開され、社会保険診療報酬が審議されたが、その内容を不満として8月2日日本医師会は委員を引き揚げた。日本歯科医師会も同調し、8月7日、鹿島俊雄、中村 嘉委員の辞表を提出した。

9月11日になって政府は中医協の場で厚生省案として

1. 1点単価は10円とする
2. 点数表は甲乙2表とし、病院診療所は自由に選択する
3. 甲表は従来の点数表を根本的に変更する
4. 乙表は現行のものをそのまま引き継ぐ

以上の原案を示した。

これに対して日歯は直ちに反対を表明し、歯科医業経営実態調査の結果を元に1点単価の算定を行い、中医協に提出した。

このとき、日本医師会もまた独自の資料により算出し、提出した。

- |    |       |        |
|----|-------|--------|
| 日歯 | 1点単価案 | 19円40銭 |
| 日医 | 1点単価案 | 18円46銭 |

本支部も日歯の方針を支持し、10月11日臨時総会を開催した。

決議

1. 厚生省の1点単価10円案に絶対反対
  1. 日本歯科医師会の1点単価19円40銭案を支持する
  1. 日本歯科医師政治連盟会費（300円）を今回の単価運動に使用することに賛成する
- 以上決議す

昭和32年10月11日

栃木県歯科医師会上都賀支部

於埼玉銀行、出席21名

次いで11月17日 宇都宮女子高等学校講堂

栃木県保療養担当者総決起大会開催さる

1. 1点単価即時引上
2. 国民医療をまどわす厚生省案絶対反対
3. 社会保険医療費大幅国庫負担要求

以上 満場一致で可決する。

出席902名 内医師会員562名

## 鹿沼の文学碑



枳窪薬師堂  
長谷川黙念  
自筆

微笑<sup>ほほえみ</sup>はほほえみを生む春の風

黙念

黙念は長谷川商店創業者、唯一郎の長男栄一郎である。氏は若くして京都山科にある、托鉢奉仕を行とする一灯園に入った。戦前から少年団運動に打ち込み、素人の仏典研究会である「お経を味う会」を主宰していた。また枳窪薬師堂の木喰仏の保護に尽力した。

- ◎物 価 カレー（新宿、中村屋）180円 デミ・コーヒー付き  
かけそば 30～35円
- ◎映 画 明治天皇と日露大戦争、幕末太陽伝、喜びも悲しみも幾歳月
- ◎流行語 よろめき、パートタイム、何と申しましょうか ケ・セラ・セラ
- ◎流行歌 有楽町で逢いましょう、バナナボート、東京だよおっ母さん

## ■昭和33年（1958）

- 1月6日 小野喜市入会 西大芦医療生活協同組合診療所
- 11日 新年懇親会 喜楽  
全員出席24名 来賓、築瀬県歯会長、市長他7名 計31名
- 15日 喜楽  
森山欽司衆議院議員、社労委員長に就任  
医師会と合同で祝賀会
- 15日 アメリカ、人工衛星エクスプローラー1号打上げ成功
- 25日 日本歯科医師会館落成式
- 2月26日 会計監査 川島歯科
- 3月21日 埼玉銀行  
定期総会 出席22名 委任状4名  
・決算、予算の承認を求むる件  
・その他西方村国保（補綴）実施について
- 3月 関門トンネル開通
- 4月 東北本線上野一宇都宮間電化完成
- 5月19日 常会 埼玉銀行  
1. 国保問題  
1. 良い歯の学校コンクール  
審査員 鹿沼地区 岸野、青木<sup>註</sup>  
粟野地区 今井  
西方地区 中田  
郡市区 福田  
福島 茂、青木道子幹事引継ぐ
- 6月17日 1点単価の引上げと厚生省告示問題について陳情に上京（県歯科医師会と共に）  
総員45名  
本会より福田利示、川島光五郎、石川 亘、駒橋秀光出席
- 24日 無料口腔検診実施（鹿沼市庁舎）全員出席
- 25日 昭和27年（1952）口腔衛生強調週間（国の方針）  
昭和31年（1956）口腔衛生週間（正式に）  
昭和33年（1958）歯の衛生週間（航空と発音がまぎらわしいので）
- 30日 社会保険診療報酬告示  
新点数 甲、乙、2表 10月1日実施

一、歯科は甲表をとることに決定

単価問題については日本医師会と歩調をあわせてきたが、医療と歯科医療との実質的な相違点があるので、論理的に独自の考え方をとる必要から、理論的には甲表をとると判断して臨時代議員会の委任により会長の専決事項として甲表を大幅に修正したのちこれを採用することとなった。

日本医師会は甲表については無修正とし、乙表を大幅に修正して採用した。

このとき、日本歯科医師会が乙表を採らなかつた理由は次の通りである。

- 一 乙表不採用の理由
  - 一、甲・乙両表採用による医療混乱を防止するため（両表の低点数を分離して採る逆選択が起る。特に補綴面に現われる公算大である。）
  - 二、甲・乙両表採用は同一医療行為に対し異なる医療価値単位を与える不合理を生ずる。
  - 三、本会の主張とする点は乙表は甲表実施の経過措置的なものである。従つて此の場合、現行単価点数方式で一円上げる以外認めがたい。
  - 四、単価一〇円とすることは甲表と不可分一体であり、此の場合地区差八・五％は本会の方針として承認出来ない。

また甲表をとつた理由は次の通りであった。

- 二 甲表を採つた理由
  - 一、本会の方針たる地域差撤廃の主旨により五％の地域差を適用した点。
  - 二、乙表を前記の理由により不採用とした結果、一応甲表の修正を承認せしめ、実質的に医療費の引上げの枠の拡大を計ると共に一般医療、歯科医療点数とのアンバランスを是正せしめる効果を得た点。
  - 三、甲表は乙表に比較し、点数構成に於いて弾力がある。
  - 四、実施後の修正、補正の確約並に補綴差額負担制度の実施を期待する点。

1点単価問題については医師会と歩調をあわせてきたが、甲、乙2表では、医師会は乙表を修正して、歯科医師会は甲表を修正して採用した。この時期を境に医師会との間に多少の溝が生じたものと思われる。

- 7月1日 母と子のよい歯のコンクール審査実施 市庁舎  
 審査員 手塚<sup>市</sup>、新島<sup>市</sup>、岸野、駒橋  
 日歯においては27都府県が参加し  
 8月29日 審査し5組決定  
 9月19日 厚生省で実地審査、日本一、準日本一を決定  
 20日 表彰式 厚生大臣賞、日本歯科医師会長賞を贈呈
- 8月19日 臨時常会 埼銀 出席23名、欠席6名
  - 1. 国保契約について  
 補綴を除いて契約することに決議、この旨福田支部長より築瀬会長に文書にて申入れ
- 30日 社会保険講習会（10月1日から点数改正実施に伴い）

- 9月27日 臨時総会、埼銀 出席20名  
 1 国保問題について  
 同夜下都賀支部長落合秀雄宅訪問（国保補綴について）  
 石川 亘、川島、駒橋<sup>秀</sup>、畑
- 29日 県歯会事務所  
 国保契約について県歯会長と交渉  
 福田、駒橋<sup>眞</sup>、新島<sup>眞</sup>、岡本、今井、中田6名出席  
 6時より埼玉銀行において  
 上記6名と他の理事及び茂呂県歯副会長を交え、緊急理事会開催  
 県歯会長案を認めることとする
- 30日 緊急臨時総会 埼銀  
 出席14名  
 1、国保問題について  
 県歯会長案をやむを得ず認める
- 10月3日 日比谷公会堂  
 国民健康保険法施行20周年記念  
 国保中央会長表彰 茂呂 登
- 24日 全国学校歯科医大会
- 25日 鬼怒川温泉公会堂 栃木県歯科医師会主催  
 当支部より19名出席
- 11月1日 特急こだま運転開始
- 11月 矢板市制施行
- 12月 神戸三宮に主婦の店ダイエー開店  
 (以後スーパーマーケット増加)  
 ・一万円札発行  
 ・フラフープ流行
- 12月12日 宇都宮一宝積寺間電化完成
- 27日 国民健康保険法（全面改正・新法）公布  
 国民健康保険制度の確立、昭和34年1月1日施行

①十月一日から栃木県内の国民保険は、健康保険で認められる差額負担を認めることを条件で、従来通りの歯科診療給付範囲で栃木県国民健康保険団体連合会と診療協定をする。(予定)……十四日インレー可。

②下都賀郡国分寺町は十月一日から国民保険を実施することになった。歯科診療範囲は充填、インレーまで

栃歯月報 昭和33年9月30日発行  
 (第77号)



昭和三十三年十一月現在

上都賀支部		上都賀支部	
鹿沼市下村木町一、宛ノ一	大 5	鹿沼市下村木町一、宛ノ一	鹿沼二二九番
同 久保町一、宛ノ一	同 6	同 久保町一、宛ノ一	二四五〇番
同 仲町一、宛ノ二	同 9	同 仲町一、宛ノ二	二二六四番
同 仲町一、宛ノ一	同 11	同 仲町一、宛ノ一	二八九六番
同 久保町一、宛ノ一	同 11	同 久保町一、宛ノ一	二八九六番
同 檜木町一、宛ノ一	同 11	同 檜木町一、宛ノ一	二八九六番
同 吾妻町一、宛ノ一	同 13	同 吾妻町一、宛ノ一	二八九六番
同 府所町一、宛ノ一	同 14	同 府所町一、宛ノ一	二八九六番
上都賀郡西方村金崎一、宛ノ一	昭 2	上都賀郡西方村金崎一、宛ノ一	三二九一番
鹿沼市仲町一、宛ノ一	同 8	鹿沼市仲町一、宛ノ一	三二九一番
同 檜木町一、宛ノ一	同 2	同 檜木町一、宛ノ一	三二九一番
同 上村木町一、宛ノ一	同 1	同 上村木町一、宛ノ一	三二九一番
同 上田町一、宛ノ一	同 1	同 上田町一、宛ノ一	三二九一番
同 磯町一、宛ノ一	同 1	同 磯町一、宛ノ一	三二九一番
同 今宮町一、宛ノ一	同 1	同 今宮町一、宛ノ一	三二九一番
同 戸張町一、宛ノ一	同 1	同 戸張町一、宛ノ一	三二九一番
上都賀郡西方村金崎一、宛ノ一	同 2	上都賀郡西方村金崎一、宛ノ一	三二九一番
鹿沼市東末広町一、宛ノ一	昭 21	鹿沼市東末広町一、宛ノ一	沼二八九〇番
同 四沢町一、宛ノ一	同 22	同 四沢町一、宛ノ一	一八番
同 麻子町一、宛ノ一	同 8	同 麻子町一、宛ノ一	沼三〇九三番
同 下田町一丁目一、宛ノ二	同 6	同 下田町一丁目一、宛ノ二	三三三六番
同 西鹿沼一、宛ノ一	同 5	同 西鹿沼一、宛ノ一	三三四〇番
鹿沼市油田町一、宛ノ一	同 1	鹿沼市油田町一、宛ノ一	野一八九番
上都賀郡栗野町一、宛ノ一	同 1	上都賀郡栗野町一、宛ノ一	沼三三五〇番
鹿沼市府中町一、宛ノ一	同 6	鹿沼市府中町一、宛ノ一	二四五〇番
同 久保町一、宛ノ一	同 6	同 久保町一、宛ノ一	二四五〇番
同 仲町一、宛ノ二	同 6	同 仲町一、宛ノ二	沼二二六四番
上都賀郡栗野町一、宛ノ一	同 6	上都賀郡栗野町一、宛ノ一	沼二二六四番
鹿沼市府所町一、宛ノ一	同 7	鹿沼市府所町一、宛ノ一	二八九六番
同 仲町一、宛ノ一	同 12	同 仲町一、宛ノ一	三二九一番
同 仲町一、宛ノ一	同 12	同 仲町一、宛ノ一	三二九一番



鹿沼の文学碑

富士山公園 橋田一黄

京に似し山河静かに花曇  
 一黄は本名長一郎。鹿沼出身。家の旅館業を継ぎ、町会議員、第二代議長、ついで県会議員となる。句文集「光陰」がある。  
 昭和四十七年春、鹿沼俳壇鹿鳴連建立。

- ◎物 価 封切映画150円、大卒初任給1万3千円
- ◎映 画 樺山節考、炎上、裸の大将、私は貝になりたい (TV)
- ◎流行語 ご清潔でご誠実、団地族、イカす
- ◎流行歌 オーイ中村君、星はなんでも知っている、嵐を呼ぶ男

## ■昭和34年（1959）

- 1月1日      メートル法実施。宇都宮積雪22cm
- 13日      新年宴会 大沢楼 出席22名  
来賓 築瀬県歯会長、鈴木金一郎市長、河野辺文吉議長  
浅井総務課長、中本保険課長、丸笠氏
- 14日      南極基地に1年間放置のカラフト犬の生存確認
- 2月15日    常会 埼玉銀行  
1. 次期県歯代議員、予備代議員推薦の件  
代議員 石川 亘  
予備代議員 駒橋秀光
- 2月      黒部トンネル貫通
- 3月      関門国道トンネル開通
- 3月1日    監査会 福田支部長宅
- 15日      総会  
・決算、予算の承認を求むる件可決  
・支部役員  
会 長 駒橋寅春  
副会長 手塚筆四郎、越路孝七  
理 事 会計 岸野栄七郎  
庶務 村本 光、矢口 修、石川権左衛門  
議 長 金子弁明  
副議長 福島 茂
- 4月10日    今上天皇御成婚
- 5月21日    石川 亘、川島光五郎幹事引継ぐ
- 22日      東北本線宇都宮－黒磯間電化完成
- 6月9日    口腔衛生講演 農産加工研究所において
- 16日      水野銈太郎厚生技官（水野施風）勇退し、社会保険支払基金審査連絡室次長に就任
- 21日      支部旅行
- 22日      塩原温泉 明賀屋本館 出席21名



- 
- 8月23日 臨時総会 埼玉銀行 出席20名 欠席11名
1. 農商校医問題について
  1. 茂呂 登市会議員立候補について  
築瀬県歯会長、堀田市教育課長出席、挨拶あり  
鹿沼市議会議員選挙
- 26日 茂呂 登、立候補 支部より陣中見舞→当選
- 9月26日 伊勢湾台風（明治以来最大の被害）
- 9月 国鉄日光線電化完成。日光号初運転
- 10月4日 ソ連、惑星間宇宙ステーション（ルーニク3号）打ち上げ成功  
月の裏側の写真撮影に成功
- 11月11日 臨時総会 埼玉銀行 出席19名
1. 栃歯理事（監事）に金子弁明推薦  
（昭和34年11月12日～昭和38年3月31日）
  1. 築瀬会長辞任し田野井重男会長に就任す  
（昭和34年11月2日～昭和40年3月31日）
  1. 代議員 田野井重男辞任につき1名増員  
代議員 川島光五郎  
予備代議員 畑 二郎
  1. 茂呂 登県歯副会長辞任  
（昭和26年4月1日～昭和34年11月9日）

◎ミッチーブーム（美智子妃殿下）でテレビ契約数100万台突破

◎岩戸景気

◎物 価 新聞月ぎめ330円

◎映 画 キクとイサム、野火、にあんちゃん、人間の条件、独立愚連隊

◎流行語 私の選んだ人、トランジスターグラマー、カミナリ族、ながら族

◎流行歌 黒い花びら（第1回日本レコード大賞）、南国土佐を後にして、東京ナイトクラブ

## ■昭和35年（1960）

- 1月18日 喜楽 出席 鹿沼19名 郡部4名 計23名  
 新年宴会 来賓 田野井重男県歯会長 市長他4名
- 3月15日 駒橋支部長宅  
 監査会
- 3月 東北本線宇都宮－福島間電化開通
- 3月30日 埼玉銀行  
 定時総会
- 4月 国学院大学栃木高創立。
- 4月6日 福田利示、菊地貞造幹事引継ぐ  
 25日 臨時理事会  
 1. 農商高校医問題につき  
 川島光五郎辞任し、残留期間越路孝七に依頼す
- 5月22日 長寿会新那須旅行 福寿荘  
 当支部より新島貫一、手塚筆四郎参加



- 長寿会出席者
- ①黒崎 博、宮田政吉  
 内田中次、岡田治清  
 新島貫一、手塚筆四郎、  
 宮川 勇、大橋平治郎、  
 榎本鶴吉、中原玄昌、  
 牟田健作、武田伝二郎、  
 鈴木定三、高根沢保太郎
- ②田野井会長、新井副会長、  
 黒崎、栗原、半田常務理事（地元）  
 桧山次郎、中江輝雄（職員）  
 山形正之助

- 28日 元日本兵2人、グアム島より帰国
- 29日 常会 埼玉銀行  
 1. 本年度旅行計画について  
 6月26日 川治温泉ホテル1泊決定  
 1. 納税組合設立の件決定  
 組合員 18名  
 駒橋(寅)、駒橋(秀)、岡本、川島、菊地、畑、村本、石川(巨)、福島、茂呂、  
 新島(貫)、新島(剛)、福田、岸野、青木(達)、青木(道)、金子、中条  
 未加入者 梅沢、越路、手塚(筆)、手塚(正)

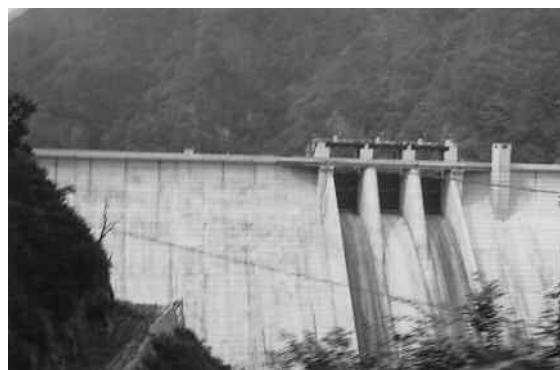
- 
- 5月 鹿沼市産業文化会館開館（平成4年1月解体）
  - 6月1日 鹿沼歯科医師団納税組合 代表菊地貞造  
鹿沼市役所届出
  - 6日 川俣ダム起工式
  - 9日 御殿山会館  
保険集団指導
  - 26日 支部旅行
  - 27日 川治温泉ホテル 20名参加



1時20分発の東武電車で出発す。

鬼怒川でバスに乗り川治温泉に4時頃着く。

村本 光記



- 27日 「日歯ニュース」第1号発行 月2回  
(昭和35年6月27日～昭和37年7月15日)  
後「日歯広報」と改名する
- 9月 カラーテレビ放送開始
- 9月8日 新島貫一 御母堂死去
- 10日 カラーテレビ放送開始
- 10月1日 国勢調査（総人口9,341万8,501人）  
栃木県1,513,624人 鹿沼市77,927人
- 2日 埼玉銀行  
臨時総会

- 1. 社会保険指導について
- 1. 税に関する件
- 1. 1点単価及診療報酬是正に関する陳情書提出の件
- 1. 日歯連盟に関する件
- 1. 粟野町国保請求書提出に関し鹿沼歯科医師会の執るべき行動に就て
- 1. 慣行料金制定に就て
- 10月12日 社会党委員長浅沼稻次郎三党首立合演説会で右翼少年に刺殺さる
- 14日 東北本線野木駅新設完成
- 10月22日 小野喜市退会（昭和33年1月6日～昭和35年10月22日）  
鹿沼市合併事業に関連して西大芦村医療生活協同組合が本県で最初に設立された。昭和29年5月14日のことである。初代の歯科診療所長は新島 剛、古沢伝七組合長に要請されたため
- 11月1日 常会 埼玉銀行  
鹿沼歯科医師会規定（案）→協議、可決 資料  
出席者  
岡本、茂呂、村本、畑、青木（達）、岸野、越路、梅沢、手塚（筆）、手塚（正）、福田、新島（剛）、駒橋（秀）、石川（巨）、川島、菊地
- 12月20日 小野春吉入会  
塩谷郡藤原町中三依273より西大芦診療所へ  
（昭和35年12月20日～昭和37年12月4日）
- 27日 臨時常会 埼玉銀行  
1. 西大芦学校医の件→小野春吉  
1. 新年会の件

昭和35年5月29日

福田利示支部長のもと鹿沼地区納税組合が設立された

名称は鹿沼歯科医師団納税貯蓄組合

代表は菊地貞造

6月1日 鹿沼市役所届出

11月1日 鹿沼歯科医師会規定（案）を協議可決

これは昭和4年5月改正

鹿沼歯科医師団協定書に基づくもので鹿沼市内の歯科医師を以て組織し、1年間と定め当番幹事2名で会務を処理することは今迄と同様であるが慶弔規程は全額を引上げている

昭和30年2月20日

今市支部と分離してからも幹事2名は大正14年(1925)からずっと存在しており、上都賀支部単独でその年度から旅行が開始された。又支部には別に役員が存在し、幹事は旅行担当の役割が主となり、そのための規定改正と思われる。

**上都賀齒科醫師會規程**

**第一條** 本會は上都賀齒科醫師會と稱し事務所は市首者幹事處に置く

**第二條** 本會は市内の齒科醫師を以て組織す

**第三條** 本會は會員の親睦と福祉増進と計畫を以て目的とす

**第四條** 本會に左の役員を置く  
 幹事或る會員は順次其の任に當り任期は一年と定め毎年四月に始まり

**上都賀齒科醫師會規程**

**第五條** 本會は第三條の目的を達成のため左の條項を定む

一 定例常會を隔月とし必要ある場合は臨時之を閉會する  
 尚旅行を一年一回行ふものとする

二 學校齒科医及其他の屬託齒科医を引受りたるは本會の承認を得ること

三 本會の慣行料會規是は之を嚴すること

四 本會は會員の慶弔に際し左の規程を定む

一 會員の慶弔に際しては特別の意思表示をなすこと

二 會員の不業に際しては左の如く定む  
 (但し返礼をなさないこと)

三 死亡の場合  
 會員は遺金全額を月也弔詞及び花輪堂個(葬儀費用)に充てり  
 配偶者は香奠金堂元也及び花輪堂個(葬儀費用)に充てり  
 家族扶養者(同居者)は香奠伍千月也及び花輪堂個(葬儀費用)に充てり

**第五條** 本會は第三條の目的を達成のため左の條項を定む

一 定例常會を隔月とし必要ある場合は臨時之を閉會する  
 尚旅行を一年一回行ふものとする

二 學校齒科医及其他の屬託齒科医を引受りたるは本會の承認を得ること

三 本會の慣行料會規是は之を嚴すること

心療傷の場合  
 本会員が月余以上治療後事不能の場  
 合又は背脊折事に於て必要と認めらる場  
 合は金老不同也と見舞金として贈  
 らる  
 全療金高失金倒壊の場合は金老万月  
 也と贈望する  
 其の他の場合は常会上於て決定する  
 第六條 本会の会計年度は毎年四月一日に始り  
 翌年三月三十一日終る  
 第七條 本会の経費は左の收入に依る  
 一 会費  
 二 寄附金  
 三 会員分租金  
 四 前  
 年度繰越金  
 五 其他の收入

駒橋寅春  
 川島克之助  
 石川直  
 村本光  
 新島貫一  
 新島剛  
 金子辨明  
 駒橋秀光  
 福島茂

手塚肇四郎  
 手塚正放  
 兼地貞造  
 神田利示  
 安生貞  
 石川友  
 因不英忠  
 畑二郎  
 吉木道子  
 岸理常子  
 越路孝七  
 梅澤昭

年度繰越金  
 其他の收入  
 第八條 本会の会費は月額各百圓也とす  
 第九條 本会規程の改廢は会員三分以上の  
 承認を必要とする  
 (附則本規程は昭和三十一年五月一日施行)

鹿沼歯科医師會印

鈴木孝階  
 矢口修  
 中條云臣  
 小野春香  
 岸野忠明  
 茂呂允  
 岡本全宏  
 鈴木清文  
 金子智英  
 中保信智子  
 中田嘉之  
 小高正男  
 小高幸愛



昭和三十五年七月現在

上都賀支部		鹿沼支部	
鹿沼市今宮町一、六〇の二	大 2	鹿沼市今宮町一、六〇の二	大 2
同 下材木町一、三九	同 4	同 下材木町一、三九	同 4
鹿沼市久保町一、九六	同 6	鹿沼市久保町一、九六	同 6
同 同 一、二二	同 10	同 同 一、二二	同 10
同 府所町一、五	同 11	同 府所町一、五	同 11
同 銀座一、八五	同 12	同 銀座一、八五	同 12
同 仲町一、七五	同 13	同 仲町一、七五	同 13
同 榎木町一、五	同 12	同 榎木町一、五	同 12
同 榎木町一、五	同 13	同 榎木町一、五	同 13
上都賀郡西方村大字本郷三六	昭 8	上都賀郡西方村大字本郷三六	昭 8
鹿沼市仲町一、五五	同 9	鹿沼市仲町一、五五	同 9
同 榎木町一、五	同 13	同 榎木町一、五	同 13
同 榎木町一、五	同 13	同 榎木町一、五	同 13
同 上材町一、八五	同 16	同 上材町一、八五	同 16
同 上田町一、〇五	同 16	同 上田町一、〇五	同 16
同 磯町三三	同 17	同 磯町三三	同 17
同 今宮町一、三三	同 18	同 今宮町一、三三	同 18
同 久保町一、九六	同 18	同 久保町一、九六	同 18
同 戸張町一、五五	同 20	同 戸張町一、五五	同 20
同 府中町一、五五	同 21	同 府中町一、五五	同 21
上都賀郡西方村大字金崎三六	同 21	上都賀郡西方村大字金崎三六	同 21
鹿沼市末広町一、五五	同 21	鹿沼市末広町一、五五	同 21
同 麻字町一、五五	同 22	同 麻字町一、五五	同 22
鹿沼市西沢町一、五五	同 22	鹿沼市西沢町一、五五	同 22
同 下田町一、〇五の二	同 22	同 下田町一、〇五の二	同 22
同 油田町一、二	同 22	同 油田町一、二	同 22
同 西奥沼六〇	同 24	同 西奥沼六〇	同 24
上都賀郡栗野町口栗野八六	同 24	上都賀郡栗野町口栗野八六	同 24
鹿沼市仲町一、三六	同 28	鹿沼市仲町一、三六	同 28
上都賀郡栗野町口栗野八六	同 28	上都賀郡栗野町口栗野八六	同 28
鹿沼市今宮町一、六〇の二	同 30	鹿沼市今宮町一、六〇の二	同 30
同 府所町一、五	同 30	同 府所町一、五	同 30
同 草久空西大診療所	同 33	同 草久空西大診療所	同 33

鹿沼の文学碑



今宮神社鐘楼前  
高久靄厓

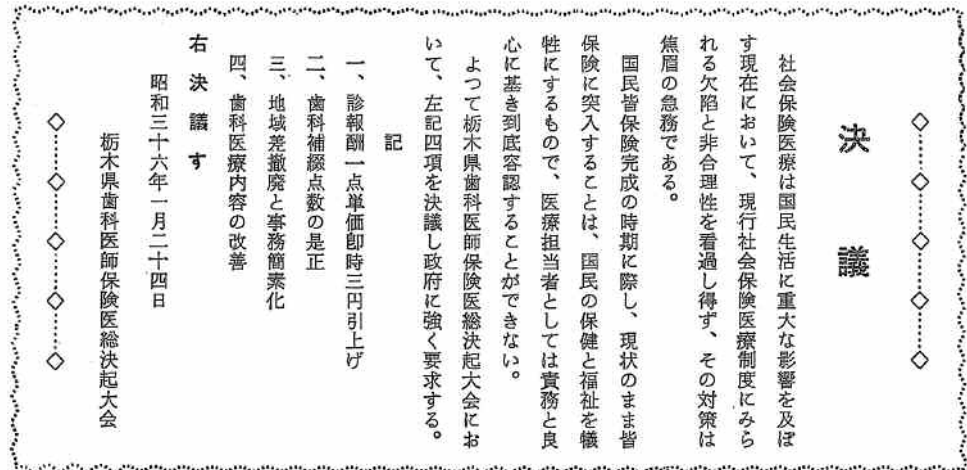
画伯靄厓高久微先生碑  
都へ旅たむとする別に  
工なきおのか筆にももしほ草  
かきあつめこむ写絵の道  
諸人の情を深み鹿沼かた しはし別れも  
袖ぬらすらむ

高久靄厓は谷文晁に師事し、渡辺華山を画友とする画家。黒磯出身。青春時代、鹿沼で絵の勉強に励み、天保六年（二八三五）、西遊する時に書遺したものである。山口安良の隠居に滞在。昭和三十八年、靄厓百二十年祭記念に故竹沢茂三郎が建立。

- ◎ダッコちゃん（黒ん坊人形大流行）、インスタント時代（コーヒー、ラーメン）
- ◎物 価 ・上野動物園入園料 大人50円、小人10円  
・スーパーカブC100（49cc）55,000円～
- ◎映 画 豚と軍艦、裸の島、人間みな兄弟
- ◎流行語 声なき声、三種の神器、低姿勢、インスタント
- ◎流行歌 誰よりも君を愛す、潮来笠、ありがたや節、アカシアの雨がやむ時

## ■昭和36年 (1961)

- 1月21日 喜楽  
 新年懇親会 鹿沼18名 郡部4名 出席  
 来賓 鹿沼市長、助役他2名  
 田野井県歯会長 計5名
- 24日 栃木県教育会館  
 栃木県歯科医師保険医総決起大会  
 上都賀会員全員出席  
 1日休診 緊急診療所－駒橋歯科医院



県下会員400名参加

厚生省は1月6日に病院16%、診療所6%という格差のある平均10%引上げ事務局案を発表。1月18日予算を決定した為日歯は保険医総辞退を含む実力行使を行う態勢を整えた。2月3日河村 弘日歯会長は武見太郎日本医師会長と懇談、共闘を約束、2月19日に全国一斉休診を行うことを決めた。

- 2月19日 (日曜日) 全国一斉休診決行 緊急診療所－越路歯科医院
- 21日 日活スター赤木圭一郎事故死
- 24日 役員会開催
1. 各種保険医辞退に関する辞表提出の件
  1. 緊急対策資金徴収の件  
 日歯500円 栃歯500円 計1,000円
- 24日 越路、村本タクシーにて石川 (権)、矢口理事訪問  
 上記の件連絡方依頼、市内は回覧にて通報

2月25日 旧市内全会員招集、辞退の件、資金徴達の件協議  
全会一致協同、辞表提出、資金拠出を決定

2月20日 全国一斉休診の翌日、午前10時から東京九段会館で医療保険改革全国  
歯科医師総決起大会が開催、2,000名が参加した。本県から50名本会から越路、矢  
口、新島（剛）、菊地の4名が参加。この大会をうけてさらに第2回の一斉休診を  
日本医師会と協同して行うことを決めた

自民党三役との申合せ

本日党三役、医療対策特別委員長、社会部長との会  
談において、左の通り一部意見の一致をみた。

(一) 制限診療撤廃については左の四カ条に取まらぬと  
大市に意見の一致がみられた。

一、学会が緊急必要と認める医薬品については指針  
関係と雖も簡素な手統てて保険に採用する。

二、指針は根本方針であるから患者の個性を尊重す  
るようにする。

三、手術に使用する器械、器具、検査の種類、回数  
は実情に即して認める。

四、歯科における補綴の施術、方法、資材の制限等  
も実情に即するよう措置する。

(二) 健保法の根本改正については、日医案の根本方針  
が了承された。

同時に中医協が妥当にこの線で改組されることを  
期待する。

(三) 単価問題については、妥結に至らなかったが、日  
医から、党と日医、日歯で了解の上六カ月間の保  
険診療休止を提案した。この間政府は国民医療に  
関し万全の応急措置を採ると共に健保の体制整備  
を行なうことを要望した。然し、党側の了承する  
ところとならなかった。党側から、三日最後の会  
談を強く希望されたので最後の努力をすることと  
なった。

右の事情により二月一日を期して保険医の総辞退を決  
行する方針であったが、国民医療改善に対する党側の  
熱意を期待して三日の会談を持って決意を実行に移す  
こととする。

右声明する。  
昭和三十六年二月二十八日

日本  
本  
歯  
科  
医  
師  
会

この一斉休診、保険総辞退の実力行使に驚愕した政府・自民党は、日歯、日医と2  
月～3月初めにわたり8回の会議をもった。3月3日の第8次会談において自民党  
三役との間に妥結をみた

1. 制限診療の撤廃
2. 7月から単価で1円数十銭を引き上げる
3. 入院料、往診療、歯科補綴についても速やかに措置する
4. 健保法の抜本改正を行う
5. 医療内容については医学会に一任する
6. 残余の問題は引続き検討する

**共  
同  
声  
明**

自民党三役との各種成談が具体的且つ円滑に実  
現することを強く希望するとともに、而医師会  
はその経過に関し重大関心をもつて、一致団結  
これを監視し、政府与党のなお一段の努力を切  
望するものである。

右声明する。  
昭和三十六年三月四日

日本  
本  
歯  
科  
医  
師  
会

ここにおいて、日歯、日医両会の共同声明を左の通り発  
表した。

これをきっかけに日本歯科医師会・日本医師会・日本薬  
剤師会の三団体は、それぞれの常務理事による定時的な  
連絡を図るため「三志会」を復活することになった。

3月5日 日歯より一日休診中止の指令あり  
3月 日光東照宮境内薬師堂全焼

- 
- 3月19日 埼玉銀行  
 定時総会 出席21名、委任状2名  
 1. 会務報告  
 1. 決算、予算の承認  
 1. 役員の変更  
     支部長 手塚筆四郎  
     副支部長 越路孝七  
     副支部長 岸野栄七郎  
     会 計 新島 剛  
     理 事 駒橋秀光 (庶務)  
           鯉原悦郎  
           石田西三  
           村本 光  
     議 長 金子弁明  
     副議長 福島 茂  
     監 事 川島光五郎  
           畑 二郎
- 3月30日 埼玉 常会  
 1. 学校歯科医辞任の件  
     1日 市内学校歯科医全員辞任提出す
- 4月 愛知学院大学歯学部開設
- 4月10日 青木達三郎、畑 二郎幹事引継ぐ  
 1. 鹿沼歯科医師納税組合長  
     菊地卓造より畑 二郎引継ぐ  
 1. 納税組合より昭和35年度報奨金交付さる  
     7,955円  
 1. 菊地組合長へ市より500円  
     上記金額を常会費に繰入
- 12日 ソ連の宇宙船ボストーク1号 (ガガーリン搭乗) 地球一周飛行に成功
- 4月 足利工大附属高校創立
- 4月20日 臨時常会 埼玉銀行  
 校医の輪番制決定す。後年プール制が実現することの一つの根幹となる。校医の担当医と学校が円盤で作られており学校が外側に固定され、担当医が2年に1人づつずれる様にできている
- 4月 ドドンパ大流行

- 5月13日 日比谷公園野外音楽堂  
公約促進全国医師・歯科医師大会開催 定員3,000名の音楽堂に8,000名の医師が全国から参集した。3月3日に日医との共闘で自由民主党三役との間でまとめた考え方に対し、厚生省は中央医療協議会改組と併せて臨時医療報酬調査会法案を発表した。それは、意見一致をみた内容と全く異っておりこの大会が開かれた
- 6月8日 このような情勢にもかかわらず政府は原案の成立を図ったが改正案は国会で廃案となった。これに対し三志会は共同声明を出して古井厚生大臣の責任を追及した
- 20日 共同声明を無視するかのよう単価引上げに点数操作をからませ、3月3日の公約を骨抜にしようとした。そのため三志会は再度共同声明を發した
- 22日 奥山美雄医師夫人死去 青木、畑幹事会葬す
- 25日 支部旅行
- 26日 那須高原ホテル1泊 参加者22名



雨ふる。午前12時に雨の中を市役所前に集合す。  
畑、中条と車を待っていると手塚のトヨペットコロナが来る。  
助手席にハッテ行く。後の席に福田、菊地<sup>註</sup>、手塚<sup>註</sup>と五人。  
4時頃那須に着く。柏戸が佐田ノ山に初日に負けたのをテレビでみる。宴会で茂呂<sup>註</sup>  
の裸おどり。手塚<sup>註</sup>、岡本<sup>註</sup>と3人で早く寝る

(村本<sup>註</sup>記)



- 7月1日 日本医師会と日本歯科医師会は都道府県会長に対して、もし単価の引上げがないまま告示された場合、一部負担金の窓口徴収は、単価11円50銭で計算するよう通知した
- 8日 厚生省は、単価は10円として、点数の手直しによる医療費全体の引上げを含んだ内容を7月8日に告示した
- 16日 川島光五郎御尊父死去
- 19日 自民党三役と両医師会との公約は7月8日の厚生大臣告示により実質的に破壊されたので、両医師会は社会保険診療についての一切の契約を解除して、保険医を辞退することを8月1日から実施することを決め、全員に通知した
- 31日 臨時総会  
1. 8月1日 保険医総辞退決行の件について  
中止、支部長より説明あり
- 31日 中央では、  
大野副総裁、前尾、赤城、田中の党三役、灘尾厚相と会見  
田中角栄政調会長が示した「申し合せ」を了承、灘尾、田中、武見、河村4氏がそれぞれ調印し、総辞退は一応回避した。
- 昭和三十六年七月三十一日

厚生大臣 灘尾 弘吉

自由民主党政務調査会長 田中 角栄

日本医師会長 武見 太郎

日本歯科医師会長 河村 弘

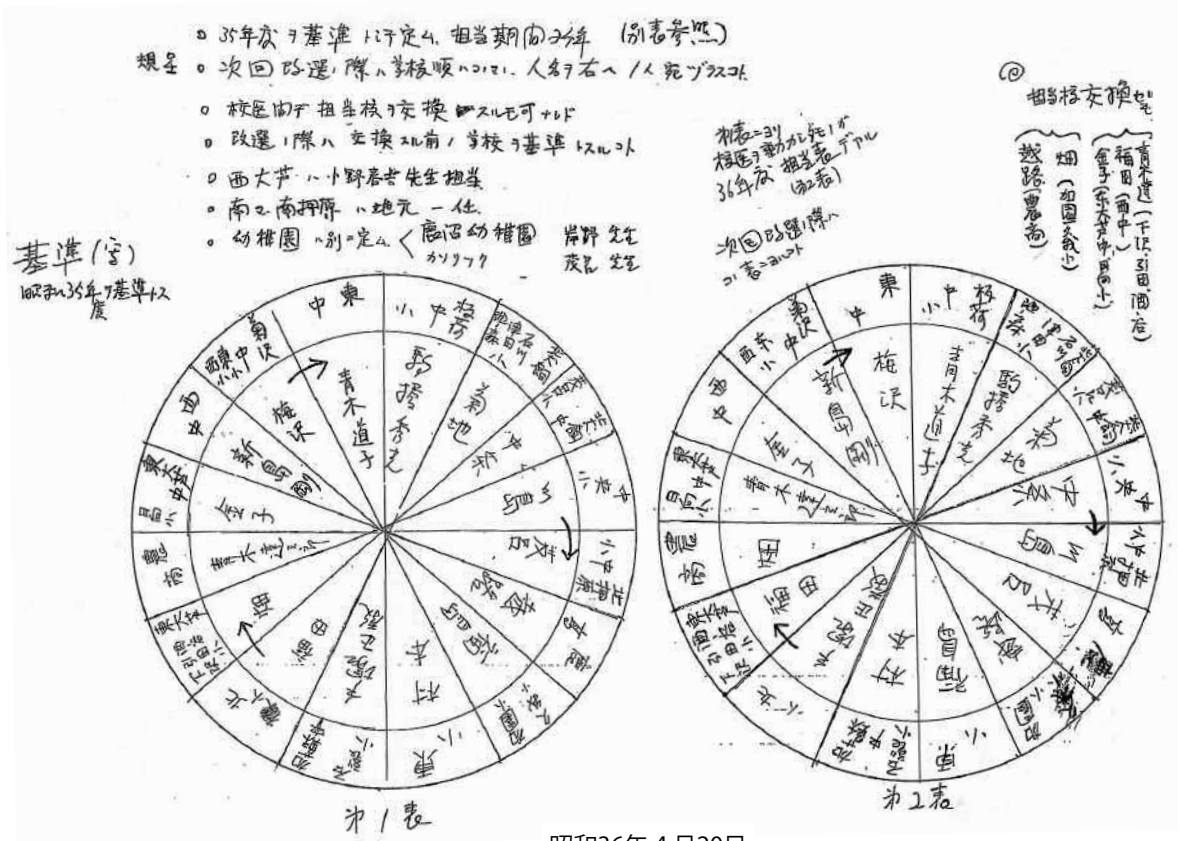
為念  
本件については自由民主党と両医師会の間には医療費単価の引上げ、点数表の変更等に関し、話し合いのあるよう一部に噂されておるが、白紙で懇談会に臨み真摯な態度で国民医療の画期的改善を行ない、医学文化の昂揚と国民福祉の向上に貢献せんとするものである。

記  
政府 自民党 両医師会の合議書  
医療問題について政府、自由民主党及び日本医師、歯科医師の両会は左記の通り合意に達したので速かに之が実現を期する。

一、医療保険制度の抜本的改正  
一、医学研究と教育の向上と国民福祉の結合  
一、医師と患者の人間関係に基づく自由の確保  
一、自由経済社会に於ける診療報酬制度の確立  
尚、右に依り  
④八月一日に予定の保険医総辞退は行なわれない。  
◎厚生大臣の設置する懇談会に両医師会代表は参加する。
- 31日 上記の合意4原則に関し審議する場がないので、灘尾厚相提案になる「医療懇談会」が設けられた
- 31日 日本最古の市電、京都のN電廃止
- 8月13日 東ドイツ、東西ベルリンの境界に壁を構築
- 9月17日 臨時総会 16名出席  
1. 会費値上げの件  
1. 予算更生案承認の件 会員賛成可決 会費3,000円となる
- 10月1日 東北本線に初の特急
- 30日 臨時総会  
1. 鹿沼市国保に補綴を入れるかどうか

- 11月8日 協議会
1. 三才児童検診の件
  1. 保険医総辞退届返還の件
  1. 指導監査の件
  1. 新点数表の件
  1. 保険講習会開催の件
- 12月8日 常会
1. 鹿沼市国保に補綴を入れる件  
出席21名、大多数 反対に決す
- 15日 東京・宝積寺間復線化なる

資料 (校医の輪番制)



- ◎物 価 トリスバー大盛況、 ハイボール1杯50円
- ◎映 画 用心棒、名もなく貧しく美しく、ウエストサイド物語
- ◎流行語 プライバシー、不快指数、わかっちゃいるけどやめられない
- ◎流行歌 君恋し、上を向いてあるこう、スーダラ節、銀座の恋の物語

## ■昭和37年（1962）

- 1月14日 喜楽  
新年宴会 出席28名 欠席4名  
来賓 鈴木鹿沼市長他3名 計4名 県歯会長欠席
- 2月 東京常住人口 1千万人突破
- 2月3日 常会  
1. 鹿沼市国民健康保険補綴について  
補綴を次の条件で認む（出席者20名）  
・有床義歯のみとする  
・市より10万円を交付する
- 20日 1. 2月6日国保運営委員会に於て有床義歯だけ保険に入れる事の承認を得る  
①有床義歯を入れる  
②研究費は事務費として10万円 会に交付する  
③4月1日より実施
- 20日 アメリカ、初の人間衛星フレンドシップ7号打上げ成功
- 3月1日 テレビ契約数 1,000万台突破
- 22日 喜楽 監査会
- 31日 埼銀 定時総会  
出席20名 欠席 委任状提出者5名
- 4月 岸野忠明入会
- 4月10日 金子弁明、中条正臣幹事引継ぐ
- 12日 当鹿沼市に於ては歯科補綴に金属冠を給付せぬ故、各会員に自粛協  
力方を要請しても違法にならぬと県保険課に問い合わせた処違反に  
ならぬと確認を得た。よって県歯に各会員に通知するよう要請した
- 18日 歯科補綴に有床義歯のみと告知せぬとはよくないというので中村課  
長に抗議した
- 6月13日 鹿沼産業文化会館  
今市支部と合同  
1. 保険医集団指導  
1. 医療改善対策会議を行う
- 18日 竹中恒夫参議院選挙の標旗を持って鹿沼市全員出動、鹿沼市街及び西沢、栗野方面  
に出動、街頭演説をなす  
午後12時30分発、日光市岡道士宅に届けた。
- 7月1日 参議院選挙投票日 竹中恒夫420,001票獲得  
全国区41位で当選
- 7月15日 「日歯エース」(昭和35年6月より発行) 7月15日の第31号より「日歯広報」とする

鹿沼市では  
四月一日から国民健康保険で補綴  
を給付することになったが給付の  
範囲は自分の間、有床義歯のみで  
すからお知らせします。



7月15日 支部旅行 伊香保温泉

16日 いつもは6月に旅行の予定が、竹中恒夫の参議院選挙のためこの日になった。  
岡本、金子、中条、村本は東武→両毛線で、他は全員自家用車で出発した。参加者22名



旅館を出発



榛名湖畔



朝10時1分の東武で岡本（英）、金子（弁）、中条（正）の4人で出かける。他の人は全部自家用自動車で行く。素人の運転は怖い。栃木で両毛線はこむ。伊香保に3時頃につく。一番のり。お湯はにごっている。6時半より宴会、駒橋（寅）と一緒にねる。

4人でケーブルにのり、馬車にのる。榛名湖で自動車隊と合流 湖を10時30分頃バスで発つ。高崎駅で昼食す。

1時30分位の汽車で高崎を発つ。3時30分頃鹿沼に帰る。

村本 光記

社会保険歯科診療報酬点数表

(昭和37年4月1日現在)

◎ 基本診療料	
初診時基本診療料	購入価格が8円を超える場合は購入価格を10円で除した点数(即ち差額そのもの)
初診時基本診療料	調剤料(10単位を超えた場合のみ算定)
乳幼児(6才未満)初診料加算	麻薬又は毒薬を調剤した場合は1調剤につき
時間外加算	処方箋料
深夜加算(午後10時~午前時)	1回につき
入院時基本診療料(省略)	
◎ 特掲診療料	
◎ 往診	
往診料(2kmまで)	
片道2km又はその端数を増すごとに	
夜間、難路、暴風雨時	
◎ レントゲン診断	
診断料(写真診断)	
撮影料	
フィルム及造影剤料	
フィルム	
造影剤料	
◎ 投薬	
薬剤料	
薬剤の購入価格が調剤料の所定単価につき60円以下の場合	
屯服薬(1剤3回まで)	
内服薬(1剤1日分)	
内服薬を2剤投与の場合1剤につき	
◎ 注射	
注射料	
リンゲル液、ロソク液、生理食塩水、ぶどう糖液、果糖液、血液代用剤等の注射	
(1回100ccを超える場合に限る)	
500cc又はその端数を増す毎に	
未滅菌の乳幼児用静脈内注射は	
輸血(省略)	
薬剤料	
薬剤の購入価格が1回分使用量につき60円以下である場合	
静脈内	
皮下、肉内	
薬剤の購入価格が1回分使用量につき60円以上である場合購入価格を10円で除して得た点数+注射手技料が定められている注射の場合の薬剤料は薬価に相当する額	
◎ 処置	
処置料<歯牙疾患の処置>	
普通切歯(1歯1回につき)	
抜歯(1歯につき)	
歯冠切断(1歯につき)	
根管充てん(1歯につき)	

複製管については各々 生活歯齲切断(齲蝕切断8点)+7 <口腔軟組織疾患の処置及び外科後処置> 口腔軟組織疾患の処置(1口腔につき) (顎関節炎、歯齦炎、口内炎、舌炎等) 外科後処置(1口腔につき) 同時に口腔軟組織疾患及び外科後処置を行った場合においても 歯槽膿漏の処置(1顎1回につき) 盲嚢摘出(1顎1回につき) 歯石除去(1顎1回につき) 充てん物又は補てつ物除去 (アマルガムセメント、レジンインレー等)(1歯単位) 除去と同時にを行った処置は別に算定する 充てん物又は補てつ物の調整 充てん物の研磨は1回だけ算定出来る 補てつ物、インレー等の調整は装置10日以後 特定薬剤料 特定薬剤 購入価格を10円で除して得た点数	1. 1歯~4歯 2. 5歯~8歯 3. 9歯~11歯 4. 12歯~14歯 注 遊離歯根端又は瘻合歯根として装着した場合の費用は各区分の所定点数に 総義歯(1顎につき) 補てつ物 白歯金属歯(1歯につき) 鋳造鈎(1個につき) 合金(14K)大白歯 (14K)小臼歯 鈎線(1個につき) 1. 不銹鋼 双歯鈎 両翼鈎レスト付 レストのないもの 2. 特殊鋼 双歯鈎 両翼鈎レスト付 レストのないもの フック、スーパー 不銹鋼 特殊鋼 (1個につき) 不銹鋼 特殊鋼 パーレ保持装置を装着した場合 歯可変歯冠(1歯につき) 1. 陶歯前装合金(14K)裏装 2. 陶歯前装その他の合金裏装 3. 全陶歯冠 4. レジン冠
◎ 充てん及びインレー 銀錫アマルガム(1窩洞につき) 鑲嵌セメント(1窩洞につき) 珪酸セメント(1窩洞につき) レジン(1窩洞につき) 合金(14K)インレー(1個につき) 1. ポストインレー 2. 複発送同インレー その他の合金インレー(1個につき)	22 9 21 28 10 80 60
◎ 補てつ	
局所義歯	

5. ジャケット冠 同時に支台築造を行った時は 金属冠(1歯につき) 1. 合金金(20K以上)冠 大白歯 小歯 2. 金銀パラジウム合金冠 大白歯 小臼歯 3. その他の金属冠 大白歯 小臼歯 支台築造を行った時は セメント アマルガム 銀合金 ダミー(1歯につき) 1. 前歯部 合金金(14K裏装) その他の合金裏装 レジン装 2. 臼歯部 金銀パラジウム合金裏装 又は鑄造ダミー その他の合金裏装 又は鑄造ダミー 口蓋補てつ、顎補てつ(1顎につき) 1. 床の印象採得簡単なもの 2. " " 困難なもの 3. " " 著しく困難なもの ◎充てん物及び補てつ物の修理 有床義歯修理(歯数に関係なし) 金属冠修理(1歯につき) 1. 合金金冠	65 +34 21 28 50 6 6 6 11 16 24 80 114 80 6 13 22 22 300 110 55 110 65 7 22 22 280 1 2 3
◎ 手術	
抜歯術(1歯につき)	
1. 乳歯	
2. 前歯	
3. 臼歯	
4. 難抜歯(埋伏歯、歯根肥大、骨の障害等に対する骨の開き又は歯根分離)	
5. 埋伏智歯	
歯槽骨整形術、骨嚙除去術	
前歯	
臼歯	
抜歯と同時に歯槽骨整形術は抜歯料に含む。歯根を分離して行った歯槽骨整形術は所定点数を算定する	
腐骨除去術	
1. 簡単なもの	
2. 複雑なもの	
歯槽形成術	
口腔内消炎手術	
1. 歯齲膿瘍、骨膜下膿瘍、若しくは口蓋膿瘍の切開、顎関節炎の歯根弁切除等	

2. 骨髄炎又は顎骨々々 口腔内消炎手術 (骨膜下膿瘍、皮下膿瘍、蜂窩織炎等) 1. 2cm未満のもの 2. 5cm未満のもの 3. 5cm以上のもの 顎骨腫瘍手術 歯根膿腫、膿性歯牙腫、(歯齦腫等) 顎骨々折手術(縫合を含む) 歯根切除術 歯槽膿瘍の手術 1. 歯齲切除術(1回につき) 2. 特殊手術(ノイマン法等) 3. 暫期間定術 術後監視1週1回を限度 下顎骨脱臼整復術	22 20 28 34 180 300 110 55 110 65 7 22
◎ 麻酔	
伝導麻酔	
1. 下顎孔、下眼窩孔	
2. 正顎孔、卵円孔、ガゼル節	
浸潤麻酔、圧迫麻酔	
迷走麻酔	
開放点滴式全身麻酔	
マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔(2時間まで)	
2時間を越す場合は30分又はその端数ごとに	
薬剤料(省略)	
◎ 理学療法(省略)	
◎ 検査(省略)	

鹿沼歯科医師会は4月1日からの国民健康保険で補綴給付について有床義歯のみであるという意志を貫ぬこうとした。12月6日に配布された歯科診療の手引は県歯会で作成したものである。

(一部負担金等の受領)

**第5条** 保険医療機関は、被保険者又は被保険者であつた者については法第43条ノ8の規定による一部負担金の支払を、被扶養者については法第59条ノ2の規定による療養に要する費用の100分の50に相当する金額の支払を受けるものとする。

1 部負担金の額

健康保険法、船員保険法、国家公務員共済組合法、市町村職員共済組合法、私立学校教職員共済組合法、公共企業体職員等共済組合法、(電々公社、専売公社、国鉄)によるものは100円、日雇労働者健康保険法による場合は46円(従来乙地)である。また、上記の被扶養者及び国民健康保険(栃木県内)の場合に於ては、当日処置の合算の半額である。但し、

イ、東京電力健康保険組合の被扶養者は全額組合負担につき窓口徴収はしない。

また、国鉄共済組合の被扶養者の窓口徴収は4割である。

ロ、全国土木建築国保組合は

甲・乙種

本人	1部負担金	なし
家族	1部負担金	2割

丙種

本人	1部負担金	なし
家族	1部負担金	5割

ハ、関東甲信越税理士国保組合は

本人・従業員	1部負担金	なし
家族	1部負担金	5割

ニ、栃木県医師国保組合は

本人	1部負担金	なし
家族	1部負担金	5割

昭和37年4月 国民皆保険は達成され、実施に際して社会保険の種類により歯科医療の給付範囲が異なった。社会保障制度の中核をなす医療保険は、数次にわたる点数改正により、ますます複雑化し取扱上、充分理解し難く不便をきたしている。この当ても本県の社会保険歯科診療の1件当たり点数は、全国平均を可成り下廻っていた。

7月 厚生省外局社会保険庁が設置された。

7月30日 埼玉

1. 慣行料金改正の件について  
西方地区、栗野地区に通知

8月 県章、県民歌制定

8月30日 国産旅客機YS11 試験飛行に成功

9月5日 国鉄スワローズ 金田正一投手、三振奪取3,541の世界新記録

26日 ラジオ栃木創設

- 
- 10月 1日 抗生物質の使用基準全面改正実施  
 22日 ケネディ大統領、キューバにソ連ミサイル基地建設中と発表  
 キューバ海上封鎖を声明  
 28日 ソ連フルシチョフ首相、キューバからの「攻撃的武器」の撤去を命令、キューバ危機収束  
 29日 関東地区歯科医学大会 前橋市貿易会館  
 全員約15名出席
- 11月 鹿沼市長に古沢俊一就任
- 11月11日 埼銀 常会  
 1. 衆議院選挙の件（森山、船田候補推薦決定）  
 1. 関東地区歯科医学会無事終了の感謝  
 1. 再診療設定及ラバーダム装置点数設定の件  
 1. 善意銀行の件  
 1. 宇都宮支部に於て懇親囲碁会開催の件
- 12月 6日 県歯会館、支部長会議  
 1. 個人指導の件  
 1. オリンピック募金の件 1人100円会費より支出  
 1. 医政会費割戻の件  
 1. 保険診療手引、改正点数表を全員に配布  
 1. 会館建設の件 再提出  
 1. 国保より1,000分の5を拠出すること（会費として）
- 15日 国道4号線宇都宮バイパス完成

この年 全国高校野球選手権大会で作新学院春夏連続優勝

◎物 価 ・朝日30円 ・新生40円、ホープ10本40円 ・ハイライト40円

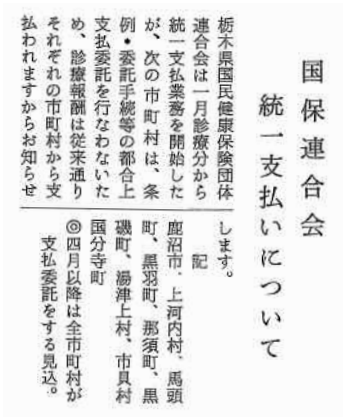
◎映 画 切腹、キューボラのある町、世界残酷物語

◎流行語 人づくり、無責任時代

◎流行歌 いつでも夢を、王将、可愛いベイビー、遠くへ行きたい

## ■昭和38年（1963）

- 1月11日 金精トンネル貫通  
23日 埼銀
1. 国保報酬統一支払に就ては当支部は反対していたが統一支払基金ができてしまった。2月1日から実施
  1. 衛生士の問題
  1. 互助会設置の件
  1. 上野高明氏県議選に出馬により後援会を作り一人会費500円とす
  1. 会費値上げの件
- 2月4日 埼銀  
国保問題につき殊に念書提出の件
- 3月5日 埼銀
- |   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
|---|--|------|---|----|-----|-------|--|--|-------|--|--|------|---|------|-----|-----|----------|--|--|-------------|--|--|-------|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校医の問題</li> <li>中央小－中条</li> <li>北押原小－菊地</li> <li>鹿高－川島</li> <li>加園小 } 一茂呂</li> <li>久我小 }</li> <li>東小－越路</li> <li>加蘇中 } 一福島</li> <li>石裂小 }</li> <li>北小－村本</li> <li>東大芦（酒の谷） } 一手塚</li> <li>引田、下沢小 }</li> </ol> | <table border="0"> <tr> <td>東大芦中</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">一畑</td> </tr> <tr> <td>日向小</td> </tr> <tr> <td>西中－岸野</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東中－新島</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北犬飼小</td> <td rowspan="3">}</td> <td rowspan="3">一青木道</td> </tr> <tr> <td>石川小</td> </tr> <tr> <td>津田小</td> </tr> <tr> <td>板荷中、小－梅沢</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>西大芦－診療所の歯科医</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>農商－福田</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 東大芦中 | } | 一畑 | 日向小 | 西中－岸野 |  |  | 東中－新島 |  |  | 北犬飼小 | } | 一青木道 | 石川小 | 津田小 | 板荷中、小－梅沢 |  |  | 西大芦－診療所の歯科医 |  |  | 農商－福田 |  |  |
| 東大芦中  | }  | 一畑   |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 日向小   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 西中－岸野   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 東中－新島   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 北犬飼小  | }  | 一青木道 |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 石川小   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 津田小   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 板荷中、小－梅沢  |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 西大芦－診療所の歯科医   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
| 農商－福田   |  |      |   |    |     |       |  |  |       |  |  |      |   |      |     |     |          |  |  |             |  |  |       |  |  |
- 3月31日 喜楽  
監査会
- 3月 烏山八雲神社の山あげ祭、国選択民俗資料に指定
- 3月 吉展ちゃん事件
- 3月30日 栃木会館本館完成
- 4月 ラジオ栃木開局



- 4月7日 埼銀  
 定時総会 出席者27名 委任状提出者3名  
 役員改選  
 支部長 手塚筆四郎 庶務 駒橋秀光 監事 岡本英忠  
 副支部長 菊地貞造 理事 越路孝七 監事 川島光五郎  
 副支部長 新島 剛 理事 鰐原悦郎 議長 福島 茂  
 会計 畑 二郎 理事 中田静嘉 副議長 鰐原悦郎
- 27日 越路孝七、村本 光幹事引継ぐ  
 現金105,832円 埼銀預金帳788円
- 29日 安生 貢 葬儀 会員出席す  
 (明治27年11月25日～昭和38年4月26日 享年68才  
 大正14年1月25日 楡木357に開業、昭和28年6月 楡木324に移転)
- 5月17日 埼銀 出席17名  
 1. 口腔衛生週間について  
 1. 金冠料金改正の件  
 1. 旅行の件
- 6月4日 1. 工場検診を新島 剛に依頼  
 1. 小児歯科ポスター配布
- 13日 明生会 鬼怒川温泉「星のや」岡本、金子、手塚出席  
 16日 明生会 鬼怒川星の屋旅館に於て開催  
 20日 米ソ間に直通通信 (ホットライン) 協定調印
- 6月 黒四ダム完成  
 6月23日 支部旅行  
 24日 川治温泉ホテル



出席者 川島、茂呂、岡本、菊地、梅沢、手塚、手塚 (正)、福島、矢口、福田、  
 新島、新島 (剛)、青木、青木 (道)、金子、駒橋、駒橋 (秀)、畑、石川、  
 岸野、鰐原、越路、村本 以上23名

- 
- 7月12日 閣議 生存者叙勲の復活を決定
- 24日 埼銀 常会 出席14名 支部長会議の報告
1. 日本歯科医師会機構改革について  
社団法人としての機構について検討  
A方式—個人を基本とする現行のもの  
B方式—法人である都道府県歯科医師会を基礎としてつくるいわゆる連合会方式  
C方式—法人と個人とを基礎とするいわゆる混成方式  
この結果、B、C方式は実現されなかった。
  1. 栃歯全国保の値上げの件について
  1. 関東地区歯科医学会について  
9月29日 本県担当 栃木会館
  1. 互助会の件について  
昭和38年4月1日から発足 会費 月額200円
  1. 全国学校歯科医大会の件について  
10月4・5・6日 山形市県民会館
  1. 保険医の指導及び監査について
  1. 栃木県歯科医師会館建築の件
- 9月5日 埼銀 常会 出席18名  
手塚支部長より支部長会議の報告
1. 地域差撤廃について  
8月26日の中央医療協議会の答申をまって9月1日実施  
改正要点は歯科点数表について、乙地についても甲地と同様現行点数により計算された総額に1.05を乗じてえた額を請求額とする
  1. 栃歯国保の値上げについて（本人900円、家族200円）  
石川 亘、川島光五郎国保委員より報告
  1. 関東地区歯科医学会について
  1. 茂呂 登市会議員立候補について
- 5日 東京地下鉄京橋駅で草加次郎と署名の手製時限爆弾爆発
- 18日 鹿沼市議会議員選挙で茂呂 登1,056票獲得し、上位当選
- 10月18日 森山会館に於て森山欽司議員に再診料の件につき陳情す  
出席12名
- 11月11日 埼銀 常会
1. 関東地区歯科医学大会の盛会につき会長よりの礼状  
9月29日 栃木会館ホールで開催され15名の来賓と県内外500有余名参加
  1. 善意銀行の件について
  1. 囲碁懇親会について
  1. 今回の衆議院議員選挙に森山欽司、船田中氏を推薦する

- 17日 栃歯ゴルフクラブ結成 第1回大会 日光ゴルフ場  
川島光五郎4位入賞
- 22日 ケネディアメリカ大統領、テキサスダラスで暗殺される
- 12月8日 プロレスラー 力道山刺される
- 9日 埼銀 常会 出席13名
1. 県、保険指導について
  1. 保険講習会を1、2月中に開催の予定
  1. 故神原欣三技官の遺児育英資金について
  1. オリンピック募金について
  1. 栃歯月報の原稿募集について
  1. 県歯科医師会より2,750円の還付金について
  1. 茂呂市議員を国会の連絡員に推薦
  1. 鹿沼市歯科医師会の会計問題について

## 鹿沼の文学碑



富士山公園  
江連白潮

野の極みつくば嶺を据え下野の  
名におふ鹿沼皐月の花の町

白潮

「つくば嶺」—茨城県の筑波山。「皐月」—ツツジ科の常緑低木。

白潮は塩谷郡船生村出身。各地の小学校教師、校長を歴任。昭和のはじめ清水比庵（元日光市長、のち宮中歌御会始の儀の召人）の門に入り短歌に精進。歌誌「二荒」の創刊に加わった。

昭和五十一年度、栃木県文化功労賞を受賞。  
昭和五十年十月、白潮歌碑建設委員会が建碑。

・朝日新聞社「1,000万懸賞小説」募集

39年7月発表、主婦、三浦綾子「氷点」が入選

◎物 価 ・セイコーチャンピオン男性用19石 4,500円

◎映 画 武士道残酷物語、につぼん昆虫記、史上最大の作戦

◎流行語 流通革命、ハッスル、カギっ子

◎流行歌 こんにちば赤ちゃん、高校3年生、島のブルース、出世街道



## ■昭和39年（1964）

- 1月16日 喜楽  
新年宴会 来賓5名、出席者22名 欠席者5名
- 2月3日 小野春吉 死去  
(昭和25年4月20日～昭和39年2月3日 享年71才  
昭和35年12月～昭和37年12月4日西大芦医療組合診療所)
- 3月10日 埼銀  
緊急臨時総会  
1. 栃歯39年度歳入、歳出予算及事業計画の内示した件につき再検討す  
1. 緊急事項として  
鹿沼市国保の補綴給付制限について協議  
1. 新入会員茂呂 允紹介
- 16日 埼銀 常会  
出席者鹿沼在住の会員（団より召集を行う）  
鹿沼市が一方的に公約を破った事に対し申し入れ  
更に補綴給付のSP冠を加えず有床義歯のみというのを再確認してもらおう。栃歯に対し、又審査員、国保連合会に
- 23日 市役所  
手塚支部長、菊地、新島副支部長、市長と補綴問題で話し合う。公文書は出させないという市側の意見
- 29日 栃歯総会  
茂呂 登、国保問題で会長と問答  
会長に補綴問題を依頼せるも快い返辞なし
- 4月1日 日本国際通貨基金（IMF）8条国に移行
- 4月 神奈川歯科大学 開設
- 4月3日 歯科補綴問題について手塚、菊地、新島（剛）3人  
今市支部 岡 道士会長宅訪問、栃歯月報に掲載方を要求した。要求は入れられなかった（県歯副会長 大塚禎、黒崎理事も同行）
- 12日 埼銀  
定時総会 出席21名、欠席10名 委任状提出者 4名
- 27日 埼銀 常会  
1. 上都賀郡医師会准看護婦養成所講師に青木達三郎推薦  
1. 鹿沼市国保の金属冠問題につき鹿沼市役所より福富助役及中村国保課長出席し説明する  
福島 茂、岸野忠明 幹事引継ぐ
- 5月 佐野日本大学高校創立

- 6月6日 午前10時北小学校で映画実施（6年生210人）  
 9日 歯の衛生週間事業所検診及び講話 大沼鉄工所  
 14日 支部旅行  
 15日 塩原温泉 米屋ホテル



朝 9:50発の国鉄で行く。  
 12時頃雨の中塩原温泉  
 こめやにつく。  
 茂呂氏欠席のため宴会興  
 なし（村本 光記）



出席者

福島、福田、新島、新島（剛）、駒橋、駒橋（秀）、川島、村本、岡本、畑、青木、  
 菊地、手塚（正）、石川、矢口、金子、岸野（忠）、鰐原 以上19名

- 16日 新潟地震 午後1時頃、新潟市内会員130名中50余名が被害をうけた。  
 19日 御殿山会館  
 保険個人指導  
 7月14日 福島 茂 御尊父茂司氏葬儀（7月12日死去）  
 9月 社団法人日本歯科医師会の定款一部改正  
 都道府県歯科医師会を法人会員とすること  
 9月 東北本線上野ー福島間電化複線化完成  
 9月6日 巨人軍王貞治ホームラン53本の日本記録

- 
- 12日 大越 筆死去（大正9年～大正14年3月31日 昭和31年5月～昭和32年4月20日）  
享年70才  
明治27年11月20日～昭和39年9月12日
- 10月1日 東海道新幹線、営業開始
- 8～9日 栗野町発光路 特別ヘキ地歯科巡回診療  
部落長宅 10時30分～11時30分  
鰐原悦郎 実施す
- 10日 第18回オリンピック東京大会開幕
- 19日 茂呂 登葬儀  
（明治44年9月14日～昭和39年10月16日 享年53才 昭和9年11月開業）
- 11月3日 栃木会館地下ホール  
栃木県歯科医学会開催  
菊地副支部長受付  
駒橋秀光 研究発表「吾が家の不正咬合について」
- 15日 埼玉 臨時総会  
栃国国保赤字処置の件について協議した結果  
昭和39年12月より40年3月迄4ヶ月間  
本人2,000円 } を納入することを承認した。  
家族 800円 }
- 11月 公明党結成
- 12月18日 常会 医療費9.5%アップの件報告
- 27日 国立小山工業高等専門学校新設決定
- 28日 工藤元宏 栃歯入会

◎この年交通事故死者1万3千人突破

◎物 価 NHK受信料月額330円

◎映 画 白日夢、赤い殺意、砂の女

◎流行語 オレについてこい、ウルトラC

◎流行歌 愛と死をみつめて、東京五輪音頭、アンコ椿は恋の花、お座敷小唄

## ■昭和40年（1965）

- 1月21日 喜楽 新年会
- 2月7日 米軍機 北ベトナム爆撃を開始
- 21日 今市 岡 道士支部長宅  
手塚支部長、齊藤建彦代議員議長、手塚会長、菊地、新島副会長  
会議に出席、日歯会長も立寄られた
- 26日 臨時総会  
1. 栃木県歯科医師会 国保組合の保険料改定の件  
本人1,200円  
家族 400円
- 3月4日 喜楽 監査会
- 12日 臨時総会 各委員推薦の件  
1. 代議員 石川 亘  
川島光五郎  
1. 予備代議員 畑 二郎  
駒橋秀光  
1. 栃歯国保組合員 福田利示  
鰐原悦郎
- 25日 埼銀  
定時総会  
1. 役員改選  
支部長 青木達三郎  
副支部長 鈴木幸雄、菊地貞造  
会計理事 村本 光  
庶務理事 畑 二郎  
支部理事 今井一郎、鈴木幸雄  
監事 新島貫一、駒橋秀光  
議長 福島 茂  
副議長 鰐原悦郎  
県理事 川島光五郎
- 4月1日 県歯会長に大塚 禎就任
- 1日 小高正男入会 西大芦診療所
- 4月 岩手医大、広島大、東北大、新潟大に歯学部開設
- 4月13日 新島 剛、駒橋秀光幹事引継ぐ
- 24日 国立小山工業高等専門学校  
県立農業短期大学校 創立

- 
- 4月28日 県立体育館落成
- 5月1日 緊急臨時総会 出席19名  
大塚県歯会長出席  
保険医総辞退について協議
- 11日 作新学院講堂 出席200余名  
栃木県歯科医師政治連盟設立総会  
鹿島俊雄参議院議員、満岡文太郎日歯政連理事長  
船田小常、相馬助治 来会  
栃歯政連発足
- 23日 駒橋秀光県歯代議員に当選  
石川 亘辞任につき
- 30日 埼銀 出席21名  
臨時総会  
1. 保険医総辞退問題について  
賛成20名 保留1名  
1. 参議院選挙について  
鹿島俊雄候補  
1. ムシ歯予防デー  
事業所検診依頼あり  
サノヤ産業K.K. 新島 剛、手塚正教に依頼（6月9日）
- 6月 那須高原有料道路完成
- 6月3日 栃歯会館 臨時代議員会  
1. 保険医総辞退 決議  
1. 弔慰会 任意加入が当然加入となる
- 9日 歯の衛生週間事業所検診 サノヤ産業K.K. 250名
- 16日 鹿島選挙応援 午前11時産業文化会館前集合  
菊地、福田、新島(剛)、駒橋(秀)、畑、自動車で市内巡回、壬生町まで行く
- 18日 鹿沼相互信用金庫  
社保講習会  
川島光五郎、白井良夫講師  
鹿島俊夫候補来鹿挨拶
- 22日 日韓基本条約、漁業・請求権・在日韓国人の法的地位・文化協力の4協定、首相官邸で調印

6月27日 鹿島選挙応援 標旗を持ち、市内～栗野～西方～栃木へ渡す



7月4日 鹿島俊雄参議院議員選挙に当選 508,433票 30位  
 栃木県13,453票、鹿沼792票、栗野129票、西方80票

11日 支部旅行

12日 蔵王エコーライン 上山温泉、川島旅館 出席23名



一等車で白石につく。  
 バスで蔵王山頂迄行く。  
 雨、雨  
 例年は農繁期に行う旅行が鹿島選挙で7月にのびた。



上山駅



白石駅

7月22日 塩原バレーライン開通

8月22日 明生会 鬼怒川温泉 星のや 出席31名  
 駒橋寅春、新島貫一、手塚筆四郎、青木達三郎出席  
 県歯役員5名

- 
- 9月16日 県歯 個人指導  
9月 国鉄みどりの窓口設置  
10月1日 国勢調査 総人口9,872万4,961人  
栃木県1,521,656人 鹿沼市 77,240人  
6日 金精道路、第2いろは坂開通  
21日 川俣ダム完工  
21日 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞決定  
26日 厚生省 個人指導行わる  
11月3日 山本有三（栃木市出身、「路傍の石」）文化勲章を受章  
10日 青木支部長宅  
川島県歯副会長辞表提出の件  
12月19日 久地井真人（宇都宮）、川島光五郎（上都賀） 県歯副会長辞任  
26日 県歯副会長に小倉正朝（大田原）、白井良夫（宇都宮）  
監事は上都賀支部から選出することとし、支部に一任する



鹿沼市旧市庁舎（昭和40年頃・鹿沼市）  
昭和33年に、現在の庁舎が新築された後、同43年まで図書館として利用されていた。

- ◎物 価 コカコーラ60円
- ◎映 画 赤ひげ、日本列島、東京オリンピック
- ◎流行語 期待される人間像、しごき、マジメ人間
- ◎流行歌 柔、女心の唄、まつの木小唄、函館の女、愛して愛して愛しちゃったのよ、涙の連絡船

## ■昭和41年（1966）

- 1月16日 埼銀 臨時総会 出席19名  
 1. 日歯年金について  
 1. 県歯監事選出について（川島光五郎副会長辞任のため）  
 梅沢 明に決定
- 2月 日歯年金制度発足
- 2月4日 全日空機、羽田沖に墜落 死者133人
- 3月4日 カナダ航空機、羽田空港で防波堤に激突炎上 死者64人  
 5日 BCAC機、富士山麓に墜落、死者124人
- 3月 総人口1億人突破
- 3月12日 喜楽  
 監査会 役員会、14名出席
- 26日 埼銀 出席18名、委任状6名、欠席7名  
 定時総会  
 1. 会務報告  
 1. 歳入、歳出決算案 可決  
 1. 来年度予算案 可決  
 1. その他  
 席上 石川 亘より宇都宮転出の挨拶あり  
 昭和30年10月～昭和41年4月1日宇都宮へ  
 鹿沼市西沢町396→宇都宮市宿郷町739
- 4月1日 石田西三死去  
 明治30年1月25日～昭和41年4月1日 享年69才  
 昭和21年3月西方村金崎336に開業
- 4月 国学院大学栃木短期大学創立
- 4月4日 NHKテレビ「おはなはん」放送開始
- 5月2日 上都賀地区教育委員会主催  
 歯科講習会（小、中養護教員）青木支部長講演す  
 4日 茂呂 允、手塚正教幹事引継ぐ
- 15日 栃歯月報第153号より縦書き、右開きより横書き左開きに
- 20日 埼銀 常会  
 1. 保険個人指導の件（上都賀6月 2名）  
 1. 口腔衛生週間行事について  
 1. 学術委員会について（越路孝七説明す）
- 6月 敬老の日9月15日、体育の日10月10日新設
- 6月4日 歯の衛生週間事業所検診及び講話 帝国製麻K.K. 88名



- 6月12日 明生会 鬼怒川温泉 春岡荘  
該当会員105名 出席30名  
駒場寅春、青木達三郎出席
- 15日 県木にトチノキ、県獣にカモシカ、県鳥にオオルリ制定
- 18日 支部旅行
- 19日 鬼怒川温泉 星のや 出席20名



- 6月26日 社会保険集団指導 足利銀行鹿沼支店 38名出席  
講師 白井副会長
- 28日 ビートルズ 来日
- 7月4日 閣議、新東京国際空港の建設地を千葉県成田市（三里塚）に決定
- 5日 支部選出代議員補欠選挙  
福田利示無投票当選す
- 13日 県高校入試課目、英数国社理に決定
- 27日 堅山南風、日光東照宮薬師寺の天井絵鳴竜を完成
- 8月6日 那須黒磯トンネル事故支援金、支部より1名100円一括本会へ
- 18日 中国紅衛兵ら北京で文化大革命勝利100万人集会

- 
- 9月25日 栃歯文化祭  
例年行ってきた支部対抗親善野球大会等の親善レクリエーションについて今年は会員、家族、従業員を含めたものとし、国保組合と共催で行うことにした。  
当支部より新島貫一が仕舞、八島を踊った
- 10月8日 日本歯科医学会総会 於東京文化会館大ホール  
皇太子殿下、同妃殿下開会式に御出席  
本県より260名出席
- 11月1日 埼銀 常会  
1. 栃歯学会に駒橋秀光発表あり大挙出席されたし  
1. 社保個別指導の結果  
カルテをよく整備すること  
1. 政連（日歯、県歯）の会計年度が変わるので  
各会費500円ずつ計1,000円を11月中旬に  
1. 栃歯政連副会長2名指名の件  
1. 東洋信託と融資協定（足利銀行と同様）
- 11月3日 栃木会館地下ホール  
栃木県歯科医学会  
鑄造冠について 駒橋秀光研究発表
- 12月6日 金子弁明夫人死去  
9日 建国記念の日を2月11日と政令公布  
12月23日 常会  
1. 県歯定款改正案について  
1. 鹿沼市国保7割実施について  
1. 料金改訂について
- 26日 埼銀  
1. 慣行料金改訂作業を行う  
1. 茂呂 周入会申込あり

◎物 価 東京営団地下鉄初乗り40円

◎映 画 こころの山脈、人類学入門、白い巨塔、市民ケーン、戦争と平和

◎流行語 ケロヨン、シェー、びっくりしたなあもう

◎流行歌 バラが咲いた、骨まで愛して、君といつまでも、星のフラメンコ、困っちゃうな、霧氷

## ■昭和42年（1967）

- 1月21日 埼銀 臨時総会
1. 県歯定款改正に関する件
  1. 慣行料金改訂案可決
  1. 鹿沼市国保運営委員推薦の件  
青木達三郎、越路孝七に決定  
終了後5時より、喜楽において新年宴会  
来賓 古沢市長、助役、河野辺委員長、市議会副議長、県歯大塚会長 以上5名  
会員23名出席
- 2月 建国記念の日（2月11日）
- 2月13日 足利銀行、本店を足利市より宇都宮市に移転
- 3月2日 大沢楼  
会計監査、役員会開催
- 12日 於埼銀  
定時総会 出席19名 委任状11名
1. 会務報告
  1. 本年度決算案 可決
  1. 役員改選  
支部長 越路孝七  
副支部長 駒橋秀光、鰐原悦郎  
庶務理事 手塚正教  
会計理事 村本 光  
地方理事 矢口 修、石川権左衛門  
監事 金子弁明、畑 二郎  
県歯代議員 福田利示、川島光五郎  
予備代議員 新島 剛、菊地貞造  
県歯理事 梅沢 明  
議長 福島 茂  
副議長 鰐原悦郎
  1. 来年度予算案可決  
無歯科医村診療 4月より実施  
鹿沼加蘇地区 青木達三郎  
栗野発光路 鰐原悦郎

- 
- 3月12日 総会終了後、学校歯科医交替について  
 福田利示－西中  
 岸野忠明－粟中  
 新島貫一・剛－北犬飼小、石川小、津田小、池の森小  
 青木－中央小  
 川島－東小  
 越路－北小  
 村本－農商  
 畑－菊沢中、西小  
 金子－東大芦中、日向小  
 梅沢－北犬飼中、茂呂小  
 駒橋－北押原中、小  
 菊地－加園小、久我小  
 茂呂－加蘇中、菊沢東小  
 中条－鹿高  
 福島－酒の谷、引田、下沢小  
 戸塚－板荷中、小
- 29日 埼銀  
 中条正臣、青木道子幹事引継ぐ
- 4月 足利工業大学、作新学院女子短期大学、宇都宮短期大学創立
- 4月15日 東京都知事に美濃部亮吉が当選
- 5月6日 「原爆の凶」の丸木美術館、埼玉県東松山市に開館
- 18日 埼銀  
 臨時総会  
 1. 保険診療内容調査について（歯科医業経営調査の結果について）  
 1. 歯科助手講習会について  
 1. 歯科衛生士の実習診療所について  
 1. 政連役員会について  
 1. 県、市の選挙について  
 1. 個人指導（社保）について  
 1. 医療対策協議会  
 1. 会館建設について  
 1. 11月の析歯学会発表について  
 1. 旅行の件  
 6月24、25日 大野観光に依頼する
- 8日 歯の衛生週間事業所検診及び講話  
 サノヤ産業株式会社 257名

6月25日 支部旅行  
26日 那須ホテル 出席13名



於乃木神社

マイクロバスで行く。ガイドも大変だ、一日中歌いっぱなし。

4時頃に着く。雨ふる。ガスのため見えぬ。大野観光が宴会に出るので梅沢<sup>明</sup>、越路<sup>孝</sup>が文句を言う。(村本 光記)



6月 北海道大、九州大学歯学部開設  
7月 県立野沢養護学校創立  
7月 日本の人口1億人突破  
7月1日 高根沢町の御料牧場用地買収解決  
7月16日 埼銀  
臨時総会

1. 代議員の要請事項（会館建設）について

会館建設は時期尚早とし、建設の件につき代議員会を開催することに反対の決議  
総会終了後支部役員会開催

9月27日

差額徴収問題

関プロ会長部会で見あわせ

6月24日、鬼怒川温泉ホテルにおいて開催した関東地区一部七県歯科医師会役員協議会で決議した差額徴収の実施の件は、9月27日の関東地区会長部会において、自主的断行を一応見合わせることに決定したのでお知らせします。

尚、会長部会の報告書は次のとおり。

「6月24日開催の関東地区役員協議会において関東地区役員総意に依り、8月13日を期して歯科診療における差額徴収を主眼として実施することの決議を致しました。その後、これにもとづき会長、専務、社保担当理事の合同会議を開催し、材質による差額徴収を行なうことを申合せ、これが実施の時期については、会長部会に一任されましたが、今回、中医協の建議案が9月10日採択されたに及んで、その内容は、おおむね関東地区歯科医師会の要望に添い得るものであると認めましたので、会長部会としては一応今時点における自主的断行を見合せ、なお今後においても歯科医療の自主性を獲得する運動を展開する所存であります。

今後とも格段のご協力を賜りたく、ここに報告する次第であります。

昭和42年9月27日

茨城県	歯科医師会長	提	安
群馬県	〃	齊藤	静三
千葉県	〃	磯貝	豊
東京都	〃	山本	良夫
埼玉県	〃	田嶋	順一
神奈川県	〃	三宅	志雄
山梨県	〃	高原	寛五
栃木県	〃	大塚	禎

27日 常会 15名出席

1. 政治連盟について

満岡文太郎後援会

10月末日までに50名の後援会費を集め、提出すること

1. 学会について

1. 文化祭について

1. 10月10日の代議員会について

10月14日 埼銀 臨時総会

1. 会館建設について

大塚会長、小滝代議員会議長、横塚同副議長出席し説明あり

10月 梅沢東洋 入会

10月18日 ミニスカートの女王、ツイッギーが来日

21日 栃歯文化祭 於栃木会館地下ホール



岡 道士 新島貫一

演芸プログラム

第一部 支部代表演芸

司会/かまた ト シ オ  
はんだ コウイチ

7. 宝生流仕舞 通い小町、八島  
新島貫一、福島茂、岡道士 (上都賀・今市)

- 
- 10月21日 米のワシントンで10万人参加の反戦集会
- 11月12日 第20回栃木県歯科医学会 朝日生命ビル6階ホール  
・顎骨に生じた中心性線維性腫瘍と思われる一症例について  
茂呂 允発表す
- 20日 臨時総会 埼銀 出席14名  
1. 日歯、日薬協定処方集一覧表配布  
1. 技工料値上げについて  
1. 満岡文太郎著「医療保障のあり方」の宣伝ポスター配布  
両代議員より23日の代議員会について説明あり  
会館建設反対の態度で代議員の判断に任せること
- 11月 国鉄野岩線 栃木県側着工
- 11月23日 臨時代議員会  
栃歯会館建設議決さる
- 30日 臨時常会 14名出席  
福田、川島両代議員より11月23日の代議員会について報告、芳賀、塩谷、足利支部等の代議員と同調し準備委員会を作る様に修正案に賛成し、11対8で否決され、特別建設委員会に関する上程案に対し全て反対した
- 12月15日 埼銀  
臨時総会 14名出席  
1. 会館建設委員会委員推薦について（12月16日までに）  
塩谷、芳賀支部と同調し、委員推薦を見送る  
1. 政連会費の件 1人目1,000円、2人目500円  
1. 会館建設特別委員会費（12月20日まで）  
1人目600円、2人目300円 納付を見合せることとす  
1. 会員歓送迎会について（20日予定）
- 20日 喜楽  
石川 亘、茂呂 周、梅沢東洋の歓送迎会及び茂呂 允の学位取得のお祝と忘年会も併せて行う
- 31日 テレビ契約数 2,000万人を突破

- ◎物 価 電話住宅用 月額基本料770円  
◎映 画 あかね雲、黒部の太陽、アルジェの戦い、若者たち  
◎流行語 ハプニング、昭和元禄、フーテン、星の王子様、ポイン  
◎流行歌 小指の思い出、困っちゃうな、世界は二人のために ブルーシャトー

## ■昭和43年（1968）

- 1月9日 マラソン選手門谷幸吉、もう走れないと自殺  
30日 喜楽 新年宴会
- 2月 鹿沼工業団地完成
- 2月20日 在日朝鮮人金嬉老、静岡県寸又峡に籠城し民族差別を訴える  
24日 日光市内東武鉄道日光軌道電車廃止
- 3月3日 那須山麓有料道路完成  
9日 埼銀  
臨時常会
1. 代議員の代議員会出席の可否について  
出席すべきであると決定す（3月17日予定）
1. 声明書について
- 3月17日 栃木県歯科医師会館  
定時代議員会 議事録の一部

島代議員 栃月報の費用が余っているといっているが、この前の代議員会の修正案のようなものは、そのとおり、月報に書いてもらいたいと思う。

それから、この前の代議員会で、会館建設特別委員会が通つて発足したようであるが、先程会長の挨拶によると委員会が3回開かれており、また3支部が、会館建設特別会費を納めてないようだが、私達はこの前の代議員会で強行採決されたと思つている。もう少し、少数意見というものも考えてもらいたい。3支部から委員推せんもないのに、会館建設委員会が発足したのは、3支部を無視していないか。中医協等でも医師会なら、医師会の委員が出てないと開かれなくていい。会長は強行はしていないといっているが、吾々の支部会に来たときは、私は円満にやるんだといっているが、何にも努力していない。会員が余り知らないうちに、汽車はどんどん進んでいるという状態である。もう少し会員の気持が一致するように、会長、議長に努力してもらいたいと思う。

大塚会長 今あなたが強行採決したといっているが、前の代議員会で修正動議を2回にわたつて、お諮りして採決したのであつて、私は決して強行でないと思つています。それから3支部の件ですが、何にも努力していないといつてますが、1月10日に懇談をし

たときに、私、芳賀の菊池支部長に、あなたの立場があるなら、菊池さんの顔のたつようにしてもらつて結構だから早く委員を出してもらいたいといつたその会合には、牟田さんと大関さんの2人の副支部長も同席した。それからその後塩谷支部会に私行つたときに、特別委員推せんについてもお願いした。その際、小池さんから発言があつたので、小池さんに会館建設特別委員推せんについて協力してくれるかといつたら、そのときは考えないといわれた。川島議員は努力してないとか強行採決云々といわれますが、強行して会館を建てる等という考えは毛頭ありません。

また、会館建設の決議をした代議員の方からは、執行部何にしているとお叱りをいただくのも当然のことです。委員推せんにつきましては3月31日までお待ちするということになっておりますし、3支部の皆さんの御協力を得なければ、会館建設という大事業は到底実現できません。どうか全会員の御協力をお願いしたい。

私は、多数ならばこそ定款があると思ひ、多数ならばこそ、代議員会があると思ひます。川島議員、決して吾々は先走つた行動をとつておりませんし、またそういう考えをもつておりません。土地問題についても、いろいろな噂を聞いております。どうか御理解いただきたい。

小池代議員 今の会長の話によりますと、とりよつては塩谷支部は会館建設について賛成というようにとられますので、一応弁解したい。塩谷としては代議員会で決議した以上それに従うのが立前であるということであつて、あくまで代議員会の決議に反対ということではありません。ただ3支部が今までのいきさつと一緒に建設委員を送つて、会館建設に進もうという考えであります。それから、会長は、委員推せんについて斡旋の努力をしたといっているが、吾々代議員に対しては、それ程、努力したとは私は思わない。代議員会の決議を尊重するといっているが、それならば、規程に定められた委員全部が揃わなければ委員会の構成ができないのではないか。規程に定数が決つている以上、委員会が発足したといっているが、これは規程を無視したものではないか、会長、議長の考えを聞きたい。

大塚会長 小池議員から、代議員に対する努力が不十分だという御話がありましたが、小池さんが体の工合が悪かつたので、予備代議員の黒崎恒夫氏が懇談会にもでております。また、八坂支部長にもいろいろ話をしております。惣ごさんとの連絡が不十分だつたのではないですか。それから委員推せんについても、1月31日までに推せんいただきたいという公文書も3支部長さん宛に出しております。



八坂支部長はもう少し待つてくれ、そのうちなんとかするからとっております。

長 川島、小池議員の発言の中に、強行採決云々ということがありましたので、私からも一応、御説明したいと思います。前の代議員会において、修正案が2つありましたことは御承知のとおりで、その修正案についても、原案について考えていただく時間が充分あったと思います。修正案、原案とで3つの案があつたわけでありまして、採決を行なうのは当然のことで、私は、強行採決したとは現在でも思っておりません。それから特別委員会の件ですが、委員構成は、全部が揃わないとだめだということはないと思います。中医協とは違つて、私達の団体は利害が全く一致するものであります。

代議員会は議決は理想像を念頭において決められるものであると思います。また、そうあるべきだと信じます。従つて、会館建設特別委員会の構成も、そのような形でなされなければならぬと思います。

それから議長、会長の努力が足りないとお叱りをいただきましたが、私も足りないところは大いに反省したいと思います。ただ、小池さんの場合、黒崎恒夫さんが予備代議員として出ておられましたので、黒崎恒夫さんとの間で通じていない点があつたのではないかと私は思います。私、議長としては、代議員全

般を考えてみないと運営がスムーズに参りません。また、時間的ズレ或いは、判断等においても、その時、その時によつて多少の違いはあると思いますが、人間である以上、幾干のニュアンスの違いがあつても、やむを得ないのではないかと思います。ただし、議長として私、筋は通すべく努力いたします。

大塚会長 中医協の場合、医師会が欠席したときは開かれぬという発言がありましたが、歯科医師会が欠席の場合これは開かれております。

斎藤代議員 上都賀がどうの塩谷がどうのこのといつているが、吾々にはなんだかさっぱり判らない。どうですか、今までの経過を説明してもらいませんか。

川島代議員 会長、議長からいろいろと説明があつたが1月末日までに委員推せんしてもらいたいというような文書がきていることは、今始めてきく話であつて、私達或いは、一般会員には、そういうことは何にもきかされてない。会長や議長が、いろいろ努力されているとつておりますが、そういうことが、一つも合致しないで、むしろく違つてきている。同じ金を出すならもつと気持よく出すようにしてもらいたいと思う。同じやるならもう少し和やかにやつてもらいたい。

螺良代議員 会館建設特別委員の名前は出ているが、委員を出していない、しかし委員会が発足しているということですが、規程に違反していないか。

議長 委嘱を行なつておりますし、原則的には欠員であると思つてますので違法でないと思つております。

先程も川島議員から御発言ありましたが、吾々の団体は会員の利害が一致するものでありますから、もう少し和やかにやつていきたいと思つてます。

栗原代議員 今話をきいていると、執行部は、努力をしているといひ反対の方は努力していないといつているように聞こえるが、反対派の人も会館建設そのものに反対ではないとい

うようにききとれる。それで、その間に何にか感情的なものがあるのではないかと思う。双方ともに、いろいろ云い分はあると思つてますが、感情的なものを、このさいさりと捨てて、円満裡にやつてもらいたい。

大塚会長 栗原議員（11番）の御発言誠に御尤であります。唯、驚いたことには、川島さんが1月末までに建設委員を出してもらいたいという支部長さん宛の公文書を知らないといつたことであります。成程、吾々の努力が足りなかつたと思つてました。私は支部長さんに連絡をしたので、当然、支部会を開いて支部の皆さんと話し合ひをされたものと思つていたのですが、先程のお話で、吾々の努力が足りなかつたと思つてます。川島さんがいわれるように、円満に和やかに進みたいと思つてます。

議長 暫時休憩いたします。  
休憩午後0時25分から午後1時まで

川島代議員 上都賀では、会館建設特別委員会費を現在も払つていないので、現時点においては、私の支部としては念書で払うのはまずい。

福田代議員 上都賀としては、会館問題の話しがつけば協力はするが、現在のままですと、16番議員のいうようにまずい。

大貫代議員 私のところも16番と同じ考えです。

小池代議員 現時点では16番と同じ意見です。

議長 暫時休憩いたします。

休憩午後3時35分から3時45分まで。

会館建設の前途多難さが伺われる議事録の一部である。

- 3月26日 喜楽  
会計監査
- 30日 埼銀 出席19名、委任状7名  
定時総会  
◎会館建設委員選出は大塚会長の説明を聞いてから態度を行うことになる  
越路支部長（会館建設特別委員）辞意を表明し途中退席す
- 4月4日 米、黒人運動の指導者キング牧師、暗殺さる
- 15日 埼銀  
臨時総会  
金子弁明より支部長辞意撤回の報告  
越路支部長の希望により建設委員選出を決定し詮衡委員より駒橋寅春、金子弁明の推薦を受け、これを承認決定す

- 4月30日 喜楽  
理事会 全理事出席  
5月8日或いは11日に大塚会長来鹿により臨時総会を開く予定とする  
三支部（塩谷、芳賀、上都賀）会合を近日中に鹿沼で開く様予定する
- 5月8日 埼銀  
理事会 全理事及幹事出席  
1. 歯科助手認定、小集団保険指導（5月30日今市にて）について支部長報告  
1. 5月13日臨時総会開催決定  
1. 5月14日三支部会合を決定  
1. 慣行料金について協議改定案を決定  
A) 金冠料金改正（各3,000円値上げ）  
前歯 8,000円  
小白歯 9,000円  
大白歯 10,000円  
B) SP冠 2,500円に改正
- 13日 埼銀 臨時総会 19名出席  
1. 報告  
1. 政連について  
1. 学会について  
1. 小集団指導について  
1. 幼稚園医について  
1. 歯科助手講習会について  
1. 慣行料金改定  
・政連連絡員、石川 亘、矢口、岸野、中条、茂呂  
・建設委員 駒橋寅春辞退のため駒橋秀光推薦決定  
・大塚会長来鹿 説明

### 芳賀支部臨時総会開催

その頃芳賀支部では小異を捨て、大同  
団結協力と決定

と き 4月16日（火）

ところ 真岡市静風荘、全員出席

本部会費とりまとめの念書作製や諸般の報告、大塚会長、小滝代議員会議長列席、両者交々過般より会館建設問題について経過の詳細なる報告があり、全会員これを了承して小異を捨て、大同団結協力と決定。建設委員選出時機は支部長一任、暗雲一掃して会場日本晴。

続いて九州観光旅行いよいよ5月25日（土）出発28日帰着実施と決定した。

尚当日大塚会長より、日歯本部の状況や参議院選挙について吾等の代表を必勝を期して強力に押し進めるよう、一同の奮起を促す旨の挨拶があつた。閉会后五行川畔の散り初めし桜を惜しみつつ懇親の宴を開く。和気あいあい薄暮散会。

- 
- 5月30日 今市社会保険事務所  
社保小集団指導（今市支部と共に）
- 6月1日 鹿沼相互銀行  
塩谷、芳賀、上都賀三支部合同協議会  
塩谷、芳賀支部各3名来鹿
- 6月8日 口腔衛生週間中  
事業所検診 鈴木鉄工所 33名実施
- 8日 米、ロバート・ケネディ上院議員暗殺さる
- 15日 文部省に文化庁設置（初代長官 今日出海）
- 16日 支部旅行 雨のち晴
- 17日 塩原温泉 ホテル塩原ガーデン 快晴  
参加者19名 欠席者7名



於ホテル塩原ガーデン

2時に新島 剛の車に乗せてもらい那須に向う。天気よし。緑が美しい。茂呂 登、岸野 栄と一緒に寝る。新島 剛の車で日塩道路を通り帰る。途中今市の並木そばを食べる 村本 光記

- 6月25日 産文会館前集合  
満岡文太郎全国区参院選挙のため自動車を午後2時30分栃木支部より引継ぎ3時30分市内巡回後今市田野井支部長に引渡した
- 29日 産文会館前集合  
午後1時標旗を今市支部より引受け各所に街頭演説を行い、石橋町伊沢歯科に引渡した。
- 7月1日 郵便番号制度実施
- 7日 全国区参議院議員選挙  
満岡文太郎 落選 得票429,903票  
栃木県9,609票、上都賀443票

## 会館建設特別委員

栃木県歯科医師会館建設については昨年11月23日開催の第60回臨時時代議員会において、栃歯会館を建設すること、これに伴う建設特別委員会設置等が決議されましたことは、既報のとおりであります。

会館建設特別委員につきましては、支部推せんをまち委囑してまいりましたが、次のとおり決定いたしましたので、お知らせします。

委員 長 大塚 慎  
副委員長 小滝 鐘巳男・長谷川 常  
常任委員 小倉 正朝・臼井 良夫・鎌田 俊夫・高田 哲三・篠原 誠一・半田 晃一・横塚 一男・山本 甲三・越路 孝七・田野 井量・石川 良雄・藤川 広・国定 政之輔・菊池 文雄・八板 求一・井上 純一郎・佐藤 国男  
委員 薄井 一晃・小川 進・宮川 美一・長井 大宮・宮島 豊・黒崎 弘毅・岡田 一郎・池上 武正・金子 弁明・駒橋 秀光・柴田 光雄・小平 正夫・森戸 石

孝・大橋 一・武井 利夫・柳川 健一・岡田 英一・大川 邦之・大関 久磨・木代 晃・赤羽 武夫・粘瀬 洋一・渡辺 令一・遅沢 文男

### ◎専門部会

敷地部会 白井・高田・山本・菊池常任委員、宮島・岡田(一)・駒橋・宮川・森戸・長井・柳川岡田(英)・赤羽・粘瀬委員

資金部会 小倉・篠原・山本・石川・国定・八板井上・佐藤常任委員、黒崎・金子・柴田・大橋小川・大関・薄井委員

建築設計部会 鎌田・半田・横塚・越路・田野井藤川常任委員、池上・小平・武井・大川・木代渡辺・遅沢委員

- 9月3日 埼銀  
臨時総会 21名出席
- 個人指導 厚生省指導 4名 9月中旬  
県歯指導 上都賀今市支部4名 10月中
  - 会館建設 出来るだけ最小の負担ですむ様に

9月29日 明生会（明治百年記念）



出席者34名 県歯役職員 8名

当支部より 手塚筆四郎 駒橋寅春 新島貫一 出席す

10月1日

両毛線電化完成

16日

埼銀

臨時総会 出席17名

1. 歯科医学大会の件（12月8日）

1. 会館建設の件

金子弁明委員より説明

できるだけ費用を少なくする様

具体的に金額を明示しない様

10月17日

川端康成、ノーベル文学賞受賞決定

25日

浜田庄司、文化勲章受章決定

- 11月20日 埼銀  
臨時総会 出席20名
1. 栃歯歯科医学大会について 出席者数報告のこと
1. 会館建設  
金子弁明委員より説明
- ・建築の基本が決定してから金額は決める  
その前に5年計画で準備資金を2,000円、3,000円、4,000円（1ヶ月）で積立てる様委員会として決定。いつから積立てを開始するか、積立金は程かを金子委員より審議される様要求
  - ・準備資金は月1,000円を3ヶ年、来年1月より積立開始と決定
  - ・川島光五郎より決議文を作る様提案 可決  
建築は総額2,000万円として決議文は支部長、副部長、委員、代議員 鈴木幸雄を起草委員として一任  
三支部会合の提案可決  
鹿沼で26日前に開催する様に決める
- 23日 埼銀  
要望書起草 三支部連絡会  
出席者 塩谷支部 園田、小池  
芳賀支部 大貫  
上都賀支部 越路、金子、福田、川島、村本、矢口、鰐原、手塚
1. 要望書起草
1. 三支部連絡会  
準備金積立は未だ委員会確定ではなく、芳賀支部より任意に支部毎に積立てはどうかという前の委員会における芳賀、菊地支部長（委員）の発言段階であるとの説明により要望書並びに積立金月1,000円の件は26日委員会に提出を見合わせる事となる。  
但し決議は生きていることを確認する
- 12月10日 東京府中市で三億円事件発生  
15日 東野鉄道路線廃止

◎物 価 封切り映画入場料450円

◎映 画 絞死刑、緋牡丹博徒、初恋地獄篇

◎流行語 ズッコケ、失神、大衆団交、ハレンチ

◎流行歌 帰ってきたヨッパライ、天使の誘惑、花の首飾り、夕べの秘密、花と蝶、ブルーライトヨコハマ

## ■昭和44年（1969）

- 1月9日 埼銀 出席15名
- ・ 税務講習会 今市と合同開催
  - ・ 国保運営協議会委員選出の件  
青木達三郎、越路孝七選出さる
- 17日 喜楽
- 新年宴会 来賓 大塚県歯会長他 4名 出席21名
- 18日 全共闘系学生による東大安田講堂などの占拠に対し警官隊が攻撃
- 19日 解除
- 2月18日 野岩線難所山王トンネル貫通
- 2月 鹿沼工業団地竣工
- 3月5日 喜楽 監査会
- 3月15日 埼銀
- 定時総会
- ・ 役員改選
- |       |       |
|-------|-------|
| 支部長   | 菊地貞造  |
| 副支部長  | 鈴木幸雄  |
|       | 川島光五郎 |
| 庶務理事  | 新島 剛  |
| 会計理事  | 手塚正教  |
| 県歯代議員 | 川島光五郎 |
|       | 手塚正教  |
| 予備代議員 | 福田利示  |
|       | 新島 剛  |
| 理事    | 中田静嘉  |
|       | 鰐原悦郎  |
|       | 青木達三郎 |
| 県歯理事  | 畑 二郎  |
| 国保会議員 | 越路孝七  |
| 議長    | 福島 茂  |
| 副議長   | 矢口 修  |
- ・ 公衆衛生に貢献した個人を推薦のこと  
越路孝七推薦決定

- 
- 3月15日 総会終了後  
学校医交替
- |        |                      |
|--------|----------------------|
| 福田     | 菊沢中、菊沢西小             |
| 岸野     | 板荷中、小                |
| 畑      | 東中                   |
| 金子     | 東大芦中、茂呂小             |
| 梅沢（明）  | 中央小                  |
| 梅沢（東洋） | 西方村 中、小              |
| 青木     | 北押原中、小               |
| 駒橋     | 鹿高                   |
| 中条     | （加園小、久我小）→農商（交換）     |
| 菊地     | 東小                   |
| 川島     | 加蘇中、菊沢東小             |
| 茂呂     | 北校                   |
| 越路     | 東大芦、酒の谷、引田、下沢        |
| 福島     | （農商）→ 加園小、久我小（交換）    |
| 村本     | 北犬飼、石川小、津田小、池の森小（交換） |
| 手塚     | 西中                   |
- 23日 県歯定時代議員会  
福田利示、川島光五郎 出席
- 27日 埼玉  
理事会  
1. 会館建設委員 手塚正教選出
- 4月14日 青木道子、福田利示幹事引継ぐ
- 23日 西武百貨店 宇都宮進出決定
- 5月12日 埼玉  
1. 旅行の件  
出席者少数のため回覧に付して下記3コースの中より希望コースを取決めることとす
1. 第12回日本歯科医学会総会（大阪）
  2. 富士、芦の湖めぐり
  3. 鬼怒川
- 26日 東名高速道路全線開通



- 5月28日 埼銀  
臨時総会 出席16名  
1. 予備代議員辞任の件  
1. 会務報告  
1. 学術講演 川島光五郎
- 31日 刀川（現梅沢）道子入会
- 6月 中条佐智子 入会
- 6月8日 歯の衛生週間中事業所検診 大平光学工業K.K. 118名実施
- 14日 於鬼怒川温泉、春岡荘  
明生会 対象会員122名中 出席34名  
本会より 新島貫一、手塚筆四郎、駒橋寅春
- 21日 社保講習会 全員出席  
白井社会保険部長
- 7月4日 役員会  
1. 会館建設、土地部会の件  
1. 公衆衛生の件
- 16日 米、宇宙船アポロ11号打上げ。7月20日人類初の月面着陸に成功。7月24日生還
- 17日 臨時総会 出席17名
- 8月1日 東北自動車道起工式、鹿沼インター北入口で行う
- 12日 役員会 7名出席  
1. 会館建設問題 資金部会の件
- 16日 臨時総会  
1. 会館建設の件
- 18日 全国高校野球決勝戦で三沢高対松山商 延長18回引分け
- 9月6日 埼銀  
臨時総会  
1. 会館建設の件
- 12日 於埼銀 役員会
- 10月1日 県花にヤシオツツジ決定
- 8日 プロ野球西鉄の永易投手、八百長で永久追放

- 10月10日 第12回日本歯科医学会を兼ねて支部関西旅行 出席13名  
 11日 春日ホテル泊  
 12日 俵や旅館泊 ) 2泊3日



- 18日 太子会館  
 第1回 塩谷、上都賀合同総会  
 1. 会館建設の件について
- 11月5日 機動隊の出動で宇都宮大学封鎖解除さる
- 6日 太子会館  
 第2回 塩谷、上都賀合同総会  
 1. 会館建設の件について
- 11月 沖繩1972年（昭和47年）返還決定、佐藤栄作・ニクソン会談で  
 30日 朝日生命ビル6階ホール  
 第22回 栃木県歯科医学会 開催  
 本会より 5. 真空埋没について 川島光五郎の研究発表あり
- 12月14日 鹿沼中央公民館 午前10時  
 臨時総会 全員出席  
 1. 会館建設問題について  
 大塚会長の説明あり
- 23日 埼銀 午後7時  
 臨時総会  
 1. 第2組合（第1歯科医師会）の件 否決

◎差額徴収について

(第180号)

昭和44年12月10日

(大阪府歯科医師会)

歯科中間材料、歯科技工料の高騰に対応する差額徴収はあつて然るべきと思うが如何。



昭和41年  
6月5日

# 厚生省の疑義解釈 金銀パラの铸造鈎など

府歯科医師会  
△区分「20」に準ずる。  
注・区分「20」铸造鈎  
一、14K 大臼歯……120点  
二、14K 小臼歯……100点  
※補てつ、クラスプ鈎の14K  
の個所に「パラ」と書き、そ  
の個数を記入する。

◎金銀パラム合金による  
铸造鈎を製作  
した際は14K  
铸造鈎の所定  
点数を準備し  
て差し支えな  
いか。(大阪)

金冠の請求について  
低点数の金冠(過去の18%  
医療費値上げでも逆に値下げ  
された)の請求が制限一杯  
まで毎月請求されている方は  
保険で金銀パラジウム冠又は  
その他の合金冠を請求して、  
自己標示の金冠との差額を患  
者から徴収して差し支えな  
らば、この場合、金冠  
が「CK」或いは「CCK」  
ならば請求する金銀パラジウ  
ム冠も当然「CK」又は「C  
CK」で請求して差し支えな  
い。

昭和42年11月17日保険発第122号に示されてい  
る内容以外は認められない。

注) 保険発第122号

4. 差額徴収について

差額徴収の扱いについては、昭和42年11月17  
日保発第44号により保険局長より通知したとこ  
ろであるが、その具体的運用については、次の  
とおりである。

- (1) 患者又は第三者が金合金、白金加金、金属床  
及びポーセレンを使用する歯冠修復及び欠損補  
綴を希望した場合においては、使用して差し支  
えないこと。またダミー2歯を超えるブリッジ  
を希望した場合にあつても適応として取り扱う  
ことができること。
- (2) 前項前段の場合においては、当該金合金、白  
金加金、金属床及びポーセレンを使用する歯冠  
修復及び欠損補綴の料金(慣行料金)から歯科  
点数表に定める歯冠修復及び欠損補綴の最も近  
似する行為の点数を、また前項後段のダミー2  
歯を超えるブリッジを希望した場合においては  
希望したブリッジの料金(慣行料金)からダミ  
ー2歯のブリッジを行なつた場合の点数を金額  
に換算し控除した額を、それぞれ患者又は第三  
者から徴収して差し支えない。
- (3) この場合、診療報酬の請求は前記控除した費  
用によること。

- ◎物 価 灯油1.8ℓ 330円
- ◎映 画 男はつらいよ(シリーズ第1作)、少年、橋のない川
- ◎流行語 ニャロメ、モーレツ
- ◎流行歌 友よ、機動隊ブルース、恋の季節、戦争を知らない子供たち、黒ネコのタンゴ、  
ブルーライトヨコハマ、いいじゃないの幸せならば

## ■昭和45年（1970）

- 1月18日 大沢楼  
新年宴会  
来賓 大塚県歯会長、古沢鹿沼市長 出席
- 2月9日 かりふおるにあ丸6万2,147トン、千葉沖で沈没  
11日 東大宇宙研、日本初の国産人工衛星「おおすみ」打上げ成功
- 3月4日 真岡線より蒸気汽関車廃止  
14日 大阪で万国博覧会開幕  
16日 待望の栃木県交響楽団誕生  
31日 赤軍派学生ら9人日航機よど号を乗っとり 4月3日北朝鮮の平壤へ
- 4月 城西歯科大学開設
- 4月11日 定時総会 埼銀
- 5月 八方ヶ原観光道路開通
- 5月 鶴見大学歯学部開設
- 5月11日 福田利示宅  
越路孝七、村本 光幹事引継ぐ
- 6月4日 歯の衛生週間事業所検診 白石物産K.K. 94名実施  
24日 支部旅行を6月28日、29日土湯温泉方面に予定していたが、本日、不参加者3名あり、全員で10名の参加になった。余りに少人数故に参加者全員に電話すると、それでは親睦旅行の意味がなくなるとの意見が大多数をしめたので本年度中止か無期延期にした。取消手数料として全国観光公社に21,000円支払う
- 7月20日 天皇、皇后両陛下、御料牧場へ  
24日 埼銀  
臨時総会
- 8月2日 東京の繁華街（銀座、新宿、池袋、浅草）で初の歩行者天国実施
- 9月24日 県歯と栃木県技工士会と技工料金について協定した
- 10月 宇都宮市人口30万人に達す
- 10月1日 国勢調査（沖縄含む人口総数）1億466万5,171人  
栃木県1,580万21人 鹿沼市77,746人  
22日 大場政夫 WBA世界フライ級チャンピオンになる  
23日 埼銀 臨時総会  
26日 保健健康教育  
菊沢西小 福田利示  
粕尾小 鰐原悦郎

- 10月28日 保健健康教育  
粟野第一小 鯉原悦郎
- 30日 保健健康教育  
菊沢東小 川島光五郎
- 11月 県立がん検診センター完成
- 11月12日 壬生町に独協医科大学設置決定
- 25日 三島由紀夫楯の会メンバー4人と市ヶ谷駐屯地で自衛隊員にクーデターを訴え、失敗して割腹自殺
- 12月16日 駒橋寅春夫人死去

協定技工料金表

(昭45. 9. 1)

金 属 冠	金 パ ラ 全 部 鑄 造 冠	7 0 0 円
	" 嚼 面 鑄 造 冠	5 0 0
	" 庄 印 冠	3 5 0
	合 金 冠	3 0 0
架 工 齒	金 パ ラ 裏 装 鑄 造	} 両者の話合による
	合 金 裏 装 鑄 造	
鈎	金 パ ラ 鑄 造 鈎	3 0 0
	線 鈎 両 翼 レ ス ト 付	1 6 0
	線 鈎 レ ス ト な し	1 4 0
継 続 齒	金 パ ラ 裏 装	} 両者の話合による
	銀 合 金 裏 装	
	合 成 樹 脂 装	3 0 0
リ ン ガ ル バ ー	金 パ ラ 鑄 造	8 0 0
	金 パ ラ 屈 曲	3 0 0
	特 殊 鋼 屈 曲	3 0 0
	保 持 装 置	1 0 0
義 齒 (配 列 含 む)	1 ~ 4 齒	4 5 0
	5 ~ 8	6 5 0
	9 ~ 11	8 0 0
	12 ~ 14	9 0 0
	総 義 齒	1, 2 0 0
	銀 金 鐵 着	両者の話合による

会館がすでに落成した後に入会し、当時のことは諸先輩、先生方からしか伝聞していない者として、残された資料を元にまとめてみた。

昭和42年7月17日 県下11支部長より会館建設要望書提出さる

11月23日 第60回代議員会で会館建設決定

昭和43年6月2日 敷地・資金・建築設計の3部会発足

- 昭和44年 9月25日 宇都宮市一の沢町508-1  
 栃木県食品工業指導所敷地の使用許可通知来る
- 11月23日 建築設計を東京都港区青山 中山安三氏に依頼  
 会館建設負担金 1人20万円 退会死亡のとき75%返還する
- 12月 7日 肢体不自由児歯科診療並びに口腔保健相談事業併設決定  
 宇都宮支部負担金350万とす
- 昭和45年 1月27日 県歯科医師会が分裂 第2組合(第一歯科医師会)問題 マスコミに公表さる
- 6月16日 起工式  
 建築は宇都宮市松原 修和建设株式会社に依頼
- 12月 6日 臨時代議員会で所謂第一歯科医師会問題は決着
- 昭和46年 1月26日 竣工記念式典

所謂第一歯科医師会の設立を望んだ人達の目的や動機が余りよくわからない。新聞によると1つは会館建設負担金の問題、1つは人事問題で分裂したと書いてある。人事問題とはいったい何の事なのか。県歯と両者の間に何があったのか…。

難産の末、会館は建設されたが、建設した業者は倒産し、後年、手抜工事が判明、近年は何年間も会館施設の維持のために年間1,000万円もの費用を要したことは事実である。この問題には当支部の先輩も関与し、最後迄活躍した。その後、本会は約10年間、エアポケットに突入した感がある。通年残されてきた資料がほとんど蓄積されていない。



- ◎物 価 はがき10円、封書20円
- ◎映 画 戦争と人間、エロス+虐殺、日本解放戦線三里塚
- ◎流行語 ハイジャック、ウーマンリブ、ヘドロ、エコノミックアニマル
- ◎流行歌 圭子の夢は夜ひらく、手紙、希望、走れコタロー、今日でお別れ、知床旅情

## ■昭和46年（1971）

- 1月23日 新年会 喜楽  
来賓 県歯会長、市保健課など3名 会員出席13名
- 26日 栃木県歯科医師会館竣工記念式典



昭和42年7月、会館建設の話がスタートし、建設途上幾多の困難をのり越え待ちに待ったこの日を迎えた。

着工は昭和45年6月1日、上棟が10月9日、竣工は昭和45年12月末日である

- 2月5日 保健所 保健教育実施 講師 川島光五郎
- 16日 金子弁明 告別式 全員会葬  
(明治34年2月8日～昭和46年2月13日 享年70才 大正10年11月開業)
- 17日 京浜安保共闘の大学生、栃木県真岡市の鉄砲店に押入、銃11丁と実弾約2,000発を強奪
- 3月8日 監査会
- 20日 定時総会
- ・歳入、歳出 決算、予算の承認を求むる件
  - ・役員改選
- |       |           |
|-------|-----------|
| 支部長   | 菊地貞造      |
| 副支部長  | 鈴木幸雄      |
| 庶務理事  | 村本 光      |
| 会計理事  | 畑 二郎      |
| 地方理事  | 鰐原悦郎      |
| 代議員   | 福田利示、駒橋秀光 |
| 予備代議員 | 茂呂 允、中条正臣 |
| 国保会議員 | 越路孝七      |
| 監事    | 福田利示、新島 剛 |

3月30日	福島 茂、梅沢東洋幹事引継ぐ	
4月	日大松戸歯学部、岐阜歯科大学開設	
4月	菊地 誠入会 金子英明入会	
5月10日	宇都宮市埜田町に県立図書館が開館	
19日	栃歯保険医総辞退	全会員の保険医登録抹消 請求書及び委任状一通を 提出する。 左記の審議用メモが一連 の流れで保険医総辞退へ とつき進む原因となった。
	<p>審議用メモによる紛争</p> <p>1970年(昭和45年)12月に診療報酬の改訂についていわゆるスライド制を導入することが合意されていたが、その後、政府は健保法を一部改正して、再診時、入院時の一部負担等を組込んだものにしてしまった。</p> <p>これに対しては日本歯科医師会は日本医師会、日本薬剤師会と共同声明を出して反対を明らかにした。</p> <p>この一方中医協では診療報酬の適正化についての審議をすすめるため、診療報酬体系の適正化について” という審議用メモとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容易に行うことのできるものは診療料に包括する</li> <li>・同一系統の多種目の診療行為は包括し、逓減方式をとる</li> <li>・外来患者の数の多少により診療料に差をつける</li> <li>・技術差として差額徴収制を導入する</li> <li>・病院、診療所別の点数表を設定する</li> <li>・再診間隔により再診料に差をつける</li> <li>・件数定額制又は日数定額制の導入を考える</li> </ul> <p>といった内容を組入れたものを出した。</p>	
19日	<p>保険医総辞退全国歯科医師大会 東京九段会館</p> <p>全国より1,500人、栃歯会各支部より25名が参加</p> <p>1. 医療保険制度の近代化、抜本改革の即時実施に関する件</p> <p>2. 健康保険医登録抹消請求に関する件を承認した後、宣言及び決議を採択した</p> <p>日本歯科医師会は6月28日午前10時を期し全国一斉に保険医登録抹消の請求書を知事宛に提出するよう指示したが、栃木県歯科医師会は、6月27日の参議院鹿島選挙の翌日28日緊急理事会、29日臨時代議員会、支部代表者会議を開催、7月1日午前11時、横川栃木県知事に提出した。</p> <p>7月5日現在で会員34,342名中33,225(97%)名分がまとめられ、8月1日の発効をまった</p>	
6月11日	県歯で肢体不自由児歯科診療開所式を行った。10月5日より診療開始	
17日	宇都宮に地上8階、地下1階の西武百貨店オープン	
28日	参議院選挙	
	鹿島俊雄 570,628票で当選(栃木県17,568票 上都賀支部946票)	



7月9日 常会 埼銀

8月2日より保険医の辞退について

7月29日に至って、厚生大臣より歯科の特異性をみとめる旨の回答が得られたので8月1日からの発効は撤回することになった。

登録抹消届はそのまま都道府県歯科医師会長のところにあずかることとなった。

本県では7月30日に取り下げし461名分（会員外14名）県歯で保管中である

18日 支部旅行

19日 鬼怒川あさやホテル1泊 17名出席



昭和46年7月18日 鬼怒川温泉 あさやにて

46.6月27日 / 参試院 / 隠与モ 終り. 7月1日 = 総会届届行主: 7月17日

欠之平者  
 茂昌 允 王代試(工) 工 苑  
 中條 正臣 (ヨビ代試)

岸野 佐野  
 畑 (入院中)  
 新島 (務身会員)  
 牛嶋  
 小高

矢口  
 梅沢 (東) 当番幹事  
 村本 (支) 部 庶務  
 植沢 (果) 監事  
 (口保) 監事

福島 (当) 番 幹事  
 上ッ 賀 郡 試  
 新島 (務) 監事  
 岸野 (支) 務  
 手塚 (支) 務  
 川島 (支) 務  
 工 三 原 (果) 監事  
 野橋 (代) 試  
 越前 (口) 保  
 福田 (代) 試

- 7月30日 岩手県雫石町で全日空機と訓練中の自衛隊機が空中衝突、全日空機の162人全員が死亡
- 8月23日 県下最長741.4mの柳田大橋が鬼怒川に完成
- 9月 鹿沼、奈佐原文楽、国選択民俗資料に指定
- 10月2日 常会  
栃木県歯科医師会国民健康保険証の新旧の交換あり
- 11月23日 栃歯旧会館 宗教法人来日聖徒イエスキリスト教会日本伝導部と賃貸契約
- 28日 宇都宮駅で東北新幹線の起工式
- 12月16日 常会 埼銀  
老人医療費を助成する制度の説明あり
- 19日 日本政府、10ヶ国蔵相会議の決定に基づき1ドル308円の為替レートを決定
- 19日 岸野栄七郎死去  
明治30年5月8日-昭和46年12月19日 享年73才  
大正10年10月開業

昭和五十一年四月、白潮歌碑建設委員会建立。

の主宰となった。

昭和五十一年に窓日主宰清水比庵氏没後、同歌会


昭和三十九年、鹿沼北小学校長を最後に退職し、

そこまでの道中に三十六の札所がある。

「石裂」―鹿沼市上久我、石裂山（八七九・四メートル）に、加蘇山神社の奥社、麓に下社がある。

石裂の札所一番円明寺  
百鳥の響み山より聞ゆ 白潮

鹿沼の文学碑



市内酒野谷円明寺  
江連白潮

- ◎物 価 マクドナルドが銀座に1号店オープン、ハンバーガー80円
- ◎映 画 儀式、曼陀羅
- ◎流行語 ニアミス、がんばらなくっちゃ、ピース、書を捨てよ町へ出よう
- ◎流行歌 知床旅情、また逢う日まで、さらば恋人、傷だらけの人生、わたしの城下町、おふくろさん

## ■昭和47年（1972）

- 1月17日 新年会 喜楽  
来賓 鹿沼市長 保健課長及び係長、大塚県歯会長 計4名  
会員18名出席
- 24日 元日本兵、横井庄一グアム島の密林で発見
- 2月3～13日 第11回冬季オリンピック札幌大会開幕
- 13日 岸野栄七郎夫人死去
- 21日 ニクソン米大統領、中国訪問、米中国交回復
- 28日 連合赤軍、浅間山荘事件決着。警察官2人死亡
- 3月15日 山陽新幹線、新大阪－岡山間開業
- 17日 保険医登録抹消届、会員に返却
- 19日 中条正臣死去  
大正9年2月2日－昭和47年3月19日  
昭和17年3月10日開業 享年52才
- 29日 常会 埼銀  
岸野忠明、中条佐智子幹事引継ぐ
- 4月13日 自治医科大学開校
- 15日 定時総会 埼銀
- 16日 川端康成、逗子のマンションでガス自殺 享年72才
- 4月 日本歯科大学新潟歯学部、松本歯科大学、東北歯科大学開設
- 5月15日 沖縄返還協定が発効、沖縄県が発足
- 26日 常会 埼銀
1. 共済グループ保険について
  1. 医師賠償保険の申込みについて
  1. 老人医療の事務の煩雑さについて
  1. 技工料、公定料金について
  1. 個人指導、出頭拒否について
- 6月11日 田野井重男前栃歯会長 叙勲 於宇都宮市馬場町「新うえの8階」  
勲五等瑞宝章受章記念祝賀会
- 7月 栃歯月報200号発刊（表紙カラー 樟くすの木）
- 7月5日 日歯広報299号から日歯公報と改称したが昭和49年（1974）6月号から再び日歯広報と改称した
- 8月18日 中禅寺湖有料道路完成

- 9月4日 常会 埼銀
- 1. 政連会費 井上 裕後援会費徴収さる
  - 1. 健保研修会 注意事項
  - 1. 表彰 第1回医療功労賞（読売新聞社主催）  
那須南支部 佐藤国雄
  - 1. 医療監視
  - 1. 梅沢東洋、道子夫妻退会転出  
河内郡上三川町上三川4912の3へ（宇都宮支部）  
（昭和42年10月－昭和47年8月）
  - 1. フッ素塗布  
10月400名分 鹿沼幼稚園（青木先生園医）
- 25日 日中国交正常化  
田中角栄、大平正芳中国訪問。周恩来首相と共同声明に調印
- 10月1日 日塩もみじライン完成（塩原町と藤原町を結ぶ28.1キロ）
- 24日 那須－甲子道路開通
- 11月2日 常会 於埼銀
- 1. 脱保険
  - 1. 11月5日 社保、税務講習会
  - 1. 老人保険事務簡素化申請した所、基金と国保へ請求との事
  - 1. 衆議院選挙 一区 森山、渡辺美智雄  
二区 小平、藤尾
  - 1. 脱保険、計画診療の推進について  
（保険是認しながら患者の了解の  
うえで行う）

脱保険の施策に関するおぼえ書

1 目的

現在の健康保険法は、すでに半世紀にわたる歴史を有し、その改正は幾度となく繰り返されて来ているもの、全くわが国の国是に合致しないものになっている。

抑えにわれわれは10数年前よりその抜本的改正を呼び要求し続けているが、政府は一顧だにしないままに現在に到達した。

わが国は自由主義経済の資本主義国家であり、すべての国民生活は、その思想、主義の中で進められているにも拘らず、こと医療担当者の生活は、国民皆保険の中で統制主義の域を一步も脱出してない。

現代の医学、医療は目覚ましい発展と発達を遂げ、世界の先進国に優るとも劣っていない現状の中で医療保険のみが到底その内容と併立できない経済処置を強いられている。

従ってわれわれは意を決し、進歩する医学、医療を守り、かつ生存の公正を守るため自らの自衛手段を講ずることとした。

勿論その方法論として種々あるが、法治国であるわが国の保険医として、健康保険による診療を拒否することなく、患者との対話を尊重し、かつ充分なる時間的余裕を考慮しつつ、良心的治療を施行する目的をもって対処して行くことにしたものである。

称して医療における計画的診療の完全実施を目的とする。

2 方法

本事項を実施するにあたり、全国会員にその目的と製品を周知徹底せしめる必要があり、全国会員個人個人がその意思を押し、貫徹することが最大の要点である。

そのため本会においては、

- ① 計画的診療のオリエンテーションを組み
- ② 計画的診療のための準備を急ぎ
- ③ 計画的診療の実際を指導し
- ④ 計画的診療の事例を報告し、会員の不安を払拭し
- ⑤ さらに会員の疑義に対し充分なる質疑応答を親切に行い、同一歩調を取るように方向づけに努力する。

以上の事項が周知徹底され、完全実施をされた暁においては、溢れ出した国民の不平不満に対しては、挙げて政府の無能無策に起因するものであり、われわれ医療担当者の関知しないことであることを明言する。

すなわち国が永年医師養成をおこなったことに原因がある。

脱保険の目標 1 歯科医療の質の向上 2 一口腔一単位の診療の実施 3 医の倫理昇揚 4 近代歯科医療の具現 5 良質医薬材料の向上 6 医療管理体制の向上 7 医療助手の質量の充実 8 学術研修の振興 9 救急施設の整備 10 医事紛争の絶滅 脱保険の施策 1 時間予約診療 2 計画診療 3 良心治療の実施 4 医療の本質に則った医療の実施 5 良質医薬材料の使用 6 医療管理の徹底 7 医療助手の質量の充実 8 学術研修施策 9 救急患者対策 10 医事相談の対策 機構 脱保険部←ブロック脱保険委員会←各部道府県脱保険委員会←各地区脱保険委員会
--

昭和47年5月10日の日歯代議員会で脱保険臨時委員会が設けられ、委員長として齊藤静三、副委員長として岩谷 緑が当たり具体的な対応について方針及び企画をきめ、10月26日都市センターホールで全国の担当理事、関係者に説明会を開催した。

このときの「脱保険の施策に関するおぼえ書」が上記の内容である

- 11月2日 県立美術館開館
- 5日 上野動物園 パンダ初公開（カンカン・ランラン）
- 13日 東北自動車道、宇都宮ー岩槻間開通92.5キロ
- 12月5日 常会 埼銀
  - 1. 青色申告のすすめ 税務署員の話  
協力態度を示した
  - 1. 連絡事項 衆議院選挙
  - 1. 技工士学院 後援会に加入の件  
加入会員は12月10日PM3:00より技工研修会を行う
  - 1. 沖縄国保→基金へ
  - 1. 昭和48年1月28日午後9時から栃木県歯科医学会
- 11日 新島貫一葬儀 西鹿沼雄山寺 全員会葬  
明治23年12月7日ー昭和47年12月9日 享年82才  
大正6年10月1日開業

12月28日 常会 埼銀

1. 老人医療の取扱いの変更  
一部負担を患者にしてもらい領収証明書を発行する  
(県の方からの印刷物)
1. 歯科診療所調査票 (従事者の名称を入れること)
1. 国保運営委員 鈴木幸雄
1. 国保審査委員 新島 剛
1. 上都賀支部新年会 1月26日(火)の予定

入あひのかねもきこえずはるのくれ  
風羅坊



掬翠園  
風羅坊  
(芭蕉の別称)

鹿沼の文学碑

元禄二年(一六八九)三月二十九日、俳聖松尾芭蕉が「奥の細道」の途上、鹿沼に泊ると曾良日記に記されている。しかし宿泊先はわかっていない。今宮神社から近い、西鹿沼の小鼓山という小高い山の中腹に曹洞禅寺の「古風山光太寺」という寺がある。芭蕉が、この寺に泊った折に古い編笠と草鞋を残して行き、後に芭蕉の死を伝え聞いた寺の者が、その編笠を埋めて塚「芭蕉塚」を作り供養したと伝承されている。その際、「鐘つかぬ里は何をか春の暮 風羅坊」の二句が曾良の『俳諧書留』に記されている。

建碑は平成二十一年三月、鹿沼史談会による。

- ◎物 価 標準価格米10kg 1,480円  
民間大卒初任給 54,000円
- ◎映 画 密約、忍ぶ川
- ◎流行語 恥ずかしながら、総括、ヘンシーン、お客様は神様です
- ◎流行歌 瀬戸の花嫁、せんせい、喝采、旅の宿、ひなげしの花

## ■昭和48年（1973）

- 1月16日 新年会 喜楽  
来賓 古沢市長、保健所長、課長、市保険課長、係長、大塚県歯会長 以上6名  
会員出席20名
- 2月10日 東京外国為替市場閉鎖  
2月14日 1ドル277円から変動相場制に移行
- 23日 保険講習会 埼銀  
差額徴収の件について 特に上都賀地区は叱咤をうける
- 28日 足尾銅山が正式に閉山。四百余年の歴史に幕を閉じた
- 3月14日 監査会
- 24日 定時総会 埼銀
1. 学校医交代の件
- ・60才以上は除く
  - ・支部長は免除
  - ・郡部は郡部で（南摩、楡木、大芦地区）
1. 役員改選
- |      |       |
|------|-------|
| 支部長  | 菊地貞造  |
| 副支部長 | 鈴木幸雄  |
| 副支部長 | 駒橋秀光  |
| 会計理事 | 新島 剛  |
| 庶務理事 | 中田静嘉  |
| 地方理事 | 鰐原悦郎  |
| 監事   | 川島光五郎 |
| 監事   | 手塚正教  |
1. 違法差額の問題について
1. 無資格治療の問題（芳賀地区）
- 4月 福岡歯科大学開設
- 4月 振り替休日実施
- 4月 独協医科大学開校
- 4月27日 ウォーターゲート事件（米民主党本部盗聴でニクソン大統領が司法長官と大統領補佐官らを辞任させた）
- 5月20日 福田利示母告別式
- 6月 オイルショック始まる
- 6月9日 事業所検診 佐野屋鉄工所 菊地支部長
- 15日 県制百年記念式典挙行

- 
- 7月3日 常会 埼銀  
1. 慣行料金の件  
1. 日本歯科医学会 9月23・24日  
鹿沼歯科医師団の旅行をかねる
- 11日 真岡市井頭公園に1万人プールオープン
- 12、13日 国保視察 千葉県館山ガーデン  
出席 菊地支部長、鈴木副支部長
- 17日 保健所所長と無資格診療について懇談
- 7月 東武日光線全線複線化完成
- 8月4日 フッ素塗布 鹿沼幼稚園200名
- 8日 金大中事件  
来日中の韓国新民党の金大中、東京飯田橋のホテルから拉致され8月13日ソウルで  
所在判明
- 9日 東北自動車道の宇都宮－矢板間17.2キロ開通
- 31日 上都賀支部保険講習会  
大塚会長、鎌田、臼井副会長、小川技官、篠原専務理事、高田常務理事 来鹿
- 9月12日 清原工業団地起工式
- 18日 三才児検診 北犬飼 菊地支部長出席
- 22日 支部旅行 帝国ホテル
- 23日 日本歯科医学総会  
開会式 9月22日(土) 帝国ホテル  
シンポジウム 日比谷公会堂  
デンタルショー22日 晴海展示場  
ハトバス遊覧す
- 10月23日 江崎玲於奈ノーベル物理学賞受賞決定
- 29日 田代山スーパー林道完成
- 11月8日 矢口 修 告別式  
大正2年2月11日－昭和48年11月6日 享年59才  
昭和23年6月開業
- 10日 主婦、各地でトイレトペーパー、洗剤、砂糖の買いだめに殺到
- 15日 3才児よい歯のコンクール 於保健所 菊地支部長出席
- 27日 保険個別指導
- 12月12日 広報委員会開催 栗野町  
鰐原悦郎広報編集室次長、菊地支部長出席
- 19日 常会





一昭和48年9月1日—  
私は84才の今日までまだ文章という物を書いた例がない。従って文章を書く才能もなければ興味もない。所がこの度蝦原先生から栃歯月報に出すのだから是非自分の午前

午後という題で何か書き投稿してくれとの申出に実は寝耳に水と驚いた。本当に寿命の編まる想がしたが、仕方がないから今日この頃の日常に就き書いて見る事にした。私は現在毎日午前5時半に床を離れる。床を離れる前に床の中で足首、腰腹の摩擦等の運動をする。それから起きて洗面はせずに先づ食堂兼家族集会所の掃除をする。それから廊下玄関を掃き次に庭に出て庭全体を掃き道路に出て小学校の南正門から北正門まで掃く。終って家に上り自分の住んでいる6帖2間、3帖2間を掃除終り、但し雑巾がけはしない。顔を洗って食堂にて自分でお茶を湯して飲む、これが大体7時前後になる。その内にお手伝さんが起きてくるの



で7時すぎ朝食を取り少し休憩の後、自分の部屋に引き上げる。それから午前中は退屈しのぎにズーッと読書倅。伴(秀光先生)が色々な本を求めてくるのでこの点、聊かも差支えない。尚老耄していて何を読んでも読む後から直ぐ忘れて仕舞うので、よむ本の選択はしない、手当たりバッタリ何本でもかまわない。どうせいくら読んでも身にも骨にもならず只暇つぶしに読む

事なので……零時すぎ昼食、食後直ちに昼寝 2・30分から1時間位、その日によって違う、午睡から起きて今度は丸竹を縦に半分に割った竹を下に置き何かに擱まって 500回踏む。肩の上下運動首の前後回転運動、股関節の運動等をする。その後幾らか有る盆栽草花などに水をやる。午後は本も読むがテレビを見る方が多い。テレビは時代物、舞台放送等を好んで見る。6時すぎ晩酌(2級酒1合カッキリこれは50年1日の如く)の後夕食7時前後、入浴しテレビ観賞、9時には床に入る。以上が自分の日課です。

駒橋寅春先生 (上都賀支部)

オイルショックの替歌 元歌〈君恋し〉で炭恋し

石油がつまれば 悩みは涯し  
さびれる暮しに 儲けるは誰が影  
炭恋し てまひまかかれど 涙はあふれて  
サンマの焦げゆく

- ◎物 価 ビール大瓶160円
- ◎映 画 人間革命、朝やけの詩、仁義なき戦い
- ◎流行語 ユックリズム、ぐうたら、日本沈没、ちょっとだけよ
- ◎流行歌 草原の輝き、女のみち、危険なふたり、てんとう虫のサンバ、神田川、夜空

## ■昭和49年（1974）

- 1月9日 税務説明会 埼銀
- 24日 国保運営協議会 市役所 菊地、鈴木出席
- 27日 宇都宮平松交番に火炎ビン
- 2月26日 県内で6件発生した連続爆弾事件で、県警本部は殺人未遂などの容疑で真岡農業高3年生を全国指名手配、主犯の高校生3人を逮捕
- 3月11日 常会 埼銀  
青木達三郎、上都賀看護学校の講師辞任申入れ
- 12日 フィリピン ルバング島から元陸軍少尉小野田寛郎28年ぶりに帰国
- 20日 保険小集団指導  
県歯より鎌田副会長、高田常務 来鹿  
まおか文太郎 来鹿
- 30日 鑑査会 菊地支部長宅
- 30日 ミヤコタナゴ国天然記念物に指定
- 4月3日 支部総会 埼銀
- 11日 栗野町出身のガッツ石松がボクシング世界ライト級チャンピオンに
- 13日 自治医科大学附属病院開院式
- 15日 岡本全宏開業
- 4月 白鷗女子短期大学開校
- 5月13日 常会 埼銀  
鹿沼歯科医師団の上都賀支部への円満な合併をなす。幹事の制度消滅す。
- 17日 手塚筆四郎 告別式  
明治27年1月26日～昭和49年5月14日 享年80才  
昭和2年4月開業
- 6月7日 事業所検診 中西機械
- 9日 第1回当り年（寅年生れ）懇親会、宇都宮グランドホテルにおいて開催
- 15日 常会 埼銀
- 26日 満岡選挙カー来鹿 於産業文化会館
- 7月 独協医科大学病院開院
- 7月2日 大塚会長、遅沢常務 来鹿、 菊地支部長宅 一斉休診
- 7日 まおか文太郎参議院選挙 落選す 全国438,721票  
栃木県11,234票 上都賀734票 63位
- 18、19日 国保視察 松本市 菊地、鈴木出席

7月21日 明生会 鬼怒川グリーンパレス  
会に先立ち座談会、当支部駒橋寅春出席

「先輩たち、大いに語る」

明生会に先立つて行われた座談会の記録

出席者 麻野普三、駒橋寅春、森下元之助、  
添野虎雄、軽部軒治、名取喜代寿、  
(敬称略、順不同)  
会側 大塚会長、鎌田副会長、篠原  
専務理事、高田・遅沢・柳田各常務  
理事、須賀編集委員

診 療 の 実 態

治 療	抜 歯	前 歯 金 冠	総 義 歯	1日の患者	月 収	氏名と開業年
10銭	50銭	3円		15人	60円以上	麻野(足利) 大正8年
	30銭	5円 (但し、金1 勿使う)	8円	20人 鹿沼では 歯科は1名	360円 (巨大な収入)	駒橋(鹿沼) 大正2年
30銭	50銭 (但し何歯で も)	3円～5円の 間を往復	12円		最低 180円 最高 283円	添野(栃木) 大正10年
30銭	50銭			20人		森下(芳賀) 大正10年
30銭	50銭	5円	7円			軽部(宇都宮) 大正14年
30銭	50銭		7円50銭 8円		増減激し	名取(宇都宮) 昭和2年

●支部だより●

鹿沼デンタルスタデーグループ(K、D、S、G)  
昭和49年度の新役員に、次の諸先生がなられました。

会 長 畑 二郎  
副会長 駒橋 秀光  
理 事(庶務) 金子 英明  
〃(会計) 中条佐智子  
監 事 菊地 貞造  
〃 福島 茂

この会は隔月に研修発表を行って居り、臨床歯  
科医学の現在、そして未来図、現状、現実を真摯  
な気持ちで、あくまで学理論的に、研修しあって  
居る、上都賀地区の先生方の集りです。

本年は、今までに下記の様な研究発表が行なわ  
れました。

- 1月20日(土曜) 根管治療について  
浦江先生
- 3月16日(〃) 1例報告  
駒橋秀光先生
- 5月18日(〃) 術後処置について  
金子英明先生
- 7月20日(〃) 私の治療方針  
中条佐智子先生  
(文責、飯原)

- 
- 8月15日 朴正熙韓国大統領、在日韓国人に狙撃され、夫人が死亡、ソウルで反日デモ激化  
 30日 常会 埼銀  
 30日 三菱重工本社で時限爆弾爆発、大惨事
- 9月17日 常会 埼銀
- 10月8日 常会 埼銀  
 14日 長嶋茂雄、読売巨人軍引退  
 18日 佐藤栄作元首相、日本人初のノーベル平和賞受賞決定  
 19日 フッ素塗布 鹿沼幼稚園  
 畑、青木、菊地、村本 出席
- 11月1日 岸野忠明退会  
 昭和37年4月～昭和49年11月退会 宇都宮へ  
 14日 3才児よい歯のコンクール表彰式 保健所 菊地支部長出席  
 17日 栃歯学会 栃歯会館  
 24日 支部旅行 鬼怒川温泉ホテル  
 30日 今市支部創立20周年記念式典 あさや 菊地支部長出席  
 (正式には昭和30年2月20日より上都賀支部より分離、独立したと思うのですが)
- 12月10日 大塚県歯会長 文部大臣表彰  
 宇都宮 中村支部長出席  
 20日 東北自動車道、矢板～白河間開通  
 23日 常会 埼銀

◎物 価 ・タクシー料金 東京2km 220円

・地下鉄 初乗り60円

◎映 画 望郷、砂の器、檻褸の旗

◎流行語 ストリーキング、金脈、超能力、巨人軍は永遠に不滅です

◎流行歌 なみだの操、うそ、襟裳岬、あなた、悲しみもよう、母に捧げるバラード、ひと夏の経験

昭和50年～平成20年

---

年 表

## ■昭和50年（1975）

- |       |                          |        |                                    |
|-------|--------------------------|--------|------------------------------------|
| 1月14日 | 役員会 菊地支部長宅               | 7月21日  | 足利銀行栃木支店の女性行員<br>(23才) 2億1千万円横領で逮捕 |
| 21日   | 税務申告説明会、地区別保険講習会、新年会 喜楽  | 11月15日 | 第2回フッ素イオン導入<br>中央公民館               |
| 26日   | 支部役員連絡協議会<br>県歯会館        | 12月25日 | 国道50号線足利-佐野バイパス<br>全面開通            |
| 2月10日 | 国保運営協議会 於市役所             |        |                                    |
| 27日   | 「歯の110番」開設さる             |        |                                    |
| 28日   | 常会 埼玉銀行                  |        |                                    |
| 3月19日 | 総会 埼玉銀行<br>菊地貞造 支部長に選任さる |        |                                    |
| 6月14日 | フッ素塗布 中央小学校<br>618名に実施   |        |                                    |
| 7月17日 | 中田嘉之<br>西方村本郷396に開業入会    |        |                                    |

### 上都賀支部

去る6月14日（土）上都賀支部では午前9:00から12:00迄中央小学校体育館にて無料弗素塗布と刷掃指導を行った。

口腔衛生週間にちなみ、歯科医師と患者とのスキンシップを計る事を第一の目的として、従来幼稚園児を対象に行っていたが、今回は初めての試みとなて、中央小学校、東小学校、北小学校の児童生徒のうち、2～4年生の比較的齲蝕の少ない者を対象とし、その中の希望者、総数618名に実施した。参加者には各自歯ブラシを持参していただき、弗素塗布終了後歯科医師並びに衛生士により刷掃指導を行った。一方父兄にも参加して頂き、別会場にて弗素塗布の意義、刷掃指導、食事とおやつの与え方等に口腔衛生指導を行った。参加者全員終始熱心な態度で説明指導を聞き、齲蝕予防の重要性を十分理解し、我々としても初期の目的を十分達成できたものと信ずる。

なお今後年数回は実施する計画で居りますが、次回は秋頃に予定して居ります。

◎協力者（順不動・敬称略）

菊地貞造・鈴木幸雄・駒橋秀光・新島 剛・畑二郎・村木 光・高崎道子・岡本全宏 各先生  
大出・宇梶（駒橋歯科）兼目（新島歯科）神山（鯉原歯科）中里（岡本歯科）各衛生士  
柳沢（菊地歯科）駒場（駒橋歯科）大野（福田歯科）福田（新島歯科）福富（畑歯科）前田・高村（村木歯科）金子・皆木（高崎歯科）石塚（岡本歯科）各助手

### ●支部だより●

#### 上都賀支部

第2回フッ素イオン導入を去る11月15日（土）中央公民館にて市の環境福祉部と教育委員会の協力を得て約346名の低学年児童生徒に行った。

前回は北小、中央小、東小の3校のみであったが、今回は市内全部の小学校の低学年児童生徒を対象とし市政ニュースで広報し希望者は当日会場にて申し込み先着300名迄とした。当日は七五三と重なり、希望者が少ないのでないかと心配されたが、父兄の歯科に対する感心度が高いためか、降りしきる雨の中を多数来場し、会場は早くから混雑し、準備したトレーも底をつき塗布が出来なかった者が多数いた。

会場は前回同様、フッ素イオン導入の他に刷掃指導及び食事とおやつの指導、歯槽膿漏の予防についての映画上映を行ったが、いずれの部屋も満員で熱心に聴き入って居り、また熱の入った質問も多く前回以上により良い成果が得られたと思われる。

最後に今回のフッ素イオン導入実施に際し協力を賜りました、鹿沼市環境福祉部の相馬さん、阿部さん、北小、中央小、東小の養護の先生、保健婦さんに謝意を表します。

担当者（敬称略、順不同）

- ・歯科医師：菊地貞造、鈴木幸雄、石川権左衛門、駒橋秀光、新島剛、村木光、畑二郎、高崎道子、中條佐智子、中田嘉之、岡本全宏
- ・衛生士及助手：柳沢（菊地歯科）、鈴木、宇梶（駒橋歯科）、大野（福田歯科）、兼田（新島歯科）、神山、黒川（鯉原歯科）、福富（畑歯科）、前田（村木歯科）、皆木（高崎歯科）、高梨、落合（中條歯科）、中里（岡本歯科）

◎物 価 清酒1.8ℓ 1,680円

◎映 画 金環蝕、祭の準備、エマニエル夫人、タワーリングインフェルノ、ジョーズ

◎流行語 オヨヨ、バカうけ、複合汚染、あんたあの娘の何なのさ

◎流行歌 シクラメンのかほり、昭和枯れすすき、ロマンス、時代、時の過ぎゆくまに

■昭和51年 (1976)

- 4月1日 鈴木清文 上野町303-3 今市支部より入会
- 12日 鹿沼デンタルスタディーグループ(K.D.S.G) 研修会 丸笠歯科商会 駒橋秀光 会長に選任さる
- 17日 総会 埼玉銀行 学位取得した梅沢 明、鰐原悦郎両氏に記念品贈呈
- 5月11日 常会 埼玉銀行
- 15日 学術講演会 埼玉銀行 講師 独協医大口腔外科教授 朝倉昭人
- 5月28日 臨時総会 埼玉銀行 鹿沼市予防歯科研究会 (K.P.D.R.G) 発足
- 7月11日 鹿沼デンタルスタディーグループ研修会 丸笠歯科商会 講師 新潟歯科大学教授 草刈 玄
- 17日 フッ素イオン導入 中央小体育館 就学前児童対象 500名
- 29日 保険個人、小集団指導 差額徴収廃止の説明あり
- 11月15日 フッ素イオン導入 中央公民館
- 12月21日 宇都宮一日光間バイパス開通

上都賀支部だより

○7月11日(日曜日) AM10:00~PM 6:00 於 丸笠研修室 鹿沼デンタル・スタディー・グループ研修会が行われた。

講師に新潟大学歯学部教授草刈玄先生を招いて、エレクトロラジオ・リーについて(午前中)と歯冠の軸面形態について(午後)講義を受けた。エレクトロラジオ・リーに関しては基礎的知識と臨床応用例(歯肉止血、歯槽膿腫の形成破折面における空気メスの応用、その他)と応用に際する注意点を、豊富な臨床経験とスライドにより解り易く説明された。又、歯冠の軸面形態に関して特に感銘を受けた事は、いくらか理想的な形態を学んでも、日常臨床に正しく応用してゆく臨床家にならなければいけない、と何れも強調された事である。

○7月17日(土曜日) PM12:00~3:00 於 中央小体育館 昨年に引続きフッ素塗布を行った。今回は就学前の小児を対象とし、希望者先着500名に限定して行われたが、前回に対して来場者が少なかった。

フッ素塗布と併せてブラッシング指導、食事とおやつ指導、口腔衛生に関する映画の上映等を行った。子供と一緒に持参の父兄たちも熱心に指導を受けていた。

(担当者) 敬称略  
歯科医師 菊地貞詩、鈴木幸雄、新島剛、川島光九郎、村本光、鰐原悦郎、高崎道子、駒橋秀光各先生  
衛生士・助手 柳沢(菊地歯科)、岡田(新島歯科)、大野(藤田歯科)、鮎川(中田歯科)、大岡(畑本歯科)、前田(村本歯科)、神山、黒川(鰐原歯科)、菅本(青木歯科)、宇梶 駒場、鈴木(駒橋歯科)、高梨、落合(中森歯科)、中里、石塚(岡本歯科) 以上

○7月29日(木曜日)  
小川技官、大塚会長、篠原専務理事、高田常務理事、社会保険、国民健康保険側の代表者臨席で上都賀支部の保険個人、小集団指導講習会が行われた。

小集団指導に先だて行われた個人指導では保険に関して少し萎縮している傾向があり、もっと請求してほしい点を指導された。また、全体では診療を非常にまじめに良くやっているとのおほめの言葉を小川技官、大塚会長よりいただいた。

小川技官の評の後、大塚会長の挨拶と差額徴収廃止の説明があり、その後、篠原専務理事、高田常務理事より保険の講習があった。

**御邪魔します!!**

ある晩冬の夜下り、鹿沼市の夜百光先生の簡便な住宅を訪ねました。

先生は、延命社法人会、鹿沼歯科病院の院長として、近畿歯科医師会の副会長でありました。敬愛先生の長男でありまして、兄弟3人、協力して亡父の後継者として、執業医長のために、日夜患者の御多忙の先生です。

先生は、診療の余暇のすべてを、秋田犬保存協会の会員文幹部として、日本のもともと代表的な日本犬、秋田犬の純種純血を守り、発展させるため、この方面でも、日本では5手指に入る知名な先生であります。

取材に先立って、この道では有名な、自宅に隣接の先生御自慢の「デンタル大倉」を拝見しました。彩光、風通し、そして何より清潔さは感服する。広い大倉の中には、現在、成犬は8頭、可愛らしい小犬が5頭ほど……。

この清潔さも、大倉では、絶対に大小便をさせないこと。飼育して居る秋田犬は、家犬の一員として、家族共々、健康管理には愛情をこめて非常に注意して居ると指導しました。



天皇皇の眞神丸と眞百光先生

美さんのすみ江さん、長男 若原君(小学2年) 2男 栄哉君、3男 昌輝君、長女 有紀子さん。家犬の皆さん、生物好きな方たちばかりでした。

一眞百光先生の語一

私が、秋田犬のそもそものあれそれは、約20年前(昭和)になりますが、日本の歯学部在学中、2年生の時でした。ところが、歯学部第1回の探検隊の隊長となった、東京大学の解剖学の教授でありました岡田先生とおしゃる教授がおりました。私の解剖の先生でしたが、岡田教授は歯科に行く、おじさんは、アメリカのアリソン大学に留学されるは、中全部が、留守になるということで、秋田犬を世帯する人がいない、と言うことで、犬を世帯してくれる人がいない、と言うことになり、是非世帯を頼むと頼まれたことが、そもそものあれそのでした。

その後、色々と日本犬、狸犬と、とりまぎで飼育して居ましたが、日本人に合った犬、その環境も土に合った犬と思いましたが、日本犬特には秋田犬に最も強い愛着を感じました。

この15年、秋田犬一すむに飼育改良して居ります。

日本人の心に合う犬は、日本犬です。

特に、秋田犬は飼いやすい犬です。と言うことは、性格、体質が日本人に非常に似ていると云うことです。食べ物も、日本人と同じだし、飼育生活しやすいのです。

大正6年に秋田犬保存会と云うのが、秋田県の大館市に出来たのが、鼻印ですが、その頃は犬種純血の純血の不便のため、関東方面とか勿論四方面など、日本全国には、種々養育して居りましたが、秋田県だけの秋田犬ではありませんでした。

第2次大戦中、秋田犬は、ほとんども絶滅になるやうになりました。純種秋田犬は、10頭強になつてしまったので、戦後、山にはなして居いた秋田犬を呼びもどして、現在まで復興して居る大倉院は、秋田犬は、50万頭位なるまでに数人になり、日本全国を物陰、世界各地つづらうらにまで、普及して居ました。現在、栃木県の歯科医師会の先生方で、宇都宮の外科の先生で、本朝三郎先生が熱心に飼育されて居ります。

関東地区では、茨城県の私の日本の先駆の歯科先生が心をこめて居ります。

私の所に今飼って居ります 眞神丸は、昭和44年、第63回の犬展賞を頂いたのですが、眞神丸の番号が、第2909号ですから、現在は50万頭をゆうくりオーバーして居る事と思えます。

愛育館としては、相対ですが、この眞神丸の2代目の秋田犬、僕犬ですが、先陣と言う犬で、700万で買われました。

犬は、飼育の種々の種は100万と云われますが、秋田犬の場合は、その十分の一、10万程度です。子は5頭生、犬出産するものです。

しかし金銭ではありません。育て行くうちに可愛さを通り越して自分の愛着、生活のものとなって居ります。



天皇皇の眞神丸と眞百光先生と長女有紀子さん

その他、犬に対する、又動物に接する、ものもろの話を聞かしながら、約2時間余を過ごし、その間、秋田犬代表にふさわしく、眞神丸はゆうゆうと小春日和の誕生を待機一つするでなく、目をじてりと、秋犬の話を聞き入って居りました。

これを機会に、もしも居る先生方で、秋田犬は勿論、犬の件についてお話しがございましたら、鹿沼市の夜百光先生にご連絡下さい。

(文責 眞神君)

- ◎物 価 食パン一斤 100円
- ◎映 画 愛のコリーダ、犬神家の一族、カッコウの巣の上で、タクシードライバー
- ◎流行語 黒いピーナッツ、記憶にございません、はしやぎすぎ、チカレタビー
- ◎流行歌 北の宿から、およげたいやきくん、木綿のハンカチーフ、ペッパー警部

## ■昭和52年（1977）

3月	菊地貞造 支部長に選任さる	栗野町口栗野896
4月1日	小高章愛入会 緑町1-176 今市支部より 越路昭夫入会 末広町1925	11月3日 社団法人栃木県歯科医師会創立 30周年記念式典 県歯会 梅沢 明、福田利示表彰さる
24日	当り年懇親会（巳年生） 宇都宮グランドホテル 小高正男出席	20日 栃歯学会 30日 保険医 個人指導、小集団指導 埼玉銀行
5月22日	鹿沼デンタルスタディーグループ研修会 丸笠歯科商会 講師 京橋開業 村岡 博	
7月13日	「栃木国体」正式決定	
10月1日	鰐原公子入会	

### 上都賀支部

去る5月22日（日）丸笠研究室において鹿沼デンタルスタディーグループの研修会が行われました



講師には京橋開業の村岡 博先生を招き、咬合理論に関して特に解り易く解説して頂いた。午前中は咬合理論を実践する上で必要な歯科医療管理に関して特に患者管理について、午後は咬合理論の総論と各論を村岡先生が日常臨床で実際に行っている症例をもとに、より理解し易く説明して頂いた。私達が日常難解な問題点をより明解な理論の根拠に基づいて解説して頂き、技工士、衛生士の方々も交え出席者全員が熱心に研修し、大変有意義な研修であった。 以上

#### 八十老人の話



いつの間にか年も80になった。開業歴55年ともなると何もかも茫漠として何を書いたらいいか見当がつかない学校からおし出されて下関の病院につとめ

何もわからぬままに現在の所に開業して以来50余年、顧るといささか失敗の連続許りである。

器械も薬品も今は隔世の感がある。足ぶみエンジンで汗を流したり、ゴム床義歯と金冠で夜裡くまで働いたり、よく大きな失敗もせずに行ってきたものである。

そんな事していても4人の子供らは何とか成長して長男は東京に開業し、長女は親父と現在の所で歯科医、末は同業者と結婚して宇都宮に開業、めいめい何かやっている。

年のせいであろうが、去年は宇中卒業の同級生が6人も死んだ。今年はもう2人も亡くなり「われも今日か明日かと思っている」と心細いたよりをよこすようになった。生きている間は元気でいたいというのは老人の共通の願いだのにだんだん気が弱くなる。それではいけないと思って暖い日には婆さんとよく散歩する。鹿沼の町には散歩にいい公園が3つもあって四季そ

れぞれの風勢を楽しませてくれて楽しい。家へ帰るとお茶をのんで聖書を読み、日曜には必ず教会の礼拝に出るのが何年かの習慣になっている。

午後は好きな本をむきざり読むのと友人を訪ねて談話の時を過ごす。

時には4・50年も前のクランケが来て昔話をしながら簡単な治療もする。

旅も又好きである。ロータリーの人々とアメリカ西海岸の諸所やハワイを見て来たり、学校歯科医師会の人々に交って老妻と共にヨーロッパ諸国を巡歴したのも数年前の事。又年に2・3回は国内の旅に出て海や山のよきを楽しむ事もある。

こんなことをして80年。たいした病氣もせずして過して来た。そして若い同業者の方々もどうか健康第一に元気に働いて貰いたいと切に思う。

又小生は今年の年賀状に「夕陽にも光ありと云う聖書の言葉を入れた。夕陽は淋しく夕空に消えてしまうように見えるがやがて闇が去って新しい人生の朝が来ると時々と耀えた日がやってくる。どうか毎日希望に燃えて楽しく毎日毎日を送るようではありませんか。

元、上都賀郡歯科医師会会長  
青木達三郎

午前  
午後

- ◎物 価 東京地下鉄初乗り運賃 80円
- ◎映 画 八甲田山、幸福の黄色いハンカチ、ロッキー、ネットワーク
- ◎流行語 たたりじゃ、よっしゃよっしゃ、お母さん僕の帽子どうしたでしょうね、飛んでれら、死んでれら
- ◎流行歌 青春時代、ウォンテッド、勝手にしやがれ、北国の春、あんたのバラード



## ■昭和53年 (1978)

- |       |   |        |  |
|-------|---|--------|--|
| 3月26日 | 支部役員連絡協議会<br>各支部の慶弔費及び入会金について                   | 8月29日  | 小高正男逝去 行年73才   |
| 30日   | 日光市細尾町と足尾町地蔵滝間<br>の日足トンネル開通                     | 11月12日 | 栃歯学会 栃歯会館<br>演題6 西方小学校に於けるウ<br>蝕予防活動について (第一報)<br>中田嘉之発表 |
| 5月3日  | 当り年懇親会<br>新うえの8階ホール                             | 21日    | 作新学院の江川 卓「空白の1日」<br>で読売ジャイアンツと電撃契約                       |
| 7月1日  | 厚生省、日本の平均寿命が男<br>72.69才、女が77.95才で世界一<br>の長寿国と発表 |        |  |
| 9日    | 明生会 鬼怒川温泉あさや<br>青木達三郎出席                         |        |  |

(6) 支部の慶弔費及び入会金について、各支部の額をお伺いしたい。

支部	種別	入会金	慶弔費
宇都宮	医療機関	900,000円	死亡会 員50,000円 花輪
	個人	100,000円	死亡2親等以内30,000円 花輪 結婚………会員10,000円
上都賀		50,000円	死亡会 員50,000円花輪 配偶者30,000円 ♪ 家 族20,000円 ♪
今市	人 会	300,000円	そのときに応じて
下都賀	新規開業	200,000円	
	52年度	70,000円	死亡 会員20,000円花輪 家 族10,000円 ♪
小山	53年度	300,000円	
		300,000円	死亡 会員30,000円花輪 配偶者10,000円 ♪ 家 族 5,000円 ♪
安佐		300,000円	死亡 会員100,000円 花輪
	2人目	100,000円	両親、配偶者 20,000円 花輪 子 10,000円
足利		100,000円	死亡 会 員 30,000円 配偶者 5,000円 家 族 5,000円
		50,000円	死亡 会 員 30,000円 配偶者 10,000円 尚 親 5,000円 結婚 会 員 1万円
塩谷		50,000円	死亡 会 員10,000円花輪 配偶者 5,000円 ♪
那須		50,000円	
	2人目	30,000円	
那須南			死亡 会 員10,000円 花輪 家 族 5,000円 ♪

### 昭和53年度 明生会開催

7月9日4時半集合にて53年度明生会が鬼怒川温泉あさやに於て開催された。

これに先立ち午前8時より明生会ゴルフ大会が執行部を交えて開催され、暑い中を明生会の先生方頑張られ明生会会員の赤羽武夫先生が見事優勝された。

ゴルフに参加されない先生方はゆっくり温泉に浴られた後6時半から懇親会が開かれた。

#### 大塚会長挨拶要旨

「異常に暑い中明生会の先生方にはお元気お集りいただき感謝に耐えません。今日の栃木県歯科医師会があるのは偏に明生会の先生方が栃歯会のために長年に亘りご尽力下された賜であります。今後共栃歯会発展の御協力いただき度い。又先生方には何時までも御健康で長生きしていただき度い。

明生会の先生方の労を惜まれた後、日歯の現況健康法等に就いて詳細な説明があり懇親会に移った。

田野井重男顧問の音頭で乾杯。宴会に入ったがあきやサービスの楽団、及び民謡等あり宴は増々賑かになった。締りどころの手踊り、会員のどの自慢等々……。恒例のくじ引あり。

- 男ごころと秋の空…時々変化する…「七色パンティーン」を当てた先生の心や如何に。
- 犬もあるけば棒にあたる…美人を見かけることもある…「望遠鏡」を当てた先生は一晩中対岸をのぞいていたのではないでしょうね。
- 私の浮気…振られてもどろ…「体温計」の先生それでも熱がカッコッと上っておられなかったんぢやないかな。

#### ◎明生会ゴルフコンペ

S.53.7.9.

氏名	OUT	IN	計	HCP	NE	順位
大塚 禎	55	59	114	36	78	4
赤羽武夫	52	54	106	36	70	優勝
梅沢 明	57	55	112	36	76	2

柳田浩司	43	48	91	15	76	3	N, P
多島寿孝	50	51	101	27	74	1	
柴田光雄	53	53	106	36	70	準優勝	
高田哲三	66	65	131	36	95	6	
篠原誠一	54	53	107	24	83	5	N, P B, B
湯沢哲郎							
鈴木和人							
柴田 勝							
多島 謙							



- ◎物 価 新幹線 東京-新大阪9,100円
- ◎映 画 愛の亡霊、鬼畜、スターウォーズ、未知との遭遇
- ◎流行語 あんたが主役、ナンチャッテ、ミジメミジメ、フィーバー、アーワー
- ◎流行歌 UFO、君の瞳は一万ボルト、時には娼婦のように



- |       |   |       |  |
|-------|---|-------|--|
| 6月27日 | 第1回歯科保健賞授賞式<br>栃木会館<br>個人の部 鹿沼市役所保健婦<br>永田都賀子受賞 | 9月7日  | 鈴木清文逝去 行年51才<br>23日 栃歯臨時代議員会 栃歯会館<br>・適正配置委員会設置規則案<br>・独協医大歯学部設置反対決議 |
| 7月    | 座談会「女性歯科医大いに語る」<br>中条佐智子出席                      | 11月1日 | 小林幹夫入会 仲町1290<br>29日 モニター通信 虫歯予防推進公<br>開研究発表会 菊沢東小                   |
| 8月30日 | 駒橋寅春逝去 行年80才                                    |       |  |

### 上都賀支部モニター

11月29日に鹿沼市立菊沢東小学校において、栃木県教育委員会、鹿沼市教育委員会、ならびに鹿沼市立菊沢東小学校の主催で虫歯予防推進公開研究発表会が開催された。県内各小学校の普通教諭、教育委員会関係者、約150名参加して行われた。

菊沢東小学校は鹿沼市部外の大岩街道沿いにあり、児童数535名、明治6年に開校し、昭和53年に校舎新築落成。県内唯一の文部省の虫歯予防推進指定校となる。昭和53年・54年度の2か年間に「良い歯を育てる日常的な方策とその実践」をテーマとして研究し、その成果を基に今回の研究発表会を開催した。



**日程**

- 9:30~11:00 全体会(研究発表)
- 11:10~11:55 公開授業
- 11:55~12:50 昼食(歯みがき)
- 13:00~14:00 記念講演
- 14:10~15:30 分科会

まず、全体会では教育長、市長の挨拶のあと研究経過並びに発表が教務主任から報告された。特に学校では昼食後の歯みがきの励行に重点を置き、カラーステータスを用いての歯みがきの評価、指導の工夫をし、更に家庭での歯みがき実施のため


歯みがきカレンダーを作成、学校と家庭との連絡カード、約束カードを作成し定期的に評価指導しました。朝の授業開始前のホームルームでの虫歯予防の教育を担任の先生が行っている。更に学校だけでなく、保健だより等の広報を行っている。更に学校だけでなく、保健だより等の広報を行っている。更に学校だけでなく、保健だより等の広報を行っている。

次に公開授業に移り授業参観を各クラスで行った。公開授業内容は下記の通りである。

- 1年生 わたしのははばどなか
- 2年生 おやつとむしば
- 3年生 歯のはたらき
- 4年生 むし歯の予防
- 5年生 歯でさの病気
- 6年生 むし歯と健康

昼食後の歯みがきを全教室開放して見学。昼食後10分間時間を取り、ビデオや録音で音楽を流して全校一斉に各教室内で行う。実際の歯みがき時間は正味3分間で方法、順序は決まっている。特に1~2年生はフォーンズ法、3~6年生はローリング法を採用している。

教室内で行うので机や床が汚れないように当該オリジナルの歯みがきガードを考案し使用している。



写真のようにその中央部には鏡が取り付けられてあり歯みがきの様子が見えるようになっていた。

全学年見学したのが皆音楽に合わせて上手にみがいでいるのが感心させられた。


記念講演では駒橋考夫先生が「歯と人生」について先生の30年間の豊富な臨床経験に基づいて講演された。その中でも20代で無歯類になってしまった人と老人になっても健全な歯列を有する人のスライドは虫歯の予防の重要性を強調する意味でも聴講者に非常に大きなショックを与えたようである。

**分科会**

その後、「よい歯を育てる日常的な方策とその実践」のテーマで低学年、中学年、高学年の3分科会に分れて研究協議が行われた。

菊沢東小が実施している方法を提案者が説明しそれに対して活発な質疑応答がなされた。その中で、3注目された点は、○家庭との協調をどのようにして得るか、特に親子の歯みがきカレンダーのマンネリ化防止の工夫とその評価について、○歯ブラシの消毒法について、○治療について治癒したはずの歯が見える口唇をみると治っていない場合が多々ある。また乳歯を治療しきれない等の苦情もあった。

おわりに、学校の中でも特に罹患率の高い虫歯を減少させるには従来の治療を配前し治療させるだけの消極的手段では解決不可能であることを認識し、学校が主体となって昼食後の歯みがきを指導し習慣化させ積極的に虫歯を予防する目的でこの様な研究会がもたれたことは意味の深い事である。



### 第3回 支部役員連絡協議会開催

昭和54年3月25日(日)午前10時  
栃木県歯科医師会館

2: 各支部の入会金の現況について

上都賀支部 別表の通り。

区分	入会金
宇都宮	・150米はなれていない場合 100万円(90万円+10万円)
	・101米~150米未満 210万円(200万円+10万円)
	・50米~100米 510万円(500万円+10万円)
上都賀	5万円
今市	20万円(2人月会費も同じ) 新規開業の場合この他に30万円計50万円
下都賀	40万円(医療機関30万円、個人10万円)
小山	30万円
安佐	30万円
足利	50万円(2人月会費は10万円)
芳賀	5万円
塩谷	5万円
那須	5万円
那須野	20万円(2人月会費は5万円)

### 第一回 歯科保健賞表彰式

栃木県歯科医師会第1回歯科保健賞表彰式は、6月27日午後3時から栃木会館大ホールに於て会員並びに歯科衛生士多数出席のもと行われた。個人の部は鹿沼市の永田都賀子さん、団体の部は小川町立歯利小学校、高根町立阿久津小学校の2校が表彰された。

大塚会長から歯科保健賞を授けた過程経過の説明があり今後歯科保健に対する努力と協力を願う旨の挨拶があり、篠原専務から詳細な審査報告の表、表彰が行われた。

今回贈られたのは県知事賞、県歯科医師会会長賞、栃木新聞社賞、第一生命宇都宮支社賞、宇都宮ヤクルト販売社賞であり、県知事の尻尾の後受賞者代表として栗科小学校高橋平蔵校長より今回の受賞は小川町を挙げての喜びであり今後歯科保健に努力すると謝辞を述べ盛大に第1回歯科保健賞表彰式が閉会となった。



受賞者及びその理由

**団体の部**

- 小川町立歯利小学校  
学校歯科保健の啓蒙普及と向上発展並びに歯科予防の実践に尽力
- 高根町立阿久津小学校  
学校歯科保健の啓蒙普及と保健設備並びに指導の充実化に尽力

**個人の部**

- 鹿沼市上石川979番地  
永田都賀子  
歯科保健の啓蒙普及と地域住民に対する保健の向上発展に貢献

- ◎物 価 銭湯 大人入浴料170円
- ◎映 画 銀河鉄道999、復讐するは我にあり、スーパーマン、ディアハンター
- ◎流行語 えびぞる、省エネ、エガワル、ギャル、たいしたたまげた、天中殺
- ◎流行歌 夢追い酒、おもいで酒、魅せられて、関白宣言

## ■昭和55年（1980）

2月27日 歯科保健指導者講習会 栃歯会館 保健婦、養護教諭対象  
 「幼児から学童期におけるむし歯予防について」  
 栃木県歯科医師会  
 学校歯科委員長 中田嘉之

「よい歯を育てるために」  
 栃歯会常務理事 鰐原悦郎  
 総会 喜楽  
 当り年懇親会 宇都宮グランドホテル  
 中田嘉之出席

### 明生会盛大に開催

恒例の明生会は7月27日（日）・28日（月）に亘り鬼怒川温泉ニュー岡部に於いて会員多数を迎え盛大に開催された。各人受付を済ませ各部屋毎に到着かれ一風呂浴びられた後6時半より懇親会が開催された。先ず大塚会長挨拶に始まり、その中で明生会の先生方の日頃の県歯に対する先輩としての協力に対しその労を稿われた。又大塚会長先生ご自身もこの55年度明生会から会員になられたことを披露され先輩会員から温い歓迎の拍手を受けられた。又歯科界をとり巻く山積する諸問題についてもその現況を詳細に説明された。

続いて岡田正信先生の音頭で乾杯、宴に入った。



明生会出席者名簿（敬称略）

宇都宮 岡田正信、渡辺進蔵、軽部軒治、前田良三、中山光信、和田義郎、鈴木重臣、栗原正三  
 上都賀 福田利示  
 今市 中村孝吉  
 下都賀 関根武治、青木 弘、金井 明、石川良雄  
 小山 藤川 広、高橋友男

足利 渡辺 中  
 芳賀 林 陸蔵  
 那須 武田敏雄、高野福重  
 役員 大塚 禎、遅沢文男、篠原誠一、柳田浩司、大関久磨、高田哲三、鰐原悦郎  
 広報 中山英弥、名取喜久雄  
 今市支部 柴田光雄、湯沢哲郎、大橋朝次郎、柴田 勝、多島 護  
 事務局 山形正之助、坂本浩一



◎出席できなかった会員の方からの近況です。

鈴木喜平（宇都宮）  
 御無沙汰しています。  
 渡辺綾子（宇都宮）  
 今年こそはと思っていたのですが、家を直して  
 おり留守にできませんので失礼します。  
 名取喜代寿（宇都宮）  
 7月26日まで外国旅行中、身体的に無理なので  
 今回は欠席致します。  
 名取喜代子（宇都宮）

同上  
 三木正三（宇都宮）  
 神経痛療養中のため欠席致します。  
 池上武文（宇都宮）  
 あまり身体の調子が良くありませんので遠出に  
 自信がなく誠に残念ですが欠席させて頂きます  
 松島三郎（宇都宮）  
 健康状態もまずまずです。毎日カラ、元気で  
 生活して居ります。  
 石川権左衛門（上都賀）  
 体調を考えながら仕事にはげんで居ります。  
 越路孝七（上都賀）  
 入院加療中ですので皆様によりしくお伝え下  
 さい。  
 田野井重男（今市）  
 毎度お世話様になります。実は6月3日道路に  
 て外傷を受け其の後板室温泉へ行き7月7日帰  
 宅目下静養中央礼申上げます。  
 斎藤 信（下都賀）  
 身体が悪く出席できません。  
 須賀 暁（下都賀）  
 欠席いたします。皆様によりしく。  
 細谷 信（下都賀）  
 健康上の都合に依り欠席します。  
 篠崎菊野（小山）  
 パーキンソン氏病にて東京の病院に入院中です。  
 山崎郁三（小山）  
 皆様とは別にお話できる機会があるだろうから  
 今回は失礼致します。  
 大橋 一（小山）  
 右足の親指痛風と狭心症の為無理せず  
 に暮らして。皆様にお会いしたいのですが失礼  
 します。  
 丹野 豊（小山）  
 2月下旬ギククリ腰で2カ日程寝ました。以後  
 頭がぐらぐらして歩くにも注意が必要なので欠  
 席致します。皆様に宜敷く願います。  
 結城正夫（安佐）  
 都合があり欠席します。  
 谷 鋭三郎（安佐）  
 当日別の会合があり残念ながら欠席します。  
 中里作次郎（安佐）  
 用事があり出席できません。皆様によりしく。

6月22日 衆参両院議員選挙、参議院全国区  
関口恵三931,070票で当選

7月18日 支部定款成立

27日 明生会 鬼怒川温泉ニュー岡部  
福田利示出席

8月1日 梅沢富獄入会 府中町194

9月13日 越路孝七逝去 行年67才

10月4日 有料学術研修会 歯周外科実習

11月20日 川治温泉の川治プリンスホテル  
全焼 宿泊客45人が死亡

学術(有料)研修会開催さる

このたび有料の学術研修会が去る8月と10月に2日づつ計4日間にわたり本会に於て開催された学術委員会では、有料でもよいから、まとまった研修会が欲しいという会員よりの要望に応えるべく、かねてから企画中であったがこの程、日本歯科大学講師の岡本浩先生をお招きして開催の運びとなったものである。

有料の研修会には実は今回が初めてではない。昭和50年に神奈川歯科大学教授の松尾悦郎教授を招いて開かれたことがある。その際は日歯主催の指導者講習会のテーマをそっくり再現して会員に伝達するという形で行われ、数台の有線テレビを使用し、かなりユニークな内容で大受好評であった。その後は企画上の困難もあって行われなかった。

今回の研修会の特徴はブタの標骨を用いたFlap Operationの実習である。研修会というとスライドによる一方的講義の多い中で、講師に人を得たことにもよるものであろうが、実習が加わったことでかなり密度の高い内容となった。

会場を眺めて目立ったことは受講者に若手の会員が多かったことである。開業後間もない先生、又一通りの診療をこなすこれからという先生方の日頃の疑問や悩みをこの研修会を通じて学びたいという、意気込みが感ぜられ、また第2日目のブワークコントロールの実際では衛生士も多数みられ、花やいだ雰囲気であった。

学術委員会では来年度以降も引き続き有料研修会を企画している。向一般会員を対象とした学術講演としては来る11月30日(日)栃木県歯科医学会で電気的根管測定法の発見者である東京医科歯科大杉田今男教授の特別講演「根管治療の考え方ややり方」が予定されているので、日頃の集金などに欠陥し勝ちな若手の会員の多数出席されることを歓迎している。

今回の研修会に出席出来なかった方の為には、岡本先生が「歯習展望」に今回と同じ内容で現在連載中なので併一読をおすすめいたします。

岡本浩治：歯周疾患治療の進め方、歯習展望第56巻第1号(7月号)第2号(8月号)、第3回は第5号(11月号)に以下引続き連載



予定  
おわりに今回の研修会の企画、実行に当り多大の御協力を戴いた日歯大関係の方々には厚く感謝いたします。

岡本先生を囲んで—  
8月30日研修会第1日終了後、午後6時から宇都宮グランドホテルに於て講師の岡本先生を囲んで懇話会が催され、和やかな雰囲気の中で執話、懇話に散会した。受講者が比較的若いところから互に見知らぬ顔顔という会員が多かったため、このような懇話会を持ったことにより第2日以後の研修会がうちを待たぬものとなったようである。

- 一研修会内容—
- 講師 日本歯科大学講師 岡本 浩先生  
 助手 同大学歯科歯科 宮本 浩彦先生  
 同大学歯科歯科 野村 五子先生
- 議題 歯周疾患治療の進め方について
- ◎ 8月30日(土)・8月31日(日)
    - 1) 歯周疾患の成因、組織解剖
    - 2) 診査、診断、マウスコントロール
    - 実習：モリベクション、歯の書き方
  - ◎ 9月4日(土)・10月5日(日)
    - 3) 歯周外科
    - Flap Operation を中心として
    - 4) 根尖感染病の処置
    - 5) Perio-Dental Prosthesis (歯周補綴) 及メンテナンス
    - 実習：ブタの標骨を用いて Flap Operation
- 研修費 20,000円  
 定 員 30名

一研修会出席者 (敬称略)—  
 宇都宮 山口勝正、白石信也、青木良一、吉成、  
 森藤元夫、山口謙久、湯沢五郎、湯沢知子、影  
 信誠、鈴木孝一、堀京ミキ、菊池久、新井春  
 土都賀 小高家、岡本幸宏、村本明、福田貞男  
 鈴木幸雄、新沼勝  
 今 西 飯越達雄、船越八重子  
 小 山 松田泰博、飯野茂

芳 賀 大塚義次、大坪正庄  
 足 利 森下隆行、鈴木悦雄  
 宇都委員 柴田 勝、平田清二、麻野弘郎、西田  
 義春、黒崎弘毅  
 担当理事 横石武則

講師岡本浩氏略歴  
 昭和43年 日本歯科大学卒業  
 昭和43年 東京歯科大学中アングルクリニック  
 昭和47年 ロンドン大学イーストマン学院歯科  
 昭和48年 スウェーデン王立イェテボリ大学歯科  
 昭和52年 日本歯科大学歯科講師

一会員の声  
 「有料研修会をもっと多く」  
 このたびの有料研修会を終るに当り、受講会員のアンケートをまとめた結果は次の通りであった。去り今回の研修会に出席して良かった、収穫ありとする声が多く、受講内容は高いの回答を得た。又講師に対する讃揚の多いの意見があった。又これから更だ研修会の実施を望む声が多く、今回程度の内容(4日間コース)であれば2回以下、実技の不可欠を求めらる声が多かった。



- ◎物 価 週刊朝日200円
- ◎映 画 影武者、ツイゴイネルワイゼン、クレイマークレイマー、地獄の黙示録
- ◎流行語 それなりに、カラスの勝手でしょ、ナウい、トカゲのしっぽ
- ◎流行歌 雨の慕情、ダンシングオールナイト、贈る言葉、昴、TOKIO

## ■昭和56年（1981）

1月1日	手塚正教、国保審査委員に委嘱さる	5月20日	健康大学開講式 保健センター
3月28日	新島 剛、支部長に選任さる	31日	当り年懇親会 宇都宮グランドホテル
29日	支部役員連絡協議会 栃歯会館		新島 剛出席
30日	役員会 喜楽	6月10日	保険小集団指導 埼玉銀行
4月10日	適正配置委員会 西岡寛久入会	7月19日	安佐支部休日急患診療所視察
	について 埼玉銀行	24日	鹿沼市と休日診療所開設について
5月15日	臨時総会 埼玉銀行		打合わせ会



某月某日

今年の4月で臨床歴が10年になるうとしています。開業以来予約診療制を採用して居りますがなかなか時間通りにはいきません。毎週金曜日の午前中は就学前の乳幼児の診療日

となって居りますが治療室内は比較的平静で他の曜日と比べて予約時間通り順調に午前の診療を終ることが出来ます。

開業当時は、特に乳幼児の時間を決めずに任意に治療しましたが、なぜか大人の間だと号泣されて（腕も未熟だったかな…）1時間も何も出来ず困った事が幾度もあった次第です。それが良く出来る子の間にサンドイッチにすると、お互いに競争心を発揮するのか大人顔負けの頑張り様、先生どうもありがとうと言いながら治療イスから降りて母親の元に行く後姿を見ると、治療時大きく見えた子がこんなに小さかったのかと不思議に思う事さえあります。治療が比較的容易に出来るようになった裏には、衛生士さんによる定期的な口腔衛生指導管理とサハライドの処置管理が乳幼児の歯科治療に対する恐怖心を除去し治療の導入に好結果をもたらしている事だと思ひながら午前の診療を終えた。

昼休みに請求したレセプトが戻って来た、旧記号との事、患者さんに電話すると、勤めも変

ってないし保険者証の書替えだけなのでそのまま良いと思って申し出なかったとの由。そういえば、これと類似した例で、勤務先が変わってもすぐに保険者証が発行されないため持って来られないし保険に入っていることには変わりないのだから関係ないと思っていた、等々、こういう例が時々見受けられる。確かに各医療機関で毎月保険者証の確認をすることが義務づけられているのだから、再確認を怠った点仕方がないのですが、結構患者さんが申し出る事を全然知らないというケースが多い事に気が

付きました。保険者証を良く調べてみたが、どこにも変更した場合医療機関に申し出る指示がないのです。その点、私たちの一方的な手落ちとして扱われるだけでなく、保険者証を発行する側も被保険者に十分指導するなり、保険者証を発行する際「医療機関で受診している場合はすみやかに保険者証を医療機関に提示して下さい」等を保険者証の注意事項欄に付記するか又は、別紙に記載して頂ければ私達も助かるのと思ひながら午後の診療を始めた。

午後は、2時から3時30分迄は大人、以後は学童で忙がしくなる。6時に診療が終って、夕食をとる早々疲労が出て9時迄眠ってしまった。風呂に入り1時頃迄本を読む。今夜は頭がさえて眠れそうもないのでブランデーを少々チビリチビリ飲む

上都賀支部編集モニター  
岡本全宏

午前

午後



S56.5.31 当り年懇親会 宇都宮グランドホテル

- |           |                                |        |                       |
|-----------|--------------------------------|--------|-----------------------|
| 7月26日     | 明生会 鬼怒川温泉あさやホテル観山館 菊地貞造出席      | 11月18日 | 玉井克典入会 鳥居跡町1420       |
| 10月10~11日 | 有料学術研修会 栃歯会館                   | 29日    | 栃歯学会 栃歯会館 駒橋秀光、中田嘉之発表 |
| 14日       | 知事表彰 鰻原悦郎 衛生大会長表彰 菊地貞造 栃木県教育会館 | 12月13日 | 税務講習会 講師 河原邦彦         |
| 11月       | 福田貞男退会 下都賀支部へ                  |        |                       |
| 11月5日     | フッ素イオン導入 保健センター                |        |                       |



○月○日

午前中、来院する患者は老人ばかり。親父と共に仕事をして早2年が経過した。今日は俺の出番はないなとしよぼんとする。親父は無口である。しかし診療所内では多弁であ

る。屋号から始まり家族構成全ての戸籍調査が終わってから義歯の印象に移る。「先生、これは20年前に作ってもらったんだけど、最近あんばいが悪くなったんだよ」という患者の声が聞こえてくる。「俺は下手だから上手い人に診てもらっとくれ」と親父が言う。ああ、よかったな親父と診療が一緒にできてると思う。そのうちにハエが止まりにくい人が来院、「先生、やま鳥喰ったら散弾銃の玉を咬んで歯がぶっかけて痛くてしょうがねえんだよ」いよいよ出番である。「今はいいな、時間通りに終わって飯が食えるからな」口癖である。

昼食後、親子共に仮眠する。息子常に1時15分すぎ迄診療室に出ない。料理番組をみる。午後1時、親父一人である。実直、仕事一筋。息

子多趣味、好飲好食、少しサボリ気味。学校検診も終り、小、中、高各種取り混ぜて待合室にやっと入れる程来院、診療室内を駆けずりまわる。午前と打って変わって生々とする。忙しい中にも思い出すのは、今は亡き医科歯科大学第二口腔外科の小幡先生の言葉である。「僕はね、診断学は叔父貴に教えて貰ったんだよ。叔父貴は開業医なんだよ。今の僕があるのは、その御陰なんだよ」僕も足掛8年程大学の医局員

生活を送った。身に染みて感じている。開業も大学も生きていくのは大変であることに変わりはないことを。

3時、お茶、しばし休息、親父ちょっと長い仮眠に入る。明治と昭和にはさまれて日夜頑張ってきた親父、長生きしてほしい。

現代の厳しい歯科医の立場、行政、マスコミの攻勢、商売人でないという反面、商売人であると扱う税務署、馬車に白菜を積んで来院した患者を懐かしがる父。見えない明日を見たいと思う子。三代目？が、「ごはんだよ」

今日も一日が終った。



上都賀支部

広報編集室員 村本 明

◎物 価 都バス初乗り 大人130円

◎映 画 泥の河、駅STATION、エレファントマン、ブリキの太鼓

◎流行語 ぶりっ子、るんるん、なめんなよ、ハチの一刺

◎流行歌 ルビーの指輪、ギンギラギンにさりげなく、長い夜、もしもピアノが弾けたなら

## ■昭和57年（1982）

1月31日	青木達三郎逝去 行年84才	4月1日	佐川徹三入会 寺町1346
2月21日	当り年懇親会 宇都宮グランドホテル		菊地 香入会 東末広町1934
3月27日	総会 御殿山会館	9日	鹿沼地区休日急患診療所開所式 万町
28日	支部役員連絡協議会 栃歯会館		4月11日(日)より休日診療開始
	各支部の入会金について	5月1日	箱島光一入会 上野町303 鈴木歯科
		29日	臨時総会 プール制について

### 第8回支部役員連絡協議会開催

③ 各支部の入会金について伺いたい

.....下都賀支部

提案理由（高際先生説明）

57年度の各支部の入会金をお知らせ願いたい。地域により差があるのは仕方ないとしても隣接支部とのバランスのとれた入会金にしたいのでお知らせ願いたい。

○宇都宮市歯科医師会

個人50万円 医療機関150万円

2人目は個人分だけでよい。2人目他の場所へ出た時は50万円、分院は150万円

○上都賀支部

入会金100万円 直系2人目負担なし。相続の場合はそのまま引き継ぎ入会金なし。

全く異なった土地に開業若しくは分院は100万円

○今市支部

4月1日から個人入会金30万円、医療機関70万円、2人目15万円、分院70万円個人入会金なし。

○小山支部

医療機関100万円、個人20万円、2人目20万円のみ。

小:市地区に分院を設置する場合は新入会と同様取り扱いをする。他支部からの場合も分院と同じ取り扱い。

○安佐支部

入会金50万円、2人目10万円、会館負担金25万円、分院は新規開業と同じ。

○足利支部

医療機関90万円、個人10万円、計100万円。

○芳賀支部

入会金10万円であるが4月に額を上げる。

○塩谷支部

入会金100万円、2人目50万円

○那須支部

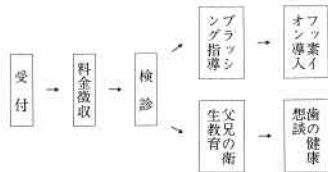
入会金50万円、2人目20万円

### 上都賀支部

#### 昭和57年度フッ素イオン導入

昭和57年フッ素イオン導入は、6月24・25日の2日間、鹿沼市、鹿沼市教育委員会との協力をえて、鹿沼市の保健センターを会場に市内の小学校1、2年の希望者を対象に午後1時より行なわれた。

実施方法は次のようである。



第1日目は570人がフッ素イオン導入を受け、最初に検診を受けた後子供達は、衛生士によるブラッシング指導を受けそれから、フッ素イオン導入を受ける。

父兄は、映画などによる、口腔衛生教育を受け、その後希望者は歯の健康相談を受ける。

尚、会場には、むし歯予防のポスターと、標語の優秀作品が展示された。さらに、第1回の歯科保健大賞を受けられた、永田都賀子さんより寄贈された、パネルの展示も行なわれ合わせて、永田さんに上都賀歯科医師会から、パネルの御礼と感謝の意を表し賞品と賞状が当会場にて授与された。

第2日目は児童503人が受け、1、2日合わせて、1,073人がフッ素イオン導入を受け好評のうち終了した。

歯科医師会側も、衛生士や助手、市、養護の先生、教育委員会の協力により、今までになく、誘導その他、スムーズに事が運んだ感じで1年1年充実してゆき、住民に対する予防の啓蒙がなされた事を喜ばしく思っている次第です。これからも増々の努力をするつもりである。

歯の健康相談には、2日間45件の相談があった。その内容は不正咬合の相談が多く、次に慢性疾患の処置について永久歯の萌出時期等であった。

歯の知識についてのバラつきが地域によって見られ知っているようで知らないという傾向が見ら

れ、正しい歯の知識を与える事にもう少し歯科医師会側も努力しなければならない感じがした。

歯科医師会フッ素イオン導入の出席者は、歯科医師18名、衛生士15名、助手24名、計57名、延101名、市の保健担当3名、教育委員会3名、養護の先生17名

(上都賀支部 村本 明記)



S57.7.11 明生会 菊地 福田 鬼怒川ホテルニュー岡部



6月23日	東北新幹線 大宮～盛岡間開通	7月14日	第1回市民健康大学 保健センター
24～25日	フッ素イオン導入 保健センター		講師 岡本全宏
7月1日	田辺 章入会 坂田山町2-53	8月1日	茂呂 兀入会 仲町1595
11日	明生会 鬼怒川温泉ホテルニュー岡部	31日	新入会員研修会
	菊地貞造、福田利示出席	10月7～8日	支部旅行 鬼怒川温泉ニュー岡部
		12月19日	学術講演会 御殿山会館

## 兵庫県の若いT先生に

上都賀支部 駒橋 秀光

顎咬合学会のテーブル・クリニックに私達の行ったパントグラフ・トレーニング・コンピューティングを見て下さいまして感謝して居ります。

私が咬合学を日常臨床の中に採り入れた歯科診療をしたと志したのが20年前で、大分時間が掛りました。最初は一本の歯牙を補綴修復するのに全顎を印象採得して、咬合器につけて技工をして貰うのは馬鹿げて、経済的にもったいないと思っただけで居りました。それが全顎をいつも印象採得するようになってから、咬合学を考えるのが当たり前になって来ました。

20年近く家内にアンタル・コンサルタントになって貰って、①全顎X線写真、②スタゲイ・モデル(必ず黄色か茶の硬石硬を使う)、③P・K・トーマスの3点接触のある全顎模型、④私の所で過去にやったリハビリテーションの前前、後後のスタゲイ・モデルを用意して、咬合の重要性を説得し続けて参りました。一時間から二時間近くかけて患者が納得するまで話し合っただけで、中途半端な話し合いは誤解を誤解のまま終わってしまうので、じっくり話し合えないとならないのです。家内に患者さんに話して貰う前に私が家内におかそう充分説明、納得して貰います。

患者さんは現実には話をわかって呉れても、経済的な面で御理解できない人も大分ありました。多くの中傷もあり挫折感もありましたが、口腔一単位の診療を貫こうと努力致しました。前歯金冠の隣在歯がメタルボンドであったり、パケツ記の隣在歯が鍍金冠だったりするのは、どうしても私には納得出来ません。患者さん自身には直接見えぬから、教養と同じで感じない方がいるのです。調和を訴えるべきだと思います。そんな訳で且つは予約制度でしたが、約束制度にしました。一人の患者に二時間も三時間も掛ることがあります。エドを両歯近く懸命にやるとすぐ時間がたつてしまいます。それ位時間をかけても、六箇月から10箇月近く掛ってしまう事が多いです。終わる時は、打ち上げをしたいような、淋しい気持ちになります。

口腔一単位の診療は長時間掛るので、経済的にはあまりよくありません。経済的にのみ考えたら全く理解出来ないと思います。だから主婦がその必要性和重要性を理解しないと実行不可能です。それに全従業員が理解しないとい用泊に行きません。歯科医一人だけの力では到底口腔一単位の診療は出来ません。

患者さんは今までの習慣で「この所だけ治して下さい」と言います。「私はそういった方法が、咬合の為に良くないのでやしません」という会話があって100人の初診の患者さんがあっても最後までやらせて呉れる人は10人近くなくなってしまいます。殆どの患者さんは咬合の重要性は話し合おうと歯科医以上に理解を示して呉れますが、診療費はあまり出してくれないのが本音でしょう。患者さんに理解して貰うのに大分時間が掛りましたが、最近はややく理解して下さって、紹介して下さる方も増えて来ました。

私の所は父がこの地に開業したのが大正三年(1913年)で70年目になります。土地も家も父から受継いだものなので地代や家賃はかかりません。借金も出来るだけ少くして居ります。借金が多くと、利息に追われて自分の信ずる仕事を行う余裕が無くなってしまいます。

日本はインドもヘリオも自分でやらなければなりません。早く補綴修復には入れません。インドやヘリオに力を尽くしていると6箇月近くかかってしまいます。お金が動かせないので豊かではありませんが、3人の若いテクニシャン、2人の衛生士、1人の助手、受付と居ります。スタッフ一同で往・夕飯と一緒にたべるので、2人の食事係を頼んであります。ですから経費が安いぶんかかりますが人間関係にはよいようです。暇い、豊かな食事係は自分の若い人には慰めとなります。

自分の理想とする、信ずる咬合のハターン・オルガニック・オクルージョンを伝えるには様々な家庭における環境は仕方がないと諦めて居ります。

昔成る先生が、一日何人診るかという事ではなくて一日何歯を完全に治療させたかという事が大切だと言われた事が頭に残って居ります。又成る先生は自分の持ち物、財産をすべて、歯科医に賭けなければと言われた時、自分にとって、ショックだった事を記憶して居ります。

私の周囲で自分の仕事に熱心な人を見ますと、あまり豊かな人は居りません。といつて貧乏でどうにもならないということはありません。それらの人々は全力を挙げて仕事にぶつかって行くというタイプで、お金を貯めるなら、咬合器を、ME器という事になって参ります。

若い頃から、患者が私に何を求めて来院して呉れるのか真剣に考えました。私がいくつ原史学の勉強しても、文学書を読んでも、政治に携わっても直接には患者さんに役に立ちません。義歯が上手に出来、クラウン・ブリッジが高くも低くもなく、なんでもたべられる。ヘリオを治せる技術がある。根充は加圧根充して死腔を無くして根尖に

まとめ、管理等が正確に上手に早く出来るようにすることが大切です。どんな歯牙に対しても全力を挙げて残すように努力し、自分の持っているすべての力を動員して、一人一人の患者に取り組むことが強さかと思えます。病果を作ることは絶対に無い、歯科技術を観察することが患者に役に立つのだと思えます。

一日も怠たる事がない、歯科学の勉強と、観察患者さんはこう思うだろう、ああ思うだろうと考慮した積りでも結果が悪ければ信頼して呉れません。誠意を持って患者が嫌がるF・O・Pも鬼手伝心の心構えでやるべきだと思います。患者さんを見て納得して貰って痛くないよう手術してやるべきです。誠意してやるべき事をやらないのはよくないと思います。

最後に最近の傾向として補綴修復はしない方がよいのだという声がよく聞かれるようになりました。フラー・コントロール、初期齶蝕の撲滅、初期ヘリオにおける、イニシアル・プレハレーション等、歯牙を削らない、きわらないというのが一つの潮流のように思われます。私も正論だと思えます。いくら動揺してもフラーとえ完全に排除出来れば測定する必要はないというが、日本人はそれ程完璧にブラッシングして呉れるでしょうか。日本人の一般の人の生活習慣の中に未だ、ブラッシングが完全に根をわろして居りません。予防だけで歯科医が成立する医療体制が確立して居りません。補綴修復は一切やらないで、予防だけでは残念ながら歯科医業が成立しないと思えます。技術の遅れている、良心的でない歯科医の補綴修復の再治療補綴をいつもやらせられています。補綴修復の技術を高めながら、これらをやらずにやれたら素晴らしいと思えます。補綴の時代を終らせるべきでしょう。

幼時の時から登録して貰って一人の患者の咬合を正しく誘導し、ブラーク・コントロールの習慣をつけさせ、将来全く虫歯にも、ヘリオにもさせないで済むという管理医療を自分の診療所に確立出来たらと夢を画いて居ります。

剣の道ではありませんが、猛烈に修業して剣の道をきわめ、そして剣を抜かないという達人のように私もなりたくて日夜努力して居ります。

◎物 価 東京大学授業料21万6,000円(年間)

◎映 画 蒲田行進曲、さらば愛しき大地、アレキサンダー大王、炎のランナー、E.T

◎流行語 ほとんどビョーキ、逆噴射、ネクラ、気配り、心身症

◎流行歌 北酒場、聖母たちのララバイ、シルエットロマンス、待つわ、チャコの海岸物語

## ■昭和58年（1983）

- |       |   |          |                          |
|-------|---|----------|--------------------------|
| 2月3日  | 新年会 喜楽  | 4月7日     | 県立鹿沼東高で第1回入学式            |
| 3月26日 | 総会 新島 剛支部長に選任さる<br>プール制承認可決さる（校医手当を会費としてプールする制度）  | 18日      | 学校歯科医グループ検診開始            |
| 4月1日  | 鈴木節雄入会 茂呂上原2209<br>笠原昭二入会 上石川字植竹1526-52<br>笠原紀子入会 上石川字植竹1526-52<br>石崎 誠入会 東町3-4-9<br>菊地 均入会 東末広町1934<br>鰐原悦郎 栃歯会常務理事に就任 | 6月24、25日 | フッ素イオン導入 保健センター          |
|       |   | 29日      | 市民健康大学 保健センター<br>講師 小高章愛 |
|       |   | 7月9日     | 保険講習会 御殿山会館              |
|       |   | 16、17日   | 学術研修会 御殿山会館              |
|       |   | 8月19日    | 学校研修会 市役所302会議室          |
|       |   | 9月13日    | 昭和58年度歯科保健指導者講習会<br>栃歯会館 |

### 上都賀支部学術研修会

本年度の上都賀支部学術研修会は、歯周病及び救急蘇生法の実践について、各々七月と九月に講義及びデモと実習を行なう研修会が予定され、またビデオによる研修討論会が数回と、盛りだくさんの学術研修会が予定されている。

今回は、その第1段として、口腔の健全なる保全のために奮闘努力している我々にとって、日々直面している最も普遍的な疾患の一つである歯周病をとりあげ、その基礎・臨床・メンテナンスについて、講師に東北歯科大学篠田登教授を招いて、去る7月16日・17日の2日間にわたり、御殿山会館にて講義と実習を行なった。

研修内容（講義及び実習）は次のとおりである。  
講師 東北歯科大学教授 篠田 登先生  
テーマ 歯周病と歯周外科手術

第1日 7月16日（土）  
歯周組織の構造と病変、歯周症の診断と治療方針、歯周症の治療とメンテナンスについて終日講義と質疑応答を行なった。

第2日 7月17日（日）  
歯周外科手術特に小帯切除術、歯肉切除術、歯肉剝離掻爬術等について、講義を行なった後、豚の下顎を用いて、実習を行なった。豚の下顎の気味悪さと異臭にもめげず、充実した研修会となった。

7月16日研修会第1日終了後、「石ばし」にて講師の篠田教授を囲んで懇親会が催された。なごやかな雰囲気の中で談話、盛会のうちに閉会した。

参加者氏名

新島 剛、福田利示、梅沢 明、梅沢富雄、菊地貞造、菊地 香、菊地 均、駒橋秀光、鰐原悦郎、高橋道子、中条佐智子、金子智英、村本明、岡本全宏、小高章愛、中田嘉之、佐川徹三、鈴木節雄、箱島光一、笠原昭二、笠原紀子  
（上都賀支部 菊地香記）



昭和58年度 歯科保健講習会

### モニター通信

#### 鹿沼秋祭り

広報編集モニター  
上都賀支部 佐川 徹三

秋も次第に深まりを見せ始めた10月9日、10日の両日、鹿沼では今度神社の秋季例大祭が行なわれた。本年は市制施行30周年ということもあり、19台の彫刻屋台及び花屋台が繰り出し、又15年ぶりに神輿の御遊幸が復活した。

そもそも、鹿沼の彫刻屋台は東期宮造営の影響を強く受けており、その数においては都県第一と謳われている。（総説34頁）

緻密な彫り物の中に観衆人のためまじき、氣遣を絶め、新しいゾウの彫刻に彫り物師の巧みが上み出ている。又花屋台は比較的新しいもので、彫刻屋台に比べ華麗である。

彫刻屋台→木村→木工→彫刻、インスピレーションゲームではないが、赤には非常に関係の深い鹿沼市である。

江戸時代は日光御座街道（現在の国道299号）沿いの宿場町として栄え、現在の市制は昭和四年十月施行され、その後昭和九年に現在の市域を合併し今日に至っている。

鹿沼市は現在人口約8万7千の前述したように木村木工を中心とした産業都市であり、軍は10年ほど前まで宇都宮市が雄た、西は嵐丸町野宮東

・東北に崇拝者の多い高峯神社が鎮座し、浦は関東平野、北は男体山を中心とした日光連山がそびえ立つのが一望され、栃木県中央部の都市として、豊原の一途を辿っている。そして市制施行に合わせ例大祭も10月9日・10日に行なわれるようになったのだが、その両日、古例により町内の若衆が各々専用の祭り衣装に身を包み祭り囃子にやし立てられ神社への繰り込みから町内の引き回しと、威勢のいい掛け声よく行進し、御座山に上り夜遅くまで続くのである。

又「おっつけ」と言って屋台引き回しの際、2台以上の屋台が道路の上向き合って囃子の繰演を行う事があるが、相手をいかに打ち負かすか、若衆の威勢と共に観衆も興奮し、秋祭りには最高潮に達するのである。

とにかく祭りを行進よくおとなしくやるものではなく、多少荒々しくても是れもあって祭りの中に没入した方が面白い。

ただし日曜に際して引き回す訳であるから、大の大人でもかなりきついが、その特力の源になるもの一つに酒があるようだ。暑熱状のない人でも酔ふとおおっている人がいた。

日本中いたるところに祭りはあるし、どの祭りも輝煌があって優越つけがないが、鹿沼の彫刻屋台も狂歌で素晴らしいと思う。

とにかく一生懸命祭りに参加して酒を飲んで酔心がつらなる。祭り男衆になる。それだけで祭りはいいと思う。かくいって私もその一人である。



9月15日 終身会員（70才以上）6名に  
慰労金を贈った

17日 学術講演会 休日診療所

10月5、6日 支部研修旅行 鬼怒川温泉ホテル  
ニュー岡部 地区別保険講習会

15日 第1回福祉大会ボウリング大会  
鹿沼パークレーン

10月18日 鹿沼税務署長より校医手当を会  
費として納入する場合の税法上  
の取扱についての回答書届く

10月29日 第1回成人病検診実施 独協医大第2内科  
30日 栃歯学会 栃歯会館 駒橋秀光発表

11月1日 川治ダム（藤原町と栗山村にまたがる）完成竣工式

12月28日 緊急理事会 御殿山会館 校医  
手当（鹿沼市分）均等化について

**第1回上都賀歯科医師会  
ボウリング大会開催さる  
上都賀支部**

秋もすでに深い10月15日(土曜日)午後3時より、鹿沼パークレーンにおいて、第1回上都賀歯科医師会ボウリング大会が開催され、参加者も105名を数え盛況の内に終了した。

このボウリング大会は、今年度より実施されている校医手当のプール制導入によって、歯科医師会の協賛結核並びに歯科医師会の総務を図ることを主旨に医療管理委員会によって企画されたもので当日は和やかな雰囲気の中にも、多数の賞品の豪華戦が繰り広げられた。

当日の得点方式は3ゲームトータルであり、女性には1ゲームにつきハンデ20、60才以上の方にはハンデ20、50-60才の方にはハンデ10が与えられた。団体戦(歯科医院対抗)並びに個人戦が行なわれた。眞団体戦は歯科医院の参加者の上位3人のトータルで決められた。

団体戦(歯科医院対抗)順位	
優勝	小林 歯科医院
1位	村本 *
2位	石崎 *
3位	駒橋 *
4位	鈴木 *
5位	中田 *
6位	川人 *
7位	藤原 *
8位	佐川 *
9位	田辺 *
10位	みどり *
11位	岡本 *
12位	吉野 *
13位	藤田 *
B・B	小高 *
B・B	新高 *

又個人戦は優勝、準優勝、1位-10位、並びに11位-100位までの並び賞、B・B及びB・Cに各賞品が贈られた。又選にもれた参加者全員にも、各々参加賞が与えられた。

大会終了後、19時30分よりパーティー会館において懇親パーティーが開かれた。上都賀支部長より「今回上都賀歯科医師会の総務を兼ねたボウリング大会が開催された事は、プール制を基盤にした歯科医師会相互の協賛結核した力による賜であり、今後も医療福祉に基いて更に上都賀支部が活躍することを祈念致します。本日はお忙しい中を多数御出席下さいまして本当にありがとうございます。」という挨拶の後、支部長先生夫妻による贈品の総務も実行され、上都賀支部の議長の勇退と先生のお引退の首領でパーティーへと移った。その間、今年度の幹事である小高孝生先生より団体戦賞、村本明生先生の個人戦賞品が行なわれ、支部長先生より各賞品が授けられた。

喜びも身体中に表れている人、がっかりしている人、希望の眼差しで見ている人、悲観でもごもごも言った所だが、賞が一つになって、このような催しを行ったという喜びは、参加者の間一つ々に如雷に伝わっており、パーティーはいやがままにも盛会となった。

今後も歯科医師会相互の一致団結によるゆるゆるの事業に邁進し、上都賀歯科医師会が更に充実、発展していくことを期待する。

(上都賀支部 広報モニター  
松川健三 記)



S58.10.15 ボウリング大会



福祉大会 囲碁 蝦原先生

- ◎物 価 山手線初乗り運賃120円 東京-大阪間運賃6,600円
- ◎映 画 戦場のメリークリスマス、樽山節考、ソフィーの選択、ガンジー
- ◎流行語 おしん、辛抱、いいとも、タコ、ロンヤス、不沈空母
- ◎流行歌 矢切の渡し、越冬つばめ、釜山港へ帰れ、さざんかの宿、氷雨

■昭和59年（1984）

1月20日	斉須わか子入会 西方村大字 金崎334(平成6年西方町)	4月1日	新島康夫入会 久保町1699 福島隆夫入会 上材木町1835
2月2日	税務説明会、保険講習会、新年会	5月1日	木村立男入会 奈佐原町337-3
19日	当り年懇親会 宇都宮ランド ホテル 福田利示、畑 二郎、 茂呂 允出席	6月2日	総会 保険講習会 御殿山会館
3月15日	市川市保健センター視察	29,30日	フッ素イオン導入 保健センター
31日	総会 御殿山会館	7月11日	市民健康大学 市役所302会議室 講師 金子智英
		21日	移動編集会議 古峯ヶ原 迎賓館
		26日	工藤元宏逝去 行年62才

### 支部だより

#### 市川市の予防活動状況を 視察して 上都賀支部

上都賀支部では、春淡く風もまだ冷たい3月15日(本曜日)、市川市の予防活動を視察した。当日は予定以上に恵まれ、市川市役所前を午前8時にバスで出発し、談話室に到着した。到着後、4時40分には市川市に到着した。

今回の視察は、全国の歯科医師会の中でも予防関係に、実態的かつ積極的な活動を行っている市川市歯科医師会を視察し、少しでも地域予防に役立てようとする委員会が企画したもので、参加者も総数20名を数え多岐の取組及び反響も見出し、有意義なものであった。

最寄駅は国鉄本八幡駅近くの市川市保健センターであるが、鉄路予防の市民の健康づくりを推進する為の施設サービス施設であった。



午後1時より、会議室において市川市歯科医師会の若原専務理事より市川市側の出席者の紹介とまじに上都賀支部側のご紹介の後、両支部の会長の挨拶があった。

市川市出席者名  
 福村 馨女史 伊藤 正弘副会長  
 津田 隆雄会長 若菜 仁専務理事  
 藤野 裕恵専任保健師  
 加藤 智士歯学部歯科委員長  
 藤田 栄幸歯科係長

〔付記〕開会時に小沢保健センター両長挨拶。  
 又誕生士2名が上都賀支部の衛生士と座談会の為出席

上都賀支部側  
 歯科医師会  
 歯科医師 高島支部長、駒野副支部長、岡本副支部長  
 余子、中田、小高、村本(明)、安地、酒本  
 直江市 大久保健康衛生係長、大賀保健婦  
 野野町 広野予防係長、徳郎  
 西方村 相野井保護手防係長

衛生士  
 藤崎、中田、若口、金子、佐賀、石田、菅沢、眞田、荒井、菅林、安生、設楽

まず、藤野専任理事より、市川市歯科医師会の衛生事業並びに学校歯科保健の説明があった。

(内容は、多岐に渡る為項目のみ列記)  
 1. 市川市歯科衛生事業  
 1)むし歯予防大会  
 2)1歳6ヶ月児の歯科健康調査  
 3)3歳児の歯科健康調査  
 4)母と子のむし歯予防教室  
 5)母親学級  
 6)母子歯科健康相談  
 7)保育園、幼稚園、小学校の歯みがき指導  
 8)保育園、幼稚園、小学校の歯科健康調査  
 9)学校保健活動への参加促進



10)休日急病歯科診療  
 11)成人歯科健康相談  
 12)食後に歯をみがこう運動

2. 学校歯科保健  
 1)歯の衛生週刊行第一号としての普及表明  
 2)口腔衛生管理運動  
 3)口腔衛生管理運動  
 4)歯垢予防対策  
 5)学校保健委員会推進  
 6)歯科保健指導者研修  
 7)市川市児童生徒保健研究会協力推進

次に、保健センターの橋本専務副支部長より保健センターについて説明があり、続いてセンター内を見学した。

その中で最も感銘を受けたのは、1階から3階まで十分なスペースをとっているばかりでなく、



診療室が充実し通達し、本気で診療中の市民の健康づくりを多岐にわたる活動とあるという点で、このは歯科保健の先人のあり方、行政サービスの理解の深さを確かに感銘した。行政サービスの理解の深さを確かに感銘した。行政サービスの理解の深さを確かに感銘した。

又、その活動の中で大きな成果をあげている衛生士が活躍していることが、皆市川市つまり市川市に属しているという点も特筆すべきである。〔以下要約した内容の衛生士が、各町町に勤務している点である〕

小1時間間の見学の後及び昼食後及び昼食後がたまたまが過ぎた。真向が安らぎ、且つ日曜日である。その中で、研修会での「私と日曜診療」である。それについて、専門家を踏まえて他職種との協力するが基本の各専門職の中にある。しかし、公衆衛生事業は、あくまでも行政機関に属するものであり、それに対しては歯科医師会、口腔健康を守るという立場であり、行政に働きかけ、その協力を得ようとする、10年前より現在の形に発展してきたものであり、そして事業を行う場合は、審判に準ずるように行うが歯科医師会に委ねてもらい、それについては審判期間(1-2年)おわいていきますというお話しが、特に印象的であった。

ところで、市川市歯科医師会のエネミーシップを活動は数々多岐にわたる活動は、公衆衛生事業そのものについては上都賀支部も通じていけるものがあるという点も感銘したのも、事実である。

保健士 公衆衛生を担う、市川市に属した市民が健康の為に歩むことも感じ、これはまたたきまに過ぎ、視察に到着した時は午後8時をまわっていた。

今回の視察で、行政との意思の疎通の大切さ、歯科医師会の地域力や必要性を改めて認識した。それに加え、各々の地域の歯科医師会の交流がいかに大事なことか、つまり1日の中の視、大層な知識、とらなれないこと、予防関係のみならず色々な面で歩むことになることなどがわかった。

今後も上都賀支部の予防委員会、熱心に公衆衛生事業を行っている歯科医師会と活動、視察する予定である。  
 それは、これは地域市民の健康推進に役立つものであるからである。

上都賀支部 編集センター  
 佐川 謙三記

### 第1回 宇都宮・上都賀・今市三支部共同 学術研究会開催される

去る10月7日(日曜日)午後1時より栃木県歯科医師会共催の宇都宮・上都賀・今市三支部合同による学術研究会が、竜聖川のホタル「松や」において開催された。

講師 日本歯科大学第二輔修学助教授 稲葉 賢先生

テーマ「オーメス・クロロニについて」

1. 開会挨拶  
 宇都宮支部副会長 宮嶋 豊先生  
 前、宮嶋先生は所用の為欠席され、代理として宇都宮歯科医師会監事の青木先生が挨拶

2. 主催者代表挨拶  
 今市支部長 湯沢 哲朗先生

3. 副幹事及び閉会挨拶  
 上都賀支部長 藤島 剛夫先生  
 司会 今市支部 藤光生 雅先生

今回の三支部合同学術研究会の開催のテーマとなったオーメス・クロロニは、細菌学から生じるように一つの流行の媒介があるがその本質を正しく理解する事に重点が置かれ、診療及び治療手順、製作用手、更にインプラントにも至るまでスライドを交えての講演が行われた。

その中で、またまたパラスチンクターの一掃持参としてオーメス・クロロニを出席する事、言い換えればP-Dの総合的な設計の中でオーメ

ス・クロロニを正しく活用する事が強調された。

研究会終了後、午後6時より稲葉先生を囲んで懇談会が開かれた。まず出席者による記念撮影。栃木県歯科医師会会長大塚先生からの挨拶、講師の稲葉先生からの挨拶の後、上都賀支部・藤島副支長の乾杯の音頭が始まった。新しかった「松や」心算の料理に舌鼓をたたいた。終始ごのめな雰囲気、所々で議論協議、三支部の先生方が一つになり、最後に宇都宮歯科医師会専務理事の池上武正先生による干杯で、宴会のうちに閉会した。

宇都宮・上都賀・今市三支部合同による学術研究会は今回が第1回目という事もあり、不慣れな点もあったのではないかとと思われるが、次回より更に充実することを期すものであり、又塚会長の挨拶の中にもあったように、合併制や歯学会を中心とする歯学上の面を語ることを新案として結びとする。

出席者名  
**宇都宮**  
 青木孝、小野清樹、半田英一、正岡博、半田雄、藤島剛夫、名取喜久雄、池上武正、岡田正廣、池田成信、田中勝、本三紀、菅林一樹、金澤三恵、渡辺武夫、森田裕紀、安田昭、崎谷英一、八木沢秀英、長正英、有坂隆一、大坪正則

**上都賀**  
 新島隆、菊地清、福田利示、藤原伸郎、小高章孝、岡本幸治、中田誠三、村本明、佐川謙三、菊地孝、稲光一、鈴木節郎、原田正三、安地孝、木村立男、前島康夫、福島隆夫

今市  
 菊田典雄、田野野重、太田正夫、湯沢哲郎、佐々木友、宮川昌雄、田野井清、太田信典、多田隆、尾西ミキ子、宮川洋、鈴木和久、黎田隆、船越進雄、福田新一、宮本二郎、木村元一、小林幸雄、大島千枝、星利部富太郎  
 星利部富太郎と地上支部より数名の先生が講演されたことを付記する。  
 (上都賀支部広報モニター 佐川 謙三記)




8月22日	学校歯科研修会	保健センター	10月7日	第1回三支部（宇都宮、上都賀、今市）合同学術研修会
9月12日	知事表彰	新島 剛		鬼怒川「松や」
		衛生大会長表彰	福島 茂	休日診療所
15日	終身会員（70才以上）6名に対し	慰労金贈呈（第1回）		万町「旧保健所」から「市民文化センター」に移転
10月1日	30年間有料だった「日光いろは坂」無料となる		13日	ボウリング大会
			11月4日	鹿沼パークレーン
			12月1,2日	学術講演会
				厚生年金センター
				講師 大谷 満
				支部研修旅行
				山梨

### 上都賀支部学術研修会開催

昭和59年度上都賀支部学術研修会が、去る12月4日、世界的にも著名な大谷満先生を招き、厚生年金センターにおいて行われた。

- 開会挨拶及挨拶
  - 上都賀支部学術研修会会長 新島 剛先生
- 講演紹介
  - 上都賀支部学術研修会副会長 駒橋寛光先生
- 開会挨拶
  - 上都賀支部学術研修会会長 岡本全宏先生
  - 支部 上都賀支部学術研修会副会長 中島直之先生

—講師及び講演テーマ—  
 大谷内田療法研究会主任講師  
 日本歯内療法協会会長 大谷 満先生

#### 「歯槽膿腫におけるハイスピードテクニック」

今日の講義内容は支部副会長の駒橋先生の研究室によるもので、前日から来賓された大谷先生は歯内療法の見識のごとく、熱心にそのテクニックについて講義されたが、聴く方も耳にも留まらず、ビデオでも見、スライドでも見、至るまで聴き、前席の先生達にもお話を伺った。その後は正座して講義を聴き、講義が終わると、大谷先生に「先生の講義は非常に興味深いです。先生は歯内療法の見識が非常に高いので、先生は先生らしい講義をしてください」とお礼を言われた。

その中で、ブルーレイ・プロジェクトの講義、つまり歯科に対して、上野動物園に大谷先生、下部講演では組織法が必要であること、歯内療法に関心がある人に対しては、先生は先生らしい講義をしてくださいとお願いされた。

最後に、「僕らは Dentist ではなく、Dental artist に変わらなければならない」という大谷先生の言葉を胸に刻み、結びとする。

上都賀支部学術研修会 佐川 謙三



#### 「今日の移動編集会議は吉峯会館、迎賓館で」

7月11日、吉峰編集委員は、全支部長と支部分長が久留りに集まりました。内容が多彩なものが、基本的には、従来の編年と私生活を主とし、編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。

吉峰編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。



吉峰編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。編集委員の意見、趣意が反映されるのが特徴です。



- ◎物 価 上野動物園入園料 大人200円、小人無料、中国北京からパンダ「ホアンホン」来園
- ◎映 画 火宅の人、コミック雑誌なんかいらない、カラーパープル、バック・トゥ・ザ・フューチャー
- ◎流行語 オシンドローム、まるきん、まるび、くれない族、鈴虫発言
- ◎流行歌 北の漁場、仮面舞踏会、時の流れに身をまかせ、熱い心に、愛燦燦、DESIRE

## ■昭和60年（1985）

1月1日	国保審査員 手塚正教退任 新島 剛新任	5月1日	木下素子入会 上野町303 鈴木歯科 田代高志入会 上野町228-5
2月7日	新年会	23日	監査会 喜楽
17日	当り年懇親会 宇都宮グランドホテル 鰻原悦郎、駒橋秀光出席	29日	市民健康大学 保健センター 講師 駒橋秀光
3月30日	総会 御殿山会館 新島 剛支 部長に選任さる	6月1日	岸野忠明再入会 御成橋町2-295-3
4月1日	箱島光一退会 宇都宮支部へ	30日	第2回三支部合同学術研修会 ハッピー会館
26日	野岩線「会津鬼怒川線」と決定	7月1日	相馬英人入会 日吉町金山下611

### 第2回 宇都宮・上都賀・今市三支部合同学術研修会終了報告

吹く風も夏めいてきたら9月30日、今年で2回目を超えた栃木県歯科医師会共催の宇都宮・上都賀・今市三支部合同による学術研修会が、鹿沼市の鹿沼ハッピー会館で開催された。

研修  
○テーマ  
\*総義歯におけるOcclusionについて  
○講師  
\*阿部総義歯研究所主宰 阿部晴彦先生

当日は、台風の影響で、朝から雨模様となつてしまい、参加者の出席が心配されたが、三支部の先生方ばかりでなく、他支部からも数名参加され、総参加者という前向きな開催となった。

1. 開会挨拶  
宇都宮市歯科医師会長 宮島 龍先生
2. 主催者代表挨拶  
上都賀支部長 新島 剛先生
3. 閉会挨拶並びに謝辞  
今市支部長 湯浅哲郎先生

現在、我が国は長寿国として世界でも注目を浴びているが、歯科界においても老人医療の問題が、換言すれば総義歯診療の困難さと言ったものが、顕度を増すという事実は必要である。

よく咬めて、審美性がよく、又咬合感・発音状態のよい総義歯。そのどれ一つが欠けても、欠陥人工臓器となってしまう。患者もそれを望まないであろう。

今回の講師招聘にあたり、「フロンティア」を持った総義歯を提唱している阿部先生に自らの矢が立ったのも、その所以である。

阿部先生の総義歯に対する情熱といったものは、受講者に必ずや、何らかの印象を与えたことと思われる。

研修会終了後、同会場内において懇親会もたれたが、宇都宮市歯科医師会長の黒崎弘毅先生の乾杯の音頭が始まり、所用の急遽見えて見られた栃木県歯科医師会会長大塚雅夫先生の挨拶を頂き盛況の内に終了した。



出席者氏名  
宇都宮市歯科医師会  
大塚正明、岡田さよ、水取賢久、森正英、黒崎弘毅、松井隆幸、菊地善郎、天沼 隆、田中 豊、白井良明、菅野文孝、樋田有司、黒 徹也、大島悦男、藤下 洋、池上武正、小野信典、小椋敏博、岡田正義、宮島 登、津田紀夫、鈴木長夫、三木正紀、山田洋二、塩田政信、福田 洋、金沢正英、広瀬高志、神山卓久、国井敏一、田中光一、広瀬六朗、安田 裕、柳田清司、鈴木孝三、崎谷秀一、五月女大介、栗原昌子、手田晃一、手田博

上都賀支部  
新島 剛、岡田利常、塚 二郎、藤原悦郎、高崎道子、駒橋秀光、金子智英、小高章、岡本全忠、中田義之、村本 明、小林幹夫、梅沢富雄、佐川繁三、菊地 香、田辺 章、茂田 元、鈴木節雄、栗原昭二、栗原紀子、石崎 誠、菊地 均、斎藤わか子、新島康史、福島隆夫、木下素子、田代高志

今市支部  
安田光雄、大島正夫、湯浅哲郎、田野井洋、鈴木和久、栗田 勝、船越達海、福田新一、宮本二郎、金野一郎、小林幸雄、大島伴子

尚、以上の三支部の先生方の他に、他支部より8名の先生方が出席されました。  
(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三記)

### 第1回幼稚園・保育所合同歯科研修会開催

#### — 上都賀支部 —

上都賀支部では、去る8月23日(金)、鹿沼市保健センターにおいて、第1回幼稚園・保育所合同歯科研修会を開催した。これは、過去4回にわたって、学校歯科研修会を行ってきたが、更に低年齢児、つまり就学前児童の予防強化を図る意向で行なわれたものである。

1. 開会挨拶  
上都賀歯科医師会会長 新島 剛先生  
1. 市町村代表挨拶  
鹿沼市長 古沢俊一 氏  
(代理として民生部長 黒本敏二郎氏)
1. 閉会挨拶  
上都賀歯科医師会副会長 岡本宏先生

講演  
○テーマ「就学前児童のむし歯予防について」  
○講師  
1. 上都賀歯科医師会予防担当理事  
金子智英先生  
の幼児の歯の健康管理、子供の発達課題と歯の保健指導、歯の萌出から見た成長発達の段階と歯の保健指導など就学前児童のむし歯予防について総論的に講演。

2. 上都賀歯科衛生士会 中田和子先生の就学前児童を対象とした歯ブラシの使い方、フラスキング法等、スライド、模型等を使用して具体的に説明。

現在、上都賀支部内には、鹿沼、粟野、西方地区を合わせて、38の就学前児童の収容施設がある。

#### 就学前児童の収容施設数

	幼稚園	保育所	保育園	児童館	計
鹿沼	8	10	8	4	30
粟野	1	4	0	0	5
西方	1	2	0	0	3
計	10	16	8	4	38

研修会には、その中から49名の先生方が出席、歯科医師16名、衛生士10名と合わせて76名が熱心に研修会に参加された。

講演会終了後、小高章先生の司会で約1時間にわたって討論会が開かれた。

食後の歯の磨き方、フックラがいだけでのよいのかどうか？、歯ブラシの持ち方は？おやつとの与え方は？上水道の完備されていない所では、磨いた後その水を飲んでしまってもよいのかどうか？等、現場の先生方が直面している問題について、さまざまな質問をされた。その中で、おやつとの与え方ひとつを挙げてみると、幼稚園と保育所、或は地域によってそれぞれ異なるようである。

現時点で、言えることは幼保関係の先生方が歯科衛生士に熱心に対処していることは間違いない。しかし、その場を離れた家庭での予防となると、その連携が計られていないのが現状のようである。そうしたギャップをどのようにして埋めていくかが今後の課題であろう。

歯科医師会も助言者として、提言者として更に活発な働きかけが必要であろう。今後、上都賀支部では、学校歯科と幼稚園・保育所を隔年毎に開催する予定であり、予防関係の充実を図るものである。(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三記)



S60.8.23 第1回幼稚園・保育所合同歯科研修会 市保健センター

7月5、6日	フッ素イオン導入 保健センター	10月26、27日	支部旅行 長野県戸倉上山田方面バス旅行
14日	明生会 鬼怒川温泉ホテルニュー岡部		
8月23日	第1回幼稚園・保育所合同歯科研修会 保健センター	29~31日	成人病検診 独協医大健康管理科学術研修会 鹿沼相互信用金庫
31日	アシスタント研修会 中央公民館	11月10日	
9月15日	終身会員に慰労金を贈る	12月25日	上都賀歯科医師会就業規則配布
10月12日	本県女性の平均寿命が78.03才と全国一短命であることが厚生省の調査で判明		

アシスタント研修会終了報告

上都賀支部

残暑厳しい8月31日(土)午後2時より、上都賀支部では第1回アシスタント研修会を鹿沼市公民館において開催した。

- テーマ 期待されるスタッフ像
- 講師 産業能率大学講師 人材育成研究所々長 藤田 紀美枝先生

これは標記のように歯科衛生士、歯科助手と言ったデンタルスタッフの育成を目的に医療管理委員会が企画したもので、35名のスタッフ参加のもとに行なわれた。

1. 働く目的を具体的に持たなければならない幸福の条件とは
  - 1) 健康である(Physical)
  - 2) 一生の仕事を持つ(Economic)
  - 3) 人間関係がうまくいく(Mental)

……MEP理論

つまり、働く目的をしっかりと持たなければ幸福の条件も満たされはざがない。不平不満を言う前に、自分の役割について再考する必要があるのではないか。
2. 人生にとって大切な時は? 大切な人は?
 

大切な時は、過去、現在、未来を通じて「今」が一番大切であり、目の前にいる人、近くにいる人が大切な人である。即ち先生であり、他のスタッフであり、そして患者が大切なのだ。
3. 患者に対しての一大テーマは
 

Little Extra Care (小さな心使い) と One



More Word (一言運動) である。これを励行するにはチームワークも必要である。

4. 笑顔で接する (第一印象の大切さ)

五大感覚

視覚 → 60%  
 聴覚 → 20%  
 嗅覚 → 20%  
 味覚  
 触覚

笑顔は五感に訴えるもののうち最も効果的である。何故ならば視覚に訴え、かつ口角が上がっている為にも自然にソフトになり聴覚にも訴えるからである。

更に笑顔の効用として、その人の一生の人格にも影響を及ぼし、かつ若さを保てる。

以上のような講演の後、人間性の真実に則した自己実現をはかる目的で、交流分析を各自が行ない、自我状態の確認をした。その後、言葉の使い



方ということで、尊敬語、謙譲語、丁寧語、美化語の違いをテスト形式で勉強したが、時間の都合もあり、詳しくは次回各論で行なう予定である。

さて、これから本題であるグループディスカッションに入った訳だが、これは、あらかじめ2週間前位に各医院に依頼した、先生からスタッフに期待するポイント5項目(スタッフ個人個人に名指しで)と、同じように依頼した、各スタッフから、医院や先生や同僚に対してのお願い事をKJカードに書き写したものを、「期待されるスタッフ像」というテーマのもとに、6人位ずつのグループに分れて討論、そのギャップを埋めていく手法で行なわれた。最後に、各グループごとに実行項目5ケ条が作成され、全員の前でひとりずつ、それを覽って終了した。今回は人数の都合もあり6グループに分けて行なわれたが、実行項目5ケ条の内、多かったものを列記する。

1. 言葉使いに注意する
 

返事ははっきり「はい」と大きな声で、かつ患者には、思いやりのある言葉を使う。
2. 自分から仕事を見つけて積極的に取り組む
 

失敗を恐れず、テキパキと仕事の手順を考えて行動する。
3. 先生や患者に笑顔で応対する
4. 向上心を持つ
 

わからない事は積極的に質問、又、進んで患者教育をする。
5. チームワークを大切にすること
 

相手の気持ちを思いやる。

ともあれ、以上の実行項目といったものが、ただのお題目であっては何にもならない訳で、それには我々歯科医のリーダーシップも更に向上かつ発揮されなければならないであろう。

講師である藤田先生は、女性の立場からスタッフに話しかけられ、受講者も素直にかつ真剣に聞き入っていたようである。特に「大切な時は? 大切な人は?」の問いかけの中で、実際に花を花瓶に生けかえながら(実際には花は先生が持ってこられて机の上に生けられた)和がなげれば、つまり調和がとれていなければ不自然であり、そして花は精一杯「今」を生きているといった話には、我々も考えさせられ、又、スタッフ達もしんと静まりかえったのは演出のうまさであろうか、女性でなくては考えられない導入法であり説得力もある。

今後、このような研修会を聞く上で、女性つまりスタッフと同性である指導者の重要性を痛感した次第である。

上都賀支部広報編集モニター  
 佐川 徹三 記

◎物 価 国立美術館、博物館入場料金 大人300円、学生100円、小人50円

◎映 画 それから、乱、ビルマの豎琴、アマデウス、刑事ジョンブック目撃者

◎流行語 おにゃんこクラブ、新人類、やらせ、ダッチロール、いじめ

◎流行歌 ミ・アモーレ、セーラー服を脱がさないで、飾りじゃないのよ涙は、俺ら東京さ行くだ、卒業、恋におちて







## ■昭和62年（1987）

1月1日	小川哲弥入会 上材木町1820	6月3日	市民健康大学 市役所302会議室
29日	予防視察研修会 船橋市中央保健センター	4日	講師 田辺 章
2月11日	当り年懇談会 宇都宮グランドホテル	12・13日	石川権左衛門逝去 享年79才
	川島仁一出席	15日	フッ素イオン導入 保健センター
3月28日	総会 市民文化センター	15日	コシヒカリや益子焼など「とちぎ百選」を県が発表
4月11日	鈴木宏彦入会 上殿町124-1	27日	給食後の刷掃指導用ビデオの効果
5月26日	社会福祉協議会、民主部との会議室		についての実地調査 みなみ小
	借用契約に関し、契約した		
5月27日	給食後の刷掃指導用ビデオの効果		
	についての調査 中央小と懇談会		

### 昭和62年度上都賀支部 学術研修会開催報告

日常臨床に携わる我々GPにとって、最後臼歯のアップライトや空隙の改善など、補綴処置の前準備は避けて通ることの出来ない、換言すれば、いわゆるMTMがなされてこそ充足した最終処置を行ない得るケースが多いということに日々直面している訳だが、矯正は面倒だとか難しいということ、一部の会員を除いて取り組まれていないのが現状のようである。

しかし、それにもまして、昨年度上都賀支部で実施したアンケート調査によるとMTMの研修会を希求するものが最も多く、臨床に即した矯正ならばすぐに活用したいといったところが本音のようである。

そこで11月22日、23日の両日に行なわれる実習の前段階として今回研修会を開催する運びとなったものである。

- 1.日 時 昭和62年9月15日(火)  
AM10:00～PM4:30
  - 2.場 所 鹿沼総合福祉センター
  - 3.テーマ 日常臨床においてMTMをどのように応用していくのか
  - 4.講 師 日本歯科大学矯正学教室助教授  
増田 豊先生
- 尚、当日は23名の先生方が参加、熱心に聴講さ



れたが、午後からは、①前歯部に生じた空隙の閉鎖処置 ②臼歯部での近心傾斜歯のアップライト ③前歯部での1歯の舌側転位歯を唇側移動させる処置についてのデモが行なわれ、11月に行なわれる実習を期待するものである。

(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三・記)

### 第2回上都賀歯科医師会・ 幼稚園・保育所 合同歯科研修会開催さる

残暑厳しい8月25日(火)、標記の研修会が、鹿沼市保健センターにおいて開催された。

今回で2回目を迎えた訳だが、これは数年前より行っている学校歯科研修会に、就学前児童の教育の必要性から一昨年より始ったもので、当日は歯科医師、衛生士は勿論のこと、鹿沼地区幼稚園連合会、鹿沼市、栗野町、西方村の保育所関係者総勢100名近くの参加のもと行なわれた。



- 1.開会挨拶（及び司会） 岡本 全宏先生
- 2.主催者挨拶  
上都賀歯科医師会長 新島 剛先生
- 3.鹿沼市長挨拶
- 4.講 演  
1) おやつについてのアンケート調査結果報告  
もみやま保育所  
主任保育 鈴木富美子先生
- 2) おやつと小児の健康について  
上都賀歯科医師会 佐川 徹三先生
- 3) ブラッシング指導の実際  
(保母・母親から乳幼児への指導法について)  
上都賀衛生士会 新井 妙子先生
- 5.討 論
- 6.閉会挨拶 小高 章愛先生

今回の研修会は「おやつ」にテーマを絞り、それぞれの立場から発言或いは意見の交換を行ったが、子どもへのむし歯予防指導では「おやつに気をつける」が重要な項目であることを改めて認識した次第である。

(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三・記)

### 第4回 上都賀支部 ボウリング大会開催さる

今回で4回目を迎えた上都賀支部ボウリング大会が、去る9月26日(土)午後1時より、鹿沼パークレーンにおいて開催された。

医療管理委員会のお骨折りで、ようやく一つのイベントとして定着してきた感があるが、今回は24診療所、デンタルファミリー150名の参加を得和気あいあいとした雰囲気の中に終了した。

当日、数名の医療従事者にボウリング大会についての感想等、話しを聞く機会を得たが、ほとんどのものがその意義を、他院のデンタルスタッフとの交流に置いているようで、「ボウリングそのものも本当に楽しけれど、まその医院の仲間と話しが出来るのがうれいんです」というような意見には、改めて歯科界の横のつながりの重要性を認識させられるものである。

特に現実問題として、医療従事者の中で占める割合は、歯科衛生士よりも歯科助手といわれるアシスタントの方が多く訳だが、アシスタント同士が話し合える場はほとんどなく、歯科医師会にとっても今後の課題であると思われる。

尚、上都賀支部では、今年度中に2回目のアシスタント研修会を開催する予定だが、より高度な医療を目指すと共に、歯科医師会という運命共同体の和を計る意味でも、スタッフの横の連携を一層強くなる時期に来ているのではないだろうか。

何はともあれ、今回のように皆が楽しみにし、かつ又、打ちつける場があったということは特筆すべきであり、願わくば今後、全歯科医院が参加してほしいと願うものである。

競技終了後、午後5時より会場をサンパレス富士に移して懇親会を開催、表彰の他、くじ引き大会やカラオケ大会もあり、盛りだくさんの賞品を戴き、皆満足した様子で散会した。

尚、当日の順位は以下の通りである。

個人戦優勝者  
金子歯科医院 金子智英先生

団体戦順位

1. 小林歯科医院	13. こづか歯科医院
2. 金子 *	14. 石崎 *
3. 田代 *	15. 小高 *
4. みどり *	16. 菊地 *
5. 村本 *	17. 木村 *
6. 佐川 *	18. 小川 *
7. 川入 *	19. 福島 *
8. 中田 *	20. 金子こども *
9. 相馬 *	21. 鈴木 *
10. 岡本 *	22. 西方 *
11. 殿原 *	23. 新島 *
12. 田辺 *	24. 福田 *

(上都賀支部広報モニター  
佐川 徹三・記)

7月12日	明生会 鬼怒川温泉ホテルニュー岡部 福田利示、菊地貞造、村本光出席 県央四支部学術研修会 真岡市 青年婦人会館	9月26日	第4回ボウリング大会 鹿沼パークレーン
		30日	佐藤演由退会
8月22日	学術研修会 福祉センター	10月18・19日	支部研修旅行 宮城方面 バス旅行
25日	第2回幼稚園保育所合同歯科研修会	11月8日	栃歯学会 給食後の刷掃指導用 ビデオの効果についての調査
9月13日	小林幹夫 鹿沼市議会議員 選挙初当選	14日	福島 茂逝去 享年70才
		22・23日	学術研修会 福祉センター
15日	学術研修会 福祉センター		
22日	謁謁会（慰労会をあいあい会と 改称）石ばし		

船橋中央保健センターを視察して

—— 上都賀支部 ——

上都賀支部では毎年、予防研修会か或いは予防関係の視察を予防事業の一環として行っているが本年度は予防委員の強い要望により船橋中央保健センターの視察を行ったものである。

1月29日(木)、鹿沼市役所をバスにて午前8時に出発。歯科医師会は新島支部長をはじめとして総勢20名。鹿沼市、栗野町、西方村の行政側（保健関係）より6名、衛生士会より5名が参加、3時間余りの道のりを数談しつつ船橋に向った。

昼食は船橋支役所の職員食堂でいただいたが、建物の大きさ、設備の良さ、そしてメニューの多さには驚かされた。さすがは50周年を迎え、人口51万人の活力ある市のことはあるところか。

その後、中央保健センターに向い谷内良弘歯科医師会長をはじめとして5名の先生方及び船橋市保健課の方々には手厚い歓迎を受けた。

まずはじめに谷内歯科医師会長の歓迎の御挨拶を頂き、続いて御礼の挨拶として新島支部長が、更には船橋歯科医師会より広岡予防担当理事、上都賀支部より岡本副会長が各々先生方一人づつ紹介、本題のディスカッションへと移った。

スライドを交えた予防事業の説明の中で、その数の多さと、内容の充実は特筆に値する。

（以下、昭和61年の事業計画の一部抜粋）

言うまでもなく、先生方のためまね御努力がこのような予防事業を成功させるものだろうが、更には歯連協（歯科連協協議会）による話し合いを年に数回もたれるそうで、歯科医師会、教育委員

会、福祉渉外課、健康保健課、医療管理課といった予防事業の関係者が一つの土俵の上でガブブリ四つに取り組んでこそ成し得るものなのだろう。

又、事業内容については歯科医師会で責任をもって行ない、一つ一つの事業について行政側と単年度契約を結び、委託契約書、協議書、覚書きを取り、身分保障、報酬保障を確実なものにしているというお話しも興味深いものがある。

ところで会員の負担が大き過ぎるのではという質問もあったが、会員数213名で年間に平均2回位だそうで、その裏には行政側の協力配慮がある訳で、市職員としての常勤衛生士が7名いるというのもその一つであろう。

当日は幸いにして、いわゆる妊婦教室を見学する事が出来たが、何故いれやると前書きしたかと言えば事業計画表にもあるように、母性教室がまずあり、その参加者の中で希望者は日を異にして妊婦歯科健康診査を受けることが出来、歯科医師や衛生士による個人指導というシステムをとっているからである。

当然中身の濃いものになる訳で、それに合わせてパンフレット、質問表、小冊子、テキスト等の整備充実には敬服するばかりである。

見学後、会議室に戻り補足説明を受け、又質疑応答が行なわれ活発な意見を交換した。

その中で谷内会長の「今後は寝たきり老人の問題、身体障害者の問題等にも、会として対処していきたい」という、あくまでも前向きなお話しを伺い、参加者全員深い感動を胸に船橋を後にした。今後、上都賀支部もより予防事業を充実させる為、努力邁進する所存である。

（上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三記）



- ◎映 画 マルサの女、女衞、プラトーン、スタンド・バイ・ミー
- ◎流行語 フリーター、朝シャン、マルサ、円高、ドル安、サラダ記念日
- ◎流行歌 愚か者、人生いろいろ、愛しき日々、百万本のバラ、命くれない
- ◎物 価 塩 1袋620g 75円



第4回 ボウリング大会

### ■昭和63年 (1988)

- |        |           |                         |        |                            |              |
|--------|-----------|-------------------------|--------|----------------------------|--------------|
| 1月23日  | 予防研修会     | 福祉センター                  | 4月1日   | 駒橋一永入会                     | 今宮町1608-2    |
| 28日    | 新年会       | 喜楽                      | 山本 浩入会 | 栃窪字仁神堂                     | 1164-42      |
| 2月4・5日 | 栃歯有料学術研修会 | 栃歯会館                    | 6月1日   | 市民健康大学                     | 保健センター       |
| 11日    | 当り年懇親会    | 宇都宮グランドホテル              | 講師     | 佐川徹三                       |              |
| 14日    | アシスタント研修会 | 福祉センター                  | 17・18日 | フッ素イオン導入                   | 保健センター       |
| 21日    | 栃木県歯科医師会  | 大塚禎会長<br>急逝 享年74才       | 18日    | 保険研習会                      | 保健センター       |
| 3月19日  | 総会        | 福祉センター 岡本全宏<br>支部長に選任さる | 22日    | 刷掃指導用ビデオの効果についての<br>調査はじまる | みなみ小 中央小     |
|        |           |                         | 7月17日  | 明生会 鬼怒川温泉ホテルニュー岡部          | 学術研修会 福祉センター |

#### 上都賀支部 一刷掃指導用ビデオの効果 についての調査始まる一 刷掃ビデオ効果調査委員会

昨年より始った標記の調査が6月22日(水)の中央小学校を皮切りに開始された。  
そもそもこの調査は、昨年小学校側より給食後の刷掃指導用ビデオの製作を依頼されたのがきっかけで始ったもので、より効果的な刷掃指導の追求から今年度は新たに調査委員会を設け活動しているものである。

活動の主眼は勿論、より効果的に児童・生徒に取り入れやすい方法を考案し、各学校間で不統一であった刷掃方法を統一することにあるが、更に効果的な方法を見出す為、制作したビデオと従来行われていた方法によるビデオの比較検討を対象校を設け行っている訳である。

調査方法及び模範印記法なる独自の評価方法については昭和62年度の歯学会に報告した通りであるが、今後は調査委員会を中心として4ヶ月





毎に調査を行い、ビデオの効果について更に検討を加える所存である。

e x) 調査方法

```

    給食 [ ] 洗 [ ] 洗 [ ] 洗 [ ] 洗 [ ] 洗 [ ]
              |   |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             歯  歯  歯  歯  歯  歯  歯
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
              |   |   |   |   |   |   |
              v   v   v   v   v   v   v
             汚  汚  汚  汚  汚  汚  汚
    
```

分 刷 機 製 作 研 一 石 香 注 入  
(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三・記)

#### 私の趣味

上都賀支部 田代高志

「あなたの趣味は？」と聞かれると困ることがある。コンピューターというと根柢に思われるし、ラジコンはまた、子供じみた趣味に思われて、恥ずかしいからである。しかし、好きなものは仕方がない。

思えば、小さい頃から、機械いじりが好きだった。おもちゃや、目覚まし時計などたばしばから分解しては、親におこられていた。その頃の私にとって、ドライバー(ねじ回し)、ラジオペンチ、ピンセットが三種の神器でした。幼稚園頃から分解するより、作る方が楽しくなったようで、百円程度のプラモデルをよく作っていたようだ。小学校では、ゴム動力の模型飛行機や、グライダーなど、空を飛ぶものを作っていた。

ロウソクの炎で竹ひごをあぶって曲げて、飛行機の主翼を作るのだが、これが結構熟練を要する。あまり近くに近づけると、こげて折れるし、遠すぎてもうまく曲がってくれない。うまく曲げられるようになるまでに、数機分はダメにした。中学では、J(ユー)コン機(エンジン飛行機)に2本のワイヤーをつけて操縦する)を作って飛ばしていた。高校に入ると、コンピューターに興味をもった。ちょうどその頃、ワンボードマイコンといって4ビットのコンピューターが出はじめた。マイコンブームのはしりだった。コンピューターが欲しくて、親に無断でクレジットを組んで、買ったのが大学2年の時だった。(クレジットを組むのに、学生だったので保証人が必要だったので結局親にばれてしまい、ひどく怒られた。) 何とか毎月の食費を切りつめて、36回の月賦を払った。一人でコンピューターをいじっていてつまらないので、

大学4年の時に、コンピューター同好会を作った。折からのマイコンブームで一時期は20人を超える会員がいたようだ。あまり他から制約をうけるのがいやであって、同好会としてののだが、現在は、マイコンクラブとして、クラブに昇格したようだ。

大学を卒業してから、相変わらず機械いじりが好きで、ユニットのちょっとした故障ならハン



「コンピューターとラジコン・ヘリと、長女(翔子)と」

ダゲタ片手に直してしまう。また、コンピューターも、私が入れた頃より、高性能で安くなりそろそろ新しい物が欲しくなってきた。ラジコンは、飛行機を飛ばせる広い場所がなかなかみつからないので、ヘリコプターをはじめた。ヘリコプターならばホバリング、(空中停止)ができるので狭い場所でも飛ばすことができる。またヘリコプターほどメカニカルなものはないと思う。ローター面を横けてあらゆる方向に移動するのだが、そのメカニズムをながめていると、ほれぼれする。現在は、コンピューターもラジコン・ヘリもいじる暇がなかなかないが、これから50になっても60になっても、この趣味は変わらないし、また、機械いじりが、好きなもの変わらないと思う。

#### ...語話会について...

上都賀支部では2年前より70才以上の我々の先輩の先生方に対し、いつまでもお元気で御活動できるように講演会なる親睦会を開催しています。  
富々という熟語は随分と楽しいように思われますが、あの和氣あいあいのそれなのです。  
つまり「おだやかで やわらいだようす」という意味なのですが、今年で3回目を迎えた講演会も正にその語意の通りでありました。

秋立つ風もさやかな9月20日(火)午後6時30分より湖空「石ばし」にて開催したのですが、大先輩の先生方6名(中田静嘉、菊地貞哉、鈴木幸雄、福田利示、梅沢 明、今井一郎各先生)中3名の方、梅沢先生、福田先生、菊地先生が出席して下さいました。

まず、執行部の先生方が拍手でお迎えする所から始まり、岡本全安支部長の御挨拶と花束贈呈。そして記念撮影へと移り、花束贈呈の時には少々お恥かしそうでしたが、にこやかに受けていらっしゃいました。


中途、お一人づつスピーチを置き、談話風発、要録たる先生方のお話しの中に私達も身をまきしめなければならぬ点が少々あり、改めてその偉大さに触れたのでした。

何れにしても今日の歯科界を構築、リードされてきた先生方が、いつまでもお元気に過ごされることをお祈りし、時には叱咤激励して下さいました。  
前、会会の中から福田利示先生の詩作を御紹介し、支部だよりと致します。

(長生の歌)

長生殿櫻春林に富み  
不老竹前歳は流る  
且舞且歌いて 爾老を想む  
福哉龍寿思ひ慈登

上都賀支部広報編集モニター 佐川 徹三記




7月26日	今市・上都賀合同保険講習会 今市市保険福祉センター	10月13日	栃歯会創立80周年記念座談会 菊地 均出席
31日	従業員研修会 福祉センター	23日	アシスタント研修会 福祉センター
8月25日	学校歯科研修会 福祉センター	29日	ボウリング大会 鹿沼パークレーン
9月15日	税務講習会 福祉センター	11月13日	学術講演会 福祉センター
20日	謁謁会 石ばし	20日	栃歯学会（創立80周年記念学会）
23日	県央四支部合同研修会 今市木村屋ホテル	12月18日	支部旅行、保険講習会 鬼怒川 温泉金谷ホテル
9月30日	「イートピアとちぎ88」が開幕		

**上都賀支部  
アシスタント研修会開催報告**

立春とは名ばかり、また冬にあと戻りしたような寒さの中、医療管理委員会企画によるアシスタント研修会が鹿沼総合福祉センター大会議室において開催された。

これは昭和61年に行った「期待されるスタッフ像」のアドバンスコースともいうべきもので、主旨に沿って歯科衛生士、歯科助手のみの参加で行なわれた。

1.日 時 昭和63年2月14日(日)  
2.場 所 鹿沼総合福祉センター大会議室  
3.テーマ 期待されるスタッフ像  
—サービスの本質とは  
(接客サービスの本質論)  
4.講 師 人材育成研究所々長  
産業能率大学、日本女子館講師  
藤田 紀美枝先生

前述のように私達はシャットアウトの研修会であった為、内容等の詳細についてはわからないが「K」カード等を使用して行動目標を作成したようである。そしてその行動計画表は各々参加したスタッフの院長の手にある訳だが、ただのお題目にならないよう十二分に活用したいものである。何故ならばスタッフ自身が自ら掲げた目標であるからだ。それには私達も目標が達成されるまで真摯な態度でスタッフに接する必要があると思われる。

研修会最後には全員が感想文を書いており、中には私達を批判するようなものも二、三あったが、概ねこれを機会に少しでも向上しようといったものが見受けられたようである。

「出席者総体的に労働意識が低かったが、感想文

でも判断出来るように、自分達の欠点を認識しているので改善出来る素地は十分にあります。「私の行動目標」をコミュニケーションの場作りとして利用して戴き、繰り返し指導することが必要でしょう。」という講師からのコメントを戴いたが、歯科界においても院内におけるTQCをノルマにする時期に来ているのではないかと思われる。

上都賀支部広報編集モニター  
佐川 徹三・記



**昭和63年度上都賀支部  
保険研修会開催さる(第1回)**

—鹿沼市総合福祉センター—大会議室において—

6月に保険改正があり、年々届の目のように変わる点数表に戦々恐々しなければならぬ現実。「我は何ぞや」と愚痴の一つも出るところだが、よりよい診療、ミスのない請求を追求する為、上都賀支部では第1回保険研修会を開催した。

6月17日(金)・18日(土)とフッ素イオン導入が行なわれ、18日の反省会終了後、PM6:30より研修会を始めた訳だが、約30名の先生方が熱心に聴講された。

テーマ

1. 歯周病  
治療計画書に基づく診療から計画書なしへの移行について  
(講師) 駒橋一永先生
2. 口腔外科  
歯周外科におけるアパタイト、バック等特定薬剤を使用するものについて  
(講師) 山本 浩先生
3. 補綴  
歯周疾患のある歯牙の固定を含めた多数歯の Bridge について  
(講師) 鈴木宏彦先生

この保険研修会は今まで臨床研修会という名称で行なわれてきたものだが、上都賀支部の医療管理面の充実の為に事業が再分化され、保険に関するノウハウを単独で扱う為はこの呼称になったものである。

尚、3名の講師の先生方には資料をはじめ徹に入り細をうがつともいうか、懇切丁寧な説明がなされ、活発な質疑応答の後、閉会した。

(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三・記)



ボウリング大会



アシスタント研修会



- ◎映 画 となりのトトロ、<sup>ほたる</sup>火垂るの墓、ラストエンペラー、危険な情事
- ◎流行語 しょうゆ顔、ソース顔、オバタリアン、ドーピング、ハナモク、5時から男
- ◎流行歌 乾杯、雪国、パラダイス銀河、がきの頃のように、セシル、TATOO
- ◎物 価 醤油上等1ℓ入 284円

## ■昭和64年・平成元年（1989）

1月7日	昭和天皇崩御。平成の年号は史記の「内平らかに外成る」、書経の「地平らかに天成る」からの引用である。歴史上はじめて元号法に基づいて政府が公布したが、これは江戸時代の「慶応」の改元時にボツになったものである。	3月25日	総会
2月2日	新年会	26日	支部役員連絡協議会 栃歯会館
21日	当り年懇親会 宇都宮ロイヤルホテル 越路昭夫、佐川徹三、駒橋一永出席	4月1日	大畑 栄入会 粟野町深程638-1 鈴木裕之入会 上野町303-3
3月1日	手塚正教逝去 享年59才	8日	栃木県と49市町村が第2、第4土曜日を閉庁とする土曜閉庁を一斉スタート
		20日	予防視察研修会 東京都立老人医療センター及び養育院、板橋
		6月17・18日	第2回みんなの健康まつり
		23・24日	母と子のむし歯予防教室（フッ素イオン導入を改称）保健センター

### 「スケートのこと」

上都賀支部

鈴木裕之

北風が吹き、朝晩の冷え込みが強くなると、今年も、いよいよスケートのシーズンの到来です。私は、大学6年間スピードスケート部に所属していました。もともと中学生の途中まで、スケートの盛んな日光で過ごしていただけに、ウインタースポーツとして、スピードスケートには慣れ親しんで来ました。しかし、大学に入ってスケートをやることは最初から考えてはいませんでした。

ところが、私の大学は入学して1年間は、山梨県の富士吉田で全寮制の生活を送らねばならず、寒い冬にも余した時間を過ごすには、まさにスケートがピッタリでした。入部したその年の冬、医歯薬大学の対抗のスピードスケート大会に出場し、6・7チーム参加の小さな大会ながら、3千mの種目で運良く優勝してしまいました。きちんと整備されたリングで、緊張した試合での滑走は日常のスケートでは味わえないスピード感、爽快感があります。その為、1年が2年・3年となり、卒業試験の直前の大会に出場するまで、丸々6年間スケートを行うことになったのでした。

毎年、医歯薬の大会は12月30日に行われるため、世間での年末のあわただしさをよそに試合前1週間位から合宿という一種の隔離された生活を送ります。早朝、午前、午後、夜と一日計4回の練習を重ねる大会。大会後の交歓会で他大学と飲み明かし二日酔いで大晦日を迎え家路につく。こんな年末、行事ともなった大学6年間の年の瀬でした。

この小さな大会は、インカレや東日本学生大会などの大きな大会にはない、全くの初心者も参加し、和気あいあいとしたものでした。大会のレベルは上がってきている様子ですが、現在、新入部員が減り参加人数が少なくなっていると聞き心配しています。

今年も又、スケートのシーズンを迎え、後輩が練習、合宿と頑張ってくれることを望み、OBとして応援に行くことでスケートに接しようと思っています。

冬の寒さとともに、学生の自由さをふり返り、現在ほとんど運動をしなくなった体をこの機会に又動かそうと考えています。

### 私の趣味

上都賀支部 石澤隆之

私が渓流魚（特にヤマメ、イワナ）を対象とする釣りを始めてから、15年以上がたってしまった。釣りを始めたころは釣り人口がそれほど多くなく、源流へ近づくと魚影が濃くなり、大型魚と出合う確率も高くなった。

ところが、現在では釣り人口の急激な増加と、道路が源流近くまで整備されてきたことなどに伴い、源流における魚の絶対数が急激に減少した。その結果、大型魚と出合える場所は中流域へと移ってきた。

中流域では、20～30ヤード先のポイントを攻略する必要がしばしばあり、溪流竿を用いた餌釣りではほとんど用を足さない。

そこでなんとか広い川を広範囲に攻略する方法はないかと考えていたときに、ウェット・フライ・フィッシングという釣り方に出合った。

ウェット・フライ・フィッシングとは、西洋式の毛針を用いた釣りである。この釣りの特徴は餌釣りでは届かない場所へも毛針を送り込むことができるだけでなく、使用する糸を数種類用意しておくことにより、水面から底までの任意の泳層で毛針を流すことができる。また、枝針を数本つけることにより、一度に違う場所を攻略することができ、その結果、三次元的に広範囲に魚を誘うことが可能となる。もう一つの特徴として、毛針にある特定の動きを与えることにより、あたかも水生昆虫が水中を泳ぎ回っているような演出ができ、それにより魚の視覚にアピールできる長所がある。

このように、長所だらけのようなこの釣り方があるが、実際、ウェット・フライ・フィッシングを行なったおかげで、最近では一尺を超える魚を釣り上げる確率がかなり高くなった。今年も、もうすぐで溪流が解禁となるが、テクニックをさらに磨いて大型の渓流魚を手にしたと思っている。

(8) 各支部の入会金と会費の金額を伺いたい。又入会金の使途について伺いたい。(芳賀支部)

提案理由 芳賀支部に於ては入会金20万円、診療所開設50万円、計70万円徴集、年会費5万円である。

最近事業が大きくなりこれ等をとりくずしている状況である。ちなみに会員は53名である。

○今市支部 入会金50万円、会館建設費150万円、計200万円である。会費1人目1万円、2人目5,000円。

○塩谷支部 入会金1人目100万円、2人目50万円、年会費6万円。ファックスを会員全員に入れた。

○那須支部 1人目100万円、2人目50万円。年会費1人目2万円、2人目1万円。入会金使途については手をつけていない。

○那須南支部 1人目100万円、2人目50万円。会費は徴集していなかったが平成元年度から3万円とする。

○足利支部 入会金100万円、2人目20万円(同一診療所)代診年50万円。会費月額1万円、創立50周年記念事業に使用した。

○小山支部 入会金一医療機関100万円、1人20万円、計120万円。会費月額5,500円、これは1人目、2人目共同。

入会金の半額を長寿年金(70才以上の会員に贈呈)、記念事業等に使用。

○下都賀支部 入会金150万円、個人50万円、計200万円、分院を出す時は250万円徴集。年会費1人目65,000円、2人目45,000円。

○宇都宮市歯科医師会 1診療所当り150万円、個人入会50万円、計200万円、特別会費18万円。使途は基金積立、一部共済金として使用。

○上都賀支部 入会金100万円、個人100万円、計200万円。会費には校医手当を充てる。(1,203万円余になる)入会金は積立されている

○安佐支部 入会金80万円。会館建設負担金1人目50万円、2人目25万円。専申会費として月2,000円。入会金は安佐支部の互助金(児辨、香典等に使用)

(蓮沢・記)



従業員研修会

- |       |                           |        |                                     |
|-------|---------------------------|--------|-------------------------------------|
| 7月5日  | 市民健康大学 保健センター<br>講師 鈴木節雄  | 10月1日  | 手塚忠雄入会 府所町185                       |
| 15日   | 明生会 鬼怒川温泉あさやホテル八番館        | 12日    | 歯科保健賞表彰式 栃歯会館<br>個人の部 鹿沼市役所保健婦 細島チイ |
| 16日   | 学術研修会 福祉センター              | 11月23日 | 栃歯学会                                |
| 30日   | 従業員研修会 福祉センター             | 26・27日 | 支部研修旅行 山形方面バス旅行                     |
| 8月24日 | 幼稚園保健所等合同歯科指導者講習会         |        |                                     |
| 9月14日 | 中田静嘉逝去 享年82才              |        |                                     |
| 15日   | 県央四支部学術研修会<br>県厚生年金休暇センター |        |                                     |
| 21日   | 謁謁会 石ばし                   |        |                                     |

**東京都立老人医療センターを見学して**

— 上都賀支部予防研修旅行報告 —

平成元年4月20日(土)上都賀支部では飯橋にある東京都立老人医療センターを見学し、同時に研修会を開催した。  
 歯科医師11名、衛生士9名、鹿沼・栗野・西方各市町村より鹿沼市の健康課長を初めとして計7名が参加した。  
 そもそも、このセンターは明治5年に篤所佛舎・精神薄弱者などの救護施設として発足した「養育院」が起源であり、現在も養育院の伝統を受け養護老人ホームや特別養護老人ホーム、退院前の生活訓練の場としての「ハーブウェイハウス」等、総合的な老人専門施設群を形成している。  
 センターはその同一敷地内にあり、昭和22年に敷地内付属病院となり昭和47年に現在の建物を開設、一般の都内に居住する老人を対象とした老人専門病院として再出発したそうである。  
 ところで近年、医療の進歩、衛生思想の普及等に伴い我が国では年毎に平均寿命が伸びてきており、構造的に高齢化社会を迎えようとしている。当然、歯科診療機関にも歯周病、心疾患、高血圧症、糖尿病等様々な成人病を併発している患者が増加する機会が増加する。今回予防委員会が中心となって企画した予防研修旅行は正に時宜を得たもので患者の取り扱ひ方、或は行政に対してどのように働きかけをすべきか等問題提起を惹起するには又とない機会であったと思われる。  
 尚、同センターは歯科医師を含めて計105名の医師、看護婦等419名、薬剤師、放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士等医療技術者110名の万全のスタッフと研究機関も兼ね備えた高度先進医療施設によって支えられており、入院患者のみならず1日平均700名の外来患者の診療にあたり、約100名の見学の見学者や特等客を泊る施設をよりスタッフの老人に対するフォローアップの徹底である。  
 老人を如何に知り、その特質を考慮し、どのように対応すべきかを各科の総合連携のもと、爾々と進行されている様はある感動すら覚える。  
 例えば、1階のフoyerは通常ならば外来患者対応となるものだが、ここでバリアフリーの為にフロアになっており医師40名を中心とした看護チームがのんびり合言葉に親しみながら対応を

行っている。又、真面目においても作業療法家や一旦退院していた者が帰院してバリアフリー、機能回復に努めるデイホスピタルの完備等挙げればいとまがない。  
 当日もバリアフリーの為に御夫婦で或は友達や家族と一緒に乗物や習字、工作等に真剣に取り組んでおられる方が多数来院していた。  
 その中で言語障害を伴った御主人に付き添われて一緒に乗物をなさっていたおばあちゃんに話を伺ったが「こちらの先生方は皆さん優しいんです。いつももつと頑強らしくもっ私目だ駄目だと怒られるんです」という言葉の裏に、信頼されている医師像を垣間見る思いがし、ふと「うたた寝も叱る者なきうそ寒さ」という川柳を思い出したのであった。  
 ヒューマンイズム溢れ在りと言えらるるのではなからうか。  
 その後、歯科口腔外科部長の渡辺馬先生の案内で歯科治療現場を見学、ストレッチャーに寝たまま或は連動血圧計を覗きながらの診療等私達G.P.にとつても、つきつめて考えれば当然然るに合えば、否決出来ない問題に直面した思いであり、速たまり老人の診療の困難さ今後どのように対応すべきか歯科医師会にとつても一つの課題と云えらるるだろう。  
 それらの諸問題を踏まえて、渡辺先生の御講演を拝聴したが、老年者の訴えは簡単なことを言っている意外と複雑なことが隠されておられ健康な状態から病気になる時のケアを十二分に考えなければならぬと力説されておられた。  
 又、近年注目されつつある老年歯科学が今後益々重要性を増して来ることは間違いない。幼年期、青年期・成人期を越えて一つの集積が口腔内に反映されている事実を忘れてはいけない。それには誰かある老人の特性を又、内科的全身疾患を考慮して欲しいと講演を結ばれた。  
 その後、質疑応答があったが、高齢者医療、寝たきり老人に対する対応等、それぞれの地域において歯科医師会の果たす役割は極めて重要であり、行政の積極的な引き出すのも住民の主体的な参加を促すのも、個に歯科医師の熱意にかかっているといつても過言ではないのではなからうか。  
 翌日にしても、寝たきり老人を含む高齢者医療の担い手を担うものでもあり、行政に対する働きかけ並びに関係医療機関とのスムーズな連携の為にプロジェクトの早期編成を望むものである。  
 上都賀支部広報編集モニター 佐川 徹三

**第12回栃木県歯科保健賞表彰式**

2. 個人の部 (2名)  
 ※細島チイ(保健婦)  
 「歯科保健の向上に貢献」



**支部だより**

**第6回県央4支部  
合同学術研修会開催報告**

新潟快速の歌着の日、栃木県厚生年金センターに於て、標記の学術研修会が開催された。  
 この研修会はその名の如く、宇都宮・上都賀・今市・芳賀の県中央に位置する4支部が合同で年1回開催しているもので、今回は上都賀支部が当番を最前等を担当、講師に桑原末代子先生をお迎えし行なわれた。  
 御存知のように桑原先生は、ライオン歯科衛生研究所の副所長を長くお務めになるなど、小児歯科一筋に参られた方で、現在は藤田学園保健衛生大学医学部歯科口腔外科助教授として活躍され、又大阪大学・愛知学院大学・朝日大学の小児歯科学教室の非常勤講師も兼務され、日本でも数少ない「小児学」のオーソリティーである。  
 当日は「最近の小児歯科の動向について」と題して講演され、不正咬合や永久歯の萌出に関する口腔内異常、軟組織疾患、ウ蝕の動向、口腔外科疾患について小児歯科疾患の推移を中心にデータを提示しながら説明された。  
 その中で、小児歯科の推移を注意深く見ると今後、小児の成長・発育と共に成人歯科における新しい問題が提起することを示唆強調しておられた。何れにしても、歯科受診の時代、一般臨床医にとって小児の特性を含めた小児歯科の再認識が必須であり、小児から老人歯科に至るトータルケアが益々求められるであろうと思われる。  
 尚、研修会には約120名の先生方が熱心に聴講され、終了後同センターにおいて、横石専歯会長をお迎えしての懇親会を開催、盛況の内に散会した。(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三:記)



- ◎映画 黒い雨、魔女の宅急便、ダイハード、レインマン
- ◎流行語 おたく、セクハラ、トレンドイ、ぬれ手で粟、みつぐ君
- ◎流行歌 淋しい熱帯魚、ふりぬけばヨコハマ、川の流れるように、とんぼ、Diamonds
- ◎物 価 ビール大瓶(350ml)1本300円  
うち税金82円4銭

## ■平成2年（1990）

1月31日	玉井克典退会 新潟県へ	5月31日	今市・上都賀合同保険講習会 福祉センター	
2月1日	田島雅哉入会 鳥居跡町1,420(山川薬局内) 県内全域に45年ぶりの大雪情報 宇都宮で積雪26cm	6月3・15日	藍綬褒章受章蝦原悦郎祝賀会 宇都宮グランドホテル・石ばし	
	税務説明会 福祉センター	4・11・18・25日	栃木放送"歯の時間"の放送	
	保険講習会 福祉センター	17日	予防研修会 福祉センター	
	新年宴会 喜楽	20日	市民健康大学講座 保健センター	
3月24日	定時総会 福祉センター	22・23日	母と子のむし歯予防教室 保健センター	
25日	第16回支部役員連絡協議会開催 栃歯会館	7月1日	田口浩美入会 千渡字新田1212-3	
5月10日	在宅寝たがり老人等歯科医療対策につ いての説明会《第1回》 福祉センター	畑 健一入会 下田町1-1205-2	14日	明生会 あさやホテル・八番館

### 「歯の衛生週間」行事

#### 上都賀支部

上都賀支部では平成2年度「歯の衛生週間」行事のメイン事業として予防研修会並びに「母と子のむし歯予防教室」を実施した。

予防研修会は、近年の歯科界における最注目課題である「寝たがり老人医療」を取り上げ、四半世紀以上も取り組まれている東京都老人医療センター口腔外科部長の渡辺都馬先生をお迎えし、6月17日(日)午前10時より午後5時まで熊沼総合福祉センターにおいて開催された。

それに先立ち当支部では、昨年東京都老人医療センターを視察・見学している為(栃歯会報報告)、今回は特に老人の特殊性、在宅ケアの取り組み、老年歯科学の展望或は今後の問題点等を中心に講演が行われた。

講演の内容は細部に及んでいり、詳しく記すことは出来ないが、その中でも興味深かったのは欧米には「寝たがり老人」という言葉はないそうで、日本独特なものなのだそうだ。即ち、寝たがりにならぬようあらゆる角度から配慮がなされ、言い換えればリハビリという考えが成熟している結果とも云える。又、ある意味では老年医学という分野が確立されているのではなかろうか。

現時点において欧米に後塵を拝している我が国ではあるが、高齢化社会を迎えるに当たり真摯に対応しなければならないであろう。それには老年者への対応として、①患者の罹患している疾患について十分な認識を持つ ②患者の使用している薬剤について十分な認識を持つ ③全体的な把握が必要で、それ以前に我々歯科医は患者がユニットにかけるまでに次の項目を診るよう努め、全身状態の把握を心掛ける習慣が大切と力説しておられた。

1. 姿勢、歩き方
2. 顔の老化
3. 歯つき、顔の色、皮膚の状態
4. 体格
5. 意識、精神状態
6. 呼吸など

又、老年歯科医療の要点として

1. 自覚的に健康であろうと思っている者でも約70%は向らかの病状をもっている。
2. 訴えは簡単なことでも意外と複雑なものが背後に隠されている。
3. 各人一つ以上の慢性疾患を有している。
4. 大多数は現在何らかの治療を受けているか、過去に治療を受けたことがある。
5. 患者と歯科医師との相互の信頼関係が治療上の重要なポイント。

6. 潜在的な不安感があるので、歯科処置を行なう際患者に十分な説明を行なう必要がある。

7. 細果があっても心の根底には常に自尊心がある為、その心理をよく理解し、信頼と尊敬を勝ち取る必要がある。

8. 新しく覚える能力は年をとることによって著しく衰える。

などを挙げられ、如何に難しいかを、難しいがやりがいのある分野であるかを強調されておられた。最後に先生独自の経験を踏まえた研究の中で、今後の老年歯科医学の課題について以下のように述べられた。

1. 疫学的研究
2. 口腔の組織的加齢的变化(細胞、組織、免疫)
3. 口腔の状態と全身的健康状態との関係
4. 口腔の健康状態と日常生活との関係、行動
5. 歯科医療の効率的な利用法
6. 歯科治療の治療計画、治療能率
7. 分かり易い咀嚼能率の指標
8. 歯科材料及び器具の開発

何れにしても寝たがり老人医療はまだ道程に就いたばかりのようであり、歯科界と行政の緊密な連携が保たれるところであろう。

歯科医師会においても早期対応が必要なのだろうが、その前に十分な調査及び研修が必須であり、上都賀支部では研修と同時に本年度訪問調査を実施する予定である。

尚、当日の研修会に隣の健康対策課より木野弘氏が参加されたことを付記する。

次に今年で23回目を数える「母と子のむし歯予防教室」であるが、6月22日(金)・23日(土)の両日、熊沼市保健センターを会場に行なわれた。これは一昨年もファミリーオン募入として行なっていたものだが、よりイベント化することを目的に昨年より名称を変更したもので、見送りではその過渡期といえる。

今迄もファミリーオン導入の他に、歯科検診や人形劇を取り入れたブラッシング指導(対象児のみ)、或は映画やビデオによる保護者教育、栄養指導、歯科相談等を行なっていたが、本年は調査委員会を中心に作成した給食後の刷掃指導ビデオ即ち上都賀歯科医師会統一刷掃法の保護者への理解を深める為、父兄にも歯ブラシ持参で参加された。

その為、刷掃法のパンフレットも新たに準備、



配布した。

その結果云々は期日を待たないとおられないが、今年の参加児童総数は320名で過去最低であり、年々減少しているのも事実だが、一つには十数年の啓蒙の成果であるということ、又児童数自体も激減していること、或はマンネリ化ということも

考えられ、反省会においてもその打開策が話しあわれた。参加児童の減少は問題でなく、むしろ密度の高いものを考えた方がよいという意見、年2回実施案、対象学年(現在は小学校1・2年生)の拡大案、対象地域の拡大案、或はよりイベント化、フェスティバル化するべきだという意見、更には会場変更案等々数多く出され、まきしくトレン



ディなイベント指向に対して徐々に内容の転換を図る必要があるのではなかろうか。

尚、当日会場には衛生週間の図画ポスターコンクール優秀作品も展示され「教室」に花を添えた感があり、開会式に参列した福川昭昭市長を始め、民生部長、教育次長、健康課長といった関係者の面々も真剣に見入っておられた。

因に、当支部では熊沼市、栗野町、西方村教育委員会との共催による前述の図画ポスターの他に作文、標語のコンクールを本年も実施、厳正なる審査を行ない優秀作品を表彰した。又、衛生週間恒例の「3才児、母と子のよい歯のコンクール」も盛況の内を終了。保健所長同席のもと、優秀と認められた親子10組に記念品と賞状が同本会長より手渡された。

ところで当該地区小中学校或は幼稚園、保育所において検診及び講話を集中して行なったが、特に講話に関しては会員層によって内容のばらつきが出るのを避ける為、乳歯列期、混合歯列期(低学年、高学年)、永久歯列期の4段階に分けてスライドを作成整備し、その都度貸出を行なっている。今後も時代のニーズに対応すべく資料の完備充実を図る所存である。

(上都賀支部広報編集モニター 佐川徹三:記)



- |       |   |        |                                    |
|-------|---|--------|------------------------------------|
| 7月29日 | 学術研修会 福祉センター  | 9月22日  | 謁見会(慰労会) 石ばし                       |
| 8月23日 | 学校歯科研修会 福祉センター  | 10月17日 | 医療廃棄物の処理及び立入り検査<br>についての説明会 福祉センター |
| 26日   | 従業員研修会 市民文化センター   |        |                                    |
| 9月1日  | 世界選手権自転車競技大会ロード<br>競技がアジアで初めて宇都宮<br>市の森林公園周回コースで開催            | 27日    | 福祉ボウリング大会(第8回)<br>鹿沼パークレーン         |
| 9日    | 県央4支部合同学術研修会<br>センチュリー平安                                      | 11月23日 | 栃木県歯科医学会発表 栃歯会館                    |
| 12日   | 栃木県よい歯の学校等コンクール特選<br>日本学校歯科医会表彰 図画・ポスターの部<br>最優秀賞 松崎友香(中央小6年) | 12月2日  | 学術研修会 鬼怒川グランドホテル                   |
|       |   | 2・3日   | 支部旅行 鬼怒川グランドホテル                    |

**『飯原悦郎先生  
藍綬褒章受章祝賀会』**  
平成2年6月3日(日)午後4時  
宇都宮グランドホテル「藤の間」

栃木県歯科医師会常務理事飯原悦郎先生には多年におたり歯科地域医療、保健衛生活動の向上発展に多大な寄与と尽力された功績に対し、平成2年度春の藍綬褒章受章の栄賞に浴しました。

初夏の強い陽光に緑一段と濃い6月3日、折しも口腔衛生週間の中で、宇都宮グランドホテルの間に於いて、飯原先生藍綬褒章受章祝賀会が栃木県歯科医師会、同政治地盟、全国歯科医師会連合会栃木支部、上都賀歯科医師会が発起人となり開催されました。祝賀会は福石会長が飯原先生への栄賞とその功績を称え、ますますの発展を祈念する挨拶に始まり、県知事、国会議員、ご友人等多くの来賓の祝辞があり、同上都賀歯科医師会長の乾杯の発声で声高らかに祝賀が上げられました。飯原先生ご夫妻はご来賓のひとりひとりに謝意を表われし。お孫さんからの花束を受けられた先生ご夫妻は喜びに満ち溢れ、先生ご一家の最良の日となりました。

飯原先生は謝辞の中で「私は58年、妻は今年令日まで半馬の如く働いて来ました。これからもう一歩頑張っていきます」と結び、来賓7名、会員108名と多数の出席を博した祝賀会が大盛況裡に閉会を致しました。



**飯原 悦郎 先生略歴**  
大正14年3月26日生(65歳)  
上都賀郡栗野町大字口栗野697-21

昭23.3.26 日本歯科医学専門学校卒業  
昭23.9.30 歯科医登録第38135号  
昭24.4.1 飯原南科医院開設現在に至る  
昭50.3.25 歯学博士号取得(日本歯科大学)

【職 業】  
平2.4.29 藍綬褒章(保健衛生)

- 【表 彰】
- 昭46.11.3 栗野町長表彰(栗野町自治功労)
  - 昭47.11.3 栃木県国民健康保険団体連合会会長表彰(国民健康保険事業功労)
  - 昭48.11.3 栃木県知事表彰(国民健康保険事業功労)
  - 昭49.11.18 栃木県公衆衛生大会会長表彰(保健衛生事業功労)
  - 昭51.12.10 栗野町教育委員会表彰(栗野町スポーツ振興功労)
  - 昭56.10.14 栃木県知事表彰(保健衛生事業功労)
  - 昭58.9.13 栃木県警察本部長・栃木県交通安全協会会長表彰(20年無事故)
  - 昭58.10.4 厚生大臣表彰(国民健康保険事業功労)
  - 昭59.1.20 栃木県連合学校保健会長表彰(学校歯科保健事業功労)
  - 昭61.10.24 文部大臣表彰(学校歯科保健事業功労)
  - 昭63.9.9 栃木県警察本部長・栃木県交通安全協会会長表彰(25年無事故)
  - 昭63.11.3 栃木県歯科医師会表彰(歯科界発展功労)
- 【現 職】
- 栃木県歯科医師会常務理事
  - 全国歯科医師国民健康保険組合栃木県支部理事
  - 栃木県歯科医師会政治連盟専務理事
  - 栃木県連合学校保健会監事
  - 栃木県学校保健会副議員
  - 栃木県歯科衛生士試験委員
  - 栃木県民協スポーツ推進協議会委員
  - 栃木県警察協力歯科医
  - 栃木県小児保健衛生学会評議員
  - 栃木県母性衛生学会委員
  - 日本学校歯科医会制度研究委員会委員
  - 株式会社オー・デー・エイ 常務取締役
  - 栗野町国民健康保険運営協議会委員
  - 栗野町医療行政懇話会委員
  - 栗野町健康づくり推進協議会委員
  - 栗野町文化協会理事
  - 栗野町立栗野中学校学校歯科医
  - 栃木県立栗野高等学校学校歯科医

平成2年(1990)4月25日(水曜日)

**藤の葉**

森永在籍  
松崎友香先生の絵

胸 橋 秀 光

この日は、先生ご夫妻は喜びに満ち溢れ、先生ご一家の最良の日となりました。

平成2年度  
栃木県よい歯の学校等  
コンクール審査結果

◎小学校の部  
特 選

元気モリモリ!!

鹿沼市立中央小学校 6年 松崎 友香

- ◎物 価 森永ミルクキャラメル12粒 100円
- ◎映 画 夢、櫻の園、フィールド・オブ・ドリームズ、ゴースト
- ◎流行語 バブル、アッシー君、イタめし、あげまん、おやじギャル
- ◎流行歌 恋唄綴、踊るポンポコリン、愛されてセレナーデ、会いたい、壊れかけのRadio

## ■平成3年（1991）

1月31日	税務説明会 商工会議所	6月19日	臨床研修会(学術) 福祉センター
31日	新年宴会 喜楽	7月12日	リハビリ講座 保健センター
2月13日	第1回三師会 橋田旅館	18日	市民健康大学講座 保健センター
3月20日	定時総会 福祉センター		日光市光徳と群馬県片品村を結ぶ 「奥鬼怒スーパー林道」(46,6km) が着工から20年で全面開通
4月1日	畑 和美 入会 下田町1-1205-2	28日	学術・医療管理合同研修会 鹿沼商工会議所
6月		8月19日	幼稚園・保育所等合同指導者歯科 研修会 福祉センター
1・8・15・22日	栃木放送"歯の時間"の放送		
15日	第26回母と子のむし歯予防教室 保健センター		

### 投 稿

#### 人生所感

上都賀支部 福田 利 示

人は誰しも個人として生きると同時に社会の一員として生きなければならない。個人としては衣食住等の自然生活とも云うべき実生活を営み乍ら実生活そのものの中で文化の内容とも云うべき真善美を追求する処に、人の禽獣と異なる人の人たる所以がある。人間の理性の趣く処は真偽の節にある。人情は美しきを求め、行は善であらねばならない。斯かる真善美の極地に達したる者を聖と云い、聖なる者を信ずる事により安心立命を得んとする処に宗教の必要なる所以があると云う人もある。然し限りなき文化の内容を、限りある人間の肉体を以て追求し、その極地に達することは出来ない。故に理想に近づき一歩でも前進する所に人生に意義があると思う。従って吾々医療担当者は国民皆保険の下統制経済と自由経済の中で、政治経済の動向に左右され乍らも、個人としては日に日に新たな歯学の研鑽を怠らず、より良き医療を求めて、より良き医療を地元住民に供給すると共に、予防に勝る治療無しで自由診療となる。予防歯科(口腔衛生)の推進も亦忘れてはならない。斯くすれば地元住民の健康は守られ社会の福祉に寄与する事にもなる。其処には歯科界の栄光もあり、両者は表裏一体の感を深くするものである。而して斯る理想実現の基盤となるものは健康である事を思えば健康こそ最も尊いものだ。

昨年4月、会員に生涯研修制度が実施されたが結構な事である。只学術講演等研修に依って得た知識も実践される事もなく、亦知識として更に他人に伝達される事もなく、只々自分の頭の中だけで理解して居るのでは所謂博覧多識の学者で、社会に取って必らずしも有益、有効とは云えない「知は行の初め行はこれ知の成れるなり」で歯科医学と云う知識も臨床に活用され又、その行為が繰返されて良き習慣となって表現された時、初めて光を放つものと思う。それは世の為め人の為めであり、自己完成に相通ずるものでもある。この生涯研修事業が大いに臨床に活用され、歯科界の更なる進歩発展と、会員の前途に幸多からんことを心から望むものである。

以上持論と共に所感を述べましたが、既に明生会員たる私は、最近余暇があるせいか残る人生斯くあるべきか等悩裏に浮ぶ今日此頃である。窓を開ければ赤白黄色、今やチューリップの花盛り、桜草の群生、紫の八汐つつじ、八重の垂れ桜、赤白染分の花桃、黄色のタンポポ、すがすがしき紅葉(モミジ)の若芽、庭は誠に綺麗だ。暖かい4月21日、日曜の午後であった。

昨年12月29日(土)午前6時、4ヶ月の研修を終えた主人と共に、コネチカットニューヘヴンを経てNYケネディ空港をたち午後5時LA空港に到着しました。出迎えて下さったのは83歳のヘレフォード師と86歳のマクナイト師。この方の運転で約1時間ロスの北の郊外ドウアルテに着きました。そこは米国の牧師や宣教師の隠退ホーム「ウェストミンスターガーデン」でお二人とも日本やエチオピアに赴任した方で、86歳のドライバーのマクナイト師は80歳過ぎてから、ロスから大陸横断して10日もかかってNYまで4回も往復したと伺い全く驚いてしまいました。その先生方に年末から元旦まですっかりお世話になり市内を案内して頂き、私達よりはるかに元気で、このエネルギーが

「しかし主を待ち望む者は新なる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。」と言う言葉から来てる事を感じさせられました。このガーデンの居住者は約200名で日本で長く活躍した5名の宣教師が住んでいて親しいお交わりを頂きました。札幌の北星学園大学で37年間教鞭を取ったブラウン先生のお隣りのゲストルームに3日間泊めて頂きました。このガーデンは3世帯一棟の住宅が散在していて、中央にメディカルセンターがあり、病気に

なったらそこで至れりつくせりのケアをして頂ける。しかし殆んど住人が老いを感じさせない若々しい活力をもって読書に散歩に教会奉仕や社会活動に励んで居られます。ヘレフォード先生は83歳。日本で生まれ、アメリカで教育を受け長く日本で基督教の伝道と女子教育に尽力されました。隠退して帰来後も、いのちの電話のカウンセラーとして奉仕され、婦人の人権擁護のため80歳を超えた今も毎年ワシントン

DCへデモ行進にでかけるとのことです。31日の午前中は植物園を案内して頂き、午後は先生の一生をビデオテープに収録しました。善段語ったことのない第二次世界大戦中の苦勞話をお聞きました。午後6時夕食のご招待、7時30分から大晦日のパーティに招か

れました。気の合った者同志数名が集ってお菓子とお茶を飲みながらゲームをしたりして年末を過します。チャイニーズチェッカー等のゲームを楽しみました。その中の94歳の元大学教授夫人は腰も曲らず2回も優勝したことに素晴らしい感心するのみでした。まさに「夕暮になっても光がある」今の高齢化社会に、私もこの様に生きたいと願います。

上都賀支部 高崎 道子



- |           |  |         |                            |
|-----------|--|---------|----------------------------|
| 8月23日     | 大貫 真裕 入会 万町963-8   | 11月7日   | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会設立準備会 石ばし     |
| 9月4日      | 栃木県よい歯の学校等コンクール特選<br>日本学校歯科医会表彰 図画・ポスターの部<br>最優秀賞 鈴木紅美(南押原小3年) | 10日     | 西方村健康まつり 西方村保健センター         |
| 15日       | 敬老の日に慰労金を下記会員に支給   | 23日     | 粟野町健康まつり 粟野町中央公民館          |
| 21日       | 藹藹会(慰労会) 石ばし   | 12月1・2日 | 支部旅行 新潟方面バス旅行              |
| 10月12・13日 | 鹿沼市みんなの健康まつり<br>福田屋百貨店   | 14日     | 今市・上都賀合同保険講習会<br>今市市木村屋ホテル |
| 26日       | 福祉ボウリング大会(第9回)<br>鹿沼パークレーン                                     |         |                            |



**栃歯会報** No. 395

→表紙写真の説明←  
平成30年度歯科医師会誌「ガスターコンクール」(社団法人日本学校歯科医会主催)において最優秀賞に選ばれた、鹿沼市立南押原小学校3年級鈴木紅美さんの作品。

上都賀支部 田 辺 章

朝7時、わが家のチビッコギャング(長女5才、長男1才8ヶ月)の襲撃で目を覚まされる。日曜日だ、まだ寝ていたい。しかとして寝ているふりをするが、私が寝ている部屋はチビどもの遊び場でスベリ台、ワンパクジムが置いてある。頭の側を娘が滑り降り、下の子は私の顔の上でも一切かまわず歩き回る。結局平日と変らぬ時間に起きられてしまう。朝食後、休日に限って蘭に水をやる。この蘭は数年前に花屋でバンダという洋らん的一种を買ったことがきっかけで、今ではバンダを中心に小型のカトレアの原種や胡蝶蘭など100鉢以上を育てている。わが家には温室が無いので、11月から5月初まで診察室と待合室に置いている。バンダという種は変っていて、水分を大変好むが根に空気が当たると根が腐って枯ってしまう。そのためにバスケットという木の枠に入れて天井からつるして置く、カトレアは冬場4~5日に1度水をやればよいのだが、バンダは毎日水をやる、平日は根に直接水をやるため水滴が床に落ちるので夜やるのだが1時間ちかかかかってしまう、それで休日は朝やるのが日課となってしまった。(この花はうまくできると年に2~3回咲いてくれるので、常に何鉢かが診察室を飾ってくれる)午後になると、昨年暮に家内が病気を以て以来、休の日には家族そろって食料品が主の買物にでかける。家内が当分の間車の運転、重い物の持運び等ができない為私がおもっぱら運転手兼荷物持ち兼下と子のだっこし役です。おかげで最近百貨店の食品売り場にくわしくなりましたし、腕の力がついた気がします。

後は夕食と2人の子供の風呂入れ、歯磨き(下の子は最近抵抗が強い)がまっている。これがわが家の最近の休日です。

ああ、1日中魚釣りがしたい。魚が呼んでいる。当分はむりかな。

- ◎物 価 太田胃酸 分包22包570円、缶160g1,150円
- ◎映 画 息子、八月の狂想曲(ラブソディー)、ダンス・ウィズ・ウルブス、羊たちの沈黙
- ◎流行語 僕は死にましょーん、じゃ、ありませんか、損失補填、バツイチ
- ◎流行歌 情けねえ、SAY,YES、愛は勝つ、北の大地

■平成4年（1992）

1月1日	藤栄昇次入会 日吉町839-1	2月25日	三師会 橋田旅館
	本島栄人入会 府中町392-35	3月28日	定時総会 福祉センター
15日	学術研修会 福祉センター	4月27日	鹿沼市の稲川市長が再選を果たし、 当選の告示を受けた3時間後に死去
31日	新年宴会 橋田旅館		
2月13日	税務説明会 福祉センター	6月	
17・18・19日	成人病検査 宇都宮東武ホテル グランデ ピエラクラブ	18・15・22・29日	栃木放送“歯の時間”の放送
		13日	学術研修会 福祉センター
24日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 設立総会 福祉センター	27日	母と子のむし歯予防教室 保健センター
		7月15日	市民健康大学講座 保健センター

支部だより

鹿沼地区歯科医師警察連絡会  
設立総会開催

最近生活様式や犯罪のボーダレス時代に伴い地域での事件や事故、災害発生時などに伴う変死等の遺体の身元確認には、歯型の照合など法歯学の手法が不可欠であります。例えば数年前の日航機墜落や列車事故、ホテル火災などの大規模事件、事故に伴う多数の死者や年月の経過した変死体は、損傷を受けその身元の確認が非常に困難になる場合が多い。こうした事態に備えて、上都賀歯科医師会が地元の鹿沼警察署と連携強化を目指して、身元確認に最も効果的な法歯学の立場から捜査に協力しようと組織されるもので、3年前から同連絡会の設立準備が進められてきた。

県警単位では、既に県歯科医師会警察歯科医部会が活動しているが、地域では県内23警察署中、連絡会設立は上都賀が県内初である。

平成4年2月24日、市福祉センターで開かれたこの日の総会には、上都賀歯科医師会より岡本会長以下30余名の会員をはじめ、鹿沼署の柏倉署長、米資



として東京歯科大学法歯学教室主任教授の鈴木和男教授、県歯会長代理で柳田副会長、そして同大講師で県警察協力歯科医の岡田一郎先生、また下野・栃木・サンケイ各新聞社より4名の記者が出席し、「上都賀歯科医師会と鹿沼警察署が日ごろからの緊密な連絡により連携強化を図り、地域における事件・事故および災害発生時の協力体制を確立する」との連絡会設立趣意書や会則を審議。会長に岡本会長が充たり、以下15名の役員が選任された。

このあと、鈴木教授が「歯科的な身元確認について」を演題に記念講演を行ない、「証拠上、安定



性・固有性・記録の保存性がある歯牙というものは、身元確認の最後の決め手となる」また、米国州警にて採用中の「鈴木分類による“口唇紋”についての研究」などと実際に担当した数々の事件を基に、法歯学的重要性をユーモアを交えた語り口で御講演していただいた。

おわりにあたり、鈴木教授が座右の銘にしておられる〈錯方洪慶先生・御遺訓〉「医の世の中に生活するは 人のためのみ 己が為にあらず 安逸を思わず 名利を顧みず 唯おのれを捨てて人を救うことを 希うべし」を聴き身が清められる想いになったのは、私だけでなくその日の聴講者全員であったらう。

今後、同連絡会では、①犯罪の防止および捜査に関する情報の交換や相互連絡、②研修会及び会議などの事業を通じ、同署との協力体制を確立していくことになる。

尚、今回は10月31日、市福祉センターにて、鈴木和男教授を御招きし、第2回総会及び講演会を開催する予定です。

（上都賀支部広報編集モニター 菊地均：記）

支部だより

平成4年度 上都賀支部  
歯の衛生週間行事報告

平成4年度「歯の衛生週間」にあたり、第18回「母と子のむし歯予防教室」が、6月27日（土）、鹿沼市保健センターに於いて開催されました。

フッ素イオン導入としては第26回目を迎え、本年は382名の申し込みに対し当日の児童参加数は283名であったが、歯科医師26名、衛生士11名、助手19名、看護教諭5名、行政より13名のスタッフの連携プレーにより混乱なく実施することが出来ました。

上都賀歯科医師会では、口腔衛生啓蒙普及活動の一つに「よい歯のコンクール」があるが、前年度に引き続き昨年度もポスターの部で応募した鹿沼市立南押原小学校3年鈴木紅美さんが日本学校



歯科医会表彰において最優秀賞に入選しました。

尚、本年度も上都賀歯科医師会と鹿沼市・栗野町・西方村の各教育委員会との共催による、図画ポスター・作文・標語のコンクールを実施、応募総数1,014点の中、それぞれ厳正なる審査を行い優秀作品を表彰致しました。

また、表彰されたポスターは会場に展示され、「むし歯予防の啓蒙普及」に、早速役立させて頂きました。

（上都賀支部広報編集モニター 菊地均：記）

8月1日	公衆衛生視察研修会 仙台市歯科医師会	10月24・25日	鹿沼市みんなの健康まつり 保健センター
5日	今市・芳賀・上都賀合同保険講習会 栃歯会館	31日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 福祉センター
21日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	11月8日	西方村健康まつり 西方村保健センター
9月3日	栃木県よい歯の学校等コンクール特選 日本学校歯科医学会表彰 図画・ポスターの部 優秀賞 粟野第2小6年 畠山 直子	9日	梅沢 明逝去 享年83才
15日	敬老の日に慰労金を支給	22日	ふる里粟野まつり「健康まつり」 粟野町中央公民館
22日	藹藹会（慰労会） 石ばし	25日	栃木県歯科医学会発表 栃歯会館
		29・30日	支部旅行 那須温泉「山楽」

我が家は女世帯である。母、妹、某大学生の姪、犬猫各3匹ずつの生活である。従って動物に対する世話仕事が多い。休日は各人が迷惑にならないよう行動する事に暗黙の協定が出来ている。休日を週2回と決めて20年来になる。1回目私は指圧師のもとに通う。私の身体は硬くて、あまり有難くない患者だという。が、おかげで大病をしたり、風邪をこじらせたりという覚えはない。午後はまず夫の散歩をすまして、犬達を眺らせておいてから仕事にかかる。大抵がレシピト書きか、簡単な技工に時間を費やしてしまう。こんな訳で2回目の休みが、行事がなければ本当の休日になるはずである。1時間遅れの起床、母がすでに朝の仕事すましている。私は犬の散歩をかねて神社まわり。一日の無事を祈る。帰る頃、妹と姪が起床。そろって朝食となる。食事は低脂肪、減塩、薄味、しかもおいしく工夫してくれる。苦勞してる。しかし依然として全体重は多い。なかなか自制が難しい。老人医療の母は毎年人間ドックをかかささない。私にも妹にもうろさく迫るので、



1年交代に受けるようにしている。医者無精である。私は生来不器用な人間で、ゴルフ、酒、タバコ、主婦業いづれもだめ、しかも小心者で単純ときているので、5日間の診療の不足をあるの2日の休みで補っているような始末である。休みに余分な事といえば、部屋をきれいに掃除して、シーツを取りかえて、寝具をほす事。自分もきれいになって、コースのテープを聞きながら、熟睡できれば最高のしあわせである。齢50をすぎて、身内知人と別れる事が多くなる。人の生死に我が身をあてはめ、順番にやがて来るものと、あるがままに受けとめるよう努力している。今この一時の現実を大切にしよう一期一会の気持ちで生きていきたいと思っている。早く別れた父よりも長く生かされていることに感謝しているこの頃である。休日は心と身体の安息日、次の休日が又楽しみです。

上都賀支部 木村 佐智子



藹藹会

**平成4年度  
栃木県よい歯の学校等  
コンクール審査結果**

粟野町立粟野第二小学校 6年 畠山 直子

- ◎物 価 トクホン普通判40枚 475円
- ◎映 画 シコふんじゃった、紅の豚、JFK、美しい諷い女
- ◎流行語 冬彦さん、きんさん、ぎんさん、ほめ殺し、ミンボー
- ◎流行歌 白い海峡、君がいるだけで、部屋とYシャツと私、悲しみは雪のように、晴れたらいいね



視察研修会



支部旅行 那須温泉「山楽」

■平成5年（1993）

1月28日	税務説明会 福祉センター 新年宴会 橋田旅館	6月8・29日・7月26日	福祉センター中会議室使用に関する 覚書作成協議会 福祉センター
2月19日	三師会 橋田旅館		母と子のむし歯予防教 保健センター
15~18日	成人病検査 宇都宮東武ホテルグランデ	26日	市民健康大学講座 保健センター
3月27日	定時総会 福祉センター	7月7日	従業員研修会 福祉センター
28日	第16回支部役員連絡協議会開催 栃歯会館	17日	学術研修会 福祉センター
6月		18日	本県で全国高校総体（インター ハイ）が開幕
7・14・21・28日	栃木放送“歯の時間”の収録及び放送	8月1~20日	
		18日	幼稚園・保育所等合同歯科指導者研修会

平成5年度 上都賀支部  
第7回従業員研修会

恒例の従業員研修会も、はや第7回を迎える事となり、昭和61年からの統一テーマであります従業員の資質向上のシリーズ第1弾「期待されるスタッフ像」から更なる向上をねらったシリーズ第2弾といたしまして、今回は「信頼されるスタッフ像」その1「患者への応対について」と題して、平成5年7月17日(土)の午後5時より鹿沼市福祉センター大会議室に於いて開催されました。

講師には、足利銀行人事部の研修センターより次長の山口則久先生をお招きして、上記テーマの基礎編として、特に言葉使い・挨拶・電話応対・患者応対等を中心に実習をまじえ約2時間に亘りお話をして頂きました。普段何気無く使用してい



る言葉にもそれぞれその場面にマッチした言葉使いが、その相手に対して尊敬語・謙譲語・丁寧語をうまく使い分けることが対応のポイントになることを今更ながら痛感させられました。当日は20余名の出席者がありましたが、実戦的な研修に皆時間過ぎるのも忘れる程熱心に聴き入っていました。

今回は基礎から応用へと更にステップアップした研修会を予定しておりますので、どうか今回以上に多数の参加をお願い申し上げます。  
(上都賀支部広報編集モニター 菊地 均：記)

我が家のプリンセス

上都賀支部 新島 剛

平成という元号にかかわらず、はや5年目に入っている。この原稿の依頼を受けてから、まだ間があると思いつつも、もう締め切り間近となってしまった。どうしたものか？筆不精の私にとってはとてたいへんな難題である。とにかく、今話題になっている事から入ってみようと思います。

今、世界に目を向けると、平和な世の中であるはずなのに再び戦争がはじまろうとしている国がある。その状況を画面を通してみつつ、日本の平穏な社会に感謝せざるを得ないのである。まさに国内では、お目出たい国家的な事として皇太子妃・雅子さんの内定から決定へといった事がとりざたされている。産日、幼少時代からの事や、出会いから現在までのいきさつ、しいはわ子様を想像されたの類似絵まで、たいへんもの

その話題のかたわらで、我が家を見直してみること、いました。ソファーにでんと腰をかけて（とはいってもまだ十分なおすわりはできないのですが）右手でひじかけの部分をつんと叩いている姫君が。何日か前までは、クッションと共に鼻水

がとびだし、涙がロンと流れ落ちて苦しそうでかわいそうな姫であったが、それもようやく治って、今では元気にキョキキョと悲鳴めいた声をあげてはしゃいでいる。この姫が我が家のファミリーに加わったのは昨年6月である。いやはや平成4年という年を振り返ってみると、開院して間もない事もあって、仕事面でもまだ落ちているといった状態ではなく、天手古舞のさなかであった。妻が「ちょっと病院に行ってくる」とそのまま入院、翌日我が子の誕生、そしてお昼休みと診療が終わってからの毎日の病院通いである。まだ父親になったという実感がなく、なぜかどこか？不思議な感じであった。我が子が家に帰ってきてからは、お風呂に入れるのが日課となり、7ヶ月になった今でも私の役目になっている。いつまでこの子と一緒にいるだろうと考えつつ、徐々に落ちついてきているのかと思う今日、この頃である。

そして、どこに行ってもいつも目がなくなる程に笑って愛嬌を振りまいてく我が家のプリンセスよ、健やかにやさいききをもつて、元気に育って、そして大きくなったらごはんを作ってねと父は願っている。

私は1人暮らしから家族と共に休日を通することは、妻は3年前に亡くなり、2人の息子はそれぞれ独立して家を作り、娘は嫁に行った。ところで休日と車について古い思い出がある。私は昭和16年12月8日、日本歯科医師を卒業した。学生の頃自動車部に入り運転免許を取った。学校の車はフォード31年式オープンカーで、いつも故障ばかりしていた。カラー色に塗装された軍事教練によく使用された。ガソリンの1滴は血の1滴と云われた時代に、中原学長から1800円のかんを時々いただくので感謝した事を忘れない。あの頃の仲間も今は消息もわからない。各大学の自動車部の学生と共に清洲社丹江に渡り、兵舎に10日間宿営して物資の輸送、車の修理の手伝い等勤勞奉仕をした事がある。これは昭和15年の夏休みだった。

私は休日の家族ドライブが好きだった。昭和38年まだ自家用車も珍しかった頃、出はじめのブルーバード1200cc65馬力を買った。今の車に比較したらいくらアツクセルを踏んでもスピードは出ない。夏の海水浴は砂ばかりの中を走り、冬はチェーンを巻いてスキーに行く。雪の上のドライブも楽しい。その頃は坂を上を下するのは結構面白かった。駒山道の

踏は悪かった。或る時スキーに行ったら午後3時頃帰途についたが車の列がストップ、大型バスが路肩を踏みはずし動かないと云う。崖原から雪上車を持って来なければだめとのこと、何時でも待たされた。寒いのでヒーターをつけてガソリンが心細い。食糧もない。農家の人が先りに来たおにぎりとおまんを食べていただいた。夜8時やっとな降りることが出来てホッとす。寿司屋に入り入らしくな

たところは10時過ぎだった。小供達が大きくなるにつれて家族ドライブもあまりやなくなった。その頃はゴルフをはじめた。休日の大部分はゴルフに使われた。私は健康法と云うものは特にやらない。ゴルフはたいした運動にもならないとか、高血圧や心臓病に悪いとか云われているが、たとえ週1ゴルフでも生活のリズムを作り診療にもプラスになると信じている。最近私は暑さ寒さ期の日をきけて自分の好きな時にコースに出るグランドシニアのゴルフフェリーになった。マナーを守って1日気持ちよく遊ばせたらそれでよい。健康で平凡な余生を楽しまないと願って居ります。

上都賀支部 新島 剛

第10回県央4支部合同  
学術研修会開催報告

本年は非常に雨が多いという印象があるが、久しぶりの好天に恵まれた9月26日(日)、鹿沼市の栃木厚生年金センターにおいて、標記の研修会が開催された。

宇都宮・今市・芳賀・上都賀の県中央に位置する4支部が合同で研修会を年1回開催しているものだが、早いもので10年の歳月が流れ、今年はその節目でもあり、講師に経済学の西村周二先生をお招きして行なわれた。

ご存知のように西村先生は、日本歯科医師会雑誌に医療経済学と題して1年間に亘り連載をされていたが、その他にも昨春NHKで放送された「入歯を考える」等々京都大学で教鞭を執られる一方、医科や歯科等の経済学の立場からの様々なデータをもとに研究をされており、医療経済のオーソリティーである。

尚、当日は「歯科医療費の現状と歯科界の将来展望」のテーマのもとで2講演を戴いたが、診療報酬の決定と医療保険財政、療養費払いと患者負担、新しい政治情勢と医療費、患者数の動向と歯科医師所得、サービス業の料金決定、地域格差論のむすかしきに分けて話され、軽妙な語り口にて約120名の先生方も熱心に聴講されておられた。



歯科医師の増加、保険点数の伸び悩み、自費診療の減少等歯科界の将来を憂うことは容易いが、私達自身ももっと明確なデータをもって各方面に働きかける努力を怠ってはいけないということを感じた1日であったように思う。

何れにしても「個々の診療内容に関して、歯科医療学の成果を科学的に冷静に判断し、これを国民にどのようになら普及していくべきか」といった学問的な議論が今後には絶対に必要である」と結ばれておられた。

研修会終了後同センターにおいて、橋石勇衛会長の挨拶を受けての懇親会を開催、昼食の内に散会した。  
(上都賀支部学術担当理事 佐川徹三：記)

- |       |                              |        |   |
|-------|------------------------------|--------|---|
| 9月15日 | 敬老の日に慰労金を支給                  | 11月3日  | 栃木県歯科医学発表 栃歯会館                            |
| 22日   | 藹藹会(慰労会) 石ばし                 | 7日     | 西方村健康まつり 西方村保健センター                        |
| 26日   | 県央4支部合同学術研修会<br>栃木厚生年金休暇センター | 12日    | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会<br>(警察官対象研修会)<br>鹿沼警察署会議室 |
| 10月2日 | 福祉ポウリング大会(第10回)<br>鹿沼トーヨーボウル | 21日    | ふる里栗野まつり「健康まつり」<br>栗野町中央公民館               |
| 9日    | 鹿沼市政45周年記念式典<br>市民文化センター     | 28・29日 | 支部旅行 群馬方面バス旅行<br>“伊香保温泉”                  |
| 21日   | 今市・上都賀合同保険講習会<br>今市市保健福祉センター |        |   |

シリーズ 第3回

空中散歩

上都賀支部 鈴木節雄

天気は快晴、山すそより心地良い南風が山の中腹へ吹き上げてくる。全身にその風を受けながら、4、5歩前進する。風を一段強く感じると同時に風を受けとめた機体はいっばいふくらみ、ライザー（機体につながつている紐）をもった手は、後方にひっぱられる。テンションを強く感じながらさらに前進すると機体は頭上にあがり、体は掘方を感じる。足は大地を離れ体は大空の中を漂い始めた。さあ、空中散歩の始まりだ。

目の前に鹿沼の町並みが見える。やや灰色がかった大きな塊りとなった家並の中を、黒川の一筋の光が輝やいてみえる。

左のブレイクコードを引き東方向に向きをかえ古賀志山山頂に機体を進める。宇都宮の街並みが見えてきた。更に前方へ進入して行く。高度が落ちてきたようだ。さあ、サーマル（上昇気流）を獲して機体を上昇させなくては、斜面の木の葉が揺れ

ている。南風が来ているようだ。右のブレイクコードを引きUターンをする。風の流れの中に機体に向けて向く。ピービーと昇降計より音が聞こえてくる。風は機体に向かって吹きつけ、機体と一体となった私の体を高く押し上げる。何回かのUターンの後、機体は更に高くなった。大空の中に漂った機体と私は、風の意のままである。どんなに頑張っても、風のみまぐれにはまいてしまう。良い風が吹いていると思っても急に止んでしまった。また強すぎたり。風に助けられ、上昇しているとき、風との一体感を感じ感謝の念を抱く。高度計は、380mを示している。約100m程上昇した。離陸地点が小さく見える。そして、赤岳の屋根越しに日光の山々が見えてきた。更に高く昇っている機体もある。果して、どのくらいの高さがあるのか。上昇風の強いところを捜して、左右に向きをかえる。風力がだんだん弱ってきたようだ。ピービーと下降音が鳴っている。これ以上は上がらない。300m、250m...と高度計もだんだん低くなっていく。離陸地点よりも低い高度になった。まだ数機、離陸地点に残っている。着陸地点への進入路に向かって行く。距離400m、高度150m、まだ少し高いようだ。左右のブレイクコードを交互にひき、S字をかいて高度を落とす。適当な高さになった。着陸地点を目指して直進していく。地面がだんだん近づき、着陸地点の丸跡が見えてきた。距離50m、20m、10m、5m.....ブレイクコードをいっばい引く。機体はわずかに上がりながら前進をやめる。と同時に両足でしっかりと大地を踏み締める。着地成功。約50分ぶりの大地だ。

古来より誰でも空を飛びたいという願望があった。鳥を真似て身体に羽をつけ走ってみたい。高い所より飛び降りたり、いろいろ試してみたがだめだった。そんな中、手軽に空を飛ばす方法として、「パラグライダー」というスポーツがある。1980年頃、このスポーツはフランスで始められた。最初、山に登ったあと滑り降りる方法として考えられた。機体の持ち運びが簡単のため登山に普及していった。日本には1986年頃入ってきた。最初の機体は、性能的にはあまり良くなく大地より身体が、なかなか浮上しなかった。風が逆風で状態の良いとき、一生懸命斜面を走ってよう

やく泳ぐ状態だった。空を飛ぶというより斜面を駆け降りる感じだった。しかし、年ごとにその性能は良くなり、現在では数m走ただけで機体は浮き、またわずかの上昇風があれば、結構ソアリング（気流に乗って飛び続けること）も楽しめるようになった。

パラグライダーの構造は簡単で、飛行機の翼を小さくしたような機体（キャンピー）に何本もの



鹿沼をバックに離陸地点より

細い紐をつけ、それを左右それぞれ4本ずつつまみわけフーネス（体を持ち上げるために体に付ける装置）に、リングで結びつける。操作方法も簡単で、左右についたブレイクコードと呼ばれる紐をひき、進路を決める。ブレイクコードを引くことにより機体の後端が折れ、抵抗が増えその方向へ曲る。離陸時は、風の強さ方向が一番のポイントである。風が情から入って、機体がうまく旋がらなかつたり、また風が強すぎて後に引っぱられたりする。私も離陸時に風が強すぎて後にもどると、立木に機体が張りついてしまったことがある。これを強りつけの別と称し、前脚2犯、3犯の強者もいる。こうなることを防ごう。他のメンバーの前で立木にはごを掛け仲間を手伝ってもらいようやく取り除く。この時、小枝で機体が刺さってしまうことがある。泣き面に棘とはこのこと。後で高い修理費が請求される。私も1回この経験をした。身体は重い類んでも、気持は深く沈みこんだ。離陸時と着陸時がやはり危険で、この時の事故が一番多い。時には骨折する人もいる。風の強さと向きを考えて無理をしなれば、普通は安全である。

現在、このパラグライダーをやるエリアとしては、宇都宮の西部、古賀志山の西部にある赤岳のふもとにある。宇都宮より文殊に行く道沿いになり、大きな看板があるのですぐわかる。道より山に向って少し行くと、ちょっとした建物がある。

ここで受付等を行う。更に山に向うと、右手に着陸場所。左前方にスキー場のような練習バーンがある。ここで初心者は、ある程度操作ができるまで練習する。ここでこの試験に合格すると赤岳の中腹より飛び立ち、高度処理の練習をする。高度差は約270mぐらいいり、その離陸地点に立つと、すべてが豆粒のように見え、その高さに驚いてしまう。そして、あの広かった着陸場所がほんの点のように見え、果して、あんな狭いところに降りられるか、自問してしまう。しかし、何回かの練習のうちにそれは記憶となっていく。最初の頃は、そこに立つと体が武者震いしたものであった。

現在、講習方法としてはいくつかある。1日で飛ぶことを体験する1日コース。ある程度まで飛べるようになる日級コース。さらに、高度の技術を習得するためのP級コース等がある。自分で気に入ったコースを選択できる。また、機体は約40-50万円、その他いくつかの器具が必要となっている。

私が習い始めた頃は、福島県の南郷スキー場でやっていた。そのスキー場の斜面を駆け降り始めて体が浮いた時の感動は、忘れられない。「ふわわり」と体が浮き大地から足が離れていく。初めての体験は、わずか数10秒であったが、それははつきりと記憶に残っている。細かい仕事、気を使う仕事のためどうしてもストレスがたまったりする。そんな時、パラグライダーは気分転換で最高だ。大空を自由に歩く。それは今まで体験できなかったことである。もし、やってみたら新しい世界を発見するのはないかと思う。現在、このエリアでは、宇都宮の国井先生もやっておられる。やはり、危険なスポーツと思われるのか、やられる先生は少ないようだ。しかし、安全性が認識され始か、また持ち運びが楽なため、最近では女性も増えてきている。是非、皆さんも、新しい体験をしてみませんか。

私も山に登って年輪を増すごとに増厚されていく高所恐怖症と似たようにはみえる着陸地点の小ささを水戸の御老公がくらしみをした様な気がした。というのが実態でした。

(取材:広報編集委員 村中 明)



離陸場所より中央が私



飛行中の空視、中央の空地为離陸地点



県央4支部合同学術研修会



支部旅行 伊香保温泉「福一」



支部旅行 伊香保温泉「福一」

- ◎物 価 虎屋の羊羹 大棗1,5kg 4,200円
- ◎映 画 月はどっちに出ている、お引越し、許されざる者、ジュラシック・パーク
- ◎流行語 ブルセラ、コギャル、イエローカード、天の声、リストラ
- ◎流行歌 無縁坂、影法師(日本歌謡大賞、本年度終了) ロード、YAH,YAH,YAH、エロティカセブン

## ■平成6年（1994）

1月27日	今市・上都賀支部合同税務説明会 福祉センター大会議室	2月25日	鹿沼市の国民健康保険の現状に ついての講話 福祉センター
29日	税務講習会 福祉センター 鹿沼地区歯科医師警察連絡会研修会 福祉センター	25日	鈴木 幸雄 逝去 享年81才 納税組合会会議 福祉センター
2月14~18日	成人病検査 宇都宮東武ホテルグランデ	3月5日	調査委員会慰労会 きよみず
17日	とちぎ歯の健康センター開館記念式典 開館記念パーティー プラザインクロカミ	10日	臨床研修会 福祉センター
23日	三師会と行政との懇談会 鹿沼ハッピー会館	26日	総会で岡本全宏支部長に選出 福祉センター
		31日	栃木新聞廃刊
		4月1日	鰻原悦郎県歯副会長に就任 エフエム栃木開局
		5月24日	市民健康大学講座 保健センター

### 歯の衛生週間行事

#### \*上都賀支部\*

歯の衛生週間における上都賀歯科医師会の関係行事、及び活動状況を御報告致します。

まずこの時期の、本歯科医師会における最大の行事は、「母と子のむし歯予防教室」です。

これは、本歯科医師会・鹿沼市・鹿沼市教育委員会共催により、毎年6月の土曜日の午後に、年1回行われるものです。

本年度は、6月25日土曜日午後1時30分より、市役所保健センターにおいて、「第20回母と子のむし歯予防教室」が、開催されました。

今年当番の歯科医師会会員28名、各歯科医院より参加の歯科衛生士14名、歯科助手30名、行政側からは、市長をはじめとして、健康課14名、社会課7名、教育委員会11名の参加・協力を得て、実施されました。

「母と子のむし歯予防教室」は、その名の通り児童とその保護者に、参加していただくもので、児童に対する、単なるフッ素イオン導入にとどまらず、会員による検診の後、歯科衛生士による、口腔衛生に関する劇、ブラッシング指導、保護者



に対しては、会員より衛生教育（本年度は、上都賀歯科医師会統一刷掃法についてのビデオを利用）を行いました。

本年度は、鹿沼市長もこれらを熱心に視察されました。

これに先立ち、市立、民間の幼稚園・保育園・保育所・児童館等に、「母と子のむし歯予防教室」への参加希望のアンケートを実施したところ、希望者多数のため、本年度からは、市立の小学校1・2年生に加え、年長児も参加となりました。

小学校1・2年生302名、初めての参加となった年長児162名、計464名に参加をいただき、保護者を含めた928名に対して、衛生教育も行われ、盛況のうちに無事終了となりました。

次にあげられるのは、平成6年度よい歯のコンクール作品の審査会です。

これも、本歯科医師会と鹿沼市・栗野町・西方村各教育委員会とで、合同で、協議、選出致しました。6月16日午後7時より市役所にて、小・中学生ポスターの審査、6月22日には、作文・標語の審査を行いました。

本年度は、作品数も小学校ポスター、作文、標語の合計が1,004件、同中学校が、計157件と、いずれも前年度を上回る応募状況でありました。

また、市町村依頼の、初妊婦教室等の各セミナ



ーにおける、歯科健康教育、公民館の婦人対象のセミナー等においても、講話、刷掃指導を行いました。

この他、幼稚園・保育園・保育所等からの依頼、小中学校依頼による、歯科衛生教育、刷掃指導等も、各所において行われました。

以上で、歯の衛生週間における上都賀歯科医師会の関係行事等の御報告を終わります。

（上都賀支部 大貫真裕：記）



6月13・20・27日・7月4日	栃木放送“歯の時間”放送	9月24日	県央四支部合同学術研修会 ホテルニューイタヤ
16日	図画ポスター審査会	10月29日	福祉ボウリング大会（第11回） 鹿沼トーヨーボウル
22日	作文・標語審査会		懇親会 福田屋コンベンションホール
25日	母と子のむし歯予防教室 保健センター		西方村健康まつり 西方村保健センター
30日	今市・上都賀合同保険講習会 福田屋コンベンションホール	11月13日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 福田屋コンベンションホール
7月17日	学術研修会 福祉センター	15日	ふる里栗野まつり「健康まつり」 栗野町中央公民館
8月18日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	20日	支部旅行 鬼怒川温泉ホテル あさや
9月15日	敬老の日に慰労金を支給	12月4日	学術研修会 鬼怒川温泉ホテル あさや
22日	藹藹会（慰労会） 石ばし		

**「歯科保健指導者講習会」開催  
上都賀支部**

去る8月18日(木)午後1時30分より、鹿沼市福祉センター大会議室に於いて、平成6年度「歯科保健指導者講習会」が開催されました。

本年度の講習対象者は、小中学校養護教諭の先生方で、お盆明けのお忙しい日程の中、養護教諭の先生方18名、上都賀歯科医師会会員20名、衛生士8名、市教育委員会2名、市健康課より1名の、約50名の参加をいただき、盛大に行なわれました。

講師に、名古屋より、藤田保健衛生大学医学部歯科口腔外科助教授の桑原未代子先生をお迎えし、「子どもの口腔内軟組織疾患について」御講演をいただきました。

桑原先生は、昭和32年、日本歯科大学を御卒業後、東京医科歯科大学で矯正学を学ばれ、その後



同大助手（矯正学）、愛知学院大学歯学部助手（小児歯科学）、同講師を歴任され、さらに、財団法人ライオン歯科衛生研究所附属ライオンファミリー歯科診療所小児歯科主任として、長年御活躍された方です。

豊富な臨床経験に基づき、う蝕だけに注目することなく、顎全体の働き的重要性といった見地から、軟組織疾患について、多くの症例をお持ちになり、御教授いただきました。

養護教諭の先生方にも、我々会員にとっても、口腔保健指導において、大変興味深く、参考となる御講演でありました。

（上都賀支部広報編集モニター 大貫真裕：記）

**上都賀支部第9回「藹藹会」開催**

初秋の風が肌ここちよい、平成6年9月22日(木)午後6時30分より、鹿沼市別荘“石ばし”に於いて、第9回「藹藹会」（あいあい会）が開催されました。

この会は、満70才以上の、我々の大先輩の会員の先生方に対する慰労会として、また上都賀歯科医師会の共済事業の1つとして、毎年この時期に行われるものです。

本年度は、菊地貞造・新島剛・福田利示・川島光五郎・村本光・今井一郎各先生のうち、新島剛先生・福田利示先生・村本光先生の3名の先生方が、御出席を下さいました。

全員集合の記念撮影の後、岡本支部長より、慰労金と花束の贈呈があり、その後3人の先生方から御挨拶をいただきました。



藹藹会の名のとおり、終始なごやかに“和気藹藹”と会が進み、3先生方の経験豊富なお話をうかがうにつけ、我々も今後の歯科界を諸先輩方に恥じないものとしなければと、気持ちを新たにしました。

昭和61年度より、毎年この会は開催されておりますが、先輩諸先生には、来年度もまたお元気でこの会に御出席いただきたく、益々の御活躍と御健勝をお祈りして、御報告とさせていただきます。

（上都賀支部広報編集モニター 大貫真裕：記）



- ◎物 価 郵便料金 葉書50円 封筒80円
- ◎映 画 平成狸合戦ぽんぽこ、居酒屋うれい、ピアノレッスン、シンドラーのリスト
- ◎流行語 フェミオくん、アンナパパ、同情するなら金をくれ、コギャル、茶髪
- ◎流行歌 イノセントワールド、夜桜お七、空と君の間に

■平成7年（1995）


1月26日	税務講習会	鹿沼商工会議所催事ホール	4月1日	県北初の4年制大学・国際医療福祉大学開校
26日	新年宴会	橋田旅館	11日	学校保健法改正に伴う検診説明会 福祉センター
26日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会)	鹿沼商工会議所	4月26日～12月20日(10回)	「仮称歯科ドック」検討小委員会 福祉センター
30日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察官対象の研修会)	鹿沼警察署	6月2日,8月2日	「仮称歯科ドック」行政との打合せ会 福祉センター
2月7日	公衆衛生視察研修会	東京都心身障害者口腔保健センター	6月7日	市民健康大学講座 保健センター
15日	三師会と行政との懇談会	橋田旅館	17日	母と子のむし歯予防教室 保健センター
3月25日	定時総会	福祉センター	26日	今市・上都賀合同保険講習会 今市市“あさの”
31日	大畑 栄退会	県外転出		
4月1日	岸野昌彦入会	上奈良部2-285		

**寄稿**  
**フィリピン医療奉仕活動に参加して**  
 上都賀支部 中田 嘉之

平成6年11月30日～24日、フィリピンバコラン島アプトプリンセサ市で歯科医療奉仕活動が行われました。内科医3名、外科医1名、歯科医2名の編成で、看護婦、歯科助手等加えて13名の医療チームで活動しました。この計画はロータリークラブの国際奉仕プログラムの一つとして行われたもので、R12550地区（栃木県地区）からR13810地区（マニラ地区）に継続的に医療チームを派遣し、フィリピンの医療に恵まれない地区で活動を行うものであります。

今年度の栃木県地区の国際奉仕委員長が足利支部の関谷和夫先生であり、私は関谷先生の加めで今回初めて参加致しました。もう1人の歯科医は耶麻支部の磯藤彦先生で、磯先生は前回はフィリピンに行き歯科医1名で予防活動をやった先生です。たいへん心強く感じました。

今回フィリピンで歯科チームとして何をやるか、磯先生と真剣に話し合いました。タービンもエンジンも使えない環境で出来るのは抜歯か予防教育活動しかありません。結論として予防教育で行こうということになりましたが、これで良かったと思っています。現地ではバコラン島の歯科医とフィリピン空軍の歯科医が合計9名応援に来てくれ、又、立派な巡回診療バス（但し器具類は全部壊れている）が用意されていて夜等でも抜歯等の歯科治療をお願いし、私達は子供達を中心に予防教育、啓蒙活動に専念しました。会場はアプトプリンセ



医療チームの日比スタッフ

サ市のメンドーサ公園の広場で行なわれました。活動の内容は、紙芝居を使って食後のブラッシングの重要性や甘い食品とむし歯との関係を英語で説明し、現地の歯科医がタガログ語に通訳して解説し、次いでカラーテスターで歯の汚れを染め出しで鏡で自分の歯のどこが汚れているか認識させ、

歯ブラシを配布して正しい歯みがきの方法を指導し、次いで歯質強化のためにフッ素塗布を行うというものでした。11月21日・22日の2日間医療活動を行いましたが、ダウタウンマニラロータリークラブの発表によると、患者数は721名指導と治療を行い、立見席で予防教育のみ受けた人達を加えると1,410名実施したとのことです。今後の活動として、バコラン島のアプトプリンセサ市で見ると、甘い食品がかなり食されているようで、歯みがきの習慣が定着していないため口腔内は非常に汚れて居り、多数の重症のムシ歯が認められます。年2～3回同一地区で予防教育活動が出来ればすばらしいし、もっと効果的な予防活動も出来ると思っています。



紙芝居を使った予防教育

フィリピンへは日本から何組かの歯科医師のチームが行ってボクンティア活動をしています。マニラで2組の先生方に会いました。1人は茨城県の高木町の森先生で13年前から年3回フィリピンへ行き歯科治療を行っています。今回は8人の歯科医をつれ助手を含めて16名の歯科チームでマンドロ島で医療活動を行うそうです。もう1組は東京の青山で開業している田中先生のグループで、歯科医4名でマニラ市内の大学の附属幼稚園児から附属小学校3年生までにもムシ歯予防活動を行っています。私達も前年から歯科チームが参加したばかりであり、フィリピンの歯科レベルは日本より30年以上遅れているようで、何かどうやるか暗中模索状態ですし、経済的に極めて貧困ですので、どのように援助出来るか問題は多いのですが、今後も予防活動中心にやりながら考えていきたいと思っています。11月23日にマニラにもどりビナガツ義援品（約150kg）を配布しました。悲憤な難民キャンプと子供達の澄んだ明るい目と笑顔は、私には生涯忘れ得ない経験になりました。他の東南アジア諸国と比べてフィリピンは信じられないほど貧困です。過去の政治が悪かったからだと思いますが、私達もフィリピンのために何か出来ることはやってみようと思っています。

**モニター通信 上都賀支部**  
**鹿沼の新しい見所**

「木の街」鹿沼をPRするものとして、  
 ○木のふるさと伝統工芸館（H.4.4月～）  
 ○仲町屋台公園（H.5.7月～）  
 ○川上澄生美術館（H.4.9月～）がここ3年間に相次いでオープンしたのを御存知でしたか？  
 ○木のふるさと伝統工芸館には、石橋町屋台が、○仲町屋台公園には、仲町屋台が、それぞれ常時、収蔵展示されています。  
 これらの屋台は、鹿沼の秋まつりの時に活躍するものです。旧鹿沼の氏神である、今宮神社の祭礼には、古式豊かな神輿の渡御と、付け祭りとして、絃楽豪華な彫刻屋台の引き回しが、10月9日・10日に行われます。会員の先生の中にも「お祭りに携える男」は何人もいらっしゃるようすが……。  
 鹿沼の屋台は、旧市内に26台あり、それぞれ、漆塗り、白木塗り、花屋台に分けられます。




全面的影響を受ける、古くからの屋台は、日光社寺の影響を受け、また、日光山造営の彫師たちが、関わったものであるといわれています。現在、市内には、江戸期からのものが、13台も残っており、一見の価値はあります。  
 木のふるさと伝統工芸館で、説明して下さった方は、「子供の頃から見てきた屋台だが、常時解体することなく、ここに展示するようになってから、新たに気づいたり、発見するような事が多く、その文化的価値を再認識した」ということでした。  
 次に御紹介するのは、市立図書館の隣、黒川沼いにある、川上澄生美術館です。  
 屋台が江戸時代の文化なら、こちらは、明治の文化といったところでしょうか？ ここには、木版画の詩人・川上澄生の作品約2,000点が収蔵展示されています。  
 鹿沼にお寄りの際は、是非御覧になって下さい。  
 ○木のふるさと伝統工芸館（TEL 0289-64-6131）  
 ○仲町屋台公園（無人の施設）  
 ○鹿沼市立川上澄生美術館（TEL 0289-62-8272）  
 （上都賀支部広報編集モニター 大賀真裕：記）

7月9日	学術研修会 福祉センター	11月13日、12月8日	
18日	臨床研修会 福祉センター		鹿沼市在宅寝たきり老人歯科保健 推進事業打合せ会 保健センター
26日	岸野忠明逝去 享年 61才		
8月24日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	15日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 総会 特別講演 福田屋コンベンションホール
9月15日	県央四支部合同学術研修会 真岡市グランドホテル静風	19日	ふる里栗野まつり「健康まつり」 粟野町中央公民館
22日	藹藹会(慰労会) 石ばし	26・27日	支部旅行 箱根方面 湯河原温泉 山翠楼
10月5日	従業員研修会 福祉センター	12月10日	学術研修会 福祉センター
7日	日光市と群馬県片品村を結ぶ「金精道路」が無料に	26日	第1回鹿沼市在宅寝たきり老人歯科保 健推進事業準備委員会 保健センター
28日	福祉ボウリング大会(第12回) 鹿沼トーヨーボウル		
11月12日	西方村健康まつり 西方村保健センター		



支部旅行 湯河原温泉「山翠楼」

- ◎物 価 地下鉄初乗り運賃 160円
- ◎映 画 午後の遺言状、写楽、フォレスト・ガンブ、  
ショーシャンクの空に
- ◎流行語 サリン、ポア、ダ・ヨ・ネ、トルネード、  
官官接待、がんばろう神戸
- ◎流行歌 ラブ・ラブ・ラブ、  
ウォー・ウォー・トゥナイト、  
オーバーナイト・センセーション

**平成7年度  
上都賀歯科医師会支部旅行**

平成7年11月26日(日)～27日(月)、上都賀歯科  
医師会の箱根・奥湯河原方面への支部旅行が行な  
われました。

11月26日は、鹿沼市役所を午前9時に出発、一  
路バスは東北道を南下、恒例の車中での酒宴が始  
まり(写真①)、東京経由で、箱根では老師の「富  
士屋ホテル」にて、ほろ酔い気分です(飲んだ先  
生は……)赤ワインを飲みながらのフルコースの  
昼食、昼食後は、静い嵐しの散歩で、彫刻の森美  
術館を見学(写真②)

そして、宿泊は奥湯河原で一流旅館の「山翠楼」  
となりました。ここは、京風懐石に自家製湯葉を  
取り入れているのが特色だそうです。(写真③)

2日目、11月27日は、起床、朝食後、熱海・M  
O.A美術館を見学(写真④)、その後、箱根に戻り、  
箱根ロープウェイに乗り(写真⑤)、湯河原の「は  
つ花」という有名なそば屋にて、お店の方もびっ  
くりする量の(大量の)昼食をとり、帰路につき

ました。

今回は、嵐部などで参加者が少なく、18名とい  
う少数ではありましたが、会員には、楽しくよ  
り一層親睦を深めることが出来た旅行でありまし  
た。(バスガイドさんが、戻路結石とかで、2日  
目にリタイアするというハプニングはありまし  
た……)

今回の支部旅行を企画・担当された、医療管理  
委員会の先生方に感謝し、御報告と致します。  
(上都賀支部広報編集モニター 大貫真裕:記)

■平成8年（1996）

1月10日,2月16日	鹿沼市市民環境部との歯科ドック事業 打合せ会 保健センター	3月31日	ゴルフコンペ・大久保技官、大橋技官を 囲む会 鹿沼カントリークラブ 石ばし
22日	新年宴会 橋田旅館	4月1日	鈴木定幸入会 栄町2-10-1
22日	税務講習会 鹿沼商工会議所 （歯科医師対象の研修会）鹿沼商工会議所	10日	宇都宮環状道路（宮環）が全線開通
22日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 （歯科医師対象の研修会）鹿沼商工会議所	24日	鹿沼ケーブルテレビ開局記念式典 商工会議所催事ホール
25日	鹿沼市福祉部との在宅寝たきり老 人歯科保健推進事業準備委員会 保健センター	30日	鹿沼市国民健康保険歯科ドック（お口の人間 ドック）推進事業 調印式 保健センター
2月8日,3月6日	歯科ドック小委員会 福祉センター	6月15日	母と子のむし歯予防教室 保健センター
2月14日	三師会と行政との懇談会 橋田旅館	7月7日	明生会 鬼怒川温泉 ホテルニュー岡部
3月13日	臨床研修会 ホテル京屋	12日	在宅寝たきり老人歯科保健推進事業 調印式 保健センター
29日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 （警察官対象の研修会）鹿沼警察署	17日	市民健康大学講座 保健センター
30日	定時総会 福祉センター	14日	学術研修会 福祉センター

**支部だより**  
上都賀支部  
鹿沼市国民健康保険歯科ドック  
（お口の人間ドック）  
検診事業スタート！！

平成8年9月1日より、鹿沼市の協力を得て、鹿沼市国民健康保険歯科ドック（お口の人間ドック）検診事業が、開始されました。

※この歯科ドックは、テーマである「新たな治癒・歯を失わない為……生自分の歯で咬めるように……」にあるように、成人歯予防の一環として行われるものであり、歯周疾患の最重要項目に挙げている。

即ち、Pに関しては即今のコマーシャルやマスメディアの発達により、以前よりはその予防の大切さが普及して来たにもかかわらず、ウ蝕を中心とした他の理由で来院し、始めて歯周疾患を認知するケースが多い。

そして、来院して始めてP予防についての重要性を説く訳だが、保険における歯周病の予防がそれ程浸透しなかったように、現在の保険を中心とした臨床体系の中では、経済的にも時間的にも又労力的にも、最初の目的からP予防を認めるには若干の無理があるのも当然であると言える。

今回実施される歯科ドックは、その名の通り将来見られる歯周病を、その時点で如何に未然に防ぎかねに重点が置かれたものであり、治療の急務段階として行うものではない。

但し、あまりにも子供年齢を考慮しても、或いはPの好発年齢にとられ過ぎても市民に広くアピールするには、歯周病が顕著であるとはならないと考えている。よって対象となる年齢は20歳～歯周病と酷くした状態のものに限定している。無歯患者は対象外となるだろうが、数本～十数本の現存歯のある者も受診出来る体制をとっている。

と同時にドックとしての付加価値を高める為に、日高診療の中で歯を取り入れたいものに、かつより全休費を把握しやすいうちに、咬合力検査・唾液検査・口臭検査・教組検査・口腔外診査等を取り入れている。

今、日本は世界でも類を見ない高齢化社会に突

入し、喫緊問題として老後がどうあるべきかも、随分とクローズアップされてきたように思う。

言い換えれば、寿命がただ伸びたということだけではなく、如何にエンjoyした生活をかかされるかという問題である。星から買へ、もの豊かさから心の豊かさに、日本における社会環境が変化してきた現れであると言える。

例えば、10年前前までは雑誌等に歯に関する話や記事が載って、あまり読者がいなかったのだが、最近では歯の健康を中心とした歯に関する話題が掲載されると、売れ行きが伸びるようである。

そうしたマスメディアの調査によれば、昨年よりとって最も気になるのは、

①食物を美味しく食べること  
②友達や親戚戚いは孫達が訪ねてきて、楽しく談話すること  
③TVなどで芝居などを鑑賞すること

となっている。

こういった結果（①～③等）を見ても明らかのように、歯が如何に大切か、そして歯の寿命を少しでも長く伸ばすことが、どれだけ生活をエンjoyさせ人生を充実したものに出来るかが判る訳だし、歯科界にとっても大変重要な「8020運動」を更によく認識し、時代の流れであることを



肝に命じなければならぬのではなからうか。

こういった時代の潮流の中で、幾つかの検診制度はあるものの、全国初の試みである歯科ドック（お口の人間ドック）は正に粒を拾ったものであり、今後実施していく中で改善すべき点は改善し、地方の一歯科医師会が範を示すくらいの気持ちで取り組んで行きたいものだと思ふ。

（以上車印よりは、上都賀歯科医師会作製の歯科ドックマニュアルP1～2より引用）

具体的には、上都賀歯科医師会々員（この検診事業に賛同する会員）が、前述のように、鹿沼市の20歳～既わ65歳の国民健康保険（国民健康保険）を対象に、各診療所に於て、口腔疾患の早期発見、早期治療を目指し、国民健康保険事業の健全な運営に資するために歯科ドック検診事業を実施するものです。

これに先立ち、上都賀歯科医師会歯科ドック検診小委員会、公衆衛生委員会の先生方を中心として、検診項目を検討、決定し、会員が歯科ドック検診事業を行う際の検診マニュアル（歯科ドックマニュアル）も作製しました。

実施にあたっては、会員の先生方への検診内容、並びに、検診に使用する機器等に関する説明会も開催しました。

検診内容は下記のようなものです。



歯科ドック説明会（その1）

歯科ドック説明会（その2）

1. 診査項目
- |           |            |
|-----------|------------|
| ①空身的診査    | ⑥咬合力検査     |
| ②口腔内軟組織診査 | ⑦咬合検査      |
| ③歯周診査     | ⑧現在歯・喪失歯検査 |
| ④唾液検査     | ⑨歯周組織の精査   |
| ⑤口臭検査     | ⑩口腔外診査     |
- 上記のように、歯周組織の精査ということで、4点法ポケット測定による精密検査と、歯垢塗布の出し検査、また機器（T-Scan レジスタム）を使用した咬合力検査や、口臭検査、各種試薬を使用した唾液検査、等が特徴であると思ふ。
- まだまだ、スタートしたばかりの事業で、いろいろな検討課題もありますが、必ずや、これからの歯科界に於ける、検診事業の一つの方向性を提示するものとして、全国的にこのような検診制度が広がることを期待しております。
- この検診事業の、今後の進捗状況も、またの機会に御報告したいと思います。
- （上都賀支部広報編集モニター 大賀真福：記）

足利支部  
那須研修旅行の記

10月19日（土）晴れ。

いつもなら夢の中であらう早朝に目覚め、ゴルフ組の私は秋の爽やかな空気を満喫して那須国際C.C.へ出発した。今回のゴルフ組、午後の観光船と二つに別れての出発である。バスの中ではもの10分もたないうちにアルコル島が漂っていたような気がする。那須国際C.C.へはAM8:30に到着。澄んだ秋空の下木々も色づき、船好のゴ



支部旅行 鬼怒川温泉「ホテルあさや八番館」

7月30日	今市・芳賀・上都賀合同保険講習会 宇都宮市 護国会館	鹿沼トーヨーボウル	
8月21日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	11月7日	日光杉並木オーナー制度の契約第1号調印
25日	県央四支部合同学術研修会 ホテル ニューイタヤ	8日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 特別講演 福田屋コンベンションホール
9月1日	鹿沼市国民健康保険歯科ドック(お 口の間ドック)健診事業スタート!!	10日	西方町健康まつり 西方町保健センター
28日	老人福祉施設「クローバー」開所記 念式典 老人福祉施設「クローバー」	16日	自治医科大学口腔外科開設20周 年祝賀会 ホテル ニューイタヤ
28日	謁謁会(慰労会) 石ばし	17日	ふる里栗野まつり「健康まつり」 栗野町勤労者体育センター
10月1日	菊地 均 開業(新規診療所開院) 東町3-6-19	29日	鹿沼市温泉検討委員会 市役所
19日	広報編集室移動編集会議開催後 の懇親会設営並びに参加	30日	老人保健施設「かみつが」開設式 老人保健施設「かみつが」
26日	福祉ボウリング大会(第13回)	12月1日	学術研修会 鬼怒川温泉 ホテルあさや
		1・2日	支部旅行 鬼怒川温泉 ホテルあさや八番館
		25日	菊地貞造逝去 享年 80才

**支部だより**

**上都賀支部**

第11回「謁謁会」開催

新涼快適な、平成8年9月28日(土)午後6時30分より、鹿沼市石橋町割烹「石ばし」に於いて第11回「謁謁会」(あいあい会)が、開催されました。

毎年、御紹介しているように、この会は、上都賀歯科医師会の会員であり、満70歳以上の先生方に、敬老の意を表する会として、初秋のこの時期に行われるものです。

本年度の有資格者の先生は、菊地貞造先生、新島剛先生、福田利示先生、川島光五郎先生、畑二郎先生、村本光先生、鯨原悦郎先生、今井一郎先生、そして新たに古桶を迎えられた、駒橋秀光先生です。



- ◎物 価 宝くじ単価500円「阪神・淡路大震災復興協賛宝くじ」で一等賞金初の1億円
- ◎映 画 Shall we ダンス?、キッズ・リターン、ミッション・インポッシブル
- ◎流行語 自分で自分をほめたい、住専処理、チョコベリバ、ストーリーカー
- ◎流行歌 Don't wanna cry、アジアの純真、DEPARTURES、あなたに逢いたくて

**〈上都賀歯科医師会  
臨床研修会開催される〉**

平成8年3月13日(水)午後6時30分より、市内のホテル京屋において、臨床研修会が開催された。今回の研修会は東邦薬品を通じて第一製薬株式会社のお貸しで、会場から講師の手配までをお任せする形で行われたが、講師には、東海大学医学部 口腔外科学教室教授である佐々木次郎先生をお招きする事となり、「歯科領域感染症における抗菌剤の使い方」のテーマで約2時間程の特別講演をして頂いた。

まず始めに第一製薬の抗菌剤クラビットの商品説明が会社の方からあった後、佐々木先生の特別講演となった訳だが、講演の始まる午後7時前には、夕方の忙しい診療後にも拘わらず32名の先生方の出席をいただき、大盛況の研修会となった。現在よく使用されている抗菌剤、抗菌剤は

- ・ペニシリン系
- ・セフェム系
- ・マクロライド系
- ・ニューキノロン系

の4系に大別されるが、佐々木教授曰く、ペニシリン系とセフェム系の内よく効くものを1剤と、マクロライド系とニューキノロン系の内よく効くものを1剤、合計2剤を用意しておくことが、との事だった。

ここで大切な事は、例えばセフェム系を例にとると、速く良い物と効かなくなってしまった物の差がかなり有るということで、今やセファロキシンは殆ど効果がなくなり、セファロロも効かなくなりつつある。セフジニルは良い薬だが、食後には吸収が悪い為、食事の30分前に服用させる必要がある。患者にとっても飲みにくい薬であることから、現在セフェム系から最良の1剤を選ぶとなると、プロドラッグであるエステル化剤ということになる。商品名でいうと、オラセフ、トミロン、メイアクトあたりから1剤を選ぶと良い。

セフェム系以外の注意事項としては、マクロライド系は、クラリスをのぞき、食後服用では、吸収が極端に悪くなることや、ニューキノロン系には、副作用として光線過敏症が出現することがある為、服用後の日焼けは避ける事など1剤1剤の副作用から投与法まで具体的に、即、明日からの診療に役立つ講演内容であった。

特に教授が強調されていた事は、医師側の安易な薬物の使用と、薬付けに慣らされた患者側の飲み忘れにより、いま効果の上がっている薬が明日は効かなくなってしまおうということや、初めはちょっとした薬疹、胃腸障害から数日後には死亡した症例が数多くある事実で、患者からの訴えを軽視することなく、すみやかに皮膚科、内科へ紹介することの重要性であった。

嵐の数ほどある薬物の中からこの1剤、というものを選ぶことは、それなりの理由がある訳で、それには選ぶ側も十分な知識を身に付ける必要はないということが、身に染みて再確認させられた、貴重な研修会であったと思う。

最後に佐々木教授をはじめ、研修会開催に御尽力を頂いた第一製薬、東邦薬品の方々に感謝申し上げ、研修会報告を終わります。

(上都賀支部 学術担当 理事 新島康夫 記)




■平成9年（1997）

1月1日	手塚史雄入会 西茂呂3-16-4	4月1日	岡本全宏 県歯常務理事就任
30日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会) 福祉センター	8日	新旧役員引継ぎ式 福祉センター
30日	新年宴会 橋田旅館	5月23日	臨時総会 福祉センター
2月5日	視察研修会	27日	茂呂教授がメンデル賞受賞
	日本歯科大学 高齢者歯科診療科	6月18日	市民健康大学講座 保健センター
15日	鹿沼市「健康づくりのつどい」 市民文化センター	21日	母と子のむし歯予防教室 保健センター
20日	市長に陳情〔歯科医師会事務室設置 についての要望〕 鹿沼市役所市長室	7月13日	学術研修会 福祉センター
25日	臨床研修会 ホテル榎	8月1日	駒橋 武入会 千渡1671
25日	三師会と行政との懇談会	1日	茂木町に「ツインリンクもてぎ」オープン
3月22日	定時総会 福祉センター	20日	歯科保健指導者講習会 市民文化センター大会議室
	瓦井昭二支部長に選任さる	9月1日	金子泰英入会 西茂呂2-19-20
31日	鰻原悦郎 県歯副会長退任		

**B級グルメ紀行**

上都賀支部 石澤隆之

1995年の年末にサイパンの「K」レストランで、名物料理の「ヤシガニ」「フルーツパット」「マングロープガニ」を食べることができました。ヤシガニはカニとエビを足して2で割ったような感じで、その身は少し甘味を帯びており、大変おいしくいただきました。又、ビールのつまみとしても最高でした。見た目も味も一番のおすすめ品でしょう。フルーツパットは料理するのに数時間かかるということで前から注文し、心待ちに夕食まで時間をつぶしました。いざフルーツパットがテーブルに置かれると、一瞬ドキッとしてとんでもないものを注文してしまっと思いながらも、勇気を出して食べてみると薄い味つけで、見た目からは想像できないほど美味でした。肉は繊維がきめ細かく歯ざわりがよく、つけ合わせのココアのスープとよくマッチしていました。12月31日に食べたので妻はこれを「年越しコウモリ」と名づけました。マングロープガニは濃臭くて、舌があまり入っていないのであまりおすすめ品とは言えません。昨年暮れにシンガポールのパラゴンビゴッロにある中華レストラン「D」で、燕の巣のスー

プを口にすることができました。これは大変素晴らしいスープで、妻はこんなにおいしいものを食べるのは生まれて初めてだと言って涙を流して喜んでいました。また美容に良いということで、女性に召し上がってもらいたいスープです。同じときに注文した佛羅里達漢方薬が使われているものがあるスープですが、乾物くさい独特な香りがありません。

翌日、ニュートンサーカスで念願のドリアンを食べることができました。種のまわりにネットリとした甘みのある果肉がついており、舌にとろけるような感じがありました。私のように燕の巣の人はおすすめです。



東南アジアにはこれら以外にもまだまだ食材が豊富にあるので、これからもいろいろな食物にチャレンジしていきたいと思っております。

**学生時代の思い出**

上都賀支部 岸野昌彦

私が大学時代に所属していたクラブは、日本拳法部(聴て日撃)という、武道の中でもあまり聞きなれない方に属していた名前でしたが、その内容はかなり実践に即した考え方をもっていると思います。今回はその紹介を簡単にしてみようと思います。まず格闘技ですが、頭と胴体には剣道の面・胴に似た防具を使用し、両手にはボクシングに使用するグローブとほぼ同じものをつけます。足には拳法シューズとよばれるゴム底のくつをはき、この状態で2人が向かい合い、試合となります。技は突き、蹴り・寝技(関節技・おさえてのヒザ蹴り等)があり、それぞれの打撃力や型、相手に



与えるダメージ等を3人の審判が見て、1本か否かを旗で表示します。1試合は3分間3本勝負で、2本先取った方が勝ちとなります。

以上でいたい説明なのですが、聞くのとやるのではかなりのギャップがあり、私が1年生で入部した時は、いきなり先輩のしごき慣れを作るといふ目的でいいようにパンチをもらい、気を失う寸前ということがたびたびありました。しかし、練習のかいあってか、次第に反響に転じる場面も増えはじめ、蹴と呼べるレベルに達した時がいればやりがいのあった時期でもあったと思います。なによりも真闘勝負という面が魅力で、試合では先輩、後輩は、たとえ練習でも考えなくてよいと教えられたので、力のある下級生、例えば柔道、カラテ、ボクシングなどの経験者はその経験を譲るごとくなく、日撃のよい所と合わせるような方法で指導され、めめきと頭角を現していることが多かったと思います。

最近格闘技ブームなのだそうで、入部してくる部員も昔よりかなり多くなったと聞いていますが、彼等の活躍で日本拳法が少しでも多くの人に知られる武道となり、又、興味を持って「やってみようかな？」と欲してこれずいいなと思っております。

**第14回 県央四支部合同学術研修会開催**

平成9年9月28日(日)午後3時より、表記研修会が、栃木県生涯学習センター(鹿沼市)にて、開催されました。

本年度は、講師に、野村総合研究所、医療・福祉研究室長 宮崎 慶三先生をお迎えし、「歯科界の今後の動向について」と題して御講演いただきました。

当日は、秋晴れの、絶好の行楽日和にもかかわらず、宇都賀、上都賀、今市、芳賀の四支部の先生だけでなく、他支部の先生にも多数、御出席いただきました。

以下に、御講演の要旨を紹介致します。

- 社会的・経済的視点からみた歯科界への提案
- 歯科界としては、現在どういった問題をかかえているのか? どう解決していったら良いのか?
- 医療の、歯科界の抜本的改革を考へるとすればどういったことが考えられるのか?

- 抜本的改革**
- ① 医療機関の機能分担
  - ・地域のかかりつけ医制度が基本。(→整備、充実)
  - ・大病院、病院は、急性期の疾病に対応。
  - ・長期、慢性疾患を持った中高年以上の高齢者は、在宅や地域の施設、老人施設等で診る。
- (←この方々に対する歯科サービスをどうするか?)

- ② 国民に開かれた医療
- ・情報開示。(病院・診療所で行われている医療の中身を開示、公示する義務)

- ③ 診療報酬体系の見直し、改革
- 1. 技術料
- 2. 材料
- 3. 施設管理費用

を明確にし別個に評価する。

- ・外来については(1)出来高払い (2)定額払いを混在させる試み(定型化できるものと出来ないものを区分する)がなされる。
- ・近い将来(2005年以降)医科と歯科との差異は、是正される方向に進む。
- ・薬価基準制度は廃止し、実勢市場価格にまかせる。(ただし保険からの支払いには枠を設ける。)

また、この他にも、①歯科界をとりまく環境

- ② 歯科界の現状
- ③ 歯科界の将来像
- ④ 改革の為の代替案



等についても言及されました。

我々歯科医も、この辺で抜本的にリフレッシュし、色々な意味での(日本の国際社会化をもふまえた)意識改革が必要であること、さらには次に掲げるような貴重な提言もいただきました。

- ① 歯科技術革新、歯科技術開発の必要性
- 1) 地域医療支援病院の活用→開業医の技術習得、技術開発の場
- 2) 企業とタイアップし、新しい生体材料、歯科的薬材の開発。
- ② サービス革新
- 1) 患者管理→定期検診、リコールの重要性
- 2) 高齢者に対するサービス→アウトリーチ出来ない患者さんに対し、こちらから外に出向いて行う医療事業を行う。

- ③ 民間の保険会社とタイアップ
- 被保険者の、前払式保険料による、歯科的医療保険、健康管理の実施。
- ④ 高齢社会への対応→高齢者の歯科受診率を向上するための努力

尚、研修会には100名を超える先生方が熱心に聴講され、終了後は、同センターにおいて、懇談会を開催、盛会のうちにお聞きとなりました。

(上都賀支部 学術担当 大貫 真裕:記)

- |       |  |              |   |
|-------|--|--------------|---|
| 9月5日  | 栃木県公衆衛生学会発表<br>栃木県総合文化センター   | 11月9日        | 西方町健康まつり〔いきいきふれあい祭り〕西方町保健センター                   |
| 17日   | 藹藹会（慰労会）石ばし  | 13日          | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 総会<br>特別講演 福田屋コンベンションホール          |
| 28日   | 第14回県央四支部合同学術研修会<br>（上都賀担当）栃木厚生年金休暇センター<br>“歯科界の今後の動向について”<br>野村総合研究所 医療・福祉研究室室長 宮崎 慶三 | 16日          | 栃木県歯科医学会発表 栃歯会館                                 |
| 10月3日 | 2歳児検診についての打合せ会 福祉センター  | 16日          | 栗野町健康まつり〔ふる里栗野まつり〕<br>栗野町中央公民館                  |
| 25日   | 福祉ボウリング大会 鹿沼トーヨーボウル  | 11月30日・12月1日 | 支部旅行 新潟方面 新潟市イタリア軒                              |
| 25日   | 小山歯科医師会創立50周年記念式典 小山市 和田屋新館  | 12月14日       | 鰻原悦郎勲五等双光旭日章受章・<br>日本歯科医師会会員有功章受賞祝賀会 宇都宮グランドホテル |
| 11月6日 | 上都賀・今市合同保険講習会<br>福田屋コンベンションホール   | 19日          | 鰻原悦郎勲五等双光旭日章受章・日本<br>歯科医師会会員有功章受賞祝賀会<br>石ばし     |



**\*上都賀支部\***  
**歯科保健指導者講習会開催**

平成9年8月20日(木)午後1:30分より、鹿沼市市民文化センター大会議室に於いて、歯科保健指導者講習会が、開催されました。

本年度の対象者は、幼稚園、保育園等の先生方で、講師に、昭和大学歯学部小児歯科学教室講師の向山賢一郎先生をお迎えし、「乳幼児の口腔内環境について」という演題で、ご講演をいただきました。

上都賀歯科医師会会員18名、鹿沼市、栗野町の幼稚園、保育園等の先生方52名、行政より鹿沼市福祉部長、衛生士4名、合計76名の参加をいただき、講習会が盛大に行われました。

向山先生には、乳幼児の口腔内の特徴と、最近の乳幼児に見られる口腔状態を保護さん達にも分かりやすくして説明いただきました。

その中で、乳幼児の口腔内環境を良くするためには、家庭における生活環境の整備がかなり重要であるということでした。

また、近年お菓子の中に利用されているキシリトールについての話もあり若い保護さん達も熱心にメモを取っていらっしゃいました。

夏休みも終わり近付き、子供さん達の治療でお忙しい中お集まりいただいた、会員の先生方はじめ、関係各位に感謝し、ご報告とさせていただきます。

(上都賀支部 駒橋 一永：記)

**第12回「藹藹会」開催**

**祝表彰**

**鰻原悦郎先生**  
**勲五等双光旭日章受章**

平成9年秋の叙勲において、永年にわたる歯科界の発展と地域医療及び学校保健の向上発展に尽力された功績が認められ、前栃木県歯科医師会副会長 鰻原悦郎先生が栄えある勲五等双光旭日章を受章されました。

衷心よりお慶び申し上げます。



**茂呂教授にメンデル賞**  
免疫構造解析に功績

日本人2人目

- ◎物 価 タクシー東京初乗り 2km 660円、加算270m 毎80円
- ◎映 画 うなぎ、もののけ姫、インディペンデンス・デイ、ジュラシック・パーク
- ◎流行語 ガーデニング、じゃないですか、パパラッチ、透明な存在
- ◎流行歌 CAN YOU CELEBRATE?、硝子の少年、ひだまりの詩

## ■平成10年（1998）

1月29日	税務講習会、鹿沼地区歯科医師警察連絡会研修会 (歯科医師対象の研修会) 新年会 開催 鹿沼市商工会議所催事ホール	5月21日	従業員研修会 福祉センター大会議室
30日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察対象の研修会) 鹿沼警察署3階 大会議室	22日	納税組合会会議 福祉センター中会議室
2月9日	歯科ドック打ち合わせ会議 鹿沼市庁舎新館501会議室	26日	栗野町歯科ドック事業の契約締結 福祉センター中会議室
19日	公衆衛生研修会 福祉センター大会議室	6月3日	第19回市民大学講座 講師：新島康夫 保健センター
2月23日～3月5日	成人病検査 関湊記念会クリニック	20日	母と子の虫歯予防教室 保健センター
24日	臨床研修会 ホテル榎	24日	鹿沼市在宅寝たきり老人歯科保健 推進事業機器説明会 保健センター 機能訓練室
26日	三師会 福田屋コンベンションホール	7月6～17日	B型肝炎ウイルス検査 上都賀総合病院
3月28日	定時総会 福祉センター大会議室	13日	医療管理講習会 福祉センター大会議室
5月1日	保険説明会 福祉センター大会議室	8月20日	歯科保健指導者講習会 福祉センター大会議室

**モニター通信**

～身近な天然記念物を求めて～

**「生命の宿る木々」 鹿沼市**

上都賀支部広報編集モニター 大 貫 真 裕

鹿沼市には、天然記念物として下に記すような非常に学術上価値の高い植物や、貴重な大木、巨木があります。

① 成就院のしだれあかしで (推定樹齢70年)  
② 加蘇山の千本かつら 2本 (推定樹齢 A:1000年 B:700年)  
③ 勝願寺の地藏けやき (推定樹齢600年)  
④ 喜久沢のツクバネガシ (推定樹齢600年)  
⑤ 磯山神社のスギ 2本 (推定樹齢 A:500年 B:400年)  
⑥ 加蘇山神社のスギ 3本 (推定樹齢 A:500年 B:800年 C:500年)

今回は、このうち①、⑤を御紹介します。



①



②

①成就院のしだれあかしで  
鹿沼市を南北に縦走する、国道293号線を鹿沼市街より南に、車で10～15分程走ると、榎木駅近くの左手国道沿いに、真言宗榎木山成就院があります。

この境内に、とちぎ名木百選にも選定されている「しだれあかしで」があります。「あかしで」はソロ、シアノキなどの名前で見られる、カバノキ科の落葉高木で、国内の平地から低山にかけて分布していますが、本県では山地に多く、この木はその中でも枝垂（しだれ）性のものです。

樹勢はすこぶる旺盛で、細い枝はすべてしだれ、一部は地表に接しています。実は現在のものは2代目で、初代は今から200年ほど前に榎木の東長沼で発見され、珍木として成就院に植えかえられたものでしたが、残念ながら枯死しています。2代目は約60年前に横根山麓で発見され、現在地に移植されました。

現在、鹿沼市周辺には、この木からの実生（みじょう）のあかしでが20本ほど植えられています。その実を蒔いてしだれになる木は非常にわずかな木でしかないという貴重な樹木です。(写真①)



⑤磯山神社のスギ 2本  
上記の成就院をさらに国道293号で南下すると、南押原小・中学校近くに磯山神社があります。

この磯山神社本殿の真後ろ(A)と真西(B)に生え、神社を覆う鬱蒼としたスギやヒノキの中にあってひととき目をひく大きなスギ(スギ科)です。A株は双幹のスギで、B株は通称夫婦(めおと)



④

杉と呼ばれ寄り添うように小幹が癒着しています。この2本とも神木として地元の人々に親しまれています。人間は生きてもせいぜい100年ですが、これらの木々はその何倍もの長い時間を生きている訳で、まさに生命が、神々が宿る木々です。(写真②、写真③)

また、この磯山神社の参道には、2,000株を超すアジサイが植えられ、6月下旬から7月上旬には、さながらアジサイ寺(もともと神社ですが)のような景観が楽しめるそうです。アジサイの見頃の時期に、ぜひ出掛けてみてはいかがでしょうか。(写真④)



8月26日	歯科ドック事業機器説明会 福祉センター中会議室	11月8日	西方町いきいき健康ふれあい祭り 講師：中田嘉之 西方町保健センター
9月16日	藹藹会 石ばし	8日	栗野町健康祭り 講師：鯉原公子 栗野町勤労者体育センター
27日	学術研修会 福祉センター大会議室	12日	障害児口腔衛生指導研修会 講師：金子實
10月6日～H11年3月26日	B型肝炎ワクチン接種 上都賀総合病院	12日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 福田屋コンベンションホール
8日	鹿沼市介護認定審査会委員連絡会議(第1回) 市民文化センター大会議室	26日	鹿沼市役所歯科健康教育 講師：鈴木節夫 齊須わか子 保健センター
20日	鹿沼市介護認定審査会(5回) 保健センター	29日	学術研修会 ホテル鬼怒川御苑
24日	福祉大会ボウリング(15回) 鹿沼トーヨーボウル	29日	支部旅行 ホテル鬼怒川御苑
26日	帝国繊維(株)歯科健康教育 講師：越路昭夫 帝国繊維(株)鹿沼工場	12月10日	上都賀・今市合同保険講習会 今市市 ホテルつたや

### 上都賀支部 学術研修会 開催

平成10年9月27日(日)午後1時30分より、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて、学術研修会が開催されました。



今回は、日本歯科大学より、菊谷武先生をお迎えし、「高齢者における食べる問題」とのテーマで御講演いただきました。菊谷先生は、日本歯

科大学を昭和63年に御卒業、平成元年より日本歯科大学歯学部高齢者歯科診療科に入室され、平成2年同助手、その後東邦大学医学部第2麻酔科学教室研究生、平成8年に、日本歯科大学講師となられた新進気鋭の先生です。

以下に当日の御講演の要旨を御紹介致します。

「高齢患者がかかえる問題」

1. 義歯にまつわる問題  
歯の喪失による咀嚼障害を機能障害(impairment)としてとらえ、義歯を入れ噛めるようにすることはそれに対するリハビリテーションとして考えると合理的である。
2. 加齢とともに低下する食べる機能
3. 摂食、嚥下、誤嚥について  
誤飲と誤嚥の違い…誤飲は異物が食道に入るが誤嚥は気管に入る。
4. 摂食・嚥下障害を起こす疾患
5. 摂食・嚥下障害に見られる症状

### 6. 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーション

- 1) 直接訓練  
摂食時の姿勢指導、食物の味・形態、量の指導
- 2) 間接訓練  
頸部リラクゼーション、舌・口腔周囲筋群の運動訓練、構音(発声)訓練、寒冷(過熱)刺激法
- 3) 嚥下補助装置  
P L P (Palatal lift prosthesis)  
P R P (Palatal reshaping prosthesis)
- 4) 食事に対する援助  
食事時間、食形態、心理的配慮  
食事に関する自助具…形状記憶歯ブラシ等

また、当日は休日にもかかわらず鹿沼市保健福祉部健康課長以下保健婦さんにも参加いただいたことを付記し、御報告いたします。

(上都賀支部学術担当 大興 真裕：記)



よい歯のコンクール  
図画・ポスターの部



母と子の虫歯予防教室



- ◎物 価 サントリー新角1,416円
- ◎映 画 HANA-BI、踊る大捜査線、タイタニック、メインブラック
- ◎流行語 貸し渋り、ハマの大魔神、だっちゅーの、ショムニ
- ◎流行歌 夜空ノムコウ、誘惑、my graduation、長い間、Wanna Be a Dreammaker



■平成11年（1999）

- |                   |  |            |                                    |
|-------------------|--|------------|------------------------------------|
| 1月28日             | 税務講習会 福祉センター大会議室                               | 3月11日      | 臨床研修会 ホテル榎                         |
| 28日               | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>(歯科医師対象の研修会)<br>福祉センター大会議室    | 27日        | 定時総会 福祉センター大会議室                    |
| 28日               | 新年会 橋田旅館                                       | 4月1日       | 上都賀歯科医師会ホームページ開設                   |
| 29日               | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会(警察官対象の研修会)<br>鹿沼警察署3階大会議室        | 28日        | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会(第1回役員会) 石ばし          |
| 2月11日             | 「健康づくりのつどい」<br>講師:駒橋一永・手塚史雄 鹿沼市市民文化センター        | 5月20日      | 従業員研修会 福祉センター大会議室                  |
| 18日               | 公衆衛生視察研修会 仙台市福祉プラザ                             | 6月9日       | 第20回市民健康大学講座<br>講師:鈴木裕之 保健センター     |
| 22日~3月4日          | 成人病検査 関湊記念会クリニック                               | 17日        | 障害児口腔衛生指導研修会<br>講師:金子 實 あおぼ学園      |
| 25日               | 栃木放送「歯の話」の収録及び放送<br>放送 放送<br>担当者:菊地 均 宇都宮市栃木会館 | 19日        | 母と子のむし歯予防教室 保健センター                 |
| 3月1・8・15・22・29日放送 |  | 27日        | 学術研修会 福祉センター大会議室                   |
|                   |  | 7月31日~8月1日 | 支部旅行 東京・横浜バス旅行<br>(隅田川花火大会をメインとして) |

**モニター通信**  
一途・前進について  
「日光例幣使街道」  
上都賀支部に所属するモニター 大貫 真裕

先、上都賀支部（鹿沼市、那須野、西光町）に一歩前進が課せ、目標もあるまい。幸ひ、日光例幣使街道である。

例幣使とは、毎年新年に鹿沼（はいばく）を奉納するためにあつたお祭りである。

元和二年（1615）4月1日日光御旅まで来たが、その多くは鹿沼（はいばく）の御旅に参り、その一年は日光に参り、と云ふこととなつた。

この一年、鹿沼の御旅に参り、その一年は日光に参り、と云ふこととなつた。

元和二年（1615）4月1日日光御旅まで来たが、その多くは鹿沼（はいばく）の御旅に参り、その一年は日光に参り、と云ふこととなつた。

鹿沼は日光と通じるといふ。日光御旅の交差点（生土垣）に日光御旅の石碑が建ち、鹿沼市、那須野、西光町、支那田、那須野を経て今昔をたどる光景が、鹿沼から日光へ参る御旅まで呼んでいる。（写真見）

鹿沼方面から来た。日光御旅の石碑が建ち、鹿沼市、那須野、西光町、支那田、那須野を経て今昔をたどる光景が、鹿沼から日光へ参る御旅まで呼んでいる。（写真見）

日光御旅は、奈良より参った人物を奉納する御旅に参るといふ。日光御旅に参り、その一年は日光に参り、と云ふこととなつた。

元和二年（1615）4月1日日光御旅まで来たが、その多くは鹿沼（はいばく）の御旅に参り、その一年は日光に参り、と云ふこととなつた。

支那だより  
上都賀支部  
平成10年度  
公衆衛生視察研修会

上都賀支部では、平成10年度に公衆衛生視察研修会を開催した。講師は、仙台市福祉プラザの鈴木裕之先生である。研修会は、仙台市福祉プラザの会議室で開催された。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

研修会には、仙台市福祉プラザの職員も参加された。研修会の最後は、先生のお話を聴いた。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

支那だより  
上都賀支部  
平成10年度  
公衆衛生視察研修会

上都賀支部では、平成10年度に公衆衛生視察研修会を開催した。講師は、仙台市福祉プラザの鈴木裕之先生である。研修会は、仙台市福祉プラザの会議室で開催された。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

研修会には、仙台市福祉プラザの職員も参加された。研修会の最後は、先生のお話を聴いた。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

支那だより  
上都賀支部  
平成10年度  
公衆衛生視察研修会

上都賀支部では、平成10年度に公衆衛生視察研修会を開催した。講師は、仙台市福祉プラザの鈴木裕之先生である。研修会は、仙台市福祉プラザの会議室で開催された。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

研修会には、仙台市福祉プラザの職員も参加された。研修会の最後は、先生のお話を聴いた。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

支那だより  
上都賀支部  
平成10年度  
公衆衛生視察研修会

上都賀支部では、平成10年度に公衆衛生視察研修会を開催した。講師は、仙台市福祉プラザの鈴木裕之先生である。研修会は、仙台市福祉プラザの会議室で開催された。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

研修会には、仙台市福祉プラザの職員も参加された。研修会の最後は、先生のお話を聴いた。研修会の内容は、公衆衛生の重要性、食生活の改善、生活習慣病の予防などである。研修会に参加した医師は、先生のお話を大変興味深く聴いた。

**支那だより**  
上都賀支部  
上都賀歯科医師会ホームページ開設

上都賀歯科医師会では、平成11年4月1日より「上都賀歯科医師会ホームページ」を開設いたしました。このホームページは上都賀歯科医師会の目的・活動・事業内容等を広く一般の方々に知っていただくために作成したものです。

内容は、

- 会長挨拶
- 上都賀歯科医師会について
- 事業内容
- 歯科ドック
- 在宅歯科診療
- 鹿沼地区歯科医師警察連絡会
- リンク
- メール送信

となっております。

支那だより  
上都賀支部  
上都賀歯科医師会ホームページ開設

上都賀歯科医師会では、平成11年4月1日より「上都賀歯科医師会ホームページ」を開設いたしました。このホームページは上都賀歯科医師会の目的・活動・事業内容等を広く一般の方々に知っていただくために作成したものです。

内容は、

- 会長挨拶
- 上都賀歯科医師会について
- 事業内容
- 歯科ドック
- 在宅歯科診療
- 鹿沼地区歯科医師警察連絡会
- リンク
- メール送信

となっております。

支那だより  
上都賀支部  
上都賀歯科医師会ホームページ開設

上都賀歯科医師会では、平成11年4月1日より「上都賀歯科医師会ホームページ」を開設いたしました。このホームページは上都賀歯科医師会の目的・活動・事業内容等を広く一般の方々に知っていただくために作成したものです。

内容は、

- 会長挨拶
- 上都賀歯科医師会について
- 事業内容
- 歯科ドック
- 在宅歯科診療
- 鹿沼地区歯科医師警察連絡会
- リンク
- メール送信

となっております。

支那だより  
上都賀支部  
上都賀歯科医師会ホームページ開設

上都賀歯科医師会では、平成11年4月1日より「上都賀歯科医師会ホームページ」を開設いたしました。このホームページは上都賀歯科医師会の目的・活動・事業内容等を広く一般の方々に知っていただくために作成したものです。

内容は、

- 会長挨拶
- 上都賀歯科医師会について
- 事業内容
- 歯科ドック
- 在宅歯科診療
- 鹿沼地区歯科医師警察連絡会
- リンク
- メール送信

となっております。

支那だより  
上都賀支部  
上都賀歯科医師会ホームページ開設

上都賀歯科医師会では、平成11年4月1日より「上都賀歯科医師会ホームページ」を開設いたしました。このホームページは上都賀歯科医師会の目的・活動・事業内容等を広く一般の方々に知っていただくために作成したものです。

内容は、

- 会長挨拶
- 上都賀歯科医師会について
- 事業内容
- 歯科ドック
- 在宅歯科診療
- 鹿沼地区歯科医師警察連絡会
- リンク
- メール送信

となっております。

支那だより  
上都賀支部  
上都賀歯科医師会ホームページ開設

上都賀歯科医師会では、平成11年4月1日より「上都賀歯科医師会ホームページ」を開設いたしました。このホームページは上都賀歯科医師会の目的・活動・事業内容等を広く一般の方々に知っていただくために作成したものです。

内容は、

- 会長挨拶
- 上都賀歯科医師会について
- 事業内容
- 歯科ドック
- 在宅歯科診療
- 鹿沼地区歯科医師警察連絡会
- リンク
- メール送信

となっております。



■平成12年 (2000)

1月28日	税務講習会 福祉センター大会議室 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会) 福祉センター大会議室 新年宴会 橋田旅館	3月9日	臨床研修会 ホテル 榎
31日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察官対象の研修会) 鹿沼警察署3階 大会議室	25日	定時総会 福祉センター大会議室 瓦井昭二、支部長に選任される
2月3日	栃木放送「歯の話」の収録及び放送	4月1日	岡本全宏先生、県歯常務理事に就任
14~24日	成人病検査 関湊記念会クリニック	6月17日	母と子のむし歯予防教室 市民情報センター
16~24日	B型肝炎ウイルス検査 上都賀総合病院	20日	第21回市民健康大学講座・講演「知って おきたい歯の話」講師 木村立男 市民情報センター
15日	鹿沼地区三師会新年懇親会 福田屋コンベンションホール	29日	今市支部・上都賀支部合同社保講習会 福田屋コンベンションホール

モニター通信

**わ支部の人**

上都賀支部  
「われら、橋の葉訪溪園  
新島 康夫 先生」

平成12年8月31日雨夕方、広瀬福室の村本明先生と私とで、新島康夫先生の御自宅に向い、最近(ここ2~3年)先生が夢中になられている山谷遊び、源流釣行について取材させていただきました。

これまでも、ゴルフやスキー、ラジコンヘリと多方面に興味をお持ちだった先生が、「脳みその半分位は山行きたい癖候群にとりつかれ、武トレ、キノコ取り、忘年会も新年会も山の中と家産も呆れる有変ぶり」(←先生談)となられたのは、先生の御自宅から、「歩いて3分、這って10分、車だったら30秒」(←これも先生談)の、鹿沼市児童台通りの居酒屋「あじさい亭」(今年の2月頃までは「けむし屋」)「知らないお客さんが入りにくいので名前を変えたそうです」の御主人、その世界では知る人ぞ知るかの有名な「中尾章男」氏の影だそうです。

中尾さんは、宇都宮運送会(この会の創設にかかわられたのが栃木の孫野哲男先生だそうです)に所属、けむし屋ハイキングクラブを主宰、こちらも現在は橋の葉訪溪園と名前を変え、11~12名のメンバーで活動している会の中心的存在で、シーズン中は釣り、山菜、キノコと山や川に行く冒険に苦心惨愴。店の客を源流釣行の世界に引きずり込んでいる(←こういう康夫先生もその犠牲者の一人かも?)という方です。(写真①一向かつて左側の方です)

先生が今までに行かれた先は、  
(沢登り)  
・地元東大沢沢、地蔵岳、夕日岳の間の源流  
・松枝枝 硫黄沢 (99.6月)  
この時生まれて初めて高尾イブナを釣られたそうです。  
・山形 朝日連峰 荒川 (99.8月)  
この時の模様は、源流紀行【秘伝源流】、辰巳出版(平成12年4月10日発行)に先生の記事が書かれています。  
・田子倉湖近くの毛猛沢 (00.7月)  
初めて御自分で作られた毛バリで釣られたそうです。組式フライ「テンカラ釣り」だったそうです。(写真②)



写真②



写真③

- ・会津平ヶ岳を源流に持つ悲の峠川 (00.8月) (積雪期)
- ・北アルプス 前穂高岳 北尾根 (99.5月) (ゴールデンウィーク (写真④))
- ・足尾 松本沢渓谷 アイスクライミング (1~2月) (写真⑤) (御自宅にて写真⑥)
- ・ハッケ岳 天狗尾根 (00.2月)
- ・那須 茶臼岳 (00.2月)
- …等々、限られたこの紙面ではとても全部は書ききれません。

橋の葉訪溪園としては月1回ペース、個人的にもそれ以上のペースで出かけるそうです。これほどまでに先生がのめり込まれたのも、先生が高校在学中は山居部に在籍され、朝日も飯屋にも登られているという経験と下地があったからこそと納得しました。

以上のようなお話を先生の御自宅でうかがい、その後先生の山の脚記、中尾氏経営の「あじさい亭」に直行しました。

中尾氏、村本先生、また康夫先生の奥様の志津子先生も御一緒に、山の話や釣りの話、職業も年齢も皆違う様々な人がまさに同じ釜の飯を食ら



写真④

い、数々の困難に立ち向かい乗り越えた時の爽快感、達成感、充実感は格別なものであること。それと同時に偉大な自然への畏敬の念、「山、懐そして人の思みを存分に授かりこの豊かな大自然がいつまでも変わらないことへの祈り」(←先生談)等、色々なお話を聞かせていただきました。

奥様もそんな先生の趣味の世界を、「子供みたいでしょ!! この人はのめり込むとそればかり夢中になるタイプだから、私は溜めています。」という言葉の中に、先生に対する理解とあたたかきを感じずにはいられませんでした。

酒の杯を重ねるうちに、話は学生時代の先生と奥様とのなれそめにも及び、時間の経つのも忘れ、大変遅くまでおつき合いいただきました。

先生、奥様、本当にありがとうございました。



写真⑤

広報編集室 村本 明:取材  
上都賀歯科医師会広報編集モニター  
大貫 真裕:記



親子むし歯予防教室



話し会

7月16日	学術研修会 福祉センター大会議室	11月26日	栗野町健康福祉まつり 講師 鯨原公子 栗野町勤労者体育センター
8月22日	歯科保健指導者講習会 福祉センター大会議室	29日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会(総会)
9月4日	田島雅哉が診療所を移転(医院名変更) 聚賢堂田島歯科医院→田島歯科医院 鳥居跡町1240→上殿町765-5	12月3日	学術・医療管理・調査合同研修会 ホテル鬼怒川御苑
14日	藹藹会(慰労会) 石ばし	3日	支部旅行 ホテル鬼怒川御苑
10月1日	支部名ではなく上都賀歯科医師会となる	10日	鹿沼市ヤンチャまつり 講師 大貫真裕 市民情報センター
3日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会(役員会) 石ばし	12日	臨床研修会 福田屋コンベンションホール
25日	臨床研修会 市民情報センターEUC学習室		
28日	福祉大会ボウリング(第17回) 鹿沼トヨーボウル 福田屋コンベンションホール(懇親会)		

**上都賀歯科医師会**

**合同研修会開催**

平成12年12月3日(日)午後2時30分より鬼怒川温泉「ホテル鬼怒川御苑」にて標記の上都賀歯科医師会合同研修会が開催された。

当歯科医師会調査委員会では、「救急医療体制作り」について視察している趣であり、今回その一環として「有病者の歯科治療において、おこりやすい偶発事故と対処法」のテーマのもと学術、医療管理、調査委員会合同の研修会が開催された。講師に都立荏原病院歯科口腔外科医長としてご活躍なさっておられる佐野晴男先生をお招きし御講演をいただいた。佐野先生は障害者、有病者、高齢者の歯科治療を中心に「手の掛かる患者、危ない患者の吹き溜り」を少いてこられたと謙遜されておられたが、第一線で活躍中の先生である。



**上都賀歯科医師会**

以下講演の要旨をご紹介します。医療事故を起こさないようにするためには患者との行きちがいが事故の発端、患者との信頼関係

が重要であり、普段からどんな患者に対しても不用意に痛みを与えることなく優しく接するように心がけること。難しい患者に対するときだけ優しい歯科医を演じては日常の習慣は必ず出てしまうもの、とくに初診時は、重要であるようだ。又われわれ歯科医と患者では歯科についての意識、立場がまったく違うことを再認識する必要があると、力説されておられた。

また、一番の基本としてバイタルサインを把握することが最低限の基本であり、その意義を十分理解すること、患者の脈に触れることを習慣づけることにより脈に触れただけで収縮期が推し量れるようになり聴診の時、非常に役立つとのことである。

次に患者が重篤な状態に陥ったときは、バイタルサインも取らず事態の把握ができないまま使い慣れない薬を投与するよりは、救急蘇生の基本的手順である気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージまで確実に行なって応援を呼ぶほうが賢明とのことである。

また都立荏原病院歯科口腔外科は、地域歯科医師会と連携等も進められているとのこと改めて「連携医制度」の重要性を再認識した次第である。何れにしても佐野先生のお話はスピードとテンポがあり内容的にも現場サイドにたった非常にわかりやすいものであった。

また、この研修会終了後、懇親会を兼ねた忘年会が開催され、二次会、三次会と会員相互の親睦も、より一層深まった一日であった。

(上都賀歯科医師会 相馬 英人：記)

**支部だより**

**上都賀支部**

**上都賀臨床研修会開催**

平成12年3月9日(日)午後6時30分より、鹿沼市ホテル復にて上都賀臨床研修会が開催された。講師に、足利赤十字病院口腔外科部長の山根伸夫先生をお迎えし、抗菌薬と感染症～ニューキノロンの臨床意義を中心に～とのテーマで講演をしていただいた。



講演のなかでは、ペニシリン系、セフェム系、ニューセフェム、マクロライド系各種抗菌薬とニューキノロン系抗菌薬とその特徴、臨床で用いる際の注意等を御教授いただいた。

また、グラビット等のニューキノロン系抗菌薬は耐性菌の出現も未だ少ないので、重症感染症、特に難治性の骨髄炎や上顎洞炎に短期間に用いるべきであると強調されていた。

(上都賀支部 学術担当 大貫 真裕：記)



支部旅行 ホテル鬼怒川御苑

- ◎物 価 日光金谷ホテル、2食付き1万3千円、税別
- ◎映 画 ナビィの恋、雨あがる、シックス・センス、グリーンマイル
- ◎流行語 IT革命、おっはー、めっちゃ悔しい、わたし的には
- ◎流行歌 TSUNAMI、箱根八里の半次郎

## ■平成13年 (2001)

1月24日	税務講習会 福祉センター 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会) 福祉センター 新年宴会 橋田旅館	2月28日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察官対象の研修会) 鹿沼警察署
2月1日	公衆衛生視察研修 東京医科歯科大学	3月10日	臨床研修会 市民情報センター
6日	三師会新年懇親会 福田屋コンベンションホール	14日	臨床研修会 ホテル榎
13日	鹿沼市健康教室 鹿沼東部地区公民館	24日	総会 福祉センター
2月18日	健康づくりのつどい 市民情報センター	5月31日	障害児口腔衛生指導研修会 おおば学園
		6月16日	親子虫歯予防教室 市民情報センター
		7月5日	医療管理研修会 福祉センター



従業員研修会 (医療管理)

**モニター通信**  
過去の行事めぐり

**鹿沼秋祭り**

上都賀歯科医師会 大貫 真裕

平成13年10月13日は、14日祝、鹿沼秋祭りが、今年はおしく好天のもと、盛大に行われました。(今宮神社は雨の日の開催、毎年のように雨に降られるのに今年の本祭りは天気に恵まれました。)

鹿沼秋祭りは、今宮神社の由緒ある祭りでその歴史をひもとくと、  
戦国の世が過ぎ、一時荒廃していた鹿沼宿は、慶長13年(1608年)3月、今宮神社の再建を期に復興が始まりました。この年は日照りが続き大旱魃(だいかんぱつ)の気候となりましたので、氏子や近郷の人々が今宮神社に集まり雨乞いの祭りや三日三晩続けたところ、聖徳太子に激しい雷雨がおこりました。この聖徳太子のあがった6月19日(旧暦)を宵祭り、翌20日を例祭とすることになったのが、今宮の祭りの始まりと伝えられています。

付け祭りの内容は、最初は簡単な「踊り屋台」で各町内が踊りと狂言を強い合い奉納したもので、文政の改革(1827年)天保の改革(1841年)にて、華やかな風俗が禁止されると、各町内は踊って屋台を全面彫刻して飾るようになりまし。江戸末期には、今宮付け祭りの主役は彫刻屋台に移りし、祭りの見せ場は今宮神社への屋台の飾り込みと飾り出しとなりました。

神興遊幸は、明治15年(1882年)に、田来の流行行脚行を時勢に合わせて手直しを加え、今宮祭典制定書が制定し現在の形が出来上がりました。「今宮神社付け祭り及び神興遊幸習俗」は、鹿沼の歴史階級の素晴らしいエネルギーを今に伝え、後世を伝承した最高の祭りと言えるでしょう。平成8年1月、栃木県無形民俗文化財に指定されました。

現在今宮神社氏子町内には27台の屋台があり、そのうち13台は江戸時代から伝わる彫刻屋台です。構造は漆塗りで四つ車、屋根は昔風瓦つき、彫り物は、富田宿(大平町)の彫師集積地磯田氏の手になるもので、日光五重の塔(四重)の彫物種を一つとめた後藤正秀のような名工もいます。白木彫りのものと風流雅彩色のものに分けられ、現在の形をとるようになったのは19世紀初めごろと思われま。明治以降も屋台は造られ、近年は新しい屋台にも彫刻を取り付ける動きが出ています。

木工の田嶋宿のシンボルとして、屋台と祭りはこれからは一層発展するでしょう。(以上 鹿沼秋祭り振興会編纂・発行のパンフレットより)

10月13日(日)、本年度は総勢23台の豪華彫刻な彫刻屋台が、今宮神社へ飾り込み、飾り出しました。(氏子町内の屋台23台が飾り出さず境内へ次々と入る付け祭り最大のハイライトです。境内に勢ぞろいした屋台は、目度と共に一斉に投灯に火を入れ、お囃子の響く中、再び各町内へ戻って行きます。)また、ぶっつけ(→後述)も各所で行われました。

翌14日(祝)は、今宮神社の神興遊行・彫刻屋台23台の巡行パレードが行われ、市内中心部各交差点では、3台～8台の屋台が曳き手揃って「ぶっつけ」を披露しました。「ぶっつけ」とは、屋台をぶっつけ合うのでは

なく、2台以上の屋台が道路上で向かい合って、お囃子の隊列をすることで、事前に場所と時間を申し合わせて行われるのが普通です。お囃子の隊の足音で、若衆の足音も足音に盛り上がりまし。

氏子各町は、上組・下組・田町上組・田町下組の4つのブロックに分かれ、「ぶっつけ」は同じ組の町内同志で行われます。

日光御使使節の鹿沼宿の通りでは田町通りの方が古くからあったとされ、田町通りに近い町内は田町上組・田町下組に分かれ、現在の国道293号沿いの町内は上組・下組に分かれているのも、歴史を感じ、興味深いことです。

アメリカでは、同時多発テロが起き多くの人が命を落とし、アフガニスタンに東事介入、戦争や不幸な出来事が世界に広がっている中、日本の伝統のお祭りに参加し、若者男女、心から楽しむのも平和であってこそはとつくづく感じた2日間でした。

鹿沼には、私などより、もっともっとお祭りの大好きな、お祭り心から愛する先輩達先生方がいらっしゃる中、モニターということでこの記事を書かせていただきました。(あしからず)

**「郡市歯科医師会だより」**  
**上都賀歯科医師会**

**医療管理研修会開催**

平成13年7月5日(木)午後2時より、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて、医療管理研修会が開催された。

講師に、JALアカデミー講師より、接客インストラクターの山崎あき子先生をお招きし、「愛されるスタッフ・選ばれる医師」―患者第一主義の定義と実践―とのテーマで講演をお願いした。

山崎先生は、1970年 日本航空株式会社 客室乗務員(国際線スチュワーデス)として入社  
1979年 日本航空株式会社 本社(東横線9年)退社後、日本航空株式会社広報部のPRスチュワーデスとして活躍  
1986年よりJAL接客インストラクターとなられ、主に  
各種企業 男女社員研修、新入社員研修  
大学、高校でのマナー教育  
スチュワーデス志望者の教育  
管理職研修  
医療関係従事者への講演・研修  
各地 青年会議所・商工会議所にて講演・研修  
官公庁にて講演・研修  
ホテル、ゴルフ場従業員教育  
全国各地で、接客マナーについての講演・研修

当日、第一線で活躍されている方である。当日の研修会では、  
○「患者様第一主義」の実践  
→患者様との話本5原則として  
①挨拶 ②表情 ③身だしなみ  
④言葉遣い ⑤態度  
の5つが大切であること、またその実践のポイントや、  
○心遣い・気遣いを伝える電話応対  
あたたかい心を伝える電話応対の基本  
○患者様対応の実践  
後述動作：立ち姿・お辞儀・物の授受・指し差し・案内  
……等についてお教授いただいた。

昨年度までは、対象者は従業員で従業員研修会として行われていたが、今年度は、対象者を会員と会員の従業員としたことで、参加者も約70名と大幅に増えた。

従業員はもちろん、会員の先生方にとっても、大変興味深く、有意義な研修会であった。  
[上都賀歯科医師会 広報編集モニター 大貫 真裕：記]

**よい歯のコンクール  
図画・ポスター審査会**

**ボウリング大会**

**謁見会**

8月9日	今市、上都賀歯科医師会合同社保講習会 今市市つたやホテル	11月14日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 厚生年金休暇センター
23日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	11月22日~12月20日	施設巡回診療
9月2日	西方町成人歯科検診 西方町保健センター		知的障害者通所授産施設「あいりん」
14日	謁謁会 石ばし	24日	鹿沼市ヤンチャまつり 鹿沼商工会議所
10月	ホームページ管理、運営小委員会設置	25日	粟野町健康福祉まつり
10月7日	第18回県央四郡市歯科医師会合同学術研修会 厚生年金休暇センター	29日	栗野町勤労者体育センター
27日	福祉大会ボウリング(第18回) 鹿沼トヨーポール		栃木放送“歯の話”の収録及び放送

わが家には、2人の息子がいますが、休日になると「今日はどこへ行く？」と必ず言ってくる。なるべくお金をかけずに、家族が楽しめると思えばと思うが、行先が決まらないでいたのですが、最近、いい所を見つけたので。それはツインリンクもてぎです。サーキット場なのですが、わが家の息子は二人共車好きに仕付け、それ以外は、仕付けは普通は言わないと思いましたが、あえて、仕付けと言います。そのためかなりの車好きです。ツインリンクは、大きなレースがなければ車の駐車料1000円もあれば入場でき、財布に優しく、車が行けば、いいドライブコースなのです。7月と8月で8回も行っていました。その行った中で、初心者体験レッスンという企画があり、それはドライバーに助手席に同乗してもらい、コースを周回してレッスンを受けるもので、72回コースの車を所有していますが、ハンドルを切っても曲がらない状態になるアンダーsteerが出てしまうのです。プロに聞くと、アンダーが出るならハンドルを逆に切るのでその通りに逆に切ると前輪がグリップを取りもどし、それとほぼ同時に後輪が一瞬曲がる方向とは逆に押し出される様な感覚で外側にサイドインで曲がっていったのです。プロは小刻みにハンドルを動かしてその状態を連続してつくり出し、ニュートラルで曲がって行くのであろうと思いました。私はこんなたわいもない事をしていて、目を忘れてストレス解消になっているのです。

平成13年当年年会員  
上都賀歯科医師会 手塚 史雄



### 臨床研修会開催

「21世紀の経口抗菌薬」をテーマにして

平成13年3月14日(金)午後7時より鹿沼市ホテル製に於て上都賀歯科医師会臨床研修会が開催されました。当日は東海大学医学部口腔外科学教室教授佐々木次郎先生をお招きし、「21世紀の経口抗菌薬」というテーマで御講演いただきました。



まず最近開発された15員環ニクロロイド抗生剤について説明がありました。この薬剤は、歯周組織炎88.6%、歯冠周囲炎75.0%、顎炎88.2%と3日間投与で、菌性感染症に85.9%との高い有効性を示したそうです。治療のポイントとしては、菌性感染症において、1日500mgを3日間投与後、圧痛が消失したかどうかを確認する(菌性感染症で抗菌薬を投与する症例では、全例で局所に圧痛が存在する)そして4日目の再診時に、臨床症状の改善がみられない時は効果が無いと判断し他剤に変更し、効果がみられた場合は、1週間効果が続くことでした。また薬の相互作用として喘息の治療薬のテオフィリン代謝に対して、従来のニコロイドと違い影響を及ぼさないとのことでした。

つづいて菌性感染症で膿瘍があった場合、  
1. しっかりドレナージュする(深く広く)  
2. 白血球の力を高める(患者さんに体を休めよく食べてもらう)  
3. 良質の抗菌薬を投与する(ケフレックス、ケファールなどは効果がない)  
などが大切であるとのお話がありました。  
また薬の副作用、アレルギーについて話されました。まず投薬中に、発疹が出たら内科ではなく必ず皮膚科に紹介することが大切であるとのことでした。皮膚科の先生は、薬前が原因であると

いうことを言わないことになっており、チャレンジテストも行わないようです。また、紹介する時は投薬中の薬剤名、投与期間、投与量、またどんな部位に発疹が出たのか略図をつけて、診療情報提供書を記すようにするという事です。  
次に具体的な例として  
・下唇が腫れる(下唇のタロコ)  
キシロカインでもなる  
・Stevens-Johnson症候群  
多形紅斑の重症型で必ず粘膜移行、粘膜移行部病変の有無を確認する。治療はステロイドの全身療法を行い、またコンタクトを入れていないと失明の可能性があるですぐにはずすようにする。  
・光過敏症  
テトラサングリン(ペリオクリン等)、ニューキノロン(スバラ等)で起る。使用期間中は、屋外での作業、ゴルフ、スキーなど日光曝露を避けるよう指示する。  
・TEN(中毒性皮膚壊死症候群)  
Nikolsky現象等の皮膚症状がみられたらただちに入院措置をとる  
・カンジダ症  
・歯肉腫大  
アダラート等のカルシウム拮抗剤で起る  
・アミロイド症  
舌がゴチゴチになる。体のどこかにみつがってこない病がある可能性がある  
・急性腎臓炎(PMK)  
抗菌薬の投与によって腸内細菌が、大きく変動しひびく下痢を起し、加齢が進むと死んでしまうものをいう。ペニシリン、ヤフェム、ニューキノロン、クリンダイシンで起こることがある。なるべく早く入院設備とバンコマイシンのある病院へ患者を送るようにする  
などのお話がありました。  
また、鎮痛剤の使用量は1位が整形外科、2位が歯科でそうで、喘息発作等の副作用に注意しあり安易に出し過ぎることのないようというアドバースもいただきました。  
(上都賀歯科医師会 学術担当理事 畑 健一氏 記)

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**歯科保健指導者講習会開催**

平成13年8月23日(金)、午後1時30分より、鹿沼市総合福祉センター大会室にて、上都賀歯科医師会歯科保健指導者講習会が開催されました。

昨年度は、小・中学校の教頭先生の先生方を対象に、「キレる理由は何にあったか」「子育て(歯科)」「血脈のない子で育てる本」等の著書であり、テレビ等にもたびたび出演されている、東京都大田区で開業されている、倉治先生を講師としてお迎えし、本のタイトル通り「キレる理由は何にあったか」として歯と心を育てる子育て歯科を打ち立てた」とのテーマで御講演をいただき、大変好評でありました。

本年度は、対象が、昨年度とは違って幼稚園や保育園の先生方ということで、再度、倉治先生に講師をお願いしました。

今回は、「子育て歯科で美しい歯を育てよう」というテーマで、子育て歯科とキシリツールをつかった新しい歯科「子育て歯科」とのテーマで、御講演をいただきました。

その内容は、  
○4歳までに正しい歯列(必ず間のある歯列)を育てよう  
○虫歯を作らないようにするには  
- アメは自分の子にも他人の子にも与えない(1回で約20分間、吸戻をひきおこす)  
- キシリトールガムのガムを利用する  
- 6ヶ月~1歳までに歯ブラシを扱わなかった子は、歯ブラシに対し、拒絶反応が出やすい  
- この時期からフッ素歯磨剤を少量から使用する  
- 6歳までにフッ素入り歯磨剤を使用するようにする  
- 歯質強化の大切さ  
- 白濁も立派な虫歯  
- ミュータンス菌の母子感染の問題(歯磨き粉を口移しで与えない、同じスプーンを使用しない)  
- フィンランドの教育  
①食事 ②歯磨き ③フッ素 ④定期検査 +キシリトール  
○パーフェクト歯磨きレッスン  
- 仕上げ磨きの際、磨く歯の手は固定する  
- ブラッシング圧は、100g程度  
- 少量の歯磨剤を有効に使うために、乾いた歯ブラシを使用する  
- ブラシの出来ない乳児には、フッ素ジェルは少量を用い、最後にガーゼ等でふいてやる  
- 寝かせ磨きの際など、子どもは姿勢の変化に不安を感じるので慣れるまで練習をする  
- イムシゴコロなどの遊びをとり入れる  
等々――多岐にわたり具体的に分かり易いものでした。  
上都賀歯科医師会 公衆衛生担当  
大貫 貴裕氏 記

### ●●●「若い人に忠告す」●●●

上都賀歯科医師会 駒橋 秀光

若い先生方に申しあげます。  
私は75歳になってしまい、その上、上脲癌に掛り、放射線療法で癌は治療したのですが、味覚がわからなくなり、日溜と食欲不振で、体力が無くなり、診療は出来なくなり、時間を持って余しています。同じ位の年齢の歯科医に、「どうやって毎日時間をつぶしていますか」と尋ねますと、「僕は若い時から暮をやっていたから、暮をやっているので、あきれることはありません」と答えが返ってきます。私は歯科医業、一茶だったので現在持っている訳です。若くて、今、忙しく働いている先生方は、若い中に、絆、将棋、釣

り、マージン等を夢中でやって置くことが大切だと思います。私は歳をとったら読書しようと思えば大分賢いようにしていますが、目が老化して、本を自由に読めません。  
無趣味な人は、若い時は感じませんが、75歳以上になると時間を待たせてしまいます。ゴルフもよいのですが、病に冒されると出来なくなってしまう。  
今の所、短歌を始めましたが、始まるのが遅かったと思います。俳句もそうでしょう。  
若い時から、年をとったらどうしようかと、考えて実行すべきです。  
なんといいっても大切なのは健康です。毎日、ジョギングをやるとか、太極拳でもやるかです。鼻敏感は抑える、タバコは吸わない、歯に気になると、年をとるとわかるのですが、それでは遅いのです。

- ◎物 価 スーパーカブ 155,000円
- ◎映 画 千と千尋の神隠し、バトルロワイヤル、トラフィック、山の郵便配達
- ◎流行語 聖域なき改革、抵抗勢力、米百俵、塩爺
- ◎流行歌 Dearest、海鳴り

■平成14年 (2002)

1月24日	税務講習会、鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会) 福祉センター 新年宴会 橋田旅館	3月13日	臨床研修会 ホテル榎
2月8日	三師会新年懇親会 福田屋コンベンションホール	30日	定時総会 福祉センター
10、11日	支部旅行 札幌・小樽方面 札幌雪まつり	5月16日、10月3日	障害児口腔衛生指導研修会 あおば園
17日	健康づくりのつどい 市民情報センター	30日	医療管理研修会 福祉センター
2月28日	公衆衛生研修会 福祉センター 鹿沼地区歯科医師警察連絡会	6月15日	親子むし歯予防教室 市民情報センター
		7月11日	今市・上都賀歯科医師会合同社保講習会 福田屋コンベンションホール
		20日	福田利示逝去 享年 90才

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**鹿沼市健康づくりのつどい 開催**



平成14年2月17日(日)、鹿沼市民情報センターにて、鹿沼市「新・健康都市宣言記念事業『健康づくりのつどい』」が開催された。

これは、鹿沼市が市民を対象として、医師会・歯科医師会・薬剤師会・歯医会・あるいは他の各福祉グループ等の協力を得て行つたもので、本年度は、健康相談・歯科相談・薬ミニ講座・薬の相談・ペット相談・栄養相談・ストレッチ体操体験・骨密度測定・血圧測定・体脂肪測定・身長体重測定・直生活改善コーナー・ナイスメディアビューティー講座・国保コーナー・グループ紹介・簡単な健康チェック・健康に関する各種展示…等々数多くの体験・展示に関する各種展示9時30分～午後1時30分まで行われた。

今年度は、上都賀歯科医師会からは、石崎誠先生と藤原昇次先生に担当していただいた。上都賀歯科衛生士会からも2名の衛生士が協力、簡単な歯科検診・口臭検査「アチン」を使用した口臭検査・さらに希望者には歯科相談を実施した。

当日は、口臭検査に人気集中した。特に女性の方が口臭検査を多数受けられ、改めて口臭に対する関心の高さに驚かされた。

午後1時30分からは、団立精神・神経センター精神保健研究所名譽所長古川武彦先生が、「地域福祉と心の健康」一心の健康を保つには…とのテーマで健康づくり講演会を行った。

今年は鹿沼市も2002年1月1日午前0時は、新・健康都市宣言を行った年であり、この後2月23日には、「新・健康都市宣言」を内外にアピールするため、フォレストアリーナ(鹿沼総合体育館)にて、シドニーオリンピック金メダリスト田村亮子選手の講演会をメインとした、「新・健康都市」かぬま市民の集い」が開催され、こちらも多くの市民が参加し盛況であった。

(上都賀歯科医師会 広報編集モニター 大真 真裕：記)

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**臨床研修会**

平成14年3月13日(水)鹿沼市ホテル榎にて、上都賀歯科医師会臨床研修会が開催されました。日本薬剤師会常務理事、薬美智子先生を講師としてお迎えし、「薬剤の相互作用」というテーマで御講演いただきました。



まず最初にインフルエンザ脳症のお話をなさいました。解熱剤としてメフェナム酸(ボルタール)ジクロフェナク(ボルタレン)を用いると脳症の発症率が高くなるため解熱剤はアセトアミノフェンを用いなければならぬ、昨年4名の方が脳症で亡くなられ、そのうち2名は致死的(以前の病気で悪化されたもの)をインフルエンザの解熱剤として用いてしまい脳症を悪化させ死亡した例を挙げ、同じ解熱剤でもその病気が違う場合の危険性を指摘されました。

次に口から薬を飲み消化管で一緒になった時の問題点として例えば、チトラサイクリン系抗菌薬とカルシウム(牛乳で飲んだ場合)や、ケフレックスなど長用性のコーティング(PH5.5、6)でとける)がされているものを牛乳で飲むと、牛乳が胃酸を中和しPHが中性近くになってしまうため薬がすぐに溶けてしまい吸収時間が短くなったり、血中濃度がすぐに高くなってしまふことがあるそうです。また牛乳は脂溶性薬剤の吸収を高めてしまうこともあるとのことでした。

また歯痛が痛む時に炭酸飲料で飲むと血中濃度の上昇を阻害し、なかなか痛みがおさまらないので水で飲むように申し添えるようにとのことでした。

次に腸からの吸収時、小腸の壁と肝臓の壁との間で薬物を代謝する酵素について述べられました。

①CYP3A4 (チトクロームP450)  
この酵素は、ニフェジピン(アダラート)の代謝をする酵素で、グレープフルーツジュースを飲むと代謝が阻害され大量に飲んでしまったのと同じ状態になってしまう。

②CYP1A2  
この酵素は、タバコを1日20本以上喫う人に、タバコの成分(ニコチン以外)を処理するためたくさんでいるもので、テオフィリン(気管支喘息の薬)やカフェインの効果を低下させるため、タバコを喫う人は喫わない人の1.5～2倍の量の量が必要になる。逆に20本以上喫う人が禁煙すると10日から2週間で薬が半分の量で効くようになるため、それまでの量だと中毒を起こしてしまう。

③CYP2E1  
この酵素は、アルコールで誘導される。少し前にあった埼玉保険金受入でアルコールと市販のカゼン(アセトミノフェン)を一緒に飲ませた。通常アセトミノフェンは、グルクロン結合、グルタチオン結合によって代謝されるが、大量に飲むと代謝されないものに対してCYP2E1が作用しN-アセチルイミドキノンができてこれが肝毒性を示し肝障害を起こし肝細胞を壊死させて、死に至る。大酒飲みのお客さんにはアセトミノフェンは、処方しないほうがよい。

④CYP2D6 CYP2C19  
CYP2D6は抗ヒスタミン剤、プロメタジンを代謝する。日本人の100から200人に1人欠損しており総合感冒薬を飲んで強い眠気を覚ます人は、2D6が欠損しているかと判断しその後の処方に注意する。2C19は日本人の5人に1人が欠損している。この酵素で代謝されるものは胃酸を抑える薬、プロトンポンプインヒビター(胃酸の薬)などがあるが現在あまり大きな問題を起こすものではない。

また抗生剤による下痢には、多剤耐性乳酸菌製剤を用いると差がでることができるとのことでした。さらにベンゾジアゼピン系の薬剤、抗うつ剤など睡眠の分泌を抑える薬剤が大変多く従って精神科に入院している患者さんなどは口腔衛生の低下を招き易く、定期的に歯科医師に相談することが必要であるとのことでした。

これから日常の臨床に於て大変参考になる講演となりました。

(上都賀歯科医師会 学術担当 畑 健一：記)

**平成14年度学術研修会**

平成14年9月1日(日)午後1時より鹿沼市福祉センター大会議室において、東京歯科大学スポーツ歯学研究所主任教授 石上恵一先生を講師としてお招きし「臨床家のためのスポーツ歯学」というテーマで講演と、マウスガード作製のデモを行っていただきました。

まず講演では、スポーツ歯学という学問はその歴史が長くまだ顎顔面口腔系を包括した学問体系にはなっていないが、近年豊かな社会生活を求める現代人のスポーツ活動への関心は高く、今後スポーツ歯学という分野は社会のニーズに対応できるような飛躍的に発展していくものと思われることでした。さらにわが国ではカリエスは抑制されつつあり、歯周病も将来抑制されると考えられる。また、21世紀にはスポーツ外傷による歯牙の喪失が増えると思われ、それに伴ってマウスガードの需要が、増加すると考えられるとのことでした。



マウスガードは顎顔面口腔領域におけるスポーツ外傷による歯牙の破折、脱落、脱臼、顎骨の骨折、口唇の裂傷を予防するだけでなく、コンタクトスポーツにおける脳震盪もある程度回避できるそうです。これは衝撃による頭蓋内圧の変化を小さくすることによることによるそうです。脳震盪の危険性については日本では、スポーツ関係者に十分に認識されておらず、例えば脳震盪を繰り返すことによって脳の損傷、脳の萎縮など様々な障害へとつながり、初期症状では、数分から数時間の頭痛めまい、ふらつき、注意の欠如、晩期症状では数日から数週間の頭痛ふらつき記憶障害、注意困難などの症状がみられるとのことでした。またマウスガードには、脳心動脈を抑え体位を安定させスポーツパフォーマンスを向上させる働きもあるとのことでした。

講演後は、マウスガードの作製のデモを行っていただきました。行っていたのは加熱加压形成器を用いたラミネートタイプのもの、加熱吸引型形成器を用いたバキュームタイプの2種類のカスタムメイドタイプの作り方と市販のマウスフォームタイプを見せていただきました。マウスフォームタイプは、歯科医師会の先生が、実際に口腔内で作りましたが、口を開けると落ちてしまふ場合は良くありませんでした。これに対しカスタムメイドのマウスガードは、適合もよく違和感や発音障害等も殆どなく作れるとのことでした。

マウスガードは将来サッカーなどの様々なスポーツにおいて義務化されることと考えられ、そうになった時、我々歯科医のもとに来院される患者さんに対して、きちんと対応できるようにしておくことが大切であると思いました。

(上都賀歯科医師会 学術担当 畑 健一：記)



8月7日	在宅寝たきり老人歯科保健推進事業 機器説明会 市民情報センター	10月29日	研修会（調査委員会担当） 市民情報センター
22日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	11月7日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 福田屋コンベンションホール
9月1日	学術研修会 福祉センター	11日	臨床研修会 福祉センター
13日	藹藹会 石ばし	12月1,2日	支部旅行 盛岡・秋田方面
10月19日	栃広広報編集室移動編集会議接待 古峰ヶ原迎賓館	8日	鹿沼市ヤンチャまつり 商工会議所
26日	福祉大会ボウリング（第19回） 鹿沼トーヨーボウル		



札幌 クラーク像の前で




藹藹会



小岩井農場から岩木山を望む

- ◎物 価 正露丸100錠850円 200錠1500円
- ◎映 画 たそがれ清兵衛、猫の恩返し、  
ロード・トゥ・パーディション、  
ハリーポッターと賢者の石
- ◎流行語 タマちゃん、W杯（中江津村）、  
貸し剥し、ムネオハウス、拉致
- ◎流行歌 地上の星、Voyage、大きな古時計、  
ワダツミの木

<p>私が自分のための休日と思っているのが木曜日。日曜は何かと家族にしばられて行動するが、木曜は自分だけの時間です。気のあった友達とハイキングのような山歩きが今一番気に入っている。よく行くのが那須高原。はじめて那須岳の紅葉をみた時、自然のおりなす赤と緑のコントラストに、こんなきれいな紅葉があるのかと心うたれました。その年は何年に一度とかいう紅葉のきれいな年だということでした。それ以来、那須岳を中心に今年は月山方面、次はあさひ岳、次は熊見首根方面へと毎年機会ある毎に行っています。どの方面に歩いてもちがった趣をみせてくれるのが那須の山で</p>	<p>ある。 山に行くこと、自然の森や山と一体化するあの気持ちが心を癒してくれるのかもしれない。山からおりたら温泉に入り、疲れた筋肉をほぐし、着がえた所で、今度はおなかの番です。情報を仕入れた所でお茶をしたり、食事をしたり、山のきの子を物色したりしながら、満足してもどって来るのである。帰って、買ってきた山のきの子を調理するのもまた楽しみのひとつです。</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p style="text-align: right;">             栃木県公衆衛生大会長表彰              上都賀歯科医師会 齋 須 わか子         </p>
---	--

## ■平成15年（2003）

- |       |   |              |   |
|-------|---|--------------|---|
| 1月23日 | 税務講習会 福田屋コンベンションホール<br>鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>(歯科医師対象の研修会) 新年宴会 | 3月3日         | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>(警察官対象の研修会) 鹿沼警察署<br>総会 福祉センター |
| 2月16日 | 健康づくりのつどい 市民情報センター  | 3月27日        | 瓦井昭二 会長に就任                                      |
| 17日   | 介護支援専門員連絡会研修会<br>市民情報センター                                 | 4月1日         | 岡本全宏 県歯常務理事に就任                                  |
| 26日   | 駒橋秀光逝去 享年77才  | 5月29日、12月11日 | 医療管理研修会 福祉センター                                  |
| 27日   | 公衆衛生研修会 福祉センター  | 6月12日、10月30日 | 障害児口腔衛生研修会 あおば園                                 |

**都市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

### 公衆衛生研修会開催

上都賀歯科医師会では、平成15年2月27日(木)午後2時より鹿沼市総合福祉センターにて、公衆衛生研修会を開催した。

日本歯科大学歯衛生学講座助教授 福田雅臣先生を講師に、「健康日本21と歯科保健」～成人歯科保健活動の進め方・捉え方～というテーマで講演をしていただいた。

今年度(平成14年度)は、県歯でも平成14年11月28日(木)に栃木県歯科医師会歯周疾患検診研修会を開催しており、健康日本21をふまえ、日本歯科大学歯学部名誉教授 森本 基先生を講師に「老人保健法による歯周疾患検診の進め方と保健事業の展開」というテーマで御講演いただいている。

各都市歯科医師会でも、この研修会をもとに行政各町村とタイアップし歯周疾患検診事業を推進、実施することが望まれるところである。



当日、福田先生の御講演では「健康日本21」の概要から成人歯科保健活動のすすめ方と評価法の考え方、歯周疾患の評価法について懇切丁寧に解説していただいた。

前段の「健康日本21 保健管理とは、口腔保健管理の実際、疫学的視点からみた歯科疾患の特徴」という話も為になったが、それ以上に、口腔診査法と診査基準、う蝕診査基準としてのWHOの診査基準、歯周疾患検査基準としてのCPI、CPIプローブの正しい使用法、CPIによる歯周病検診の実際、CPI集計法は大変勉強となった。

この中で先生は、口腔診査実施にあたっては、診査者にはトレーニングが必要であること、診査者が統一した基準に従って終始診査できるようにし、診査者間の差を最小にすることが重要であると強調されていた。

(上都賀歯科医師会 公衆衛生担当  
大貫 真裕：記)

モニター通信

### 水辺の風景 せせらぎ公園と鹿沼市文化ゾーン

上都賀歯科医師会 鈴木定幸


今、鹿沼で「水」と言えば大芦川のダム建設が話題ですが、いささか政治色が強く本稿にはふさわしくないとと思われるので、今回は「せせらぎ公園」とその周辺を紹介します。



せせらぎ公園

「せせらぎ公園」は水緑景観モデル事業として平成2年に作られました。「鹿沼市文化ゾーン」の中央に位置し、南北に流れる水路に沿って遊歩道があり、木製の橋や東屋、水辺におりる階段などがある約400mの公園です。まあ、トレンデーに言うなら「水辺の癒しをコンセプトにした散歩道」でしょうか…(@\_@) ちなみにこの水路は以前は「木島堀」と呼ばれた農業用水で、鹿沼市の中心を流れる黒川から(御成橋近くの木島堀より)取水され、文化ゾーンを通り市街地では暗渠となり上殿町付近では今でも農業用水として利用されています。

「鹿沼市文化ゾーン」とは、鹿沼中心市街地の活性化拠点として、また「文化のまち・かぬま」のシンボルゾーンとして文化施設等の集積を図っているゾーンで、そこには図書館や市民情報センター(ここでは親子わし歯予防教室や各種検診も行われます)そして川上澄生美術館があります。川上澄生は明治28年横浜で生まれ青山学院高




黒川より文化ゾーンを望む

等科を卒業後大正10年宇都宮中学校の英語の教師として赴任し、以来栃木県と縁の深い木版画家です。この美術館は川上澄生の教え子でありコレクターでもある長谷川勝三郎氏の縁により平成4年にこの地に開館しました。数多くの取蔵作品の中でも必見は「初夏の風」という作品ではないでしょうか。恋慕の情を自作の詩に託し、絵と詩を同一画面に融合させた多色刷の美しい木版画で、棟方志功が版画を志すきっかけとなった作品としても有名です。館の1階はオープンスペースとなっており、年賀はがきコンクールや美術教養講座の会場としても使用されています。

また、この文化ゾーンには昨年「文化活動交流館」もオープンしました。「観る・学ぶ・創る」を通して人の輪を育み、ふれあえる新たな交遊体験ゾーンをテーマに、新築施設と深岩石の石蔵を再利用した施設で構成されています。郷土資料展示室、市民ギャラリー、喫茶室、創作工房を備えており、展示室では国指定重要無形民俗文化財「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」に繰り出す桐畑豪華な彫刻屋台2台を展示するほか、鹿沼秋祭り解説及び、鹿沼出身の著名人のパネル展示もされています。

秋の日のちよつとした散策に、ぜひ一度「鹿沼の水辺」を訪れてみて下さい。



周辺地図



謁請会

6月21日	楽しく学ぶ親子むし歯予防教室 市民情報センター	10月25日	福祉大会ボウリング 鹿沼トーヨーボウル
25日	歯科ドック事業機器説明会 福祉センター	11月5日	高齢者に対する歯つらつモデル事業 粟野町 特別養護老人ホーム「粟野荘」
7月6日	学術研修会 福祉センター	12日	高齢者に対する歯つらつモデル事業 西方町「ふれあいプラザ」
7月16日、10月27日	調査委員会担当研修会 福祉センター	13日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 市民文化センター
8月21日	歯科保健指導者講習会 市民文化センター	12月7日	鹿沼市ヤンチャまつり 鹿沼商工会議所
9月12日	謁謁会 石ばし		

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**「歯科保健指導者講習会」開催**

上都賀歯科医師会では、平成15年8月21日(木)午後1時30分より、鹿沼市民文化センター大会議室にて、平成15年度「歯科保健指導者講習会」を開催しました。

この講習会は、毎年お盆休み明けの夏休みに行われるもので、今年度は幼稚園、保育園(所)等の先生方を対象に行いました。

グリーン(伴瑞)せつ系先生を講師に「未就学児童のための実践的な歯科口腔保健指導」とのテーマで講演をしていただきました。

グリーンせつ系先生は、東京歯科大学を御卒業後、東京歯科大学小児歯科学講座助手、神奈川県立こども医療センター歯科医師、カナダ・トロント小児病院Clinical Research Fellowを経て、神奈川県立こども医療センター歯科客員研究員、東京歯科大学歯生学講座専攻生になられ、現在は心身障害児総合医療センターに勤務され、御活躍中の先生です。

先生の御主人が外国(アイルランド)の方なので、結婚されてグリーン(伴瑞)せつ系先生というお名前になられたとの事です。(英語はペラペラ、御上手ですが日本の方です。)

御講演の中で先生は、

- ・ウ蝕は減少したが現代の子供達には何か起こっている。
- ・歯列不正、顎の成長の問題。
- ・嚥下、摂食、発音などに問題が出てきている。
- ・3～4歳児の乳歯のウ蝕は減少したが、それ以降は6歳臼歯の萌出とともに増加傾向にある。
- ・ミュータンス菌の母子感染の問題と対処法。
- ・6歳臼歯が萌出して、2年間ウ蝕にならないければ、その後はほとんどはウ蝕にならない。(この時間の大人の管理の必要性和難しさ)
- ・咀嚼の際の唾意の重要性について
- ・現代の子供達の食生活の問題と注意点。
- ・部習癖、指しゃぶりが舌前突部さらには異常嚥下を引き起こす。

ということを強調されていました。



また、先生は歯科衛生士の山下美紀さん(鹿沼短期大学歯科衛生学科卒)も御一緒に連れてこられ、当日講習会に出席してくれた上都賀歯科衛生士会の衛生士さんにも協力してもらい、後半では実際に一人一人茶め出しをして、ブラッシング指導を行いました。



幼稚園、保育園の先生方からの質問にも丁寧に應對して大変好評でした。

さらに、衛生士の山下さんから「口腔機能療法(MFT)」、舌のトレーニングについての話もしてもらいました。(若いのに、こういう話や指導ができる方なので普段からの姿勢が良いのには感心させられました。後で聞いてみると普段から常に意識して気をつけているとか…)

時間があれば、もう少し詳しく聞いてみたいとの声があちこちで聞かれました。

当日は、半日の暑い中、会員の先生方をはじめ上都賀歯科衛生士会の衛生士さん、鹿沼市福祉部長、健康課、児童福祉課の皆さん、幼稚園、保育園の先生方にも多数出席していただきありがとうございました。

また、特に最初、グリーン先生がノートパソコンからプロジェクターへの接続コードをお忘れになり、同じメーカーのコードを急いで御自宅まで取りに戻ってくださった駒積武先生!! この紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

上都賀歯科医師会  
公衆衛生担当 大興 真裕:記  
広報編集モニター 鈴木 定之:写真



臨床研修会 (一戸先生)



新警察署内覧会



臨床研修会 (中村先生)



臨床研修会 (中村先生)

- ◎物 価 タバコ 新生170円、セブンスター・ピース280円、ハイライト・マイルドセブン270円
- ◎映 画 座頭市、赤目四十八瀧心中未遂、戦場のピアニスト、ラスト、サムライ
- ◎流行語 毒まんじゅう、なんでだろう?、マニフェスト、勝ちたいんや
- ◎流行歌 さくら、世界に一つだけの花、白雲の城、No way to say

## ■平成16年 (2004)

1月29日	税務講習会、鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会)、新年会 福田屋コンベンションホール	4月1日	岡本真利入会 下材木町1359-1
2月11日	学術・公衆衛生合同研修会 福田屋コンベンションホール	4日	岡本全宏逝去 享年57才
17日	鹿沼地区三師会 新年懇親会 福田屋コンベンションホール	20日	歯周疾患検診説明会 市民情報センター
24日	研修会(調査委員会担当) 福祉センター	23日	小林幹夫 県政報告会 福田屋コンベンションホール
27日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察官対象の研修会) 鹿沼警察署会議室	27日	栗野町2歳児教室 栗野町保健センター
3月8日	鹿沼市歯周疾患検診検討会 市民情報センター	5月18日	鹿沼市2歳児教室 市民情報センター
9日	臨床研修会 福田屋コンベンションホール	25日	歯周疾患検診説明会 市民情報センター
29日	定時総会 福田屋コンベンションホール	6月1日	茂呂祐康入会 仲町1595-10 茂呂英運入会 仲町1595-10
		4日	西方町2歳児健診 西方町2歳児健診
		15日	第24回市民健康講座 市民情報センター
		13日	佐川徹三県歯理事に就任 〔岡本全宏常務死去のため〕

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**学術・公衆衛生  
合同研修会開催**

平成16年2月11日(日)午後2時より、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて、上都賀歯科医師会学術・公衆衛生合同研修会が開催されました。

今回は、自治医科大学歯科口腔外科学講座教授 草間幹夫先生を講師に  
「注意して欲しい顎口腔疾患」  
— 口腔疾患の鑑別を中心に—  
とのテーマで講演をしていただきました。

口腔病変の  
1. 診断の方法 から  
2. 外傷  
3. 粘膜炎  
4. 良性腫瘍  
5. 感染症  
6. 悪性腫瘍

について様々な症例を見せてくださり、分かりや



すく解説してくださいました。

自治医科大学では、他科と比較しても歯科口腔外科の新患数が一番多く、手術件数も一番多いとのこと。

口腔外科も、現在ではなるべく外科的侵襲を大きく加えず出来るだけ保存し、顎口腔領域の機能的再建外科や術後の歯科的治療も必要とされるようになってきており、また、高齢社会に対応して有病者の歯科治療も重要になっているそうです。

さらに、先生は大学病院と我々開業医とが協力して患者さんの為により良い治療をすること“病診連携”の重要性についても強調されていました。

上都賀歯科医師会  
公衆衛生担当 大貫 真裕：記  
広報編集モニター 鈴木 定幸：写真

**鹿沼地区三師会  
新年懇親会**

平成16年2月17日(日)午後7時より、福田屋百貨店コンベンションホールにて鹿沼地区三師会新年懇親会が開催されました。

本年は歯科医師会が担当であり、行政からは鹿沼市、栗野町、西方町あわせて7名、医師会から25名、薬剤師会から16名、歯科医師会から20名の合計68名により盛会に行われた。

近年、高齢化にともないハイリスクな有病者の受診は増加しており、他科(地域医療機関)との連携の重要性は言を待たない。出席者それぞれに日々の疑問点や他科の現状など活発に意見交換が行われ、大変有意義な会となった。

閉会後も、さらに胸襟を開いた懇親を深めるため、多数の者が帰って会場を後にした。

(上都賀歯科医師会広報編集モニター  
鈴木 定幸：記)



新年会 (二次会)



尚古集成館より  
桜島を望んで



三師会 新年会



支部旅行 球磨川下り

- 6月19日 楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」  
鹿沼市民情報センター
- 7月1日 医療管理研修会 福祉センター
- 5日 西方町三師会 西方 稲安
- 4日 学術研修会 福祉センター
- 13日 第24回市民健康講座 市民情報センター
- 23日 歯科ドック事業機材説明会 福祉センター
- 26日 研修会(調査委員会担当) 福祉センター
- 8月3日 臨床研修会 鹿沼商工会議所4階中会議室
- 26日 歯科保健指導講習会 市民情報センター
- 9月5日 第21回県央四郡市歯科医師会合同学術研修会
- 10日 謁見会 鹿沼市 石ばし
- 30日 障害児口腔衛生指導研修会 あおば園
- 10月3日 明生会 宇都宮グランドホテル

- 10月13日 第24回市民健康講座 市民情報センター
- 30日 福祉大会〔ボウリング〕開催  
鹿沼トーヨーボウル (第21回)
- 11月4日 壬生口腔外科連携医療懇話会
- 10日 第24回市民健康講座 市民情報センター
- 18日 鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会  
福祉センター
- 21日 栗野町健康福祉まつり  
栗野町勤労者体育センター
- 24日 研修会(調査委員会担当) 福祉センター
- 28日 歯科医師会旅行 鹿児島・熊本方面
- 12月5日 鹿沼市ヤンチャまつり  
鹿沼商工会議所催時ホール

**第68回全国学校歯科保健  
研究大会における記念講演  
及びシンポジウムに参加して**

本大会は静岡県にて平成16年11月11日(祝、12日)の2日間にわたり開催された。



大会第1日目の午後1時半より、静岡市の静岡市民文化会館にて、静岡文化芸術大学学長で東京大学名誉教授でもある木村高三郎先生の記念講演が行われた。千名近い聴衆に対して先生は「生きる力ー歴史から学ぶもの」のテーマのもと歴史上の食に関するわかりやすい、又興味深いビデオを交えながら話をされ、とりわけ、その中でも現代の若者像と一十歳までの青少年との比較の中で、「現代はあまりにも情報過多かつインターネット世代といわれるような面々は考えて行動し、悩むを見いだしている。一種の閉鎖の世界というが賞罰な時代といえる」と警鐘を鳴らした上で真の幸福とは面だけで考えるのではなく、身体を使い(肉体を躍動させ)美を追究し、あらゆる食材をきちんと料理された形でおいしく食べ、更には先の阪神大震災や今回の中越大地震を機に、日本にも根づきつつあるボランティア精神、即ち「共生」「相互扶助」を念頭に生きることこそ食の意味での「生きる力」と言えるのではないかと結ばれておられた。

その後、アトラクションをはさんでシンポジウムが開催された。今回は「生きる力を育む歯・口の健康づくりの実践をめざして」ー生きる力・口と食から考えようーのテーマのもとで行われた。まず座長の明海大学歯学部長 安井昇一先生

からは「生きる力」即ち「これからの子供たちに必要となるもの」として3つのポイントが提示された。

それは、① いかに社会が変化しようとして自分と罪過を見つめ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよい問題を解決する資質や能力 ② 自らを律しつつ他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性 ③ ①と②の基礎としての健康や体力であり、歯・口の健康づくりは心も身体も含めた総合的健康づくりの一環であり、教育活動に位置づけされた「学校歯科保健活動の本質である」と結ばれておられた。

その後、各シンポジストより、それぞれの専門的立場から20～30分ずつ講演が行われ、同一テーマであってもその立場で言い換えれば切り口を変えるだけでこんなにも考え方が違ってくるのだと改めて実感させられたのと同時に究極のところ、「生きる力」には口と食は普遍的なテーマであると云える。



以下、各シンポジストの講演の要旨である。まず座長木村大学総合歯科医学研究所教授 森本俊文先生からは生理学的な立場から「食」の持つ機能的側面を摂食・咀嚼に基づいて話をされたが、その中で興味深かったものは一口に「食」といっても様々な側面があり、栄養面だけではなく、心理的側面としては「おいしい」「食べたい」という欲求や満腹、空腹など、又生理的側面としては後触・咀嚼・嚥下などの摂食パターンの違い、又物理的側面としては食物のもつ色・味・香り・湿度・硬さ・弾力性・流動性の違いなどがある訳で、総合的に考える必要があり、生涯にわたって「食べること」「話すこと」の楽しみを無くさない

為に、学校保健の時間に「口腔保健に関する食と咀嚼の意義」を認識し、利用して戴くことを望んでいると結ばれておられた。

次に文部科学省スポーツ・青少年局体育館 戸田芳雄先生からは、学校保健教育における「歯・口の健康づくり」の基本的な視点から以下のような指摘がなされた。

「子どもの口から生活や心が見える」ことを念頭に、親・教師・学校・歯科医など全ての大人が子ども達のサポーターとなって、「はぐくみ」「培う」ことを通じて、子どもが生涯を心豊かでたくましく生きぬく為の方を身につけることが出来るよう努力しなければならぬのではないかと、それには「歯」や「口」をテーマにした健康教育は不可欠であると話されておられた。

次に女子栄養大学栄養学部教授 足立幸先生からは、栄養学的な視点から子どもの口から生活や心が見えるだけでなく「子どもの口から環境が見える」という視点で「ヘルスプロモーション」と「食育」の概念についての説明がなされた。即ち「食育とは人々が人間らしく生きる・生活する上での食、同時に健康の資源でもある食を営む力を育てること、そしてこれらを実現可能な社会・環境を育てること」とし、「いきいきと自分らしい生活や学習が出来るように健康で楽しい食事を整えたり、味わう力を育てること、そう出来る仲間や環境を育てること」と提言されておられた。

次に歯肉の健康づくりの観点から考えるということ。歯肉病学的な立場から、日本大学歯学部歯周病学講座教授 伊藤公一先生からは、歯周病は感染症であると同時に生活習慣病でもあり、非感染性のももの含まれる」ということや「8020運動の目標はいつまでもおいしいものが食べられ、素敵な笑顔で健康と長寿を実現するためのもの」という平易な言葉でわかりやすく解説がなされ、その後歯肉を含めた歯牙口に関するセルフチェックカードについての必要性やそれを基にしたレーダーチャートの記入法、又その見方・考え方についての説明がなされ、学校歯科保健に関わる参加者にとって非常に有意義なものになったのではないだろうか。

結びにあたり今回の大会は「生きる力・口と

食から考えよう」の大きなテーマで行われた訳だが2日間を越しての学校歯科保健という視点からの感想では2つのポイントがあったように思われる。

一つは生きる力を育む上で口と食は大きな要素となるものであり、今後益々「知育、徳育、体育」のみならず「食育」という考え方は重要性を増すであろうと考えられると同時に、集団で行われていた学校における歯科口と健康の指導はより「個」の時代、即ち「個別に對してのきめこまかな指導」が求められるのではないだろうかということである。

もう一点は「学校保健と地域保健の連携が図られていない」現状があるのだと認識したことであり、講演者からも指摘があったが今の両保健は「異動同向」「同床異夢」なのだそうとその一つの例として「フッ素の含嗽」を挙げられておられた。つまり個々の管理が徹底されていないのに、フッ素の含嗽を奨励で行えば「フッ素さえやっければ」という画解から、間違った方向性が生じる危険性がある訳で、講演の中で語られた「地域保健と学校保健はよりよい密着した関係になるべきである」即ち「恋愛とはお互いの顔を見つめ合うのではなく、同一の方向を見よことである」が印象的であった。

何れにしても社会全般が大きな変革の時代にあつて、学校歯科保健も時代に即した、否将来を見据えた形で再構築を図らなければならない時期にきているのではないだろうか。

そして、そういった真摯な取り組みこそが現代を生きる我々の大きな責務であり、ひいては日本の将来を担う子供達に一番の光明を照らすものである。

（学校歯科担当理事 佐川 徹三  
学校歯科委員会委員 越路 昭夫）



- ◎物 価 トマトケチャップ 500g チューブ入り 315円
- ◎映 画 誰も知らない、血と骨、ミスティック・リバー、殺人の追憶
- ◎流行語 チョー気持ちいい、たかが選挙、気分だ！、負け犬
- ◎流行歌 瞳をとじて、マツケンサンバ、Sign、愛よ愛よ

## ■平成17年 (2005)

1月27日	税務講習会、鹿沼地区歯科医師警察連絡会、新年会 福田屋コンベンションホール	3月1日	介護認定審査会委員全体研修会 市民情報センター
2月6日	学術・調査合同研修会 福祉センター	2日	学術・調査合同研修会 福祉センター
17日	鹿沼地区三師会新年懇親会	10日	公衆衛生研修会 福祉センター
21日	上都賀衛生士会研修会 市民情報センター	23日	介護認定審査会委員全体研修会 上都賀庁舎3F
23日	壬生口腔外科連携医療懇話会	26日	定時総会 福祉センター
27日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会) 福田屋コンベンションホール	4月4日	鹿沼市介護認定審査員委属状伝達式 及び研修会 市民文化センター
28日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察官対象の研修会) 鹿沼警察署会議室	25日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 鹿沼市 若駒
		5月25日	歯周疾患説明会 第2回 市民情報センター
		6月2日	医療管理研修会 福祉センター
		14日	第25回市民健康講座 市民情報センター
		18日	楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」 市民情報センター
		29日	学術・調査合同研修会 福祉センター

**都市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**歯科保健指導者講習会 開催**

上都賀歯科医師会では、8月4日(木)午後1時30分より、鹿沼市民情報センター2階学習室にて、歯科保健指導者講習会を開催しました。

この歯科保健指導者講習会は、毎年8月の夏休みの時期(例年は8月のお盆休み明けの時期)に開催するもので、対象は幼稚園・保育園等の先生方と、小・中学校の養護教諭の先生方で、1年おきに歯科口腔衛生に関する講習、講演を聞いていただいています。


本年度は、幼稚園・保育園等の先生方が対象で講師に、昭和大学歯学部小児成育歯科学教室助教授の井上英洋先生をお迎えし、

□から育つ子どものころの口と身体  
―“食べる”の発達と口の健康―

とのテーマで講演をしていただきました。

- ・口の発育と食べる機能の発達
- ・“食べる”の発達にかかわるもの
- ・口を通じた健康支援をすすめるために

といったことを、分かりやすくお話してくださいました。




“食育”の重要性が叫ばれる現在、子どもの“食”の問題は増加傾向にあり、むし歯予防のゴールは“むし歯のない口”ではなく“おいしく何でも食べられる口”であり、8020は“食べる楽しみ”を保つことであるということを強調されていました。(上都賀歯科医師会 公衆衛生担当 大貫 真裕：記)

**奇 稿**

**「サイクリングで地球一周」**


上都賀歯科医師会 中 田 嘉 之




冬はこんな格好で走っています

平成16年12月31日、小雪の降る中、西方町内を10キロ走り、ついに自転車で4万キロ走破し、地球一周の目標を達成しました。17年間かかりました。

地球一周の距離4万キロを自転車で行ってみたいと思った動機や経過を報告します。昭和62年5月から栃木市のジャスコのトレーニングルームに所属の為に始めました。トレーニングルームでは、まずストレッチを行い、次いで室内自転車を20分やってウォーミングアップし、それからマシンで助カトレーニングを行います。しばらくは車でジャスコへ行ってトレーニングしていましたが、自宅からジャスコまで約7キロ、自転車でも20分で行けますので時間の節約の為に、トレーニングには自転車で通い、室内自転車でのトレーニングは、止めました。自転車はランドナーを買いました。休日にサイクリングしてみると速く気持ちが良いのです。小鳥のさえずり、花の香り、風の薫りを感じながら自然の中を走ると、日頃のストレスが吹っ飛んでしまい、汗をかいて走り、自宅に帰ってシャワーを浴び、飲むビールの美味さは最高で「生きている喜び」の実感です。



4月の風景 レンゲと芝桜とヒバリ



古河市内のハナミズキ街道

こんな事からサイクリングが趣味になり、昭和63年から走行距離を記録するようになりました。当初は地球一周の4万キロなど、まったく考えていませんで、気が向いたとき走るだけでした。ジャスコへは1年半通い13kgほど減量に成功しましたが、やめて2年で元に戻ってしまいました。サイクリングは楽しく続け、その後、もっとスピード出して走るためロードレーサーを買いました。しかし、何回もバンクに泣きまして、次にマウンテンバイクを買いました。この自転車ですら走りませんでした。また、雨の日も室内で走れるように室内自転車のエアロバイクを買いました。山道より平坦な道走ることが多いので、次にクロスバイクを買いました。昨年春に再度、マウンテンバイクを買いました。何時の事か忘れましたが、走行距離を計算したら2万キロを超えていましたので、地球一周の4万キロ走破を目標にしました。参考の為に各年間の走行距離を書きます。

昭和63年3,365キロ、平成元年記録紛失、平成2年1,216キロ、平成3年3,600キロ、平成4年2,000キロ、平成5年3,000キロ、平成6年1,254キロ、平成7年2,440キロ、平成8年1,107キロ、平成9年1,430キロ、平成10年1,450キロ、平成11年2,278キロ、平成12年2,415キロ、平成13年3,000キロ、平成14年3,715キロ、平成15年4,290キロ、平成16年3,440キロ、以上で4万キロになりました。

走行中、雷に遭ったり、犬に追われたり、バンクして10キロほど押して歩いて帰ったり、辛かった事もありますが、こんなに楽しく自分の都合の良い時間に好きなだけ出来る健康的なスポーツはありませんので、これから何年走れるか判りませんが、続けてゆきたいと思っています。昨年、夏祭りを迎えましたが生徒のスポーツとして80歳になっても走りたいと願っています。80歳まで走れば地球を二周走れるかもしれません。そんな事を夢見ながら筆をおきます。

7月12日	第25回市民健康講座 市民情報センター	10月13日	第25回市民健康講座 市民情報センター
13日	在宅寝たきり老人歯科保健推進事業機器説明会	22~23日	移動編集会議in古峯ヶ原 古峯神社
25日	研修会(調査委員会担当) 福祉センター	29日	福祉大会ボウリング(第22回) 鹿沼トヨーボウル
8月4日	歯科保健指導者講習会 市民情報センター	11月9日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会 福田屋コンベンションホール
9月4日	第22回県央四市郡歯科医師会合同学術研修会〔上都賀担当〕 “咬合・咀嚼が創る健康長寿” 鹿沼市 ウェルサンピア栃木 日本歯科大学 歯学部歯科補綴学 第一講座教授 小林義典先生	10日	第25回市民健康講座 市民情報センター
13日	藹藹会〔慰労会〕 石ばし	11日	西方町三師会 稲安
30日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会(役員会) 鹿沼市 若駒	20日	粟野町健康福祉まつり 粟野町勤労者体育センター
10月1日	国政調査 人口1億2,775万6,815人 1年前より1万9,000人減少	21日	粟野町健康福祉まつり 粟野町勤労者体育センター
		27日	歯科医師会旅行 山陽・四国方面
		12月4日	鹿沼市ヤンチャまつり 鹿沼商工会議所
		11日	学術・調査合同研修会 市民情報センター



学術調査合同研修会



支部旅行 山陽・四国方面

- ◎物 価 新幹線 東京一大阪間  
こだま 8,510円 特急料金 5,240円  
ひかり // //  
のぞみ // 5,540円
- ◎映 画 パッチギ!、ALWAYS三丁目の夕日、  
ミリオンダラー・ベイビー、大統領の理髪師
- ◎流行語 想定内〔外〕、クールビズ、ブログ、  
もったいない、刺客、
- ◎流行歌 青春アミーゴ、Nomore Cry、  
五能線、Butter Fly

**歯の衛生週間行事**  
(その2)

**上都賀歯科医師会**


上都賀歯科医師会では、6月18日(日)午後1時30分より、鹿沼市民情報センターにて、“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”を開催しました。

この事業は、上都賀歯科医師会と鹿沼市・鹿沼市教育委員会との共催で、毎年6月の土曜日に行われるもので、今年度も市内の幼稚園・保育園等の年長児と小学校1・2年生とその保護者の方々を対象に実施しました。

上都賀歯科医師会の会員の先生方には、1年おきに半数の先生が当番となり、御協力、出席していただいております。

当日、受付をすませると、子ども達は簡単な検査を受けます。その後、保護者の方々と子ども達は別々に行動します。

年長児、小学1・2年生は25名ずつのグループになって、上都賀歯科衛生士会会員による、むし歯予防に関する話を聞き、ブラッシング指導を受け、さらにフッ素イオン導入法を行いました。



また、保護者の方々には、50名ずつ、上都賀歯科医師会の会員の先生方が講師となり、口腔衛生に関する講話を聞いていただきました。

毎年、受付の時間が、年長児の受付の時間(1時30分~2時15分)と小学生受付の時間(2時15分~3時15分)となっていたのですが、今年度は年長児の参加申し込みが、昨年よりもやや少なく、受付スタート時は「今年は、参加者少ないかな?」と心配しましたが、終わってみれば486名の申し込みに対し399名の参加が得られ、当日の出席率は、約86%と近年にない好成绩でした。(ちなみに、昨年度は506名の申し込みに対して404名が参加、約80%の出席率でした。)



この他にも、親子が交流する場所での栄養士さんによるおやつ展示コーナーや、会員の先生による歯科相談コーナーにも多数の方々が参加し、盛況でした。

この、「楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」」に先立ち、上都賀(鹿沼市・栗野町・西方町)の教育委員会の方々と共に、6月6日には、平成17年度より歯のコンクール(図画・ポスター)の審査を、6月13日には、作文・標榜の審査を行い、図画・ポスターの入選作品を、6月18日当日、会場に展示しました。

少子化で対象人数が減少傾向にあるなか、ほぼ昨年と同数の方々に参加していただき、成果をあげることができたと幸いです。

上都賀歯科医師会  
公衆衛生担当理事 大貫 義裕;記  
岡本 真利;写真

## ■平成18年 (2006)

- |       |  |       |                                |
|-------|--|-------|--------------------------------|
| 1月26日 | 税務講習会、鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>(歯科医師対象の研修会)<br>新年会 福田屋コンベンションホール |       | 医師会事業計画紹介<br>佐川徹三 会長に選任さる      |
| 3月8日  | 村本光逝去 享年 86歳   | 3月27日 | 鹿沼市・粟野町合併記念式典                  |
| 14日   | 鹿沼地区三師会新年懇親会<br>福田屋コンベンションホール                            | 4月1日  | 瓦井昭二 県歯常務理事に就任<br>茂呂允 県歯監事に就任  |
| 20日   | 田口浩美退会   | 19日   | 上都賀歯科医師会史聞き取り調査 新島剛            |
| 26日   | 学術・公衆衛生合同研修会 市民情報センター                                    | 28日   | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会                  |
| 27日   | 鹿沼市・粟野町合併記念式典<br>市民文化センター                                | 5月1日  | 医療管理研修会 市民情報センター               |
| 3月2日  | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 鹿沼警察署<br>(警察官対象の研修会)                       | 6月1日  | 医療管理研修会 福祉センター                 |
| 15日   | 研修会〔調査委員会担当〕福祉センター                                       | 5日    | 「よい歯のコンクール」歯の衛生<br>週間行事 福祉センター |
| 25日   | 定時総会 平成18年度郡市歯科  | 12日   | 第1回鹿沼地区保健医療協議会総会<br>市民情報センター   |
|       |  | 13日   | 第26回市民健康講座 開校式                 |



ボウリング大会



支部旅行 下関「春帆楼」



支部旅行 萩市「松陰神社」

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**医療管理研修会 開催**

平成18年6月1日(午後2時より、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて、医療管理研修会が開催された。

「接客マナー研修 ステップアップ編」とのテーマで、ANAラーニングのインストラクター伊藤佳恵先生に御講演いただいた。

それを踏まえてのステップアップ編として、歯科医師13名、スタッフ36名の参加のもと行われた。

○ 講演概要

- 顧客満足と事前期待値  
顧客満足にはレベルがあり、(Customer Loyalty → Customer Relationship → Customer Delight → Customer satisfaction) 事前期待値を上回らなければ満足は得られない。
- 顧客心理に基づく対応  
① 歓迎されたい心理 ② 独占したい心理  
③ 優越を感じたい心理 ④ 自分が可愛い心理  
⑤ 不満を抱いている人の心理  
を理解した対応が重要である。
- クレーム対応  
① クレーム対応時のタブーとは  
・感情的になる ・無関心な態度  
・話を遮る etc  
② 対応の仕方 マジックフレーズとは  
・申し訳ございませんが  
・お手数おかけしますが  
・よろしかったら ・残念ですが etc
- 感じのよい電話対応  
ポイント ・正確 ・迅速 ・簡潔 ・丁寧  
「電話対応基本フロー」を用いた演習  
(上都賀歯科医師会 広報編集モニター 鈴木 定幸・記)

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**学術研修会 開催**

平成18年7月9日(午後1時30分より、鹿沼市総合福祉センター大会議室にて、学術研修会が開催されました。

演題 「知っておきたい口腔粘膜疾患」  
講師 東京歯科大学オーラルメディスン 口腔外科学講座 教授 山根源之 先生

上都賀歯科医師会会員19名の御参加をいただき、副会長 菊地 均先生の開会の言葉の後、会長 佐川徹三先生の挨拶、講師紹介の後講演を開始しました。

癌化する白色病変、赤色病変、黒色病変、の鑑別と、白色病変をレーザーで除去する危険性や、メラニン色素除去をレーザーで行う場合のメラノーマとの鑑別注意とメラノーマの激進な進行の様子、明日の臨床にすぐ生きてくるご指導でありました。

短時間のお茶の休息を挟み、4時間に及ぶ研修でありましたが、先生のご指導に魅了され、たちまちのうちにお聞きとなってしまう、今一度の声を聞く講演会でした。

講演終了後、講師を囲み10名で市内若駒にて懇親会を持ち、口腔外科に対する医療行政の認識不足により、患者がいつか不利益を受けているか等々、治療に亮し降りが出るまでになっかけている現実と、山根先生のご苦労、瀬戸先生の嘆きを聞かせていただき出陣者は感慨たる物がありました。苦境の中、先生の様な学会指導者をお願いしていること一層の光明を見込んでいるのは私だけではないのでしょうか。  
(上都賀歯科医師会学術担当 小川 晋弥・記)



	市民情報センター	9月20日	臨床研修会(調査委員会担当) 福祉センター
6月17日	楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」 市民情報センター	10月5日	石井みどり氏を囲む会 とちぎ歯の健康センター
7月6日	日光・上都賀合同地区別社保講習会 福田屋コンベンションホール	17日	調査研修会(救急薬品の配布) 福祉センター
		26日	栃木県歯科口腔外科研究会 獨協大学
		28日	福祉大会ボウリング(第23回) 鹿沼トーヨーボウル
9日	学術研修会 福祉センター	11月9日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会
9日	上都賀歯科医師会史聞き取り調査 鈴木節雄宅〔ご母堂様〕		福田屋コンベンションホール
17日	第26回市民健康講座 閉校式 市民情報センター	10日	上都賀歯科医師会史聞き取り調査 鯉原悦郎
8月11日	公正取引委員会との懇談会 福祉センター	24日	臨時総会 上都賀歯科医師会規定集、 申し合わせ事項一部改正可決
24日	歯科保健指導者講習会 福祉センター	29日	時局講演会 福祉センター
9月3日	第23回県央四市郡歯科医師会合同学術研修会	30日	犯罪被害者支援研修会 栃木県警察学校
13日	藹藹会〔慰労会〕 石ばし	12月3日	歯科医師会旅行 下関・門司方面
		12日	歯科ドック検討小委員会(見直し) 福祉センター

**郡市歯科医師会たより**

**上都賀歯科医師会**

**第21回 「藹藹会」開催**

平成18年9月13日(木)午後7時より、割烹「石ばし」にて、第21回「藹藹(あいあい)会」が開催されました。

この藹藹会は、上都賀歯科医師会会員相互の「和気藹々」を理念に、めでたく古希を超えられた大先輩の先生方を囲み、敬意とねぎらいの気持ちを表す会として、昭和61年より毎年この時期に行なわれています。

本年度は、大先輩であられる7名の先生方をご招待いたしました。川嶋光五郎先生、畑 二郎先生、今井一郎先生は残念ながらご欠席となりましたが、新島 剛先生、鯉原悦郎先生、高崎道子先生、そして本年古稀を迎えられる新会員(?)の茂呂 允先生、以上4名の先生方がご多忙のなかご出席くださいました。

出席者一同の拍手の中、先生方をお迎えし、佐川会長より花束を贈呈しました。恒例の記念撮影の後、祝宴となり各先生方より入会当時の歯科界の様子など貴重なお話を伺いました。また、本年は「サプライズ」企画として、福島隆夫理事による【そば打ち実演】も行われました。福島先生は全麵協素人そば打ち段位認定 三段←これは県内で有数! の腕前。そのこだわりは畑を借りて自分でそばの実を育てるところから、という超〜本格派。(日光そば祭りのポスターにも載ってます)




その名人が作る「打ちたて、茹でたて」の「そば」に、味にうるさい先生方も大満足。その名の通り「和気藹々」と楽しい宴となりました。そして、ぜひまた来年もお元気でこの会にご出席いただけますことを願いつつ、お開きとなりました。



(上都賀歯科医師会広報編集モニター  
鈴木 定幸:記)



学術・公衆衛生合同研修会

- ◎物 価 ブルドッグソース 500ml 330円
- ◎映 画 フラガール、武士の一分、父親たちの星条旗、  
硫黄島からの手紙
- ◎流行語 イナバウアー、品格
- ◎流行歌 一剣、夢のうた


## ■平成19年（2007）

- |      |  |      |                               |
|------|--|------|-------------------------------|
| 1月9日 | 保険相談会 福祉センター                                   | 2月7日 | 歯科ドック事業検討小委員会<br>市民情報センター     |
| 9日   | 歯科ドック事業検討小委員会<br>福祉センター                        | 10日  | 小林幹夫県議会議員「新春の集い」<br>日冕そば      |
| 16日  | 鹿沼市2才児教室                                       | 13日  | 上都賀歯科医師会史聞き取り調査<br>茂呂歯科医院     |
| 25日  | 税務講習会 福田屋コンベンションホール                            | 20日  | 鹿沼地区三師会新年懇親会<br>福田屋コンベンションホール |
| 25日  | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>(歯科医師対象の研修会)<br>福田屋コンベンションホール | 22日  | 鹿沼市新米パピママ学級<br>市民情報センター       |
| 25日  | 新年宴会 福田屋コンベンションホール<br>新年挨拶                     | 25日  | 公衆衛生・学術合同研修会<br>福祉センター大会議室    |
| 31日  | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>(警察官対象の研修会) 鹿沼警察署             | 2月4日 | 「健康づくりのつどい」<br>市民情報センター       |
| 3月2日 | 時局講演会<br>福祉センター大会議室                            | 7日   | 保険相談会 市民情報センター                |

**郡市歯科医師会だより**  
上都賀歯科医師会

**一泊二日京都の旅**

平成19年12月2日(日)、3日(月)の両日、本年度の上都賀歯科医師会旅行が行われました。  
「真、にこななる当会が旅を待てる京都。もちろんお茶屋に算経村となれば一周年を全うする27名の旅となりました。」



午前5時30分JR池田駅集合。6時25分の新幹線に乗り込みます。「嵐山なので今年は何もなし」だったのに10時10分、京都府。今は嵐山のいかに紅葉が盛り、静かに海を望みながら、どこかこもろおわってあり、活版屋のため、どこか静けの路地「ニシヤ」八つ橋の「茶店」と「西地」本店に立ち寄ったのもお楽しみ。タメメの旅。第一試合は「河津川 煮豆」。聖徳院西門前の跡地にある小さな暖簾をくぐると、路地のにおちと石畳、その先には白川の家を移築した職ある庭園、とても「西支屋」とは思えない情緒あふれる空間が広がります。この名物は「洗茶煎」という蕎麦すき。なっぶりの「丸茶ねぎ」「煎茶」といった京野菜と「湯煎」のゆば、「豊島」の生鮎、いづれ「のり」です。など京名物を前にして、仕上げに蕎麦とまじめんを目的のうまみは暖簾した漬汁でいただく。第一試合から「京都だね」と感動の声が、すっかり空気が爽やかです。

その後は福見、古町の一泊二日。ここでは京都府の老舗（？）にお泊りになり、知人の元京都府議会議員 中野道三氏の邸内。一般非公開の陣屋、直縁地、祭光院などを見学することが出来ました。千利休草、狩野松栄・永徳父子による国宝の障壁画。関原邸や頼山陽という重要文化財の茶室など。真夜中に響く和楽器の響きから路地の空間でありました。

ホテルで車の間の休憩をした後、第二試合。夕食は御馳「なから」です。この料亭は司馬遼太郎の「大徳寺僧道」という作品にも登場する老舗で、「一子相伝、のからし煎が名物です。他には「やじ」と通称される赤豆腐の焼き物。これは大

きな香に誘われて、粗く身を食ったところに熱い汁をかけてお祝い物としてもう一度楽しむ等々、超一流の京都の味にノックアウト前でした。

さてさて、おなが一杯になってもここからが本番。夫人の京都には欠かせない「お茶屋遊び」の時間です。ご存知の通り、お茶屋は一見さんお断り。でも我々には老舗がいるから大丈夫。さすがにこの人数、嵐山北側の「丸八」と「みのり」ふたつの茶屋に分散してお座敷となりました。嵐山小町の昔を復元、金比羅閣々はいくつか「これぞ京都！」ここで一番席。「洗茶煎」(湯煎と「さし」つ差されて、すとき杯を小鉢の水で洗う)をさぶさぶしてはあきまへん。杯に赤が覗いてしまいますやう、それを「水臭い」云々です。(by17才娘)



8時5分、降らず降らすの朝時の中、天竜寺へ。ここでは上記「なから」の次女村のお日添えで非公開の法堂(はっとう)にて加山又高作、宗電の天月庵を鑑賞。静寂である法堂による道場ではありえないパフォーマンス付の深淵を一時時間において拝聴することが出来ました。手帳以上の私像で名高い三十三問答を駆け足で見学しながらよい上層階級。林直は「おらじや」です。400年の歴史があり、秀吉がわらじを脱いで一服したことが原名の由来であるこの店は「隠れ家」しかありません。まずは「うなべ」。餅と鮎。九条おきなどのシンプル名物ですが、なんと鮎はぶつ切り「はじめての人には聞きの外見でも口直しべればこれがまた絶品一山原を割かせたら酒一前夜の箱館で似た直縁六間に落ちます。そして「御膳」。これもまた鮎に人多。しいたけ、餅など加え串で綴じたシンプル名物のようですが、いやあー絶品。ここでしか食べられない妙味に完敗です。

食後は御市場を散策し4時15分京都駅。京都の伝統に裏打ちされた真と真に日頃の疲れも癒され、心もフレッシュ。大満足のうち今年の旅も無事終えることが出来ました。

(上都賀歯科医師会誌編集委員モニター  
鈴木 定幸:記)

**郡市歯科医師会だより**  
上都賀歯科医師会

**時局講演会**

「心豊かで安心・安全の暮らし実現のために何をなすべきか」  
—私が目指す橋本博哉—


講師 橋本博哉議員  
上都賀歯科医師会医政顧問  
小林 幹夫 先生

平成19年3月2日(日)午後7時より、鹿沼市総合福祉センターにおいて、上記の研修会が開催された。


本年は統一地方選、参院選と続く選挙の年であり、歯科界の問題に止まらず我々の生活を取り巻くさまざまな問題について認識を新たにする事が重要であると考え、当会医政顧問である小林幹夫先生に講師をお願いして、国政、県政、市政全般にわたり現況と課題を解説して戴いた。

この講演は11月29日に第一回が歯科医師を対象に行われ、好評により今回は会員の家族・スタッフにも対象を広げ多くの参加者もで行われた。

講演では、まず、佐川会長より挨拶があり、「歯科界にとっての7月の参院選での「石井みどり氏」必勝の意義、その後の活動としての支障者緊急処置において小林先生のご尽力が多であったこと、県議会唯一の医療系議員である小林先生に対する医師会、歯科会等の期待が大変大きいこと」などを話された。



続いて小林幹夫先生の講演となり、「道州新と議員削減問題：組織員数と人件費の問題、県予算約7700億の変化(特に保健福祉予算について、10年前は土木予算約1600億、保健福祉予算約500億だったが、今年土木979億、保健福祉987億と相次ぎて土木を上回った。)-救急医療問題と住民への医学知識の普及の必要性」など、数字やユーモアを交えた軽妙な語り口は日頃政治に馴染みの薄くであろう若いスタッフ達をも魅了する内容であった。



閉会の後、4月8日の県議会選を指し、小林幹夫先生、五井後援会長、中野道三町後援会長、佐川会長を前に、普で「がんばろう！」コールを三回し、盛況に終了した。

何れにしても歯科界は現在非常に厳しい状況にある訳だが、少子高齢化が加速する中で徳道の「心豊かで安心・安全の暮らし実現のために何をなすべきか」を小林先生と共に考え、共に行動するまい機会になったものと確信するものであり、「一歩踏み出す」ことこそが将来の光明に繋がるのではないだろうか。

(上都賀歯科医師会誌編集委員モニター  
鈴木 定幸:記)

3月7日	歯科ドック事業検討小委員会 福祉センター中会議室	3月30日	小林幹夫出陣式 小林幹夫選挙事務所 30日 小林幹夫事務所訪問〔当選〕 小林幹夫選挙事務所
12日	上都賀歯科医師会史聞き取り調査 高崎道子先生宅	4月4日	上都賀歯科医師会史聞き取り調査 金子智英宅
13日	選挙事務所訪問〔推薦状・為書・陣中 見舞持参〕 小林幹夫選挙事務所	6日	保険相談会 福祉センター
13日	鹿沼市2才児教室 市民情報センター	24日	在宅寝たきり老人歯科保健推進事業 機器説明会 市民情報センター
14日	県議選の為の会員宅個別訪問	5月7日	保険相談会 福祉センター
14日	臨床研修会〔学術委員会担当〕 福祉センター生きがい広場	7日	上都賀歯科医師会史編纂小委員会 福祉センター
20日	臨床研修会〔調査委員会担当〕 福祉センター大会議室	14日	上都賀歯科医師会史聞き取り調査 中條歯科医院
24日	定時総会 福祉センター大会議室	15日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 石ばし
27日	上都賀歯科医師会史編纂小委員会 福祉センター中会議室	17日	障害児口腔衛生指導研修会 あおば園



古峯神社「古峯園」

都市歯科医師会だより

上都賀歯科医師会

平成19年度  
公衆衛生・学術合同研修会

平成19年7月1日 日曜日 午後1時30分  
鹿沼市福祉センター大会議室を会場に、日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授 小出啓先生を講師としてお迎えし、「明日から導入できる顎機能の診査・診断システム」ーチェアサイドで行う簡便で有効な顎関節と筋触診法の実際ーをテーマとして、研修会が開催されました。上都賀地区歯科ドックの中の審査項目に、小出教授の触診法を取り入れたいとの希望をもちながら、会員各位は熱心に聴講し、またそれに倍する熱意を持って小出教授は機能解剖学の基本より講演され、咀嚼筋と顎関節の触診を大量の資料とともに難しい部分こそ、

易しく説明するとのお考えでかんでふくめるように説明いただきました。予定の時間内に取まらず、先生の帰郷の時間を気にしながらのラストとなり、盛会のうちのお開きと成りました。



後日興奮覚めやらず、もう1度小出先生にご足労願いたいの声多数のため、次回を企画しつつあります。

(上都賀歯科医師会 学術担当理事

小川 哲弥：記)

## ■平成19年（2007）

- |      |  |       |   |
|------|--|-------|---|
| 6月6日 | 臨床研修会〔学術委員会担当〕<br>福祉センター生きがい広場           | 7月10日 | 第27回市民健康講座<br>“良く噛んで歯周疾患やメタボを予防しよう”<br>《講師》田島雅哉 |
| 7日   | 医療管理研修会<br>福祉センター大会議室                    | 8月1日  | 斉藤由昭 入会   |
| 8日   | 保険相談会 福祉センター                             | 7日    | 保険相談会 福祉センター                                    |
| 8日   | 上都賀歯科医師会史編纂小委員会<br>福祉センター中会議室            | 9日    | 歯科保健指導者講習会<br>福祉センター大会議室                        |
| 16日  | “楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”<br>市民情報センター           | 27日   | 臨床研修会〔調査委員会担当〕<br>福祉センター大会議室                    |
| 18日  | 上都賀歯科医師会史聞き取り調査<br>アイデンタルこまはし(駒橋一永のご母堂様) | 9月7日  | 保険相談会   |
| 26日  | 上都賀歯科医師会史編纂小委員会<br>福祉センター中会議室            | 11日   | 上都賀歯科医師会史聞き取り調査<br>中田嘉之宅                        |
| 7月1日 | 公衆衛生・学術合同研修会<br>福祉センター大会議室               | 14日   | 藹藹会(慰労会) 石ばし                                    |
| 6日   | 保険相談会 福祉センター                             | 26日   | 西方町成人歯科健診事後指導会                                  |
|      |  | 10月2日 | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 石ばし                               |
|      |  | 6日    | 保険相談会 福祉センター                                    |



- |         |                                     |       |                                     |
|---------|-------------------------------------|-------|-------------------------------------|
| 10月10日  | 西方町成人歯科健診事後指導会                      | 12月7日 | 保険相談会                               |
| 16日     | 上都賀歯科医師会史編纂小委員会 みつわ                 |       | 福祉センター中会議室                          |
| 18日     | 障害児口腔衛生指導研修会 あおば園                   | 9日    | 口腔ケア研修会(鹿沼市・上都賀歯科医師会共催) 鹿沼市消防本部大会議室 |
| 21日     | 拡大臨床研修会〔学術委員会担当〕<br>市民情報センター子育て情報室B | 19日   | 警察官受診優先システム小委員会<br>福祉センター中会議室       |
| 27日     | 福祉大会ボウリング(第24回)<br>鹿沼トーヨーボウル        |       |                                     |
| 31日     | 西方町成人歯科健診事後指導会                      |       |                                     |
| 11月7日   | 保険相談会 市民情報センター                      |       |                                     |
| 8日      | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会<br>福田屋コンベンションホール      |       |                                     |
| 22日     | 臨時総会<br>福祉センター大会議室                  |       |                                     |
| 29日     | 公衆衛生視察研修会<br>日本歯科大学附属病院             |       |                                     |
| 12月2,3日 | 歯科医師会旅行 京都方面                        |       |                                     |



- ◎物 価 国民年金保険料 1万4,000円
- ◎映 画 それでもボクは、やってない、  
天然コケッコー、  
しゃべれども、しゃべれども、  
長江哀歌
- ◎流行語 どげんかせんといかん、ハニカミ王子
- ◎流行歌 蕾、時の描片〜トキノカケラ

■平成20年 (2008)

- |      |  |       |                                    |
|------|--|-------|------------------------------------|
| 1月7日 | 保険相談会 福祉センター                             | 2月21日 | 鰻原悦郎 自宅火災                          |
| 15日  | 鹿沼市2才児教室 市民情報センター                        |       | 佐川徹三会長・菊地均副会長・大貫真裕副会長が近火見舞         |
| 24日  | 税務講習会 福田屋コンベンションホール                      | 28日   | 鹿沼市新米パパママ学級 市民情報センター               |
| 24日  | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (歯科医師対象の研修会) 福田屋コンベンションホール | 29日   | 西方町三師会                             |
| 24日  | 新年宴会 福田屋コンベンションホール                       | 3月5日  | 保険相談会 福祉センター                       |
| 27日  | 学術・公衆衛生合同研修会 福祉センター大会議室                  | 5日    | 鹿沼地区歯科医師警察連絡会 (警察官対象の研修会) 鹿沼警察署会議室 |
| 2月1日 | 《警察官受診優先システム》の実施 実施協力医 48名               | 9日    | 臨床研修会〔調査委員会担当〕 福祉センター大会議室          |
| 3日   | 鹿沼市「健康づくりのつどい」 市民情報センター                  | 11日   | 鹿沼市2才児教室 市民情報センター                  |
| 6日   | 保険相談会 福祉センター                             | 27日   | 上都賀歯科医師会史編纂小委員会 福祉センター             |
| 6日   | 上都賀歯科医師会史編纂小委員会 福祉センター                   | 29日   | 定時総会 福祉センター大会議室                    |
| 12日  | 臨床研修会〔調査委員会担当〕 福祉センター生きがい広場              | 31日   | 小高章愛退会                             |
| 19日  | 鹿沼地区三師会新年懇親会 福田屋コンベンションホール               | 4月1日  | 村本 創入会                             |
|      |  | 7日    | 保険相談会 福祉センター                       |

都市歯科医師会だより

上都賀歯科医師会

医療管理研修会開催

【実践！診療室のアロマテラピーを学ぶ】  
—ハーブティの効用と  
癒しのスプレー作りを交えて—

平成20年度上都賀歯科医師会医療管理研修会が、5月15日(木)午後1時30分より鹿沼市総合福祉センター大会議室において「実践！診療室のアロマテラピーを学ぶ」—ハーブティの効用と癒しのスプレー作りを交えて—としてNature Care日本校代表 村田真由美先生を講師にお招きして行われました。

先生は約10年の海外生活の間に各種の資格を取得し、橋本放送「Beautiful Sunday」内「アロマ生活」のコーナーを2年半担当するなど、著名なアロマセラピストです。



参加者は本歯科医師会会員8名、スタッフ・家族23名、他歯科医師会より会員・スタッフ・家族あわせて9名、合計40名でした。

まず講演が行われ、アロマテラピーの基本から始まり、アロマの歴史についてはその起源は人類が火を使い始めるまでさかのぼり、エジプトのミイラ作りにも用いられていたことなどをお話いただきました。

次に、エッセンシャルオイルについてラベンダーやレモングラスなど、代表的なオイル9種類をそれぞれ実際に香りを嗅いで、その効用や使用方法の説明を受けました。ラベンダーは不眠症、リラクセス、レモングラスは殺菌作用、筋肉痛などに用いられるそうです。また、アロマの使用法についてはアロマポットを用いる方法や、フェイシャルサウナ、手浴、温湿布、冷湿布、ハンドマッサージと実演を交えながら説明を受けました。

続いて、一緒においえた大塚講師よりハーブティの効用についての話があり、エルダーフラワー・ネットル・ハイビスカスをはじめ、9種類のハーブについて実物を手に取り香りを嗅ぎながらそれぞれの適応について学びました。健康のため、心のため、美しくなるためなど目的に合ったハーブティの紹介を受けました。

講演の後、休憩時間を兼ねてハーブティの実習を行いました。5人組になって好みのハーブティを合計5種類ブレンドし、グループごとに違った味と香りを楽しみました。

最後にアロマスプレー作製の実習を行いました。自分の好みのエッセンシャルオイルを効能なども考えながら3種類選択し、村田講師の指導のもと配合、エタノールに溶解し精製水で希釈してスプレーを作製しました。リラクセス・リフレッシュ・消臭・虫除けなど各自目的に合ったアロマスプレーを作り、お互いの作品(?)を嗅いで違った香りを楽しんでいました。

今回の研修会は2年の「マナー接遇研修会」とは違った新しいテーマで行われましたが、スタッフ・家族のみならず男性の歯科医師会員にも好評でした。「実践！診療室のアロマテラピーを学ぶ」との表題のとおり、研修で学んだアロマを実践することで患者さんへリラックス効果、医院開業してはフレッシュ効果などが期待でき、また、患者さんに「歯科医院特有の臭い」が指摘される点も消臭効果もあるアロマを使うことにより解消できるのではないのでしょうか。

(上都賀歯科医師会総務理事 鈴木 裕之：記)

都市歯科医師会だより

上都賀歯科医師会

臨床研修会開催

平成20年2月12日(火)午後7時より鹿沼市総合福祉センター生きがい広場にて、上記研修会が開催された。この「臨床研修会」は、「医科との連携」強化を目的に上都賀都市医師会会員の先生を講師に迎え、それぞれの専門分野の医療についてご講演頂くもので、平成14年度より行われている。

第13回となる今回は、竹村内科クリニック院長 竹村克己先生により「腎不全患者の歯科治療」と題してお話頂いた。竹村先生は平成3年、上都賀病院に鹿沼市初の人工透析センターを立ち上げる際に招かれた透析の第一人者である。



講演では、腎臓の解剖学、生理学の復習からCKD(慢性腎臓病)の定義〔CCR(クレアチンリ

アランス)50ml/min以下、正常値は100ml、10ml以下は透析対象〕、透析患者の現状(2003年23万人、糖尿病・高血圧症の増加に伴い年1万人ずつ増加している)、腎臓を守るための注意点〔コレステロール・中性脂肪や尿酸の目標数値やそのために有効な食品など〕をお話頂いた。また、歯科診療における抗生剤・鎮痛剤の使用法については、①透析を行っている患者はコントロールされているので基本的に問題ない、②透析前夜でないCKD患者に対しては、経口の抗生剤は3～5日短期投与ならまず問題ない、「痛み止め」は腎機能低下により認察されるので注意が必要(経験的にボルタレンは認めない、ロキソニンはまあ1～2日なら、ブルフェン・カロナールは薦められるが「効かない?」など具体的に大変参考となるものであった。

奇談であるが、竹村先生は研修会6日後の「東京マラソン」に参加され、4時間を切るタイムで完走されたスポーツマン。その先生が愛飲している「血液をサラサラにする」サプリ、100%いわしの油で出来たエプデールが当会の新たなブームになりそう(?)だ。

なお、エプデールは「糖尿病疾患の診断と治療に関するガイドライン2002・2003厚生労働省共同研究班」によれば、糖尿病治療の際には、4日前から休薬が必要とされるれっきとした血管閉止・高脂血症の治療薬。青魚のEPAパワーを恋しべし!

(上都賀歯科医師会 副会担当理事 福島 隆夫：記)

4月7日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター	6月21日	“楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」” 市民情報センター
30日	臨床研修会〔学術委員会担当〕 福祉センター大会議室	26日	日光・上都賀合同地区別社保講習会 つたやホテル
5月7日	保険相談会 福祉センター	27日	臨床研修会〔調査委員会担当〕 福祉センター大会議室
7日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター	7月1日	金子智英 移転
15日	医療管理研修会 福祉センター大会議室	7日	保険相談会 福祉センター
19日	在宅寝たきり老人歯科保健推進事業・ 歯科ドック事業機器説明会 市民情報 センターマルチメディア講義室	7日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター
6月3日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会	13日	公衆衛生・学術合同研修会 福祉センター大会議室
6日	保険相談会 福祉センター	16日	歯科ドック検討小委員会 福祉センター
6日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター	8月3,4日	歯科医師会旅行 青森方面〔青森ねぶた祭り〕
10日	鹿沼地区保健医療協議会 市民情報センター	6日	保険相談会 福祉センター
11日	歯科ドック検討小委員会 福祉センター	6日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター
18日	障害児口腔衛生指導研修会 あおば園		

**郡市歯科医師会だより**

**上都賀歯科医師会**

**支部旅行 青森ねぶた祭り**

平成20年8月3日(日)・4日(月)の両日、本年度の上都賀歯科医師会旅行が実行されました。例年12月に行う行事ですが、本年は県民100周年事業が行われる予定のため、「隅田川花火大会」以来の久しぶりの夏の旅行となり21名が参加しました。



午前6時10分JR鹿沼駅集合。7時3分の新着線にて北へ。仙台で乗り換えて10時3分八戸着。当然ここまでかなりの酒量を一八戸からの特急でもー11時13分青森着。天気予報では「大雨」となっていました。自稱「晴れ男」多数の方に「(?)」暑い日の差しに恵まれました。

まずは「榎方志功記念館」を見学。榎方志功の「版画」世界についての説明はもはやいらなと思えますが、榎方が版画を始めるきっかけとなったのは川上澄夫の影響によるもの。川上澄夫美術館を擁する我々鹿沼市民としては作品の類似点・相関点について熱く語りながらの鑑賞となりました。

軽食は「潮室 榮尚」にて青森名物「七子八珍」料理。七子は「こ」の付く「このこ・たこのこ・ホタテのこ・すじこ・ましろこ・ふりこ・たらこ」魚卵。八珍は「くりがに・がきえび・なまこ・うに・ふじつば・白魚・さめ・ほや」の珍味のこと。これらの新鮮な地元産材が次々と「か

まくら仕立て」のお造りには大間のまぐろ。「きんさ」の焼き物はダウンと一人一匹。もちろん地酒「田酒」と合わないはずもなく一みんあ気持ちよく酔えました。

総じてはお買いもの、アウガ新館市場へ。「名所」であった青森駅前市場跡地が平成13年に再開発により移築したものとして聞いていましたが、そこは若者の行き交う一見おしゃべりなファッションビル。しかし、目へ降りてみると一なんと、魚市場が！足下の水浸し感、売り子のタミ声、まるで築地の様なアメ横の様な「昭和な」空気漂う空間。そのギャップに驚かされました。

ホテルにてしばし休憩したら、いよいよ本番「ねぶた祭り」です。一ここでちよっと苗着を少々。①「ねぶた」の起源は七夕の灯籠流し。これが夏季の睡魔を払う「眠り流し」という行事と結びつき「ねむた流し」→「ねむた」→「ねぶた」と変化したという説が有力②弘前では「ねぶた」と呼ぶ。弘前は城下町で道があまり広くないこともあり、扉前でもあまり大きくない山車が主流である③青森「ねぶた」の特徴は大船であることと「ハネト」と呼ばれる踊り手が付くこと。また、派手系の「ハネト」→変装・仮装して踊る人「カラスハネト」→黒装束で乱入する「暴走族(?)」なども祭り盛り上げの一ねぶたの運行は市内中心部を通行止めにした1.2×0.2kmの長方形のコースを回ります。沿道には閉眼なく観覧車が設けられており、観光客はここで見物する仕組み。右時にホテルを出発する時にはすでに観光客と正装(金魚の宮笠に白足袋、浴衣には真山の跡を付けて歩くたびに音がする)のハネト達で歩道はごった返しています。棧敷でお弁当を食べながら自

れを待っていると…ダウン、ダウン、お腹に響く太鼓の音で祭りはスタート。お囃子の笛の音とともにハネトたちが「ラッセーラ、ラッセーラ」と叫びながら跳ね回り一気にヒートアップ。巨大で男社な山車はまばゆい光を放ちながら左右に走行して観客に迫ります。その圧倒的なまでの光と音の洪水は、まさに東北の短い夏を凝縮して爆發させたかの様です。が、まもなく、ここまでがまんしていた雨がついに降り始めてしまいました。後ろ髪を引かれながら二次会へ移動…一で一波乱。先発した半数の先生方はタクシーで難く到着出来ましたが、雨が激しさを増したとたん大渋滞。全くタクシーが捕まらず遠方に停れる約10名。コンビニでも雨具は売り切れ、場所を確認したくても熊笹は警備規制、すこくラブな観光用の地図をたよりに知らない街をずぶ濡れで彷徨うことに。まるで「八甲田山行軍」気分(?)を堪能しました。

通り着いた二次会場は「ねぶたの国 たか久」。当会自費の津軽三味線奏者 木村立男先生の友人がやっています。津軽三味線とねぶた囃子がライブで楽しめる店です。生で聞く力強い演奏に、雨に打たれた事も忘れてまたまたテンションが上がり杯も進みました。

翌朝はまず八甲田山へ。ロープウェイにて山頂まで。昼食は十和田湖畔のレストランにて「十和田牛」のステーキを。当会にはめずらしく「特記事項なし」な食事です。ま、たまには…。続いて友人潮流流を散策。7月24日の地震で落石があった現場(テレビで何度も写っていた)も、すっかり修復され素晴らしい景色を取り戻していました。

16時57分JR八戸駅発、帰路へ。やはり夏場は体力を消耗するのだから、雨よりお酒が進まず静かに宇都宮へ。今年の支部旅行も無事、且つ「食」を堪能することが出来ました。来年はどこになるのか今から楽しみです。

(広報編集モニター 鈴木 定幸:記)

■平成20年 (2008)

8月10日	新井 武 栃木県歯科医師会会長 告別式 《8月5日逝去》(日) 午後0時30分 場所) 佐野市 ホクサンハーモニホール赤坂	9月12日	謁藹会(慰労会) 石ばし
12・13日	公衆衛生・学術合同研修会 古峰神社	25日	健康づくり講演会 市民情報センター
21日	歯科保健指導者講習会 福祉センター大会議室	30日	鹿沼地区歯科医師警察連絡会 石ばし
27日	歯科ドック検討小委員会 福祉センター	10月2日	障害児口腔衛生指導研修会 あおば園
9月5日	西方町成人歯科健診事後指導会	5日	鹿沼市市制60周年記念市民公開講座 市民情報センターマルチメディアホール
8日	保険相談会 福祉センター	6日	保険相談会 福祉センター
8日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター	6日	上都賀歯科医師会史編纂委員会 福祉センター
11日	東部地区健康教育 市民情報センター	10日	西方町成人歯科健診事後指導会
		14日	歯科ドック検討小委員会 福祉センター
		18日	移動広報編集室会議 古峯神社

モニター通信

栃木の  
いま  
むかし  
Check It Out!  
1890

上都賀歯科医師会 鈴木 定幸

「栃木のいまむかし」をテーマに3年目。今回は当支部の村本 明先生にお借りした貴重な資料から、写真を中心にお届けしたい。

今回トリビュートするのは「明治23年(1890年)」一理由は何も見つからなかったのですが、この年のトピックスといえば、第1回 帝国議会開催、「教育勅語」発布、帝国ホテル開業など、また、シャルル・ドゴール、アガサ・クリスティ、カーネル・サンダースなどが生まれた年でもある。以下、貴重な写真と現在の様子です。




写真1 西鹿沼の大麻畑 (昭和8年頃)




写真2 ほぼ同所。現在は通常の田園です

【写真①】鹿沼を中心とした地域は麻生産地として有名である。大麻の生産は(注:日本に古来より自生し「麻」と呼ばれていた植物は、後に海外より持ち込まれた亜麻や苧麻(植物としては別種)も「麻織維」として「アサ」と呼ばれるようになったため区別する必要が生じた。そこで本来の「麻」は植物の背丈が大きく育つ特徴から「大麻」と呼称するようになったらしい。本稿での大麻とは、もちろん薬物としての大麻(マリファナ)のことではありません。念のため、ちなみに現在流通している「麻」はほとんど亜麻から作られるリネンです)昭和初期には栃木県で全国生産の50パーセント、そのうち半分は上都賀郡にて生産していたという。現在もごく種かたが免許を受けた生産者が自園で栽培しているらしい。



写真3 帝國製麻鹿沼工場 (昭和4年頃)



写真4 現在のテイセン鹿沼工場

【写真②】その麻に目を付けた鹿沼市の鈴木要蔵氏らにより「他には、かの透沢栄一も発起人に名を連ねています」明治23年、下野麻紡績会社が鹿沼市府所本町に開業した。ここは日本初の水力発電施設(写真③右側の裏山に見える他説。エジソンが製作したDC110V・出力17kWの発電機を使用)をもつ最先端の工場であったという。そ

ののち、合併により明治36年日本製麻株式会社、さらに明治40年帝國製麻株式会社となり現在は帝國製麻株式会社鹿沼工場として消防ホース(昭和30年頃まで、ホースは麻で作られていた。麻は水を含むと膨張して目が詰まり、かなりの耐圧性を持たせることが出来るそうで、旧海軍用の物などは現在の耐圧基準をもクリア出来るらしい。もちろん現在は麻から化学繊維へ代わったがホース製造技術は鹿沼に残った)の生産などを行っている。



写真5 日光線鹿沼製 (明治末期)




写真6 現在の同所。線路はあまり変わっていないようです

【写真③】明治23年、鹿沼でのもう一つのトピックスといえやはり鉄道の開通であろう。日本最初の私鉄、日本鉄道(明治39年国有化された)により敷設された日光線である。東北本線が開通したわずか5年後、すでに観光地として内外に名高かった日光への足として、同年6月1日宇都宮～今市間で開業。8月1日には日光まで全線開通した。(開業時、宇都宮～鹿沼間には「砥上」という駅があり、明治35年「鶴田」駅がここより東に1キロの所に新設されるまで使用された)鹿沼初の鉄道は市街地から離れた所に造られたが、

町の発展には大きな力となった。市街地を通る東武日光線が開業するのは昭和4年(1929年)である。尚、国鉄からJRへの移行時「地方交遊線」とされていた日光線だったが、路線の発展に伴い2008年3月より東京近郊区間となった。

(参考資料) 日光・今市・鹿沼の100年  
郷土出版社



ちよっとひとこと

患者離反を防止する

- 患者満足度アンケートを活用する
  - 患者満足度アンケートを実施する
  - 患者満足度アンケート結果は、毎月スタッフと一緒に分析して内容を吟味する
  - 患者満足度アンケートをファイルにして待合室で展示する
- 治療中断を防止する診療計画書  
診療に書ける診療計画書の様式を工夫する
- 予約キャンセルに柔軟に対応する
  - 予約日の朝、携帯電話に確約のメールを入れる
  - キャンセルの場合、予約時間経過後に電話を入れる
  - 患者離反アンケートを実施する



公衆衛生・学術合同研修会





## ホ 事業紹介

---

### 公衆衛生委員会

昭和57年

身障者歯科医療研修会

日 時) 昭和57年10月22日(金)、23日(土)

場 所) 自治医科大学

昭和58年

学校歯科研修会

日 時) 昭和58年2月18日(金)

場 所) 保健センター

昭和59年

市川市保健センター視察「母と子のムシ歯予防教室」見学

日 時) 昭和59年3月15日(木)

場 所) 市川市保健センター

予防研修会

日 時) 昭和63年1月23日(土)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “刷掃用器具の基礎知識”

講 師) 花王第1研究所副主任 辻田 敏先生

講習会・研修会等開催状況

支部関連事業

予防視察研修会

日 時) 平成元年4月20日(木)

場 所) 東京都立老人医療センター及び養育院

視察目的) 老人歯科医療及び老人歯科保健事業について

テ ー マ) “寝たきり老人歯科医療の実際について”

講 師) 東京都立老人医療センター歯科口腔外科部長 渡辺郁馬先生

予防研修会

日 時) 平成2年6月17日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 高齢者(寝たきり老人を含む)の歯科医療

講 師) 東京都立老人医療センター歯科口腔外科部長 渡辺郁馬先生

---

在宅寝たきり老人等歯科医療事業

在宅寝たきり老人等歯科医療対策についての説明会

在宅寝たきり老人等歯科医療体制検討会

在宅寝たきり老人等実態調査協力医公募

日 時) 平成2年9月5日(水)

協力医) 岡本全宏・小高章愛・村本 明・小林幹夫・佐川徹三・菊地 香・田辺 章・茂呂 兀  
鈴木節雄・瓦井昭二・菊地 均・田代高志

在宅寝たきり老人等実態調査担当医説明会

日 時) 平成2年9月14日(金)

在宅寝たきり老人等実態調査

三師会結成準備委員会

日 時) 平成2年9月21日(金)

第1回三師会

日 時) 平成3年2月13日(水)

場 所) 橋田旅館

幼稚園・保育所等合同指導者歯科研修会

日 時) 平成3年8月19日(月)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “咬むことについて”

講 師) 藤田保健衛生大学口腔外科 桑原未代子先生

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成4年8月1日(土)

場 所) 仙台市歯科医師会

視察目的) “寝たきり老人等在宅歯科診療事業について”

歯科保険指導者講習会

日 時) 平成4年8月21日(金)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) ～学校における歯科保健～

講 師) 宇都宮市立明保小学校教諭 鈴木由利子先生

#### 公衆衛生視察研修会

日 時) 平成4年8月1日(土)  
場 所) 仙台市歯科医師会  
視察目的) ～寝たきり老人等在宅歯科診療について～

#### 幼稚園・保育所等合同歯科指導者研修会

日 時) 平成5年7月18日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) ～子供の歯の発達と虫歯予防～  
講 師) 上都賀歯科医師会 金子 實先生

#### 鹿沼市の国民健康保険の現状についての講話

日 時) 平成6年2月25日(金)  
場 所) 福祉センター大会議室  
講 師) 鹿沼市民環境部保険年金課 柴垣係長

#### 講習会・研修会等開催状況

##### 支部関連事業

#### 公衆衛生視察研修会

日 時) 平成7年2月7日(火)  
視察場所) 東京都心身障害者口腔保健センター

#### 「仮称歯科ドック」検討小委員会

日 時) 平成7年4月26日(水)・5月22日(月)・6月2日(金)・7月14日(金)・7月18日(火)  
8月1日(木)・9月4日(月)・9月11日(月)・11月14日(木)・12月20日(水)  
場 所) 福祉センター中会議室

#### 「仮称歯科ドック」行政との打合せ会

日 時) 平成7年6月2日(金)・8月2日(水)  
場 所) 福祉センター中会議室

#### 歯科保健指導者講習会

日 時) 平成7年8月24日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “子供のそしゃく能力と食生活”  
講 師) 日本大学歯学部小児歯科学教室 講師 中島一郎先生

---

鹿沼市市民環境部との歯科ドック事業打合せ会

《第1回》

日 時) 平成8年1月10日(水)

場 所) 保健センター

《第2回》

日 時) 平成8年2月16日(金)

場 所) 保健センター

公衆衛生委員会歯科ドック準備会

《第1回》

日 時) 平成8年1月16日(火)

場 所) 大貫歯科医院

《第2回》

日 時) 平成8年2月29日(木)

場 所) 福祉センター中会議室

歯科ドック小委員会

《第1回》

日 時) 平成8年2月8日(木)

場 所) 福祉センター中会議室

《第2回》

日 時) 平成8年3月6日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

西方町三師会

日 時) 平成8年1月24日(木)

場 所) 松波

三師会と行政の懇談会

日 時) 平成8年2月14日(水)

場 所) 橋田旅館

鹿沼市国民健康保険歯科ドック（お口の人間ドック）推進事業

調印式

日 時) 平成8年4月30日(火)

場 所) 保健センター302会議室

マニュアル説明会

日 時) 平成8年5月29日(水)・6月7日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

実地研修会

日 時) 平成8年6月12日(水)・13日(木)・14日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

打合せ会

日 時) 平成8年6月26日(水)

場 所) 石ばし

最終説明会

日 時) 平成8年8月23日(金)

場 所) 福祉センター大会議室

在宅寝たきり老人歯科保健推進事業

調印式

日 時) 平成8年7月12日(金)

場 所) 保健センター201会議室

メンテナンス機器打ち合わせ会

日 時) 平成8年8月7日(水)

場 所) 保健センター201会議室

説明会

日 時) 平成8年8月26日(月)・27日(火)

場 所) 保健センター中会議室

機械説明会

日 時) 平成8年9月11日(水)・12日(木)・13日(金)

場 所) 保健センター101会議室

衛生士会研修会

日 時) 平成8年10月18日(金)

場 所) 保健センター・御殿山会館

---

視察研修会

日 時) 平成9年2月5日(水)  
場 所) 日本歯科大学高齢者歯科診療科

市に陳情 [歯科医師会事務室設置についての要望]

日 時) 平成9年2月10日(木)  
場 所) 鹿沼市役所 市長室

歯科ドック推進事業打合せ会

日 時) 平成9年6月12日(木)  
場 所) 保健センター302会議室

歯科保健指導者講習会

日 時) 平成9年8月20日(水)  
場 所) 市民文化センター大会議室  
テーマ) “乳幼児の口腔内環境について”  
講 師) 昭和大学歯学部小児歯科学教室 向山賢一郎先生

第35回栃木県公衆衛生学会発表

日 時) 平成9年9月5日(金)  
場 所) 栃木県総合文化センター  
演 題) “歯科ドック (お口の人間ドック) のめざすもの”  
演 者) 大貫真裕

第50回栃木県歯科医学会発表

日 時) 平成9年11月16日(日)  
場 所) 栃歯会館  
演 題) “歯科ドック (お口の人間ドック) のめざすもの”  
演 者) 駒橋一永

公衆衛生研修会

日 時) 平成10年2月19日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “天然素材甘味料キシリトールの可能性”  
講 師) 日本歯科大学高齢者歯科診療科 助教授 鈴木 章先生

歯科ドック（お口の人間ドック）打合せ会議

日 時) 平成10年2月9日(月)

場 所) 鹿沼市庁舎新館5階 501会議室

粟野町歯科ドック（お口の人間ドック）事業の契約締結

日 時) 平成10年5月26日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

歯科保健指導者講習会

日 時) 平成10年8月20日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “学校歯科保健 -CO, GOを中心に-”

講 師) 栃木県歯科医師会 学校歯科担当常務理事 岡本全宏先生

歯科ドック事業機器説明会

日 時) 平成10年8月26日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

三師会

西方町三師会

日 時) 平成11年2月3日(水)

場 所) 西方町 稲安

鹿沼地区三師会新年懇親会

日 時) 平成11年2月16日(火)

場 所) 福田屋コンベンションホール

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成11年2月18日(木)

視察場所) 仙台市福祉プラザ

視察目的) 仙台歯科医師会障害者・休日夜間歯科診療所見学、その他



---

歯科保健指導者講習会

日 時) 平成11年8月19日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “乳幼児へのブラッシング指導”

実習「ブラッシング指導のポイント」

講 師) 栃木県衛生福祉大学校 佐藤栄子先生・久保井久子先生・佐藤妙子先生・小川洋子先生

鹿沼市・粟野町合同歯科ドック事業機器説明会

日 時) 平成11年10月25日(月)

場 所) 福祉センター中会議室

臨床研修会

日 時) 平成11年10月26日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

テーマ) “歯科におけるコンピュータの利用法”

講 師) 上都賀歯科医師会 総務理事 田代高志

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成11年12月11日(土)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “21世紀に向かっの老人問題を考える” —いかに老人問題をノーマライズするか—

講 師) 医療法人北斗会 宇都宮東病院 理事長 尾崎史郎先生

歯科保健指導者講習会

日 時) 平成12年8月22日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “キレる理由は歯にあった～美しい歯と心を育てる子育て意思を目指して～”

講 師) 歯科医師(東京都開業) 倉治ななえ先生

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成13年2月1日(木)

視察場所) 東京医科歯科大学歯学部附属病院

視察内容) 1) 高齢者歯科治療について

2) 障害者歯科治療について

#### 歯科保健指導者講習会

日 時) 平成13年8月23日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 子育て歯科で美しい歯を育てましょう

～パーフェクト歯磨きレッスンとキシリトールを使った新しい虫歯予防～

講 師) 歯科医師 倉治ななえ先生(東京都開業)

#### 歯科ドック機器説明会

日 時) 平成13年8月29日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

#### 公衆衛生研修会

日 時) 平成14年2月28日(木)

場 所) 福祉センター

テーマ) 「最近のフッ化物応用の考え方」

講 師) 日本歯科大学衛生学教室 助教授 福田雅臣先生

#### 歯科保健指導者講習会

日 時) 平成14年8月22日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “生きる力と学校歯科保健活動” 一歯・口腔から学ぶ児童生徒等の健康づくり

講 師) 明海大学歯学部口腔衛生学講座 教授 安井利一先生

#### 鹿沼市在宅寝たきり老人歯科保健推進事業機器説明会

日 時) 平成14年8月7日(水)

場 所) 市民情報センター子育て情報室B

#### 鹿沼市

##### 西方町介護保険計画等策定委員会

日 時) 平成15年1月15日(水)

##### 介護認定審査委員現任研修会

日 時) 平成15年2月14日(水)

---

公衆衛生研修会

日 時) 平成15年2月27日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「健康日本21と歯科保健」—成人歯科保健活動の進め方・とらえ方—

講 師) 日本歯科大学衛生学講座 助教授 福田雅臣先生

歯科ドック事業機器説明会

日 時) 平成15年6月25日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

宮崎市郡東諸県郡歯科医師会保健事業(歯科ドック)視察への対応

日 時) 平成15年7月17日(木)

場 所) 鹿沼市役所介護認定審査会室

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成16年2月11日(水)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「注意して欲しい顎口腔疾患」—口腔疾患の鑑別を中心に—

講 師) 自治医科大学歯科口腔外科学講座 教授 草間幹夫先生

歯科ドック事業機器説明会

日 時) 平成16年7月23日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

公衆衛生研修会

日 時) 平成17年3月10日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「動物由来感染症について」

講 師) 鹿沼市 キンダーケア動物病院 獣医師 村井 妙先生

出席者) 鹿沼市健康課：2名 歯科医師：13名

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成18年2月26日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「命をねらう歯周病」—歯周病と全身疾患との関わり。全身の健康は口の中から—

講 師) 日本歯科大学 歯学部 歯周病学講座 教授 沼部幸博先生

歯科ドック事業機器説明会

日 時) 平成18年7月10日(月)

場 所) 福祉センター中会議室

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成19年2月25日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「新しい介護保険は口腔に何を求めているのか？」

講 師) 日本歯科大学歯学部助教授 口腔介護リハビリセンター センター長 菊谷 武先生

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成19年7月1日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “明日から導入できる顎機能の診査・診断システム”

ーチェアサイドで行う簡便で有効な顎関節と筋触診法の実際ー

講 師) 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学教授 小出 馨先生

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成19年11月29日(木)

集合場所) 文化活動交流館駐車場

視察場所) 日本歯科大学附属病院

視察目的) “歯科人間ドック視察”

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成20年1月27日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「後期高齢者医療がもとめる口腔の役割ーその評価と対応ー」

講 師) 日本歯科大学歯学部准教授 口腔介護リハビリセンター センター長 菊谷 武先生

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成20年7月13日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “チェアサイドで行う簡便で有効な顎関節と筋触診法の実際 実技編”

講 師) 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学 教授 小出 馨先生

---

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成21年1月25日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「ドライマウスから考える全身のアンチエイジング医学」

講 師) 鶴見大学歯学部口腔病理学講座 教授 斎藤一郎先生

## 調査委員会

昭和61年

「刷掃指導用ビデオ」検討会

《第1回》

日 時) 昭和61年9月11日(木)

場 所) 中央小

《第2回》

日 時) 昭和61年11月4日(火)

場 所) 中央小

昭和62年

調査委員会 21回 4月24日～12月23日

ビデオの効果の為の調査開始

学校との懇談会

☆中央小☆

日 時) 昭和62年5月27日(水)

場 所) 中央小

☆みなみ小☆

日 時) 昭和62年6月27日(土)

場 所) みなみ小

実地調査

《第1回》

日 時) 昭和62年6月17日(水)

場 所) 中央小

《第2回》

日 時) 昭和62年7月19日(金)

場 所) 中央小

《第3回》

日 時) 昭和62年7月10日(金)

場 所) みなみ小

《第4回》

日 時) 昭和62年7月15日(水)

場 所) みなみ小

---

《第5回》

日 時) 昭和62年10月5日(月)

場 所) みなみ小

《第6回》

日 時) 昭和62年10月14日(水)

場 所) 中央小

《第7回》

日 時) 昭和62年10月21日(水)

場 所) 中央小

《第8回》

日 時) 昭和62年10月23日(金)

場 所) みなみ小

栃歯学会発表

日 時) 昭和62年11月8日(日)

場 所) 栃歯会館

演 題) ☆第一報☆調査方法《演者》相馬英人

☆第二報☆模型印記法の採用にあたって《演者》金子 實

スタッフ慰労会

日 時) 昭和62年11月12日(木)

場 所) “サンパレス富士”

昭和63年

調査委員会 37回 1月20日～11月17日

ビデオの効果の為の实地調査

《第1回》

日 時) 昭和63年2月5日(金)

場 所) 中央小5年2組

《第2回》

日 時) 昭和63年2月9日(火)

場 所) 中央小2年2組

《第3回》

日 時) 昭和63年2月17日(水)

場 所) みなみ小5年2組

《第4回》

日 時) 昭和63年2月24日(水)

場 所) みなみ小2年1組

《第5回》

日 時) 昭和63年6月22日(水)

場 所) 中央小

《第6回》

日 時) 昭和63年6月29日(金)

場 所) 中央小

《第7回》

日 時) 昭和63年7月8日(金)

場 所) みなみ小

《第8回》

日 時) 昭和63年7月12日(火)

場 所) みなみ小

《第9回》

日 時) 昭和63年11月2日(水)

場 所) 中央小

《第10回》

日 時) 昭和63年11月8日(火)

場 所) 中央小

《第11回》

日 時) 昭和63年11月22日(火)

場 所) みなみ小

《第12回》

日 時) 昭和63年11月29日(火)

場 所) みなみ小

花王K.K.との懇談会

日 時) 昭和63年5月23日(水)

場 所) 福祉センター

テーマ) “歯ブラシの開発について”

歯みがきビデオ撮影会

日 時) 昭和63年7月21日(木)・28日(木)

場 所) 福祉センター小会議室



---

調査校への説明懇談会

日 時) 昭和63年5月26日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室

栃木県歯科医学会発表(創立80周年記念学会)

日 時) 昭和63年11月20日(日)  
場 所) 栃歯会館  
演 題) ☆第三報☆  
給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査  
“被験歯列の特徴について”  
《演者》 狐塚行弘

平成元年

調査委員会 18回 1月11日～11月13日

ビデオの効果の為の現地調査

《第1回》

日 時) 平成元年2月14日(火)  
場 所) 中央小2年2組

《第2回》

日 時) 平成元年2月21日(火)  
場 所) 中央小5年1組

《第3回》

日 時) 平成元年2月22日(水)  
場 所) みなみ小5年2組

《第4回》

日 時) 平成元年2月28日(火)  
場 所) みなみ小2年1組

栃木県歯科医学会発表

日 時) 平成元年11月23日(木)  
場 所) 栃歯会館  
演 題) ☆第四報☆  
給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査  
“被験歯列の分析”  
演 者) 石澤隆之

平成2年

調査委員会 19回 1月11日～11月20日

学校歯科研修会

日 時) 平成2年8月23日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 1) “小学生の歯列の特徴について”

《講師》中條佐智子

2) “上都賀歯科医師会統一ブラッシング法について”(デモ)

《衛生士会》

3) 討論

栃木県歯科医学会発表

日 時) 平成2年11月23日(金)

場 所) 栃歯会館

演 題) 給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査

☆第五報 “歯垢付着状態の分析にあたって” ☆

《演者》新島康夫

平成3年

調査委員会 10回 1月11日～12月17日

平成4年

調査委員会 26回 1月14日～10月21日

栃木県歯科医学会発表

日 時) 平成4年11月25日(日)

場 所) 栃歯会館

演 題) 給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査

☆第六報 “歯垢付着状態の分析 ～その1～”

演 者) 石崎 誠

---

平成5年

調査委員会 19回 1月12日～10月29日

栃木県歯科医学会発表

日 時) 平成5年11月3日(水)

場 所) 栃歯会館

演 題) 食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査

☆第六報 “歯垢付着状態の分析～その2～” 《演者》 手塚忠雄

☆第七報 “歯垢付着状態の分析～その3～” 《演者》 畑 健一

平成6年

調査委員会 6回 1月14日～7月5日

平成7年

調査委員会 2回 1月13日、4月14日

調査委員会打合せ会

日 時) 平成7年4月26日・7月26日・9月27日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

平成8年

調査委員会 2回 1月11日、4月10日

調査委員会打合せ会

日 時) 平成8年2月13日(火)・2月21日(水)・3月15日(金)・4月17日(水)・11月13日(水)  
・11月19日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

平成9年

調査委員会 3回 1月10日、1月22日、4月16日

調査委員会打合せ会

日 時) 平成9年2月12日(水)・5月30日(金)・6月27日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

平成10年

調査委員会 2回 1月12日、4月14日

調査委員会打合せ会

日 時) 平成10年6月10日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

平成11年

調査委員会 2回 1月11日・4月14日

調査委員会小委員会

日 時) 平成11年5月14日(金)・6月11日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

臨床研修会

日 時) 平成11年10月26日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

テーマ) “歯科におけるコンピュータの利用法”

講 師) 上都賀歯科医師会総務理事 田代高志

平成12年

調査委員会 2回 1月11日、4月17日

調査委員会小委員会

日 時) 平成12年5月25日(木)

場 所) 福祉センター中会議室

臨床研修会

日 時) 平成12年10月25日(水)

場 所) 市民情報センターEUC学習室

テーマ) “パソコン講座 第2回” —パソコンの操作と実践—

講 師) 上都賀歯科医師会 田代高志・鈴木裕之

学術・医療管理・調査合同研修会

日 時) 平成12年12月3日(日)

場 所) ホテル鬼怒川御苑

テーマ) “有病者の歯科治療において起こりやすい偶発事故と対処法”

講 師) 都立荏原病院 口腔外科 医長 佐野晴男先生

---

臨床研修会

日 時) 平成12年12月12日(火)

場 所) 福田屋コンベンションホール

研修会) 1) 製品紹介 ファイザー製薬株式会社

“15員環マクロライド系抗生物質製剤” –ジスロマック錠–

2) 特別講演

“急性菌性感染症の外科的処置と抗菌薬の使い方” –15員環マクロライドを中心に–

《講師》足利赤十字病院口腔外科部長 山根伸夫先生

平成13年

調査委員会 2回 1月10日、4月13日

臨床研修会

日 時) 平成13年3月10日(土)

場 所) 市民情報センター

テーマ) “パソコン講座第3回” –Wordの操作とインターネット接続–

講 師) 田代高志・鈴木裕之

調査委員会小委員会

日 時) 平成13年8月21日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

臨床研修会

日 時) 平成13年5月23日(水)

場 所) 市民情報センターEUC学習室

テーマ) “パソコン講座 第4回” –エクセルの操作とインターネット接続–

講 師) 上都賀齒科医師会 田代高志・鈴木裕之

調査・学術合同研修会

日 時) 平成13年12月2日(日)

場 所) 福祉センター大会議室・和室

テーマ) “救急蘇生のとらえ方とその実践”

講 師) 足利赤十字病院口腔外科部長 山根伸夫先生

平成14年

調査委員会 2回 1月15日、4月12日

#### 栃木県学校保健学会

日 時) 平成14年 8月29日(木)  
場 所) 宇都宮市 護国会館  
研究発表) 「学校における 歯科外傷について」  
座 長) 岡本全宏  
発 表 者) 相馬英人・畑 健一・田代高志

#### 研修会 (調査委員会担当)

日 時) 平成14年10月29日(火)  
場 所) 市民情報センター子育て情報室B  
テーマ) “高血圧症について”  
講 師) 小野内科循環器科医院 小野彰史先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成14年11月11日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “パソコン講座 第5回” -PowerPointを使ったスライドの作り方-  
講 師) 上都賀歯科医師会 総務理事 田代高志

#### 平成15年

調査委員会 2回 1月15日、4月18日

#### 研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成15年 2月17日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 「心電図の読み方・考え方」  
講 師) 鹿沼市 小野内科循環器科医院 小野彰史先生

#### 研修会 (調査委員会担当)

日 時) 平成15年 7月16日(水)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “糖尿病について”  
講 師) 上都賀総合病院 内科 中村 晋先生

---

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成15年10月27日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “B型・C型肝炎について”  
講 師) 上都賀総合病院 副病院長 一戸 彰先生

調査委員会研修会打合せ会

日 時) 平成15年12月17日(水)  
場 所) 鹿沼市 石ばし  
出席者) 医師会：4名 役員：5名

平成16年

調査委員会 2回 1月13日、4月14日

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成16年2月24日(火)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 「知っておきたい性行為感染症」  
講 師) 鹿沼市 小林産婦人科医院 院長 小林一彦先生

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成16年7月26日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “老人の特性について” -痴呆を中心に-  
講 師) 鹿沼病院 院長・理事長 駒橋 徹先生

臨床研修会

日 時) 平成16年8月3日(火)  
場 所) 鹿沼商工会議所4階中会議室  
研修会) 1) 製品紹介 藤沢薬品工業株式会社  
          “ケトライド系抗菌剤 ケテック錠”  
          2) 特別講演  
          “歯菌感染症の急性増悪期に対する包括的治療法”  
          《講師》足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成16年11月24日(水)  
場 所) 福祉センター生きがい広場  
テーマ) “脳卒中について”  
講 師) 池田脳神経外科 院長 池田俊一郎先生

平成17年

調査委員会 3回 1月12日、4月12日、10月31日

学術・調査合同研修会

日 時) 平成17年2月6日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 「救急蘇生法のとらえ方とその実践」—除細動器の考え方・取り扱い方—  
講 師) 足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

学術・調査合同研修会

日 時) 平成17年6月29日(水)  
場 所) 福祉センター生きがい広場  
研修会) 1) 製品説明 フクダ電子北関東販売(株) 学術  
『AED(自動体外式除細動機器)～ハートスタートFR2～』  
2) 講演 『ガイドライン2000に基づく—Basic life support(BLS)—について』  
～Automated external defibrillator(AED)の有用性並びに使用法～  
《講師》獨協医科大学 救急医学 松島久雄先生

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成17年7月25日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “中高年が注意しなければならない心疾患”  
講 師) 上都賀総合病院 内科部長 駒場 明先生

学術・調査合同研修会

日 時) 平成17年12月11日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “日常臨床で気をつけたい薬について” —救急医薬品の使用法について—  
講 師) 足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生



---

平成18年

調査委員会 2回 1月11日、4月13日

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成18年3月15日(水)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「加齢に伴う眼疾患について」

講 師) 鹿沼市 吉沢眼科医院 院長 吉沢 徹先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成18年9月20日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) “血液疾患について”

講 師) 鹿沼市 奥山医院 院長 奥山明彦先生

調査研修会

日 時) 平成18年10月17日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “歯科診療における救急処置と救急薬品の使い方”

講 師) 足利赤十字病院 口腔外科 部長 山根伸夫先生

\* 調査委員会に於いて救急薬品セットを整備（山根先生監修）会員に配布した。

調査研修会に於ける講師陣慰労会

日 時) 平成18年12月19日(火)

場 所) 鹿沼市 若駒

上都賀歯科医師会史聞き取り調査

《第1回》日 時) 平成18年4月19日(水)

場 所) 新島 剛先生宅

《第2回》日 時) 平成18年7月9日(日)

場 所) 鈴木節雄先生宅（ご母堂様）

《第3回》日 時) 平成18年11月10日(金)

場 所) 鰐原悦郎先生（栗野 西村）

平成19年

調査委員会 2回 1月16日、4月13日

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成19年3月20日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「皮膚疾患について」

講 師) 鹿沼市 藤沢皮膚科医院 院長 藤沢崇行先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成19年8月27日(月)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “耳鼻咽喉科の疾患について (歯科関係)”

— 歯性上顎洞炎・睡眠時無呼吸症候群について —

講 師) 鹿沼市 細川医院 細川朋子先生

第1回 上都賀齒科医師会史編纂小委員会

日 時) 平成19年3月27日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

出席者) 村本 明・佐川徹三・福島隆夫・鈴木裕之・田島雅哉・手塚史雄・駒橋 武・茂呂英運

上都賀齒科医師会史編纂小委員会

日 時) 平成19年5月7日(木)・6月8日(月)・6月26日(火)

場 所) 福祉センター中会議室

日 時) 平成19年10月16日(木)

場 所) 宇都宮市 みつわ

上都賀齒科医師会史聞き取り調査

《第4回》日 時) 平成19年2月13日(火)

場 所) 茂呂齒科医院

《第5回》日 時) 平成19年3月12日(月)

場 所) 高崎道子先生宅

《第6回》日 時) 平成19年4月4日(水)

場 所) 金子智英先生宅

《第7回》日 時) 平成19年5月14日(月)

場 所) 中條齒科医院

《第8回》日 時) 平成19年6月18日(月)

場 所) アイデンタルこまはし (駒橋一永先生のご母堂様)

---

《第9回》日 時) 平成19年9月11日(火)

場 所) 中田嘉之先生宅

平成20年

調査委員会 2回 1月15日、4月14日

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成20年2月12日(火)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) 「腎不全患者の歯科治療」

講 師) 鹿沼市 竹村内科腎クリニック 院長 竹村克己先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成20年3月9日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 《講演》「日常行われる小手術の実際と救急蘇生について」

《実習》「心肺蘇生・AED・血管確保について」

講 師) 足利日本赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成20年6月27日(金)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “夏に向かってよく見る小児疾患” —顎・顔面領域を中心に—

講 師) 鹿沼市 いとうこどもクリニック 院長 伊藤直実先生

歯科保健指導者講習会

日 時) 平成20年8月21日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “学校歯科保健の発展のためのアプローチ” —学校保健委員会等のあり方について—

講 師) 前東京都中央区立泰明小学校校長 現東京都教職員研修センター研修指導員

木暮義弘先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成20年11月26日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) “スポーツ医学”

講 師) 鹿沼市 鹿沼整形外科 院長 大西正康先生

上都賀齒科医師会史編纂小委員会

日 時) 平成20年2月6日(木)・3月27日(木)・4月7日(月)・5月7日(水)・6月6日(金)・  
7月7日(月)・8月6日(水)・9月8日(月)・10月6日(月)・11月7日(金)・12月8日(月)  
場 所) 福祉センター中会議室

平成21年

調査委員会 1回 1月13日

調査・学術合同研修会

日 時) 平成21年3月1日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「医療安全管理と最近のトピックス」ー改正医療法で求められる医療安全対策を踏まえてー  
講 師) 獨協医科大学口腔外科学講座 教授 今井 裕先生

上都賀齒科医師会史編纂委員会

日 時) 平成21年1月7日(水)・2月6日(金)・3月6日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

---

## 学術委員会

昭和57年

身障者歯科医療研修会

日 時) 昭和57年10月22日(金)、23日(土)

場 所) 自治医科大学

学術講演会

日 時) 昭和57年12月19日(日)

昭和58年

学校歯科研修会

日 時) 昭和58年2月18日(金)

場 所) 保健センター

学術研修会

日 時) 昭和58年7月11日(月)

場 所) 休日診療所

学術講演会

日 時) 昭和58年9月17日(土)

昭和59年

学術講演会

日 時) 昭和59年2月18日(土)

場 所) 御殿山会館

テーマ) 「フッ素について」

講 師) 神奈川歯科大学口腔衛生学教授 飯塚喜一先生

臨床研修会

日 時) 昭和59年7月21日(土)

場 所) 御殿山会館

テーマ) 1) 初診時のカルテ記載方法について 木村立男  
2) 鑄造、修復について 福島隆夫  
3) ペリオについて 笠原昭二  
4) 外科について 新島康夫  
5) 老人義歯について 小林幹夫

学術講演会（学術委員会主催）

日 時) 昭和59年11月4日(日)  
場 所) 厚生年金センター  
テーマ) 「最近の歯内療法のかえ方」  
講 師) 日本歯内療法会会長 大谷 満先生

昭和60年

学術講演会（予防委員会担当）

日 時) 昭和60年2月23日(土)  
場 所) ホテルサンライズ  
テーマ) 「Cost and Benefit」  
講 師) 新潟大学歯学部 境 修先生

臨床研修会

日 時) 昭和60年7月24日(水)  
場 所) 御殿山会館大会議室  
テーマ) 1) ペリオの改正点について 小高章愛  
2) ペリオの改正点について 木下素子  
3) 根管治療について 笠原昭二  
4) その他改正後に気付いた点について 佐川徹三

アシスタント研修会

日 時) 昭和60年8月31日(土)  
場 所) 中央公民館2階講義室  
テーマ) 「期待されるスタッフ像」  
講 師) 産能大講師・人材育成研究所所長 藤田紀美枝先生

学術研修会

日 時) 昭和60年11月10日(日)  
場 所) 鹿沼相互信用金庫本店6階大会議室  
テーマ) 「接着性レジンの臨床への応用について」  
講 師) 柏田聰明先生

---

昭和61年

臨床研修会

日 時) 昭和61年7月12日(土)

場 所) 御殿山会館

- テーマ) (a) 前装鑄造冠ブリッジについて《講師》石澤隆之  
(b) 歯槽膿漏症(I)・(II)の変更について《講師》狐塚行弘  
(c) 指導料について《講師》相馬英人  
(d) ブリッジ修理について《講師》田代高志  
(e) 義歯修理について《講師》齊須わか子  
(f) 返戻例について討論《司会》田辺 章

学術講演会

日 時) 昭和61年12月21日(日)

場 所) 鬼怒川温泉 ホテルあさや

テーマ) “一般的な歯科用薬剤の作用機序と使い方”

講 師) 東京歯科大学 川口 充助教授

昭和62年

学術委員会 3回 4月23日、9月11日、11月19日

視察研修会

日 時) 昭和62年1月29日(木)

場 所) 船橋市保健センター

視察目的) 船橋市の初妊婦教室及び保健事業について

研修会

日 時) 昭和62年8月22日(土)

場 所) 福祉センター中会議室

テーマ) “全身疾患と歯科治療”

講 師) 独協医科大学口腔外科 笠倉達雄講師

臨床研修会

日 時) 昭和62年9月16日(水)

場 所) 福祉センター中会議室

- テーマ) (a) “小児疾患について”《講師》金子 實  
(b) “保存について”《講師》石澤隆之  
(c) “補綴について”《講師》小川哲弥

#### 学術講演会

- 日 時) 第1回 昭和62年9月15日(火)  
第2回 昭和62年11月22日(日)・23日(月)
- 場 所) 福祉センター中会議室
- テーマ) “日常の臨床においてMTMをどのように応用していくか”
- 講 師) 日本歯科大学 増田豊助教授

#### 昭和63年

学術委員会 3回 4月19日、7月12日、10月31日

#### 予防研修会

- 日 時) 昭和63年1月23日(土)
- 場 所) 福祉センター大会議室
- テーマ) “刷掃用器具の基礎知識”
- 講 師) 花王第1研究所副主任 辻田 敏先生

#### 保険研修会

- 日 時) 昭和63年6月18日(土)
- 場 所) 福祉センター中会議室
- テーマ) (a) 歯周病  
“治療計画書に基づく診療から計画書なしへの移行について”  
《講師》駒橋一永
- (b) 口腔外科  
“歯周外科におけるアパタイト、パック等特定薬剤を使用するものについて”  
《講師》山本 浩
- (c) 補綴  
“歯周疾患のある歯牙の固定を含めた多数歯のBridgeについて”  
《講師》鈴木宏彦

#### 学術研修会

##### 〈第1回〉

- 日 時) 昭和63年7月17日(日)
- 場 所) 福祉センター大会議室
- テーマ) “抗生物質と抗炎症剤の現在の動向フォローアップコース”
- 講 師) 東京歯科大学 川口 允助教授



---

〈第2回〉

日 時) 昭和63年11月13日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “総義歯の臨床ポイント～総義歯の勘どころ～”  
講 師) 染谷成一郎先生

平成元年

学術委員会 4回 1月18日、3月28日、7月19日、9月8日

予防視察研修会

日 時) 平成元年4月20日(木)  
場 所) 東京都立老人医療センター及び養育院  
視察目的) 老人歯科医療及び老人歯科保健事業について  
テ ー マ) “寝たきり老人歯科医療の実際について”  
講 師) 東京都立老人医療センター歯科口腔外科部長 渡辺郁馬先生

学術研修会

日 時) 平成元年7月16日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “総義歯の臨床ポイント各論編”  
－難症例の印象採得・その考え方と実際－  
講 師) 東京都新宿区開業 染谷成一郎先生

臨床研修会

日 時) 平成元年10月23日(月)  
場 所) 福祉センター中会議室  
テーマ) “Dr.シュライヒのデンチャーシステムについて”

平成2年

学術委員会 4回 1月22日、3月28日、7月27日、11月30日

予防研修会

日 時) 平成2年6月17日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 高齢者(寝たきり老人を含む)の歯科医療  
講 師) 東京都立老人医療センター歯科口腔外科部長  
渡辺郁馬先生

#### 学術研修会

日 時) 平成2年7月29日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “総義歯の考え方とその実際”  
ーデモを交えたDrシュライヒの考え方と実践ー  
講 師) 静岡県三ヶ日町開業 近藤 弘先生

#### 学術研修会

日 時) 平成2年12月2日(日)  
場 所) 鬼怒川グランドホテル  
テーマ) “Perioの病理”  
講 師) 東京歯科大学病理学教室主任 下野正基助教授

#### 平成3年

学術委員会 1回 1月22日

#### 臨床研修会

日 時) 平成3年6月19日(水)  
場 所) 福祉センター中会議室  
テーマ) ① “歯周疾患ガイドラインに準拠した歯周治療マニュアル”  
ー7月28日(日)開催の学術研修会(鴨井久一先生)の予備知識としてー  
“歯科診療になぜ東洋医学的療法が必要か”

#### 学術・医療管理合同研修会

日 時) 平成3年7月28日(日)  
場 所) 鹿沼商工会議所大会議室  
テーマ) 第1部 (AM9:00~PM12:00) 「歯周病の今後の動向」ー最新情報を交えてー  
第2部 (PM1:00~PM4:30) 「ペリオのI型・II型の考え方」ー如何に取り組むかー  
講 師) 日本歯科大学教授 鴨井久一先生

#### 平成4年

学術委員会 3回 1月14日、1月20日、4月14日

---

学術研修会

日 時) 平成4年1月15日(水)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “調査診断とプラークコントロール”  
講 師) 奥羽大学歯周病教室 教授 岡本 浩先生

学術研修会

日 時) 平成4年6月13日(土)・14日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 13日 : “歯周疾患における治癒機序”  
14日午前: “歯周外科テクニックの実際”  
14日午後: “歯周外科実習(豚の骨を使用)”  
講 師) 奥羽大学歯周病学教室 教授 岡本 浩先生

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成4年8月1日(土)  
場 所) 仙台市歯科医師会  
視察目的) “寝たきり老人等在宅歯科診療事業について”

平成5年

学術委員会 2回 1月14日、4月15日

臨床研修会

日 時) 平成5年7月18日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “困難な埋伏歯の処置について”  
講 師) 日本歯科大学口腔外科学教室 助教授 熊沢康雄先生

平成6年

学術委員会 2回 1月12日、4月18日

臨床研修会

日 時) 平成6年3月10日(金)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 『歯科領域における内服抗生剤の選択』  
講 師) ㈱藤沢薬品工業 北関東支店 和久井学術課長

#### 学術研修会

##### 《第1回》

日 時) 平成6年7月17日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “口腔外科小手術〔切開・縫合・固定等〕”

講 師) 日本歯科大学口腔外科学教室第二講座 助教授 熊沢康雄先生

##### 《第2回》

日 時) 平成6年12月4日(日)

場 所) 鬼怒川温泉 ホテルあさや

テーマ) “口腔癌の手術(その診断と治療の将来展望)”

講 師) 東京医科大学口腔外科学教室 教授 千葉博茂先生

#### 平成7年

学術委員会 2回 1月11日、4月17日

#### 公衆衛生視察研修会

日 時) 平成7年2月7日(火)

視察場所) 東京都心身障害者口腔保健センター

#### 学術研修会

##### 《第1回》

日 時) 平成7年7月9日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “歯科診療室における救急処置”

講 師) 日本歯科大学歯学部歯科麻酔学教室 助教授 住友雅人先生

##### 《第2回》

日 時) 平成7年12月10日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “ペインコントロールについて〔局所麻酔を中心として〕”

講 師) 日本歯科大学歯学部歯科麻酔学教室 助教授 住友雅人先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成7年7月18日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “消炎鎮痛剤について”

講 師) 三共株式会社東京第二支店学術推進課 野田幸男先生

---

平成8年

学術委員会 2回 1月17日、4月12日

臨床研修会

日 時) 平成8年3月13日(水)

場 所) ホテル京屋

研修会) 1) 製品紹介 第一製薬株式会社 学術課  
“クラビット錠・細粒の有用性・安全性”

2) 特別講演

“歯科領域感染症における抗菌剤の使い方”

講師 東海大学医学部口腔外科教授 佐々木次郎先生

学術研修会

《第1回》

日 時) 平成8年7月14日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “在宅老人訪問診療の考え方”

講 師) 日本歯科大学高齢者歯科診療科 助教授 鈴木 章先生

《第2回》

日 時) 平成8年12月1日(日)

場 所) 鬼怒川温泉 ホテルあさや

テーマ) “感染を引き起こさない消毒と手術の実践”

講 師) ブローネマルクオッセオインテグレーションセンター  
小宮山弥太郎先生

平成9年

学術委員会 2回 1月13日、4月14日

視察研修会

日 時) 平成9年2月5日(水)

場 所) 日本歯科大学 高齢者歯科診療科

#### 臨床研修会

日 時) 平成9年2月25日(火)

場 所) ホテル榎

研修会) 1) 製品紹介 第一製薬株式会社 学術課

“クラビット錠・細粒の有用性・安全性”

2) 特別講演

“他科投薬との相互作用”

講師 東海大学医学部口腔外科教授 佐々木次郎先生

#### 学術研修会

日 時) 平成9年7月13日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “早期口腔癌の診断要点”

講 師) 奥羽大学歯学部初診科 教授 大根光朝先生

#### 平成10年

学術委員会 2回 1月14日、4月10日

#### 公衆衛生研修会

日 時) 平成10年2月19日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “天然素材甘味料キシリトールの可能性”

講 師) 日本歯科大学 高齢者歯科診療科 助教授 鈴木 章先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成10年2月24日(火)

場 所) ホテル榎

研修会) 1) 製品紹介 第一製薬株式会社 学術課

“抗生物質クラビットについて”

2) 特別講演

“舌癌の初期発見と診療の実際”

《講師》東海大学医学部口腔外科助手 太田嘉英先生

---

学術研修会

《第1回》

日 時) 平成10年9月27日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “高齢者における食べる事の問題”

講 師) 日本歯科大学高齢者歯科診療科 講師 菊谷 武先生

《第2回》

日 時) 平成10年11月29日(日)

場 所) ホテル鬼怒川御苑

テーマ) “接着修復の可能性と限界”

講 師) 日本大学歯学部保存学教室修復学講座 宮崎真至先生

平成11年

学術委員会 2回 1月13日、4月12日

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成11年2月18日(木)

視察場所) 仙台市福祉プラザ

臨床研修会

日 時) 平成11年3月11日(木)

場 所) ホテル榎

研修会) 1) 製品紹介 第一製薬株式会社 学術課

“広範囲経口抗菌製剤 ークラビットについてー”

2) 特別講演

“口腔領域の感染症 ー特に歯周炎の病因に関連してー”

《講師》鹿児島大学歯学部歯科保存学第一講座 松下健二先生

学術研修会

日 時) 平成11年6月27日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “救急蘇生のA・B・Cを行わないための実践的救急処置”

講 師) 足利赤十字病院口腔外科部長 山根伸夫先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成11年10月26日(火)  
場 所) 福祉センター中会議室  
テーマ) “歯科におけるコンピュータの利用法”  
講 師) 上都賀歯科医師会 総務理事 田代高志

#### 公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成11年12月11日(土)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “21世紀に向かったの老人問題を考える” -いかに老人問題をノーマライズするか-  
講 師) 医療法人北斗会宇都宮東病院 理事長 尾崎史郎先生  
出席者) 鹿沼市保健福祉部：7名 歯科医師：19名 衛生士：7名

#### 平成12年

学術委員会 2回 1月14日、4月14日

#### 臨床研修会

日 時) 平成12年3月9日(木)  
場 所) ホテル榎  
研修会) 1) 製品紹介 第一製薬株式会社 学術課  
“広範囲経口抗菌製剤 -クラビット錠について-”  
2) 特別講演  
“抗菌薬と感染症 -ニューキノロンの臨床意義を中心に”  
《講師》足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

#### 学術研修会

日 時) 平成12年7月16日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “ホワイトニング (歯の漂白)” [実習付き]  
講 師) フォーラムデンタルクリニック 院長 坪田健嗣先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成12年10月25日(水)  
場 所) 市民情報センター EUC学習室  
テーマ) “パソコン講座 第2回” -パソコンの操作と実践-  
講 師) 上都賀歯科医師会 田代高志・鈴木裕之



---

学術・医療管理・調査合同研修会

日 時) 平成12年12月3日(日)

場 所) ホテル鬼怒川御苑

テーマ) “有病者の歯科治療において起こりやすい偶発事故と対処法”

講 師) 都立荏原病院口腔外科 医長 佐野晴男先生

臨床研修会

日 時) 平成12年12月12日(火)

場 所) 福田屋コンベンションホール

研修会) 1) 製品紹介 ファイザー製薬株式会社

“15員環マクロライド系抗生物質製剤” –ジスロマック錠–

2) 特別講演

“急性菌性感染症の外科的処置と抗菌薬の使い方” –15員環マクロライドを中心に–

講師 足利赤十字病院口腔外科 部長 山根伸夫先生

平成13年

学術委員会 2回 1月12日、4月11日

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成13年2月1日(木)

視察場所) 東京医科歯科大学歯学部附属病院

視察内容) 1) 高齢者歯科治療について

2) 障害者歯科治療について

臨床研修会

日 時) 平成13年3月10日(土)

場 所) 市民情報センター

テーマ) “パソコン講座第3回” –Word の操作とインターネット接続–

講 師) 田代高志・鈴木裕之

臨床研修会

日 時) 平成13年3月14日(水) 午後6:30

場 所) ホテル榎

研修会) 1) 製品紹介 ファイザー製薬株式会社

“ジスロマックについて”

2) 特別講演 “21世紀の経口抗菌薬”

《講師》東海大学医学部口腔外科 教授 佐々木次郎先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成13年5月23日(水)

場 所) 市民情報センター EUC学習室

テーマ) “パソコン講座 第4回” -エクセルの操作とインターネット接続-

講 師) 上都賀歯科医師会 田代高志・鈴木裕之

#### 調査・学術合同研修会

日 時) 平成13年12月2日(日)

場 所) 福祉センター大会議室・和室

テーマ) “救急蘇生のとらえ方とその実践”

講 師) 足利赤十字病院口腔外科 部長 山根伸夫先生

#### 平成14年

学術委員会 2回 1月11日、4月10日

#### 公衆衛生研修会

日 時) 平成14年2月28日(木)

場 所) 福祉センター

テーマ) 「最近のフッ化物応用の考え方」

講 師) 日本歯科大学 衛生学教室 助教授 福田雅臣先生

#### 臨床研修会

日 時) 平成14年3月13日(水)

場 所) 鹿沼市ホテル榎

研修会) 1) 製品紹介 ファイザー製薬株式会社

“15員環マクロライド系抗生物質製剤 ジスロマック錠”

2) 特別講演

“薬剤の相互作用”

#### 学術研修会

日 時) 平成14年9月1日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “臨床家のためのスポーツ歯学”

講 師) 東京歯科大学スポーツ歯学研究室 主任教授 石上恵一先生

---

研修会（調査委員会担当）

日 時) 平成14年10月29日(火)  
場 所) 市民情報センター子育て情報室B  
テーマ) “高血圧症について”  
講 師) 小野内科循環器科医院 小野彰史先生

臨床研修会

日 時) 平成14年11月11日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “パソコン講座 第5回”－Power Pointを使ったスライドの作り方－  
講 師) 上都賀歯科医師会 総務理事 田代高志

平成15年

学術委員会 2回 1月10日、4月16日

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成15年2月17日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 「心電図の読み方・考え方」  
講 師) 鹿沼市 小野内科循環器科医院 小野彰史先生

公衆衛生研修会

日 時) 平成15年2月27日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 「健康日本21と歯科保健」－成人歯科保健活動の進め方・とらえ方－  
講 師) 日本歯科大学衛生学講座 助教授 福田雅臣先生

臨床研修会

日 時) 平成15年3月11日(火)  
場 所) 福田屋コンベンションホール  
研修会) 1) 製品紹介 ファイザー製薬株式会社  
“15員環マクロライド系抗生物質製剤 ジスロマック錠”  
2) 特別講演  
“薬剤の相互作用 最近の話題について”  
《講師》医薬情報研究所 (株)エイ・アイ・シー  
医薬情報部門責任者 堀美智子先生

#### 学術研修会

日 時) 平成15年7月6日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “口臭測定と歯科人間ドック”

講 師) 日本歯科大学歯学部附属病院 総合診療科 助教授 高橋健作先生

#### 研修会 (調査委員会担当)

##### 《第1回》

日 時) 平成15年7月16日(水)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “糖尿病について”

講 師) 上都賀総合病院 内科 中村 晋先生

出席者) 18名

##### 《第2回》

日 時) 平成15年10月27日(月)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “B型・C型肝炎について”

講 師) 上都賀総合病院 副病院長 一戸 彰先生

#### 平成16年

学術委員会 2回 1月9日、4月12日

#### 学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成16年2月11日(水)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「注意して欲しい顎口腔疾患」—口腔疾患の鑑別を中心に—

講 師) 自治医科大学歯科口腔外科学講座 教授 草間幹夫先生

#### 研修会 (調査委員会担当)

日 時) 平成16年2月24日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「知っておきたい性行為感染症」

講 師) 鹿沼市 小林産婦人科医院 院長 小林一彦先生

---

臨床研修会

日 時) 平成16年3月9日(火)

場 所) 福田屋コンベンションホール

研修会) 1) 製品紹介 ファイザー製薬株式会社

“15員環マクロライド系抗生物質製剤 ジスロマック錠”

2) 特別講演

“外来処方あれこれ”

《講師》東海大学医学部外科学系口腔外科 教授 金子明寛先生

学術研修会

日 時) 平成16年7月4日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “睡眠障害について”－睡眠時無呼吸症候群との鑑別をふまえて－

講 師) 獨協医科大学 口腔外科学講座 教授 今井 裕先生

研修会〔調査委員会担当〕

《第1回》

日 時) 平成16年7月26日(月)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “老人の特性について”－痴呆を中心に－

講 師) 鹿沼病院 院長・理事 駒橋 徹先生

《第2回》

日 時) 平成16年11月24日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) “脳卒中について”

講 師) 池田脳神経外科 院長 池田俊一郎先生

臨床研修会

日 時) 平成16年8月3日(火)

場 所) 鹿沼商工会議所4階中会議室

研修会) 1) 製品紹介 藤沢薬品工業株式会社

“ケトライド系抗菌剤 ケテック錠”

2) 特別講演

“歯性感染症の急性増悪期に対する包括的治療法”

《講師》足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

平成17年

学術委員会 2回 1月11日、4月11日

学術・調査合同研修会

日 時) 平成17年2月6日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「救急蘇生法のとらえ方とその実践」－除細動器の考え方・取り扱い方－

講 師) 足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

公衆衛生研修会

日 時) 平成17年3月10日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「動物由来感染症について」

講 師) 鹿沼市 キンダーケア動物病院 獣医師 村井 妙先生

学術・調査合同研修会

《第1回》

日 時) 平成17年6月29日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

研修会) 1) 製品説明 フクダ電子北関東販売(株) 学術

『AED(自動体外式除細動機器)～ハートスタートFR2～』

2) 講演『ガイドライン2000に基づく－Basic life support (BLS)－について』

～Automated external defibrillator (AED)の有用性並びに使用法～

〔講師〕獨協医科大学 救急医学 松島久雄先生

《第2回》

日 時) 平成17年12月11日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “日常臨床で気をつけたい薬について”－救急医薬品の使用法について－

講 師) 足利赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成17年7月25日(月)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “中高年が注意しなければならない心疾患”

講 師) 上都賀総合病院 内科部長 駒場 明先生

---

平成18年

学術委員会 2回 1月10日、4月10日

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成18年2月26日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「命をねらう歯周病」—歯周病と全身疾患との関わり。全身の健康は口の中から—

講 師) 日本歯科大学歯学部歯周病学講座 教授 沼部幸博先生

研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成18年3月15日(水)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「加齢に伴う眼疾患について」

講 師) 鹿沼市 吉沢眼科医院 院長 吉沢 徹先生

学術研修会

日 時) 平成18年7月9日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “知っておきたい口腔粘膜疾患”

講 師) 東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学講座 教授 山根源之先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成18年9月20日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) “血液疾患について”

講 師) 鹿沼市 奥山医院 院長 奥山明彦先生

出席者) 17名

調査研修会

日 時) 平成18年10月17日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “歯科診療における救急処置と救急薬品の使い方”

講 師) 足利赤十字病院口腔外科 部長 山根伸夫先生

平成19年

学術委員会 2回 1月12日、4月16日

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成19年2月25日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「新しい介護保険は口腔に何を求めているのか？」

講 師) 日本歯科大学歯学部 助教授

口腔介護リハビリセンター センター長 菊谷 武先生

臨床研修会〔学術委員会担当〕

日 時) 平成19年3月14日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) 「口腔内装置(マウスガード、スプリント、ドラッグデリバリートレー、etc) 作製の為  
のサーモフォーミング機器説明」

講 師) 株式会社GC社員・株式会社りんかい社員

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成19年3月20日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「皮膚疾患について」

講 師) 鹿沼市 藤沢皮膚科医院 院長 藤沢崇行先生

臨床研修会〔学術委員会担当〕

日 時) 平成19年6月6日(水)

場 所) 福祉センター生きがい広場

テーマ) “三金 歯科用根管拡大装置X-スマート使用説明と模型上実技”

講 師) 三金社員

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成19年7月1日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “明日から導入できる顎機能の診査・診断システム”

ーチェアサイドで行う簡便で有効な顎関節と筋触診法の実際ー

講 師) 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授

日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学教授 小出 馨先生



---

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成19年8月27日(月)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “耳鼻咽喉科の疾患について (歯科関係)”

－ 歯性上顎洞炎・睡眠時無呼吸症候群について－

講 師) 鹿沼市 細川医院 細川朋子先生

拡大臨床研修会〔学術委員会担当〕

日 時) 平成19年10月21日(日)

場 所) 市民情報センター子育て情報室B

テーマ) “レーザーの基礎とNd:YAG レーザー・パワーパルス1の紹介”

講 師) 株式会社エス・エル・ティ・ジャパンより派遣 歯科医師 杉原成良先生

公衆衛生視察研修会

日 時) 平成19年11月29日(木)

集合場所) 文化活動交流館駐車場

視察場所) 日本歯科大学附属病院

視察目的) “歯科人間ドック視察”

口腔ケア研修会 (鹿沼市・上都賀歯科医師会共催)

日 時) 平成19年12月9日(日)午後1:30

場 所) 鹿沼市消防本部大会議室

テーマ) “口は元気の素”

講 師) 日本歯科大学生命歯学部 准教授

口腔介護・リハビリセンター センター長 菊谷 武先生

平成20年

学術委員会 2回 1月11日、4月11日

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成20年1月27日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「後期高齢者医療がもつめる口腔の役割 ―その評価と対応―」

講 師) 日本歯科大学歯学部 准教授

口腔介護リハビリセンター センター長 菊谷 武先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成20年2月12日(火)  
場 所) 福祉センター生きがい広場  
テーマ) 「腎不全患者の歯科治療」  
講 師) 鹿沼市 竹村内科腎クリニック 院長 竹村克己先生

臨床研修会〔調査委員会担当〕

日 時) 平成20年3月9日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 《講演》「日常行われる小手術の実際と救急蘇生について」  
《実習》「心肺蘇生・AED・血管確保について」  
講 師) 足利日本赤十字病院 口腔外科部長 山根伸夫先生

臨床研修会〔学術委員会担当〕

日 時) 平成20年4月30日(水)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “口腔接着剤(スーパーボンド・ハイブリットコート) 機器説明”  
講 師) サンメディカル株式会社 社員

臨床研修会〔調査委員会担当〕

《第1回》

日 時) 平成20年6月27日(金)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “夏に向かってよく見る小児疾患” —顎・顔面領域を中心に—  
講 師) 鹿沼市 いたうこどもクリニック 院長 伊藤直実先生

《第2回》

日 時) 平成20年11月26日(水)  
場 所) 福祉センター生きがい広場  
テーマ) “スポーツ医学”  
講 師) 鹿沼市 鹿沼整形外科 院長 大西正康先生

公衆衛生・学術合同研修会

日 時) 平成20年7月13日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “チェアサイドで行う簡便で有効な顎関節と筋触診法の実際 実技編”  
講 師) 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座主任教授  
日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学教授 小出 馨 先生

---

鹿沼市市制60周年記念市民公開講座（鹿沼市・上都賀歯科医師会共催）

日 時) 平成20年10月5日(日)

場 所) 市民情報センターマルチメディアホール

テーマ) “口をまもる。暮らしをまもる。生命をまもる口腔ケア” —口の中から全身の健康を考える—

講 師) 日本歯科大学生命歯学部 准教授

附属病院口腔介護・リハビリセンター センター長 菊谷 武先生

平成21年

学術委員会 2回 1月9日、4月10日

学術・公衆衛生合同研修会

日 時) 平成21年1月25日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「ドライマウスから考える全身のアンチエイジング医学」

講 師) 鶴見大学歯学部口腔病理学講座 教授 斎藤一郎先生

調査・学術合同研修会

日 時) 平成21年3月1日(日)午後1:30

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 「医療安全管理と最近のトピックス」

—改正医療法で求められる医療安全対策を踏まえて—

講 師) 獨協医科大学口腔外科学講座 教授 今井 裕先生

## 医療管理委員会

昭和57年

支部旅行

日 時) 昭和57年10月7日(木)、8日(金)

場 所) 鬼怒川 ホテルニュー岡部

昭和58年

保険講習会

日 時) 昭和58年1月30日(日)

場 所) 県歯科医師会館

税務説明会

日 時) 昭和58年2月3日(木)

場 所) 埼玉銀行

保険研修会

日 時) 昭和58年7月9日(土)

場 所) 御殿山会館

ゴルフ

日 時) 昭和58年10月5日(水)

場 所) 日光カントリークラブ

ボウリング大会

日 時) 昭和58年10月15日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

懇親会

日 時) 昭和58年10月15日(土)

場 所) ハッピー会館

成人病検査実施

日 時) 昭和58年10月29日(土)より

---

昭和59年

上都賀支部新年会

日 時) 昭和59年 1月21日(土)

税務説明会

日 時) 昭和59年 2月 2日(木)

場 所) 埼玉銀行

テーマ) 「昭和59年度税務制改正について」

講 師) 鹿沼税務署 古沢統括官

保険講習会

日 時) 昭和59年 2月 2日(木)

場 所) 埼玉銀行

テーマ) 「老人保険について」

講 師) 国保専任審査委員

税務講習会

日 時) 昭和59年 2月10日(金)

場 所) 休日診療所

税務講習会

日 時) 昭和59年 2月10日(金)

場 所) 喜楽

テーマ) 「昭和58年度の青色申告の決算申告について」

講 師) 県歯顧問税理士 安納 昌先生

保険講習会

日 時) 昭和59年 6月 2日(土)

場 所) 御殿山会館

テーマ) 「社会保険診療一般について」《講師》高田常務理事

「国保診療一般について」《講師》湯沢国保専任

成人病検査

日 時) 昭和59年10月 3日(水)

場 所) 独協医科大学病院第2内科

ボウリング大会（医療管理委員会主催）

日 時) 昭和59年10月13日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

昭和60年

税務説明会

日 時) 昭和60年2月7日(木)

保険講習会

日 時) 昭和60年2月7日(木)

場 所) 埼玉銀行

講 師) 高田常務理事、湯沢国保専任

新年会

日 時) 昭和60年2月7日(木)

場 所) 喜楽 県歯 大塚会長、槇石副会長、高田常務、柴田常務、湯沢国保専任

保険講習会

日 時) 昭和60年5月8日(水)

場 所) 埼玉銀行3階大会議室

アシスタント研修会

日 時) 昭和60年8月31日(土)

場 所) 中央公民館2階講義室

テーマ) 「期待されるスタッフ像」

講 師) 産能大講師・人材育成研究所所長 藤田紀美枝先生

税務講習会

日 時) 昭和60年9月21日(土)

場 所) いしばし

テーマ) 「みなし法人について」

講 師) 県歯顧問税理士 安納 昌先生

ボウリング大会

日 時) 昭和60年10月19日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

成人病検査

日 時) 昭和60年10月29日(火)、30日(水)、31日(木)  
場 所) 独協医科大学病院健康管理科

支部ゴルフ大会

日 時) 昭和60年12月30日(月)  
場 所) 下野カントリークラブ  
懇親会 西村(栗野町)

昭和61年

B型肝炎ウイルス検査

日 時) 昭和61年7月25日(金)

ボウリング大会(第4回)

日 時) 昭和61年10月18日(金)  
場 所) 鹿沼パークレーン

成人病検査

日 時) 昭和61年10月27日(月)・28日(火)・29日(水)  
場 所) 独協医科大学病院2階健康管理科

昭和62年

税務説明会

日 時) 昭和62年2月5日(木)  
場 所) 埼玉銀行3階会議室

保険講習会

日 時) 昭和62年2月5日(木)  
場 所) 埼玉銀行3階会議室

医療管理委員会

日 時) 昭和62年4月23日(木)

B型肝炎予防接種 抗原・抗体検査

日 時) 昭和62年9月16日(水)・17日(木)  
場 所) 上都賀病院健康管理科

ボウリング大会（第5回）

日 時) 昭和62年9月26日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

ワクチン接種

第1回

日 時) 昭和62年9月29日(火)・30日(水)

第2回

日 時) 昭和62年10月27日(火)・28日(水)

場 所) 上都賀病院健康管理科

成人病検査

日 時) 昭和62年10月12日(月)～16日(金)

場 所) 独協医科大学病院2階健康管理科

スタッフ慰労会

日 時) 昭和62年11月12日(木)

場 所) サンパレス富士

支部ゴルフコンペ

日 時) 昭和62年12月30日(水)

場 所) グレンピークマナーゴルフクラブ

支部忘年会

日 時) 昭和62年12月30日(水)

場 所) 石ばし

昭和63年

税務説明会

日 時) 昭和63年1月28日(木)

場 所) 埼玉銀行3階会議室

保険講習会

日 時) 昭和63年1月28日(木)

場 所) 埼玉銀行3階会議室



---

アシスタント講習会

日 時) 昭和63年2月14日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “期待されるスタッフ像—その2—” アドバンスコース  
講 師) 人材育成研究所所長 藤田紀美枝先生

B型肝炎ウイルスワクチン接種

日 時) 昭和63年2月22日(月)・23日(火)  
場 所) 上都賀総合病院健康管理科

医療管理委員会

日 時) 昭和63年4月19日(火)

B型肝炎ウイルス検査

日 時) 昭和63年5月9日(月)・10日(火)  
場 所) 上都賀総合病院健康管理科

今市・上都賀合同保険講習会

日 時) 昭和63年7月26日(火)  
場 所) 今市市保健福祉センター

従業員研修会

第1回

日 時) 昭和63年7月31日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “期待されるスタッフ像—その3—” 患者への応対について～基礎から応用まで1～  
講 師) 人材育成研究所所長 藤田紀美枝先生

第2回

日 時) 昭和63年10月23日(日)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “期待されるスタッフ像—その4—” 患者への応待について～基礎から応用まで2～  
講 師) 人材育成研究所所長 藤田紀美枝先生

#### 税務講習会

日 時) 昭和63年9月15日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “必要経費について” ～ドクターサイドの節税を行うには?～

講 師) デンタル・ビジネスマネジメントセンターチーフコンサルタント 辻中保夫先生

#### ボウリング大会 (第6回)

日 時) 昭和63年10月29日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

#### 保険講習会

日 時) 昭和63年12月18日(日)

場 所) 鬼怒川温泉 金谷ホテル

#### 平成元年

医療管理委員会 1月18日、3月28日

#### 税務説明会

日 時) 平成元年2月2日(木)

場 所) 埼玉銀行5階会議室

#### 保険講習会

日 時) 平成元年2月2日(木)

場 所) 埼玉銀行3階会議室

#### 成人病検査

日 時) 平成元年3月15日(水) ～29日(水)

場 所) 上都賀総合病院健康管理科

#### 納税組合会

日 時) 平成元年7月28日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

従業員研修会

日 時) 平成元年7月30日(日)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “期待されるスタッフ像－その5－”

患者への対応について～言葉使い・挨拶・電話対応など～

講 師) 足利銀行人事部研修課 小池 雄先生・北条律子先生

ボウリング大会 (第7回)

日 時) 平成元年10月28日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

平成2年

医療管理委員会 1月22日、3月28日

税務説明会

日 時) 平成2年2月1日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

保険講習会

日 時) 平成2年2月1日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

納税組合会

日 時) 平成2年5月25日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

今市・上都賀合同保険講習会

日 時) 平成2年5月31日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

従業員研修会

日 時) 平成2年8月26日(日)

場 所) 市民文化センター中会議室

テーマ) “期待されるスタッフ像－その6－”

患者への対応について～応用編～ (言葉使い・挨拶・電話対応など)

講 師) 足利銀行人事部研修課 小池 雄先生・福田恭子先生

福祉ボウリング大会（第8回）

日 時) 平成2年10月27日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

平成3年

税務説明会

日 時) 平成3年1月31日(木)

場 所) 商工会議所3階会議室

納税組合会

日 時) 平成3年2月22日(金)

場 所) 福祉センター

医療管理委鍛会 4月24日、7月26日

学術・医療管理合同研修会

日 時) 平成3年7月28日(日)

場 所) 鹿沼商工会議所大会議室

テーマ) 第1部 「歯周病の今後の動向」－最新情報を交えて－

第2部 「ペリオのI型・II型の考え方」－如何に取り組むか－

講 師) 日本歯科大学教授 鴨井久一先生

福祉ボウリング大会（第9回）

日 時) 平成3年10月26日(土)

場 所) 鹿沼パークレーン

納税組合会

《第1回》

日 時) 平成3年4月19日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

《第2回》

日 時) 平成3年7月26日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

今市・上都賀合同保険講習会

日 時) 平成3年12月14日(土)

場 所) 今市市 木村屋ホテル

平成4年

医療管理委員会 1月20日、4月14日

税務説明会

日 時) 平成4年2月13日(木)

場 所) 福祉センター

成人病検査

日 時) 平成4年2月17日(月)・18日(火)・19日(水)・20日(木)

場 所) 宇都宮東武ホテルグランデ5階ピエラクラブ

今市・芳賀・上都賀合同保険講習会

日 時) 平成4年8月5日(水)

場 所) 栃歯会館

平成5年

税務説明会

日 時) 平成5年1月28日(火)

場 所) 福祉センター大会議室

成人病検査

日 時) 平成5年2月15日(月)～18日(木)

場 所) 宇都宮東武ホテルグランデ

納税組合会会議

日 時) 平成5年2月26日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

医療管理委員会 4月13日

納税組合会

日 時) 平成5年5月28日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

福祉センター中会議室使用に関する覚書作成協議会

日 時) 平成5年6月8日(火)・29日(火)・7月26日(月)

場 所) 福祉センター中会議室

#### 従業員研修会

日 時) 平成 5 年 7 月 17 日 (土)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “信頼されるスタッフ像” 《その 1》

患者への対応について～基礎編～ (言葉使い・挨拶・電話対応・患者対応等など)

講 師) 足利銀行人事部 山口則久先生

#### 福祉ボウリング大会 (第10回)

日 時) 平成 5 年 10 月 2 日 (土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

#### 今市・上都賀合同保険講習会

日 時) 平成 5 年 10 月 21 日 (木)

場 所) 今市市保健福祉センター

#### 平成 6 年

医療管理委員会 2 回 1 月 12 日、4 月 15 日

#### 今市・上都賀支部合同税務説明会

日 時) 平成 6 年 1 月 27 日 (木)

場 所) 福祉センター大会議室

#### 税務講習会

日 時) 平成 6 年 1 月 29 日 (土)

場 所) 福祉センター大会議室

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

#### 新年宴会

日 時) 平成 6 年 1 月 29 日 (土)

場 所) 橋田旅館

#### 成人病検査

日 時) 平成 6 年 2 月 14 日 (月)～18 日 (金)

場 所) 宇都宮東武ホテルグランデ

---

納税組合会会議

日 時) 平成6年2月25日(金)  
場 所) 福祉センター中会議室

今市・上都賀合同保険講習会

日 時) 平成6年6月30日(木)  
場 所) 福田屋コンベンションホール

福祉ボウリング大会(第11回)

日 時) 平成6年10月29日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル  
懇親会) 日時: 10月29日(土)  
場所: 福田屋コンベンションホール

平成7年

医療管理委員会 2回 1月11日、4月17日

税務講習会

日 時) 平成7年1月26日(木)  
場 所) 鹿沼商工会議所催事ホール  
講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成7年1月26日(木)  
場 所) 橋田旅館

成人病検査

日 時) 平成7年2月13日(月)~23日(木)  
場 所) 宇都宮東武ホテルグランデ

納税組合

納税組合会会議

日 時) 平成7年5月26日(金)  
場 所) 福祉センター中会議室

「仮称歯科ドック」行政との打合せ会

日 時) 平成7年6月2日(金)、8月2日(水)  
場 所) 福祉センター中会議室

今市・上都賀合同保険講習会

日 時) 平成7年6月26日(月)  
場 所) 今市市 あさの

従業員研修会

日 時) 平成7年10月5日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “信頼されるスタッフ像”《その2》患者への対応について ～基礎編～  
(言葉使い・挨拶・電話対応・患者対応等など)  
講 師) 足銀暮らしと経営の相談センター  
経営コンサルタント 藍田新一先生  
マナーインストラクター 七久保陽子先生

福祉ボウリング大会(第12回)

日 時) 平成7年10月28日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル

平成8年

医療管理委員会 2回 1月17日、4月12日

税務講習会

日 時) 平成8年1月22日(月)  
場 所) 鹿沼商工会議所催事ホール  
講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成8年1月22日(月)  
場 所) 橋田旅館

成人病検査

日 時) 平成8年2月19日(月)～22日(木)  
場 所) 宇都宮東武ホテルグランデ



---

納税組合

納税会議

日時) 平成8年2月22日(木)

場所) 福祉センター大会議室

納税組合

納税組合会会議

日時) 平成8年5月30日(金)

場所) 福祉センター中会議室

今市・芳賀・上都賀合同保険講習会

日時) 平成8年7月30日(火)

場所) 宇都宮市 護国会館

保険説明会

日時) 平成8年9月27日(金)

場所) 福祉センター大会議室

福祉ボウリング大会 (第13回)

日時) 平成8年10月26日(土)

場所) 鹿沼トーヨーボウル

懇親会) 日時: 10月26日(土)

場所: 福田屋コンベンションホール

平成9年

医療管理委員会 2回 1月13日、4月14日

税務講習会

日時) 平成9年1月30日(木)

場所) 福祉センター大会議室

テーマ) “わたしたちの税制 - 知っておきたい税情報 -”

講師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日時) 平成9年1月30日(木)

場所) 橋田旅館

#### 成人病検査

日 時) 平成9年2月17日(月)～27日(木)

場 所) 宇都宮東武ホテルグランデ

#### 納税組合

##### 納税組合会会議

日 時) 平成9年2月20日(木)

場 所) 福祉センター中会議室

##### 納税組合会会議

日 時) 平成9年5月23日(金)

場 所) 福祉センター中会議室

#### 福祉ボウリング大会 (第14回)

日 時) 平成9年10月25日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

懇親会) 日時: 10月25日(土)

場所: 福田屋コンベンションホール

#### 上都賀・今市合同保険講習会

日 時) 平成9年11月6日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

#### 平成10年

医療管理委員会 2回 1月14日、4月10日

#### 税務講習会

日 時) 平成10年1月27日(木)

場 所) 鹿沼商工会議所催事ホール

テーマ) 1) わたしたちの税制

2) 決算にあたり留意すべき事項及び税法の取扱い

3) 税の情報

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

#### 新年宴会

日 時) 平成10年1月29日(木)

場 所) 橋田旅館

---

成人病検査

日 時) 平成10年2月23日(月)～3月5日(木)  
場 所) 関湊記念会クリニック  
検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査  
肝・腎機能検査・エコー・内科検診

納税組合

納税組合会会議

日 時) 平成10年2月20日(金) 常会終了後  
場 所) 市民文化センター中会議室

保険説明会

日 時) 平成10年5月1日(金)  
場 所) 福祉センター大会議室

納税組合

納税組合会会議

日 時) 平成10年5月22日(金) 常会終了後  
場 所) 福祉センター中会議室

従業員研修会

日 時) 平成10年5月21日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “信頼されるスタッフ像” 患者への対応について ～基礎編～  
講 師) あしぎん暮らしと経営の相談センター  
マナーインストラクター 玉田陽子先生

B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

《B型肝炎ウイルス検査》

日 時) 平成10年7月6日(日)～17日(金)  
場 所) 上都賀総合病院

#### 医療管理講習会

日 時) 平成10年7月13日(月)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “経営分析の基礎知識〔講演・質疑応答〕”  
講 師) (株)塩山経営研究所 代表取締役  
中央大学大学院法学研究科 講師 塩山博之先生

#### 《ワクチン接種》

日 時) 平成10年10月6日(火)～平成11年3月26日(金)  
場 所) 上都賀総合病院

#### 福祉大会ボウリング (第15回)

日 時) 平成10年10月24日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル  
参加者) 136名 25医院  
懇親会) 日時：10月24日(土)  
場所：福田屋コンベンションホール

#### 支部旅行

日 時) 平成10年11月29日(日)・30日(月)  
場 所) ホテル鬼怒川御苑

#### 上都賀・今市合同保険講習会

日 時) 平成10年12月10日(木)  
場 所) 今市市 ホテルつたや

#### 平成11年

医療管理委員会 2回 1月13日、4月12日

#### 税務講習会

日 時) 平成11年1月28日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) 1) 税制改正について (所得税関係)  
2) 知っておきたい税情報 (国税庁)  
3) 財政構造改革を考える (大蔵省)  
講 師) 安納攸昌 顧問税理士

---

新年宴会

日 時) 平成11年1月28日(木)  
場 所) 橋田旅館

成人病検査

日 時) 平成11年2月22日(月)～3月4日(木)  
場 所) 関湊記念会クリニック  
検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査  
肝、腎機能検査・エコー・内科検診

納税組合

納税組合会会議

日 時) 平成11年2月26日(金) 常会終了後  
場 所) 福祉センター中会議室

従業員研修会

日 時) 平成11年5月20日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “社会人としてのマナー”  
講 師) あしぎん暮らしと経営の相談センター係長  
マナーインストラクター 釜井友美先生

納税組合

納税組合会会議

日 時) 平成11年5月25日(水) 常会終了後  
場 所) 福祉センター中会議室

支部旅行

日 時) 平成11年7月31日(土)・8月1日(日)  
場 所) 東京・横浜バス旅行〔隅田川花火大会をメインとして〕  
屋形船：駒形 宿泊地：両国パールホテル 昼食場所：横浜中華街 四五六菜館本館

福祉大会ボウリング (第16回)

日 時) 平成11年10月30日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル  
懇親会) 日時：10月30日(土)  
場所：福田屋コンベンションホール

平成12年

医療管理委員会 2回 1月14日、4月17日

講習会・研修会等開催状況

支部関連事業

税務講習会

日 時) 平成12年1月28日(金)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) 1) わたしたちの税制

2) 税制改正について(所得税関係)

3) 知っておきたい税情報

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成12年1月28日(金)

場 所) 橋田旅館

成人病検査

日 時) 平成12年2月14日(月)～2月24日(木)

場 所) 関湊記念会クリニック

検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査・肝、腎機能検査

エコー・内科検診・B型肝炎ウイルス検査 その他希望によりオプション検査

B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

B型肝炎ウイルス検査

日 時) 平成12年2月16日(水)～2月24日(金)

場 所) 上都賀総合病院

ワクチン接種

日時) 平成12年3月～

場所) 上都賀総合病院

---

納税組合

納税組合会会議

日 時) 平成12年2月25日(金) 常会終了後

場 所) 福祉センター中会議室

〔平成12年3月31日付けで上都賀歯科医師会納税組合を解散〕

今市支部・上都賀支部合同社保講習会

日 時) 平成12年6月29日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

福祉大会ボウリング (第17回)

日 時) 平成12年10月28日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

参加者) 92名 18医院

懇親会) 日時：10月28日(土)

場所：福田屋コンベンションホール

学術・医療管理・調査合同研修会

日 時) 平成12年12月3日(日)

場 所) ホテル鬼怒川御苑

テーマ) “有病者の歯科治療において起こりやすい偶発事故と対処法”

講 師) 都立荏原病院口腔外科 医長 佐野晴男先生

支部旅行

日 時) 平成12年12月3日(日)・4日(月)

場 所) ホテル鬼怒川御苑

平成13年

医療管理委員会 2回 1月12日、4月13日

#### 税務講習会

- 日 時) 平成13年1月24日(水)  
場 所) 福祉センター  
テーマ) 1) わたしたちの税制  
2) 税制改正について(所得税関係)  
3) 知っておきたい税情報  
4) 財政の現状と今後のあり方  
講 師) 安納攸昌 顧問税理士

#### 新年宴会

- 日 時) 平成13年1月24日(水)  
場 所) 橋田旅館

#### B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

- 1) B型肝炎ウイルス検査  
日 時) 平成13年2月13日(火)～2月23日(金)  
場 所) 上都賀総合病院

#### 成人病検査

- 日 時) 平成13年2月15日(木)～3月14日(水)  
場 所) 関湊記念会クリニック  
検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・心エコー・血液一般検査  
肝、腎機能検査・尿検査・内科検診・B型肝炎ウイルス検査  
その他希望によりオプション検査

#### 医療管理研修会

- 日 時) 平成13年7月5日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “愛されるスタッフ・選ばれる医院”－患者様第一主義の定着と実践－  
講 師) JALアカデミー株式会社 接遇インストラクター 山脇あき子先生

#### 今市歯科医師会・上都賀歯科医師会合同社保講習会

- 日 時) 平成13年8月9日(木)  
場 所) 今市市 つたやホテル  
講 師) 栃木県歯科医師会  
保険担当常務理事 大久保雅順先生  
保険担当理事 角田国義先生



---

福祉大会ボウリング（第18回）

日 時) 平成13年10月27日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

参加者) 92名 15医院

懇親会) 日時：10月27日(土)

場所：福田屋コンベンションホール

平成14年

医療管理委員会 2回 1月11日、4月12日

税務講習会

日 時) 平成14年1月24日(木)

テーマ) 1) わたしたちの税制

①税のはなし

②平成13年分所得税の主な税制改正について

2) 財産をもらったとき

3) 財産を相続したとき 鹿沼市総合福祉センター

講 師) 安納 攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成14年1月24日(木)

場 所) 鹿沼市 橋田旅館

医療管理研修会

日 時) 平成14年5月30日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “患者様のニーズを満たす対応の実現”

1) 視点を変えた患者対応

2) 患者接遇対応シミュレーション

3) プラス・ストローク

講 師) JALアカデミー株式会社 接遇インストラクター 川村悦子先生

今市歯科医師会・上都賀歯科医師会合同社保講習会

日 時) 平成14年7月11日(木)  
場 所) 福田屋コンベンションホール  
講 師) 栃木県歯科医師会  
保険担当常務理事 大久保雅順先生  
保険担当理事 角田国義先生

福祉大会ボウリング

日 時) 平成14年10月26日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル

平成15年

医療管理委員会 2回 1月10日、4月18日

税務講習会

日 時) 平成15年1月23日(木)  
場 所) 福田屋コンベンションホール  
テーマ) 1) 税務行政を巡る最近の課題  
2) 所得税について(事例)  
3) 暮らしの税情報  
1) 財産をもらったとき(贈与税)  
2) 財産を相続したとき(相続税)  
講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成15年1月23日(木)

医療管理研修会

《第1回》

日 時) 平成15年5月29日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “愛されるスタッフ・選ばれる医院”－患者様第一主義の定着と実践－  
講 師) JALアカデミー株式会社 接遇インストラクター 山脇あき子先生

福祉大会ボウリング

日 時) 平成15年10月25日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル

---

医療管理研修会

《第2回》

日 時) 平成15年12月11日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “患者様のニーズを満たす対応の実現”

講 師) JALアカデミー株式会社 接遇インストラクター 山脇あき子先生

平成16年

医療管理委員会 2回 1月9日、4月12日

税務講習会

日 時) 平成16年1月29日(木)

テーマ) 1) 青色申告決算書作成事前準備について

2) 税制改正について

1) 所得税関係について(事例)

2) 資産税

3) 消費税

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成16年1月29日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

医療管理研修会

日 時) 平成16年7月1日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “3人の自分を知る”

講 師) JALアカデミー株式会社 接遇インストラクター 船戸美幸先生

今市・上都賀歯科医師会合同地区別社保講習会

日 時) 平成16年7月15日(木)

場 所) 今市市 つたやホテル

講 師) 栃木県歯科医師会

保険担当常務理事 大久保雅順先生

保険担当理事 角田國義先生

保険担当理事 奈良泰明先生

福祉大会ボウリング

日 時) 平成16年10月30日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

平成17年

医療管理委員会 2回 1月12日、4月11日

税務講習会

日 時) 平成17年1月27日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

テーマ) 1) 青色申告決算書作成事前準備について

2) 所得税について

1) 質疑事例について

2) 税制改正について

3) 消費税について

4) その他

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

日 時) 平成17年1月27日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

医療管理研修会

日 時) 平成17年6月2日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “接遇&マナー”

講 師) ANAラーニング インストラクター 伊藤佳恵子先生

福祉大会ボウリング (第22回)

日 時) 平成17年10月29日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

懇親会) 日時: 10月29日(土)

場所: 福田屋コンベンションホール

平成18年

医療管理委員会 2回 1月18日、4月10日

---

税務講習会

- 日 時) 平成18年1月26日(木)  
場 所) 福田屋コンベンションホール  
テーマ) 1) 青色申告決算書作成事前準備について  
2) 所得税について  
1) 質疑事例について  
2) 税制改正について  
3) 消費税について〔別冊〕  
4) その他  
講 師) 安納攸昌 顧問税理士

新年宴会

- 日 時) 平成18年1月26日(木)  
場 所) 福田屋コンベンションホール

成人病検査

- 日 時) 平成18年2月8日(木)～3月9日(木)  
場 所) 関湊記念会クリニック  
検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査・内科検診  
肝、腎機能検査・エコー(上腹部)・B型肝炎ウイルス検査  
その他希望によりオプション検査

B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

- 1) B型肝炎ウイルス検査  
日 時) 平成18年2月13日(月)～2月17日(金)  
場 所) 上都賀総合病院  
2) ワクチン接種  
日 時) 平成18年3月末～  
場 所) 上都賀総合病院

医療管理研修会

《第1回》

- 日 時) 平成18年5月1日(月)  
場 所) 市民情報センター学習室  
テーマ) “保険点数改正に対する解釈と説明について”  
講 師) 栃木県歯科医師会 常務理事 奈良泰明先生

《第2回》

日 時) 平成18年6月1日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “接遇マナー研修 ステップアップ編”

講 師) ANAラーニング インストラクター 伊藤佳恵子先生

日光・上都賀合同地区別社保講習会

日 時) 平成18年7月6日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

講 師) 栃木県歯科医師会

保険担当常務理事 奈良泰明先生

保険担当常務理事 角田國義先生

保険担当理事 増山知徳先生

福祉大会ボウリング (第23回)

日 時) 平成18年10月28日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

懇親会) 日時：10月28日(土)

場所：福田屋コンベンションホール

平成19年

医療管理委員会 2回 1月12日、4月16日

税務講習会

日 時) 平成19年1月25日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

テーマ) 1) 所得税

1) 青色申告決算書作成事前準備について

2) 平成18年分所得税関係の改正について

2) 資産税

1) 贈与税 財産をもらった時

2) 相続税 財産を相続した時

3) その他

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

---

新年宴会

日 時) 平成19年1月25日(木)  
場 所) 福田屋コンベンションホール

成人病検査

日 時) 平成19年2月5日(木)～3月1日(木)  
場 所) 関湊記念会クリニック  
検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査・内科検診・肝、腎機能検査・  
エコー(上腹部)・B型肝炎ウイルス検査・その他希望によりオプション検査

B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

1) B型肝炎ウイルス検査

日 時) 平成19年2月5日(月)～2月15日(木)  
場 所) 上都賀総合病院

2) ワクチン接種

日 時) 平成19年3月末～  
場 所) 上都賀総合病院

医療管理研修会

日 時) 平成19年6月7日(木)  
場 所) 福祉センター大会議室  
テーマ) “接遇マナー研修 ステップアップ編”  
講 師) ANAラーニング インストラクター 伊藤佳恵子先生

福祉大会ボウリング(第24回)

日 時) 平成19年10月27日(土)  
場 所) 鹿沼トーヨーボウル  
懇親会) 日時: 10月27日(土)  
場所: 福田屋コンベンションホール

成人病検査〔脳ドック〕

日 時) 平成19年6月7日(木)～11月29日(木)  
場 所) 池田脳神経外科  
検査項目) 脳MRI・MCファン その他希望によりオプション検査(眼底検査)

平成20年

医療管理委員会 2回 1月11日、4月11日

#### 税務講習会

日 時) 平成20年1月24日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

テーマ) 1) 所得税

- 1) 医療費控除の対象となる医療費について
- 2) 医療費控除における介護関係について
- 3) 青色申告決算書作成事前準備について
- 4) 平成19年分所得税の改正のあらまし

2) 資産税

- 1) 財産をもらった時(贈与税)
- 2) 財産を相続した時(相続税)
- 3) その他

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

#### 新年宴会

日 時) 平成20年1月24日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

#### B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

1) B型肝炎ウイルス検査

日 時) 平成20年2月4日(月)～2月8日(金)

場 所) 上都賀総合病院

2) ワクチン接種

日 時) 平成20年3月末～

場 所) 上都賀総合病院

#### 成人病検査

日 時) 平成20年2月6日(水)～2月28日(木)

場 所) 宇都宮市 関湊記念会クリニック

検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査・内科検診・  
肝、腎機能検査・エコー(上腹部)・B型肝炎ウイルス検査  
その他希望によりオプション検査



---

医療管理研修会

日 時) 平成20年 5月15日(木)

場 所) 福祉センター大会議室

テーマ) “実践！診療室のアロマセラピーを学ぶ”

ーハーブティーの効用と癒しのスプレー作りを交えてー

講 師) 英国ITEC認定 アロマセラピスト／リフレクソロジスト

英国IAIM公認 ベビーマッサージ インストラクター

栃木県カウンセリング協会々員

Nature Care 日本校代表 村田真由美先生

日光・上都賀合同地区別社保講習会

日 時) 平成20年 6月26日(木)

場 所) 日光市 つたやホテル

講 師) 栃木県歯科医師会

保険担当常務理事 奈良泰明先生

保険担当常務理事 角田國義先生

保険担当理事 増山知徳先生

福祉大会ボウリング (第25回)

日 時) 平成20年10月25日(土)

場 所) 鹿沼トーヨーボウル

懇親会) 日時：10月25日(土)

場所：福田屋コンベンションホール

成人病検査〔脳ドック〕

日 時) 平成20年 6月19日(木)～10月23日(木)

場 所) 池田脳神経外科

検査項目) 脳MRI・MCファン

その他希望によりオプション検査 (眼底検査)

平成21年

医療管理委員会 2回 1月9日、4月10日

#### 税務講習会

日 時) 平成21年1月29日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

- テーマ) 1) 青色申告決算書作成事前準備について  
2) 租税特別措置法10条の3の適用誤りについて  
3) 平成20年分所得税の改正のあらまし  
4) 暮らしの税情報中7問

講 師) 安納攸昌 顧問税理士

#### 新年宴会

日 時) 平成21年1月29日(木)

場 所) 福田屋コンベンションホール

#### 成人病検査

日 時) 平成21年2月4日(水)～3月12日(木)

場 所) 宇都宮市 関湊記念会クリニック

検査項目) 胸部X線撮影・胃透視・心電図・尿検査・血液一般検査・内科検診・  
肝、腎機能検査・エコー(上腹部)・B型肝炎ウイルス検査  
その他希望によりオプション検査

#### B型肝炎ウイルス検査及びワクチン接種

##### 1) B型肝炎ウイルス検査

日 時) 平成21年2月2日(月)～2月9日(月)

場 所) 上都賀総合病院

##### 2) ワクチン接種

日 時) 平成21年3月末～

場 所) 上都賀総合病院

## へ データ 会員の動向

年次	月日	鹿沼歯科医師団(会)	月日	上都賀郡関係	月日	その他
明治36年 1903	5.26	小野重三郎 鹿沼町1699 開業				
明治41年 1908					10.27	栃木県歯科医師会創立 県知事より認可さる
大正2年 1913	11. 8	駒橋 寅春 鹿沼町1638 開業				
大正4年 1915		小野重三郎 宇都宮市池上町 転出				
大正5年 1916			8. 1	湯沢菊四郎 今市町490 開業		
大正6年 1917	9. 10. 1 12. 1	大越 筆 鹿沼町1915 開業 新島 貫一 鹿沼町1700 開業 岡本 英忠 鹿沼町1359-1 開業			4.14	県歯副会長 小野重三郎 県歯理事 駒橋 寅春
大正8年 1919					4.20	県歯副会長 小野重三郎 県歯理事 駒橋 寅春
大正9年 1920		市川 政一 鹿沼町1836 開業	5.25	山本千代松 日光町下鉢石町992 開業		
大正10年 1921	11. 1 11. 7	中条正左衛門 鹿沼町1622 開業 金子 弁明 鹿沼町1609 開業				
大正11年 1922	7.31	青木達三郎 鹿沼町1019 開業	3.20	岸野栄七郎 栗野町886 開業		
大正12年 1923	11.	甲田 賢二 鹿沼町1913 開業		橋口 近義 日光電気精銅所病院歯科		
大正14年 1925	3.31 4.19 11.25	大越 筆 国分寺村小金井2852 転出 上都賀郡歯科医師会発会式總會 於 上都賀郡役所 甲田 賢二 転出 上京	1.15 7.15 11. 1	安生 貢 南押原村楡木324 開業 田野井重男 今市町136 開業 岡 道士 日光市下鉢石町935-2 開業	5.14 1.15 12.22	伊香保温泉旅行 幹事 甲田 賢二 新島 貫一 幹事 青木達三郎 駒橋 寅春
大正15 1926	5. 7.30	岸野栄七郎 鹿沼町吾妻町1874 移転 開業 入団 新川 庄一 鹿沼町2246 入団	5.10 3.21	小杉 眞治 栗野町口栗野880-6 開業 上都賀郡歯科医師会開催	4.18 .19 .20 .21 5.15	丸笠氏宅 熱海・十国峠・修善寺泊 三保松原・久能山・藤沢泊 江の島・鎌倉大仏・有楽町泊 幹事 市川 政一 岡本 英忠

1. 上都賀齒科医師会の軌跡

年次	月日	鹿沼歯科医師団(会)	月日	上都賀郡関係	月日	その他
昭和2年 1927	4.27 7.8	手塚筆四郎 鹿沼町下府所185 入団(昭和元年12月30日開業中) 駒橋 寅春 鹿沼町1608-2 上棟式 移転	6.22 8.30	高遠 三省 今市町467-1 開業 宮川 勇 日光町清滝202-2 開業	4.6 .7 .8 .9 4.14	丸笠氏宅 両国・誕生寺・鯛の浦・勝浦 銚子・犬吠崎・佐原・瀬来泊 鹿島神社・成田不動尊・帰宅 幹事 中条正左衛門 岸野栄七郎
昭和3年 1928	3.21 5.16	安生 卯吉 鹿沼町1623-6 入団 市川 政一 北海道へ転出 会費2円50銭	1.8 2.2 8.2	山崎 正 日光町92 開業 天谷 準作 栗野町口栗野821 開業 鈴木 三男 今市町櫻木町 開業	4.1 4.19 4.27	県歯評議員 岡本 英忠 会津若松・東山温泉泊 幹事 金子 弁明 新島 貫一
昭和4年 1929					4.27	幹事 駒橋 寅春 新川 庄一
昭和5年 1930	3.16	安生卯吉逝去			3.28 4.27	理事 金子 弁明 幹事 青木達三郎 手塚筆四郎
昭和6年 1931					5.20	幹事 中条正左衛門 岸野栄七郎
昭和7年 1932					4.18	幹事 岡本 英忠 新島 貫一
昭和8年 1933			4.	中田 静嘉 西方村本郷396 開業	4.10	幹事 金子 弁明 駒橋 寅春
昭和9年 1934	11.1	茂呂 登 鹿沼町1535 入団			3.2 3.26 5.20	県歯監事 駒橋 寅春 幹事 手塚筆四郎 新川 庄一 箱根、熱海泊
昭和10年 1935		新川 庄一 鹿沼町上材木町1836-1に移転	7.1	菅沼 清 西方村金崎336 開業	3.25	幹事 青木達三郎 岡本 英忠
昭和11年 1936					3.27	幹事 茂呂 登 中条正左衛門
昭和12年 1937	2. 8.10	青木達三郎 鹿沼町仲町1297 移転 鹿沼歯科医師団 印章購入1円20銭			4.12 4.7 5.1	県歯理事 金子 弁明 日歯会議員 岡本 英忠 三原山旅行 幹事 新島 貫一 新川 庄一
昭和13年 1938			3. 8.15	石川権左衛門 南押原村楡木489 開業 支部長 金子 弁明	4.25	幹事 手塚筆四郎 岸野栄七郎
昭和14年 1939					4.18	幹事 金子 弁明 駒橋 寅春
昭和15年 1940	7.	岡本 大七 鹿沼町1359-1 入団	4.1	支部長 岡本 英忠	4.1 4.22	県歯理事 金子 弁明 幹事 青木達三郎 岡本 英忠

年次	月日	鹿沼歯科医師団(会)	月日	上都賀郡関係	月日	その他
昭和16年 1941	2.26 4. 11. 1	岡本 大七 応召 福島 茂 鹿沼町1835 開業 菊地 貞造 鹿沼町1904 入団			4.10	幹事 中条正左衛門 茂呂 登
昭和17年 1942			1. 1 10. 1	鈴木 幸雄 南押原村磯224 開業 支部長 新島 貫一	4. 1 4.10	日歯代議員 駒橋 寅春 県歯理事 岡本 英忠 幹事 新川 庄一 新島 貫一
昭和18年 1943	11. 1 11. 7	新島 剛 鹿沼町1699 入団 中条 正臣 鹿沼町1622 入団			4.10	幹事 菊地 貞造 手塚筆四郎
昭和19年 1944	1.10	福島 茂 入団			4. 3 4.10	幹事 青木達三郎 岸野栄七郎 県歯理事 岡本 英忠
昭和20年 1945	4.12 5.10 9.10 9.19	下条長太郎 入団 岸野 シゲ 鹿沼町吾妻町1874 岸野栄七郎歯科勤務 福田 利示 鹿沼町戸張町2485 入団 下条長太郎 名古屋へ転出	10.10	川島信四郎 北押原村村井191 開業 入団	4.12	幹事 駒橋 寅春 岡本英忠 →福島茂 応召のため
昭和21年 1946	6. 11.10 12.10	村川 ふさ 鹿沼町西鹿沼町234 開業 越路 孝七 鹿沼町1925 入団 坂口 孝 鹿沼町19.82 帝国繊維歯科診療所から入団	1.10 2. 1 3. 1 4. 1	川島光五郎 北押原村村井191 入団 梅沢 明 菊沢村栃窪683 開業 石田 西三 西方村金崎326 開業 支部長 茂呂 登	1. 1 4.12 4.14	県歯理事 岡本 英忠 幹事 金子 弁明 川島信四郎 西方村金崎花見
昭和22年 1947	1.11 2. 3.10 4. 5月より 10月より 10.10 11.10	手塚 操 鹿沼町下府所185 入団 川島光五郎 麻苧町1578 開業 移転 川島信四郎 上京 転出 畑 二郎 寺町1017 開業 入団 会費 10円 会費 20円 村本 光 西鹿沼町90 入会 手塚 操 退会 上京	6. 1	矢口 修 南摩村油田614-2 開業	4.1~ 4.10 7. 4 10.31	県歯副会長 駒橋 寅春 幹事 福田 利示 新川 庄一 鹿沼歯科医師会之印 購入115円 県歯理事 新島 貫一

1. 上都賀歯科医師会の軌跡

年次	月日	鹿沼歯科医師団(会)	月日	上都賀郡関係	月日	その他
昭和23年 1948	2.10 10月より	金子 弁明 久保町1619-1 移転 茂呂 登 仲町1595-1 移転 石塚要次郎 中田町1257 開業入会 会費30円	1.21	天谷 準作 逝去47才	4.12 10.10	幹事 新島 貫一 福島 茂 鹿沼市制施行 人口32,759人 初代市長 鈴木金一郎
昭和24年 1949	3.30	岸野 シゲ 麻苧町1587 開業	1.25 11.	鰻原 悦郎 粟野町口粟野896 開業 石川 亘 南摩村西沢1491 開業	4.25	幹事 越路 孝七 川島光五郎
昭和25年 1950	5月より 9.12 10.16 11.25	会費50円 村川 ふさ 西鹿沼町234 入会 中条正左衛門 逝去68才 岸野 シゲ 東京三鷹へ転出	4. 1	支部長 青木達三郎	4.13	幹事 村本 光 畑 二郎
昭和26年 1951	9.13	駒橋 秀光 入会			4.11 9.22	幹事 中条 正臣 新島 剛 岩山ピクニック
昭和27年 1952	2.13 4. 1 9. 2	村川 ふさ 退会 坂口 孝 退会 畑 二郎 下田町1-1205-1 移転			4.12 11. 1	幹事 手塚肇四郎 菊地 貞造 古峰原ハイキング
昭和28年 1953	2.12 6月より 11.21	梅沢 明 府中町194 入会 会費100円となる 新川 庄一 逝去53才	4. 1 4.21 12.23	支部長 金子 弁明 小杉 眞治 逝去60才 今井 一郎 粟野町口粟野880 旧小杉眞治診療所に開業	4. 1 4.12	県歯副会長 茂呂 登 幹事 石塚要次郎 村本 光
昭和29年 1954	5.29 11. 2	金子 公明 入会 石塚要次郎 長野県筑摩郡四賀村へ転出	6月より	旅行積立金200円となる	5.15 6. 2 10. 1	那須温泉山楽 幹事 梅沢 明 駒橋 秀光 一市七ヶ村(東大芦、菊沢、板荷、 北押原、西大芦、加蘇、北犬飼) 合併鹿沼市発足
栃木県歯科医師会上都賀支部						
昭和30年 1955	4. 1 5. 1 10.23	今市支部と分離 手塚 正教 府中町185 入会 石川 亘 西沢町396 入会	4月より 4. 1	旅行積立金200円 常会費 100円 支部長 福島 茂	4. 1 4.30 6.25 7.28 8.10	県歯副会長 茂呂 登 幹事 福田 利示 中条 正臣 鬼怒川温泉ホテル20名 鹿沼市 南摩村と合併 〃 南押原村と合併

年次	月日	栃木県歯科医師会上都賀支部		月日	その他
昭和31年 1956	3.30 5. 2 7. 1	菅沼 清 逝去47才 大越 肇 西方村金崎336 菅沼清診療所入会 青木 道子 仲町1297 入会		6.18・19 6.15	鬼怒川温泉春岡荘 21名 幹事 畑 二郎 金子 弁明
昭和32年 1957	4.20 5.28	大越 肇 小山支部へ転出 金子 公明 宇都宮支部へ転出	4. 1	支部長 福田 利示 4. 1 6.30・7.1 4.24	県歯副会長 茂呂 登 川治温泉柏屋ホテル 22名 幹事 梅沢 明 手塚 正教
昭和33年 1958	1. 6	小野 喜市 西大芦医療生活協同組合 診療所入会		5.19 10.24・25	幹事 福島 茂 青木 道子 学校歯科医大会 鬼怒川温泉公会堂 19名
昭和34年 1959			4. 1	支部長 駒橋 寅春 5.21 6.21・22 11. 9 11.12	幹事 石川 亘 川島光五郎 塩原温泉明賀屋 21名 県歯副会長 茂呂 登 辞任す 県歯監事 金子 弁明
昭和35年 1960	10.22 12.10	小野 喜市 上京 退会 小野 春吉 西大芦診療所 入会	11. 1	鹿沼歯科医師会規定可決 4. 6 4.20 6.26・27	幹事 菊地 貞造 福田 利示 学校医の円盤完成 川治温泉ホテル 20名
昭和36年 1961			4. 1	支部長 手塚肇四郎 4. 1 4.10 6.25・26	県歯監事 金子 弁明 幹事 青木達三郎 畑 二郎 那須高原ホテル 22名
昭和37年 1962	4. 12. 4	岸野 忠明 銀座1-1874 入会 小野 春吉 今市支部へ退会		4.10 7.15・16	幹事 金子 弁明 中条 正臣 伊香保温泉 22名
昭和38年 1963	4.26	安生 貢 逝去68才		4. 1 4.27 6.23・24	県歯監事 越路 孝七 幹事 越路 孝七 村本 光 川治温泉ホテル 23名
昭和39年 1964	3.10 10. 6 12. 8	茂呂 允 仲町1595 入会 茂呂 登 逝去53才 工藤 元宏 上殿町24108		4.27 6.14・15	幹事 福島 茂 岸野 忠明 塩原温泉こめかホテル 19名

1. 上都賀歯科医師会の軌跡

年次	月日	栃木県歯科医師会上都賀支部		月日	その他
昭和40年 1965	4. 1	小高 正男 草久951 西大芦診療所入会	4. 1	支部長 青木達三郎	4. 1 県歯副会長 川島光五郎 12.19辞任 4.15 幹事 新島 剛 駒橋 秀光 7.11・12 山形上の山温泉23名
昭和41年 1966	3.26	石川 亘 宇都宮支部へ退会			1.16 県歯監事 梅沢 明 5. 4 幹事 手塚 正教 茂呂 允 6.18・19 鬼怒川温泉星のや20名
昭和42年 1967	1. 5 6. 10. 1	茂呂 周 仲町1595 入会 菊地 貞造 東末広町1934へ移転 梅沢 東洋 府中町194 入会	4. 1	支部長 越路 孝七	4. 9 県歯監事 梅沢 明 4.17 幹事 中条 正臣 青木 道子 6.25・26 那須ホテル13名
昭和43年 1968	3.29	岡本 英忠 逝去80才			4.13 幹事 川島光五郎 菊地 貞造 6.16・17 ホテル塩原ガーデン19名
昭和44年 1969	6. 3 6.11	梅沢 道子 府中町194 入会 中条佐智子 今宮町1622 入会	4. 1	支部長 菊地 貞造	4. 1 県歯理事 畑 二郎 県歯監事 梅沢 明 4.14 幹事 青木 道子 福田 利示 10.10 大阪歯科医学会 春日ホテル 10.11 俵や旅館13名
昭和45年 1970					5.11 幹事 越路 孝七 村本 光
昭和46年 1971	2.13 4. 4. 1 5. 1 12.19	金子 弁明 逝去70才 青木道子→高崎道子と改姓 菊地 誠 末広町1934 入会 金子 英明 久保町1619 入会 岸野栄七郎 逝去73才	4. 1	支部長 菊地 貞造	1.26 栃木県歯科医師会会館 落成記念式典 3.30 幹事 福島 茂 梅沢 東洋 4. 1 県歯理事 鰺原 悦郎 県歯監事 梅沢 明 7.18・19 鬼怒川あさやホテル18名
昭和47年 1972					4.15 幹事 岸野 忠明 中条佐智子



年次	月日	栃木県歯科医師会上都賀支部		月日	その他
昭和48年 1973	3.19	中条 正臣 逝去52才	4. 1	支部長 菊地 貞造	3. 幹事 駒橋 秀光 金子 英明 4. 1 県歯理事 鰻原 悦郎 県歯監事 梅沢 明
	5.15	菊地 誠 宇都宮支部へ転出			
	5.25	金子 英明 久保町1619 上田町1890へ移転			
	8.	梅沢 東洋 宇都宮 梅沢 道子 上三川へ 退会			
	11. 6	矢口 修 逝去59才			
	12. 9	新島 貫一 逝去82才			
昭和49年 1974	4. 1	岡本 全宏 材木町1359			5.13 鹿沼歯科医師会上都賀支部 への円満な合併をなす 幹事制度なくなる 9.22 日本歯科医学総会 .23 ハトバス遊覧
	5.14	手塚筆四郎 逝去80才			
	11. 1	岸野 忠明 宇都宮支部へ転出			
昭和50年 1975			4. 1	支部長 菊地 貞造	4. 1 県歯理事 鰻原 悦郎 県歯監事 梅沢 明
昭和52年 1977	4. 1	鈴木 清文 今市支部より入会 上野町303-3	4. 1	支部長 菊地 貞造	県歯理事 鰻原 悦郎 県歯監事 梅沢 明
	4. 1	小高 章愛 今市支部より入会 緑町1-176			
	4. 1	越路 昭夫 入会 末広町1925			
	10. 1	鰻原 公子 入会 粟野町口粟野896			
昭和53年 1978	8.29	小高 正男 逝去73才			
昭和54年 1979	4. 1	川島 仁一 入会 麻苧町1578	4. 1	支部長 新島 剛	9.23 県歯常務理事 鰻原 悦郎
	4. 1	村本 明 入会 西鹿沼町90			
	6. 1	福田 貞男 入会 戸張町2485			
	8.30	駒橋 寅春 逝去80才			
	9. 7	鈴木 清文 逝去51才			
	9.13	越路 孝七 逝去67才			
	11. 1	小林 幹夫 入会 仲町1290			
	昭和55年 1980	8. 1			

1. 上都賀歯科医師会の軌跡

年次	月日	栃木県歯科医師会上都賀支部		月日	その他
昭和56年 1981	11. 1	玉井 克典 入会 鳥居跡町1420			4. 1 県歯常務理事 鰐原 悦郎
	11.	福田 貞男 退会 下都賀支部へ			
昭和57年 1982	4. 1	佐川 徹三 入会 寺町1346	4. 1	支部長 新島 剛	
	4. 1	菊地 香 入会 東末広町1934			
	5. 1	箱島 光一 入会 上野町303			
	7. 1	田辺 章 入会 坂田山2-5-3			
	8. 1	茂呂 兀 入会 仲町1595			
昭和58年 1983	1.31	青木達三郎 逝去84才			3.26 支部総会
	4. 1	鈴木 節雄 入会 茂呂上の原2209			プール制承認可決さる
	4. 1	笠原 昭二 入会 上石川字植竹1526-52			4. 1 県歯常務理事 鰐原 悦郎
	4. 1	笠原 紀子 入会 同上			
	4. 1	石崎 誠 入会 東町3-4-9			
	4. 1	菊地 均 入会 東末広町1934			
昭和59年 1984	1.20	斉須わか子 入会(宇都宮より) 西方村金崎334-2			
	3.18	新島 康夫 入会 久保町1699			
	3.27	福島 隆夫 入会 上材木町1835			
	5. 1	木村 立男 入会 (安佐支部より)			
	7.26	工藤 元宏 逝去			
昭和60年 1985	4. 1	箱島 光一 退会 宇都宮支部へ	4. 1	支部長 新島 剛	4. 1 県歯常務理事 鰐原 悦郎
	5. 1	木下 素子 入会 上野町303 鈴木歯科			
	5. 1	田代 高志 入会 上野町228-5			
	6. 1	岸野 忠明 再入会 御成橋町2-295-3			
	7. 1	相馬 英人 入会 日吉町金山下611			

年次	月日	栃木県歯科医師会上都賀支部	月日	その他
昭和61年 1986	5. 1	狐塚 行弘 入会 栗野町口栗野639-8		
	6. 1	石澤 隆之 入会 上殿町大内宿238-1		
	8. 1	佐藤 演由 入会 上野町303 鈴木歯科		
	10.17	木下 素子 退会 下都賀支部へ		
	12. 1	金子 實 入会 朝日町1141-3		
昭和62年 1987	1. 1	小川 哲弥 入会 上材木町1820		
	4. 1	鈴木 宏彦 入会 上殿町124-1		
	6. 4	石川権左衛門 逝去79才		
	9.30	佐藤 演由 退会		
	11.14	福島 茂 逝去70才		
昭和63年 1988	4. 1	駒橋 一永 入会 今宮町1608-2	4. 1	支部長 岡本 全宏
	4. 1	山本 浩 入会 栃窪字仁神堂1164-42		4. 1 県歯常務理事 鰐原 悦郎
平成元年 1989	3. 1	手塚 正教 逝去59才		
	4. 1	大畑 栄 入会 栗野町深程638-1		
	4. 1	鈴木 裕之 入会 上野町303-3		
	9.14	中田 静嘉 逝去82才		
	10. 1	手塚 忠雄 入会 府所町185		
平成2年 1990	1. 1	玉井 克典 退会 新潟県へ		
	2. 1	田島 雅哉 入会 鳥居跡町1420		
	7. 1	田口 浩美 入会 千渡字新田1212-3		
	7. 1	畑 健一 入会 下田町1-1205-2		

1. 上都賀歯科医師会の軌跡

年次	月日	栃木県歯科医師会上都賀支部		月日	その他	
平成3年 1991	4. 1	畑 和美 入会 下田町1-1205-2	4. 1	岡本 全宏	4. 1	県歯常務理事 鰐原 悦郎 県歯理事 小高 章愛
	8. 1	大貫 真裕 入会 万町963-8				
平成4年 1992	1. 1	藤栄 昇次 入会 日吉町839-1				
	1. 1	本島 栄人 入会 府中町392-35				
	11.11	梅沢 明 逝去83才				
平成6年 1994	2.23	鈴木 幸雄 逝去81才	4. 1	岡本 全宏	4. 1	県歯副会長 鰐原 悦郎
平成7年 1995	4. 1	岸野 昌彦 入会 上奈良部町2-285			3.31	県歯理事 小高 章愛 退任 歯科技術学部長就任のため
	3.31	大畑 栄 退会 県外転出				
	7.26	岸野 忠明 逝去62才				
平成8年 1996	6. 1	鈴木 定幸 入会 栄町2-10-1				
	10. 1	菊地 均 開業 東町3-6-19				
	12.25	菊地 貞造 逝去80才				
平成9年 1997	1. 1	手塚 史雄 入会 西茂呂3-16-4	4. 1	支部長 瓦井 昭二	4. 1	県歯常務理事 岡本 全宏
	8. 1	駒橋 武 入会 千渡1671				
	9. 1	金子 泰英 入会 西茂呂2-19-20				
平成12年 2000			4. 1	支部長 瓦井 昭二	4. 1	県歯常務理事 岡本 全宏
		上都賀歯科医師会				
			10. 1	会長 瓦井 昭二 より 栃木県内各郡市支部が 各歯科医師会となる		
平成14年 2002	7.20	福田 利示 逝去90才				
平成15年 2003	2.26	駒橋 秀光 逝去77才	4.11	会長 瓦井 昭二	4. 1	県歯常務理事 岡本 全宏

年次	月日	上都賀歯科医師会		月日	その他
平成16年 2004	4. 1	岡本 真利 入会 下材木町1359-1			6.13 県歯理事 佐川 徹三 4.4 岡本全宏常務理事 死去のため
	4. 4	岡本 全宏 逝去			
	6. 1	茂呂 祐康 入会			
	6. 1	茂呂 英運 入会 仲町1595-10			
平成18年 2006	2. 8	村本 光 逝去86才	4. 1	会長 佐川徹三	4. 1 県歯監事 茂呂 允 県歯常務理事 瓦井 昭二
	2.20	田口 浩美 退会			
平成19年 2007	8. 1	斉藤 由昭 入会 鳥居跡町1007			
平成20年 2008	3.31	小高 章愛 退会			
	4. 1	村本 創 入会			
	7. 1	金子 智英 移転 西茂呂2-19-2			
	10.30	川島光五郎 逝去86才			
平成21年 2009	3. 9	鰐原 悦郎 逝去83才	4. 1	会長 佐川徹三	4. 1 県歯常務理事 瓦井 昭二
	4. 1	星 雅朗 入会 下田町1-854-1			
	4. 1	鰐原 治子 入会 口栗野896			
	4. 1	三浦 秀憲 入会 中田町1354-11			

## 会員数の推移 No.1

年 度	上都賀 歯科医師会	鹿沼歯科 医師団	栃木県 歯科医師会	年 度	上都賀 歯科医師会	鹿沼歯科 医師団	栃木県 歯科医師会
明治35年度			13	昭和2年度			172
明治36年度				昭和3年度	27	11	212
明治37年度				昭和4年度			237
明治38年度				昭和5年度	28	9	245
明治39年度		1	12	昭和6年度			205
明治40年度		1	13	昭和7年度			215
明治41年度		1	14	昭和8年度			200
明治42年度		1		昭和9年度			212
明治43年度		1	13	昭和10年度			238
明治44年度		1		昭和11年度	29	10	256
明治45年度		1	12	昭和12年度			253
大正1年度		1		昭和13年度			280
大正2年度		2	22	昭和14年度			279
大正3年度		2		昭和15年度			271
大正4年度	3	2		昭和16年度	36	12	
大正5年度	4	2	47	昭和17年度	38	13	
大正6年度	5	3		昭和18年度			
大正7年度	6	3		昭和19年度	48	15	
大正8年度	6	3	80	昭和20年度			
大正9年度	11	6		昭和21年度			431
大正10年度	12	7	104	昭和22年度	57	17	426
大正11年度	15	8	122	昭和23年度			420
大正12年度	16	9	137	昭和24年度			421
大正13年度	18	9		昭和25年度			401
大正14年度	20	9	161	昭和26年度			385
大正15年度	22	10	143	昭和27年度			383
				昭和28年度			350
				昭和29年度			351

## 会員数の推移 No.2

年 度	栃木県歯科医師会 上都賀支部	栃木県歯科医師会	年 度	栃木県歯科医師会 上都賀支部	栃木県歯科医師会
昭和30年度	28	354	昭和58年度	44	635
昭和31年度	32	357	昭和59年度	44	666
昭和32年度	30	386	昭和60年度	47	707
昭和33年度	30	395	昭和61年度	52	743
昭和34年度	30	400	昭和62年度	49	764
昭和35年度	31	405	昭和63年度	50	801
昭和36年度	31	414	平成 1 年度	51	827
昭和37年度	31	425	平成 2 年度	54	849
昭和38年度	30	429	平成 3 年度	58	870
昭和39年度	31	434	平成 4 年度	57	889
昭和40年度	32	443	平成 5 年度	56	916
昭和41年度	31	439	平成 6 年度	56	931
昭和42年度	33	443	平成 7 年度	55	946
昭和43年度	32	444	平成 8 年度	56	967
昭和44年度	34	447	平成 9 年度	58	978
昭和45年度		451	平成10年度	58	979
昭和46年度	34	454	平成11年度	58	994
昭和47年度		458	平成12年度	58	1006
昭和48年度	28	464	平成13年度	58	1004
昭和49年度	27	463	上都賀歯科医師会		
昭和50年度	28	480	平成14年度	56	1013
昭和51年度		489	平成15年度	56	1013
昭和52年度	32	511	平成16年度	58	1018
昭和53年度	31	525	平成17年度	57	1016
昭和54年度	32	534	平成18年度	56	1018
昭和55年度	32	546	平成19年度	56	1015
昭和56年度	32	567	平成20年度	57	1019
昭和57年度	36	595			

### 会費の変遷

会名	年度	会費・年額	法人会費	入会金	福祉共済負担金	上野賀郡関係会費：年額	米 円・10kg	年度
大日本歯科医会	明治36	1円20銭			50銭		1.32	明治36
	37	↓			↓		1.24	37
	38						1.20	38
	39						1.39	39
	40		団体 3円				1.52	40
日本聯合歯科医会	41						1.40	41
	42						1.19	42
	43						1.16	43
	44						1.53	44
	45						1.79	45
日本聯合歯科医師会	大正 2	大2 団体20名まで3円、50名まで5円、100名まで10円、100名以上15円					1.93	大正 2
	3	大3					1.47	3
	4	15銭					1.15	4
	5	↓					1.21	5
	6	↓					1.72	6
	7	20銭					2.70	7
	8	↓					3.86	8
	9	80銭					3.92	9
	10	↓					2.80	10
	11	↓					3.19	11
	12	↓					2.88	12
	13	↓					3.09	13
	14	↓					3.37	14
	15	1円					3.16	15
	日本歯科医師会(第一次)	昭和 2	↓				鹿沼歯科医師団(会) 月額 1円50銭	2.95
3		1円50銭				↓	2.47	3
4		↓				30円	2.53	4
5		↓				25円	2.38	5
6		↓				6円	1.62	6
7		1円20銭				12円	1.81	7
8		↓				↓	1.85	8
9		↓				18円	2.21	9
10		↓				24円	2.51	10
11		↓				↓	2.61	11
12		↓				↓	2.79	12
13		↓				13.8.15 上野賀支部	3.02	13
日本歯科医師会(第二次)	14	↓				36円	3.25	14
	15	↓				↓	3.25	15
	16	↓				↓	3.25	16
	17	↓				↓	3.32	17
	18	3円				↓	3.32	18
	19	4円				↓	3.32	19
	20	不明				不明	6.00	20
	21	不明・追加10円				46円	6.65	21
	22	60円				↓	19.50	21
						100円	99.70	22
						149.60	22	



会名	年度	会費・年額	法人会費	入会金	福祉共済 負担金	上都賀郡関係 会費：年額	米 円・10kg	年度
社 団 法 人 日 本 歯 科 医 師 会	昭和23	200円				210円	266	昭和23
	24	500円				500円	357	23
	25	700円				1,200円	405	24
	26	↓				800円	445	25
	27	↓				↓	545	26
	28	1,200円				900円	620	26
	29	↓				↓	620	27
	30	1,500円				2,400円	680	28
	31	2,000円				3,600円	765	29
	32	2,500円			3,000円	2,400円	765	30
	33	2,800円			↓	3,600円	790	31
	34	↓			↓	30.4.1 今市支部と分離	790	31
	35	↓			↓	↓	850	32
	36	3,200円			↓	2,400円	850	32
	37	3,800円			↓	4,800円	850	33
	38	↓			↓	↓	850	33
	39	4,300円			↓	6,000円	850	34
	40	4,800円			↓	7,200円	850	35
	41	6,000円			↓	8,400円	850	36
	42	↓			↓	9,600円	955	37
	43	7,300円			↓	10,000円	955	38
	44	7,800円			↓	14,400円	955	39
	45	↓			↓	↓	955	39
	46	14,000円			↓	↓	1,110	40
	47	15,000円			↓	27,600円	1,215	41
	48	17,000円			↓	↓	1,395	42
	49	21,000円	20,000円		↓	43,200円	1,510	43
	50	(1,000円学会会費含) 28,000円	26,000円		↓	↓	1,510	44
	51	(2,000円学会会費含) 34,000円	30,000円		↓	72,000円	1,510	45
	52	(4,000円学会会費含) 35,000円	↓		↓	↓	1,510	46
	53	(5,000円学会会費含) ↓	↓		↓	27,600円	1,590	47
	54	38,000円 (5,000円学会会費含)	33,000円		↓	↓	1,590	48
	55	↓	↓		↓	43,200円	1,590	48
	56	↓	↓		↓	↓	2,100	49
57	↓	↓		↓	↓	12,000円	2,495	50
58	↓	↓		↓	↓	↓	2,740	51
59	↓	↓		↓	↓	↓	2,740	51
60	↓	↓		↓	↓	↓	3,000	52
61	↓	↓		↓	↓	↓	3,000	52
62	↓	↓		↓	↓	↓	3,000	53
					86,400円	↓	3,125	54
					↓	↓	3,235	55
					↓	↓	3,275	56
					↓	36,000円	3,350	56
					↓	↓	3,482	57
					102,000円	↓	3,482	57
					↓	↓	3,482	58
					↓	↓	3,628	59
					↓	↓	3,628	59
					↓	↓	3,764	60
					↓	↓	3,764	60
					↓	↓	3,867	61
					↓	↓	3,867	61
					↓	↓	3,867	62
					↓	現在に至る	3,867	62

## ト エピソード 上都賀齒科医師会史聞き取り調査

平成16年、調査委員会では予てからの課題であった上都賀齒科医師会史の資料整備に取り掛かった。はじめの取り組みとして上都賀齒科医師会の歴史を築き上げてきた先達たちへの聞き取り調査をおこなった。

第1回は第15代の支部長を務められた当会の長老、新島 剛先生。期待と多少の緊張とを伴って始まった聞き取り調査であったが、若かりし頃の話が進むに連れ大先生の顔が輝きを増し、我々も引き込まれるように座は熱を帯びていった。

当初の緊張はどこへやら、今後の聞き取り調査が楽しみになる様な有意義な時間であった。

以降、第9回まで貴重なお話をご提供いただいた諸先生方に感謝するとともに、目が御不自由になられても明晰な記憶をもとに理路整然とお話くださった、故鰐原悦郎先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

第1回	新島 剛先生宅	2006, 4,19	
	村本、佐川、新島 (康)、相馬、福島		記録 駒橋 武
第2回	鈴木 幸雄先生令夫人宅	2006, 7, 9	
	村本、佐川、大貫、福島、鈴木 (節)		記録 茂呂 英運
第3回	鰐原 悦郎先生 (割烹にしむら)	2006,11,26	
	村本、佐川、福島		記録 駒橋 武
第4回	茂呂 允先生診療所	2007, 2,13	
	村本、佐川、大貫、茂呂 (英)、福島		記録 手塚 史夫
第5回	高崎 道子先生診療所	2007, 3,12	
	村本、佐川、菊地 (均)、相馬、福島		記録 茂呂 (英)
第6回	金子 智英先生宅	2007, 4, 4	
	村本、佐川、大貫、福島、金子 (泰)		記録 駒橋 (武)
第7回	木村 佐智子先生診療所	2007, 5,24	
	村本、佐川、菊地 (均)、鈴木 (裕)、福島		記録 手塚 (史)
第8回	駒橋 秀光先生令夫人宅	2007, 6,18	
	村本、佐川、大貫、福島、駒橋 (一)		記録 駒橋 (武)
第9回	中田 嘉之先生宅	2007, 9,11	
	村本、佐川、菊地 (均)、福島		記録 茂呂 (英)

(福島隆夫 記)

## ■平成18年4月19日 第1回聞き取り調査 於) 新島剛先生宅

新島歯科医院 大正6年10月1日から開業

鹿沼で一番古いのは、新島先生の記憶では、小野先生。

歯科医籍番号

小野重三郎先生 704

駒橋寅春 歯科医籍番号1800

栃木県で一番古い先生は、青山清三郎123番

小野重三郎704 (鹿沼) 宇都宮、石橋で開業→審査会にいた小野先生のご子息が5代目

初代会長 大根田國吉 歯科医籍番号128

新島先生は日本歯科大の31回生。福島先生の父上の後輩

上都賀郡理事 福田春吉さんとは誰だ? たぶん駒橋寅春先生

楡木の駅の所に石川権左衛門先生がいた。

新島先生は、上都賀郡初代会長は、駒橋寅春先生

新島先生の上都賀歯科医師会入会は、昭和18年11月1日

中条正臣先生昭和18年11月20日入会

福島先生のお父様は、昭和19年1月に入会。輸送船ごと沈められて、駆逐艦に助けられた。

大学時代、戦争へは行っていない。昭和16年12月8日が日本歯科の卒業式だった。

日本が新高山登れで宣戦布告したとき。本当は17年3月卒業のはずだったが、繰上げになって卒業した。理科系は、割合戦地に行かないでよかった。

新島先生は12月8日に卒業した後は、昭和17年、宇賀春吉先生(口腔外科)の教室の研究科にいた。その頃は、毎日抜歯していた。その頃、薫さんがいた。(薬理)食べるものがだんだんなくなってきた。

昭和17年の春頃、徴兵検査を麴町小学校で行った。そこで、第二補充兵になった。召集が来ると思っていたが、昭和18年の8月頃に鹿沼に帰って来ても、こなかった。

11月に歯科医師会に入会した。福島先生のお父上は、招集されたり帰ってきたりを3度繰り返していた。

大正6年から新島歯科医院は開業していた。

福島先生のお父上は、ラバウルへ行く途中、海の中へ放り出された。駆逐艦に拾われて助かった。衛生兵だった。前線ではなかった。

新島先生のご友人で軍艦に乗っていて、それが沈んで1000人中3人が助かったが、そのうちの一人だった。

昔は(19年頃)今市支部と鹿沼支部は一緒だった。皆酒飲みだった。

戦争中、新島先生のお父上が支部長をやっていた。よく、新島先生の家で支部会をしていた。昔は鹿沼歯科医師団と言っていた。

昭和18年頃、抜髄医療50銭以上、前歯金冠15円だった。

新島先生はお父上が歯医者をやっているのを見て、あまり歯医者は良いと思わなかった。昼間は技工をしているか、野球をしていた。御殿山で行っていた。鹿沼の野球は硬式でやっていた。新島先生のお父上はセンターだった。夕方まで野球をしていて、夕方から9時から10時まで患者を見ていた。戦争中も患者はたくさんいたが、お金がなかったので、炭や米で払っていた。戦争中はゴム床義歯があった。レジン床義歯は昭和15年頃をはじめて出てきた。ゴム床は320℃まで釜の温度を上げて作った。レジンを詰めるようにゴムを詰める。新島先生の所には石油コンロがあって、目視しながら温度を上げていった。安全弁が開かないと、釜の蓋が吹っ飛ぶことがあった。安生歯科から、火が出たことがあった。

タービンはフィゴを足で押しながら廻した。

■平成18年7月9日 第2回聞き取り調査 鈴木由利子様宅（故 幸雄先生の奥様、節雄先生のお母様）

鈴木幸雄先生

大正2年生まれ

奥様（由利子様）

大正9年生まれ

昭和17年開業（自宅前にて）

同18年長女誕生この年百日咳流行

同19年3月6日戦争に出征（幹部候補生だったため階級は少尉で無線兵として戦争に行った）

同20年10月ごろ復員してきた

●戦争中診療所はどうしていたのか

ユニットなどの道具は、みんな蔵にしまい診療所は、都会から疎開してきた人に貸していました。そのため復員してきてもすぐに仕事を始められなかった、それに主人は結核で体を壊してしまいしばらくは仕事をしませんでした。

●昔の歯科医師会について

私もここに来て歯医者として嫁いで来ましたがこのとおり農家と歯医者をやっているので私の思い出としては、農家の仕事をしていた思い出のほうが多いです。まあ思い出といえば、歯科医師会のお花見で金崎に行くときにうちでどぶろくを作って預かり中田先生や材料屋の丸笠さんのお母さんや娘さんと一緒になっていきました。

---

● 歯科医師会の会合は持ち回りでやっていたと聞きましたか

うちでやったことはないですが、町のほうでは、あったかもしれませんがよくは知りません。鹿沼で会合があるときは、亀和田の小島さん（レセプト請求なども頼んでやってくれていた）や鰐原先生に車に乗せてもらっていきました、場所は喜楽、大沢楼、若松楼などだったと思います。

● 開業してからユニットは何台でやっていましたか

1台です。そのころの歯医者さんはみんな1台でやっていたと思います

● いつぐらいから患者さんが込みだしましたか

昭和35,6年ごろから患者さんが増えてきて子供が夏休みのときなどはたくさん来て忙しかったです。そのころは、診療所の前で整理券みたいなものを配っていたのを覚えています。

● 当時の患者さんとの付き合い方は

うちの主人は、囲碁が趣味だったため待合室の掘ゴタツにあたりながら患者さんを待たしておいて、碁を打っていました。それでもお昼になると、患者さんの分も店屋物などを取って待合室で食べていましたよ。

● 戦後いつごろから仕事を始めましたか

主人は、結核で体を壊していたためすぐにはできませんでしたが、当時青木道子先生が手伝いに来てくれてそのため少し収入がありましたね。

● 戦前の保険がなかったころ患者さんがお金を払えないときはどうしていましたか

食べ物などを持ってきた人などもいましたが、戦後保険ができてからは、そんなこともなくなったと思います。

● 技工物などはどうしていましたか

材料屋さんの丸笠さんを通じて出していたが義歯の重合などは自分でもやっていたみたいです。

● いつごろから歯科医師団から歯科医師会に変わったんですか

わたしはわかりません。昭和22年頃からだったと思います。

■ 平成18年11月26日 第3回聞き取り調査 鰐原先生

昭和23年に卒業して国家試験を受けた。

昭和24年の1月25日に入会した。

岸野シゲさん⇒岸野先生のお父様の妹さん。麻苧町で開業したことがある。独り者でべっぴんさん

だった。

昭和20年に入会して、24年に麻苧町で開業した。25年の11月25日に退会した。県のほうは、26年の1月19日に退会した。

手塚操さん、横浜に行ってしまった。手塚正教先生の姉。中條正臣先生と同じころに入会。

昭和9年に茂呂先生が入会した。茂呂登先生は、一番最後の検定で歯医者になった。梅沢明先生も検定。

その頃は、会費などは無かった時代。飲み会をしながら、不定期で会費の徴収があった。(新年会等) その頃の会費は、昭和4年で2円37銭5厘 昭和21年で5円。

今市の会員さんは、鹿沼へ来て交流していた。田野井重男先生と、茂呂登先生が喧嘩をした。

あっちこっちで喧嘩をしていた。取っ組み合いで、物騒なぐらいの騒ぎだった。それがあって、鹿沼と今市は分かれた。でも本当は保健所単位で分かれたんだよ。花見の時に、登先生と、弁明先生が喧嘩をした。

支部旅行の時に、駒橋秀光先生と小高先生がけんかをした。

鰐原先生は、40年代に県の理事になった。

社団法人の問題がある。宇都宮歯科医師会は3億円のストックがある。

使わないと没収になる。佐川会長が入会した次の年に入会した人から、100万円の入会金を払っている。

村川先生、西鹿沼に開業していた。25年9月開業、26年2月にやめた。26年駒橋秀光先生入会。25年に中條正左衛門先生が死去。川島先生の兄で、信四郎先生は、今の関東バスの車庫の辺りで歯医者をしていた。

22年に信四郎先生は、東京にいった。石川亘先生は、歯科医師会に入らず、野尻で歯医者をしていた。

昭和37年に岸野忠明先生が入会。栄七郎先生が5月に亡くなった。38年安城貢先生が亡くなった。38年9月に茂呂先生が市議会議員に当選した。34年にも当選している。18年間もやっていた。允先生が39年3月に入会した。その年10月に登先生が亡くなった。その年に工藤先生が入会。小高先生のお父さんが西大芦診療所に昭和40年にやってきた。41年、石川亘先生が宇都宮に転出。石田西三先生は西方で開業していた。昭和42年に梅沢東洋先生が入会している。先日、御子息が亡くなった。

昭和43年3月30日、埼玉銀行で定時総会があり、その際、越路支部長が辞意を表明し退場した。これは、第一歯科医師会館建設反対の意思表示であった。その時、鰐原先生は、駒橋秀光先生と副支部長をしていた。24年の頃は、釜川沿いに歯科医師会の本部があった。

11支部あるうち、3支部で第一歯科医師会建設の運動をしていた。塩谷、芳賀、上都賀。芳賀の菊地先生は、当初反対していたが、最終的には賛成派になった。昭和44年6月に中條佐智子先生が入会。昭和46年1月26日県歯科医師会の落成記念式典があった。

同2月に金子弁明先生が亡くなった。

学校歯科医と学校医との手当てに差があった。大塚会長の頃、この格差をなくそうとして、請願書を提出しようとする、嘆願書にしてくれという要請があった。要望書よりも、請願書の方が議会の時に握りつぶしできなくなる。その上は嘆願書。法的問題にある。

足利は、医師と歯科医師との間の格差が大きい地域。

昭和46年岸野栄七郎先生が亡くなった。47年中條正臣先生が亡くなった。47年、梅沢東洋先生が上三川に転出。

47年12月に新島貫一先生が亡くなった。

天谷準作先生が栗野にいらした。栗野小学校の前で開業していた。

古い時期の支部は、殆どが鹿沼歯科医師団だった。郡部の先生は新年会等の時にやってきて、会費を支払った。

懲罰と除名は並列ではなく、懲罰の中に除名があるのが一般的。今後問題が生じたときは、理事会で集まって相談する。

新島先生の奥様がお亡くなりになった後、佐川先生などが、遊びに行ったときの話。

・・・以後歓談・・・

#### ■平成19年2月13日 第4回聞き取り調査 茂呂先生診療所

茂呂 允

昭和11年4月10日生

日本大学歯学部卒

昭和39年9月入会 支部長は手塚筆四郎先生

入会当時は次の新入会員が来る迄は先輩先生方へのお茶当番。

上都賀支部は野球が盛んで新島貫一先生（投手）を中心に第1回郡市対抗戦で優勝している。

支部の中で私の大学の先輩は中田静嘉先生を初めとして岸野栄七郎・忠明先生親子、越路、梅沢、石川 権、福田利示、矢口、茂呂 登。

私は昭和37年から父親と一緒に診療し日大大学院（口腔外科）に在籍しておりました。

昭和39年10月 茂呂 登 他界 53才

■平成19年3月12日 第5回聞き取り調査 高崎道子先生宅

青木達三郎先生

氏家 上阿久津 出身

開業時期；大正11年7月

開業したとき近所の岡本歯科医院や駒橋歯科医院に挨拶に行った

岸野歯科医院にはよく行っていた（仲良しだった）

昔の歯科医師会と今の歯科医師会との違い

昔は宅回りだった。（歯科医師会の会合）

昔は、軒数が少なかったから関係がもっと密だった（家族ぐるみで付き合いがあった）

日光湯元の板屋によく行った（福島先生の親戚がいた）

郡部の先生はあまり鹿沼には来なかった

今の患者との違い

昔は、痛みをとればいいという感じで智歯抜歯のあとは薬もあまりなかったため

よく蜂窩織炎になったようである。

昭和5年道子先生が生まれたときに産婆さんが眼を指で傷つけ1年近く眼帯をしていた

昔の歯科会でうれしかったことや悲しかったこと

一日患者が来ない日が多々あり保険ができるまでは、出張のようなこともした

これからの歯科医師会に望むことは

電子カルテになったらやめようかなーなんて

■平成19年4月4日 第6回聞き取り調査 金子先生宅

金子弁明先生

東京歯科医専（現東京歯科）を出てから、横浜の大田歯科勤務後、開業試験（実地試験）を受け、鹿沼で開業した。

学科試験を受け、卒業してから開業試験を受けていたらしい。



その頃は文部大臣はおらず、文部次官（その当時のトップ）が開業許可を出していた。

（祭りの写真を見ながら）新島先生がいる。大正末期から昭和の始め頃の写真か？

久保町の商工会議所（現在郵便局のある場所）での写真らしい。

弁明先生は、大正10年4月に開業試験をし、5月4日、歯科医師免許を取得し、大正10年11月7日に開業した。

開業場所は、安部判子屋のそば、長医院があった通り。

金子先生の現在住んでいる場所は、大谷先生が持っていた土地。鹿沼の土地は、大谷さん、柳さん、山口さん、大橋さんが殆ど持っていた。

鹿沼で開業が一番早いのは、小野重三郎先生、次は駒橋寅春先生。

金子先生は、椎貝先生の所にも行っていた。

明治39年栃木県歯科医師会発足。

日大には夜間部があった。昔は国家試験が年2回あった。実習試験がなくなった代わりに、年1回になった。

金子弁明先生は、酒の席では後に残るほどの有名な話が幾つもある。3日で1升空けていた。金子先生は弁明先生の酒の思い出が強烈に残っている。実家の長畑に行くと、はしごをして飲む。小学校の頃泣きながらついていった。

その思い出があるので、金子先生は、あまり酒を飲まない。

横浜歯学館で、実地試験をしたのか？

足漕ぎ式のエンジンの写真を皆で見る。→焼き増しORスキャナで取り込む。

金崎の花見事件・・・青木先生が日記を克明につけていた。金子先生と茂呂先生との喧嘩。金子先生が先に手を出したとのこと。

昭和になってから初代支部長は金子弁明先生。13年と28年の2回支部長を行った。上都賀は、昭和30年に今市と別れた。保健所の関係。

よく大井田先生が金子先生の所へやってきて飲んでいた。

歯科医師会の会合は、戦後上田町の光明寺で行われていた。その後埼玉銀行で行われた。

昭和45年に栃木県歯科医師会館が完成した。

アポロ歯科専門学校の近くに上都賀の先生が誰かいた。金子先生は中野にいた。佐川会長も中野にいた。上高田。

金子ジュニアは高円寺にいた。

次回は、中条正左衛門先生の聞き取り。

昔は、鹿沼の中央では、会費を月謝のように毎月納めていた。郡部は新年会等で年会費のように徴収していた。

今宮町の駒橋家は、昭和2年の建物。以前、新聞記事になった大正の建物というのは誤り。

■平成19年5月24日 第7回聞き取り調査 木村先生宅

大正10年正左衛門先生開業（明治15年生まれ）

昔は書生から住み込んで、勉強していた。

正左衛門先生の奥さんは、うしのさん。

奥さんと一緒に古河から来た。仙台に比べれば、この辺は開拓地だった。

中條家は宮大工が先祖。中條の姓は鹿沼にもあるが、こんにやく屋さんとは関係ない。

大正15年 中條氏令息 海兵隊に入隊

中條正臣氏ではない。正臣さんの兄の長男かも。

昭和17年9月に正臣さんは出征している。学校は繰り上げで、4年も勉強しないうちだった。

体が悪く、昭和18年11月20日に帰ってきた。その後は仕事をやっていた。

昭和22年9月10日 正左衛門先生は、病気で歯科医師会を退会。

昭和25年10月17日に、正左衛門先生は亡くなっている。

昭和47年に、正臣さんは50歳で亡くなった。

昭和41年木村佐智子先生 卒業

昭和44年歯科医師会入会 正臣先生と4～5年一緒に仕事をした。

中條歯科医院の院長は交代が激しく、20年、22年、29年。

佐智子先生は40年になる。

佐智子先生は、昔よく宇都宮の釜川沿いにある歯科医師会に連れて行かれた。

歯科医師会の資料は、風呂敷包みくらいしかなく、ダンボール1つも無かった。

中條先生が入会した時は、大塚会長だった。

昔の歯科医師会について

女の先生は高崎先生と2人だけだった。お茶くみをよくした。

すぐ上が岸野先生だった。岸野先生とはよく組んだ。

支部の会長は 菊地先生

正臣先生は、農商だった。鹿高は女子高だった。

昔はスタディーグループがあった。丸笠さんで発表した覚えがある。

研修会が無かったので、自分たちでやっていた。

岡田先生のところに外科を習いに行った。怖い先生で、髭を生やしていた。

昔の患者さんは？

今とは全然違う。

1日80人を診た時代。朝から患者が待っていた。

正臣先生から聞いた話では、入れ歯は 蒸和ゴム で作っていた。

入れ歯の患者さんが来れば、1ヶ月食べていけた。

蒸和ゴムの模型がある。

---

昔は、患者さんがお金を払えなかった。  
昔は薬が無かった。膿を出すですぐ治ってしまった。  
子供の歯が悪かった。

昔の先生の付き合い方。家族との関係は？

入会の人がいなかった。  
会としての親睦は、男の人は飲んだりしていたが、私は女性なのでそういうことはなかった。  
昭和47年歯科が最高に良かった時、高額所得で出ていた。  
差額徴収もあった。  
甲乙の選択で、医科との差が出てきた。

昔のエピソード

昔はいじめられた。  
女医なので目立っていた。  
新しい事をやると、保険でよく呼び出された。  
審査員の小山市の藤川先生は怖かった。会長に直訴した。  
新しい事、珍しいことをすると、呼び出されていた。

新島先生が会長の時、湯元に行った。宴会2日目に喧嘩した。

これからの歯科医師会に望むこと

若い人が出やすいようにしてもらいたい。  
縦横のつながりがもてる会が良い。  
会に出てきてもらいたい。  
役員の人は大変だ。感謝している。

■平成19年6月18日 第8回聞き取り調査 駒橋君子様宅（故 秀光先生の奥様、一永先生のお母様）

駒橋寅春さんは、現在アイデンタル駒橋歯科の地で開業する前、柳田さんという質屋さんの場所（現在はプロパンガス屋さん）で、約10年（大正2年から、昭和2年まで）開業していた。阿久津社長（あさや）が近くに住んでいた。

皆で写真を取り囲みながら話。  
1972（昭和47）年、岡本先生入会。その頃、佐川先生は21歳。  
越路先生と、鰐原先生の若い頃の顔が似ているらしい。

村本先生が来ると、特定の灰皿を出す。その灰皿を光先生が好きだった。

石川亘先生は、41年に宇都宮支部に行った。石田西三さん（西方）は41年になくなった。  
石川権左衛門さんが写真に写っている。写真に写っている方々のうち、畑先生のみが健在。

寅春先生は、明治23年に生まれ、昭和54年に亡くなった。岡本英忠さんは43年、80歳で亡くなっている。

岡田先生の一門の写真の中に、村本明先生のお母様が写っている。

畑先生は、昔の人にしては身長が高く見える。

必ず聞く項目。駒橋君子様に対して。

①昔の歯科医師会に対して、どのような感想をもっているか？

- ・和気藹藹とやっていた。正月もよく集まった。昔、皆さん謡（宝生流）をやっていた。
- ・三師会が昔からあった。一時なくなって、昭和54年から再開した。
- ・昔は歯科医師会館が無かったので、駒橋邸に集まってよく飲んでいた。村本先生、岡本先生、秀光先生、小高先生で飲むと、秀光先生は寝てしまう事があった。君子さんは最後まで付き合った。
- ・駒橋家から、新島先生の所に電話して、よく議論していた。
- ・レベルアップしなければならないと、よく話していた。
- ・小高先生をおさえるのが大変なときがあった。

②昔の患者さんについての接し方、エピソード

- ・昔の患者さんはおとなしかった。
- ・歯医者が少ないので、どこの歯医者も混んでいた。
- ・秀光先生は、一時保険診療をやめていた。君子夫人が県の歯科医師会に断りにいった。「今時、保険診療をやらなかつたら患者さんは来ないよ。」といわれた。5年くらい自由診療のみでやってみると、患者数が少し減少してきた。また、県の大塚会長に「あまり県にたてつかない方がよいよ。」といわれたのと、一永先生が帰ってきたこともあって、再び保険診療を再開した。それでも、昔は歯科医師にとっては良い時代だったと思う。
- ・差額徴収があったほうが、患者さんにとっても良いと思う。
- ・上都賀歯科医師会は、最後まで保険診療の完全導入を拒んでいた。
- ・患者さんに納得してもらってからやらないと、まずい。君子さんは、インフォームドコンセント役であった。
- ・秀光先生は、これと思ったらこれっきりやらない。てんとう虫の会に入っていた。

③今（これから）の歯科医師会に望むことは？

- ・時代が悪くなったので、求めても無理なのかもしれないが、歯科医師がこれとは思う様な診療ができるようになりたい。
- ・もう少し、お金になるようにしたい。

- ・再診療がもう少しあればよい。
- ・もう少し皆で団結し、声を大にしてやっていくべきだ。
- ・口腔内科を立ち上げ進めるべきだ。(佐川会長)

大正14年に上都賀齒科医師会支部設置が認められた。駒橋寅春先生が初代支部長に就任した。

会館問題は大変だった。川島先生と手塚先生は代議員除名になった。

昔は家族ぐるみで旅行にいったものだ。

(君子さんが、福島先生に) そばよろしくお願いします。

県歯の記録は、ほとんど東京歯科で調べてきた。

中條先生が言っていたが、県歯の記録は、風呂敷に入るくらいのものでしたが、誰かが捨ててしまった。

#### ■平成19年9月11日 第9回聞き取り調査 中田先生宅

中田先生

日本大学卒 (父)

西方で一番初めに開業したのは、中田先生のお父様、昭和8年に開業、初めは、父の妹夫婦がやる予定で始まったのだが、結核で他界しそのせいで、湯島で仕事をしている中田先生の父が、昭和8年から西方で始まった。

県歯の記録にある、石田先生、菅沼先生は、疎開組みで高崎あたりで仕事はしていたが昔からいた先生ではなかった。

中田家は、代々女系家族で、中田先生ができたときは、たいそう喜ばれたそうでした

郡部の先生は、新年会のときに会費を納めていたみたいです。

父は鈴木先生や楡木の安生先生と懇意にしていたみたいです

昔の歯科医師会についての感想

昔、父親と始まる前に駒橋先生のところで仕事をしていたので歯科医師会の方たちとの交流があった、入会した当時は、菊地貞造先生が会長でみんな和気藹々としており、今の埼玉銀行の3階で会議をしていた、常会も、フリートーキングでとてもいい雰囲気であった

昔の患者さんはどうでしたか

フッ素の洗口を昭和50年から始めた

昔は、夜中の2時ころから待っていたあまりにも大変なので、患者さん同士でノートに書き込んで順番を決めていたそうです

昔の先生方の付き合い方は、また家族との付き合い方は

今よりは、親密に家族ぐるみで付き合い合っていたが、それぞれ考え方の違いはあったので先生同士でけんかになることもあった。

昔の歯科医師会でうれしかったことや苦しかったこと

それぞれ先生同士（一部の先生O先生）で考え方の違いが元でけんかになったりしたことがあったのでこれで歯科医師会と縁を切ろうと思ったこともあった。

昔と今の奥さんの役割の違いは

昔も今も奥さんがいないとレセプトは、奥さんがやっているのが今のほうがコンピュータになった分大変です

今の歯科医師会に望むことは

組織のために個人があるわけではなく、個人個人のいいところを出し合って会を盛り上げていくような会にしてほしいと思います

## 歯学史エピソード

---

### ◎日本で初めて「歯科」を標榜したのは誰か？

小幡英之助である。嘉永3年（1850）豊前（大分県）中津殿町生れで、父の孫兵衛は藩の甲州流軍学師範役であった。

武芸にすぐれ、15才で長州征伐に従軍した。明治2年（1869）東京に出て、芝新銭座にあった慶応義塾に入学し英語を学んだ。福沢諭吉の片腕的存在であった小幡為次郎は英之助の叔父にあたり、又彼の保証人でもあった。医師を志して横浜十全病院の近藤良薫に師事し、紹介によりアメリカ人歯科医セント・ジョージ・エリオットに弟子入りした。歯科の研鑽を積むこと5年、開業試験を受けることになった。明治7年（1874）8月に医制法が公布され、医師（内外科、専門内科、専門外科、産科、眼科、口中科）になるには、国家試験（医術開業試験）を受けなければならなくなった。明治8年（1875）東京医科大学（現東京大学医学部）に「口中科」ではなく「歯科」の科目を標榜すべく、受験願書を提出した。医科大学校長長与専齊は、歯科専門の受験生は前例がないため慎重を期した。赤星昴造、草郷清四郎、三宅秀、各教授を長与校長が陪席し試験を執行した。

試験内容は次の如し

- 1) 歯鍵を示してその用途を問う
- 2) 抜去大白歯を示してその名称と左右の区別を問う
- 3) ハッチンソン氏歯について問う

英之助は、見事この試験に合格して明治8年（1875）10月2日、わが国最初の医師免許者28名中第4号の免許証を取得した。したがって、小幡は公認資格としての「医師第4号」であるとともに「歯科」医師第一号である。合格後、京橋妥女町医師隅川宗悦の家で開業したと伝えられる。

### ◎博士の学位を得た最初の歯科医は誰か？

花澤鼎である。彼は検定試験合格で歯科医師免許を取得し、東京歯科医学専門学校で病理学を教えていた。

主論文「象牙質に関する研究」によって大正12年（1923）に慶応義塾大学医学部から医学博士号を授与された。

### ◎世界最古の歯科医学校の設立は？

天保10年（1839）メリーランド州に設立されたボルチモア歯科医学専門学校である。アメリカの開業医、ホレース・H・ハイデンと同志のチャーピン・A・ハリスやソリマン・ブラウン等がメリーランド大学に歯科学の講座を開設するように提議したが、大学側が経済的理由で拒否してしまった。1839年彼等は設立計画を立て、翌1840年2月1日付をもって政府の許可を得た。同時にアメリカ歯科医師会も設立した。

1867年、このボルチモア歯科医学専門学校とハーバード大学の歯科と提携してアメリカにおける歯学部（Dental School）の元祖、ハーバード大学に歯学部が設置された。

◎日本最古の総義歯は？

和歌山市願成寺の尼僧佛姫（俗名中岡テイ、76才 1538年没）の遺品、一木造りで木床堤に直接歯の形を彫り込んである。表面は黒色でお歯黒（酸化第二鉄）が施されていた。

ついで、1673年に没した大阪海老江の住人、羽間弥次兵衛浄心のものである。

3番目が、東京都台東区稲荷町の円満山広徳寺の墓地より発見された柳生飛驒守宗冬の木床上下総義歯。材料は黄楊の木で前歯に蠟石を彫刻し嵌めこんである。ほとんど未使用、何個目かの入れ歯で、延宝3年（1675）麴町5丁目の入れ歯師小野玄入作と推測されている。宗冬（1613～1675・61才）

◎日本で最初の婦人歯科医は誰？

高橋孝子である。父は富士松、祖父虎一は口中科医、15才で父業を継いだ。明治8年（1875）、小幡英之助に入門、約2年間西洋歯学を勉強、その後、日本橋で開業。明治21年（1888）には、宮内省の命により、高級女官の歯科治療に従事する。富士松は、竹沢国三郎、神翁金松等と共に日本で初めて外国に高等な歯科機械、器具を注文した。

又、神翁金松、吉田仙らと共同出資のもとに明治22年（1889）、歯科矯和会を設立。後の日本歯科医学専門学校のルーツとなる。

富士松の長女孝子は明治27年（1894）第1回歯科医術試験に合格し、日本初の歯科女医となった。

日本に来た外国人歯科医師

1) 安政6年(1859) ヘンリー・ウィン アメリカ

香港で開業後来日。後にエリオットに譲渡。横浜108番で開業。

2) 万延元年(1860) ウィリアム・クラーク・イーストレキ アメリカ

・明治2年（1869）アメリカに帰国。オハイオ州の歯科大学でD.D.Sの学位を取得。その後ドイツで学ぶ。

・明治13年(1880) 再来日。

・弟子、長谷川保兵衛（保と改名）－佐藤重一佐藤運雄（養子）－東洋歯科医学校（日本大学歯学部前身）の創設者

3) 明治3年(1870) セント・ジョージ・エリオット アメリカ

・明治7年（1874）11月上海－シンガポール－欧州各地、ロンドンで開業。ロンドンの歯科医学校の教授－ニューヨークで開業。新島襄、西郷従道、木戸孝允に治療を施した。

・弟子、小幡英之助（医師第4号、歯科第1号）

・明治23年(1890) 歯科研究会創設（歯科学会の始め）

・明治33年(1900) パリの第3回万国歯科会議で名誉会頭となる。

4) 明治5年(1872) ベー・アレキサンドル フランス

横浜で開業－築地、入舟町に移る

・〈失敗談〉

ある日猿楽町7番地に住む元村重之が拍動性疼痛でアレキサンドルの治療院で歯を引き抜いた。その痛さといったら…。そして75銭を支払った。がいつまでたっても痛みが止まらな



った。鏡をのぞいてみると隣の歯がなくなっていた。文句を言いに行くと、彼は痛む歯をはつきり示さないからだと説明した。

・弟子 神翁金松、竹沢国三郎

歯科矯和会－歯科講義会－私立大日本歯科講義会－共立歯科医学校－日本歯科医学専門学校  
(日本歯科大学)

5) 明治7年(1874) ハラック・マンソン・パーキンス アメリカ

エリオットの横浜の治療院を譲り受けて開業

明治14年(1881) 上海→ロンドン

・弟子 黒田虎太郎、西村輔三

6) 明治12年(1879) ギュリック アメリカ

・弟子 佐治 <sup>つみま</sup> 職

#### 外国に行って歯科学を勉強した人々

1) 明治2年(1869) 長谷川保兵衛 (後に保と改名)

イーストレキと共に上海・香港に約3年半滞在

ついでドイツのベルリンに2年4ヶ月滞在

イーストレキ診療所で、当時の駐ドイツ代理公使品川弥二郎と知り合い、品川と共に明治9年(1876) 3月帰国。本所横網町で開業

2) 明治5年(1872) 高山紀斉

英学を学ぶため私費でアメリカ留学中、はげしい歯痛におそわれ、サンフランシスコの一流の歯科医ヴァンデン・ヴォルグに治療を受け、親交をかさね、そこで奉公するようになった。その後先進的な歯科医学と医術の研修につとめ、アメリカの歯科医術開業試験に合格し、

明治11年(1878) 滞米7年、帰国。芝伊皿子で開業

明治22年(1889) 12月 高山歯科医学院 創設

明治23年(1900) 1月 東京歯科医学院 改称

明治40年(1907) 9月12日 私立東京歯科医学専門学校

3) 明治10年(1877) 黒田虎太郎

イギリスに渡り、明治14年(1881) 帰国

パーキンスの通訳として門下に入り明治16年(1883)開業、免状を取得。日露戦争後、ロシアのウラジオストックに出張し、ロシア将校をたくさん診療したため、スパイ容疑をかけられた。

4) 明治18年(1885) 佐治 職

明治7年(1874) エリオットに入門。エリオットが香港に行ったので、その後、パーキンスに学ぶ。

明治12年(1879) ギュリックが横浜に来ると、入門

明治18年(1885) ギュリックと共にアメリカへ

明治20年(1887) 帰国、大阪京町堀で開業

## KDGCについて

---

上都賀歯科医師会で、最初にゴルフを始めたのは川島光五郎先生で、日光CCのメンバーとしてプレーしていたそうです。その後昭和39年頃、鹿沼CCが開場し、川島先生は日光CCから鹿沼CCへ移り、同時期新島剛先生・福島茂先生も鹿沼CCのメンバーとなり3人で一緒にプレーをしていたそうです。3人は当時3島（川島・新島・福島）として、ゴルフ以外にも茨城へ海水浴に出掛けるなど、とても仲が良かったそうです。また鰐原悦郎先生も、日光CC・鹿沼CCのメンバーで、新島剛先生とお2人で、栃歯代表として、関東地区歯科医師親善ゴルフ大会（関プロ）に参加され、狭山・袖ヶ浦・大利根・戸塚・大洗などの名門コースでの競技で他県代表の選手とプレーをなさったそうです。

これら3人の先生方に、岡本全宏先生、中田嘉之先生が加わり、上都賀歯科医師会ゴルフクラブが誕生し活動を始めたのです。第1回のコンペは昭和54年頃に行われ岡本全宏先生が優勝されています。その後多くの先生方が参加され新島剛先生が優勝された平成元年10月の第15回の大会まで続きました。

また大塚会長時代には、鰐原先生、新島先生が中心となり、福島県から小川技官を招待し会員との親睦ゴルフを催し、プレー後には、栗野の西村にて懇親会を行ったそうです。

その後、新島先生が、支部長に就任されたのを機に新たにゴルフクラブを立ち上げようということで、KDGCと名称を変更し活動が始まりました。

第1回は、平成元年12月に開催され福島隆夫先生が優勝されています。平成2年のKDGC会員名簿には24名の先生方が、翌年平成3年には29名の先生方の名前が記録されており、この頃から5年間程が、最も多くの先生方がコンペに参加され、4組から5組のパーティーでプレーを楽しまれていたようです。

また年末には、和食の店きよ水の2階を貸切りして、カラオケや、料理皿を箸でたたいてのドンチャン騒ぎと店に出入禁止になるのではと思われる程の盛り上がりでした。その後は場所をすし処美勘、あづま寿司と変えて、近年は蕎麦打ち4段の福島先生、3段の相馬先生の打って下さった蕎麦を堪能しながら忘年会を行っています。

ここ数年は、ゴルフをする先生方が減少し1組しか集まらずコンペが成立しないことも稀にありますが、KDGCの歴史を断つことのないよう多くの先生方の御参加をお待ちしております。

最後になりますが、KDGCの歴史は、新島剛先生を抜きに語ることはできません。先生はKDGC発足時より会長として会を支えて下さっています。殆ど毎回コンペに参加していただいています。日光CCでは、現役として実際コースに出てプレーされる最年長（89歳）のゴルファーです。私も一緒にラウンドさせていただく時は、プレーなさる先生の姿に尊敬と憧憬の念をもって拝見し緑の中を歩く先生のお姿に神々しささえ感じてしまいます。先生の年齢になるまでラウンドすることが我々の目標になっているのではないかと思います。また御息の新島康夫先生は毎年4月桜が満開での日光CCでのコンペをセッティングして下さい、日光CCのメンバーとしてもまた、ジュニア育成委員会委員長として尽力され、現在は最年少の理事としても御活躍なさっていらっしゃいます。

今後もお2人を中心に全員でKDGCがさらなる発展を遂げることを祈念いたします。

（畑 健一 記）

## 上都賀歯科医師会ゴルフクラブ歴代優勝者

- 第1回 岡本 全宏 (昭和54年頃)  
 第2回 新島 剛  
 第3回 中田 嘉之  
 第4回 岡本 全宏  
 第5回 村本 明  
 第6回 田辺 章  
 第7回 小林 幹夫  
 第8回 菊地 均  
 第9回 箱島 光一  
 第10回 鈴木 節雄  
 第11回 石崎 誠  
 第12回 不 明  
 第13回 梅沢 富嶽  
 第14回 菊地 香  
 第15回 新島 剛 (平成元年10月)

## KDGC

- 第1回 福島 隆夫 (平成元年12月)  
 第2回 石崎 誠 (平成2年)  
 第3回 金子 實  
 第4回 木村 立男  
 第5回 狐塚 行弘 (平成3年)  
 第6回 相馬 英人  
 第7回 金子 實  
 第8回 福島 隆夫  
 第9回 畑 健一  
 第10回 石崎 誠  
 第11回 狐塚 行弘 (平成4年)  
 第12回 狐塚 行弘  
 第13回 中田 嘉之  
 第14回 田辺 章  
 第15回 田島 雅哉  
 第16回 畑 健一 (平成5年)  
 第17回 手塚 忠雄  
 第18回 金子 實  
 第19回 新島 剛

- 第20回 狐塚 行弘 (平成6年)  
 第21回 田島 雅哉  
 第22回 田島 雅哉  
 第23回 田島 雅哉  
 第24回 駒橋 秀光 (平成7年)  
 第25回 岸野 昌彦  
 第26回 畑 健一  
 第27回 石崎 誠 (平成8年)  
 第28回 新島 康夫  
 第29回 新島 康夫  
 第30回 新島 康夫  
 第31回 鈴木 (平成9年)  
 第32回 木村 立男 (平成10年)  
 第33回 畑 健一  
 第34回 大貫 真裕  
 第35回 畑 健一 (平成11年)  
 第36回 石崎 誠  
 第37回 狐塚 行弘  
 第38回 木村 立男  
 第39回 鈴木 節雄 (平成12年)  
 第40回 手塚 忠雄  
 第41回 新島 康夫  
 第42回 新島 康夫 (平成13年)  
 第43回 畑 健一  
 第44回 田島 雅哉  
 第45回 金子 實 (平成14年)  
 第46回 金子 實  
 第47回 石崎 誠 (平成15年)  
 第48回 石崎 誠  
 第49回 手塚 忠雄  
 第50回 畑 健一 (平成16年)  
 第51回 畑 健一 (平成18年)  
 第52回 新島 康夫  
 第53回 畑 健一 (平成20年)  
 第54回 畑 健一 (平成21年)  
 第55回 新島 康夫  
 (記録に残っているもののみ記載)

## プール制について

---

昭和58年度から実施された「校医手当プール制」は公立の小中高校の校医手当を支部会費として徴収してプールする、言い換えれば会員が全員校医を担当することによって会費納入とする全国でも例の無い画期的な制度である。当時の会計を担当されていた中田先生が「一挙に十倍に膨らんだ予算をどのような款項目で予算書作成するか非常に頭を痛めました。楽しい思い出です。」と記載されているが豊富な予算を背景に先進的な新規事業を次々と展開していった。

現在の上都賀歯科医師会の根幹をなす制度であり、活発な活動の原動力となっていることは言うまでもない。

### プール制導入まで

本会では校医の大規模校と小規模校との格差を公平にする為に「校医の2年交代制」を昭和34年から採用していた。昭和53年支部総会（菊池支部長）の席上、校医手当を支部会費として徴収してプールしようと提案されたのが始まりである。

昭和57年5月9日 臨時総会に於いてプール制導入について審議された。

以下臨時総会にて配布された資料1「プール制について」よりの抜粋。

### 経過報告

昭53,3,31 支部総会（菊池支部長）で提案、趣旨には全員の賛成が得られ継続審議となる。有志でプールすることは妨げない。（金子、高崎、中条、小高、岡本の5名でプール開始。）

昭54,3,24 新島支部長選出

昭55,4,19 総会の席上支部長から理事会において賛成3、反対2でまとまらない旨報告。理事会でまとめてから提出するよう提案された。以後、理事会、支部常会において討議された。

昭55,7,18 上都賀支部定款 成立

昭56,3,28 2期新島支部長の再選を見、理事者2名

増員（支部長以下7名の理事者）のもとで定款の趣旨、目的にそうよう、各事業面で積極的に推進してきた。

昭57,3,19現在 理事会を10回開催し討議、出席者全員賛成を得、常会を3回開いて報告した。

### 趣旨及び目的

本歯科医師会は医道の高揚、歯科医学の進歩発達と公衆衛生の普及向上に積極的に参加し社会（地域社会）並びに会員の福祉のために努力してきました。歯科医師会を取り巻く社会環境は、ここ数年の間に急激に変化し、税務、保険、医療管理、その他あらゆる面で風当たりが厳しくなっています。以上のような社会の時流に対し、会員がより一層の団結をし良い意味での防波堤を作ることが目的としています。

その為には、日歯、県歯の定款第4条、上歯定款を踏まえて事業を行いつつ、上都賀歯科医師会の和の為に下記の各種にわたる事業を行いたいと痛切に思う次第です。

## 事業計画（案）

1. 支部会費に充当する。
2. 支部内における地域活動（広報、表彰等）に対する費用
3. 支部会員の親睦のための費用
4. 支部内の雑用に対する費用（パートの女性）
5. 支部会員の慶弔費用
6. 支部会員及びファミリー（家族、パラデンタル）の学術研修費
7. 支部会員及びファミリーの懇親会費
8. 支部会員及びファミリーの旅行費
9. 日歯、県歯の終身会員に対する年金（例 70歳 年 最低10万円位）
10. 日歯、県歯における研修、講習に対する懇親会費及び旅費日当、（県歯規定に準ずる）

以上の希望条件をすべて十分に満たした上、合議の上、会員に見合った集会所（年間維持費を考慮）を建設する。

## 会費徴収方法（案）

鹿沼、栗野、西方の各教育委員会から教育委員会の取引銀行の支部プール制預金口座に振り込む。振込明細書は個人別に銀行から通知をだす。

資料2 大先輩4名（梅沢、福田、鈴木、菊地）より執行部にあてた署名入り要望書の写し

審議討論後、議長アンケートを聞く。

原案賛成 18名(条件付き賛成 1名) 反対 7名 保留 2名 委任状なし 5名  
総計34名

今後はブロック別に分けてプール制を理事者が原案をもとにして説明するとした。

ここまで全員がプール制の趣旨には賛同するものの、校医は収入、患者数にも直結する重要なポストであり校医を譲る事は生活に影響するとの考え方もあった。既得権益の放棄も伴うであろう改革に当たって、議論は長期に亘って白熱また混乱し、遂には大先輩諸氏から「郡歯科医師会の運営と会員の親睦に重大な障害を招く恐れがあると憂慮する。今後の円滑な運営と親睦を希求する立場から執行部の慎重にして思慮ある行動を懇願する。」を旨とする要望書が提出された中での臨時総会であった。

その後の執行部の熱意ある説明と説得が功を奏し、昭和58年3月26日総会に於いて、プール制の58年度よりの実施承認を得た。

同年7月県歯大沢税務担当常務理事、顧問税理士安納氏にプール制について税務相談、10月18日税務署長より「校医手当を会費として納入する場合の税法上の取り扱いについて」の回答書が届いた。

十分な議論を経て実現まで5年の歳月を要したプール制であるがその後の会務運営による業績に対する評価が、大きな成果を収めてきたことを証明している。

ますます厳しさを増すこれからの歯科界に於いて地域社会のため、会員のためになる事業を展開していくことが将来の上都賀歯科医師会及びプール制の更なる評価につながっていくと思われる。

（福島隆夫 記）

## 総務部関係について

---

上都賀歯科医師会での総務部ですが、専務、総務、庶務、会計の各理事4名からなり、総務部会開催時に会長、副会長が加わり協議することもあります。業務としては、庶務会計事務の遂行、歯科医師会事業の企画及び遂行、鹿沼市休日急患診療所の備品の整備・管理、歯科医師会ホームページの管理・運営、広報懇話会、平成22年度からは法人化検討委員会も始まり、新たな事業や対外的な歯科医師会の対応のたたき台、予備検討、役員会での決定事項の細部の詰めを行っています。

具体的には、例年行なわれる良い歯のコンクールの賞品の選定、入賞作品の上都賀歯科医師会ホームページへの掲載から始まり、休日急患診療所の備品整備、新規診療ユニットの検討。備品購入や事業の企画では、平成18年に研修会等で使用するパワーポイント関連機器購入の選定、上都賀歯科医師会規定改定の検討、平成20年にコピー機及びファックスに対するの対応、FAX複合機機種を選定。平成20年2月1日より実施された警察官受診優先システムでは小委員会を開いての検討、会員の証の作成。そして、上都賀歯科医師会事務局の固定化に伴う事務業務の効率化のための歯科医師会専用封筒作製、その後、平成21年には上都賀歯科医師会員の情報データの共有化、迅速化、ペーパーレスなどを考慮し、上都賀歯科医師会ホームページの充実を図るべく事務局へのインターネット回線の引き込み、対応したパソコンの新規購入の検討。平成22年からインターネットの環境が整い、歯科医師会ホームページのリニューアルを行いました。また長年VHSであった上都賀歯科医師会統一刷掃法のビデオテープのDVD化を行いました。

### 総務部会関係主要業務

1. 庶務会計事務の遂行
2. 歯科医師会事業の企画及び遂行
3. 鹿沼市休日急患診療所の備品の整備・管理
4. 歯科医師会ホームページの管理・運営
5. 広報懇談会
6. 部会
7. その他
  - ①鹿沼地区歯科医師警察連絡会役員会及び総会等の企画運営
  - ②支部旅行時の運営
  - ③新年会の企画運営
  - ④三師会当番時の企画運営
  - ⑤藹々会の企画運営
  - ⑥市長を囲む会
  - ⑦鹿沼市・西方町保健福祉部（課）並びに教育委員会との合同協議会
  - ⑧鹿沼市保健福祉部との懇談会

（鈴木裕之 記）

## 休日急患歯科診療所の立ち上げと現在について

---

休日に急患をいかに対応するか！歯科医師に課せられた大きな課題です。個人的に対応しては休日に休めませんので、歯科医師会として交代で休日の診療に当たり、「担当外の歯科医師は休日を休めるように、また、日曜日は診療しないようにしよう」という主旨で、休日急患歯科診療所開設の声が昭和55年秋ころから生じました。行政に於いても、住民の救急医療対策は重要な課題ですので、行政と歯科医師会が一致して、栗野町・西方町を含む鹿沼地区の休日急患歯科診療所開設に向けて動き出しました。以下その流れを報告します。

昭和56年2月16日 支部役員会（新島・駒橋・川島・手塚・中田・福田議長）

初めて休日診療所の件を議題にする。医師会ではすでに実施している事から開設の方向で常会で検討する事を決定。

昭和56年2月18日 支部常会

休日診療について話し合う。賛成多し。

昭和56年4月24日 休日診療所について行政と会議

行政から阿部民生部長、竹沢主幹、神山さん、豊田さん、歯科医師会から理事者（新島・駒橋・川島・中田・金子・岡本・村本）が出席し話し合う。診療所は万町の旧保健所を改装して使う事が決定。

昭和56年5月15日 支部臨時総会

休日診療所開設の件は賛成多数で可決した。交渉、設計、備品等の検討は全て支部役員に一任された。

昭和56年7月19日

すでに休日急患歯科診療業務を実施している先進地として安佐支部、足利支部、小山支部を視察研修した。上都賀支部会員だけでなく、鹿沼市、栗野町、西方町の担当者も参加した。

昭和56年7月以降、昭和57年4月11日の休日診療所のオープンまでに支部役員会を8回、常会を3回、鹿沼市・栗野町・西方町の担当者との会議を3回実施し、委託契約書、診療所の設計、治療椅子の配置、備品及び消耗材料の購入、歯科衛生士の公募、歯科医師会への補助金、担当歯科医への手当、当番日割作成等を決めた。診療所の改装工事は鹿沼市の半貫工務店が360万円で落札し、治療椅子や備品購入は丸笠歯科商会とアマガイで入札したが、丸笠が11,432,000円で落札した。改装工事と機械備品の納入は3月末までに完成させる事になった。

昭和57年3月27日 支部定時総会

休日診療所に関する経過を報告し、支部会員の承認と協力を求めた。

昭和57年4月11日 休日診療を開始した。歯科衛生士については公募したが採用できず、当面の間上都賀歯科衛生士会に協力を依頼した。

昭和57年6月18日 支部役員会

休日診療所は2年後坂田山の文化センター隣に新設移動する事が報告される。

昭和57年8月20日 支部役員会

休日診療所運営委員に駒橋・岡本先生が決まる。運営委員会の委員長は山口助役、副委員長は駒橋先生

昭和57年9月24日 予防委員会と衛生士会との合同委員会

休日診療への衛生士会の協力は今年限りとの申し入れあり。

昭和57年12月17日 支部役員会

公募していた歯科衛生士が4名採用された。大山純子・善林弥生・野田順子・福田恵枝さんで58年1月1日より常勤衛生士が補助を担当した。

以上の経過で休日急患歯科診療所が立ち上がりましたが、昭和59年10月7日に現在の場所に新築移転しました。ちなみに新築診療所の最初の担当医は石崎先生、2回目は瓦井先生で来院患者はゼロでした。  
(中田嘉之 記)





## 調査委員会の創設期と刷掃ビデオ効果の調査について

昭和63年調査委員会は学術委員会から発展、分離するかたちで創設されたが、刷掃ビデオ効果の調査と深く関係があるので、それらを中心に記す。

昭和62年、中央小学校より刷掃指導用ビデオの作成を依頼されたのを機に、「より効果的で、生徒が取り入れ易い方法」を考え、上都賀歯科医師会統一刷掃法を作成した。上都賀衛生士会（沢田会長）の協力のもと、そのビデオを作製し、それを各小学校に配布。

そこで、その効果の有無を調べるため“調査委員会”を立ち上げた。これが調査委員会創設の所以である。実際にどのようにしてその効果を調べるか、岡本会長、菊地（香）先生等の意見で、次のようにきめた。

対象校として、地域的特性を考慮し、みなみ小及び中央小（各小学校の理解と協力を得られて有難かった）、混合歯列から永久歯列への移行期ということで、2年5年を選び、昭和62年63年の4月、10月に給食後の昼休みを利用し資料採取をする事になった。

この際、各歯科医院の先生方、スタッフには大変お世話になった。この場をかりてお礼を述べさせて頂く。

口腔内の歯牙の歯垢付着状態をみるためアルジックスで印象しミロツルーを注ぎ模型に転記させる方法、歯面を幾つかに分割し汚れの落ち具合を比較する方法、データ分析のためパソコンのソフトを作成したetc、など、独自に考案した方法がある。

我々は、この研究を、栃木県歯科医学会に発表した（下記表）ので、詳細はそちらを参照して頂きたい。学会発表に際し演者は勿論他の先生方も大変だった。パソコンがまだない時期、すべてが手作業、原画を作り写真撮影、ジアゾ化、上手くいかないとき深夜までかかった。いまの時代と隔世の感がある。この研究でビデオを用いた方が効果のある事が実証された。苦勞が報われ、嬉しかった。

現在、調査委員会は多岐にわたる調査を行っている。上都賀歯科医師会85年誌の作成もそのひとつであり、担当理事の福島先生も、私の時代とは違う苦勞があると思うが更なる委員会の発展を祈念している。

資料採取等、お世話になった初代委員会の先生、県歯科医学会で発表した先生に敬意の念を表し下記に名前を記す。

### 初代委員会の先生

山本 浩	鈴木 宏彦	小川 哲弥	駒橋 一永	相馬 英人	金子 實
石澤 隆之	狐塚 行弘	田代 高志	新島 康夫	菊池 均	石崎 誠
木村佐智子	佐川 徹三	鈴木 節雄	田辺 章	瓦井 昭二	菊地 香
村本 明	小高 章愛	岡本 全宏	新島 剛		

歯科医学会で発表した先生と事項

給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査

- 昭和62年（1987）第40回 相馬英人 第1報 調査方法  
金子 實 第2報 模型印記法の採用にあたって
- 昭和63年（1988）第41回 狐塚行弘 第3報 被験歯列の特徴について
- 平成元年（1989）第42回 石澤隆之 第4報 被験歯列の解析
- 平成2年（1990）第43回 新島康夫 第5報 歯垢付着状態の分析にあたって
- 平成4年（1992）第44回 石崎 誠 第6報 歯垢付着状態の分析—その1—
- 平成5年（1993）第45回 手塚忠雄 第7報 歯垢付着状態の分析—その2—
- 平成6年（1994）第45回 畑 健一 第8報 歯垢付着状態の分析—その3—

（鈴木節雄 記）



## 給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査について

上都賀歯科医師会では、昭和62年当地区の鹿沼市立中央小より、刷掃指導用ビデオの作製を依頼され“より効果的で生徒が取り入れ易い方法”をテーマに、上都賀歯科医師会統一刷掃法によるビデオを作製した。

さらにその刷掃指導用ビデオの効果を検索するために、上都賀歯科医師会統一刷掃法ビデオを主として使用し刷掃指導を行った中央小と調査の2年前の昭和60年より栃木県教育委員会から給食指導の指定を受け給食後の刷掃指導を口腔保健教育として組み入れ、学校独自で作製したビデオを主として使用したみなみ小のそれぞれ低学年2年生及び高学年5年生を対象とした調査を行ってきた。

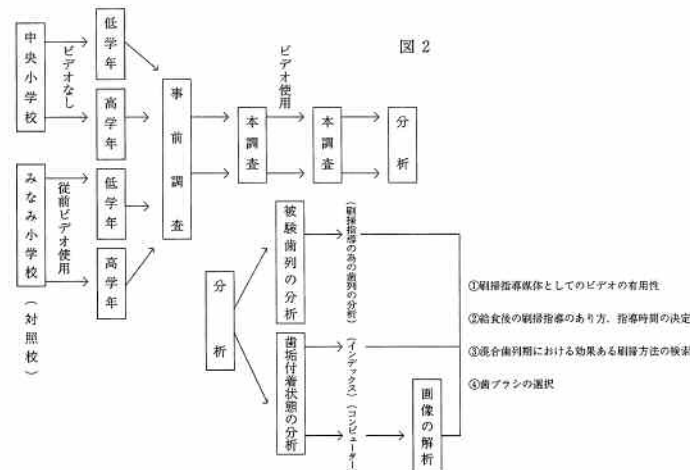
その調査結果においては、先の栃木県歯科医学会に於いて、第1報<調査方法>、第2報<模型印記法の採用にあたって>、第3法<被検歯列の分析>、第4報<被検歯列の解析>、第5報<歯垢付着状態の分析にあたって>、第6報<歯垢付着状態の分析その1>、第7報<歯垢付着状態の分析その2>、第8報<歯垢付着状態の分析その3>について一連の報告を行った。

その結果をもとに分析した結果

- ①刷掃指導媒体としてのビデオの有用性
- ②給食後の刷掃指導のあり方、指導時間の決定
- ③混合歯列期における効果ある刷掃方法の検索
- ④歯ブラシの選択

図1 調査条件と時期

調査期	調査年度	S 62年度			S 63年度		
		調査回 I	II	III	I	II	III
	調査月	6月	10月	2月	6月	10月	2月
みなみ小	刷掃法	みなみ小・低・高学年刷掃法			上都賀歯科医師会統一刷掃法		
	V T R	みなみ小・低・高学年用V T R			上都賀歯科医師会統一刷掃法V T R		
	歯ブラシ	統一 GVT. 307 HARD (KOデンタル社製)					
	解説	なし					
中央小	刷掃法	不統一 各自			上都賀歯科医師会統一刷掃法		
	V T R	なし			上都賀歯科医師会統一刷掃法V T R		
	歯ブラシ	統一 GVT. 307 HARD (KOデンタル社正製品)					
	解説	なし					あり



(菊地 香 記)

## 在宅訪問診療の立ち上げと現在について

---

上都賀歯科医師会では、通院が困難な在宅寝たきり老人に対する歯科保健サービスを実施することにより、在宅寝たきり老人の口腔状態の改善を図ることを目的として、鹿沼市と協議の上、鹿沼市からの委託を受ける形で、「鹿沼市在宅寝たきり老人歯科保健推進事業」を平成8年度より開始した。栃木県内では、宇都宮市・足利市・小山市・大田原市に次いで5番目の実施となった。

事業の対象者は、市内に住所を有する65歳以上の者であって、在宅で寝たきりの者とする。ただし、市長が認めた場合はこの限りではない。事業を希望する者又はその介護者は、市へ申し込む。

市保健師及び歯科衛生士は、「在宅歯科保健調査票」により、対象者の全身及び口腔状態、家庭環境等を把握するため事前調査を行う。

市は、事前調査終了後、「在宅寝たきり老人歯科保健依頼書」に申込書（写）、調査票（写）を添えて、上都賀歯科医師会に依頼する。

歯科医師会は、市から依頼のあったものに対し保健指導及び訪問診療事業を実施する歯科医師を選定し依頼する。

市は、対象者、担当歯科医師との日程を調整し初回訪問の日程等を決定する。担当歯科医師、歯科衛生士等に市の保健師又は歯科衛生士が同行する。患者の一般状態により内科医等の主治医の意見書が必要な場合は、家族が主治医に「診療情報提供書」を記入してもらう。担当歯科医師は、保健指導及び訪問診療の結果を「在宅歯科保健実施報告書」に必要事項を記入し、歯科医師会長に報告する。

継続して診療が必要な場合は、2回目以降の診療の日程等を担当歯科医師が患者又はその介護者と打合せの上、決定する。訪問診療回数は概ね5回とする。ただし継続的に診療が必要な場合はこの限りではない。診療が一度終了した後に再度診療を希望する場合は、市を通して再度申し込みをする。

市が保管、管理する機器は、事業用リストのとおりであり（持ち運び可能なポータブルのタービンも含まれる）担当歯科医師が使用する際には、市に連絡し、予約する。機器は、当日の事業に間に合うように市が患者宅へ搬入し、終了後回収する。使用した機器の消毒、点検は市が行う。市が用意した機器の他に必要な薬剤や器具等については、担当歯科医師が各自用意する。

担当歯科医師は、業務を実施した後、報告書により治療の状況及び指導事項等を翌月10日までに歯科医師会長に報告する。歯科医師会長は、報告書写しを月ごとに市に送付する。

事業の円滑な運営を図るため、別に定める鹿沼市在宅寝たきり老人歯科保健推進事業連絡調整委員会を設置し、事業の企画立案、評価及び実施上の問題点の検討等を行うものとする。

平成8年から平成20年までの13年間では、年間の平均申し込み者14.1人、受診者数は11.8人ではほぼ横ばい、延べ回数の平均は3.71日となっている。

また、年に1回会員向けに、使用する機器、器材の説明会を開催している。鹿沼市民の福祉向上の観点からも、是非とも継続したい事業である。

（大貫真裕 記）

## 歯科ドックの立ち上げと現在について

上都賀歯科医師会では、平成8年より、全国に先駆けて歯周病予防を念頭においた歯科ドック（お口の人間ドック）検診事業を開始した。

この事業は、鹿沼市国民健康保険加入者で成人の希望者を対象に（健康保険税滞納者は除く）、定員50名でスタートした。その後旧栗野町も平成10年より参加し、翌10年からはその対象を全町民とした。

毎年、歯科ドックの募集は、広報かぬま等に掲載したり、鹿沼ケーブルテレビ等も利用して行っている。歯科ドック検診受診希望者は、鹿沼市保険年金課保険給付係に申し込みをする。その際、受診者に希望の歯科医院があればその歯科医院で歯科ドック検診を受診できる様にしている。

歯科ドック検診の実施場所は、固定化されておらず、上都賀歯科医師会の会員の各協力歯科医院で行っており、毎年歯科ドック検診に協力可能かどうかの確認を行っている。

歯科ドック検診事業を行うための、問診票、検診結果票、歯科ドックマニュアル本を上都賀歯科医師会独自で作製した。また、検診事業に必要な機器、機材も独自で選定し、市職員が実施日に間に合うように各歯科医院に搬入し、終了後回収する。

歯科ドック検診の診査項目は、

- (1) 全身的診査（問診票を活用）
- (2) 口腔内軟組織診査（ポラロイドカメラ使用）
- (3) 画像診断（パノラマ撮影orデンタル10枚法）
- (4) 唾液検査（RDテスト・デントバフストリップ・サリバスター試験・オーラルPHテスト）
- (5) 口臭検査（BBチェッカー→アテイン使用）
- (6) 咬合力検査（T-スキャン→デンタルプレスケール使用）
- (7) 咬合検査
- (8) 現在歯・喪失歯の歯式
- (9) 歯周組織の精査（4点法・歯垢染め出し）
- (10) 口腔外診査

という内容で行っている。検診終了後、受診者には市を通して、検診結果票を2週間以内に送付する。平成8年からの受診者は、H8年51名、H9年46名、H10年39名、H11年16名、H12年33名、H13年24名、H14年6名、H15年18名、H16年18名、H17年9名、H18年5名、H19年16名、H20年5名となっている。

歯科ドック実施には1時間半～2時間かかること、対象者が鹿沼市国民健康保険加入者に限定されていること、リピーターが少ないこと、検診場所が固定化されていないこと等、開始13年目を経過して様々な問題点も出て来ている。日本歯科大学付属病院でも歯科ドック検診を行っているというので、上都賀歯科医師会として視察に行ったり、鶴見大学歯学部の大野浩一教授に講演していただいたり、日本歯科大学新潟生命歯学部の小出馨先生に、口腔外診査、触診法の講演、実習をしていただく等、歯科ドックに関連する様々な研修会を開催している。現在、歯科ドック小委員会において、検診項目、内容の検討見直しを行っている。受診者の利便性等も考え、「新しい歯科ドック」にリニューアルする予定だ。

（大貫真裕 記）

## 介護認定審査会について

介護保険制度は高齢者が地域で安心して暮らし続ける為に導入されたものであり、平成12年4月1日より全国一斉に開始された。それに先立ち平成11年4月より鹿沼市、旧粟野町、西方町においてそれぞれ介護保険事業計画策定委員会が数回開催され、実施に向けての試行及び模擬審査会が行われた。

その後行政（主に介護準備室）と歯科医師会との間で懇談会を行い、私達も全面協力する事を確認し、医師会や他の団体或いは介護に関係する専門職務の方々とのバランスを考慮し、鹿沼市においては8名の審査委員を推薦する事となった。（合議体が8つのため）

9月になってその審査委員の為の認定審査会委員研修会が行われ、日本においては初の制度施行に向けて真剣に取り組んだ事が今は懐かしい思い出である。平成11年10月1日には全審査委員に対しての辞令交付及び研修会が鹿沼消防署において開催された。

平成22年4月をもってこの介護保険制度も満10年が経過した訳だが、その間認定調査項目、審査上の基準、認知症に対する考え方等、2年毎の改正によって幾多の変遷を遂げ、未だ手探りの状態であるとは云え、審査委員にとっては若干の戸惑いと混乱があったのも事実である。

平成18年4月から施行された改正介護保険法において制度の持続可能性、介護予防システムの構築、給付の適正化等を目指し新予防給付が導入された。時を同じくして全国における介護度の決定や変更についてのばらつきが指摘され、平準化が叫ばれるようになった。平成20年には要介護認定の基本設計が示され、一次判定の吟味、基準時間と呼ばれる介護の手間の判断等、今までよりも介護度の決定がスムーズになされるようになったものと思われる。

何れにしても日本における高齢者は制度施行に比して想像以上に増加を遂げ、それに伴って要介護者も年々増えている訳だが、平成21年現在、日本における平均寿命は女性86.05才（世界1位）、男性79.29才（世界4位）で世界に冠たる長寿国ではあるが65才以上の人口が22%を超えている超高齢社会において、このまま推移すると10年後には26%、45年後には40%に達すると云われており、この介護保険制度は益々重要性を増すのではなかろうか。

結びにあたり、超高齢少子社会だからこそ、我々歯科医の口腔ケアに対する係わり或いはライフステージを通じてのアプローチが絶対必要であり今後も介護の現場において、声を大にして歯科保健の重要性を訴えていく所存である。

（佐川徹三 記）




## 歯周疾患検診について

老後の健康保持と適切な医療の確保のため、疾病予防、治療、機能訓練などを総合的に実施し、もって国民保健の向上及び老人福祉の向上を図ることを趣旨として、昭和57年に老人保健法が公布されました。そんな中、歯肉炎、歯周炎を合わせた歯周疾患は単なる歯、歯ぐきのトラブルだけではなく、全身の病気を引き起こす疾患であり、また40歳代を境に急速に歯がなくなる、これらのことから平成12年度より40歳および50歳を対象にした「節目検診」（市区町村によっては独自の年齢設定をしています。）として歯周疾患検診が老人保健法に組み込まれました。また平成14年には急速な高齢化の進展及び疾病構造の変化に伴い、国民の健康増進を図るために「健康日本21」が策定され、根拠法として健康増進法が公布されました。この法律の中で歯科医師も保健指導に係わるようになっており、国は歯科保健に関する情報提供、歯科保健に関する目標値の設定を行い、都道府県は歯科保健計画を定める義務が、市町村ではその計画を定める努力義務が規定されました。鹿沼市でもこの健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、歯周疾患は単なる歯だけのトラブルだけではなく、食べる楽しみや、全身の病気を引き起こすこともあるので早期発見、早期予防を図ることを目的とし、平成16年より歯周疾患検診が始まりました。内容は医療機関による個別検診方式で実施時期は5月～12月です。受診率は平成16年度 6.8%、平成20年度 10.0%です。

全国的な歯周疾患の実施率を見ると1999年には5.0%であったのに対して、その後増加傾向にあるが2002年度では市町村実施率は30.6%に過ぎず、基本健康診査やがん検診の実施率に較べて極めて低い状態です。また受診率でみると「平成14年度地域保健・老人保健事業報告」では基本健康診査が42.6%、胃がん検診13.0%、肺がん検診22.8%、大腸ガン検診17.1%、子宮がん検診14.6%、乳がん検診12.4%であるのに対し歯周疾患検診は対象年齢の3.9%です。歯周疾患検診と同じ節目検診で行われている骨粗鬆症検診の受診者数は対象が女性のみであるにもかかわらず、その受信者総数は、歯周疾患検診よりも高い状態にあります。鹿沼市の受診率は全国平均より高いと思われませんが、これからの超高齢社会、鹿沼市民ばかりでなく国民全体が8020運動をもっと知ってもらい、口腔の役割・大切さを再度認識してもらい、受診率アップを望みたいと思います。

(相馬英人 記)



**歯周疾患検診受診券**

平成19年度歯周疾患検診を実施します。  
このハガキが届いた方は、今年が対象年齢です。10年に一度の機会ですので、ぜひ受診しましょう！

実施期間 平成19年5月1日～平成19年12月25日(休診日は除く)

①対象者 鹿沼市に住所を有する男女で以下の生年月日の人。  
昭和42年4月2日～43年4月1日生まれ  
昭和32年4月2日～33年4月1日生まれ  
昭和22年4月2日～23年4月1日生まれ  
昭和12年4月2日～13年4月1日生まれ

②検診内容 歯診、歯周組織検査  
③受診方法 裏面記載の歯科医院で電話予約の上、このハガキを持って、受診してください。(記入欄の方はご遠慮ください)  
④料 金 無料(ただし、治療が必要な場合は有料)  
⑤受付時間 このハガキ、保険証(治療となつたとき必要です)

問合せ 鹿沼市保健福祉部健康課 ☎(63) 8311

**歯周疾患検診が受診できる歯科医院 (50音順)**

医療機関名	電 話	医療機関名	電 話
青木歯科医院	62-2896	相高歯科医院	62-9663
石崎歯科医院	64-5199	田島歯科医院	65-5560
石塚デンタルクリニック	65-5911	田代歯科医院	64-9229
榎井歯科医院	62-3350	田浦歯科医院	62-2636
大貫歯科医院	62-6585	中津歯科医院	65-5311
岡本歯科医院	62-2229	手塚歯科医院	65-1645
小川歯科医院	64-0869	てづか歯科クリニック	60-1500
窪田病院歯周病クリニック	65-6226	とうえい歯科医院	62-8582
金子歯科デンタルクリニック	60-1551	新島歯科医院	62-2450
川人歯科医院	76-3740	新島歯科クリニック	65-6605
川島歯科医院	62-3093	畑島歯科医院	62-3326
栗地歯科医院	62-2873	福島歯科医院	62-2218
さくち歯科医院	62-1100	みどり歯科医院	64-3355
岸野歯科医院	75-4460	村本歯科医院	62-3340
木村歯科医院	75-2233	モトジマ歯科医院	65-7700
越路歯科医院	62-2890	茂呂歯科医院	65-2545
小林歯科医院	65-5551	山本歯科医院	62-8840
駒橋歯科医院	65-3558	駒橋歯科医院	85-2319
佐川歯科医院	62-0118	こづか歯科医院	85-3747
さつきが丘鈴木産科	65-4000	中田歯科医院(西方町)	0282-91-1105
鈴木歯科医院	65-0481	西方歯科医院(西方町)	0282-92-7301

●歯周疾患ってなに？●  
歯周疾患とは、歯肉が腫れる「歯肉炎」と、歯と歯ぐきをつなぐ歯根膜や、歯を支えている歯槽骨まで炎症が及ぶ「歯周炎」を合わせた歯ぐきの病気の総称です。歯周疾患は単なる歯だけのトラブルではありません。歯と歯ぐきが健康でないとい食べの楽しみが減ってしまいます。さらに、胃腸障害や肩こり、頭痛、心臓や腎臓に炎症を起こすなど、全身の病気を引き起こすこともあるのです。早期発見・早期予防が大切です。

## “楽しく学ぶ「親子むし歯予防教室」”の立ち上げと現在について

私が上都賀歯科医師会に入会したのが昭和46年です。「親子むし歯予防教室」は以前フッ素イオン導入という名前で昭和50年頃立ち上げたのではないかと思います。私は入会間もない時でしたのでくわしい話はわかりませんが、昭和50年代は小児のムシ歯の全盛期で毎日、診療所では小児の治療に追われていた状態でした。この頃から予防歯科という事がさげばれ治療だけでは一向にムシ歯は減らず何とか予防の啓蒙をしなければという事で始められました。

最初の頃は県歯科医師会よりフッ素イオン導入器を借りて実施していました。システムも今実施しているシステムに近いものでスタートしていました。小学1、2年生を対象に歯磨き指導→フッ素イオン導入、親への映画等による衛生教育、歯の相談コーナー、展示パネル等、歯科医師、歯科衛生士、アシスタント、養護教諭等の協力で実施していました。最初の頃は中央小の体育館を借り、多い時で1,000名を超えた時もあり会場整理に追われていた記憶があります。その時行政の協力も得られ、会場は市役所の保健センターに移り今の情報センターと移行してきました。そして情報化社会になってくるにしたがって参加児童は徐々に減少し、最初の小1、2年生主体から幼稚園の年長組も参加する様になり現在に至っています。時代は巡り現在では高齢化社会が進み、反面出生率が低下の一途をたどり少子化社会に突入し、小児のムシ歯も減少傾向となってきました、反面歯周病の年齢がどんどん下がってきて厚労省の統計でも8～10才くらいから歯肉の状態の悪い学童が増加傾向になってきました。

これからムシ歯予防と共に歯周病対策が必要となってくるのではないかと思います。

(金子智英 記)





## 各種検診・2才児教室・新米パパママ学級について

乳幼児の健康は地域社会の環境衛生・経済・保健医療活動・医療水準を反映すると言われている。わが国の乳幼児死亡率は大正時代までは150以上であったが、昭和35年には30.7となり世界に例のない速さで低下していった。(昭和56年10.0、平成18年2.6、1000人あたりの1年間の死亡数)

時を同じくした昭和36年、3歳児健康診査に歯科検診が導入された。留まらない齲蝕の低年齢化の中で、昭和52年には1歳6ヵ月歯科健康診査が開始された。本会も市町村で行われる地域歯科に携わるようになり、以降乳幼児齲蝕は減少へと流れを変え、また様々な変貌を遂げていった。

齲蝕アリ・ナシのみの検診から、歯式の記述に変わり、検診のみならず個々への指導も加わる様になった。ライフステージの中で生後からの啓蒙等の重要性も考え、鹿沼市では昭和48年より妊婦教室において講話と衛生指導も行う様になった。

糖類が容易に子供たちの口に入るようになってくると、鹿沼市において10%未満である1.6歳児の齲蝕罹患率は3歳までに60%を大きく超えるといった状態になった。そこで食育も含めた健全な成長と歯の健康を目指し、平成9年度より2歳児教室を開始し、齲蝕罹患防止と健全永久歯列へと正しく導く様な働きを進めていった。結果、開始当初平成9年の3歳児罹患率50.3%が平成20年度には、30.1%と大きな減少を見せた。成果の表れと自負するところもあるが、この教室は希望者のみの為、全ての対象者へのコンタクトが出来ていないのもまた事実である。更なる乳幼児の健康の為にも、啓蒙法を考えていく必要があると思う。加えて、じっとしてられない乳幼児と共に、なかなか集中できず、でも何かを得たいと熱心に参加している保護者に、1つでも心に残る動機づけを与え、自宅に帰してあげたいとも考える。我々歯科医師も治療以外の技量も要求されているなど、縦横無尽に走り回る2歳児を見つめながら思う事もしばしば。時代の変化である。

変化は至る所で感じ取れる。一言で言うと幼児はとてもキレイになった。口腔内はもちろんのこと、以前は検診時汚れた顔のままであったり、青鼻をたらし、頬がアカギレの様にひび割れているといった子どもは普通に見られた。いまは皆無に等しく、外見全てを含めて実にこざれいといった印象がある。変化は子どもだけではない。重い体を抱えながら独りで参加していた妊婦さん。以前は「妊婦教室」と言っていたが、現在では「新米パパママ学級」と名称が変更、その名の通りご主人同伴参加が大変増えている。確かに育児は互いに協力するもの、ご主人は妊婦体験などを行い妊婦の苦勞を共感したりと、良い効果を感じ取れる。口腔清掃に至っては、周りを気にする事なく顔が付くほど近づいて染赤された歯垢をお互いに確認する姿を見ると、微笑ましく又、大変関心が高く良い事と思いつつも時の経過と時代の変化を感じずにはいられないこの頃である。

我々上都賀歯科医師会も、社会と医療の変化を敏感に感じ取り、柔軟に対応し多くのニーズに応えられる様日々努力し地域の公衆衛生向上に協力していきたいと思う。

最後に永い間、鹿沼市の歯科検診、講話などに歯科衛生士としてご協力いただいた、上都賀衛生士会の皆様に感謝します。

(相馬英人 記)

## よい歯のコンクールについて

1958年（昭和33年）「歯の衛生週間」（毎年6月4日～10日までの1週間）が、厚生省（現厚生労働省）、文部省（現文部科学省）、日本歯科医師会により実施された。これに伴い、歯の衛生週間に行う行事として、全国的に「良い歯のコンクール」が開始されるようになった。

栃木県歯科医師会は昭和36年に初めて全国大会に応募、当初は県全体で数点の応募であった。

上都賀歯科医師会でも歯科医師会の主催事業に鹿沼市・旧栗野町・西方町教委が共催して昭和52年より良い歯のコンクールを開催し、現在に至っている。毎年春に各教委と行う図画・ポスター、作文、標語の審査会は小中学生の伸び盛りの勢いと、若々しい自由な感性に溢れた作品に囲まれ、おおいに悩まされるところではあるが、審査に関わる我々の心の栄養剤にもなっている。

別表のように上都賀歯科医師会からの作品は毎年のように県の特選に選ばれるレベルの高いものが多い。特に図画・ポスターコンクール（日本学校歯科医会主催）では平成2年、3年と最優秀賞、4年には優秀賞を受賞。3年間で2年連続の日本一とそれに準ずる成績に輝く快挙をなしとげた。各教委のご協力と微力ながら我々歯科医師会員の地道な啓蒙活動、何より上都賀の子供たちの底力を誇らしく思うところである。

毎年入選した図画・ポスターは「母と子のむし歯予防教室」に展示され、むし歯予防の啓蒙普及に役立っている。

近年、作品の応募数が減少してきている。少子高齢化ということをやむを得ないところもあるだろうが、歯科医師会として学校、教委、そして子供たちに働きかけ、たくさん作品で我々大人の堅い頭を楽しく悩ましてほしいところである。

年 度	図画・ポスター	作 文	標 語	備 考
昭和52年度	鹿沼市立南押原小学校 1年 あかはねいさむ			上都賀歯科医師会参加
昭和54年度			鹿沼市立菊沢東小学校 2年 よしざわえみ	
昭和57年度	鹿沼市立南押原小学校 1年 橋本 貴宏		鹿沼市立榎木小学校 3年 渡辺 昌子	
昭和60年度	鹿沼市立北中学校 2年 斎藤 裕子		鹿沼市立北小学校 5年 古沢 緑	
昭和61年度	鹿沼市立北中学校 2年 山田 範恵		栗野町立清洲第二小学校 1年 益子 孝宏 鹿沼市立南押原中学校 1年 鈴木 道子	
平成2年度	鹿沼市立中央小学校 6年 松崎 友香	栗野町立栗野第二小学校 6年 岩出 龍彦 鹿沼市立南押原中学校 3年 大岡佐栄子		歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール（日本学校歯科医会主催）において鹿沼市立中央小学校 6年 松崎由香さんの作品は、最優秀賞受賞
平成3年度	鹿沼市立南押原小学校 3年 鈴木 紅美		栗野町立清洲第一小学校 6年 関口万記子	歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール（日本学校歯科医会主催）において鹿沼市立南押原小学校 3年 鈴木紅美さんの作品は、最優秀賞受賞
平成4年度	栗野町立栗野第二小学校 6年 畠山 直子	鹿沼市立北押原小学校 6年 田野井文恵		優秀賞
平成5年度	鹿沼市立北小学校 2年 高田 勝也 鹿沼市立北中学校 2年 高畑 博子			
平成7年度			鹿沼市立菊沢東小学校 1年 小川 歩夢 栗野町立栗野中学校 1年 鈴木 皓介	
平成8年度	鹿沼市立東小学校 5年 石川 諒子	鹿沼市立菊沢東小学校 3年 大出 由貴		
平成9年度		鹿沼市立東小学校 3年 加藤みどり		
平成10年度	栗野町立栗野第二小学校 6年 中尾 周平			
平成12年度	鹿沼市立北押原小学校 6年 岩瀬 裕美			
平成13年度	鹿沼市立板荷小学校 6年 船生 智子			
平成14年度	鹿沼市立西中学校 2年 倉島 望		西方町立西方中学校 3年 出井真記子	
平成16年度	鹿沼市立東中学校 3年 近藤 祐紀		鹿沼市立中央小学校 2年 大野 宝音	
平成17年度	鹿沼市立津田小学校 6年 田中 理那 鹿沼市立北犬飼中学校 3年 湯澤奈乙美		栗野町立清洲第一小学校 6年 寺内 直緒	
平成18年度	鹿沼市立清洲第二小学校 2年 齋藤 瑞生 鹿沼市立西中学校 3年 山名 咲穂			

（福島隆夫 記）

## 警察官受診優先システムの立ち上げについて

平成4年2月24日に鹿沼地区歯科医師警察連絡会が発足したが、以来、警察官は忙しくて、歯が痛くてもなかなか歯科医院を受診することが出来ないとの話を度々伺っていた。

そこで鹿沼警察署員にアンケートを取ったところ受診の妨げとなる最大の要因は警察官ならではの不規則な勤務時間によるものであることが分かった。この問題を改善するため、平成19年11月8日の第17回鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会において「警察官対象の受診優先システムについて承認を求める件」が上程、可決された。これを受けて本会会員の承諾を得るため平成19年11月22日に上都賀歯科医師会臨時総会を開催し、同議案を上程、可決された。

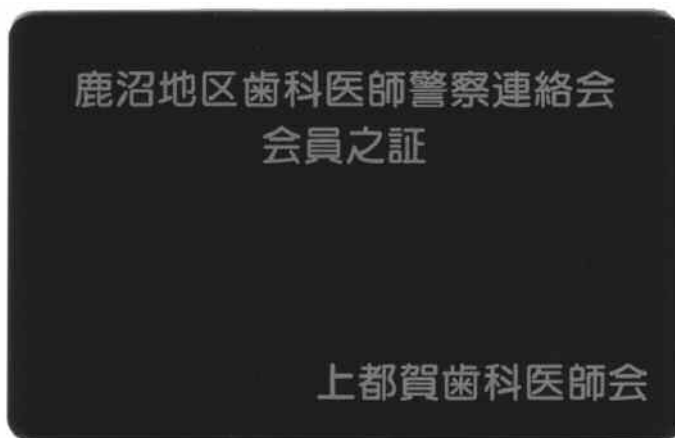
その為に『鹿沼地区歯科医師警察連絡会 会員之証』を作製し、鹿沼警察署員全員に配布し、日頃多忙な警察官に積極的な受診を促し、早期治療や予防への啓蒙を図る事とした。

またこのシステムが実現すると、警察官の受診機会増のみならず我々にとっても潜在患者の獲得や暴力団等の犯罪情報の周知といったメリットがあり、また非会員との峻別化も図れるものとする。

平成20年1月31日に鹿沼警察署署長室において交付式を行い、佐川会長から渡辺警察署署長に『鹿沼地区歯科医師警察連絡会 会員之証』が手渡された。 (田代高志 記)

参考資料 ・ 交付式写真

・ 会員之証 (表面)



## 鹿沼地区歯科医師警察連絡会について

---

「鹿沼地区歯科医師警察連絡会」は、上都賀歯科医師会と鹿沼警察署の厳密な連絡により相互に協力し、よって地域における事件・事故及び災害発生時の警察への協力体制の確立とその解決に寄与することを目的に、平成4年2月24日に設立された。

国家の法的秩序の維持、警察権の適切な運用には科学的根拠となる法医学は欠かせないものだが、その中でも、「個人識別」に関しては「法歯学」に基づく手法が時間的、経済的にもっとも優れた方法である。よって、我々歯科医師が法歯学を必修科目として学ぶということは、警察業務への協力を求める国家の要請でもあり社会的責務でもある。

本県における法歯学的協力の経緯を遡ると、長年にわたり個人による個別対応に頼っていたが、昭和37年に県歯科医師会有志と県警鑑識課によって「栃木県法医学談話会」が設立された事により協力の組織化が始められた。この談話会メンバーにより昭和55年11月20日の川治温泉プリンス火災事件での44焼死体すべての個人識別、そして昭和60年8月12日の日航123便墜落事故での身元確認作業への協力などが行われている。520名の死者を超えたこの大規模事故は日本中に大きな衝撃を与え、これに対応した群馬県歯科医師会の活動を教訓に全国的に警察協力会が作られ始めた。本県においても昭和47年11月に発足していた「警察医会」から分離する形で昭和61年8月「警察歯科医部会」を発足させた。（その後平成7年10月に「栃木県歯科医師会警察協力会」と名称を変更し現在に至る）

当支部においては、昭和62年7月19日に上記「警察歯科医部会」主催にて行われた東京歯科大学鈴木和男教授による「大規模災害時における法歯学の役割」という講演を契機に支部としての対応が検討されはじめた。この頃、鹿沼において身元確認事案に対する出動要請が続いたこともあり、実際の協力活動においては「現場」である地元の歯科医師会と警察署の人的交流が最も重要であるという認識に至り「地域単位での協力会」を模索し始めた。しかし、この「地域単位での協力会」というものは全国にも例が無く、警察側の理解を得るまでに多くの時間を要することとなったが粘り強くその重要性を説き、平成3年11月ついに柏倉嘉彦鹿沼警察署長、小林 修刑事課長の賛同を得ることに成功、平成4年2月24日鹿沼地区歯科医師警察連絡会設立総会を迎える運びとなった。設立記念講演には東京歯科大学法歯学教室主任教授鈴木和男先生をお招きし“歯科的身元確認について”というテーマでご講演いただいた。（余談ではあるが、鈴木教授は法医学会最重鎮の一人であり、来場に際し警視庁のヘリコプターにて県警本部までお越しになり、そこからパトカーの先導付きで鹿沼までいらしたそうである。これにより県警幹部にも当連絡会が広く認知されたという。）

以来今日まで毎年、役員会、総会及び外部講師による講演会、「歯科医師会側からの警察官を対象としたもの」「警察側から歯科医師を対象としたもの」の相互研修会を行っている。また、平成20年1月31日には鹿沼警察署全署員を対象に「鹿沼地区歯科医師警察連絡会会員之証」を交付し、時間的に不規則な警察官の歯科診療を促進するとともに個々の会員と警察官諸氏とのコミュニケーション向上を促すなど、全国的にも稀有な「地域単位での連絡会」はさらなる発展をみせている。

（鈴木定幸 記）

## 鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会特別講演会一覧

日 時	講師・テーマ
第1回 平成4年2月24日(月)PM3:00	東京歯科大学 法歯学教室主任教授 鈴木和男先生 「歯科的身元確認について」
第2回 平成4年10月31日(土)PM3:00	東京歯科大学 名誉教授 鈴木和男先生 「法歯学の現場」
第3回 平成5年11月12日(金)PM4:30	東京歯科大学 名誉教授 鈴木和男先生 「死体に歯あり」
第4回 平成6年11月15日(火)PM4:00	獨協医科大学 法医学教室 助教授 高橋雅典先生 「法医学及び捜査における歯科医学とその実際」
第5回 平成7年11月15日(水)PM4:00	東京歯科大学 特任教授 鈴木和男先生 「死体に歯あり」
第6回 平成8年11月8日(金)PM3:00	東京歯科大学 特任教授 鈴木和男先生 「人の命」
第7回 平成9年11月13日(金)PM3:00	獨協医科大学 法医学教室 助教授 高橋雅典先生 「法医学及び捜査における歯科医学とその実際」-最近のDNA鑑定について-
第8回 平成10年11月12日(木)PM3:00	獨協医科大学 法医学教室 助教授 高橋雅典先生 「法医学及び捜査における歯科」-最近の事例を中心に-
第9回 平成11年11月11日(木)PM3:00	東京歯科大学 法歯学教室 特任教授 鈴木和男先生 「人の命の大切さ」
第10回 平成12年11月29日(水)PM3:00	獨協医科大学 法医学教室 助教授 高橋雅典先生 「法医学における個人識別」-その方法のあれこれ-
第11回 平成13年11月14日(水)PM3:00	元東京都監察医務院長 上野正彦先生 「逆さの視点」-死から生を見る-
第12回 平成14年11月7日(木)PM3:00	栃木県カウンセリングセンター所長 日野宜千先生 「異常心理学について」-人間の心の光と闇-
第13回 平成15年11月13日(木)PM3:00	元東京都監察医務院長・医学博士 上野正彦先生 「逆さの視点 PartII」-死から生を見る-
第14回 平成16年11月18日(木)PM3:00	獨協医科大学 医学部法医学教室 助教授 高橋雅典先生 「身元確認における歯科鑑定の意義」-歯科所見かDNAか-
第15回 平成17年11月9日(水)PM3:00	上智大学 名誉教授 福島章先生 「少年犯罪の変化とその背景」
第16回 平成18年11月9日(木)PM3:00	東京工業大学 健康管理センター 教授 影山任佐先生 「空虚な自己の時代とのび太症候群」
第17回 平成19年11月8日(木)PM4:00	国家公安委員会委員・総合研究大学院大学教授 長谷川真理子先生 「日本の殺人:戦後50年の変化」-人はなぜ人を殺すのか-
第18回 平成20年11月13日(木)PM3:00	帝塚山学院大学 人間文化学部 教授 小田晋先生 「現代の犯罪とプロファイリング」
第19回 平成21年11月11日(水)PM3:00	東京歯科大学 法歯学講座 准教授 花岡洋一先生 「歯科的個人識別」-その落とし穴と最新技術-

## 県央四都市歯科医師会合同学術研修会の歩みについて

〈栃木県歯科医師会共催県央4支部合同学術研修会について〉

生涯研修制度の声が聴こえて、いよいよ実施段階かといった時代背景の中、栃木県内においても栃歯学会や各歯科医師会の研修会のみならず、ブロックによる研修会が産声を上げた。即ち、会員の資質並びに医療技術の向上を目的に3つのブロック（県南4支部、塩那3支部、宇都宮、上都賀、今市3支部）において開催され、当該地区においては昭和59年より、そして、3年目（昭和61年）には芳賀支部が加わり県央4支部合同学術研修会として現在に至っている。

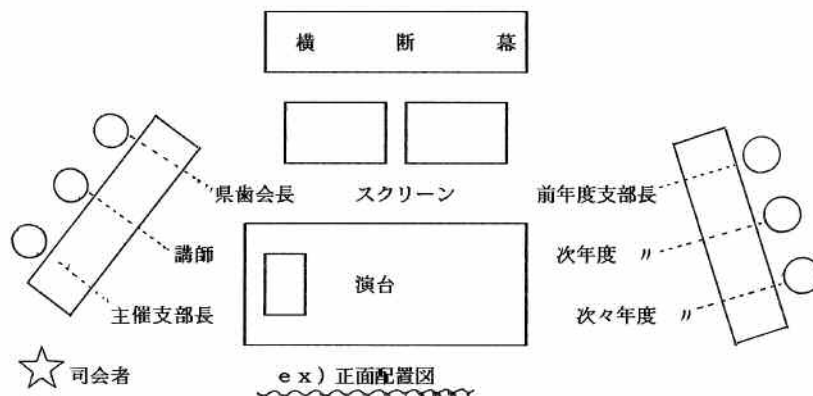
尚、県央4支部では打ち合わせ会を含めて、平成元年より運営マニュアルを作成し、要項、規定、工程表、手続き要覧、タイムスケジュール等、27回目を迎えた平成22年の研修会においても粛々と実施されている。

何れにしても、唯一の資本である学術面における装備充実を図ることが最大の目的ではあるが、各支部間の協調融和を推進し、ひいては歯科界の発展に寄与したいものである。

ex) タイムスケジュール例

### 栃木県歯科医師会共催県央4支部合同学術研修会タイムスケジュール例

1、研修会（pm1:00開会として）		
am 11:00	当番支部準備	
pm 12:00	役員集合	
12:30	受付（各支部毎に設ける）	
1:00	開会（司会者発声）	
	開会の辞	前年度当番支部長
	主催者挨拶	本年度 "
	来賓挨拶	県歯会長
	講師紹介	次年度当番支部長
1:15	研修	
3:00	コーヒーブレイク	
3:15	研修	
4:30	質疑応答	
4:50	閉会の辞（謝辞）	次々年度当番支部長



2、懇親会		
pm 5:00	閉会の辞	本年度当番支部長
	来賓挨拶	県歯会長
	講師挨拶	講師
	乾杯	前年度当番支部長
7:00	閉会の辞	次年度 "

(佐川徹三 記)

県央四郡市歯科医師会合同学術研修会 一覧 No.1

回	担 当	年 月 日	場 所	テ ー マ	講 師
1	今 市 (三支部)	S 59年10月7日	鬼怒川温泉 松 々	コーラスクローネについて	日本歯科大学 補綴学第二講座 助教授 稲 葉 繁 先生
2	上都賀 (三支部)	S 60年6月30日	鹿沼市 ハッピー会館	総義歯におけるオクルージョンについて	阿部晴彦総義歯研究所 所長 阿 部 晴 彦 先生
3	宇都宮市	S 61年7月20日	宇都宮市 新レニューイタ	歯科治療に伴う合併症と医事紛争	東京医科大学 麻酔学教室 教授 久 保 田 康 耶 先生
4	芳 賀	S 62年7月12日	真岡市 青年婦人会館	口腔領域に現れる症状の診断を中心に	日本歯科大学 新潟歯学部 教授 西 村 恒 一 先生
5	今 市	S 63年9月23日	今市市 木村屋ホテル	ペリオの審査・診断を中心として	日本歯科大学 助教授 岡 本 浩 先生
6	上都賀	H 1年9月15日	鹿沼市 榎木厚生 年金休暇センター	最近の小児歯科の動向について	藤田学園保健衛生大学医学部歯科 口腔外科助教授 桑原未代子 先生
7	宇都宮市	H 2年9月9日	宇都宮市 セリアー 平安	歯内療法最新の情報について	日本大学 歯学部 教授 齊 藤 毅 先生
8	芳 賀	H 3年8月25日	真岡市 青年婦人会館	歯冠修復(充填)学最近の研究から	東北大学 教授 奥 田 禮 一 先生
9	今 市	H 4年9月15日	今市市 木村屋ホテル	日常臨床における有歯顎の咬合の与え方	日本歯科大学 教授 小 林 義 典 先生
10	上都賀	H 5年9月26日	鹿沼市 榎木厚生 年金休暇センター	歯科医療費の現状と歯科界の将来展望	京都大学 経済学部 教授 西 村 周 三 先生
11	宇都宮市	H 6年9月24日	宇都宮市 新レニューイタ	歯科医療におけるインフェクション コントロールについて	神奈川県立こども医療センター 歯科医師 池 田 正 一 先生
12	芳 賀	H 7年9月15日	真岡市 ファンパル 静風	顎関節症への対応について ～ その病因から治療まで ～	東京慈恵会医科大学 助教授 杉 崎 正 志 先生
13	今 市	H 8年8月25日	宇都宮市 新レニューイタ	日常臨床における顎関節症の診断と治療	日本歯科大学 補綴学教室 教授 小 林 義 典 先生

県央四郡市歯科医師会合同学術研修会 一覧 No.2

回	担 当	年 月 日	場 所	テ ー マ	講 師
14	上都賀	H 9年9月28日	鹿沼市 榎木厚生 年金休暇センター	歯科界の今後の動向について	野村総合研究所 医療・福祉研究室 室長 宮 崎 慶 三 先生
15	宇都宮市	H 10年7月5日	宇都宮市 グランドホテル	歯科医学から宇宙医学へのアプローチ	神奈川歯科大学 放射線学教室 教授 鹿 島 勇 先生
16	芳 賀	H 11年9月26日	真岡市 ファンパル 静風	より確かな科学的根拠に基づいた補綴治療 を求めて - 義歯やインプラントをめぐる 最新の動向 -	広島大学 歯学部 補綴哲学第一講座 教授 赤 川 安 正 先生
17	今 市	H 12年9月15日	宇都宮市 新レニューイタ	逆さの視点 - 死 から 生 を 見 る -	元東京監察医務院 院長 上 野 正 彦 先生
18	上都賀	H 13年10月7日	鹿沼市 榎木厚生 年金休暇センター	日本人の清潔がアブナイ - アトピーからO157まで -	東京医科歯科大学 医学部 教授 藤 田 紘 一 郎 先生
19	宇都宮市	H 14年9月8日	宇都宮市 新レニューイタ	歯周治療の現状と未来 臨床家として明日を拓くための歯周治療 歯周治療とSPT	日本大学歯学部保存学教室歯周病学 講座教授 伊 藤 公 一 先生 宇都宮市歯科医師会 開業医 阿 久 津 伸 明 先生 宇都宮市歯科医師会 開業医 藤 橋 弘 先生
20	芳 賀	H 15年9月7日	宇都宮市 新レニューイタ	矯正歯科における診断と治療の実際	北海道医療大学歯学部歯科矯正学 講座教授 溝 口 到 先生
21	今 市	H 16年9月5日	宇都宮市 新レニューイタ	歯周治療の新しい考え方 - 歯肉ポケット (歯周病)と全身疾患の関わり -	奥羽大学 歯学部 病院 教授 岡 本 浩 先生
22	上都賀	H 17年9月4日	鹿沼市 ウェルサンピア榎木	咬合・咀嚼が削る健康長寿	日本歯科大学歯学部歯科補綴学第一 講座教授 小 林 義 典 先生
23	宇都宮市	H 18年9月3日	宇都宮市 新レニューイタ	歯から読み解く健康長寿 - パイオフィルム除去の意義と術式 -	国立保健医療科学院 口腔保健部 部長 花 田 信 弘 先生
24	芳 賀	H 19年9月2日	宇都宮市 新レニューイタ	命をねらう歯周病 - 歯周病と全身疾患と の関わり。全身の健康は口の中から -	日本歯科大学生命歯学部歯周病学 講座教授 沼 部 幸 博 先生
25	今 市	H 20年9月7日	宇都宮市 新レニューイタ	ニーズに応える新世代接着修復 - MIとエビデンスを活かして -	日本歯科大学生命歯学部歯科保存学 講座教授 奈 良 陽 一 郎 先生

県央四郡市歯科医師会合同学術研修会 一覧 No.3

回	担 当	年 月 日	場 所	テ ー マ	講 師
26	上都賀	H 21年9月6日	鹿沼市 ウェルサンピア榎木	口腔粘膜疾患への対応、口腔がんを 見落とさないために	東京歯科大学 オーラルメディスン ・口腔外科学講座 主任教授 山 根 源 之 先生
27	宇都宮市	H 22年9月5日	宇都宮市 新レニューイタ	歯科臨床における知っておきたい咬合の基本 - シークエンシャル咬合から咬み合わせリ エゾン診療科で患者が訴える咬合まで -	神奈川歯科大学 口腔機能修復科学 講座歯科補綴学分野診療科教授 附属病院咬み合わせリ診療科教授 玉 置 勝 司 先生

## 医政問題「政治について思うこと」

---

昭和62年9月13日に鹿沼市議に当選以来22年の歳月が経過をしました。その間市議4期県議2期をつとめさせていただいておりますが鹿沼市や周りを取り巻く環境がこの間めまぐるしく変化をしており、あっという間に歳月が経過したように思います。鹿沼市ではこの間市長が5人就任しており、それぞれの方々と色々な取り組みがありました。私は歯科医になり足利の吉谷先生の歯科医院に勤務した事が政治家と歯科医師の二足のわらじで四半世紀に及ぶ結果になってしまったのかなと思っています。吉谷先生が県議に初当選したときが勤務の始まりでその当時より先生から政治の話や面白さを聞かされているうちになんとなく興味を抱くようになってしまったのかなと思っています。そして鹿沼に帰ると吉谷先生の同期の新井先生が父との関係で頻繁にお会いする機会があり、その当時衆議院の渡辺美智雄先生の選挙を手伝っているうちにとうとうこの道に入ってしまったました。多くの皆様にお世話になり初当選をさせていただいた感激は今でも深く心に刻まれています。その当時は歯科を取り巻く環境は今のようにならぬままに歯科医師過剰のような状況にはなっていませんでしたが、将来は必ず禍根となるであろうと予想されるものでありました。ただ医師としての格差が歴然となっていたのは事実でその格差の是正のために市議会議員としての最初の歯科界とのつながりは学校歯科医の報酬の引き上げであったと記憶しています。その当時は市の財政も今のように逼迫している時代ではなく、何回かの折衝のうちで引き上げに成功したのを覚えています。その結果を見て父がその当時地区の薬剤師会の責任者だった為こちらのほうも同じように引き上げてほしいとの話があり、まあまあ線に落ち着いた事も記憶しています。そして当時は街の中の整備が他市と比較して相当遅れていましたので区画整理事業に随分と力を注いだつもりです。今は整然とした町並みになっていますが当時は細い道が多数入り込んでいて、ある地域では話が始まってから数十年が経過をしている地域がありました。議員になるといろいろな役職がありますが、私は当時は都市計画一本に絞ってその事業の推進に努力をしたのを覚えています。全くの分野違いで苦労はありましたが十年以上の時間はかかりましたが何とか形になったと思います。都市計画審議会の会長に就任してから御成橋陸町地区の区画整理、下横仲町地区、貝島西地区、まだ完成していませんが新鹿沼駅西口地区の計画決定と実施に至る事が出来ました。その間ある地域の区画整理に携わると必ず落選するといわれる地域もあり若かったせいもありますがそんなジメジメに挑戦したのも今になってはいい思い出ではないかと思っています。その後県議会議員の選挙に出る機会に恵まれ、会の多くの先生方にお世話になり当選する事が出来ました。県議会には多くの先生方がおられますが医療関係に直接従事している議員は私ひとりという事で、歯科医療問題を中心に医療問題全般について係わるようになりました。県の歯科医師会の顧問に就任させていただき、会長をはじめ役員の方からご指導をいただきながら県当局とのやり取りをする立場になりました。会館の新築問題では県の意向と県歯の考え方の相違により大変苦勞しました。当時の平池議長には十分な根回しをしていたのですが県歯の新年会で議長が突然補助額について言明されたときは大変でした。議会内のコンセンサスはすでに取りついていたのですがまだ県歯の根回しは済んでおらず当時の新井会長に怒られた思い出もあります。議会の質問は事前に会長の了解を経るよう心がけたのもこんな事があったのが原因になってるのかなと思います。具体的に形になったものは、児童虐待初期対応ガイドの作成、誤嚥性肺炎防止のパンフレットの作成などと思います。また肢体不自由児の診療が赤字の状態であることが長年の懸案事項でありましたが今年度の予算編成の中で解決する事が出来ました。会とは直接関係ありませんが医療関係では例えば県北に医療福祉大がありますが薬学部の新設の際に県は10億円の補助を何の条件も付けずに出そうとしたので



---

委員会で待ったをかけて10億円を補助する代わりに入学試験の時に県民枠を作って県民を優遇する措置が出来ました。また足利市に怪しい薬科大が計画として持ち上がり県が30億円、足利市が10億円の補助を出す直前でその計画があまりにも出たら目な事をあばき即刻中止に追い込むことが出来ました。そして柴田会長の時代になり県に対して一段の歯科医療に対する理解を深めていただく事、具体的には歯科検診の充実、県民の歯を守る条例の制定に向けて努力をしています。今後とも微力ではありますが歯科界の発展のために努力していこうと考えています。

(栃木県議会議員、上都賀歯科医師会医政顧問 小林幹夫 記)

PS. 県歯柴田会長と小林先生の強力な連携のもと、自民党歯科保健議員連盟のご尽力により、12月14日(火)栃木県議会において、議員提案の「県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」が全会一致で可決されました。

## 栃木県歯科医師会役職・各種委員

---

明治41年10月27日

県歯会長 大根田國吉  
郡部理事 小野重三郎

昭和8年3月25日

日歯議員（現代議員） 岡本 英忠

大正6年4月14日

県歯会長 大垣鈴次郎  
郡部理事 駒橋 寅春

昭和9年3月20日

県 歯 会 長 星野 幸治  
郡 部 理 事 橋口 近義  
健康保険部監事 駒橋 寅春

大正8年4月20日

県歯会長 小野重三郎  
郡部理事 駒橋 寅春

昭和11年3月26日

県歯会長 黒崎 博  
郡部理事 金子 弁明

大正10年3月20日

県歯会長 椎貝 敏郎  
郡部理事 湯沢菊四郎

昭和13年3月23日

県歯会長 黒崎 博  
郡部理事 金子 弁明

大正14年4月19日

支 部 長 駒橋 寅春  
県歯会長 天沼浦之助

昭和8年～昭和12年3月31日

日歯議員 岡本 英忠 辞任

大正15年6月15日

県 歯 会 長 宮原武二郎  
郡部評議員 岡本 英忠

昭和13年8月15日

支 部 長 金子 弁明  
県歯会長 黒崎 博  
郡部理事 金子 弁明

大正15年7月6日

県歯会長 星野 幸治

昭和15年3月24日

支 部 長 岡本 英忠  
県歯会長 黒崎 博  
郡部理事 金子 弁明

昭和5年3月28日

県 歯 会 長 椎貝 敏郎  
郡 部 理 事 金子 弁明  
健康保険部審査員 駒橋 寅春 湯沢菊四郎

昭和16年4月～

日歯議員 駒橋 寅春

昭和7年3月25日

県歯会長 星野 幸治  
郡部理事 湯沢菊四郎

昭和17年3月30日

支 部 長 岡本 英忠  
 県 歯 会 長 椎貝 敏郎  
 郡 部 理 事 岡本 英忠  
 健康保険部審査員 金子 弁明 田野井重男  
 地 方 協 議 員 駒橋 寅春

昭和17年11月24日

支 部 長 新島 貫一  
 県歯会長 椎貝 敏郎  
 県歯理事 岡本 英忠

昭和18年4月20日

支 部 長 新島 貫一  
 県歯会長 椎貝 敏郎  
 県歯理事 岡本 英忠

昭和20年12月30日

支 部 長 新島 貫一  
 県歯会長 黒崎 博  
 県歯理事 岡本 英忠 田野井重男

昭和21年3月29日

支 部 長 茂呂 登  
 県歯会長 黒崎 博  
 県歯理事 川島信四郎 田野井重男

昭和22年10月～

代 議 員 金子 弁明 手塚筆四郎

昭和22年3月29日

支 部 長 茂呂 登  
 県 歯 会 長 黒崎 博  
 県歯副会長 駒橋 寅春  
 県 歯 理 事 新島 貫一

昭和22年11月15日～

代 議 員 坂口 孝 手塚筆四郎

昭和23年3月25日

支 部 長 茂呂 登  
 県 歯 会 長 宮川 勇 (昭和22年11月1日より)  
 県歯副会長 湯沢菊四郎  
 代 議 員 茂呂 登 田野井重男(議長)

昭和26年2月3日

支 部 長 青木達三郎 (昭和25年4月1日より)  
 県 歯 会 長 築瀬 眞策 (昭和25年12月10日より)  
 県歯副会長 茂呂 登  
 代 議 員 青木達三郎 茂呂 登  
 田野井重男(議長)

昭和28年3月29日

支 部 長 金子 弁明  
 県 歯 会 長 築瀬 眞策  
 県歯副会長 茂呂 登  
 代 議 員 山崎 正 金子 弁明  
 田野井重男(議長)

昭和30年4月

支 部 長 福島 茂  
 県 歯 会 長 築瀬 眞策  
 県 歯 副 会 長 茂呂 登  
 代 議 員 石川 亘  
 予 備 代 議 員 福田 利示  
 社会保険部委員 青木達三郎  
 裁 定 委 員 会 岡本 英忠  
 公衆衛生委員会 福田 利示  
 税 務 委 員 会 駒橋 寅春  
 学校歯科委員会 茂呂 登(副委員長)

昭和32年4月

支 部 長 福田 利示  
 県 歯 会 長 築瀬 眞策  
 県 歯 副 会 長 茂呂 登  
 代 議 員 石川 亘 福田 利示  
 予 備 代 議 員 越路 孝七 川島光五郎  
 社会保険部委員 駒橋 秀光  
 裁 定 委 員 会 岡本 英忠  
 公衆衛生委員会 越路 孝七  
 学 術 委 員 会 川島光五郎  
 税 務 委 員 会 梅沢 明  
 学校歯科委員会 福島 茂

昭和34年4月

支 部 長 駒橋 寅春  
 県 歯 会 長 田野井重男(昭和34年11月より)  
 代 議 員 石川 亘  
 川島光五郎(昭和34年11月より)  
 予 備 代 議 員 駒橋 秀光 畑 二郎  
 国保組合会議員 石川 亘 駒橋 秀光  
 国保組合会監事 金子 弁明  
 国保組合会顧問 岡本 英忠  
 社会保険部委員 福島 茂 川島光五郎  
 公衆衛生委員会 手塚 正教  
 学 術 委 員 会 川島光五郎  
 税 務 委 員 会 梅沢 明  
 学校歯科委員会 新島 剛  
 広 報 編 集 室 駒橋 秀光

昭和36年4月

支 部 長 手塚筆四郎  
 県 歯 会 長 田野井重男  
 代 議 員 石川 亘(副議長)  
 川島光五郎  
 予 備 代 議 員 駒橋 秀光 畑 二郎  
 国保組合会監事 越路 孝七  
 国保組合会顧問 岡本 英忠  
 社会保険部委員 川島光五郎  
 公衆衛生委員会 手塚 正教  
 税 務 委 員 会 福田 利示  
 学校歯科委員会 新島 剛  
 広 報 編 集 室 駒橋 秀光  
 互 助 会 手塚筆四郎

昭和40年4月

支 部 長 青木達三郎  
 県 歯 会 長 大塚 禎  
 県 歯 副 会 長 川島光五郎(昭和40年4月～12月)  
 代 議 員 石川 亘(昭和41年3月辞任)  
 福田 利示(昭和41年7月より)  
 駒橋 秀光(昭和40年5月より)  
 予 備 代 議 員 畑 二郎  
 国保組合会監事 梅沢 明(昭和41年11月より)  
 国保組合会顧問 岡本 英忠  
 裁 定 委 員 会 鈴木 幸雄  
 公衆衛生委員会 福島 茂  
 学 術 委 員 会 越路 孝七  
 税 務 委 員 会 福田 利示  
 学校歯科委員会 越路 孝七  
 広 報 編 集 室 駒橋 秀光  
 互 助 会 青木達三郎

## 昭和42年4月

支 部 長 越路 孝七  
 県 歯 会 長 大塚 禎  
 代 議 員 川島光五郎 福田 利示  
 予 備 代 議 員 手塚 正教 新島 剛  
 国保組合会監事 梅沢 明  
 社会保険部委員 越路 孝七  
 裁 定 委 員 会 鈴木 幸雄  
 公衆衛生委員会 福島 茂  
 学 術 委 員 会 越路 孝七  
 学校歯科委員会 手塚 正教  
 選挙管理委員会 福島 茂(予備)  
 広 報 編 集 室 駒橋 秀光  
 厚 生 委 員 会 福田 利示  
 共 済 部 委 員 越路 孝七

## 昭和44年4月

支 部 長 菊地 貞造  
 県 歯 会 長 大塚 禎  
 県 歯 理 事 畑 二郎  
 代 議 員 川島光五郎(昭和45年3月15日辞任)  
 手塚 正教(昭和45年3月15日辞任)  
 国保組合会議員 越路 孝七  
 国保組合会監事 梅沢 明  
 社会保険部委員 手塚 正教  
 駒橋 秀光(昭和45年3月15日より)  
 裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
 公衆衛生委員会 新島 剛  
 学 術 委 員 会 駒橋 秀光  
 医療管理委員会 蝦原 悦郎  
 学校歯科委員会 越路 孝七  
 選挙管理委員会 福島 茂  
 広 報 編 集 室 蝦原 悦郎

## 昭和46年4月

支 部 長 菊地 貞造  
 県 歯 会 長 大塚 禎  
 県 歯 理 事 蝦原 悦郎  
 代 議 員 福田 利示 駒橋 秀光  
 予 備 代 議 員 茂呂 允  
 国保組合会議員 越路 孝七  
 国保組合会監事 梅沢 明  
 社会保険部委員 新島 剛  
 裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
 公衆衛生委員会 中条 正臣  
 村本 光(昭和47年3月19日より)  
 学 術 委 員 会 茂呂 允  
 医療管理委員会 岸野 忠明  
 税 務 委 員 会 畑 二郎  
 学校歯科委員会 越路 孝七  
 選挙管理委員会 福島 茂(副委員長)  
 広 報 編 集 室 蝦原 悦郎(次長)  
 肢体不自由児診療実行委員会  
 (昭和46年6月11日開所式、10月5日診療開始)  
 中条佐智子(副委員長)  
 梅沢 道子

昭和48年4月

支 部 長 菊地 貞造  
県 歯 会 長 大塚 禎  
県 歯 理 事 蝦原 悦郎  
代 議 員 福田 利示  
予 備 代 議 員 茂呂 允  
国保組合会議員 越路 孝七(議長)  
国保組合会監事 梅沢 明  
社会保険部委員 新島 剛  
裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
公衆衛生委員会 駒橋 秀光  
学 術 委 員 会 茂呂 允  
医 療 管 理 委 員 会 畑 二郎  
税 務 委 員 会 福田 利示  
学 校 歯 科 委 員 会 越路 孝七  
選 挙 管 理 委 員 会 福島 茂  
広 報 編 集 室 蝦原 悦郎(次長)

肢体不自由児診療実行委員会

中条佐智子(副委員長)

昭和50年4月

支 部 長 菊地 貞造  
県 歯 会 長 大塚 禎  
県 歯 理 事 蝦原 悦郎  
代 議 員 福田 利示  
予 備 代 議 員 茂呂 允  
国保組合会議員 越路 孝七  
国保組合会監事 梅沢 明  
社会保険部委員 菊地 貞造  
裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
公衆衛生委員会 茂呂 允  
学 術 委 員 会 駒橋 秀光  
医 療 管 理 委 員 会 畑 二郎  
税 務 委 員 会 鈴木 幸雄  
学 校 歯 科 委 員 会 越路 孝七  
選 挙 管 理 委 員 会 福島 茂  
広 報 編 集 室 蝦原 悦郎(次長)

肢体不自由児診療実行委員会

中条佐智子(副委員長)

金子 智英

## 昭和52年4月

支 部 長	菊地 貞造
県 歯 会 長	大塚 禎
県 歯 理 事	蝦原 悦郎
代 議 員	福田 利示
予 備 代 議 員	茂呂 允
全国歯国保組合議員	畑 二郎(昭和53年4月1日創立)
政 連 監 事	梅沢 明(昭和54年3月31日まで)
裁 定 委 員 会	中田 静嘉
公衆衛生委員会	岡本 全宏
学 術 委 員 会	駒橋 秀光
医療管理委員会	金子 智英
税 務 委 員 会	鈴木 節雄
補助者委員会	茂呂 允
保 險 委 員 会	菊地 貞造
学校歯科委員会	中田 嘉之
選挙管理委員会	福島 茂
広 報 編 集 室	蝦原 悦郎
広 報 モ ニ タ ー	岡本 全宏
肢体不自由児診療実行委員会	
	中条佐智子(副委員長)
	金子 智英

## 昭和54年4月

支 部 長	新島 剛
県 歯 会 長	大塚 禎
県 歯 常 務 理 事	蝦原 悦郎(昭和54年9月23日より)
代 議 員	福田 利示
予 備 代 議 員	手塚 正教
全国歯国保組合議員	畑 二郎
国保審査委員	手塚 正教
裁 定 委 員 会	中田 静嘉
公衆衛生委員会	岡本 全宏
学 術 委 員 会	駒橋 秀光
医療管理委員会	金子 智英
税 務 委 員 会	鈴木 節雄
補助者委員会	小高 章愛
保 險 委 員 会	新島 剛
学校歯科委員会	中田 嘉之(委員長)
選挙管理委員会	福島 茂
広 報 編 集 室	蝦原 悦郎
広 報 モ ニ タ ー	岡本 全宏
肢体不自由児診療実行委員会	
	中条佐智子(副委員長)
	金子 智英

昭和56年4月

支 部 長 新島 剛  
 県 歯 会 長 大塚 禎  
 県 歯 常 務 理 事 蝦原 悦郎  
 代 議 員 福田 利示  
                   小高 章愛  
 全国歯国保組合議員 畑 二郎  
 国 保 審 査 委 員 手塚 正教  
 政 連 青 年 部 小高 章愛  
 政 連 婦 人 部 中条佐智子  
 裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
 公衆衛生委員会 岡本 全宏  
 学 術 委 員 会 駒橋 秀光  
 医 療 管 理 委 員 会 金子 智英(副委員長)  
 税 務 委 員 会 村本 明  
 補 助 者 委 員 会 小高 章愛  
 保 険 委 員 会 新島 剛  
 学 校 歯 科 委 員 会 中田 嘉之(委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 福島 茂  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 福田 貞男  
 肢 体 不 自 由 児 診 療 実 行 委 員 会  
                   中条佐智子 金子 智英  
                   小高 章愛 越路 昭夫  
                   蝦原 公子 川島 仁一  
                   村本 明 福田 貞男  
                   小林 幹夫

昭和58年4月

支 部 長 新島 剛  
 県 歯 会 長 大塚 禎  
 県 歯 常 務 理 事 蝦原 悦郎  
 代 議 員 岡本 全宏  
                   小高 章愛  
 全国歯国保組合議員 畑 二郎  
                   小高 章愛(昭和59年4月より)  
 国 保 審 査 委 員 手塚 正教  
                   新島 剛(昭和59年12月31日より)  
 政 連 青 年 部 小高 章愛  
 政 連 婦 人 部 中条佐智子  
 裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
 公衆衛生委員会 菊地 香  
 学 術 委 員 会 佐川 徹三  
 医 療 管 理 委 員 会 小林 幹夫  
 税 務 委 員 会 村本 明  
 補 助 者 委 員 会 田辺 章  
 保 険 委 員 会 新島 剛  
 学 校 歯 科 委 員 会 中田 嘉之(委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 福島 茂  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 佐川 徹三  
 肢 体 不 自 由 児 診 療 実 行 委 員 会  
                   中条佐智子 金子 智英  
                   小高 章愛 越路 昭夫  
                   蝦原 公子 川島 仁一  
                   村本 明 小林 幹夫  
                   佐川 徹三 鈴木 節雄



## 昭和60年4月

支 部 長 岡本 全宏  
 県 歯 会 長 大塚 禎(昭和63年2月21日逝去)  
 県 歯 常 務 理 事 蝦原 悦郎  
 代 議 員 中田 嘉之 村本 明  
 全国歯国保組合議員 小高 章愛  
 国 保 審 査 委 員 新島 剛  
 政 連 青 年 部 小高 章愛  
 政 連 婦 人 部 中条佐智子  
 裁 定 委 員 会 中田 静嘉  
 公衆衛生委員会 鈴木 節雄  
 学 術 委 員 会 佐川 徹三  
 医 療 管 理 委 員 会 小林 幹夫  
 税 務 委 員 会 梅沢 富嶽  
 補 助 者 委 員 会 田辺 章  
 保 険 委 員 会 新島 剛  
 学 校 歯 科 委 員 会 菊地 均  
 選 挙 管 理 委 員 会 福島 茂  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 佐川 徹三  
 肢体不自由児診療実行委員会

中条佐智子(副委員長)

金子 智英 小高 章愛  
 越路 昭夫 蝦原 公子  
 川島 仁一 村本 明  
 齊須わか子 小林 幹夫  
 佐川 徹三 鈴木 節雄

## 昭和63年4月

支 部 長 岡本 全宏  
 県 歯 会 長 槇石 武則  
 県 歯 常 務 理 事 蝦原 悦郎  
 代 議 員 中田 嘉之 菊地 香  
 予 備 代 議 員 瓦井 昭二 田辺 章  
 全国歯国保組合栃木支部 小高 章愛(予備議員)  
 国 保 審 査 員 新島 剛  
 政 連 青 年 部 佐川 徹三 菊地 均  
 政 連 婦 人 部 高崎 道子 中条佐智子  
 裁 定 委 員 会 新島 剛  
 公衆衛生委員会 川島 仁一  
 学 術 委 員 会 新島 康夫  
 医 療 管 理 委 員 会 木村 立男  
 税 務 委 員 会 梅沢 富嶽  
 補 助 者 教 育 委 員 会 石崎 誠  
 保 険 委 員 会 岡本 全宏  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫  
 産 業 歯 科 衛 生 委 員 会 福島 隆夫  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 佐川 徹三  
 企 画 調 査 室 小高 章愛  
 診療所実行小委員会 中条佐智子 菊地 香  
 瓦井 昭二

平成3年4月

支 部 長 岡本 全宏  
 県 歯 会 長 槇石 武則  
 県 歯 常 務 理 事 蝦原 悦郎  
 県 歯 理 事 小高 章愛  
 代 議 員 瓦井 昭二 田辺 章  
 予 備 代 議 員 佐川 徹三 鈴木 節雄  
 全国歯国保組合栃木支部 岡本 全宏  
 社 保 審 査 員 村本 明  
 国 保 審 査 員 岡本 全宏  
 政 連 青 年 部 佐川 徹三 菊地 均  
 政 連 婦 人 部 高崎 道子 中条佐智子  
 裁 定 委 員 会 新島 剛  
 公 衆 衛 生 委 員 会 川島 仁一  
 学 術 委 員 会 新島 康夫  
 医 療 管 理 委 員 会 木村 立男  
 税 務 委 員 会 梅沢 富嶽  
 補 助 者 教 育 委 員 会 石崎 誠  
 保 険 委 員 会 岡本 全宏  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫  
 産 業 歯 科 衛 生 委 員 会 福島 隆夫  
 選 挙 管 理 委 員 会 福田 利示  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 菊地 均  
 企 画 調 査 室 佐川 徹三  
 診 療 所 実 行 小 委 員 会 中条佐智子 菊地 香  
 瓦井 昭二

平成6年4月

支 部 長 岡本 全宏  
 県 歯 会 長 槇石 武則  
 県 歯 副 会 長 蝦原 悦郎  
 県 歯 理 事 小高 章愛(平成7年3月31日まで)  
 代 議 員 菊地 香 鈴木 節雄  
 予 備 代 議 員 菊地 均 狐塚 行弘  
 全国歯国保組合栃木支部 岡本 全宏(運営委員)  
 社 保 審 査 員 村本 明  
 国 保 審 査 員 岡本 全宏  
 政 連 青 年 部 佐川 徹三(部長)  
 菊地 均  
 政 連 婦 人 部 高崎 道子 中条佐智子  
 裁 定 委 員 会 新島 剛  
 公 衆 衛 生 委 員 会 川島 仁一  
 学 術 委 員 会 小川 哲弥  
 医 療 管 理 委 員 会 木村 立男  
 税 務 委 員 会 梅沢 富嶽  
 補 助 者 教 育 委 員 会 相馬 英人  
 保 険 委 員 会 岡本 全宏  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫  
 産 業 歯 科 衛 生 委 員 会 福島 隆夫(副委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 福田 利示  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 大貫 真裕  
 企 画 調 査 室 佐川 徹三  
 診 療 所 実 行 小 委 員 会 中条佐智子 田代 高志  
 狐塚 行弘

## 平成9年4月

支 部 長 瓦井 昭二  
 県 歯 会 長 新井 武  
 代 議 員 菊地 均 田辺 章  
 予 備 代 議 員 田代 高志 石崎 誠  
 全国歯国保組合栃木支部  
 川島 仁一(理事)  
 瓦井 昭二(運営委員)  
 社 保 審 査 員 村本 明  
 国 保 審 査 員 狐塚 行弘  
 政 連 青 年 部 佐川 徹三(部長)  
 菊地 均  
 政 連 婦 人 部 木村佐智子(副部長)  
 高崎 道子  
 株式会社T.D.A営業担当 岡本 全宏  
 裁 定 委 員 会 畑 二郎  
 公衆衛生委員会 川島 仁一  
 学 術 委 員 会 小川 哲弥  
 医 療 管 理 委 員 会 金子 實  
 税 務 委 員 会 石沢 隆之  
 補 助 者 教 育 委 員 会 相馬 英人  
 保 険 委 員 会 瓦井 昭二 狐塚 行弘  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫(副委員長)  
 産 業 歯 科 衛 生 委 員 会 福島 隆夫(委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 新島 剛  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 大貫 真裕  
 企 画 調 査 室 佐川 徹三

## 平成12年4月

支 部 長 瓦井 昭二  
 県 歯 会 長 新井 武  
 県 歯 常 務 理 事 岡本 全宏  
 代 議 員 菊地 均 石崎 誠  
 予 備 代 議 員 田代 高志 鈴木 裕之  
 全国歯国保組合栃木支部  
 川島 仁一(理事)  
 瓦井 昭二(運営委員)  
 社 保 審 査 委 員 村本 明  
 国 保 審 査 委 員 狐塚 行弘  
 政 連 青 年 部 木村 立男(部長)  
 田代 高志  
 政 連 婦 人 部 木村佐智子 齊須わか子  
 K.K.T.D.A取締役 岡本 全宏  
 裁 定 委 員 会 畑 二郎  
 地 域 保 健 委 員 会 田辺 章  
 学 術 委 員 会 小川 哲弥  
 医 療 管 理 委 員 会 福島 隆夫  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫(副委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 新島 剛  
 保 険 研 究 相 談 室 狐塚 行弘 石崎 誠  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 大貫 真裕  
 企 画 調 査 室 佐川 徹三  
 健康センター診療所実行小委員会  
 田代 高志 鈴木 裕之

平成15年4月

支 部 長 瓦井 昭二  
 県 歯 会 長 新井 武  
 県 歯 常 務 理 事 岡本 全宏  
 県 歯 理 事 佐川 徹三(平成16年6月～)  
 代 議 員 菊地 均 鈴木 裕之  
 予 備 代 議 員 木村 立男 畑 健一  
 全国歯国保組合栃木支部  
 川島 仁一(常務)  
 瓦井 昭二(運営委員)  
 社 保 審 査 委 員 佐川 徹三(平成13年6月1日より)  
 国 保 審 査 委 員 狐塚 行弘  
 政 連 青 年 部 鈴木 裕之 畑 健一  
 政 連 婦 人 部 木村佐智子 斉須わか子  
 政 連 顧 問 小林 幹夫  
 裁 定 委 員 会 畑 二郎  
 地 域 保 健 委 員 会 金子 實  
 学 術 委 員 会 小川 哲弥  
 医 療 管 理 委 員 会 福島 隆夫  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫(委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 新島 剛  
 保 険 研 究 相 談 室 佐川 徹三 石崎 誠  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 鈴木 定幸  
 企 画 調 査 室 田代 高志  
 健 康 セ ン タ ー 診 療 所 実 行 小 委 員 会  
 相馬 英人 大貫 真裕

平成18年4月

支 部 長 佐川 徹三  
 県 歯 会 長 新井 武(平成20年8月5日逝去)  
 県 歯 常 務 理 事 瓦井 昭二  
 代 議 員 鈴木 裕之 畑 健一  
 予 備 代 議 員 相馬 英人 小川 哲弥  
 全国歯国保組合栃木支部  
 川島 仁一(常務)  
 佐川 徹三(運営委員)  
 畑 健一(平成18年6月1日より)  
 社 保 審 査 委 員 畑 健一(平成18年6月1日より)  
 国 保 審 査 委 員 鈴木 裕之  
 政 連 青 年 部 田島 雅哉 駒橋 武  
 政 連 婦 人 部 斉須わか子 蝦原 公子  
 政 連 顧 問 小林 幹夫  
 県 歯 監 事 茂呂 允  
 裁 定 委 員 会 茂呂 允  
 地 域 保 健 委 員 会 山本 浩  
 学 術 委 員 会 石沢 隆之  
 医 療 管 理 委 員 会 手塚 忠雄  
 学 校 歯 科 委 員 会 越路 昭夫(委員長)  
 選 挙 管 理 委 員 会 鈴木 節雄  
 保 険 研 究 相 談 室 田代 高志 鈴木 裕之  
 広 報 編 集 室 村本 明  
 広 報 モ ニ タ ー 鈴木 定幸  
 企 画 調 査 室 菊地 均  
 健 康 セ ン タ ー 診 療 所 実 行 小 委 員 会  
 相馬 英人 大貫 真裕

平成21年4月

支 部 長	佐川 徹三		
県 歯 会 長	柴田 勝		
県 歯 常 務 理 事	瓦井 昭二		
代 議 員	相馬 英人	小川 哲弥	
予 備 代 議 員	福島 隆夫	鈴木 定幸	
全国歯国保組合栃木支部	川島 仁一(常務)		
	佐川 徹三(運営委員)		
社 保 審 査 委 員	畑 健一		
国 保 審 査 委 員	鈴木 裕之		
政 連 青 年 部	駒橋 武	岡本 真利	
政 連 婦 人 部	蝦原 公子	斉須わか子	
政 連 顧 問	小林 幹夫		
県 歯 顧 問	小林 幹夫		
裁 定 委 員 会	茂呂 允		
地 域 保 健 委 員 会	手塚 史雄		
学 術 委 員 会	石沢 隆之		
医 療 管 理 委 員 会	手塚 忠雄		
学 校 歯 科 委 員 会	田島 雅哉		
選 挙 管 理 委 員 会	鈴木 節雄		
保 険 研 究 相 談 室	鈴木 裕之	畑 健一	
広 報 編 集 室	大貫 真裕		
広 報 モ ニ タ ー	鈴木 定幸		
企 画 調 査 室	田代 高志		
健 康 セ ン タ ー 診 療 所 実 行 小 委 員 会			
	茂呂 裕康	岡本 真利	

## 第2章

# 旅行の歩み



平成19年京都方面（利久作一重切竹花入） 村本 明 画

## 旅行の歩み

---

### 大正11年

温泉地でのスナップ写真あり

駒橋寅春、新島貫一、岡本榮忠、岸野榮七郎、中条正右衛門、市川政二、大越単

### 大正14年

- 5月14日 伊香保、榛名神社 一泊
- 15日 雨の為館林迂回を中止、前橋で関東工芸展覧会参観  
栃木駅着4時

### 大正15年

- 4月18日 丸笠氏宅
- 19日 熱海－無綿浦－十国峠－修善寺泊まり
- 20日 三保の松原－龍華寺－久能山－藤沢泊まり
- 21日 片浦江ノ島－鎌倉－長谷大仏－有楽町駅で解散  
岡本、市川、青木、中条、金子、駒橋、新島
- 10月19日 晴れ am5時半  
自動車－宇都宮駅－西那須野－塩原－乃木神社－6時帰宅

### 昭和2年

- 4月6日 丸笠氏宅
- 7日 両国－浜金谷－鋸山－誕生寺－鯛の浦－勝浦泊まり
- 8日 銚子・犬吠埼－香取神社－佐原－潮来泊
- 9日 鹿島神社－成田不動尊－丸笠宅－帰宅

### 昭和3年

- 4月19日 東山温泉泊まり
- 20日 白河南湖公園－鹿沼着

### 昭和4年

- 4月17日 東武電車－太平山－東武電車－若松楼  
駒橋、新島、岡本、青木、中条、金子、新川、安生

---

**昭和5年**

下野中央銀行休業 122円98銭の預金

11月 3分にて今宮町亀山市に売り渡し代金36円50銭入

この為この後約4年間旅行中止

**昭和9年**

5月20・21日 箱根旅行

**昭和11年**

5月25日 36型自動車－三依－田島－鶴ヶ城－東山温泉泊

26日 猪苗代湖畔－須賀川ボタン園－黒羽－米田屋（肉屋）

**昭和12年**

4月7・8日 三原山旅行

駒橋、新島、岡本、中条、金子、新川、茂呂、青木、手塚、岸野 欠席

7月7日 日中戦争始まる

9日 黒羽・花月－那珂川屋形船（鮎狩）日帰り

9月1日 国民総動員令発布

**昭和13年**

なし

**昭和14年**

4月25日 中止 旅費返戻

7月8日 国民徴用令公布

**昭和15年**

6月1日 中止 旅費返戻

9月27日 日独伊三国同盟

**昭和16年**

5月12日 中止 旅費返戻

12月8日 太平洋戦争勃発（ハワイ真珠湾攻撃）

**昭和17年**

10月10日 会費1人 1ヶ月1円

旅行費 1が月2円を廃止し1ヶ月3円会費とする



**昭和18年**

なし

**昭和19年**

なし

**昭和21年**

4月14日 金崎花見

**昭和26年**

9月22日 岩山ピクニック

**昭和27年**

11月1日 古峰ヶ原ハイキング

**昭和29年**

5月15・16日 那須旅行 温泉山楽  
社保医療講習会

**昭和30年**

6月25日 鬼怒川温泉ホテル 20名

**昭和31年**

6月18・19日 春岡荘 21名（丸笠氏を含む）

9月16日 塩原講習会

11月15日 長寿会 塩原温泉明賀屋ホテル 18名（新島貫一、駒橋寅春夫妻、手塚筆四郎、安生貢）

**昭和32年**

6月30日・7月1日

川治温泉 22名（丸笠氏を含む）

10月24・25日 鬼怒川学校歯科医大会 19名

**昭和33年**

5月26日 明生会 日光湯元南摩ホテル 22名

---

**昭和34年**

6月21・22日 塩原 明賀屋 21名 (丸笠氏含む)

**昭和35年**

3月2日 明生会 鬼怒川 あさや

6月26・27日 川治温泉ホテル 20名

**昭和36年**

6月25・26日 那須高原ホテル 22名

10月26日 明生会 川治一柳閣 新島貫一、手塚筆四郎、安生貢

**昭和37年**

7月15・16日 伊香保温泉

**昭和38年**

6月23・24日 川治温泉ホテル 23名

**昭和39年**

6月14・15日 塩原温泉 こめやホテル 19名

**昭和40年**

7月11・12日 若松エコーライン 上の山温泉 23名

8月 明生会

**昭和41年**

6月18・19日 鬼怒川温泉 星の屋 20名

**昭和42年**

6月25・26日 那須温泉 那須ホテル 13名

8月26日 明生会 塩原温泉 ホテル松屋

**昭和43年**

6月16・17日 塩原温泉ホテル 塩原ガーデン 19名

明生会 川治一柳閣

### 昭和44年

10月10日 春日ホテル  
11日 俵屋旅館 大阪歯科医学会を兼ねる

### 昭和45年

6月28・29日 予定参加者10名のため延期

### 昭和46年

7月18・19日 鬼怒川あさやホテル 18名

### 昭和47年

なし  
上都賀歯科医師会・鹿沼歯科医師会報ともに欠落

### 昭和48年

9月22・23日 日本歯科医師会総会  
団体旅行 はとバス遊覧

### 昭和49年

5月13日 鹿沼歯科医師団と上都賀歯科医師会合併  
11月24・25日 鬼怒川温泉ホテル

### 昭和57年度

昭和57年  
10月7、8日 支部旅行 鬼怒川 ホテルニュー岡部

### 昭和58年度

昭和58年  
10月5日 支部旅行 於：鬼怒川 ホテルニュー岡部  
ゴルフ 於：日光カントリークラブ

---

### 昭和59年度

支部旅行

日 時) 昭和59年12月1日(土)・2日(日)

場 所) 山梨方面 “山梨ワインの旅”

参加者) 17名

\* ストリップ劇場にて 村本 明先生を肩車 大喜び

### 昭和60年度

支部旅行

日 時) 昭和60年10月26日(土)・27日(日)

場 所) 長野県戸倉上山田方面バス旅行

26日 軽井沢・27日 横手山

参加者) 14名

### 昭和61年度

支部旅行

日 時) 昭和61年12月21日(日)・22日(月) 午後6:00

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川温泉 “あさや八番館”

参加者) 30名

来賓者) 県歯役員5名、川口助教授

### 昭和62年度

支部旅行

日 時) 昭和62年10月18日(日)・19日(月) 午前7:00

場 所) 宮城方面バス旅行

参加者) 18名

### 昭和63年度

支部旅行

日 時) 昭和63年12月18日(日)・19日(月) 午後6:00

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川温泉 “金谷ホテル”

参加者) 会員35名・来賓4名

### 平成元年度

支部旅行

日 時) 平成元年11月26日(日)・27日(月) 午前7:00出発

場 所) 山形方面バス旅行

26日「米沢ミートピア扇」・27日「西川、出羽屋」

宿泊地) 天童温泉 “滝の湯ホテル”

参加者) 16名

### 平成2年度

支部旅行

日 時) 平成2年12月2日(日)・3日(月) 午後1:00

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川グランドホテル

参加者) 27名

### 平成3年度

支部旅行

日 時) 平成3年12月1日(日)・2日(月) 午前8:00出発

場 所) 新潟方面バス旅行

1日 会津若松・2日 寺泊

夕食「行形亭」

宿泊地) 新潟市 “ホテルイタリア軒”

参加者) 20名

### 平成4年度

支部旅行

日 時) 平成4年11月29日(日)・30日(月) 午後4:00

場 所) 那須方面

宿泊地) 那須温泉 “山楽”

参加者) 22名

### 平成5年度

支部旅行

日 時) 平成5年11月28日(日)・29日(月)

場 所) 群馬方面バス旅行 “伊香保温泉”

宿泊地) 伊香保温泉 “福一”

参加者) 22名

---

### 平成6年度

支部旅行

日 時) 平成6年12月4日(日)・5日(月)

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川温泉 “あさや八番館”

参加者) 29名

### 平成7年度

支部旅行

日 時) 平成7年11月26日(日)・27日(月)

場 所) 箱根方面バス旅行

昼食 箱根 蕎麦「はつ花」

宿泊地) 奥湯河原温泉 “山翠楼”

参加者) 18名

### 平成8年度

支部旅行

日 時) 平成8年12月1日(日)・2日(月)

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川温泉 “あさや八番館”

参加者) 27名

### 平成9年度

支部旅行

日 時) 平成9年11月30日(日)・12月1日(月)

場 所) 新潟方面バス旅行

30日 会津若松・1日 会津若松

夕食 新潟古町「鍋茶屋」

宿泊地) 新潟市 “ホテルイタリア軒”

参加者) 22名

### 平成10年度

支部旅行

日 時) 平成10年11月29日(日)・30日(月) 午後6:00

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川温泉 “ホテル鬼怒川御苑”

参加者) 24名

### 平成11年度

支部旅行

日 時) 平成11年7月31日(土)・8月1日(日) 午後1:30

場 所) 東京・横浜バス旅行〔隅田川花火大会をメインとして〕

屋形船：駒形

昼食 横浜中華街「四五六菜館本館」

宿泊地) 両国パールホテル

参加者) 23名

### 平成12年度

支部旅行

日 時) 平成12年12月3日(日)・4日(月)

場 所) 鬼怒川方面

宿泊地) 鬼怒川温泉 “ホテル鬼怒川御苑”

参加者) 20名

### 平成13年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成14年2月10日(日)・11日(月) 午前7:00出発

場 所) 札幌・小樽方面〔札幌雪まつりをメインとして〕

10日「アサヒビール園」・11日「小樽 寿司や通り」

夕食「かにっこ本店」

宿泊地) 札幌市 “チサンホテル札幌本館”

参加者) 21名

### 平成14年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成14年12月1日(日)・2日(月) 午前8:30集合

場 所) 盛岡・秋田方面

1日 盛岡「東家本店(わんこそば)」・2日 前沢「和風れすとらん牛の里」

夕食 郷土懐石「濱野屋」

宿泊地) 秋田市 “秋田キャッスルホテル”

参加者) 18名

---

### 平成15年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成15年11月30日(日)・12月1日(月)

場 所) 金沢・輪島方面

30日 金沢「見城亭別館兼見御亭」・1日 能登「てらおか風舎」

宿泊地) 金沢市 和倉温泉 “加賀屋”

参加者) 20名

### 平成16年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成16年11月28日(日)・29日(月)

場 所) 鹿児島・熊本方面

28日 鹿児島市「仙巖園」・29日 熊本市内「天国」(馬肉料理)

夕食「郷土料理さつま路」

宿泊地) 鹿児島市 “城山観光ホテル”

参加者) 18名

### 平成17年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成17年11月27日(日)・28日(月) 午前5:30出発

場 所) 山陽・四国方面

27日 大三島「大山祇神社」・28日 広島「五右衛門」(鉄板焼き)

宿泊地) 松山市 道後温泉 “大和屋別荘”

参加者) 21名

### 平成18年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成18年12月3日(日)・4日(月) 午前3:45出発

場 所) 下関・門司方面

3日 萩市内・4日 下関「春帆楼」(ふくコース)

宿泊地) 山口市 湯田温泉 “松田屋ホテル”

参加者) 22名



平成19年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成19年12月2日(日)・3日(月) 午前5:30集合

場 所) 京都方面

2日 聖護院「河道屋」・3日「わらじや」

夕食「御池なかむら」

宿泊地) 京都市「アパホテル」

参加者) 25名

平成20年度

歯科医師会旅行

日 時) 平成20年8月3日(日)・4日(月) 午前6:10集合

場 所) 青森方面〔青森ねぶた祭り〕

3日 青森市 割烹「柴舟」・4日 十和田湖畔「八甲田ホテル」

宿泊地) 青森市「青森プラザホテル・ホテルJALシティ青森」

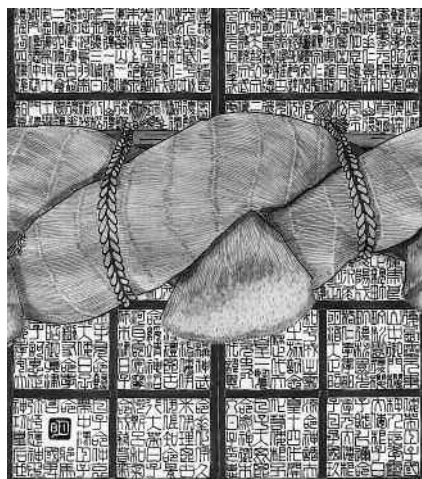
参加者) 22名



平成18年 湯田温泉(勤王志士署名)



平成20年 青森ねぶた祭り



平成21年 出雲大社 大注連縄

村本 明 画

## 第3章

---

# 私と上都賀歯科医師会

# 寄稿



## 新島 剛 (大正10年1月22日生)

日本歯科医学専門学校 昭和16年卒

昭和16年12月8日、私は日本歯科医専の卒業証書を手に入りました。この日は日本軍が真珠湾を攻撃して米国に宣戦布告をした日だった。3ヶ月繰り上げ卒業です。翌年、徴兵検査を受けたが終戦まで召集令状は来なかった。私は日本歯科口腔外科の研究生となり1年半経過して昭和18年8月栃木県歯科医師会に入会、現在に至った。最近古い資料の中に此の文があったので提出します。長い間歯科医師会と共に生きて来た事に最大の感謝をします。

No.289  
栃歯会報  
昭和58年  
1月10日発行

父が歯科医師だったので、私は二代目の歯科医となりいつの間にか40年が過ぎました。支部長は辞退したのですが年のせいか選ばれて4年目も終り近くなりました。私は朝9時から午後6時迄の診療

で平凡な毎日が無事に終われば幸いです。小さな診療室の中の現実には厳しい。私は子供の教育も終りそろそろ現役を離れる年齢ですが、それなりの問題が次々と出て参ります。歯科医師を取り巻く社会情勢も厳しさを増し、日本歯科医師会や国政の場で解決してもらいたい問題も多いのですが、支部単位で少しでも負担を軽減する方策があればと考えております。そこで、当支部では当面している社会問題即ち、保険、税務、老後対策、歯科医師と患者のコミュニケーション、労務管理、会員の増加に伴う諸問題等に対応する為、校医の手当を支部会費として徴収しプールしようという提案が昭和53年3月の支部総会(前菊地支部長)の席上提案されました。(当支部では大規模校と

午前  
午後

小規模校との格差を公平にする為に昭和34年から校医は2交代制を採用している)主旨に対しては全会員の賛成が得られましたが、内容等に関しては継続審議となり5名の有志で校医手出のプール制が開始されました。その後54年3月に私が支部長に選出され、この問題を会員共々慎重に審議検討して参りました。今年度は総会に於ける会員の要望により、3回に分けてプール制の主旨内容等を説明しました。4月の総会後に前支部長の菊地先生を代表としてプール制有志会が有志20名で発足しました。このような重大な非常に意義のある問題を抱えて2期に渡って検討中であります。校医手当プール制が決定し実施された場合には、実質的には若い先生方の労力負担が大きくなると思われるが、当支部では幸いな事に若い先生方の積極的協力が得られており、喜ばしい事と考えています。私と致しましても、支部会員相互の御理解のもとに一日も早くプール制を実施して、将来の魅力ある支部にしてゆくに努力したいと思っております。

上都賀支部長  
新島 剛



## 畑 二郎 (大正13年8月3日生)

東京医学歯学専門学校歯学科 昭和20年卒

私は昭和22年、県歯と御会に入会しました。戦時中のため東京で疎開、空襲にあい鹿沼に又疎開し、其の内「海軍歯科医候補生」として学生の儘、広島賀茂海軍工廠学校に入学しました。原爆空襲の8時15分丁度、工廠兵の診療を始めようとした時ピカッと閃光が走りその内、外の丘の間からあの原子雲が、真青な空と真白な湧き上る雲とが今でも目に焼きついています。2・3日後呉の空襲の救護に行き、住民の女性の左の太股が2倍位腫れているのを見ました。外部損傷出血もなく何故だか判りませんでした。それが神戸の阪神淡路大震災の際に、「クラッシュ現象」として話題になり、呉の女性のあの太股の腫れと合点しました。私事はこれ位にして支部入会後は、雑用係りとして支部長の代りに何回も県歯に行き、会合終了後その頃は物が不足で薬品等配給され持帰ったのを憶えています。入会後は岩山に行き古峰原三枚岩迄と先輩の先生もお元気でした。翻って平成20年、現在の支部は現役の先生方の活躍は目覚しいものがあり感謝しております。老会員として現役の先生はどうか健康に十分注意して下さい、とお願いしたいと思います。



### 故 鰐原 悦郎 (大正14年3月26日生)

日本歯科医学専門学校 昭和23年卒

平成21年3月9日 逝去

大東亜戦争(第二次世界大戦)が終わった年は、昭和20年8月15日終戦記念日、同年9月2日ポツダム宣言受諾の日でありました。昭和22年5月25日、終戦後初めての歯科医師国家試験の日でありました。当時は医師国試と同様5月と10月年2回あった訳です。10年位続いたと思います。現在は年1回しかない様であります。私は昭和23年5月の第3回国家試験であった訳です。その当時は昭和20年2月23日の東京大空襲により東京は全焼し、医療関係機関は全国的に壊滅状態になり再起不能の状態でした。その間勿論就職口はなく現在地で開業する決心をし、診療所が出来上る間鹿沼市茂呂歯科医院に見習い歯科医師として100日程勤務致しました。日本歯科医師会(上都賀歯科医師会・栃木県歯科医師会)に昭和24年1月1日に入会した訳です。当時は現在の上都賀歯科医師会と日光歯科医師会が一緒になって上都賀歯科医師会となっていました。色々な関係上、上都賀と日光歯科医師会に別々に分かれて現在に至っております。その経営の中において色々な事があった訳です。ただ上都賀歯科医師会として特筆すべき事は、公立の小中高校の校医手当をプール制にした事であります。上都賀の先生方は協力して小中高校生の学校保健の協力を努力し又、その手当を上都賀歯科医師会の運営協力で一致して努力し現在に至っております。その他こまかい事は多々ありますがこの辺で筆を収めさせていただきます。最後に一言老婆心ながら知育、徳育、最高の教育を受けた集団であります上都賀歯科医師会が、患者さんの立場にたった良き歯科医療を提供する事を望みます。



### 高崎 道子 (昭和5年2月22日生)

東洋女子歯科医学専門学校 昭和25年卒

上都賀歯科医師会に入会したのが何時かはっきりしませんが、20才で歯科医になりました私は卒業後、栃木県庁の歯科診療所に3年間、父の手伝いで家に入りましたのが、昭和28年6月でした。それから55年の現在も上都賀歯科医師会に加えて頂き、何んのお役にたちませんが、会長始め、皆様に暖かくして頂き心より感謝いたします。当時は、会員数も少なく、新年会など、唯一の宴会場、喜楽さんの調理場わきの座敷に、20人足らずの人数でした。その中に女性は私だけでした。慣例の親睦旅行も、近隣の温泉地、岡本英忠先生、駒橋寅春先生、新島貫一先生等々、初代の先生方の懐かしい顔が思い出されます。女性一人は困りました。ある年の事、20畳もある

## 寄稿

大部屋に一人嚴重に鍵をかけて宿泊した事等、今は女性仲間も増え、楽しくさせて頂き嬉しい限りです。

学校歯科も、昭和32年、茂呂小・池ノ森小に始まり、平成15年まで32校検診させて頂きました。その他初妊婦教室は、女性と云うことで、昭和52年より4年間、年6回続けさせて頂いた事も感謝でした。へき地診療も2回大変だった事を思い出します。3才児検診は、子供の口の中は、虫歯だらけの時代でした。今、歯科界は大きく変わり、厳しい時代になりました。

上都賀歯科医師会85年の歴史の中に、小さき者が加えられ育てられた事を感謝します。何も出来ない後期高齢者の私に、楽しい旅行や謁見会に出席するのが私の役目だと、おっしゃって下さった会長はじめ役員の方々に感謝して、これからの会の働きが祝されますように祈ります。



### 中條佐智子 (昭和16年6月29日生)

東京歯科大学 昭和42年卒

私の入会した頃（今から40年前）まだ女性歯科医が少なく、先輩は高崎先生お1人でした。人数も20名程、小さい集団でした。義父正臣をなくし、学校を出たばかりで、いろいろな事がありました。周囲は一代目二代目の御曹司で、そうそうたる先輩ばかり、私はお茶くみに徹しました。世間知らずの私、もまれてあちらこちらにぶつかり、でこぼこの歯科医人生を歩んでまいりました。我が身の至らぬこととはいえ、保険のきびしい指導、審査、仲間からのねたみ、中傷などの標的になり苦労いたしました。現在はその頃とは雲泥の差、種々の組織・運営が透明になり理不尽なことは少ないように思われます。今になってみれば、諸先生方には迷惑をおかけしたと思います。これからは、ゆっくり残りの歯科医人生を歩んでゆくつもりです。



### 金子 智英 (昭和19年1月1日生)

日本大学歯学部 昭和43年卒

私は昭和43年に大学を卒業、その2年後45年に父死亡のため卒業後3年で上都賀歯科医師会に入会した。当時未熟な私は週1回大学の口腔外科へ、その後東京のスタディ・クラブに入会し臨床の勉強を始めた。私が入会した頃は常会、総会、新年会ぐらいで今に比べて会の行事があまりなかったこと、会員数が少なかったこともあり、実にのんびりとしたものであった。手狭な久保町より上田町に48年5月に移転開業し、本格的に開業医としてのスタートをきった。当時は歯科医師の数が少なく患者様には大変迷惑をかけた。予約制を導入したもののアポイントも1ヶ月先治療は3分、今考えるとすき

まじい状態であった。やがてバブルもはじけると同時期に歯科医師の過剰期に突入、むずかしい時代へと入っていった。私は4人の子供の学費に追われる毎日であった。今年県歯100周年を迎え編纂委員会の調査により、父の開業年がわかり当院も問もなく創業90周年である事が判明した。現在私の診療所も金子歯科医院からKANEKO DENTAL OFFICEへ名称を変更し、息子に院長を譲り三代目へと受け継がれる。当院も10年そこそこで100周年とありあえずそれを目標とし挑戦の毎日である。



**中田 嘉之** (昭和19年6月22日生)  
東京医科歯科大学歯学部 昭和44年卒

私は上都賀歯科医師会に昭和50年7月に入会しました。当時の思い出は、常会が毎月埼玉銀行の3階会議室で行われていましたが、同じ時期に入会した岡本先生と一緒に、若手としてお茶出しに励みました。菊地貞造支部長の下で、和気藹藹と活発に意見を交わしながら和やかな楽しい常会でした。5期10年、支部長を務められた菊地先生が昭和54年3月に勇退され、新島剛先生が支部長になりました。副支部長は駒橋秀光先生、川島光五郎先生、庶務理事は手塚正教先生、会計理事は私が担当する事になりました。この時期新規開業者が続出し、優秀で個性豊かな若手が多数入会し、活気溢れる歯科医師会になりました。年配の先生方と私たち世代の間に中間的な年齢層の先生が不在だったため、若手が自由に発言できる雰囲気が出来上がり、これが良かったか悪かったか判りませんが、県内に例のない新規事業をどんどん展開できました。全国にも例の無い「校医手当プール制」は画期的な事だと思っています。私は当時会計を担当していましたので、一挙に10倍に膨らんだ予算をどの様な款項目で予算書を作成するか、非常に頭を痛めました。楽しい思い出です。昭和63年に新島支部長が勇退された時私も理事を辞め、しばらく歯科医師会から離れました。平成18年、佐川徹三先生が上都賀歯科医師会会長になられた時に役員になって協力する事になりました。

歯科医師会には、まず参加し発言し自分の個性を生かしながら協力していけば楽しいまとまりのある素晴らしい家庭的な会になると思っています。

## 寄稿

---



**鯉原 公子** (昭和27年7月4日生)  
鶴見大学歯学部 昭和52年卒

昭和52年10月上都賀歯科医師会入会です。以来30年余り、ただただお世話になっております。これからも何とぞ、よろしく願い申し上げます。



**川島 仁一** (昭和26年2月6日生)  
日本歯科大学 昭和50年卒

上都賀歯科医師会85周年にあたり、歴史を振り返り、将来を展望したいと思います。歴史を振り返るに我々の歯科医師会は、いろいろな意味で栃木県において最もアカデミックな会であったと聞いております。

地域の会として出来る事は限られていると思うが、会員がより良い歯科医療を実践し、地域医療に貢献できるような環境を整える事が基盤であり、将来どのような医療状況になろうとも会員のための会員による上都賀歯科医師会でありたい。



**村本 明** (昭和21年4月14日生)  
九州歯科大学 昭和47年卒

昭和54年4月、獨協医大口腔外科教室を退局し上都賀支部に入会した。獨協に在籍中、歯学部問題で県歯科医師会が対応に追われていたということは、内部にいたので全然わからなかった。昭和56年から庶務理事を7年間担当した。同年、県の広報編集室員になった。名取室長、牟田次長にはそれ以来27年間お世話になっている。支部ではその間、学校医のグループ検診、その報酬の会費相当プール制の確立に少し尽力した。

県歯科医師会100周年記念の年を迎え、いよいよ上都賀支部も編纂体制に入った。運よく諸先輩の残してくれた資料が大量に、詳細に保存されていた。しかし、昔の話を直接聞くには遅すぎた。

あくまでも鹿沼歯科医師団の記録であって、上都賀歯科医師会に関するものは一部でしかない。

会史をまとめてみて、大正ロマン後の世界恐慌を経て世界大戦、そして敗戦、復興の困難さ、先人達の足跡がひしひしと伝わってきた。1年交代の幹事の苦勞がしのばれる。何故か明治、大正の時代や昭和初期を調べる時が楽

しかなかった。残された資料を忠実に再現しようと日記形式にした。同時に社会情勢、世相、栃木県内のできごととも経時的に書くことにした。しかしこれは、あくまでも上都賀歯科医師会史のたたき台としてである。これから編纂委員会で検討していきたいと思っている。このような機会に恵まれ、図書館通い、資料集め、古書の入手などで2年が経過した。歯科界の昔をふりかえることは、歯学史を語るができる程勉強になった。委員会一丸となって完成する予定である。



### 小林 幹夫 (昭和29年1月22日生)

日本歯科大学 昭和53年卒

上都賀歯科医師会に入会して早28年が経過しました。まさに光陰矢の如し、あっという間に過ぎ去ったような気がします。入会以来多くの先輩仲間の先生には大変御迷惑をおかけしたと思い反省もしています。私は入会后昭和62年に市議会議員の選挙に立候補、会員の皆様のあたたかい御支持御支援を頂いてお陰様で市議4期当選する事が出来ました。そして平成15年には瓦井先生に後援会長に御就任頂いて栃木県議会議員の選挙に立候補させて頂き無事当選する事が出来ました。そして現在2期を務めさせて頂いています。この様に私と上都賀歯科医師会とはあらゆる選挙で大変お世話になっている関係で会及び会員の皆様方には常々感謝を申し上げる立場にあります。昭和55年当時と現在を比較すると開業された先生も飛躍的に増加し、大きくこの会の環境も変化したと思います。国の政策にもよりますが歯科医師の需給の問題がこれだけ大きく働くとは、当時は想像できませんでした。しかしこれは現実問題として避けられる状況ではないので、県議会議員として県や国に対して我々の生きる道を画策していかねばなりません。潜在患者の発掘など開業当初は考えられませんでした。今現在としては我々経営の存続に大きな問題となっていることは相違無いと考えています。この28年間、会員の皆様に大変お世話になりました。その何分の一かの恩返しができるかどうか判りませんが、上都賀歯科医師会の発展のため今後とも努力をしていかねばならないのが私と上都賀歯科医師会との現在の関係かも知れません。会の益々の発展と会員皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。



## 寄稿

---



**梅澤 富嶽** (昭和21年8月6日生)

日本大学歯学部 昭和47年卒

日本大学大学院歯学研究科 昭和51年修了

上都賀歯科医師会85周年を祝し、当会の庇護の下に開業していただける事を、感謝しております。



**佐川 徹三** (昭和28年8月28日生)

日本歯科大学 昭和54年卒

私は高校2年まで漠然とではあったが、新聞記者になると決めていた節がある。ある事があって母の一言が引き金になり、理系へ転向し一浪の末歯学部に入会した訳だが、歯科の事など全くのちんぷんかんぷん。歯科医師会に入会しても右も左もわからず更に困惑の日々であったのも事実である。むしろ会に出る事すら億劫であったような気がする。そんな折、30歳前後の頃であったが青年会議所を通じて、ある詩に遭遇した。「一寸無理して出かけてみよう、きっと素敵な友がいる。一寸無理してやってみよう、きっと新しい自分が見つけれられる。まず出来る事から始めよう、しかしあくまでも若者らしく前向きに。さあ上着を脱いで腕をまくって汗をかこう。机の上で考えるのは似合わない」考えてみればこの文言を常に胸に刻んで、四半世紀走り続けてきたように思う。その間多くの先輩の先生方から薫陶を受け、自分にとって歯科医師会は正に人生の学校であり、今では心の拠り所であると云っても過言ではない。現代のような歯科界が困難な状況の時だからこそ、更に結束を深め次世代に少しでも光明が見い出せるよう最大限の努力をする事が今を生きる私達の責務ではないか。『順境は人を殺し、逆境は人を生かす』とも云う。これからもチャレンジャーでありたいし、出来れば「一寸無理して」の詩のバトンを将来を担う若い先生方に密やかに、かつ虎視眈々と渡したいものである。記念誌に寄せて「水、急なれども 月を流さず」の心境で……

**鈴木 節雄** (昭和25年8月18日生)

日本歯科大学 昭和51年卒

当歯科医師会85年の節目に会員であった事を嬉しく思うとともに、更なる発展を期待するものである。振り返ってみると会員になって20余年、でもあつと言う間のような感じがする。思い出深い事としては、私が調査担当理事の時行った事業がある。それは、・・・。新島会長そして岡本会長の時、刷掃指導ビデオを製作し、さらにその効果を調べるようになった。大局的見地から（平易に言えば美人でテレビ映りが良いから）衛生士会会長の沢田英子さんが自らモデルになって（感謝、感謝）ビデオを作り、S62、63年度の6月10月2月中央小並びにみなみ小の2年生、5年生の実地調査を行った。片手におにぎり片手にハンドル、食事も車の中で取りながら、先生、スタッフが学校に駆けつけてくれた。むさ苦しい男性（歯科医師）が連れて来た若き乙女達（衛生士、助手）は健康美、フェロモン満載で疲労感を吹き飛ばしてくれた。会場では児童の口腔内を染色し印象、石膏を注ぎプラークの付いた模型を得た。人いきれと喧騒の中での作業だったが、準備、後片付けはスタッフ、吉成さんのお陰で完璧であった。調査で得た模型を我々の考案した分析方法で行い、刷掃ビデオを鑑てブラッシングをやった方が効果のある事が確かめられ嬉しかった。これらの知見した事を県歯科医学会で6年間 計8人の先生（相馬、金子、狐塚、石澤、新島（康）、石崎、手塚、畑）が発表した。各先生方には苦勞を掛け、心身共に大変だったと思う。データの分析のためにパソコンソフトを作ったり、データから分かりやすい図、表を作ったり、写真を撮り現像ジアゾしたり、それぞれ得意な分野で各先生が活躍してくれたお陰で素晴らしい分析結果を得ることができた。発表近くになると夕食の弁当を食べ深夜まで作業をしたのが思い出される。パソコンがまだ一般的ではなくすべてが手作業であり、今のパソコンを使った発表を見ると隔世の感がある。データの収集、分析、学会での発表と成功裡に終わることができたが、これらすべてが先生方の協力の賜物である。プラークの付いた模型の分析方法の決定、その作業、そしてスライド作りが大変だった。

## 寄稿



### 瓦井 昭二 (昭和28年1月9日生)

東北歯科大学 昭和53年卒

昭和58年4月1日、上都賀歯科医師会に入会して以来、四半世紀余りがまたたくまに過ぎ去った感があります。昭和60年4月、新島剛会長から会計理事を拝命し、慣れない会務でしたが、前任の中田嘉之先生をはじめ多くの先輩方のご指導ご協力をいただき、何とか任を果たすことが出来ました。年間100回をこす出務があったことなど、大変ではありましたが、今になってはなつかしい思い出です。

その後、昭和63年に岡本全宏先生が会長になられてからは、代議員・国保審査員・副会長など多くの役職を1期ずつ席の暖まる暇もなく、経験させていただきました。またお酒の機会が多く、午前様の常習で、代行車に乗れば何も言わなくても家にたどり着ける状況でした。

そして平成9年会長に就任させていただき、役職員や会員の皆様のお力添えの下、3期9年間の任をまっとうすることができました。平成8年に鹿沼市と調印したお口の人間ドックや在宅寝たきり老人歯科保険事業を軌道にのせること、介護保険に対する対応、平成15年小林幹夫先生の県議選出馬、歯周疾患検診の開始など多くのことが思い出されます。また歯科医師会旅行の見直しで、多くの方が参加されるようになり、個人ではなかなかできない体験をさせていただくことができるようになったことは大変うれしいことでした。

平成18年会長に佐川徹三先生が就かれ、私は栃木県歯科医師会の常務理事となりました。栃歯と上都賀のパイプ役として今後とも努力していきたいと思っております。



### 石崎 誠 (昭和32年1月1日生)

城西歯科大学 昭和56年卒

私が上都賀歯科医師会に入会した当時は、ゴルフ等会員の親睦も多く、そういう和やかな雰囲気の中で、諸先生方より、幅広い分野でご指導もあり、親密な中で行われた会でありました。特に調査委員会において、研究結果等を栃木県歯科医師会の学会で発表させていただけたことは、良い経験となっております。また上都賀歯科医師会の会計理事及び庶務理事に携わることに、会のことについても大変勉強させていただきました。

いつ何時も変化にとんだ時代ではありますが、最近の社会全体(特に歯科界)の変化は著しく大変きびしい状況になりつつありますが、上都賀歯科医師会及び会員がその波に飲まれることなく躍進することを願わずにはられません。

今後ともどうぞよろしく願い致します。



**菊地 均** (昭和27年1月24日生)  
東北歯科大学 昭和53年卒

上都賀歯科医師会創立85周年記念誌発刊誠におめでとうございます。

昭和53年3月に東北歯科大学を第一期生として卒業後東京歯科大学稲毛歯科診療所に勤務、昭和58年4月上都賀歯科医師会に入会いたしました。

まだ、当時は歯科医師の立場も地位も現在よりはやりがいのある職業だったとおもうのは衆知のことであり、そのような時代の歯科医師会というのは対外的にも対内的にも余裕があつて皆活気があり楽しい(?)会だったと思います。しかし、あまり余裕があつてか少しその事業拡大にもボランティア精神があり過ぎて特に入会したての若い会員には負担が重かったと思うのは私だけではなかったと思います。でもその様な中でも、明治・大正・昭和と激動の時代を生き抜いてきた大先輩達のその猛烈なパワーと、無駄のない熟練した英知を教えていただいた時ほのぼのとした暖かい気持ちになり歯科医師会という会のすばらしい効果をつくづく感じました。今そう云う自分もこの上都賀歯科医師会で会を執行する立場であります。若い会員から先輩の会員の皆様の意見をよく聴いて会員全員が参加し喜んでもらえる様な事業及び会創りを通して、歯科界を取り巻く暗いネガティブなイメージを払拭するべく貢献出来る様頑張つて行きたいと最近特に考える様になりました。

結びに、上都賀の歴史に合わせるが如く親と子2代に渡りお世話になったのも何かの御縁と感謝申し上げますとともに、会員の皆様はもとより上都賀歯科医師会のさらなる発展を祈念いたします。



**齊須わか子** (昭和24年1月1日生)  
岩手医科大学歯学部 昭和48年卒

宇都宮歯科医師会(7年)から上都賀歯科医師会に移つて25年、私の歯科医師歴35年の大半を上都賀歯科医師会で過ごさせていただきました。少人数の歯科医師会でしたのでみなさんが手とり、足とりいろいろな事を教えて下さり、個別指導の時には歯科医師会に入っていてよかったとつくづく思いました。それにも増して、私が上都賀歯科医師会で一番楽しみにしているのが年1回行われる支部旅行です。個人ではなかなか行くことのできない研修場所や、最高の食事処を選んで連れて行って下さり、又、その場所場所で引き起こるいろいろのハプニングが楽しくて、私は研修旅行の為に上都賀歯科医師会に入っていると云っても過言ではありません。みなさんについて行くには自分が健康でなければと思ひ、幾多のストレスにも負けることなく、健康に気を使い楽しみながら歯科診療に励んでいる今日このごろです。

## 寄稿



### 新島 康夫 (昭和31年9月25日生)

日本歯科大学 昭和56年卒

上都賀歯科医師会85周年記念、大変おめでとうございます。私と歯科医師会ということで今回寄稿できること、その機会を与えられましたことは、大変嬉しく思います。

私と歯科医師会の関わりを思い起こせば、それは物心ついた頃からの事と  
思います。

祖父も父も歯科医師であったため、私の幼少時代の旅行の記憶の中には誰  
かしら、上都賀歯科医師会の先生方がいらっしゃった思いがあります。

はからずも、その時代、3島と呼ばれ、福島、川島、新島が国産車の自家用  
車の奔りのブルーバードを購入し、夏の海水浴、秋の紅葉狩りに、温泉旅行に  
連れ立って行っていたように思います。何処か、記憶は定かではありませんが、  
或る温泉旅館に泊まり皆で大浴場に入浴していたときに、あまりにはしゃぐ私  
に業を煮やしたとある先生が、一言、“あんまり騒ぐとおへそ取っちゃうぞ〜”  
と言われたことが、しばらくの間、私の殺し文句になっていたように思います。  
利二先生だったか、越路大先生か、記憶は定かではありません。

祖父の貫一爺さんが鹿沼で開業したのは大正6年の10月と聞いておりま  
す。その後、父、私と、この鹿沼で家業を全う出来るのも、磐石な歯科医師  
会があればこそと思います。

私は、父ほどに歯科医師会に貢献できてはおりませんが、4代目の息子達  
がお世話になると思いますので、これからも宜しくお願い致します。



### 福島 隆夫 (昭和29年9月4日生)

日本歯科大学 昭和56年卒

私が上都賀歯科医師会に入会したのは昭和59年3月でした。福島歯科医院の  
2代目副院長として優雅にデビューを飾るはずが一転、院長が体調を崩して急  
遽手術を受ける事になりました。診療と入院先の往復でてんてこ舞、プール制  
の意味もよくわからないまま、学校検診の欠席という無茶をお願いしました。  
主校医の鈴木節雄先生、新島剛会長をはじめとする会の皆様には大変ご迷惑を  
おかけいたしました。温かくフォローしていただき感謝しております。

その後も、充実した活動を続ける会の恩恵を受けるのみで、とても協力的  
とはいけない私を庇護してくれた懐の深い諸先輩にめぐまれ、素晴らしい仲  
間を得ることができ幸福でした。

同級生の新島(康)、相馬とは家族ぐるみで夏は海水浴に、冬はスキーに  
とよく遊びに行きました。いまでも忘れられない楽しい思い出です。

こんな私が平成18年度から調査委員会の理事になりました。佐川会長、大貫副会長、前任の相馬先生のご指導、委員の先生方のご協力で「救急時支援システム作り」に取り組んでいます。救急蘇生の研修会、救急薬品の整備・配布をおこないました。安心して日常の診療に取り組む助けになれば幸いです。

一方、10年来の趣味である蕎麦打ちを歯科医師会に持ち込むことに成功し? 「蕎麦会」で披露・ご賞味いただいています。美味しいという皆様の笑顔が見られる最高の一時です。つながりのいい美味しい蕎麦には人と人との繋げる不思議な力があります。「蕎麦すすりあうも他生の縁」会員同士が親睦をはかり、まとまりのある楽しい上都賀歯科医師会がますます発展してゆきまます様お手伝いできればと思います。



**木村 立男** (昭和29年9月4日生)  
東北歯科大学 昭和55年卒

私が上都賀歯科医師会に入会してから、今年で25年になる。入会した当時は第二次オイルショックの真只中であつた。そして現在、日本経済はアメリカ合衆国におけるリーマンショックの影響で100年に一度の未曾有(ミゾウユウ=某大国総理の読み)の不景気の中にある。この不景気に陥る前は、バブルという戦後空前の好景気の時代があつたのだ。喉元過ぎれば熱さ忘れるではないが、日本人は目の前のことだけを取り上げて大騒ぎしがちで、つくづく長期的な展望が必要だと感じる。

このような世の中の変遷の中で、自分自身の25年間はどうだったのだろうか。昭和59年4月に上都賀歯科医師会に入会し、5月に木村歯科医院を開院、そして昭和63年に結婚、平成2年の長女誕生等が大きな節目だったが、その後は大きな変化も無く今日に至っている。その間、上都賀歯科医師会に於いて、私は医療管理委員会一筋に関わりを持ちつづけてきた。幸いなことに、歴代会長は私の勉強嫌いや対外的能力の無さを見事に見抜かれて、最もテキトウと思われる部署に私を配置された。その上、瓦井会長から佐川会長までの間には、こともあろうか理事まで仰せつかったのである。自ら評価するならば、とりあえず迷惑を掛けない程度の仕事はさせていただいたと自負している。このように歯科医師会での理事の仕事を除いては、歯科医師としてはとりたてて変化もなく過ごして来てしまった。

しかし今春は、私の歯科医師生活30年の中で最大の驚きであり、また喜びかもしれない出来事が起こったのである。なんと長女が歯科大学に入学したのだ。何が良くて歯学部を選んだのか? 私には全く見当がつかないが、良くも悪くも同じ道を選択してくれたことに感謝加奈? (かな一娘の名)

同じ職業に従事できることは幸せなことかもしれないが、世の中が変化し

## 寄稿

---

ようとしている現在、歯科界も変容を遂げなければならない。歯科会の未来のビジョンをはっきりさせ、整えてから、次世代に受け渡すのが、私たちの義務ではないかと考える。その変化が、上都賀歯科医師会から始まることを強く願うばかりだ。今こそ「イエス・ウィ・キャン」なのではないだろうか。



**田代 高志** (昭和33年5月27日生)  
日本歯科大学 昭和58年卒

昭和60年5月13日に開業し、本年(平成20年)で早23年になります。開業した年に長女が誕生しましたので【開業年数=長女の年齢】になります。大学卒業後、東京医科歯科大学第1口腔外科の医局に入局し医局員生活(無給)と2ヶ所のバイトで忙しい日々を送っておりました。もう少し東京で生活をするつもりでしたが、地元の良い物件があるとの事で急遽開業する運びとなりました。父はサラリーマンでしたので一代目であり、毎日が分からない事だらけ初めての事だらけの連続でした。自分の治療に自信が持てずとても不安でしたので、開業してから数年間は殆ど毎週研修会に出掛けて勉強しておりました。勿論、上都賀歯科医師会主催の学術研修会にも参加させて頂いて、高名な先生の講演を無料で聴け、懇親会でも親しく御教授を賜り大変感謝いたしております。

歯科医師会と言えば、支部旅行も楽しい思い出でした。入会してすぐ旅行幹事を任命され、鈴木節雄先生と戸倉上山田温泉方面の旅行の企画をさせて頂きました。まさか卒業してから宴会で春歌や〇〇踊りを披露する羽目になるとは思ってもいませんでした・・・(笑)。

上都賀歯科医師会の先生方はとても良い方ばかりで公私共に大変世話になっております。

これからも皆で仲良く上都賀歯科医師会の一員としてご協力できればと考えております。

最後に上都賀歯科医師会の益々の御発展を御祈念申し上げます。



**相馬 英人** (昭和31年4月10日生)  
東北歯科大学 昭和56年卒

私は昭和56年東北歯科大学（現在の奥羽大学）を卒業しました。その後同大学保存科に4年間在籍し昭和60年7月鹿沼市日吉町（自宅の近く）に開業しました。開業した当時一番印象に残っていることは、日航ジャンボ機の墜落事故です。開業してまもないこともあり、患者さんは少なく日航機事故のニュースをテレビに釘付けになって見ていたことを覚えています。もう一つ印象に残っていることは歯科治療の大変なことです。開業はしたもののこんな仕事を一生やっていくのかと思うと、ぞっとし、一日でも早く年をとって仕事から解放されたいと思ったことを覚えています。また同時に休日の大切さ、貴重さをつくづく感じました。休日の夕方になるとまた明日から仕事が始まると思うと悲しくなったことを覚えています。

無我夢中で10年がたち、あと10年がたてば少し楽できるかと思って20年がたちました、があまりかわりません。なんとか病気もせず生活してきました。ありがたいことです。その間に診療室の電気製品は次々にこわれました。床や壁もいたんで修理をするようになりました。体は50才をこしたころから目が悪くなり、がんばり、ねばりもなくなってガタがでてきました。いつになったら楽できるのかわかりません。

開業して24年の月日がたちました。長いようで短く、ただただ突っ走ってきたようです。幸い友人にも恵まれ、同級生である福島先生、新島先生には大変お世話になりました。これからもお世話になろうと思います。よろしくお願いします。

今の歯科界は無理して無理して仕事をしないと生活できないような状態になっていると思います。

趣味の鮎釣りでは田辺大先生に、そば打ちでは福島大先生に大変お世話になりましたのしく遊ばせてもらっています。感謝、感謝です。最後に思うことは健康で仕事ができることがどれだけ恵まれていることか、大切なことか肝に銘じてこれからも診療に従事していこうと思います。少しは社会の役に立つようにと思いながら。

みんなありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



## 寄稿



石澤 隆之 (昭和35年6月15日生)

日本大学松戸歯学部 昭和60年卒

上都賀歯科医師会に入会して22年になる。入会以来今日まで各種委員会の活動、口腔衛生啓蒙普及、健診・講話・健康教育、休日急患歯科診療、介護保険事業等に從事してきた。これらの活動の中で特に印象に残っているのは、1988年～1994年に行われた「給食後の刷掃指導用ビデオの効果についての調査」に関する研究発表（第1報～第8報）である。担当役員の指導のもと調査委員会の委員が小学校でのデータ収集、データの分析、学会発表の準備を一丸となって行い、栃木県歯科医学会の発表で成功を収め学会誌に功績を残すことができた。学術団体としての真価が発揮できた事業であったと思われる。また、最近恒例となっている全国味めぐりといえる支部旅行は、各地の名跡を可能な限り見て回る充実した企画である。毎回最高の料理と酒を堪能でき、次回も出席しようという意欲が掻き立てられ十二分に満足することが出来る。毎年春に行われる学校歯科検診は、断然田舎の学校の担当がいい。草木が芽吹くこの時期ののどかな田園風景は、すばらしい色彩を呈し心を和ませてくれる。他にもさまざまな歯科医師会の活動にかかわり地域社会との繋がりを保つことができた。さらなる上都賀歯科医師会の発展を期待する。



金子 實 (昭和29年5月16日生)

東北歯科大学 昭和55年卒

私が上都賀歯科医師会に入会して20年になります。入会后間もなく、会で制作した刷掃用ビデオの効果を検査する委員会に参加しました。岡本全宏先生、菊地香先生指導のもと、調査研究は県歯の歯科医学会に複数回発表しました。調査は刷掃効果をどのように表記するか、歯垢染色剤と石コウとの組み合わせ方等、基礎研究から始め、小学校での実施調査へと移行しました。完成したばかりの福祉会館の上都賀専用の部屋に大学の理工学講座から借用した測定器具を持ち込み、学生時代の実習を再現するような基礎実習を開始しました。調査研究が進行するに従い、長テーブルだけだった部屋に接写台や資料整理棚が設置されました。また、調査の分析には田代先生が独自で統計処理ソフトをプログラミングしてくださり、自作のコンピューターを会に持参してくれました。おかげさまで調査の分析は短期間で行うことができました。研究発表用の青焼きスライドは、会館のトイレの一室でアンモニアにむせながらジアゾ化。

初会の予演会には多数の先生が出席くださり、活発に意見を述べてくださいました。このとき同時に中田先生が長年にわたる小学校におけるフッ化物応用の効果研究を発表されました。入会間もない私にとって上都賀歯科医師

会の先生方の地域医療に対する取り組みや業績を初めて知る機会を得ました。特に岡本全宏先生は地域歯科医療の役割りをいかに発展させ実行して行くか、いつも熱く語って下さいました。先生との突然のお別れは残念でなりません。岡本全宏先生の業績と歯科医師会への献身に改めて敬意を表します。



**小川 哲弥** (昭和32年9月29日生)  
鶴見大学歯学部 昭和58年卒

入会から22年いろいろと愉快でした。

入会直後はネクタイ着用が何時なのか、どこで敬語を使うのか、さながら浅野匠の守の様でした。支部旅行の幹事を10年連続で担当しましたが、右も左も解らず先輩理事会員の先生方には随分とご迷惑をかけました。

入会して3年目でバブル崩壊がありました、保険点数も下降が続き今後良くなるとも思えませんでした。1997年頃から金融危機は一段と進行、この10年で徐々に経営は悪化し、私の学位取得や長女の歯科大入学もあり、悪いなりに落ち着いてきましたが更に世紀の世界大恐慌だそうで経営手腕の見せ所でしょう。

衛生福祉大学校の臨床実習所を10年以上、学生さんに質問攻めにあつたのが母校にご教授願うきっかけで歯学博士になりました。県歯科医師会の学術委員を10年以上他の支部の先生方のご指導を受けられるようになりました。上都賀歯科医師会の学術担当理事を2年更に難しい人付き合いを教えていただいております。

小さな歪みがあっても時間の経過の中で良識と道義が支配する世界と感じております。会は私に社会を認識させ、柔らかな人間関係を思考させてくれる貴重な組織です。人は入り来たり出で去りそこに集う顔は変わりますが歯科医師会は何時までも地道に前進することを希望します、私も少しずつ付いて行こうと思います。



**山本 浩** (昭和34年5月10日生)  
鶴見大学歯学部 昭和59年卒

上都賀歯科医師会創立85周年、おめでとうございます。私は1988年に入会、開業しましたので、2008年でちょうど20年が経ちました。会員の皆様のお陰を持ちまして、現在まで無事に仕事に従事できた事をありがたく思っています。これからも、明るい将来に向け、地域社会に貢献していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## 寄稿



**駒橋 一永** (昭和28年10月9日生)

神奈川歯科大学 昭和54年卒

私が上都賀歯科医師会に入会したのは昭和63年の事です。山本先生が同期です。入会したときは父秀光も健在なころでした。そのころの上都賀歯科医師会での思い出は、なんとといっても、学童児の口腔清掃効率をいかに良くするかを上都賀歯科医師会会員全員が努力していた時と言うことです。会員全員で、小学校の昼休み時間に、バケツやビニール袋、アルジネートの缶を持って「よっころしょ」などと言いながら小学校に向かい、みんながニコニコしながら子供たちの歯に赤い染色液を塗ったり、歯形を取ったりして、なんだか楽しくデータ集めをした記憶がよみがえってきます。給食食べた後なので、気分が悪くなる子もいて大変でしたが、皆でやったなと云う感覚がいまでも残っています。そして考え深いのは、現在私の子供がそのときの資料をもとに作った上都賀歯科医師会統一刷掃ビデオを見ながらハブラシをしている事を聞くにつれ、やって良かったと思う今日この頃です。また、その頃の思い出として一番驚き懐かしいことは、勉強会の後、1次会2次会が終了した午前0時過ぎにお腹がすいたということで宇都宮までラーメンを皆で食べるにゆき、そして鹿沼にもどり、さらに3次会に突入できる元気が皆にあったことです。皆、若くパワーがありました。そのパワーを力に全国初の歯科ドックシステムを作り上げたことは、上都賀歯科医師会の誇りにしていいと思います。よって、もっと鹿沼市民の歯科ドックに対する価値観を植えつける努力をしたいと思っています。そして、2歳児教室も他支部に先駆けて行った事業です。近年、あらためて三つ子の魂百までと言われますが、2歳児教室の事業を行っている上都賀歯科医師会は先進性がある歯科医師会だと言えます。まだまだありますが、これからも永遠に会員一致団結して頑張りましょう。



**鈴木 裕之** (昭和36年9月17日生)

昭和大学歯学部 昭和61年卒

そもそも鈴木家での歯科医師のルーツは父方の曾祖母の言葉からでした。以前から歯で苦勞していた曾祖母は、家族の中で誰か歯科医師になって歯で悩んでいる人を助けて欲しいと常々言っていました。

最初に歯科医師になったのは、父の叔父(曾祖母の末の息子)と曾祖母の長女の息子でした。父も祖父が東京で仕事をしていたことと、歯科医師になった大叔父の影響もあり、香川県から東京医学歯学専門学校を出て、歯科医師となりました。現在では曾祖母の願いが、親戚の中で医師、歯科医師が

10名以上という形で実を結んでいます。

父は東京医学歯学専門学校を卒業後、千葉県での勤務医を経て、縁あって日光精銅所病院（当時）に勤務し、その後昭和37年に日光市清滝に開業し、上都賀歯科医師会に入会しました。その後昭和51年に現在開業の鹿沼市に移りましたが、父は昭和54年に急逝し、鹿沼での診療はわずか3年半ほどでした。しかし、私が診療をしていると、いまだに父の診療当時のことを話される患者さんも多く、直接父から歯科診療の話は聞けませんでした。患者さんを通して間接的に父と話をしている気がします。父が亡くなった当時、上都賀歯科医師会の先生方に、いろいろとご心配、ご協力戴きました。個人では難しいことも、歯科医師会があつてこそできることもあり、感謝しています。平成元年に父の跡を継ぎ開院して以来、私も歯科医師会に入会し、やって参りました。自医院での診療だけではなく、公の場での公衆衛生活動、社会貢献が出来るのも歯科医師会員ならではのことと思います。現在、上都賀歯科医師会の理事にも就かせて戴き、少しでも当時の恩返しをするべく微力ながら歯科医師会の仕事をさせていただいています。



**田島 雅哉**（昭和36年5月15日生）  
東北歯科大学 昭和63年卒

私が上都賀歯科医師会に入会したのは、平成2年からです。歯科大学を卒業をして、社会人としては、まだかけ出しの人間でした。そんな時、私の諸先輩方の奨めもあり、会に入会させていただきました。

入会して、さまざまな事を教わりました。中でも、両親と離れて暮している私に、大人ではなく、社会人としての考え方やあり方、社会のしくみ、社会への貢献や奉仕の考え方などを教わったことは、私の人生の上でも大変助かりとても感謝するところであります。

また、先ごろより、上都賀歯科医師会歴史編纂事業に及ばずながら、参加させていただいておりますが、先代のいない私にとって、会の成り立ちや、動きなど、多少知ることができまして、あらためて、諸先輩方の多くの努力と熱意によって、会の歴史が作り上げられているのだと、感動している所です。中には、嘲笑させられる内容の話も聞かせていただきながら、会の歴史を興味深く参加させていただいております。

これからの歴史は、私たちの歴史であります。諸先輩方の作っていただいた歴史に恥じないようにしなければならぬと思います。

## 寄稿



### 畑 健一 (昭和33年9月12日生)

鹿児島大学歯学部 昭和60年卒

平成2年に上都賀歯科医師会に入会してから18年が過ぎました。その間歯科医師会を通じて様々な経験をさせていただきました。栃歯医学会での発表、市民健康講座での講演、衛福大での講義などは人前で話すことが苦手な私としては(回避したい、早く辞めたい)と思っていましたが、終わってみると貴重な経験の機会を与えていただいたと思っております。

また歯科医師会では1.6・3才児検診、歯周病検診等行政と連携し様々な事業を行っています。WHOは、地域に開業する歯科医は日常の診療の他に地域の公衆衛生向上のために積極的に行政と関わり努力しなければならないと謳っています。この地域の開業医としての責務を果たすためには一個人では不可能に近く、歯科医師会に入っているからこそ可能になると思います。

さて堅苦しい話はさておき、会には様々な趣味や特技?をもつ先生方がいらっしゃいます。福島、相馬先生のそば打ちはプロ顔負けの腕前で時々食べさせていただき感謝しております。また佐川会長は、全国津々浦々和洋中スイーツとそのジャンルを問わずその博識はグルメ本を出版できるのではと思うほどです。また相馬、田辺先生の釣り、田代先生のパソコン、木村先生の津軽三味線、茂呂先生のさつきなど演奏やお話を聞かせていただくのがとても楽しみです。

今後も会員の皆様と共に歩んで参りたいと思います。よろしく願いいたします。



### 畑 和美 (昭和37年12月29日生)

鹿児島大学歯学部 昭和62年卒

縁があり当地に住むようになり、上都賀歯科医師会に入会させていただき早くも20年近くたちました。知り合いのいない私に、結婚式にご出席いただきました駒橋・村本大先生はじめ、会員の先生方からいろいろと心のコモったお声をかけていただき、大変心強く感じてました。また、ボウリング大会などの行事を通じ、奥様方とも親しくなり、子どものこと、学校のことなどいろいろ相談に乗っていただいたり、最近ではコンサートやランチも楽しむようになっていきます。

数年の支部旅行では、旅先に鹿児島を選んでいただきました。残念ながら私は参加できませんでしたが、「いいところだったよ」とお褒めの言葉をいただき、とても嬉しく思いました。

現在、夫が会計の仕事をしており、そのサポートをしています。パソコン

の前に座りながら、役員はじめ会の先生方のハードな仕事ぶりを感じています。以前洋品店経営者から「自分たちはライバルである同業者とは、親しく付き合うことはあまりないが、何故歯医者さんは歯科医師会などで仲良くするの？」と聞かれたことがあります。私なりの答えは「歯科医療は営利だけが目的ではないから」です。個人経営者として、ややもすれば孤独になりがちな個々人が集うことにより、切磋琢磨して医療のレベル向上を図り、また行政と連携することで健康増進の大きな動きを起こすことができます。

上都賀歯科医師会の益々の発展をご祈念いたします。今後ともよろしくお願ひします。



### 大貫 真裕 (昭和32年7月13日生)

日本大学歯学部 昭和57年卒

私は、鹿沼市下材木町で生まれ、中央小・西中・宇高を経て、日本大学歯学部を昭和57年に卒業しました。卒業後は、鹿沼市の茂呂歯科医院に勤務させて頂きました。大学の大先輩である茂呂允先生・茂呂周先生・茂呂兀先生をはじめ先輩の先生方から、社会人として歯科医師としてのABC、基礎を教えて頂きました。茂呂歯科医院には8年半お世話になりましたが、その間、宇都宮の茂呂歯科医院や、栗山・湯西川の診療所にも行かせて頂き、大変貴重な経験をさせて頂きました。

その後、小山の若菜孝夫先生のワカナ歯科第二診療所に勤務させて頂きました。開業前の一年足らずの短い期間でしたが、様々な勉強をさせて頂きました。

平成3年9月11日に、鹿沼市万町（鹿沼高校前）にて大貫歯科医院を開業し、上都賀歯科医師会にも入会させて頂きました。当時、上都賀歯科医師会会長は故岡本全宏先生で、私は、入会間もない平成6年より、公衆衛生担当理事・栃歯会報モニターの大役を任せられました。何もわからない私に、前任の公衆衛生担当理事の田辺章先生をはじめ、先輩の先生方が本当によく御指導して下さいました。“日本初”の歯科ドック（お口の人間ドック）を開始する際には、会員の先生方には大変な御協力を頂きました。上都賀歯科医師会は、瓦井昭二会長、佐川徹三会長となりましたが、「和の精神」が第一であることに変わりありません。

## 寄稿



**藤榮 昇次** (昭和27年3月26日生)

日本歯科大学新潟歯学部 昭和55年卒

上都賀歯科医師会85周年、おめでとうございます。今から85年前という  
と関東大震災の頃にあたります。その後日本は、大変な道のりをたどってき  
ました。それらに照らし合せますと、85年という歳月は、圧倒されるほど  
の重みがあります。地道な活動を続けていらした先達と、それを引き継がれ  
ました役員の先生方のご苦勞、そして、常に途切れることのない前向きな意  
志に思いをはせますと、深く感謝の気持ちがわいてきます。

私が歯科医師会の活動で毎年かかわるのは、学校歯科検診ですので、そこ  
に焦点を当てて述べさせていただこうと思います。ここ数年強く感じるのは、  
ケアという点で同学年でも個人差が激しいということです。このことは多く  
の先生方もお感じになっていることではないでしょうか。個人の背景が、多  
様化してきていることと関係があるのでしょうか。歯科検診は本来、児童生  
徒の底上げの一環として始められたことだと思うのですが。いつの間にか  
『学校で虫歯の通知をもらってこなければ、歯に問題はない。』という本来の  
意図するものとは少しずれた認識が、一部で浸透している様な気がします。  
学校検診の結果を一つの目安としていただくのは構わないと思うのですが、  
学校検診だけですべてをすませることには、限界があるのではと思います。  
本来ならば、お祝いと感謝をこめて、明るい文章がふさわしいでしょう。  
原油・小麦の上昇、アメリカのサブプライムローン、次の世代の先生方はこ  
の時代をどのように位置付け、何を思われるのでしょうか。



**本島 栄人** (昭和34年4月29日生)

日本大学歯学部 昭和62年卒

私は平成4年1月に上都賀歯科医師会へ入会させていただいて、16年程  
になります。入会当時は、会員数は47~48名と記憶しております。今では、  
57名と10名増えて、会員数も増加傾向となっている様です。調査委員会と  
公衆衛生委員会の2つに所属させていただいておりますが、最近あまり出席  
しておらず、誠に申し訳なく思っています。できるだけ出席しなければと思  
っております。

上都賀歯科医師会は、他の歯科医師会と比べて活動も多く、積極的に地域  
医療に貢献していて素晴らしいことだと思っています。

上都賀歯科医師会にとどまらず、日本歯科医師会にもお願いしたい事は、  
今の歯科界は今までにない大変な苦境にさらされつつあります。この状態を  
何とか打破すべく、明るい将来がみえる歯科界になって欲しいと思います。



### 岸野 昌彦 (昭和42年6月2日生)

日本大学歯学部 平成4年卒

当歯科医院は私で三代目となり、上都賀歯科医師会には祖父の代より長きにわたりお世話になっています。

すでに設立より85年もの年月、我々歯科医師はもとより、当鹿沼地区周辺の歯科医療体制を支えている上都賀歯科医師会には常日ごろより感謝している次第です。

私が入会させていただいたのは、まだ30才前の歯科医師になりたての頃でしたので、ただがむしゃらに毎日の診療をこなしているだけでしたが、今年ですでに40才の(不惑)の年代となり、しかし、年をとるにつれ、毎日の診療の中で患者さん全てに歯科を十分理解していただき、さらに(治療をしなければならない状態には追い込まれない事・治療しさえすればいいと楽観的に考えず、予防が全てと考えて、極力治療を受けずに一生やっていく)という所まで理解していただくことの難しさをいやという程痛感していますが、最近では上都賀歯科医師会の地域への積極的な歯科知識の普及への努力・取組のおかげで、徐々にではありますがそのような考え方が当院へ来院される患者さんにも広まりつつあると、日頃の患者さんとの会話の中からも感じられるようになってきました。感謝です。

この後は百周年という事になると思いますが、その頃には自分も60才ちょい前。お互いががんばっていきましょうという気持ちです。



### 鈴木 定幸 (昭和41年5月12日生)

日本歯科大学 平成3年卒

私上都賀歯科医師会に入会して早12年が過ぎた。これまで平穩に診療をして来られたのも諸先生方のご指導のお蔭と感謝している。

振り返ると、ある時までの私は「研鑽を重ね最善の診療を行う事」のみが歯科医師の唯一の責務と考えていた。そんな私に‘歯科医師会’の意義を目覚めさせてくれたある先生のお話(酒席であったのだろう、肝心の先生が誰なのか覚えていないが…)がある。「歯科医師法 第1条に『歯科医師は、歯科医療及び保険指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もって国民の健康な生活を確保するものとする』とあるように、診療を行うだけでは半分、公衆衛生活動を行ってこそ一人前の歯科医師である。しかし、公衆衛生活動は一人では難しい。そのために歯科医師会として皆で活動するのだ。」という主旨であった。歯科医師の責務に対する回答として、まさに正鵠を得たこのお話に接したことで私の意識は変わった。



## 寄稿

確かに「最善の診療」は我々の第一の目標であり責務である。しかし「患者を治す」ことと同じく、或いはそれ以上に大切なのは「患者を作らない」ことであるのは言うまでもない。そして「(口腔) 衛生」の概念がなければ、いかなる治療も意味を成さない。口腔衛生の認識・知識を広く普及させるため、そして歯科医療の恩恵をすべての国民に行き渡らせる社会システムを構築するための「歯科医師会」。甚だ微力な私ではあるが、会員の皆様と力を合わせることで、歯科医師の責務を全う出来ればと考えている。



**手塚 史雄** (昭和40年11月28日生)

鶴見大学歯学部 平成2年卒

私は上都賀歯科医師会史編纂に携わらせていただいて、85年の歴史の中でさまざまな出来事があったことを思い知り、85周年記念誌が大変充実した歴史書になるだろうと強く感じました。私の父や祖父も歯科医師会に係っておりました。私が子供の頃、父が熱く歯科医師会について話をしていたことを思い起こしますが、今では父の他界により歯科界についての話を聞くことができず、とても残念に感じています。父の話の記憶の一つに思い出すのは「これから歯科の収入はサラリーマンより少し良い程度になる」と話していたことです。歯科の未来について、父の時代から問題視してきたのだ、厳しくなっていく現代を想像していたのだらうと思いました。歯科医は生涯にわたり研修をし、人を診るといふ社会貢献をし、時にはリスクを負うこともある仕事ですから経済的に余裕が無ければならないと考えますが、その代わり社会は歯科が逸脱した行為をした時手厳しい反応をとるだらうと思います。

これから将来、医療の知識を高め、地域や医科との連携などがますます広がりを持っていくことが必要になってくるのだと思います。

最後に上都賀歯科医師会において、診療時間などを削って歯科医師会の仕事をしてくださっている先生方のご尽力には、大変感謝しております。

**駒橋 武** (昭和39年12月3日生)

鶴見大学歯学部 平成元年卒



平成9 (1997) 年9月から、鹿沼病院附属歯科クリニックを立ち上げて11年が経過しました。従って上都賀歯科医師会にお世話になってから同じ月日が経過したということになります。

一昔前からお世話になっている上都賀歯科医師会の事業の中でも順番制の学校医制度はナンバー1ではないでしょうか？はじめは多少面倒に感じることもありましたが、地域の小学生から高校生までの口腔内をあれだけ一度に

診る機会はこの時しかありません。患者様に説明をする際にも、学校検診の結果をふまえてのお話ができるので非常に説得力があります。

今年から栗野第2小学校の学校医になりましたが、とにかく自然が美しく、そこに佇んでいる校舎もまた古風で素晴らしいものです。(生徒さんたちは新しい校舎のほうがうれしいのかも知れませんが・・・)

このような制度を立案、実施にご尽力下さった全ての先生方に感謝します。

この11年間にお世話になった先生方、ありがとうございます。ご迷惑をお掛けした先生方、申し訳ありませんでした。私はこんな人間で、これからもこんな感じで生きていこうかと思っはしておりますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。



**鰐原 治子** (昭和56年12月19日生)

鶴見大学歯学部 平成18年卒

今回、上都賀歯科医師会85周年記念誌の発刊に関与できますことをとても嬉しく感じております。私は今年度より入会させて頂き、4つの委員会に所属させて頂いています。まだ数ヶ月ですが、色々な講習会があり、一般歯科診療についてのみならず、時事問題についての勉強会もあったりと、大学を離れてからも学ぶ機会を頂けて楽しく在籍させていただいております。例えば、生前の元気だった頃の祖父は、盛んに色々な会議と言っは出掛けていたことを記憶しております。これから何年、何十年とお世話になっていくことになるとは思いますが、都合のつく限り参加していきたいです。

「私と上都賀歯科医師会」の付き合いは今年度から始まり、新たに歴史を刻んでいくこととなります。まだまだ卒後数年の若輩者ではありますが、よろしく御指導下さい。

## アンケート

①趣味 ②健康法 ③1)好きな食べ物(飲み物) 2)嫌いな食べ物(飲み物)  
④今までに一番嬉しかった事 ⑤歯科医師会に望む事



### 故 川島光五郎

(大正11年2月10日生)  
日本歯科医学専門学校  
昭和19年卒  
平成20年10月30日逝去

- ①馬術、カメラ、書道、ゴルフ
- ②撰生した生活
- ③1) 魚類  
2) 好き嫌いなし
- ④特攻隊員の辞世を書にした大作が、鹿児島県加世田市平和記念館に永久展示され、別の作品では、毎日賞を受賞した事
- ⑤真の歯科医療を政府、国民にアピールし、医療制度改革を望む。



### 茂呂 允

(昭和11年4月10日生)  
日本大学歯学部  
昭和37年卒  
同大学院(口腔外科)

- ①盆栽(特に臯月)と中国鉢等の蒐集
- ②武道
- ③1) 特になし  
2) 特になし
- ④特になし
- ⑤特になし



### 茂呂 周

(昭和14年9月9日生)  
日本大学歯学部  
昭和39年卒

- ①盆栽
- ②よく牛肉を食べること
- ③1) ビール、ワイン  
2) 果物
- ④教授になった事
- ⑤団結力



### 故 越路 昭夫

(昭和16年9月19日生)  
日本大学歯学部  
昭和50年卒  
平成21年8月23日逝去

- ①カメラ、車
- ②
- ③1) そば  
2) グリンピース
- ④長男・長女の大学入学と国試の合格

①趣味 ②健康法 ③1)好きな食べ物(飲み物) 2)嫌いな食べ物(飲み物)  
④今までに一番嬉しかった事 ⑤歯科医師会に望む事



### 菊地 香

(昭和25年1月25日生)  
東京歯科大学  
昭和50年卒

- ①魚釣り、ワイン(ゆっくり香りと味を楽しみたい)
- ②酒を飲むこと(酒は百薬の長だと思う)
- ③1) 全て(何でもおいしいと思える事は本当に幸せです)  
2) 特になし
- ④今までは特になく、これからが楽しみ(絶対にこれから一番いい時が来ると信じて頑張りたいと思います。)
- ⑤子供達に誇れる歯科医師会を今を生きる我々が力を合わせて構築していきたいと思います。



### 田辺 章

(昭和30年3月12日生)  
城西歯科大  
昭和54年卒

- ①鮎・山女釣り
- ②軽度の運動、ストレスを溜めない
- ③1) 魚貝類、甘い物  
2) 酒類
- ④長男の誕生
- ⑤特になし



### 茂呂 兀

(昭和16年5月31日生)  
日本大学歯学部  
昭和43年卒

- ①盆栽、骨董(ガラクタ集め)
- ②毎日(1万歩)歩くこと
- ③1) 何でも可、酒  
2) 豚足は食べられない
- ④なし
- ⑤なし



### 瓦井 紀子

(昭和29年4月9日生)  
東北歯科大学  
昭和55年卒

- ①ガーデニング、ピアノ、etc
- ②友達とランチをし会話をすること
- ③1) ごはん、日本茶  
2) 内臓系、焼酎(特にいも)
- ④夫と出会い結婚出来たこと
- ⑤次の世代に少しでも光明が見い出せますように頑張って下さい。それと出来ればうちのおむこさんを探して戴ければ!

## アンケート

①趣味 ②健康法 ③1)好きな食べ物(飲み物) 2)嫌いな食べ物(飲み物)  
④今までに一番嬉しかった事 ⑤歯科医師会に望む事



### 狐塚 行弘

(昭和32年6月1日生)  
新潟大学歯学部  
昭和57年卒

- ①ビリヤード
- ②快眠快食
- ③1) 魚  
2) トマト
- ④子供の誕生
- ⑤治療した内容が全て評価される保険制度の実現を望みます



### 金子 泰英

(昭和46年2月18日生)  
日本大学歯学部  
平成6年卒

- ①旅行、テニス、スノーボード
- ②ジムに行くこと、食事に気をつけること
- ③1) 和食  
2) グリーンピース
- ④沢山ありますが歯科医師になれたこと
- ⑤派閥、学閥をつくらず協力し合い仲良くやりましょう



### 手塚 忠雄

(昭和37年1月23日生)  
鶴見大学歯学部  
昭和63年卒

- ①ゴルフ
- ②1日1時間歩くこと
- ③1) すし、肉、野菜、ケーキ  
2) うめぼし
- ④特にない
- ⑤85周年おめでとうございます。私も早いもので入会して20年が経ちました。この間、地域医療、歯科ドック、訪問在宅診療、介護保険など、さまざまな事業に参加し、勉強させて頂きました。その一方では、政治不信、年金問題、雇用問題など、さまざまな事があり歯科界に於いては、社会保険点数の伸び悩み、後期高齢者問題など暗いことばかり。その中歯科医師の“プアーワーキング”“歯医者はおもういいよ〜”など日常的に聞かれるようになりました。これから20年、30年経ち、今の子供達が歯医者になりたいと思う職業になるように、歯科医師会ともども頑張って歯科界を盛り上げていかなければならないと思います。



### 茂呂 祐康

(昭和43年7月20日生)  
日本大学歯学部  
平成6年卒  
同大学院修了

- ①車、フィッシング
- ②フィッシング
- ③1) からあげ  
2) なし
- ④子供の誕生
- ⑤なし

- ①趣味 ②健康法 ③1)好きな食べ物(飲み物) 2)嫌いな食べ物(飲み物)  
④今までに一番嬉しかった事 ⑤歯科医師会に望む事



**茂呂 英運**

(昭和44年12月10日生)  
奥羽大学歯学部  
平成8年卒  
同大学院修了

- ①スキューバダイビング、  
モンキー (50ccバイク) 蒐集  
②あまり思いつかない、  
ストレスをためないこと  
③1) ステーキ、肉一般  
2) 酢物  
④大学院卒業の時、父親に“ごくろうさん”と  
いわれた事  
⑤今みたく、和気藹藹とやりたいです



**岡本 真利**

(昭和50年3月25日生)  
奥羽大学歯学部  
平成11年卒

- ①茶、スポーツ全般  
②禁煙  
③1) 魚  
2) メロン (アレルギー) とスイカ  
④家庭をもったこと



**齋藤 由昭**

(昭和48年11月13日生)  
日本歯科大学新潟歯学部  
平成10年卒

- ①ゴルフ  
②腹八分目  
③1) 魚料理  
2) 特になし  
④小さな事でも努力が実った時は、いつも嬉しいですね  
⑤地域社会に貢献できるようがんばって下さい



**村本 創**

(昭和49年1月25日生)  
神奈川歯科大学  
平成9年卒

- ①映画鑑賞  
②特にしていません  
③1) 唐あげ、酒  
2) トマト  
④子供ができた事  
⑤僕たち歯科医師が誇りを持って仕事をできる  
ような体制づくりをしてもらいたいです

## アンケート

①趣味 ②健康法 ③1)好きな食べ物(飲み物) 2)嫌いな食べ物(飲み物)  
④今までに一番嬉しかった事 ⑤歯科医師会に望む事

---



### 星 雅朗

(昭和47年5月15日生)

奥羽大学

平成元年卒

- ①家電巡り
- ②気にせず食べる事
- ③1) ラーメン  
2) おはぎ
- ④長男誕生
- ⑤今後とも御指導の程よろしく申し上げます



### 三浦 憲

(昭和45年12月23日生)

東京歯科大学

平成10年卒

- ①散歩
- ②特になし
- ③1) 特になし  
2) 特になし

## 第4章

---

# 受章(賞)者一覽



## 受章(賞)者一覧

---

### 上都賀歯科医師会各賞表彰歴一覧(平成22年度現在)

1回~13回、15・16回は表彰者なし

#### 昭和49年度(14回)

大会長賞 鰐原悦郎

#### 昭和52年度(17回)

センター所長賞 鈴木幸雄 福田利示 今井一郎

県歯会長賞 福田利示

#### 昭和53年度(18回)

大会長賞 福田利示

#### 昭和54年度(19回)

センター所長賞 菊地貞造

学校保健賞 金子智英

#### 昭和55年度(20回)

知事賞 石川権左エ門

大会長賞 鈴木幸雄 今井一郎

県歯会長賞 菊地貞造

#### 昭和56年度(21回)

知事賞 鰐原悦郎

大会長賞 菊地貞造

センター所長賞 新島剛

#### 昭和57年度(22回)

知事賞 福田利示

大会長賞 新島剛

センター所長賞 福島茂

#### 昭和58年度(23回)

センター所長賞 川島光五郎

県歯会長賞 福田利示

#### 昭和59年度(24回)

知事賞 新島剛

大会長賞 福島茂

センター所長賞 畑二郎 村本光

#### 昭和60年度(25回)

大会長賞 川島光五郎

センター所長賞 高崎道子 駒橋秀光

学校保健賞 金子智英

## 昭和61年度 (26回)

知事賞 鈴木 幸雄  
 センター所長賞 毛塚 正教 茂呂 允

## 昭和62年度 (27回)

知事賞 菊地 貞造  
 大会長賞 畑 二郎  
 センター所長賞 木村 佐智子

## 昭和63年度 (28回)

大会長賞 村本 光  
 県歯会長賞 福田 利示

## 平成元年度 (29回)

知事賞 川島 光五郎

## 平成2年度 (30回)

知事賞 今井 一郎 駒橋 秀光 (救急)  
 大会長賞 高崎 道子 駒橋 秀光  
 センター所長賞 金子 智英 中田 嘉之  
 県歯大塚賞 福田 利示

## 平成3年度 (31回)

大会長賞 茂呂 允  
 学校保健賞 小高 章愛

## 平成4年度 (32回)

知事賞 畑 二郎  
 大会長賞 木村 佐智子  
 センター所長賞 小高 章愛 岡本 全宏  
 鹿沼市功労者 福田 利示  
 鹿沼市功績者 菊地 貞造 鈴木 幸雄 小高 章愛  
 岡本 全宏  
 県歯大塚賞 菊地 貞造

## 平成5年度 (33回)

知事賞 木村 佐智子 (保健賞)  
 大会長賞 金子 智英  
 センター所長賞 越路 昭夫 村本 明  
 鹿沼市功労者 鈴木 幸雄  
 鹿沼市功績者 新島 剛 川島 光五郎 畑 二郎  
 村本 光

平成6年度 (34回)

知事賞 村本 光 高崎道子(救急)  
 センター所長賞 梅沢 富嶽 齊須 わか子  
 鹿沼市功労者 菊地 貞造  
 鹿沼市功績者 高崎道子 駒場 秀光 茂呂 允  
 木村 佐智子  
 県歯大塚賞 新島 剛

平成7年度 (35回)

大会長賞 中田 嘉之  
 センター所長賞 岸野 忠明 菊地 香  
 鹿沼市功労者 新島 剛  
 鹿沼市功績者 金子 智英 越路 昭夫 川嶋 仁一  
 村本 明

平成8年度 (36回)

センター所長賞 川嶋 仁一 鈴木 節雄  
 鹿沼市功労者 村本 光  
 鹿沼市功績者 小林 幹夫 梅沢 富嶽 佐川 徹三  
 菊地 香  
 県歯大塚賞 駒橋 秀光

平成9年度 (37回)

大会長賞 岡本 全宏  
 センター所長賞 茂呂 兀 菊地 均  
 鹿沼市功労者 駒橋 秀光  
 鹿沼市功績者 田辺 章 茂呂 兀 鈴木 節雄  
 瓦井 昭二  
 学校保健賞 岡本 全宏

平成10年度 (38回)

大会長賞 越路 昭夫  
 センター所長賞 鰐原 公子 瓦井 昭二  
 鹿沼市功労者 畑 二郎  
 鹿沼市功績者 瓦井 紀子 石崎 誠 菊地 均  
 新島 康夫  
 県歯大塚賞 畑 二郎

## 平成11年度 (39回)

知事賞	中田嘉之	金子智英(救急)	
センター所長賞	小林幹夫	佐川徹三	
鹿沼市功労者	川島光五郎		
鹿沼市功績者	福島隆夫	木村立男	田代高志
	相馬英人		
県歯大塚賞	村本光		

## 平成12年度 (40回)

大会長賞	村本明		
センター所長賞	田辺章	瓦井紀子	
鹿沼市功労者	高崎道子		
鹿沼市功績者	狐塚行弘	石澤隆之	金子實
	小川哲弥		

## 平成13年度 (41回)

知事賞	越路昭夫	岡本全宏	
大会長賞	梅沢富嶽		
センター所長賞	木村立男	金子實	
鹿沼市功労者	茂呂允		
鹿沼市功績者	鈴木宏彦	山本浩	駒橋一永
	鈴木裕之		

## 平成14年度 (42回)

大会長賞	齊須わか子		
センター所長賞	石崎誠	新島康夫	
鹿沼市功労者	木村佐智子		
鹿沼市功績者	手塚忠雄	田島雅哉	田口浩美
	畑健一		

## 平成15年度 (43回)

大会長賞	茂呂兀		
センター所長賞	福島隆夫	相馬英人	
鹿沼市功労者	金子智英		
鹿沼市功績者	畑和美	大貫真裕	本島栄人

## 平成16年度 (44回)

知事賞	村本明		
センター所長賞	田代高志	狐塚行弘	
鹿沼市功労者	岡本全宏		

平成17年度 (45回)

大会長賞 川嶋 仁一  
センター所長賞 石澤 隆之 小川 哲弥  
鹿沼市功労者 越路 昭夫  
県歯大塚賞 高崎 道子

平成18年度 (46回)

知事賞 梅沢 富嶽 茂呂 允(救急)  
大会長賞 瓦井 昭二  
センター所長賞 山本 浩 駒橋 一永  
鹿沼市功労者 川島 仁一

平成19年度 (47回)

大会長賞 鰐原 公子  
センター所長賞 鈴木 裕之 手塚 忠雄  
鹿沼市功労者 村本 明

平成20年度 (48回)

大会長賞 佐川 徹三  
センター所長賞 田島 雅哉 畑 健一  
鹿沼市功労者 梅沢 富嶽  
県歯大塚賞 茂呂 允

平成21年度 (49回)

知事賞 川嶋 仁一  
大会長賞 菊地 香  
センター所長賞 畑 和美 大貫 真裕  
鹿沼市功労者 佐川 徹三

平成22年度 (50回)

大会長賞 田辺 章  
センター所長賞 本島 栄人 駒橋 武  
鹿沼市功労者 菊地 香

〇〇〇〇〇

その他の受賞

昭和26年

鹿沼市長表彰 福田 利示

昭和56年

鹿沼市長表彰 鈴木 幸雄

昭和58年

厚生大臣表彰 鰐原 悦郎

---

**昭和61年**

文部大臣表彰 鰐原悦郎

**昭和63年**

日本歯科医師会会長表彰 菊地貞造

**平成元年**

鹿沼市市制40周年記念感謝状 岡本全宏

**平成2年**

藍綬褒章 鰐原悦郎

**平成5年**

鹿沼市市制45周年記念感謝状 小高章愛

**平成9年**

勲五等双光旭日章 鰐原悦郎

日本歯科医師会会員有功章 鰐原悦郎

鹿沼市市制功労者表彰 小林幹夫

**平成10年**

鹿沼市市制50周年記念感謝状 新島剛

**平成15年**

厚生労働大臣表彰 岡本全宏

日本歯科医師会会長表彰 岡本全宏

## 第5章

---

# 参考資料・その他

## 参考図書・引用文献

(図書・文献名)	(発行者)	(発行年)
日本歯科医師会史 第1巻～第3巻	日本歯科医師会	平成4～平成5年
日本歯科医師会史 資料編	日本歯科医師会	平成2年
全国歯科医師名鑑	日本口腔衛生出版部	大正14年
日本杏林要覧		明治42年
日本歯科医師名簿	日本歯科新聞社	昭和5年
栃木県歯科医師会議事録	栃木県歯科医師会	大正5年～現在
栃歯會報	栃木県歯科医師会	昭和27年～昭和30年
栃歯月報	栃木県歯科医師会	昭和30年～昭和54年
栃歯会報	栃木県歯科医師会	昭和54年～現在
会務日誌	栃木県歯科医師会	昭和22年～昭和24年
鹿沼歯科医師団記録第1号	鹿沼歯科医師団	大正14年～昭和4年
鹿沼歯科医師団記録第2号	鹿沼歯科医師団	昭和5年～昭和30年
上都賀郡歯科医師会記録	上都賀郡歯科医師会	昭和32年～昭和49年
栃木県歯科医師会創立100周年記念誌	栃木県歯科医師会	平成21年
栃木県医師会史	栃木県医師会	昭和44年
足利歯科医師会沿革史	足利歯科医師会	昭和63年
那須歯科医師会沿革史	那須歯科医師会	平成7年
日本大学歯学部沿革史70年史	日本大学歯学部同窓会	平成5年
上都賀郡市医師会史	上都賀郡市医師会	平成18年
栃木県大百科事典	下野新聞社	昭和55年
「下野」世相100年	下野新聞社	昭和59年
とちぎ20世紀 上巻	下野新聞社	平成12年
とちぎ20世紀 下巻	下野新聞社	平成13年
鹿沼市史通史編 近現代	鹿沼市	平成18年
鹿沼市史通史編 近世	鹿沼市	平成18年
鹿沼市の絵図地図	鹿沼市	平成17年
鹿沼市合併記念誌	鹿沼市	昭和29年
鹿沼市南摩村・南押原村合併記念誌	鹿沼市	昭和30年
目で見る日光今市鹿沼の100年	郷土出版社	昭和36年
かぬま郷土史散歩	晃南印刷	平成3年
郷土の歴史	鹿沼市	昭和50年
鹿沼商工会議所創立60周年記念誌	鹿沼商工会議所	平成19年
上都賀郡誌復刻版	鹿沼市誌刊行会	昭和52年
これだけは知ってほしい歯科のあゆみ	A B C企画	昭和48年
歯の風俗史	時空出版	平成5年
入れ歯の文化史	文藝春秋	平成12年



(図書・文献名)	(発行者)	(発行年)
歯科の歴史おもしろ読本	クインテッセンス出版	平成5年
栃木の百年	山川出版	昭和61年
赤十字栃木百年の歩み 日赤栃木県支部100年史	日赤栃木県支部	平成2年
宇都宮市史	宇都宮市	昭和56年
藤原町史通史編	藤原町	昭和58年
足利銀行史	足利銀行	昭和60年
帝国製麻株式会社50年史	帝国製麻株式会社	昭和34年
栃木県郷土史散歩	落合書店	昭和38年
郷土史事典 栃木県	昌平社	昭和57年
郷愁の野州鉄道	随想舎	平成16年
RAILWAY100 東武鉄道が育んだ1世紀の軌跡	東武鉄道株式会社	平成10年
明治・大正・昭和・平成 物価の文化史事典	唐沢明義	平成20年
流行語の昭和史	読売新聞社	平成元年
キネマ旬報ベストテン80回全史	キネマ旬報社	平成19年
新版日本流行歌史 上	社会思想社	平成6年
新版日本流行歌史 中	社会思想社	平成7年
新版日本流行歌史 下	社会思想社	平成7年
昭和平成史年表	平凡社	平成21年

## 〔平成22年度 藹藹会における座談会〕



田代 それでは、開会の挨拶を大貫副会長お願いします。

大貫 先生方お忙しいところをありがとうございます。昨日のニュースですが、日本で100歳以上の方が44,449人いらっしゃるというまあ戸籍上なのではないかと、それにあやかるように先生方が末永くお元気でお過ごしなさることをお祈り申し上げ開会のご挨拶とさせていただきます。

一同拍手

田代 それでは主催者を代表いたしまして佐川会長お願いします。

佐川 皆様こんばんは。ただいま大貫副会長が申しましたように平成22年度の藹藹会を開催する運びとなりました。ただいま編纂のほうで85周年記念誌を作成中のごさいます、もう少しで推敲に入るのですけれども、ちょっといろいろ調べておりましたら昭和62年にこの藹藹会という名称で70歳以上の方を慰労するという意味合いで始まったようです。それ以前に藹藹会という名前でも同様の集まりはあったようでごさいます、資料が散逸しているため昭和62年以降は、はっきりしているのですが、この会で23回目の藹藹会ということで、新島先生、高崎先生、茂呂先生におかれましては、本当にありがとうございます。今日は、福島先生が編纂のチーフをやっておりまして、途中から座談会に切り替えまして先生たちのお話を聞かせていただきたいと思っております。それと、福島、相馬、両先生に美味しい蕎麦を提供して戴く予定になっておりますので、楽しい一時を過ごしたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。

花束贈呈3人の先生方に拍手 一同写真撮影

乾杯

中田 それでは、大変僭越ではございますが、乾杯の音頭をとらせていただきます。今日はお忙しいところを3人の先生方ありがとうございます。本日は村本先生達が創られた県歯100周年記念誌を読んできましたが本当に色々な先輩方が大変な苦勞をしながらこの歯科医師会が有るんだなあ本当に先輩有つての上都賀歯科医師会が有るんだなあと感じました。特に、新島先生が開業なされたのが昭和18年で私が19年生まれで私の生まれたときには、もうすでに開業なされていたんだなあ本当にこれは、素晴らしい事なんだなあと思いました。どうか3人の先生方のこれからの益々のご健康をご祈念申し上げ、上都賀歯科医師会の益々の発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げ乾杯したいと思います。

## 乾 杯

一同、おめでとうございます。[拍手]

今日欠席の畑先生よりのお手紙を朗読

『相変わらずゆっくり過ごしております。今日は出席出来なくて申し訳ありません。皆様によろしくお伝えください。』

**畑先生よりお父様の近況報告** 父は相変わらず自宅にてのんびり過ごしております。本当は謁謁会を楽しみにしていたのですが、宜しく願い致します。

**福島先生に司会が変わる** (これより座談会)

**福島** 上都賀歯科医師会は大正14年に鹿沼歯科医師団として発足しました。

本年85周年を迎えるにあたり、記念誌を作っているところであります。本日は謁謁会の先生方にお話を伺いたく、この場をお借りして座談会を開催させていただきます。

**佐川** まず、昔の歯科医師会と今の歯科医師会との違いは何かありますか？

**新島** 18年に卒業予定が、16年3月繰り上げで卒業し、研修科というところに研修生で入りました。徴兵検査が17年にありまして、歯科医師会に入ったのが18年です。

18年4月にノースアメリカが東京を爆撃しましたが、東京が初めて空襲された時に東京にいました。

**佐川** 18年にはこちらで開業しているでしょ？

**新島** 18年より前には帰ってきています。

**佐川** 現在の歯科医師会と比べて親睦が中心だったというお話を伺ったことがありますか？

**新島** 昔は日光、今市、鹿沼が一緒の支部でした。

玉井先生とか、宮川先生、新井先生、私の父が支部長をやっている時に、よく、うちの狭い部屋に集まって酒を飲んでいたので僕は見たことがあります。

今の歯科医師会のような何か事業をやっているのではなくて、そういう親睦会や、旅行とか飲み会とかが中心でした。月1回常会がありましたが、各会員の自宅に持ち回りで集まってやっていました。



**佐川** 高崎先生はいかがですか？今と昔の違い。

**高崎** とにかく私は当時は女性一人だったので大変でした。新年会とか何かの時は会員が20人位でしたから本当に。今でいえば、喜楽さんの座敷で、そんなに来賓は来なかったように思います。私は父の後手伝いに行って、最初は東洋女子歯科。今は廃校になってしまつてつぶれて、その寄付とかが無いからありがたいです。

**佐川** 高崎先生は、入会した頃は、紅一点だったわけですね？

**高崎** そうなんです。旅行の時なんかは、女一人だったから、大部屋に1人で寝ました。鍵をかけて・・・

ドンドンと叩く人もいました。

〈？ 誰だ？誰だ？〉

**高崎** 名前は伏せておきます。でも今は、このように楽しい会にさせていただいて。去年は突然欠席いたしましたして、失礼しました。実は、急に血圧が高くなって。それで今年は何とか出席することが出来ました。市の健康診断で中性脂肪が多いと言われてしまって薬の種類だけが多くなって、その反対に身長が5cm近く減ってしまいました。それと収入が減りました。そんな感じでございます。



**佐川** 茂呂先生が入会された頃と今とではどうでしょう？

**茂呂** いやあ、今のほうが平和ですよ。

**佐川** じゃあ、その平和じゃなかった頃の話は何つてもよろしいですか？

**茂呂** 昔はみんなワンマンだったから、まあ昔の上都賀は県の歯科医師会がこうだって言うのと違うって言うほうだったからね。まあ何でも反対だったからね。

**佐川** 先生は何年入会ですか？

**茂呂** 僕は37年かなあ。

**佐川** 37年で言うと日光と別れた後ですね。30年ですか。当時の会長は誰ですか？

**茂呂** 僕のときは誰だったろう？新島先生かなあ。

**新島** うちの父の頃は、戦争中はアルコールなど配給でした。

薬も配給でした。歯科医師会の集まりっていうと、配給の局方アルコールっていうのが飲み会の酒になる。そのアルコールを薄めて、そこに色をつけて酒を飲みました。

**高崎** 金も配給でしたよね。戦争中だから誰も金箔なんか入れなかった。うちの父が珍重していた物が余ってしまって、それを貯めて私の学費にしてくれたんです。

**佐川** じゃあ茂呂先生は入会してから、お父様の補佐をしながら弟さんの事とかも大変だった訳ですね。

**茂呂** いやあ、うちの父は仕事をあまりしなかったからねえ。元気な時から。

**佐川** 議員もやっていましたからねえ。その頃のことで、何か先生が忘れられないエピソードなどありますか？

**茂呂** そりゃあもう。栃木県の歯科医師会館の建設ですよ。しっちゃかめっちゃかでねえ。

**佐川** 一番それが印象強いですか？

**茂呂** そうですよ。だって石川わたるさんと新島さんと手塚先生……。僕が入会した時の初めての旅行が山形なんです。石川わたるさんが、あんなにいびきをかくとは知らなかった。部屋に入ったら、俺がわたる先生の世話役なんだ。ものすごく眠れないんだ。朝廊下で寝たもん……。いやあいびきはすごいわ。

**佐川** いろいろな事件があったんですね、茂呂先生。

**茂呂** ええ。

**高崎** 当時は、歯科医師会は、さっきもおっしゃったように持ち回りでした。

人数が少なかったから仕方がないけれども、狭



い部屋に準備するのが大変でした。

でも、会議の時、お酒は入らなかったですよ。

**佐川** お酒が入らないわりには、何かあるたびに事件があったんですよね。

**菊地(香)** 持ち回りはすごかった。それぞれの先生の家でやっていたのだと思います。

小さい頃、そういう思い出がありました。

料理とかは、その家で用意せずに、お茶菓子だけだったように思います。

**新島** 役員会の時、青木先生のお宅にお邪魔してごちそうになって、手作りをいただいた。

何回もありました。

**茂呂** うちの父が福島先生のお父さんの結婚式の後、みんな呼ばれて天婦羅食った話をよくしていたよ……。福島先生のお母さんが天婦羅作ってくれてねえ。

あの頃はこういう風に若手はいなかったもんね。

だから、若手は年中お茶くみだよ。

**佐川** 前に高崎先生の家で聞き取り調査をやった時に、茂呂先生のお父様が気になっていたことが青木先生の日記に克明に書いてあって、どうやら先に出したかということが分かったんですよ。

いわゆる金崎事件ですが。

でも最初に絡んできたのはあっちの方が先だったらしく、茂呂先生のお父様はちょっとそういうのはこういう所ではやめろって止めようとしたら倒れちゃって逆切れしちゃったとゆうことらしいですよ。

**茂呂** うちの父はあまりお酒は飲めなかったから、絡むってことは事はないよ。

**佐川** まあ、昔は色々武勇伝もあったようですが、お話を伺っていると楽しい思い出のようです。それでは、これからの歯科医師会に望むことはないですか？

**茂呂** 何も無いけど、昔は大変だったんだよ……。まあ、時代時代で歯科界も変わるだろうけど、これから学校の統廃合があると医療系の学校も変わってくるだろうしねー。まあそれは時代の趨勢に任せて淡々と生きるだけですよ。

**佐川** まあ我々とか次の世代に望むことはないですか？

**茂呂** それはないねー。あんまり大したこと言うとなー……。

時代の推移っていうか、難しいものだよ。日本がこんなに子供の数が減少するなんて僕らの子供の頃には考えもしないもん。でも、こうやってだんだん減っちゃってねー。まあ、時代が流れるっていうのは大変な事ですよ。

**佐川** まあ我々も、和気藹藹と歯科医師会を運営していければと考えています。

高崎先生は、何か望むことはありますか？

**高崎** これから望むことは、旅行にいつも連れて行ってってくれること。私なかなか行けないから。今年が京都で通常観れないところに行けるそうで楽しみにしています。

西方が栃木と一緒にしまうと、齊須先生が出てこれなくて困ってしまうと思いました。

**佐川** 医療圏はなるべく今までと同じように上都賀でと考えていますし、そうなるように努力しておりますので、ご安心ください。



- 新島** これから望むことは、私は古くなりすぎたので分かりませんが、89歳、新年1月で90歳。あんまり早く年寄り扱いってのがちょっと寂しいですし、70歳で線を引くのもどうかと思います。なるべく年寄りを自覚させないようにしてもらえるとありがたいし、もっと活用してほしいです。今年の夏はあまりにも暑いので、ゴルフどころじゃなかったけど、体力が続く限りまたやろうかと思ってます。
- 佐川** 茂呂先生は『さつき』、新島先生『ゴルフ』、そして高崎先生はいつも若々しいと思っているのですが、何か秘訣があるのですか？
- 高崎** 私は本業よりも、主人が残した福祉施設『あいりん』の理事長として毎日頑張っているんですが、それが張合いになっています。『あいりん』のお弁当は450円なんですけれど評判が良く、日曜日は休みなんだけど、学校の先生とかいろいろな集まりの時頼まれて結構売れているんです。収入はあるのですが、そんなに儲かっていない。でも『あいりん』と言う名が広がれば、それでいいと思っています。
- 佐川** 『あいりん』が生きがいなんですね。
- 高崎** 今度の理事評議委員会で、東京に行かなくちゃいけないんだけど、その内部監査なんか……「めくらばん」(笑い)
- 佐川** 新島先生は常におしゃれで車は乗るし。ゴルフもして元気の証し。茂呂先生は、さつきの縁でフランスまで行ってしまう。鹿沼の『さつき大使』のような役割もしていますよね。
- 茂呂** 行きたくないけど頼りにされているからしょうがないんだ。でも長い時間飛行機に乗っているのがやだよ。
- 新島** 一人暮らしは気楽なもので、元気なら1人でいいかなと思っています。孫は6人います。
- 佐川** せっかくの機会ですので、ご出席の他の先生からも何かお話を伺えればと思います。中田先生何かございますか？
- 中田** 48年頃より菊地貞造先生から、そろそろ会員になったらと言われて50年に入会しました。岡本先生や私がいつもお茶くみをしていました。中間の先生がいなかった。新島先生が会長になられた頃会計をしていたのですが、昔は会長の家でご馳走になったり、いろいろとお世話になりました。
- 村本** 栃木県歯科医師会100周年記念誌がきっかけとなり、上都賀の記念誌を作ることになったのですが、風呂敷包みの中にノートが残っていて、しかも1年ごとに幹事が克明に記録を残してくださっていて大変助かりました。大正14年から昭和45年まで続いていた。空白の6～7年もありました。但し会員数はほとんど変化が無かったようです。現在は個人的に有名な歌人の詩を調べて集めていて、最後にそれを書かせて戴きたくて、図書館通いをして毎日調べています。
- 菊地(香)** 入会した時は新島先生が会長でした。プロローグが非常に長かったんです。小学生の時から



会に出ているわけでは無いのですが、持ち回りで常会などをやっていたので。父も会長をやっている、その頃私は中学生、高校生でした。12時過ぎまで会議をやって終わると送っていく。お茶を入れたり。歯科医師会のイメージが悪かった。建設的発展性が無いと感じていました。大学に行く頃歯科医師は足りなく、卒業するころには叩かれていた。



昭和50年くらいは社会問題になっていた。イメージが悪く、入会した時・・・。

先輩を重んじる事が無かった。謁藹会を作ってリスペクトする・・・。やっと正常になってきたように思います。3人の方にまだまだ私達は子供ですから、ご助言ご協力ご心配を戴いて、まだまだ頑張りたいと思います。

**大貫** 今の雰囲気がいいと思います。誰かをどうしようとか、裏でどうしようとかない。ある意味平和な状態が続いているのは、諸先輩方のご尽力の賜と感謝します。今後は御恩を忘れることなく、会の発展の為に努力したいと思っています。

**福島** 調査委員会担当になって、記念誌編纂に関わってから早5年になります。聞き取り調査、資料整理・・・。

村本先生のご指導の下、佐川会長、鈴木裕之総務、委員の皆様、ご協力ありがとうございました。本日の座談会で、貴重なお話をいただき、発刊まで今少しのところまでこぎつけたと思います。

実は、あまり好きではなかった歯科医師会でしたが、編纂のなかで、いろいろな事が分かってきて、今では上都賀歯科医師会が好きになりました。

最後に、会長から一言お願い致します。

**佐川** 本日は3名の先生にご出席を戴き、いろいろなお話を伺うことが出来ました。この謁藹会の銘の通り、やはり歯科医師会は『親睦』と『相互扶助』ありきでなければと改めて意を強くしました。

先生方の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。

**福島** それでは、以上をもちまして記念誌の為の座談会を閉じさせていただきます。尚、謁藹会はまだ半ばでございます。今、相馬先生が蕎麦打ちを頑張っていますので、お蕎麦をご賞味戴きながら、ごゆっくりとご歓談戴ければと思います。ご協力ありがとうございました。

(敬称略)

## 歯と口とうた（俳句）

### 《俳句とは》

俳句とは、五・七・五と十七音節からなる短詩。原則として季題（季語）をよみこむとされる。「発句」ともいう。連句の発端の句という意味で「付句」を予想して作られていた。俳諧（誹諧）の発句を縮約した言い方で、一般的に用いられたのは明治20年代以降である。俳諧とは中国語で、滑稽（ざれごと）を意味し、『古今和歌集』に（誹諧歌）としてみえる。のち和歌から派生した俳諧の連歌があり、単に俳諧とよんだ。

江戸時代の俳諧は連歌の伝統をもった連句であって、複数の読み手により〈発句、脇句、平句〉など、複数の句から構成された。連歌は三十六句（正式には歌仙）、百句（句とはいわず、正式には百韻）、千句などの連句が本来の形式。この連句の初句である発句（五・七・五）が、やがて独立してよまれる様になった。

室町末期の頃から盛んになり、江戸時代に入って松永貞徳は形式を重んじ（貞門派）、西山宗因は斬新自由を高唱し（談林派）、松尾芭蕉以降は幽玄閑寂を尊ぶ（蕉門派）に至った。

明治期にはいって、俳諧の革新を志した正岡子規により〈発句〉の一句が完全に独立して《俳句》とよばれた。

明治28年『俳諧大要』をまとめ、「俳句は文学なり」と俳句文学論を提唱、洒落、掛詞など言語遊戯の句を月並調とし、写実論を主張、画人蕪村の俳句の特色を説きはじめ、芭蕉の句が「消極的美」を、蕪村の句が「積極的美」を発揮しているとし、蕪村調といわれるようになった。しかし最後には芭蕉と同じく「境涯の実曆」に詩美を求める境地に落ち着いた。

さて、うたに詠まれた歯と口に関する句を列記し、名句、佳句を鑑賞してみる。

松尾芭蕉（一六四四～一六九四）

掬うよりはや歯にひびく清水哉

○ 衰や歯に喰あてし海苔の砂

○ 塩鯛の歯ぐきも寒し魚の店

蛤の口しめている暑さかな

朝顔に我は飯食ふ男かな

煩へば餅をも喰はず桃の花

焼き飯に瓜の粕漬口あけて

いざともに穂麦喰はん草枕

絶句

旅に病んで夢は枯野をかけ廻る

芭蕉には二つの持病があった。腹痛と痔疾である。貞門風の俳諧から談林風に転向し、34才の時立机（俳諧宗匠となること）し、37才の時閑寂枯淡調に転換。持病があるにもかかわらず41才の時「野ざらし紀行」の旅にでる。44才の時「笈の小文」、翌年「更科紀行」、そして46才の時「おくのほそ道」の旅に出た。1669年3月29日、ご当地鹿沼にも一泊している。1694年5月11日、最後の旅にでる。5月28日、伊賀上野の生家に到着。

9月10日、同門の不和をとりなすため大阪に着く。悪寒頭痛に襲われる。9月29日、小康を得てい



たが数回の激しい下痢をきたし、臥床。日ごとに容態が悪化。主治医は門人で開業医の木節。10月8日になっても下痢がとまらず、食事摂取不能。9日には絶句を詠んだ。10日には兄・半左衛門宛てに遺書をしたため、支考に三通の遺書を代筆させた。12日申の刻（午後4時）終の宿、大阪御堂前（東本願寺別院）「花屋」仁右衛門方（大阪市東区）にて永眠。享年51才。死因は急性細菌性腸炎。

其角（二六六一～一七〇七）

○声かれて猿の歯白し岑の月  
蝶を喰んで子猫を舐る心哉

嵐雪（二六五四～一七〇七）

○竹の子や児の歯ぐきのうつくしき（竹の子根曲竹）  
味噌で煮て喰ふとは知らじ鶏頭火

杉風（二六四七～一七三二）

○がつくりとぬけ初むる歯や秋の風

荷兮（二六四八～一七二六）

塩魚の歯にはさかふや秋の暮（はさかふ狭まる）

涼菟（二六五九～一七二七）

寝入りかね虫歯に響くきぬた哉

曾良（二六四九～一七二〇）

花の秋草に喰あく野馬かな

白雄（二七三八～一七九二）

行く年やひとり噛みしる海苔の味  
わけもなや蟲歯のおこる秋の暮

蘭更（二七二六～一七八八）

有無の實にも歯のなき翁かな（有無梨）

暁台（二七三二～一七九二）

氷なみだ御歯にしむな山おろし

来山（二六五四～一七二六）

行くとしや石噛みあてて歯にこたへ

土髪

水仙を切る音の歯に障りたり

貞川

老が歯のかけぬためしや氷餅

許六（二六五八～一七二五）

唇や蓼喰ふあとの穢のかぜ

「おとろひや～」の芭蕉の句は48才の時の吟である。海苔にまじっていた砂を噛みあて、そのジャリッとした感じが、その瞬間に身の衰老を、切実に感じたようである。「塩鯛の～」の句は其角の「声かれて～」の句に感じて作った句で、平凡な魚屋の店先に少しばかり並べられた塩づけの鯛の剥き出した白い歯が、いっそう寒々とした感じを強調している。芭蕉本人は〈予が風雅は夏炉冬扇のごとし〉むだなものであり、世間の人の用には立たないといっている。

其角の「声かれて～」の句は揚子江の上流の巴江の峡谷を晩秋の月が美しく照らしている。その峯

の月に向かって白い歯をむき出し、静寂の中にかすれた声で猿が叫びつづけているという情景を思い起こさせようとしている。

各務支考は其角が猿の歯は、かれてという字に断腸の情を尽し、峯の月に寂莫の姿をうつし、何やらかやら集めぬれば、人を驚かす発句となれりと評している。冬の月を峯の月と表し人の意表をつくうたであると思われている。

嵐雪の「竹の子や～」の句は、筍の根曲竹の青みがかった色と童子の薄桃色の歯ぐきの対照的な色が、まるで初夏の光のように、さわやかな感じをあらわしている。一つの写生句としておもしろい。

杉風の「がっくりと～」の句は杉風44才の時の句である。一本の歯ががっくりと初めて抜けてしまった。今までは歳のことなどは、余り考えたこともなかったが、急に老いを実感し寂しさを感じている身に秋風が侘しく吹いている。「がっくりと」は歯の抜ける形容語であるが、江戸時代には新鮮味のある擬態語であったと思われる。

芭蕉の句「おとろひや～」と比べるとその品格の差は感じられる。

与謝蕪村（二七二六～一七八三）

腹の中へ歯はぬけけらし種ふくべ

青梅に打鳴らす歯や貝のごと（貝く貝ごま）

○歯はあらは豁はに筆の水を嘔む夜哉

（歯豁く歯がぬけてがらがらの老人のさま）

閻王えんおうの口や牡丹を吐かんとす

絶句

しら梅に明くる夜ばかりとなりにけり

小林一茶（二七六三～一八二七）

はつ雪や雪やといふも歯なし哉

歯がぬけてあなた頼むもあもあみだ

アモアミダ仏もあもあみだ仏哉

花げしのふはつくような前歯かな

かくれ家や歯のない口で福は内

すりこぎのやうな歯茎も花の春

福豆や福梅ぼしや歯にあはぬ

初霜や茎の歯ぎれも去年迄

（茎くかぶや大根の塩漬）

雪を吐く口つきしたり（口つき）齧

永の日を喰ふや喰わずや池の亀

山桜花をしみれば歯のほしき

蕪村の「<sup>はあらは</sup>齒豁に～」の句は、抜けてまばらになった歯をあらわに出して、凍りついた筆先を嚙んでものを書く寒夜のさまを表現している。蕪村の戯画化された自画像のようである。〈貧居八詠〉の連作の結句として使われた。韓愈の「<sup>とうどうし</sup>頭童齒豁」頭がはげ、歯が抜けた老人のさまから詠んだと思われる。

一茶は29才の時、すでに髪は白く、前歯は欠け、嚙み合わせのわるい蛤歯で、閉口していたようである。50才の頃はすでに無歯顎状態であった。亡父の遺産相続でもめたが51才の時、信濃国柏原に戻り52才ではじめて結婚し、65才で亡くなるまで三人の妻を娶り、三男一女を得たが、子供は相ついで夭折した。

58才の時、雪道を歩いていて脳卒中の発作を起こし、大根のしぼり汁療法で回復。後遺症として足が不自由になる。62才の時門人宅で二度目の発作、舌が回らなくなり全て手まねきで用事をすました。にもかかわらず64才で三度目の結婚。老人性のタイガーウッズ症候群である。1827年11月19日、自宅の土蔵で三度目の発作、ひとことの念仏を発し他界。その時妻のやをは身ごもっていて、翌年4月、娘やたを生んだ。

正岡子規（一八六七～一九〇二）

○春風にこぼれて赤し齒磨粉

こりこりと老が齒なやむ防風哉

子<sup>ぼうから</sup>子やお齒黒どぶの昼過ぎたり

縁端や齧<sup>むしば</sup>齒抱えて夏の月

氷嚙んで毛穴に秋を覚えけり

かぶりつく熟柿や髯を汚しけり

（無類の柿好き）

枝豆や三寸飛んで口に入る

病間や桃食ひながら李<sup>すもも</sup>画く

栗飯や病人ながら大食<sup>おおぐら</sup>ひ

年若く前歯折りたる角力<sup>すもう</sup>かな

齒が抜けて筍<sup>たけのこ</sup>堅く烏賊<sup>いか</sup>こはし

絶句（絲瓜の句三句の二句）

絲瓜<sup>へちま</sup>咲て痰のつまりし仏かな

高浜虚子（一八七四～一九五九）

かちくくと目刺の骨を嚙みにけり

三つ食へば葉三片や桜餅

舌の上に葡萄の玉の円<sup>まど</sup>かかな

落花生喰ひつつ読むや罪と罰

口開けてやうよく啼<sup>かた</sup>きぬ寒鴉

欠伸せる口中に入る秋の山

欠伸して頭<sup>かぶ</sup>転換冬籠

犬の舌赤く伸びたり水温む

葡萄口に含んで思ふ事遠し

絶句

独り句の推敲をして遅き日を

正岡子規、本名常規。慶応3年(1867)～明治35年(1902)

明治22年(1889)5月9日、水戸に遊び、帰郷後、咯血。時鳥の句を数十句作り、「鳴いて血を吐く時鳥」から「子規」ホトトギスと号した。「春風にこぼれて赤し齒磨粉」の句があるが、齒磨粉は

江戸時代、塩（饗庭塩<sup>あえば</sup>～三河の吉良家、その製塩法を教えてもらった赤穂名産花形塩～浅野家、忠臣蔵の騒動の原因）や琢砂（特殊な砂〈陶土〉を水飛して、この粉末に丁字や龍腦などの香料を加えたもの）が普及していた。

明治5年（1872）頃、獨乙醫方西洋歯磨が伝来。明治23年（1890）、理学博士長井長義の分析証明書付きの「福原衛生歯磨石鹸」が福原商店（薬剤師福原有信・現資生堂）より発売され、これが我国初の練り歯磨である。

明治29年（1896）には小林富次郎が「ライオン歯磨」の名で歯磨粉の製造にのり出した。現ライオン株式会社である。このほか、クラブ歯磨、ダイヤモンド歯磨など、30種以上の西洋式処方<sup>みかきずな</sup>の歯磨きが、次々発売された。

この句は明治29年（1896）29才の時の句で、この年より肺結核から進展した脊椎カリエスのため、歩行困難となり臥褥の身となる。当時、練り歯磨はまだ贅沢品。歯磨粉の様な身近な材料でも俳句になる「写生句」の初歩の一句。

今になりて思ひ得たる事あり、これ迄余が横臥せるに拘らず  
割合に多くの食物を消化し得たるは咀嚼の力与つて多きに居  
りし事を。噛みたるが上にも噛み、和らげたるが上にも和ら  
げ、粥の米さへ噛み得らるゝだけは噛みしが如き、あながち  
偶然の癖にはあらざりき。欺く噛みくゝたるためにや咀嚼に  
再必要なる第一の白歯左右共にやうく傷はれて此頃は痛み  
強く少しにても上下の歯をあはす事出来難くなりぬ。かくな  
りては極めて柔かなるものも噛まずに呑み込まざるべから  
ず。噛まずに呑み込めば美味を感じざるのみならず腸胃直に  
痛みて痙攣を起す。是に於て衛生上の營養と快心的の娯楽と  
一時に奪ひ去られ、衰弱頓に加はり昼夜悶々、忽ち例の問題  
は起る。「人間は何が故に生きて居らざるべからざるか」

さへづるやから白なす、奥の歯は虫ばみけらし、はたつ物魚  
をもくはえず、木の実をば噛みても痛む、武蔵野の甘菜辛菜  
を、粥汁にまぜても煮ねば、いや日けに我つく息の、ほそり  
行くかも

下総の結城の里ゆ送り来し春の鶉をくはん歯もかも  
菅の根の永き一日を飯も食はず知る人も来ずくらしかねつも

明治34年（1901）34才の時の自分の口腔状態を詳細に書いている。完全に歯周病である。咀嚼に必要な左右の大白歯が噛み合わせることができなくなった。「下総の結城の里ゆ～」の句は自分の子供のように愛した長塚節からの送りものである。春の鶉を食うことができる歯があったらなと残念がっている。長塚は茨城県岡田村（現石下町）大字国生生れの豪農の長男である。

子規は天井からつるした命綱をたよりに妹や母の助けをかりて体動をおこなう。毎日一回、妹がおこなう拷問のようなガーゼ交換の痛みに絶叫し耐えていた。食欲は旺盛で、上記のような口腔状態であったが食事を楽しみにしていた。

また、モルヒネを飲んでから写生をするのが何よりの楽しみといった生活を送っていた。明治35年（1902）9月19日の夜半、蚊帳の中で静かに眠るように永眠した。

東京都下谷区（江東区）根岸の黒板塀の借家で、享年36才の若さである。

高浜虚子 明治7年（1874）～昭和34年（1959）本名 清

明治24年（1891）、「秋風やかれ木まはれば石仏」という句を放子という名で子規に送って選ばれた一句である。子規は曾て「虚無子、放浪子」という二つの号を使っていたが今は用いず、清（きよし＝虚子）という滑稽味がある。この二つの理由から子規が選んだ「虚子」という雅号を生涯通じて用いることになった。

明治28年12月9日、道灌山の茶店で子規から後継者として学問精神を要請されたがことわった。しかし、子規没後五・七・五の定型と季題の遵守、客観写生の尊重、花鳥諷詠の詩と規定した。

ゲーテや宝井馬琴、幸田露伴などと同様に長寿であった。昭和34年4月1日、改築した鎌倉の虚子庵で脳溢血のため意識不明、8日午後4時永眠。享年85才。

尾崎放哉（一八八五～一九二六）

柘榴が口あけたたはけた恋だ  
夕べ落葉たいて居る赤い舌出す  
松の葉をぬいて歯をせせる朝の道  
である

歯をむき出した鯛を威張って売る  
笑ふ時の前歯がはえて来たは  
青梅白い歯に喰ひこまれる  
口笛吹かるゝ四十男妻なし  
一枚の舌を出して医者に見せる  
口あけぬ蜷死んでゐる  
咳をしても一人（咽頭結核）

種田山頭火（一八八二～一九四〇）

冬がまた来てまた歯がぬけることも  
噛みしめる味も抜けさうな歯で  
ぬけさうな歯を持つて旅にをる  
旅もをはりの、歯がみなうごく  
投げた歯の音もしない木下闇

歯がまたぬけた朝から百舌鳥もがするどい  
お茶のうまさも歯にしみとほる秋となり  
空う梅雨の風のふく歯がぬけた  
いさましくもかなしくも白い歯  
ぬけるだけはぬけてしまつて歯のない初夏  
ぬけた歯はそこら朝風に投げ捨てて  
抜けたら抜けたままの歯のない口で  
ぬけそうな歯がやつとぬけて信濃の月  
旅もをはりのやつと歯がぬけた  
銭がない物がない歯がない一人  
お正月の歯のない口が鯛の子するする  
最後の一句  
ぼろく冷飯ぼろく秋寒

放浪、漂泊の一生を送った山頭火は、無季自由律の句作を重ねた。9才3ヶ月の時の母の自殺、実家の破産、妻子との別れ、出家得度、一笠一鉢一杖の行乞流転の旅と酒に身をまかせてしまう人生のせいか、歯は完全に歯周病で一本、又一本と自然脱落していった。その抜けた歯を何本も投げすてた。最後は無歯顎となり、義歯を装着したとは思えない。

もう一人同じ様な境涯を詠った男がいる。尾崎放哉（1885～1928）である。一高を経て東大法学部を卒業。東洋生命保険に入社、妻帯する。そして大阪支店長まで出世し、酒の上で失敗し退社。その後満州へ赴くが失敗、酒で身をもちくずし、妻とも別れ、仏門に入り、各地の寺男として孤独のまま42才で死を迎えた。

山頭火（1882～1940）はこの尾崎放哉に傾倒。彼の願いは二つ。一つはほんとうの自分の句を作りあげること。もう一つは「ころり往生」である。獣のように、鳥のように、虫のように死ぬこと。そして昭和14年12月15日、松山道後温泉の近くの一草庵に入居。翌15年10月11日午前4時、望みどおり、句会をやっている最中、本人は隣室で高いびき、そのまま永眠。脳溢血で大往生。

夏目漱石（一八六七～一九一六）

○ 抜くは長井兵助の太刀春の風

落ち合ひて新酒に名乗る医者易者

目ともいはず口ともいはず吹雪哉

善か悪か風呂吹を喰つて合点せよ

むつとして口を開かぬ桔梗かな

朝寒や自ら炊ぐ飯二合

力なや瘦せたるわれに秋の粥

○ 腸はらわたに春したた滴たるや粥あじの味

花曇り御八つに食ふは団子哉

桃咲くやいまだに流行はやる漢方医

絶筆

真蹤寂窈杳難尋

欲抱虚懷歩古今

碧水碧山河有我

蓋天蓋地是无心

依稀暮色月離草

錯落秋声風在林

眼耳雙忘身亦失

空中独唱白雲吟

真シン蹤ン寂ヨウ窈ウ杳セ難キ尋バクシ

虚キョウ懷カイヲ抱カントシテ欲シテ

古今ヲ歩ム

碧ヘクスイ水ヘクサン碧ヘクサン山ヘクサンナニゾ我アラン

蓋ガイ天テン蓋ガイ地チコレ無心

依イ稀キタル暮ボン色シヨク月ハ草ヲ離シ

錯サク落ラクタル秋声風ハ林ニ在リ

眼ガン耳ニフタツナガラ忘レ身モ

マタ失ヒ

空中ヒトリ唱ス白雲ノ吟

夏目漱石（1867～1916）本名金之助。牛込馬場下横町（現新宿区喜久井町）の江戸町奉行支配下の町方名主の家に生まれた。

しかも「この日に生まれた子は犬泥棒になる」という迷信のある庚申の晩に生まれた末っ子（第8子）で「金」の字は厄除けの名だった。この時父は50才、母は後妻で41才だった。漱石は生後まもなく、里子に出された。やがて生家にひきとられたが2才の時再び名主で遊女屋の塩原家へ養子にやられた。10才で夏目家に戻ったが、邪魔者扱いされた。だから常に父に対する恨みつらみと、父を慕う気持のはざままで終生、心の平安を保てなかった。11才の時府立一中（現日比谷高の前身）に入学、12才で中退、漢学の大家三島中州の二松学舎へ移った。漱石は漢学が大好きで英語は大嫌いであった。

漱石は正岡子規とともに慶応3年（1867）生れで、明治17年（1884）9月帝国大学予備門に入学。明治23年（1890）東大英文科に入ると秀才の道を歩み、明治33年（1900）第1回給費留学生に藤代禎輔と共に選ばれた。9月8日ドイツ汽船プロイセン号で横浜を発った。

子規が「俳句革新」に目途がついた明治29年（1896）頃より明治33年（1900）英国留学に出発するまでの間、俳句に熱中した。しかし、英国での留生活は漱石にとって「犬も不愉快の2年なり」といわしめ、帰国後、このイギリスでの神経衰弱と狂気こそが創作への原動力となった。

明治38年（1905）より「ホトトギス」に『我輩は猫である』を連載。

明治の大文豪の半生は神経衰弱、慢性の胃潰瘍、糖尿病に悩まされつづけた。一杯のビールで街を歩けなくなるほど酒に弱く、大の甘党であった。43の時、療養先の修善寺で大量の吐血。その後も潰瘍の再発による大出血をくり返し、大正5年（1916）12月9日午後6時50分永眠。東大病院で病理解剖の結果、死因は胃潰瘍であった。享年50才。

尚、漱石と子規が生まれた慶応3年（1867）は奇しくも坂本龍馬が京都近江屋で暗殺された年である。

漱石の「抜くは～」の句の長井兵助は享保時代（1716年～1735年）江戸蔵前の大道商人で、恐ろしく長い太刀をうしろに飾りつけ三方の上などにのって居合抜をしたり、巧妙に歯を抜いたり、歯磨粉を売ったり、入歯も作っていた。四国の金比羅さんに33度目に詣でた時の引札が残されており、人口歯の種類が列記されている。

「象牙、しゃこ（しゃこ貝）、うにこうる（一角鯨の角）、くじらのひげ、鹿の角、唐木類、極上ろう石、御好次第」と「腸に春滴るや～」の句は明治43年（1910）9月の作。有名な修繕寺療養中、吐血し人事不省に陥って復活し初めて粥を食べた時の喜びを詠ったものである。

久しぶりに味わう粥のうまさ。口に運んで飲み下すと、五臓六腑に春のみずみずしさがしたたるように感じた。この句は春の季であるが実際は秋の作である。

川端茅舎（二八九七～一九四二）

草餅のやはらかしとて涙ぐみ

大根馬かなしき前歯見せにけり

こまぐくと白き歯茎や桜鯛

夏目成美（二七四九～二八一六）

魚食うて口なまぐさく昼の雪

○紅さいた口も忘るる清水かな

千代女（二七〇三～一七七五）

阿波野青畝（二八九五～一九九三）

天瓜粉に笑ふや二つのさきがけ歯

海女笑ひたれば歯無しよ鮑取

あらかんの口開きそろひ涅槃像

○広島や卵食ふとき口開く

西東三鬼（二九〇〇～一九六二）歯科医師

汗すべる黒衣聖母の歯うがてば

老年の口笛涼し青三日月

飯田蛇笏（二八八五～一九六二）

はふり 葬人歯あらはに哭くや曼珠沙華

残雪を噛んで草つむ山の子よ

茶碗さむくいぎどほる歯のふれにけり

そむく意を歯にひしめかす槽火かな

（槽火くたきび）

○口開ひて矢大臣よし初詣

石田波郷（二九二三～一九六九）

柿食へり貪るに似しをゆるめ食ふ

野分あと口のゆるびて睡りをり

雲の峯静臥の口に飴ほそり

木瓜噛むや歯の尖端に興うごく

春天をふり仰ぐ白歯とぢまけて

原 石鼎（二八八六～一九五二）

○万緑の中や吾子の歯はえ初そむる

葡萄喰ふ一語一語の如くにて

星野立子（二九〇三～一九八四）高濱虚子の二女

歯にしみる冷たき枇杷や山の茶屋

柿のへんた帯猿の白歯をこぼれけり

杉田久女（二八九〇～一九四六）

歯茎かゆく乳首かむ子や花曇

笑みとけて寒紅つきし前歯かな

謝すごとく膝折り泉に口つけて

山口誓子（二九〇一～一九九四）

秋風に舌をひら扁く児が泣けり

除夜たのしわが踊子は歯をかくさず

日野草城（二九〇一～一九五六）

歯が痛しきだめし歯痛顔ならん

朝寒や歯磨匂う妻の口



富田木歩（二八九七～一九三三）

歯を病みて壁に頬する春の暮  
おとろへや歯の冷えうとき夜の膳

夏初め海苔の砂嚙む朝餉かな

朝寒や児が歯固めの豆腐汁

加藤楸邨（二九〇五～一九九三）

馬の子の歯茎桃色胡桃見て

口開けて寒鮓に似しかと思ふ

顎とじて生涯冬の竹のごとし

○原爆凶中口あく我も口あく寒かん

死にきれぬ捨蚕すてじの口の食ひにけり

山口青邨（二八九二～一九八八）

吸入の妻が口開け阿呆らしや

村上鬼城（二八六五～一九三八）

小春日や石を喰み居る赤蜻蛉

渡辺水巴（二八八二～一九四六）

いよいよ歯も乏しく白魚澄みにけり

室生犀星（二八八五～一九六二）

藁苞わらすしや在所にもどる鱈のあご

小沢碧童（二八八一～一九四二）

夕顔の宿を見舞ひし医師くすしかな

餅焼いて寝しな喰ひけり寒の内

水原秋桜子（二八九二～一九八二）東大卒医師

山椒喰光悦の釜はいと寂びたり

湯婆ゆたんぼや忘れじとほき医師の業

医のつとめ氷雨降りつぐ夜をいねず

青春のすぎにし心苺喰ふ

消ゆる灯の命を惜しみ牡蠣を食ふ

松木たかし（二九〇六～一九五六）

蟹二つ食うて茅舎を哭しけり

河東碧梧桐（二八七三～一九三七）

鍋から土筆つづくしを喰ふ箸をとり

大根を煮た夕飯の子供達の中にをる

萩原井泉水（二八八四～一九七六）

泉あり腹這うて口つくべし

麦畑は青い月夜の馬車の口ぶえ

高野素十（二八九三～一九七六）

食べてゐる牛の口より蓼の花

船員とふく口笛や秋の晴

田打蓑きて御手洗に口すすぐ

芥川龍之介（二八九二～一九二七）

秋立つ日うる歯に銀をうづめけり

遠花火皓歯を君の涼しうす

衣更ころもかへお半と申し白歯なり

蜂一つ土塊嚙むや春の風

○蝶の舌ゼンマイに似る暑さかな

中村草田男の「万緑の中や～」の句は昭和14年の作で1月に生まれた次女に歯が生えたうれしさを、緑と白との対照で表わし、万緑の生命力と歯の生える生命力とが呼応している。北宋の王安石の詩句「万緑叢中紅一点」が典拠となっている。この句の「万緑」は季語として創始され定着していった。

西東三鬼の「広島や～」の句は昭和22年（1947）8月広島に足を踏み入れたときの作である。原爆によって目も鼻ものつべらぼうに剥ぎ取られた顔や身体を、穀を剥がされたなまぬるいつるつるした茹で卵を呈示して、「広島」の悲しい現実をリアルに描いた。連作「有名なる街」に八句が詠まれている。尚、三鬼は日本歯科医専卒の歯科医である。

加藤楸邨の「原爆凶中～」の句は丸木位里・赤松俊子夫婦の描いた執念の大作を見る。苦痛に口をあけているむごたらしい被爆者たち。知らないうちに見ている自分も口をあけていた。それに気づいた時、ただちに寒気が全身を被った。痛烈な響きをもち、強烈な感動を与える大破調である。

村上鬼城の「小春日や～」季節は陰暦十月で小六月ともいう晩秋初冬の候、寒風の吹き出した中に、穏やかな日がふと風の切れ目にやってくることもあり、そんな日和を小春という。

姿を見せなくなった赤蜻蛉が石の上の日だまりにとまっていた。石にぴったりと翅を伏せ、頭をときおりくるくと動かしながら石に縫りついているさまを、「石にとまれる」「石にすがれる」ではなく「石を嘯みいる」と表現した。鬼城の静の代表的な作品といえる。

芥川龍之介の「蝶の舌～」の句は最初「鉄条ぜんまじに似て蝶の舌暑さかな」大正7年8月号の「ホトトギス」雑詠欄に載った。この句を飯田蛇笏は「無名の俳人によって力作さるる逸品」と評した。

千代女の「紅さいた～」の句は炎天下、人を訪問するのにきちんと身だしなみを整え、ていねいに唇に紅をさして家をでる。山陰に清水の涌く音が聞こえる。一刻も早く水が飲みたくて紅をさした唇のことなど忘れてしまった。涼味に満ちた清水と口紅というなまなましたものを対照的に詠んでいる。

阿波野青畝の「口開いて～」の句は京都に下宿していた頃の八坂神社を頭によみがえらせた句である。四条通りが突きあたるところに西門があり隋神（矢大臣）が西面している。向かって右が老人の隋神、左が壮年で、老人は口をゆるく開けている。その隋神に親しみを覚えたのであろう。

## 歯と口とうた（短歌）

### 《短歌とは》

短歌とは『広辞苑』によると和歌（漢詩に対して、上代からわが国に行われた定型の歌。長歌・短歌・施頭歌・片歌などの総称）の一体。長歌に対し五・七・五・七・七の五句体の歌。記紀歌謡末期・万葉集初期の作品に成立、古今を通じ最も広く盛んに行われ、普通、和歌といえば短歌をさすに至った。

端的にいうと奈良時代が「歌」、平安時代から明治30年の頃までが「和歌」、それ以降が「短歌」である。そして「歌」「和歌」「短歌」を総称して「歌」と呼ぶ。歌は全ての時代の作品をさす。

正岡子規は「俳句の革新」とともに「短歌の革新」も唱えた。『歌よみに与ふる書』1～10章で古今集を「駄洒落」か「理屈っぽい」と全面否定。万葉集の歌風を重んじ、千年近く続いた「古今集」崇拜の価値観をひっくり返した。歌の上で先輩、後輩などの序列はなく、又用語は雅語だけでなく、俗語、漢語、洋語を自由に使うべきだと唱えた。『金槐和歌集』の源実朝の歌、『志濃夫廼舎和歌集』の橘曙覧の歌を善き歌の例として高く評価した。その他従来埋もれていた田安宗武、平賀元義等の歌人も発掘し、僧良寛にも共鳴した。

子規は浅井忠から中村不折という画家を紹介され、その交流の中で、俳句や短歌を作ることも絵を描くこともその行為そのものは見たままを写し取ること、対象に手を加えず受け入れることがつまり「写生」であると考えた。自然を写すことそのものが写生だとし、その写し方、方法は問わず、神聖視することもなかった。

思ひきや老のくち木に春過ぎて  
かかる若葉の又おひんとは

くち木くち木と口器  
若葉く葉と歯  
おひんー生える

本居宣長（1730～1801）伊勢松坂出身の江戸後期の国学者。医学を京都で習って28才の時、松坂で少小（小児科）と女医（産婦人科）を開業した。しかし志したのは国学で『古事記伝』全44巻を著し、門弟は全国に490余名。老年期に全ての歯を喪失、66才の時に京都にいた長男健亭（春庭）への手紙に、入れ歯をしてよかったと、嬉しさをしたためた短歌である。

寛政8年（1796）4月15日、「前略、昨日津ノ入レ歯師参リ、入レ歯致シ申候。殊外宜細工成物ニシテ、存ジノ外、口中心持わろくもなき物にご座候。この哥よみ申候。」

「四月の頃入れ歯という物をして、又物よくかまるる事をよろこびて」と添書している。

良寛（一七五八～一八三一）

かきてたべつみ裂いてたべ割りてたべ

さてそののちは口もはなたず

—石榴ざくろ好み—

水茎の筆紙もたぬ身ぞつらき

昨日は寺へ今日は医者どの

うちつけに飯いひ断つとにはあらねども

かつ休らひて時を以待たむ

辞世

武蔵野の草葉の露のながらひて

なべらひ果つる身にしあらば

良寛（1758～1831）越後出雲崎の名主の長男。生まれつき人見知りがはげしく社交性に乏しい。18才で出家諸国行脚後、出雲崎の近くの国上山に五合庵を結んだ。69才の時山中で暮らす良寛を哀れんで地元の素封家能登屋（木村元右衛門）が三島郡島崎の自邸の敷地内に小庵を建ててくれた。生涯、寺は持たなかった。翌年、貞心尼（越後国北魚沼郡小出郷の医師、関長温に嫁したが死別）が訪れ入門した。時に貞心29才、良寛70才であった。

彼のうたや詩が残されたのは貞心尼のおかげである。

天保元年（1830）7月頃より激しい腹痛と下痢をきたすようになり暮より容態悪化、激しい下痢を繰り返し、翌天保2年1月6日夕刻、貞心尼にみとられ74才の生涯を閉じた。

本名 山本栄蔵（のち文孝）

石川啄木（一八八五～一九二二）

夏来れば

うがひ薬の

病ある歯に泌む朝のうれしかりけり

病む歯をおさへつつ、

日が赤々と

冬の霽もやの中にのぼるを見たり。

目の前の菓子皿などを

かりかりと噛みてみたくなりぬ

もどかしきかな

兎を叱れば、

泣いて、寝入りぬ。

口少小あけし寝顔にさはりてみるかな。

ペンネームの元歌

ほゝけては藪かげめぐる啄木鳥きつさきの

みにくきがごと我は痩せにき

明治36年（1903）与謝野鉄幹主催の「明星」に初めて啄木の号を用いた。啄木は啄木鳥のようにやせていたので自嘲してペンネームを啄木とつけた。

力なく病みし頃より

口すこし開きて眠るが

癖となりなき

ひややかに鑿びんのならべる柵の前

歯せせる女を

かなしとも見き

すつぽりと蒲団ふとんをかぶり、

足をちぢめ、

舌を出してみぬ、誰にともなしに。

やみがたき用を忘れ来ぬー

途中にて口に入れたる

ゼムのためなりし。

石川啄木 明治19年（1886）～明治45年（1912）、本名一はじめ

天才歌人の口語を交えた三律書きの短歌は、独創的なもので、かれの波乱に満ちた人生とともに長く日本人のあいだに親しまれている。多くの天才達と同様に啄木もわがまま勝手に、ずいぶん他人に迷惑をかけたようである。

17才の時、盛岡中学を卒業する半年前に突然退学。この事が明治時代のエリートコースをはずれ、生涯下積みかきの生活から浮き上がることを不可能にした。金銭的にはだらしなく、千円あれば豪邸が建つ時代に、数十人の人から千数百円以上借金を重ねている。特に後に節子夫人の妹と結婚する宮崎大四郎（郁雨）には世話になった。しかも金が手に入ると遊興三昧。

明治44年（1911）26才の時、2月4日慢性腹膜炎の診断で帝大病院に入院し、腹膜穿刺により約1升5合の腹水を吸引した。3月15日退院、4月頃より肺結核に移行。どんどん衰弱していった。明治45年（1912）3月7日、母カツ、肺結核のため永眠。享年65才。4月初旬、歌集『悲しき玩具』出版

を東雲堂と契約し、稿料20円を得る。4月13日午前9時30分、父の一禎、妻の節子、友人の若山牧水にみとられながら永眠、享年27才。没後6月14日、妻節子は次女房江を生んだものの、翌大正2年(1913)5月5日、肺結核のためこの世を去った。享年28才。

北原白秋（一八八五～一九四二）  
 沈丁の薄らあかりにたよりなく  
 歯の痛むこそかなしかりけれ  
 咽喉ぼとけ母に剃らせてうつうつと  
 眠りましたり父は口をあけて  
 吾がこぼす白き飯粒ひとつひとつ  
 取りて含ます母は笑ひて  
 監獄いでちつと顫えて嘔む林檎  
 林檎さくさく身に染みわたる  
 山松の姿さびしき日の暮は  
 障子早く閉めてひとり飯食ふ  
 我が族早や滅ぶべし寒食と  
 漬菜噛みきらむ力すらなし  
 湯嵐子氷は厚し我が買ひて  
 赤き山櫨子をかき嘍りつつ

北原白秋（1885～1942）本名 隆吉。九州の水郷、柳川の代々海産物問屋兼酒造業の跡取息子として生まれた。高等小学校2年飛級で福岡県立中学伝習館入学。15才の時、文学有志の会であたまに「白」の字のつく称号をつけようという話になり、くじ引の結果、隆吉に「秋」の字が当たった。仲間には白雨、白蝶、白葉などがいた。富裕な家の出身で両親の愛を一身に受けて育ったせいか、食い意地が張っていて好きな物だけ食べ放題、わがまま一杯な少年時代を送った。3度結婚し、1度目は隣家の人妻と恋におち、姦通罪で告訴され、市ヶ谷の拘留所にはいった。第2の妻とも悲劇的な別れをして、3度目の正直で家庭的な平安な生活を得た。昭和12年（1937）、52才の時不摂生な生活習慣がたたたり、糖尿病で眼底出血、視力回復せず口述筆記はじまる。昭和16年（1941）晩夏より病状悪化し、腎臓および慢性脚気により来る浮腫により歩行困難と呼吸困難に陥る。翌17年2月、慶応病院に入院した。3月8日、夜勤の看護師が強心剤を誤って大量に打ったため一時意識不明の重態に陥る。3月18日呑雲堂病院に転院、4月8日母が脳梗塞をおこしたため、病状を案じむりやり退院。酸素吸入のパイプを口にくわえ、砂糖を舐めながら時に興にのって数日間で八十余編の童謡を創作。10月、呼吸困難と嘔吐発作が頻発。11月2日早朝、窓を開かせ「ああ、蘇った。新生だ、新生だ。隆太郎この日をよく覚えておおき、ああ素晴らしい」と言葉を遺して午前7時50分、永眠。享年57才。

詩、童謡、民謡、短歌など数人分の詩業を果した詩人は白秋の他にはいない。

## 若山牧水（一八八五～一九二六）

白玉の歯にしみとほる秋の夜の

酒はしづかに飲むべかりけり

秋花の茎を噛み切る歯のつめたさよ

朝のこのうつり香よ

われを恨み罵りしはてに噤みたる

母のくちもとにひとつの歯のなき

きりきりと歯さへ痛めどこのころ

とりなほしえでつかれはてにけり

夏となり何一つせぬあけくれの

我に規則のごとく歯の痛む

歯を痛み泣けば背負ひてわが母は

峡の小川に魚を釣りにき

かなしくも痛みそめたるものおもひ

守りて一日もの噛べず居り

あてもなく見知らぬ街路に歩み入り

とある二階に夕飯を食ふ

ああつひにあか児は泣きをやめにけり

妻の乳くびに喰ひいりにけむ

酒なしに喰ひべくもあらぬものとのみ

おもへりし鯛を飯のさいに喰ふ

歯も砕くるばかり一気に噛みしめむ

よろこび事にいまだ会はななくに

絶句

酒ほしさまぎらはすとて庭に出でつ

庭草をぬくこの庭草を

若山牧水（1885～1926）本名 繁。宮崎県臼杵郡東郷村坪谷に生まれた。若山家は祖父の代からの医者一家で待望の男の子であった。

県立延岡中学に在学中、文学とくに短歌への道を志す。明治37年（1904）、母マキの名と生家の前を流れる溪流と、ともに牧水の最も愛するものの名をとって号とした。同年4月、早稲田大学文学部高等予科入学。5月、尾上紫舟を訪問、また、早大生窪田空穂を知る。

6月、北原白秋を知り、その下宿に同居して親交を深める。

明治45年（1912）、27才の時石川啄木の最後をみとる。

大正12年（1923）頃より量をこす酒がしだいに健康をむしばむ。無類の酒好きで、朝昼の食前にウィスキーかビール、夕飯の前には改めて晩酌、宴会の酒は好まず、深夜の独酌をこよなく愛した。ついには委縮腎を病み医者より絶対の禁酒を命ぜられた。その時、「酒やめてかはりに何か楽しめといふ医師が面に鼻あぐらかけり」と詠んだ。

昭和2年（1927）5月、夫婦同伴で朝鮮へ揮毫旅行。暑気あたりと疲労で弱り果て7月帰国。翌3年9月、床に臥す。

13日食欲不振、下痢、発熱などで衰弱し、重態、17日朝永眠、病名は急性胃腸炎兼肝臓硬変症。享年44才。文学論とかは得意とせず、生涯一歌人を通した。長年の大酒で体内に蓄積されたアルコールのため、残暑厳しい中、2日間を経ても遺体は腐乱することがなかった。愛用の酒器は、一度は亡骸もろとも茶毘に付されたが、焼き崩れることなく従前に増して藍の色を深くし、現世に蘇った。盃は白地に柳と蝙蝠こうもりの呉須絵。徳利は関西の蔵元が景品として出した白磁。盃とびったりと馴染む組み合わせであった。

齊藤茂吉（二八八二～一九五二）

温泉うんぜんより吾はかへりし暑き日を

歯科医に通う心しづかに

飯の中の砂を嘔みたる時のまを

留学生のわれは寂しむ

歯をもちて割るはしばみの白き実を

従ひてくる妻に食はしむ

口なかなかににぶき痛みをおぼえつつ

青山どほり横ぎるわれは

をととの秋にととのへし歯なりしが

石かみしより痛むあはれさ

いつのまにおとろへをりしわが歯にて

漬けたる茄子をながくかかりて嘔む

日本人の歯科医にあひぬささやかに

紙障子などたてて居りき

わが子にも塩もて歯を磨がむと

山夜の底に夜は明けつつ

おとろへしわが歯衰れと言いつつぞ

豆腐のめづら吾に食はしむ

ひとりゐて飯いひくふわれは漬茄子を

嘔むおとさへややさしくきこゆ

中村憲吉（二八八九～一九四二）

山坊の夜語よがたりに更けて向く僧は

精進食をたもう歯のきよくあり

伊藤左千夫（二八六四～一九一三）

まづしくて児等のあまたを養へど

そば湯あたたか寂しくもなし



## 窪田空穂（一八七七～一九六七）

齒のあらぬわが口もとよいたましめ

老人のそれこれに似る

上歯みな抜きとられたるすぼめ口

あはれがりつつ妻も子も笑ふ

齒のあらぬ口の可笑しさ唇の

垂れ込みすぼまりものいはせぬ

いかなれば齒の生えぬかと口あかせ

父と母と見る小さき口を

炭火もて焦したる実の唐もろこし

一つぶ一つぶ老の齒に嘯む

九十の誕辰に

病むわれに添ひて看護りし人つどへ

誕辰の夜の飯を共にす

## 土屋文明（二八九〇～一九九〇）

齒入屋の仕事場の如しと嘆きたりし

机の上のはたぎをの花

齒を染めて立てるにあへば遠き来て

吾が亡き母にあふがにも思ふ

雛三羽親鳥むかへ口をあく吾娘等三人

朝の膳を食ふ

幼児は口にする田にしはき出す捨ひては

食ふぢぢを見ながら

高き熱だしたりとう幼児の朝飯

むさぼり食ふを見たり

## 古泉千樫（二八九六～一九二七）

医師が行くべきものか夕日さす

障子を見つつ一人臥る

異国米たべむとはすれ痛みあとの

からだかよわき児らを思へり

## 前田夕暮（二八八二～一九五二）

梨子はむと富士にむかひてひらきたる

わが口を吹く初秋の風

犬を食らひ、鼠を食らひ、草の根まで

食らひつくしたときいていふ言葉を知らぬ

## 土岐善磨（二八八五～一九六四）

ふるさとの父の憂ひを思へかし

一宛の飯をまづくひて後

浅草の齒科医の家に住み込みて

夜学に通ふと告げやらむものか

## 長塚 節（二八七九～一九二五）咽頭結核

そこらへに藜つみて茹でしかば

咽喉こそばゆく春はいにけり

芝栗の青きはあましかにかくに

一つ二つは口もてぞむく

与謝野晶子（一八六七～一九四二）

病みませるうなじに織ほそきかひな捲きて

熱にかわける御口みくちを吸はむ

島木赤彦（一八六七～一九二六）

この頃の我の楽しみは飯をへて

あつき湯をのむ漬菜かみつ

箸をもて我妻は我を育はぐくめり

仔とりの如く口開く吾は

会津八一（一八八一～一九五六）

ぬむりきてけふをいくひのあかつきを

ゆめのごとくにかゆくらひおり

はべりたつどうじがくちのどがりはの

あなすがすがしとのへぬれど

釋 迢空（一八八七～一九五三）

わが母の白き齒見ゆれし、我が哭けば

声うちあげて、笑ひたまふなり

蕪村

行く春や眼に合あひぬめがね失ひぬ

文章

老眼にもるる小貝や秋の霜

日野草城

右眼には見えざる妻を左眼にて

ひとりさす眼ぐすり外それぬ法師蟬

見えぬ眼の方の眼鐘の玉も拭く

川端茅舎

秋風や石に勝れし左の眼

加藤楸邨

毒くふや眼鏡こはれし雨の街

高浜虚子

老眼に炎天濁りあるごとし

老眼をしばだゝきけり秋の晴

吉井 勇

子のわれも老の眼鏡を鼻にかけ

母の手紙を窗まどの辺に読む

会津八一

たのめりしふたつのまなこくもるとも

こころさやけくすみわたりなむ

うつせみのまなこくもりてむらぎもの

こころあらめばくるしくもあらむ

種田山頭火

冬になつた老眼と近眼こんがらがって

近眼と老眼こんがらがって秋寒く

石川啄木

眼を病やみて黒き眼鏡めがねをかけし頃

その頃よ

一人泣くをおぼえし

## 目とうた

北原白秋

目の盲<sup>し</sup>ひて幽<sup>かすか</sup>に座<sup>ま</sup>しし仏像<sup>みすがた</sup>に

日なか風ありて解<sup>さ</sup>りつつありき

視力とぼし掌にさやりつつ白菊の

おとろふる花の瓣熱<sup>あつ</sup>ばみぬ

照る月の冷<sup>ひえ</sup>さだかなるあかり戸に

眼は凝<sup>こ</sup>らしつつ盲<sup>し</sup>ひてゆくなり

夕待たず我が眼くらきに聴きほくる

早慶戦もラヂオに止みぬ

齊藤茂吉

おとろふる吾のまなこをいたはりて

目薬をさすしばだたきつつ

窪田空穂

目に合へる眼鏡得なばとした頼み

幾たりの医師にわが目見せたり

前田夕暮

(右眼白内障翳出)

ひそひそ睫毛が刈られ、眼玉がむき出

しになり、

何だか寒い

眼鏡をとると、冷寒な朝空、ぬるぬると

ぢかに眼球にさはる

芭蕉

薬のむさらでも霜の枕かな

(薬―持病の癩の薬)

蕪村

薬掘り今日は蛇骨を得たりけり

(蛇骨―千ぶり||医者ごろし)

飯田蛇笏

おかしくば口やつねらん医者ごろし

命<sup>めい</sup>尽きて薬香さむくはなれけり

丈草

うづくまる薬<sup>もと</sup>の下の寒さかな

(薬―やかん)

久保田万太郎

粉ぐすりのうぐいすいろの二月かな

鈴木真砂女

風邪薬一服飲んで鍵かけて

薬とうた

飯田蛇笏の名前は蕪村の句からきたものという説がある

正岡子規

薬のむあとの蜜柑や寒の内  
蘭学の書生なりけり薬喰

中村憲吉

春ふかき葉葉かげより製薬の  
匂ひのするは寂しかりけれ

ひやひやと

夜は薬の香のにはふ

医者が住みたるあとの家かな

夏目漱石

文を売つて薬に代ふる蚊遣哉

石川啄木

朝朝の  
うがひの科しよの水薬すいやくの  
罫びんがつめたき秋となりけり

買ひおきし

薬つきたる朝に来し

友のなさけの為替かはせのかなしき

芥川龍之介

かひもなき眠り薬や夜半の冬

斎藤茂吉

ほれ薬腎虚のくすり気ちがひの

感応ぐわんとうたひあげたり

風引かば薬師が薬のまんより

味噌酒のむし勝りたるらし

山こえて薬おもらひに来る老おいは

ときどき熊の肉を礼に置く

高浜虚子

一人立ち障子をあげぬ薬喰

与謝野晶子

自らは不死の薬の壺抱く身と

思ひつつ死なんとすらん

薬のむことを忘れて、  
ひさしぶりに、

母に叱られしをうれしと思へる。

北原秋櫻子

大き薬喉を通りぬ初明り

会津八一

やまふかくくすりほるとふきつたけの  
きみがたもとにくもみつらむか

うすみどり  
飲めば身体が水のごと透きとほるてふ  
薬はなきか

## 蛇足 親とうた

## 鈴木真砂女

父の血を受けて気短鯁鯨鍋

## 長谷川零余子

父に似て皆まなじりけはし雑煮餅

## 高野素十

端居はししてたゞ居る父の恐ろしき

## 種田山頭火

だんだん似てくる癖の父はもういない  
よく似た声がでてくる旅はかなしい

## 土屋文明

家うちに物なげうちていら立ちつ

父を思ひ遺伝といふことを思ふ

いきどほり妻よぶ声の父親に

似て来しことを吾知りており

裸身はだかにて蚊を焼く吾や蔑さげすみし

父にいくらも変らざりけり

## 中川一碧楼（一八八七―一九四六）

父にか似てわがこゑ炉べの日暮れどき

## 北原白秋

老いらくの父に向えば嚴いっかしき

昔の猛たけさ今は座まさなくに

仰ぎ臥てながるる涙とどまらず

ははそその母の病みたまふとぞ

## 窪田空穂

子を知るは親に如かずと父はいひき

我いま父に似てもわれ知る

子煩惱の母の事ども語り合ひ

俄に親しく姉と我と笑ふ

## 前田夕暮

わが母の手に抱かれしぬくとみの

われの体のどこかに残りて

庭畑の小松菜の咲きたれば

わが思ひいづ遠き日の母

## 斉藤茂吉

あが母の吾を生ましけむうらわかき

かなしき力おもいざらめや

上都賀歯科医師会史の年表の余白を鹿沼地区の文学碑の碑文で埋めようと思った時、「歯と口とうた」を調べてみようと思った。俳句と短歌を対象とした。調べてみたら多くの詠み人が、多くのうたを詠んでいた。これが一段落した頃、目が不自由になったので「目とうた」を、次いで「薬とうた」に、すると老につながった。そして、蛇足ではあるが「親とうた」にたどりついた。

詠み人は江戸、明治時代生れの作家を選んだ。また何人かの著名な歌人、文豪の臨終も調べてみた。俳句も短歌もそれぞれに素晴らしい名句がたくさんあったのには驚かされた。さすがに俳句、短歌革新の時代、錚錚たる顔ぶれの面々が物書で生活できない時代、その苦勞が偲ばれた。

俳句と短歌は言語芸術（詩、小説、戯曲など）に属し、造形芸術（彫刻、絵画、建築など）、表現芸術（舞踊、演劇など）、音響芸術（音楽、歌など）などと同様に、特殊な材料、技巧、様式などによる美の創作、表現をする芸術の一つである。

私たちの仕事は何か。保存、補綴、矯正歯科、口腔外科など果して創作、創造の仕事であろうか。修復物、補綴物、義歯、その他の代用物などを製作するが、芸術分野で例えると古美術の修復や、破損し破壊された物の復元作業ではないのか。しかも年代を越えた過去や、つい最近の現状に戻すことであって、新しいものを造りだす「創造」とは異なっているのではないか。だから破壊される前に防禦、「予防」が当然必要となってくるのではないか。

さて昨今、歯科界に明るいニュースはほとんどなく、歯科診療所数にいたっては、コンビニエンスストアの数43,684店舗より多く、パターで打ってもゴルフボールが当たると言われる程増加し、その数68,097診療所で、今後も年に300施設ずつ増加する勢いである。最近、多くの人々が歯について関心を持ち、情報も多種多様な方法で豊富に入手することができ、その知識も専門化している。

そこで、わたし達歯科医師は約20年程前より「8020」運動の呼びかけを行っている。すなわち「80才迄20本の健康な歯を残そう」そして、「その歯でよく噛んで楽しい人生を過ごし、さらに長命になろう」という主旨の標語のもとに歯の大切さを啓蒙している。しかし、何事にも例外はあるもので、上下無歯顎でしかも総義歯も使用しないで100才以上存命の御長寿がけっこうおられる。

歯が抜けても歯が抜けても百年

上の歯と下の歯はふりなげて百才

山頭鹿

わたし達は喜ぶべきか、悲しむべきか。

(村本 明 記)

## 編集後記

今回この記念誌編纂委員の一員に任命されたことにより自分の祖父や父親が歯科医師会でどのような人物であったのか知ることができ大変楽しかった。私の祖父は、私が生まれる前に亡くなってしまった為、その人物や人柄などは、どのような人物だったのかあまりよくわからなかったが、この編纂をしていくうちにいろいろなことがわかってきたので自分の祖父に会えたような、そんな錯覚に陥ることもあり、自分がどのような家系に育ち今の自分があるのだなぁと実感することができました。また色々な先輩の諸先生方の話を聞き取りに行ったり、資料を整理したりしているうちにこんな事も、あんな事も歯科医師会でしていたのだなぁと先人たちの偉大な功績を知ることができました。これからは、自分の先人たちや、祖父、父に恥ずかしくないように自分も精進しなければいけないと思いました。

茂呂 英運

上都賀歯科医師会85周年記念誌の編集委員に関わることが出来たことに感謝しております。

初めての編集委員としての仕事は、先輩である先生宅を訪問しての聞き取り調査でした。その頃私は編集委員としての自覚はほとんどありませんでした。とにかく委員の先生方に付いて行ったのを覚えていています。

その聞き取り調査で、私は今まで存じていなかった先生方が上都賀地区で開業されていたことに驚きました。また、昔の歯科界の時代背景や、人間模様などは、とても興味深いものでした。

その後今日の編集委員会により、いろいろな資料を取り寄せていく中にも関心を持つものが沢山ありました。

村本先生が資料として持って来てくださった大正時代の鹿沼の絵地図や、栃歯広報においての上都賀歯科医師会関係の記事等を拝見しながら、楽しく興味を持って仕事を行う事が出来ました。

最後になりましたが、いろいろな歯科医師会関係の仕事に携わり、時間を費やして下さっている先生方には、本当に感謝しております。

手塚 史雄

上都賀歯科医師会の歴史を編纂するという、またとない機会に恵まれたことを感謝します。

過去があるから未来があるのさ ρ (^◇^) /

駒橋 武

今回、上都賀歯科医師会史編纂事業を依頼されたときは、簡単な仕事だと、気楽に考えていましたが、始まってみると、さまざまな資料集めと編集作業の多さに圧倒されてしまいました。資料の多さは歴史の長さでもあり、改めて歴史の重さを感じさせられました。

私の担当は、丁度戦時中の一部でしたが、金属の配給や、出兵や、帰還、戦死にまつわる資料が出てきて、諸先輩方の苦労や混乱がほんの少しわかり、考えさせられました。

資料の中には、古い諸先輩方の写真や古い鹿沼市街の写真や絵地図なども有りました。私に於いての鹿沼の歴史は20年あまりですので、これらの資料は鹿沼の歴史を改めて教えてもらえる良い機会ともなりました。

歴史編纂の仕事も、大変な事ばかりではなく時には、佐川会長や、村本先生の御厚意により大変珍しい、美味しい仕事も有りちょっと得をしたなと思う事や、編纂メンバーとの雑談や、裏話など、普段聞けないような話も聞けて楽しく仕事ことができました。

最後に、今回、この上都賀歯科医師会史編纂という大切な事業に少しでも携わる事ができて、大変  
光栄であるとともに、佐川会長、村本先生、福島先生、そして編纂委員の先生方に感謝したいと思  
います。そして、お疲れさまでした。

ちなみに、美味しい仕事はまだまだ続いてもいいのですが…

田島 雅哉

上都賀歯科医師会史の編纂が平成18年の小委員会から始まり、現在の委員会になり4年を過ぎ、よ  
うやく完成を迎えることになりました。

まず資料を収集することから始まり、手書きでの大正時代の鹿沼歯科医師団記録をはじめ、古い記  
録を探し、写真を集め、数回に渡って聞き取り調査を行い、テープから原稿起こしを行いました。古  
い資料の収集、書き取りは村本明先生の尽力された部分が非常に大きく大変ご苦労があったことと思  
います。次にパソコンへ、手分けして原稿を入力したり、写真の取り込み、栃歯会報からの関連記事  
の抜粋とコピー、切り抜き等の下準備に多くの時間がかかりました。会務の記録が比較的整理されて  
いる昭和57年以降でもデータの整理と取捨選択も大変でした。とりまとめの佐川会長、福島理事に  
は本当にお疲れ様でした。

この編纂作業を通して歯科医師会の先輩方がその時代時代で苦労されたこと、また、いろいろなエ  
ピソードがあり非常に歴史を感じる事ができました。会費や見舞金の額から当時の物価が分かった  
り、診療費の協議を行っていたり、保険の導入についてどこまで保険の範囲に入れるかなど話がな  
されていたり。先人たちの苦労の上に今の上都賀歯科医師会があることを再認識した編纂でありまし  
た。長期にわたる作業でしたが、今回、上都賀歯科医師会史の作成に携われたことは意義深く、たい  
へん良かったと思います。最後に、みつわでの編纂委員会の会合もひとつの楽しみでもありました。

鈴木 裕之

上都賀歯科医師会史の編纂をすることになり、先ず最初に手がけたのは、大正14年1月15日から  
昭和4年4月27日迄の「記録第一号」の文字の解明であった。達筆のうえに一年毎に交代して書か  
れた諸先輩の先生方の特徴のある文章はととも読みづらく、意味も解りにくいものがたくさんあった。  
昭和30年迄の「記録第2号」と共にその解読に約2年の歳月を要した。本会内に会史編纂委員会も  
立ち上がり、常時6名の委員が毎月集まり、昭和27年4月より発行の栃歯会報を隅なく調べ、それ  
をまとめた。県歯に残されていた資料、特に議事録は60年間分コピーした。大正15年から昭和22年  
頃迄の分はなぜか県歯の百周年記念誌発行後に、新会館の倉庫より出現した。そのため、その期間分  
は全て見直し、書き直した。

次に聞き取り調査を開始した。昔の時代を知っている先生方や御家族の家を訪問した。そこで色々  
貴重なお話をうかがった。御好意により史料や写真等も借用した。

会員の皆様には「私と上都賀歯科医師会」というテーマで全員に原稿を依頼した。

歴史は一日一日が積み重なったものであるが、いざそれを遡ろうとするとその為に残されている資  
料は少なく、又その時代の生き証人の様な人々は既に他界されており、もっと早く着手しておけば良  
かったと何度も思った。それでも数々の疑問を詳細に解いてくれる先輩は健在であった。どれだけ勇  
気づけられたか。やる気がでたか。しかし文章にして残すことができない事実もあった。

最後に佐川会長はじめ6名の編纂委員及び御協力いただいた全ての上都賀歯科医師会の皆様に感謝  
申し上げます。又、晃南印刷と特に何度も御足労をおかけしました小野口良夫さんに厚く御礼申し上



げます。

更に視力が低下した私の目と足がわりとなり諸々の資料や文学碑などたくさんの写真を撮っていただいた同級生の松崎工房の松崎秀巳さんに心より御礼申し上げます。

歯は入歯目は眼がねで事たれど 江戸川柳

村本 明

上都賀歯科医師会は大正14年4月19日設立以来、本年で85周年を迎える。9名の鹿沼歯科医師団を中心に日光、今市が加わって創立した本会が幾多の紆余曲折を経ながら現在の上都賀歯科医師会としての隆盛を迎えた今日、記念事業として本誌を発刊できたことは非常に感慨深いことである。

調査委員会では、上都賀歯科医師会史の資料整備のため予めから先輩諸氏への聞き取り調査をおこなっているところであったが、平成18年4月「上都賀歯科医師会史編纂委員会」を立ち上げ本格的に本記念誌創刊にとりくんだ。幸いにして本会には大正14年よりの鹿沼歯科医師団の記録が残されており、「県歯100周年記念誌」発刊に携わった村本明先生奮迅の資料収集、研究、指導の下、資料の掘り出し整備にとりかかった。栃歯会報をはじめとする膨大な資料のなかから本会に関わる情報を整理することは気の遠くなるような作業であったが、本書の編集に当たっては単なる資料の羅列に止まらず、地域の変遷、時代的背景を当時の写真、地図等具体的な資料とともに掲載し、わかりやすく興味深く読んでいただけるよう腐心した。

上都賀歯科医師会の歴史は一国一城の主である個性が時にぶつかりあい、時に団結し、うねりのなかで多くの先進的な事業を生み出す大きなエネルギーが生まれてきた。今後も会員が和気藹藹と一致団結することはもちろんのこと、先輩諸氏から受け継いだ忌憚なく意見をぶつけ合える歯科医師会として地域保健のため益々貢献していけるよう発展し続けたい。

最後に長きに亘ってご尽力いただいた委員の皆様、本誌の刊行にご指導、ご協力いただいた方々に心より深く感謝申し上げます編集後記とする。

上都賀歯科医師会史編纂委員会委員長 福島 隆夫

栃木県歯科医師会が創立100周年を迎え、記念誌を作成するという流れの中で上都賀歯科医師会でも、創立85周年記念誌を上梓することになった。当時私は調査委員会を担当しており、記念誌編纂を手掛けることとなった。尚、県歯100周年記念誌編纂に携わっていた当会の村本明先生より上都賀歯科医師会の歴史的資料のほんの一部をお預かりし、整理・整備を進めることとなった。しかし目を通して行くうちに古い資料の整理や解釈は、私にとって大変難しく、かつ、厄介な作業であることがわかり、これを遂行することは非常に気が遠くなる思いがしたのも事実である。その後まもなく私は公衆衛生担当となり、福島隆夫先生が私の後任として編纂も担うこととなった。そのような訳で私はほとんど何もしないで福島先生に後を委ねることになり、大変な迷惑をかけてしまったと反省をしている。その後資料収集等には何度か協力をしたが非常に膨大な資料となってしまう、整理編集には新たにプロジェクトチームとして発足した編纂委員会のメンバーの皆様のご尽力の賜物と心より感謝しており、記念誌発刊まで漕ぎ着けたことに対して、一種の驚きをもってお祝い申し上げたいと思う。

相馬 英人

上都賀齒科医師会史 — 創立85周年記念 —

---

平成23年(2011)3月31日 発行

編 集 上都賀齒科医師会  
上都賀齒科医師会創立85周年記念誌編纂委員会  
茂呂英運 手塚史雄 駒橋 武 田島雅哉  
鈴木裕之 村本 明 ○福島隆夫 ☆佐川徹三  
○…編纂委員長 ☆…会長

.....  
相馬英人(取材協力)

発 行 上都賀齒科医師会  
〒322-0043 栃木県鹿沼市万町931-1  
電話 0289-65-7870

印 刷 晃南印刷株式会社  
〒322-0025 栃木県鹿沼市緑町3-8-33

---